

青森県埋蔵文化財調査報告書 第577集

# 川原平（1）遺跡Ⅴ

—津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—

東捨場地区・北東捨場地区

2017年3月

青森県教育委員会







巻頭写真 1 調査区全景（北から）





巻頭写真2 調査区全景（合成）





後期後葉の土器（北東捨場地区）



晩期前葉の土器（北東捨場地区）



晩期中葉の土器（北東捨場地区）



晩期中葉の土器（東捨場地区）





晩期中葉の土器（東捨場延長地区）



獣面・人面付き土器（東捨場地区・北東捨場地区）



土製品（東捨場地区・東捨場延長地区）



土製品（北東捨場地区・北東捨場延長地区）

# 序

青森県埋蔵文化財調査センターでは、平成15年度から平成27年度にかけて津軽ダム建設事業予定地内に所在する遺跡の発掘調査を実施しました。そのうち、川原平(1)遺跡では、平成15・23・25～27年度に発掘調査を実施しました。

調査の結果、縄文時代中期から晩期にかけての建物跡・土坑・土器埋設遺構・配石遺構・焼土遺構・盛土遺構・捨場等が確認され、縄文時代の集落が営まれていたことがわかりました。遺物は土器・土製品、石器・石製品、漆製品、木製品、骨角器、動植物遺存体等が出土しました。特に縄文時代後期後葉～晩期にかけての遺物は、この地域では稀少な出土例として注目され、晩期の亀ヶ岡文化を考える上で貴重な発見となりました。

本報告書は、平成25～27年度に実施した川原平(1)遺跡発掘調査事業のうち、東捨場地区と北東捨場地区の調査成果をまとめたものです。この成果が、埋蔵文化財の保護に広く活用され、また、地域の歴史を理解する一助となることを期待します。

最後に、日頃から埋蔵文化財の保護と活用に対してご理解をいただいている国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所に厚くお礼申し上げますとともに、発掘調査の実施と調査報告書の作成にあたり、ご指導、ご協力をいただきました関係各位に対し、心より感謝いたします。

平成29年3月

青森県埋蔵文化財調査センター

所長 田村博美



## 例言・凡例

1 本書は、国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所による津軽ダム建設事業に伴い、青森県埋蔵文化財調査センターが平成15・23・25～27年度に発掘調査を実施した西目屋村川原平(1)遺跡のうち、平成25～27年度に行った東捨場地区と北東捨場地区の発掘調査報告書である。なお、平成26年度(2014年)に川原平(4)遺跡として発掘調査した東捨場延長地区・北東捨場延長地区の遺物報告も含む(図①・②参照)。

2 川原平(1)遺跡の所在地は中津軽郡西目屋村大字川原平字福岡地内、青森県遺跡番号は343009である。

3 川原平(1)遺跡の発掘調査報告書は、既に以下3冊が刊行されている。

- ・『川原平(1)・(4)遺跡・大川添(2)遺跡・水上遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第409集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第564集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第565集

また、本書と同時期に、以下の4冊の刊行も予定されている。

- ・『川原平(1)遺跡Ⅳ(平場地区・クラック地区)』青森県埋蔵文化財調査報告書第576集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅵ(北捨場地区)』青森県埋蔵文化財調査報告書第578集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅶ(西捨場地区)』青森県埋蔵文化財調査報告書第579集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅷ(自然科学分析・補遺・総括)』青森県埋蔵文化財調査報告書第580集

4 発掘調査と整理・報告書作成の経費は、発掘調査を委託した国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所が負担した。

5 発掘調査から整理・報告書作成までの期間は、以下のとおりである。

発掘調査期間	平成25年5月7日～平成25年11月14日
	平成26年5月1日～平成26年11月14日
	平成27年4月20日～平成27年8月28日
整理・報告書作成期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
	平成28年4月1日～平成29年3月31日

6 本書は、青森県埋蔵文化財調査センターが編集し、青森県教育委員会が作成した。執筆と編集は、報告書抄録記載の編著者が担当し、執筆者名は文末に記した。なお、発掘調査成果の一部は、現地見学会、発掘調査報告会等において公表しているが、これらと本書の内容が異なる場合においては本書が優先する。

7 発掘調査から整理・報告書作成にあたり、以下の業務については委託により実施した。なお、自然科学分析の委託者については、『川原平(1)遺跡Ⅷ』にまとめて掲載した。

基準点・水準点測量	株式会社キタコン
空中写真撮影	株式会社シン技術コンサル
土器・小型土器の図化作業の一部	株式会社アルカ、株式会社ラング 株式会社シン技術コンサル
石器の図化作業の一部	株式会社アルカ、株式会社ラング











土器の復元の一部	株式会社文化財ユニオン、株式会社吉田生物研究所
漆製品の保存処理	株式会社吉田生物研究所
遺物の写真撮影	シルバーフォト、フォトショップいなみ、有限会社無限
洗浄・注記作業の一部	ナカシヤクリエイト株式会社、第一合成株式会社
	株式会社イビソク
写真の切り抜き作業の一部	ワタナベサービス株式会社

- 8 石器の石質鑑定は調査員の柴正敏氏・島口天氏に依頼した。
- 9 地形図（遺跡位置図等）は、国土地理院発行の地図を合成・加工して使用した。
- 10 測量原点の座標値は、世界測地系に基づく平面直角座標第X系による。挿図中の方位は、すべて世界測地系の座標北を示している。
- 11 遺構については、その種類を示すアルファベットの略号と算用数字を組合せた番号を付した。基本的な略号は、以下のとおりである。
- SQ－配石遺構    SR－土器埋設遺構    SN－焼土遺構    Pit－柱穴
- 12 遺物については、取り上げ順に種別ごとの略号と番号を付した。略号は、以下のとおりである。
- P－土器    S－石器    C－炭化材    特－漆製品など特殊なもの
- 13 土層の色調表記には、『新版標準土色帖2005年度版』（小山正忠・竹原秀雄）を用い、遺跡の基本土層にはローマ数字、遺構内堆積土層には算用数字を使用した。土層断面図には、水準点を基にした海拔標高を付した。
- 14 図版中で使用した網掛けの説明は以下の通りであるが、一部は図に記したのものもある。

焼土範囲 

- 15 遺物実測図で使用したスクリーントーンは以下の通りであるが、一部については図に記したのものもある。

土器・土製品

漆容器などの 漆塗膜		土器アスファルト ・黒色付着物		土器付着炭化物	
石器アスファルト ・黒色付着物		石器磨面		石器光沢	
赤色顔料・赤彩				敲打痕	

16 遺構実測図および遺物実測図の各図版にはスケールを付している。

17 実測図の掲載を省き、写真のみで報告した遺物もあるため、土器及び石器・石製品の実測図には遺物写真の個別番号、土製品・小型土器の実測図には遺物写真の通し番号を付した。また、写真の掲載を省き、実測図のみで報告した遺物については、実測図に個別番号を付した。なお、本文中で遺物実測図あるいは遺物写真を引用する場合は、以下のように記した。

例1) 写真19の1の場合 → 写19-1

例2) 『川原平(1)遺跡Ⅲ』の図11の1の場合 → 報告書Ⅲ-図11-1

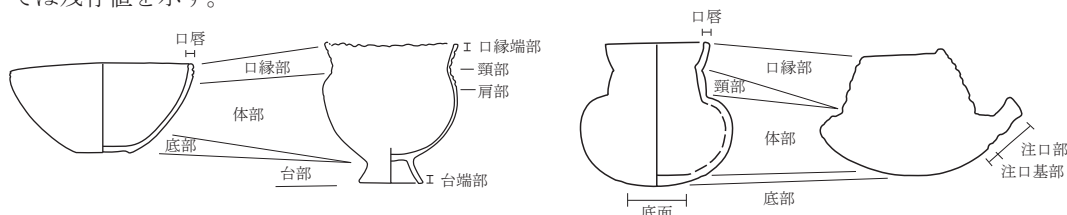
18 遺物の実測図及び写真の縮尺は、原則として土器は1/4、土製品は1/2あるいは1/3、剥片石器・石製品は1/2、礫石器は1/3である。この原則からはずれるものについては、個別に縮尺を示した。なお、遺物写真の縮尺は目安であるため、実物との間には多少の誤差がある。

19 調査経過等について

今回の報告範囲における調査に至る経緯、調査体制（調査体制及び整理・報告書作成体制）、作業経過（発掘作業の経過及び整理・報告書作成作業の経過）については、今回報告範囲以外の地区のものともあわせ、『川原平(1)遺跡Ⅳ』（576集）に掲載した。

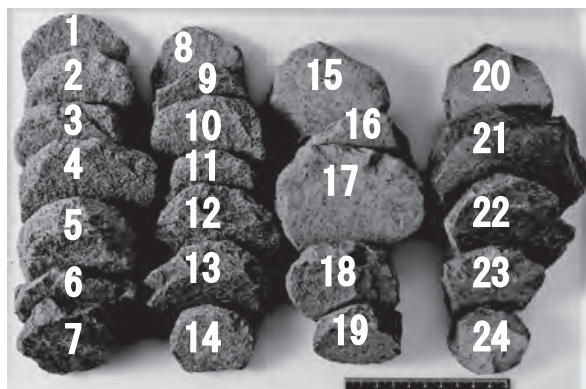
20 土器の整理・分類について

口縁から底部まで接合した土器は原則として図化した。写真掲載のみとしたものもある。区分・分類基準などについては、『川原平(1)遺跡Ⅵ』（578集）の土器の整理・分類を準用した。また、口径あるいは器高が10cm以下の容器については小型土器・ミニチュア土器として扱った（詳細については『川原平(1)遺跡Ⅷ』（580集）参照）。土器観察表における（ ）内計測値は、口径・底径については推定値（残存1/2未満）、器高については残存値を示す。



21 石器の整理・分類について

石器の整理・分類については、『川原平(1)遺跡Ⅲ』（青埋報565集：pp. 9-10）を準用した。なお、石製円盤については、集合写真を併用し、「円1（円盤集合写真1）」、「円2（円盤集合写真2）」・・・と名称を付した（『川原平(1)遺跡Ⅳ』例言参照）。右の写真の順に円盤集合写真観察表に出土地点等を記載している。



円●

## 22 時期区分

本報告書で触れる遺構・遺物の時期は、『川原平(1)遺跡Ⅱ』(564集)を準用した(表①参照)。

表① 本書の時期区分

				本報告	青森県史 (関根2013)	型式等	備考	
後期		後葉	瘤付土器	7-3期	7期3段階	十腰内V群	本文中で7-3期以前を瘤付土器前半とした	
				7-4期	7期4段階	(十腰内V群に欠落する時期)	瘤付土器第Ⅲ段階 (小林2008)	
		末葉		8期	8期	(十腰内Ⅵ群)	瘤付土器第Ⅳ段階 (小林2008)	
晩期	前半	初頭	亀ヶ岡式土器	1期	1a期	1a期	大洞B	大洞B1
		1b期			1b期	大洞B2		
		前葉		2期	2期	大洞BC		
	後半	中葉		3期	3期	大洞C1		
				4期	4期	大洞C2		
		後葉		5期	5期	大洞A		
末葉	6期	6期	大洞A'					

## 23 古代以降の遺物について

今回の報告範囲において、古代以降の土器・陶磁器等が僅かに出土しているが、今回報告以外の地区で得たものとあわせて、『川原平(1)遺跡Ⅷ』(580集)に掲載する。

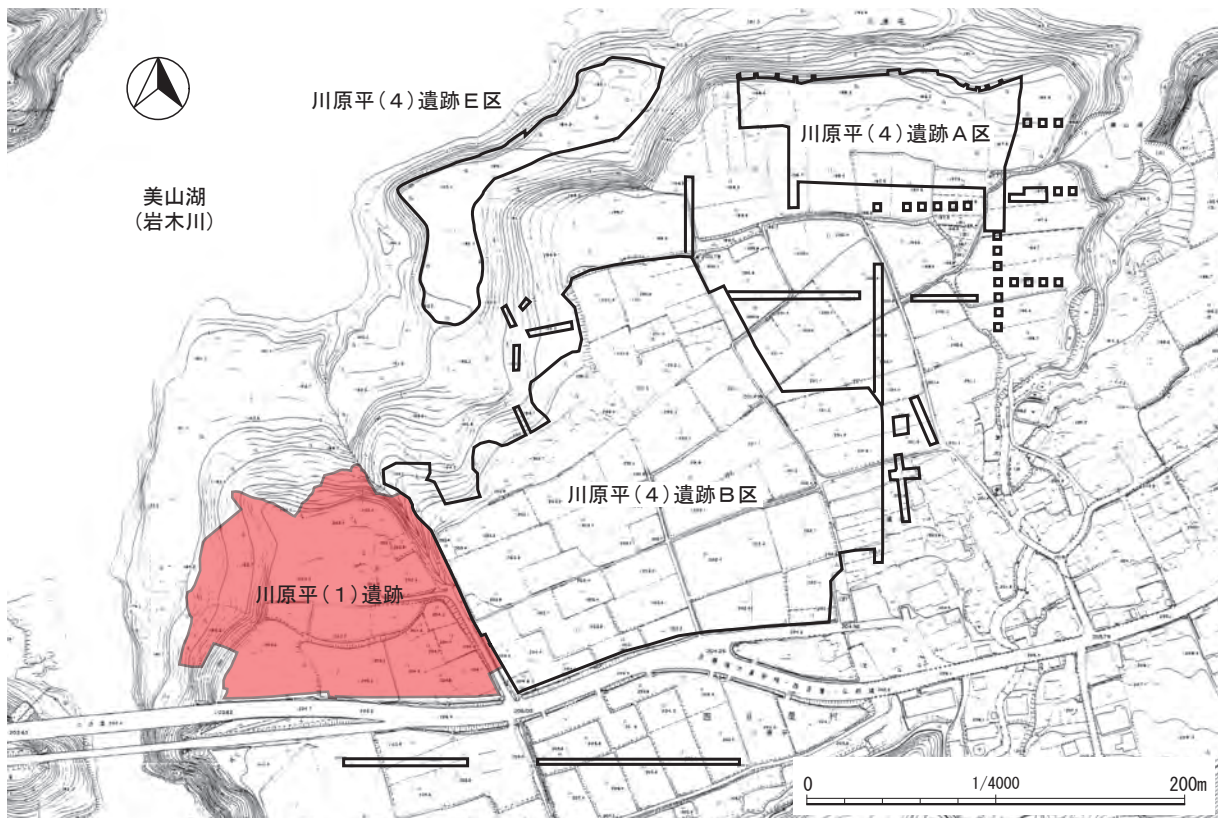
## 24 自然科学分析

今回の報告範囲出土遺物等について、放射性炭素年代測定や樹種同定、漆製品・土器の塗膜分析などの自然科学分析を外部委託しているが、これらの成果については今回報告以外の地区で得たものとあわせて、『川原平(1)遺跡Ⅷ』(580集)に掲載する。ただし、本報告における遺構・遺物の記載にあたり、それらの結果を部分的に引用した箇所がある。分析に使用した資料は、観察表の備考欄に下記のように資料番号を記載した。

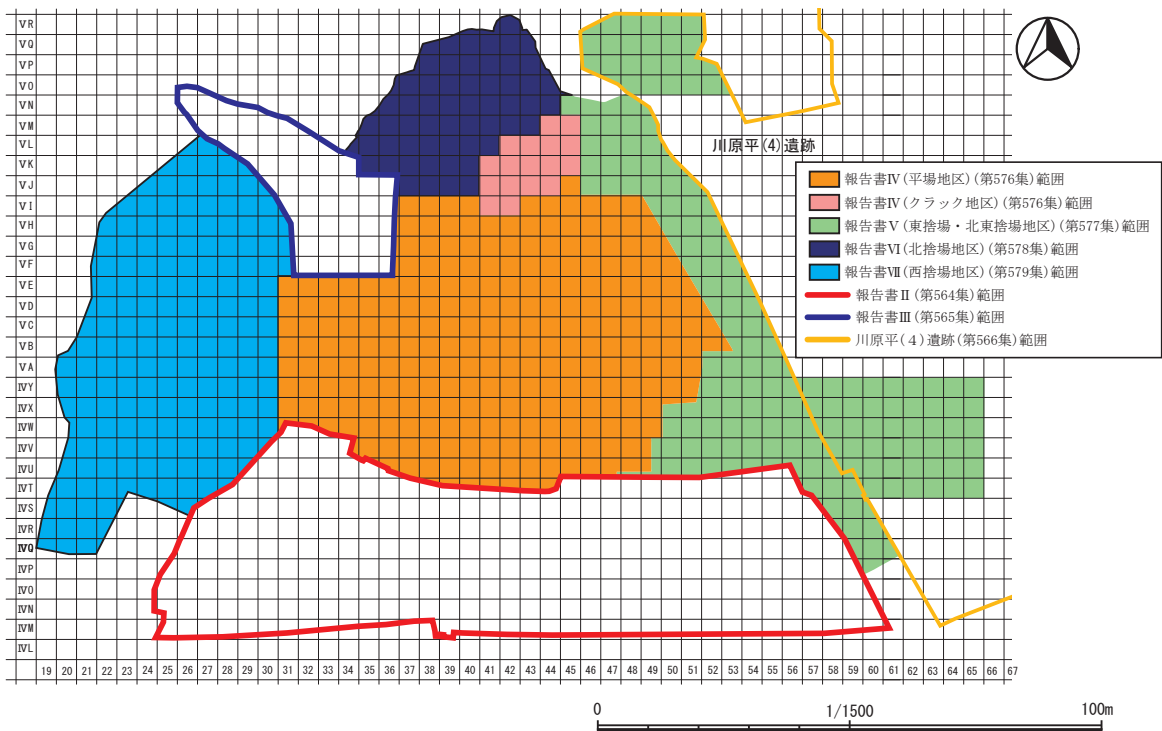
- Ⅷ第1編第5章第1～7節 放射性炭素年代測定→「年代測定KAWA(1)－●」
- Ⅷ第1編第6章第5節 漆関連遺物の塗膜分析→「塗膜分析No.●」
- Ⅷ第1編第7章第5節 炭素・窒素安定同位体比分析→「安定同位体比分析資料●」
- Ⅷ第1編第8章第2節 胎土分析→「胎土分析●」

25 引用文献については巻末(p.211)に掲載したが、参考文献については『川原平(1)遺跡Ⅷ』(580集)に掲載した。

26 発掘調査及び整理・報告書作成における出土品・実測図・写真等は現在、青森県埋蔵文化財調査センターが保管している。



図① 川原平(1)遺跡の地形



図② 本書の報告範囲

# 目 次

巻頭写真

序

例言・凡例

目次

図版目次

表目次

写真図版目次

## 第1編 東捨場地区

第1章 調査方法	2
第1節 調査方法	2
1 発掘作業の方法	2
2 整理・報告書作成作業の方法	2
第2節 基本層序	7
第2章 東捨場地区の検出遺構と出土遺物	10
第1節 遺構	10
1 配石遺構	10
2 土器埋設遺構	15
3 焼土遺構	25
4 ピット	28
第2節 東捨場	33
1 概要	33
2 土器集中範囲（ブロック）	36
3 土器	44
4 土製品	57
5 石器	65
6 石製品	66
7 その他の遺物	68
第3章 まとめ	83

## 第2編 北東捨場地区

第1章 調査方法	88
第1節 発掘作業の方法	88
第2節 整理・報告書作成作業の方法	90
第2章 北東捨場地区の概要	92
第3章 検出遺構と出土遺物	95
1 配石遺構	95
2 焼土遺構	95

第4章 北東捨場	97
第1節 調査の方法	97
第2節 捨場堆積層（遺物包含層）	101
第3節 土器集中域（ブロック）	107
第4節 出土遺物	142
1 土器	142
2 土製品	159
3 石器	163
4 石製品	165
5 その他の遺物	166
第5章 まとめ	182

### 第3編 東捨場延長地区・北東捨場延長地区

第1章 調査方法	188
第1節 調査方法	188
1 東捨場延長・北東捨場延長地区の範囲	188
2 発掘作業の方法	188
3 整理・報告書作成作業の方法	189
第2章 東捨場延長地区	190
第1節 東捨場延長地区の堆積層について	190
1 東捨場延長の調査方法	190
2 堆積層について	190
第2節 出土遺物	193
1 土器	193
2 土製品	194
3 石器・石製品	195
第3章 北東捨場延長地区	202
第1節 北東捨場延長地区の堆積層について	202
1 北東捨場延長の調査方法	202
2 堆積層について	202
第2節 出土遺物	205
1 土器	205
2 土製品	205
3 石器・石製品	207
第4章 まとめ	210

引用文献	211
遺構計測表	212
遺物観察表	213
写真図版	287
報告書抄録	485



# 図版目次

図1 東捨場地区全体図並びにセクション配置図	3	図52 北東捨場地区の位置と周辺の地形	89
図2 東捨場地区 遺構配置図	4	図53 北東捨場地区・北東捨場延長地区・クラック地区等の位置関係	93
図3 東捨場地区 セクション図(1)	5	図54 北東捨場地区 遺構配置図・遺物等分布状況図	94
図4 東捨場地区 セクション図(2)	8	図55 北東捨場地区 配石遺構・焼土遺構	96
図5 東捨場地区 セクション図(3)	9	図56 北東捨場地区 グリッド・トレンチ・ベルトの位置	99
図6 東捨場地区 配石遺構(1)	12	図57 北東捨場地区 トレンチ1～3土層断面図と土層番号・各土層の形成時期	103
図7 東捨場地区 配石遺構(2)	13	図58 北東捨場地区 トレンチ1土層断面図	104
図8 東捨場地区 土器埋設遺構(1)	20	図59 北東捨場地区 トレンチ2土層断面図	105
図9 東捨場地区 土器埋設遺構(2)	21	図60 北東捨場地区 トレンチ3・トレンチ5土層断面図	106
図10 東捨場地区 土器埋設遺構(3)	22	図61-1 北東捨場地区 土器集中域(ブロック)配置図	109
図11 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(1)	23	図61-2 北東捨場地区 土器集中域(ブロック)の変遷図	110
図12 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(2)	24	図62 北東捨場地区 ブロック4007・4008・4016 (TR1-a層～TR1-b層・TR1-1層)	121
図13 東捨場地区 焼土遺構(1)	29	図63 北東捨場地区 ブロック16・4002・4023・4038 (TR1-2層・TR1-C層)	122
図14 東捨場地区 焼土遺構(2)	30	図64 北東捨場地区 ブロック4037 (TR1-d層)・4019 (TR1-4層)	123
図15 東捨場地区 焼土遺構(3)	31	図65 北東捨場地区 ブロック15 (TR1-4層)	124
図16 東捨場地区 焼土遺構出土遺物	32	図66 北東捨場地区 ブロック4020・4024 (TR1-4層)	125
図17 東捨場地区 土器の重量分布	35	図67 北東捨場地区 ブロック4030・4032 (TR1-4層)	126
図18 東捨場地区 ブロック(1)	41	図68 北東捨場地区 ブロック4039・4052 (TR1-4層)	127
図19 東捨場地区 ブロック(2)	42	図69 北東捨場地区 ブロック4009・4034・4036・4045・4071・4080 (TR1-4層～TR1-5層)	128
図20 東捨場地区 土器の出土位置	43	図70 北東捨場地区 ブロック4062・4066 (TR1-4層)	129
図21 東捨場地区 土器(1) ブロック1・2・3・4・5	47	図71 北東捨場地区 ブロック4013・4014・4031 (TR1-5層)	130
図22 東捨場地区 土器(2) ブロック6・10	48	図72 北東捨場地区 ブロック4053 (TR1-5層)	131
図23 東捨場地区 土器(3) ブロック17・18	49	図73 北東捨場地区 ブロック4054・4070・4072 (TR1-5層)	132
図24 東捨場地区 土器(4) ブロック19・20・21・22	50	図74 北東捨場地区 ブロック4022・4029・4042・4069・4073・4075 (TR1-6層～TR1-7層)	133
図25 東捨場地区 土器(5) ブロック22・23・24・I層	51	図75 北東捨場地区 ブロック4021・4028 (TR2-1層)・4003・4004・4015・4046 (TR2-a層・TR2-ウ層)	134
図26 東捨場地区 土器(6) KⅢ1層(1)	52	図76 北東捨場地区 ブロック4001・4006・4057・4058・4059・4061・4063・4065・4067・4074・4076・4078 (TR2-2層・TR2-エ層)	135
図27 東捨場地区 土器(7) KⅢ1層(2)	53	図77 北東捨場地区 ブロック4005・4010・4043・4050 (TR2-b層)・4018・4026 (TR2-y層・TR3-c層)	136
図28 東捨場地区 土器(8) KⅢ1層(3)	54	図78 北東捨場地区 ブロック4017・4025 (TR3-a層・TR3-ア～TR3-イ層)・4049・4055・4064・4077 (TR3-d層～TR3-e層)	137
図29 東捨場地区 土器(9) KⅢ1d層・KⅢ1炭イ層・KⅢ1下層・KⅢ2層	55	図79 北東捨場地区 ブロック4011・4012・4027・4040・4044 (TR3-b層～TR3-c層)	138
図30 東捨場地区 土器(10) KⅢ2上層・KⅢ下層・KⅢ層	56	図80 北東捨場地区 ブロック4051・4056・4068・4079・4081・4082・4083・4084 (TR3-e層～TR3-f層)	139
図31 東捨場地区 土製品(1)	58	図81 北東捨場地区 ブロック4041・4047・4060 (TR5-2層)・4033 (TR6-2層～TR6-3層)	140
図32 東捨場地区 土製品(2)	59	図82 北東捨場地区 ブロック4035 (確認面)	141
図33 東捨場地区 土製品(3)	60	図83 北東捨場地区 土器の重量分布	145
図34 東捨場地区 土製品(4)	61	図84 北東捨場地区 土器(1) ブロック15・16・4001・4003・4004	146
図35 東捨場地区 土製品(5)	62		
図36 東捨場地区 土製品(6)	63		
図37 東捨場地区 土製品(7)	64		
図38 東捨場地区 石器・石製品(1)	69		
図39 東捨場地区 石器・石製品(2)	70		
図40 東捨場地区 石器・石製品(3)	71		
図41 東捨場地区 石器・石製品(4)	72		
図42 東捨場地区 石器・石製品(5)	73		
図43 東捨場地区 石器・石製品(6)	74		
図44 東捨場地区 石器・石製品(7)	75		
図45 東捨場地区 石器・石製品(8)	76		
図46 東捨場地区 石器・石製品(9)	77		
図47 東捨場地区 石器・石製品(10)	78		
図48 東捨場地区 石器・石製品(11)	79		
図49 東捨場地区 石器・石製品(12)	80		
図50 東捨場地区 石器・石製品(13)	81		
図51 東捨場地区 石器・石製品(14)	82		

図85	北東捨場地区	土器 (2)	ブロック4005・4010・4011 ・4013・4018	147
図86	北東捨場地区	土器 (3)	ブロック4019・4022・4024- 1・4024-2	148
図87	北東捨場地区	土器 (4)	ブロック4025・4026・4030	149
図88	北東捨場地区	土器 (5)	ブロック4031-2・4032-1・ 4032-2	150
図89	北東捨場地区	土器 (6)	ブロック4032-3・4032-5・ 4032-6・4037・4038・4041, 4047・4043 下層A	151
図90	北東捨場地区	土器 (7)	ブロック4043下層B・4044 ・4051・4052-1	152
図91	北東捨場地区	土器 (8)	ブロック4053-1・4053-2	153
図92	北東捨場地区	土器 (9)	ブロック4055・4058・4060 ・4061・4062-2・4066	154
図93	北東捨場地区	土器 (10)	ブロック4070・4075・4078 ・4080	155
図94	北東捨場地区	土器 (11)	ブロック4081・4082・4083 ・4084	156
図95	北東捨場地区	土器 (12)	トレンチ1・トレンチ2	157
図96	北東捨場地区	土器 (13)	トレンチ3・その他	158
図97	北東捨場地区	土製品 (1)		160
図98	北東捨場地区	土製品 (2)		161
図99	北東捨場地区	土製品 (3)		162
図100	北東捨場地区	石器・石製品 (1)		167
図101	北東捨場地区	石器・石製品 (2)		168

図102	北東捨場地区	石器・石製品 (3)		169
図103	北東捨場地区	石器・石製品 (4)		170
図104	北東捨場地区	石器・石製品 (5)		171
図105	北東捨場地区	石器・石製品 (6)		172
図106	北東捨場地区	石器・石製品 (7)		173
図107	北東捨場地区	石器・石製品 (8)		174
図108	北東捨場地区	石器・石製品 (9)		175
図109	北東捨場地区	石器・石製品 (10)		176
図110	北東捨場地区	石器・石製品 (11)		177
図111	北東捨場地区	石器・石製品 (12)		178
図112	北東捨場地区	石器・石製品 (13)		179
図113	北東捨場地区	石器・石製品 (14)		180
図114	北東捨場地区	石器・石製品 (15)		181
図115	北東捨場地区	後期7-4期～晩期2期・晩期3期の 様相		183
図116	北東捨場地区	晩期4期・晩期5期の様相		184
図117	北東捨場地区	胎土分析実施資料		186
図118	東捨場延長地区	セクション図		191
図119	東捨場延長地区	土器・土製品 (1)		196
図120	東捨場延長地区	土器・土製品 (2)		197
図121	東捨場延長地区	土器・土製品 (3)		198
図122	東捨場延長地区	石器・石製品 (1)		199
図123	東捨場延長地区	石器・石製品 (2)		200
図124	東捨場延長地区	石器・石製品 (3)		201
図125	北東捨場延長地区	セクション図		203
図126	北東捨場延長地区	土器・土製品		206
図127	北東捨場延長地区	石器・石製品 (1)		208
図128	北東捨場延長地区	石器・石製品 (2)		209

## 表目次

表1	東捨場地区	グリッド別土器出土重量	35
表2	北東捨場地区	ブロック観察表	111
表3	北東捨場地区	ブロック出土土器一覧	114
表4	北東捨場地区	グリッド別土器出土重量	145
表5	東捨場地区	遺構計測表	212
表6	北東捨場地区	遺構計測表	212
表7	東捨場地区	土器観察表	213
表8	東捨場地区	土製品観察表	227
表9	東捨場地区	ミニチュア・小型土器観察表	228
表10	東捨場地区	石器・石製品観察表	230
表11	東捨場地区	石製円盤集合写真観察表	238
表12	東捨場地区	その他遺物観察表	240
表13	北東捨場地区	土器観察表	241

表14	北東捨場地区	土製品観察表	258
表15	北東捨場地区	ミニチュア・小型土器観察表	259
表16	北東捨場地区	石器・石製品観察表	260
表17	北東捨場地区	石製円盤集合写真観察表	272
表18	北東捨場地区	その他遺物観察表	274
表19	東捨場延長地区	土器観察表	275
表20	東捨場延長地区	土製品観察表	279
表21	東捨場延長地区	ミニチュア・小型土器観察表	279
表22	東捨場延長地区	石器・石製品観察表	280
表23	北東捨場延長地区	土器観察表	284
表24	東捨場延長地区	土製品観察表	284
表25	北東捨場延長地区	ミニチュア・小型土器観察表	284
表26	北東捨場延長地区	石器・石製品観察表	285

## 写真図版目次

写真1	東捨場地区	全景	287
写真2	東捨場地区	全景	288
写真3	東捨場地区	セクション (1)	289
写真4	東捨場地区	セクション (2)	290
写真5	東捨場地区	セクション (3)	291
写真6	東捨場地区	焼土遺構 (1)	292
写真7	東捨場地区	焼土遺構 (2)	293
写真8	東捨場地区	焼土遺構 (3)	294
写真9	東捨場地区	焼土遺構 (4)・配石遺構 (1)	295
写真10	東捨場地区	配石遺構 (2)	296

写真11	東捨場地区	配石遺構 (3)	297
写真12	東捨場地区	ブロック (1)	298
写真13	東捨場地区	ブロック (2)	299
写真14	東捨場地区	土器埋設遺構 (1)	300
写真15	東捨場地区	土器埋設遺構 (2)	301
写真16	東捨場地区	遺物出土状況 (1)	302
写真17	東捨場地区	遺物出土状況 (2)・作業風景	303
写真18	東捨場地区	村道	304
写真19	東捨場地区	配石遺構出土遺物 (1)	305
写真20	東捨場地区	配石遺構出土遺物 (2)	306



写真21	東捨場地区	土器埋設遺構出土遺物	307
写真22	東捨場地区	焼土遺構出土遺物	308
写真23	東捨場地区	土器(1)ブロック2・3・4・5	309
写真24	東捨場地区	土器(2)ブロック6	310
写真25	東捨場地区	土器(3)ブロック10・17	311
写真26	東捨場地区	土器(4)ブロック18・19・20	312
写真27	東捨場地区	土器(5)ブロック21・22	313
写真28	東捨場地区	土器(6)ブロック23・24・I層	314
写真29	東捨場地区	土器(7)KⅢ1層	315
写真30	東捨場地区	土器(8)KⅢ1層	316
写真31	東捨場地区	土器(9)KⅢ1層	317
写真32	東捨場地区	土器(10)KⅢ1層	318
写真33	東捨場地区	土器(11)KⅢ1層	319
写真34	東捨場地区	土器(12)KⅢ1層	320
写真35	東捨場地区	土器(13)KⅢ1層	321
写真36	東捨場地区	土器(14)KⅢ1層・KⅢ1d層・KⅢ1炭 イ層	322
写真37	東捨場地区	土器(15)KⅢ1下層・KⅢ2層	323
写真38	東捨場地区	土器(16)KⅢ2上層	324
写真39	東捨場地区	土器(17)KⅢ上層・KⅢ下層	325
写真40	東捨場地区	土器(18)KⅢ層	326
写真41	東捨場地区	土製品(1)	327
写真42	東捨場地区	土製品(2)	328
写真43	東捨場地区	土製品(3)	329
写真44	東捨場地区	土製品(4)	330
写真45	東捨場地区	石器・石製品(1)	331
写真46	東捨場地区	石器・石製品(2)	332
写真47	東捨場地区	石器・石製品(3)	333
写真48	東捨場地区	石器・石製品(4)	334
写真49	東捨場地区	石器・石製品(5)	335
写真50	東捨場地区	石器・石製品(6)	336
写真51	東捨場地区	石器・石製品(7)	337
写真52	東捨場地区	石器・石製品(8)	338
写真53	東捨場地区	石器・石製品(9)	339
写真54	東捨場地区	石器・石製品(10)	340
写真55	東捨場地区	石器・石製品(11)	341
写真56	東捨場地区	石器・石製品(12)	342
写真57	東捨場地区	石器・石製品(13)	343
写真58	東捨場地区	石器・石製品(14)	344
写真59	東捨場地区	石器・石製品(15)	345
写真60	東捨場地区	石器・石製品(16)	346
写真61	東捨場地区	石器・石製品(17)	347
写真62	東捨場地区	石器・石製品(18)	348
写真63	東捨場地区	石器・石製品(19)	349
写真64	東捨場地区	石器・石製品(20)	350
写真65	東捨場地区	石器・石製品(21)	351
写真66	東捨場地区	石器・石製品(22)	352
写真67	東捨場地区	石器・石製品(23)	353
写真68	東捨場地区	石器・石製品(24)	354
写真69	東捨場地区	石器・石製品(25)	355
写真70	東捨場地区	石器・石製品(26)・アスファルト	356
写真71	北東捨場地区	航空写真	357
写真72	北東捨場地区	調査区全景・調査風景	358
写真73	北東捨場地区	北東部斜面捨場	359
写真74	北東捨場地区	トレンチ1(1)	360
写真75	北東捨場地区	トレンチ1(2)	361
写真76	北東捨場地区	トレンチ1(3)	362
写真77	北東捨場地区	トレンチ2(1)	363

写真78	北東捨場地区	トレンチ2(2)	364
写真79	北東捨場地区	トレンチ2(3)	365
写真80	北東捨場地区	トレンチ3(1)	366
写真81	北東捨場地区	トレンチ3(2)	367
写真82	北東捨場地区	トレンチ3・トレンチ5	368
写真83	北東捨場地区	配石遺構	369
写真84	北東捨場地区	ブロック(1)	370
写真85	北東捨場地区	ブロック(2)	371
写真86	北東捨場地区	ブロック(3)	372
写真87	北東捨場地区	ブロック(4)	373
写真88	北東捨場地区	ブロック(5)	374
写真89	北東捨場地区	ブロック(6)	375
写真90	北東捨場地区	ブロック(7)	376
写真91	北東捨場地区	ブロック(8)	377
写真92	北東捨場地区	ブロック(9)	378
写真93	北東捨場地区	ブロック(10)	379
写真94	北東捨場地区	ブロック(11)	380
写真95	北東捨場地区	ブロック(12)	381
写真96	北東捨場地区	ブロック(13)	382
写真97	北東捨場地区	遺物出土状況(1)	383
写真98	北東捨場地区	遺物出土状況(2)	384
写真99	北東捨場地区	遺物出土状況(3)	385
写真100	北東捨場地区	遺物出土状況(4)	386
写真101	北東捨場地区	遺物出土状況(5)	387
写真102	北東捨場地区	完掘(1)	388
写真103	北東捨場地区	完掘(2)	389
写真104	北東捨場地区	配石遺構出土遺物・土器(1) ブロック15・16・4001	390
写真105	北東捨場地区	土器(2)ブロック4002・4003・ 4004・4005	391
写真106	北東捨場地区	土器(3)ブロック4007・4010・ 4011・4013	392
写真107	北東捨場地区	土器(4)ブロック4018・4019・ 4020	393
写真108	北東捨場地区	土器(5)ブロック4022・4023・ 4024-1・4024-2	394
写真109	北東捨場地区	土器(6)ブロック4024-2・4025	395
写真110	北東捨場地区	土器(7)ブロック4026・4029・ 4030	396
写真111	北東捨場地区	土器(8)ブロック4031-1・4031- 2・4032-1	397
写真112	北東捨場地区	土器(9)ブロック4032-2・4032- 3・4032-5・4032-6	398
写真113	北東捨場地区	土器(10)ブロック4033・4034・ 4036・4037	399
写真114	北東捨場地区	土器(11)ブロック4038・4039・ 4040・4041・4042・4047	400
写真115	北東捨場地区	土器(12)ブロック4043上層A・ 4043下層A・4043下層B	401
写真116	北東捨場地区	土器(13)ブロック4044・4045・ 4049・4051	402
写真117	北東捨場地区	土器(14)ブロック4052-1	403
写真118	北東捨場地区	土器(15)ブロック4052-1・4052- 2	404
写真119	北東捨場地区	土器(16)ブロック4052-4・4053- 1	405
写真120	北東捨場地区	土器(17)ブロック4053-2	406
写真121	北東捨場地区	土器(18)ブロック4053-2・4054- 1・4054-2	407

写真122	北東捨場地区	土器 (19) ブロック4055・4056・4057	408	写真156	北東捨場地区	石器・石製品 (18)	442
写真123	北東捨場地区	土器 (20) ブロック4058・4060・4061	409	写真157	北東捨場地区	石器・石製品 (19)	443
写真124	北東捨場地区	土器 (21) ブロック4062-1・4062-2	410	写真158	北東捨場地区	石器・石製品 (20)	444
写真125	北東捨場地区	土器 (22) ブロック4062-2・4063	411	写真159	北東捨場地区	石器・石製品 (21)	445
写真126	北東捨場地区	土器 (23) ブロック4066・4067	412	写真160	北東捨場地区	石器・石製品 (22)	446
写真127	北東捨場地区	土器 (24) ブロック4069・4070・4071	413	写真161	北東捨場地区	石器・石製品 (23)	447
写真128	北東捨場地区	土器 (25) ブロック4072・4074・4075・4076	414	写真162	北東捨場地区	石器・石製品 (24)	448
写真129	北東捨場地区	土器 (26) ブロック4078・4080・4081	415	写真163	北東捨場地区	石器・石製品 (25)	449
写真130	北東捨場地区	土器 (27) ブロック4082	416	写真164	北東捨場地区	石器・石製品 (26)	450
写真131	北東捨場地区	土器 (28) ブロック4083・4084	417	写真165	北東捨場地区	石器・石製品 (27)	451
写真132	北東捨場地区	土器 (29) トレンチ1	418	写真166	北東捨場地区	石器・石製品 (28)	452
写真133	北東捨場地区	土器 (30) トレンチ1	419	写真167	北東捨場地区	石器・石製品 (29)	453
写真134	北東捨場地区	土器 (31) トレンチ1～3	420	写真168	北東捨場地区	石器・石製品 (30)	454
写真135	北東捨場地区	土器 (32) トレンチ3	421	写真169	北東捨場地区	石器・石製品 (31)	455
写真136	北東捨場地区	土器 (33) トレンチ5・その他	422	写真170	北東捨場地区	石器・石製品 (32)	456
写真137	北東捨場地区	土製品 (1)	423	写真171	北東捨場地区	石器・石製品 (33)	457
写真138	北東捨場地区	土製品 (2)	424	写真172	北東捨場地区	石器・石製品 (34)	458
写真139	北東捨場地区	石器・石製品 (1)	425	写真173	北東捨場地区	石器・石製品 (35)	459
写真140	北東捨場地区	石器・石製品 (2)	426	写真174	北東捨場地区	その他の遺物 (漆製品・アスファルト)	460
写真141	北東捨場地区	石器・石製品 (3)	427	写真175	東捨場延長地区	土層	461
写真142	北東捨場地区	石器・石製品 (4)	428	写真176	東捨場延長地区	遺物出土状況 (1)	462
写真143	北東捨場地区	石器・石製品 (5)	429	写真177	東捨場延長地区	遺物出土状況 (2)	463
写真144	北東捨場地区	石器・石製品 (6)	430	写真178	東捨場延長地区	遺物出土状況 (3)	464
写真145	北東捨場地区	石器・石製品 (7)	431	写真179	東捨場延長地区	土器・土製品 (1)	465
写真146	北東捨場地区	石器・石製品 (8)	432	写真180	東捨場延長地区	土器・土製品 (2)	466
写真147	北東捨場地区	石器・石製品 (9)	433	写真181	東捨場延長地区	土器・土製品 (3)	467
写真148	北東捨場地区	石器・石製品 (10)	434	写真182	東捨場延長地区	土器・土製品 (4)	468
写真149	北東捨場地区	石器・石製品 (11)	435	写真183	東捨場延長地区	土器・土製品 (5)	469
写真150	北東捨場地区	石器・石製品 (12)	436	写真184	東捨場延長地区	石器・石製品 (1)	470
写真151	北東捨場地区	石器・石製品 (13)	437	写真185	東捨場延長地区	石器・石製品 (2)	471
写真152	北東捨場地区	石器・石製品 (14)	438	写真186	東捨場延長地区	石器・石製品 (3)	472
写真153	北東捨場地区	石器・石製品 (15)	439	写真187	東捨場延長地区	石器・石製品 (4)	473
写真154	北東捨場地区	石器・石製品 (16)	440	写真188	東捨場延長地区	石器・石製品 (5)	474
写真155	北東捨場地区	石器・石製品 (17)	441	写真189	東捨場延長地区	石器・石製品 (6)	475
				写真190	東捨場延長地区	石器・石製品 (7)	476
				写真191	北東捨場延長地区	土層	477
				写真192	北東捨場延長地区	土器・土製品	478
				写真193	北東捨場延長地区	石器・石製品 (1)	479
				写真194	北東捨場延長地区	石器・石製品 (2)	480
				写真195	北東捨場延長地区	石器・石製品 (3)	481
				写真196	北東捨場延長地区	石器・石製品 (4)	482
				写真197	北東捨場延長地区	石器・石製品 (5)	483
				写真198	北東捨場延長地区	石器・石製品 (6)	484

## 第1編 東捨場地区

# 第1章 調査方法

## 第1節 調査方法

### 1 発掘作業の方法

本遺跡の発掘作業に関わる基本事項は、報告書Ⅱで示している。

本編の報告範囲は川原平(1)遺跡の東端に位置し、図1に示すように東捨場地区と村道地区に区分される。南西は南捨場、西は平場、北西は北東捨場の各地区に接する。遺跡登録上、村道までが川原平(1)遺跡で、その東が川原平(4)遺跡である。村道は大沢川の西に位置する大川添への道路として大正時代に開削されたもので、IVW列以北については東捨場の一部を切り土して北東捨場方面へ下がっていき、西捨場付近から大沢川を渡って大川添に至る。路面は未舗装で、昭和30年代に現在の県道が開通した後は、水田や畑への通路として使用されていたようである。発掘調査開始時は、IVW列以北で元の路面が水の通り道となつてえぐれ、両側の斜面に雑木が生え、沢のような状態であった。

グリッドの配置は図2に示した。捨場の範囲は直線的にくることができるものではなく、この区分は調査にあつての便宜的なものである。東側の区分が階段状であるのは、縄文時代の遺物包含層が東側では削平により失われているためである。また、セクションベルト(Sec4)の位置を本地区に含めたため南側では細長く延びている。

2011年(平成23)調査において、南捨場の土器出土重量は調査区の東側ではおおむね少なかったが、調査区の北東隅IVT-56、IVU-55・56ではグリッドあたりの出土土器重量が約8kgと、隣接グリッドの0.5~5.5kgと比べてやや多く、その時点では沢と認識していた村道の切り土部分にかけて遺物量が増えるのではないかと想定された。

2013年(平成25)はSec4以北Sec6までの間を調査し、多数の遺構・遺物を確認した。

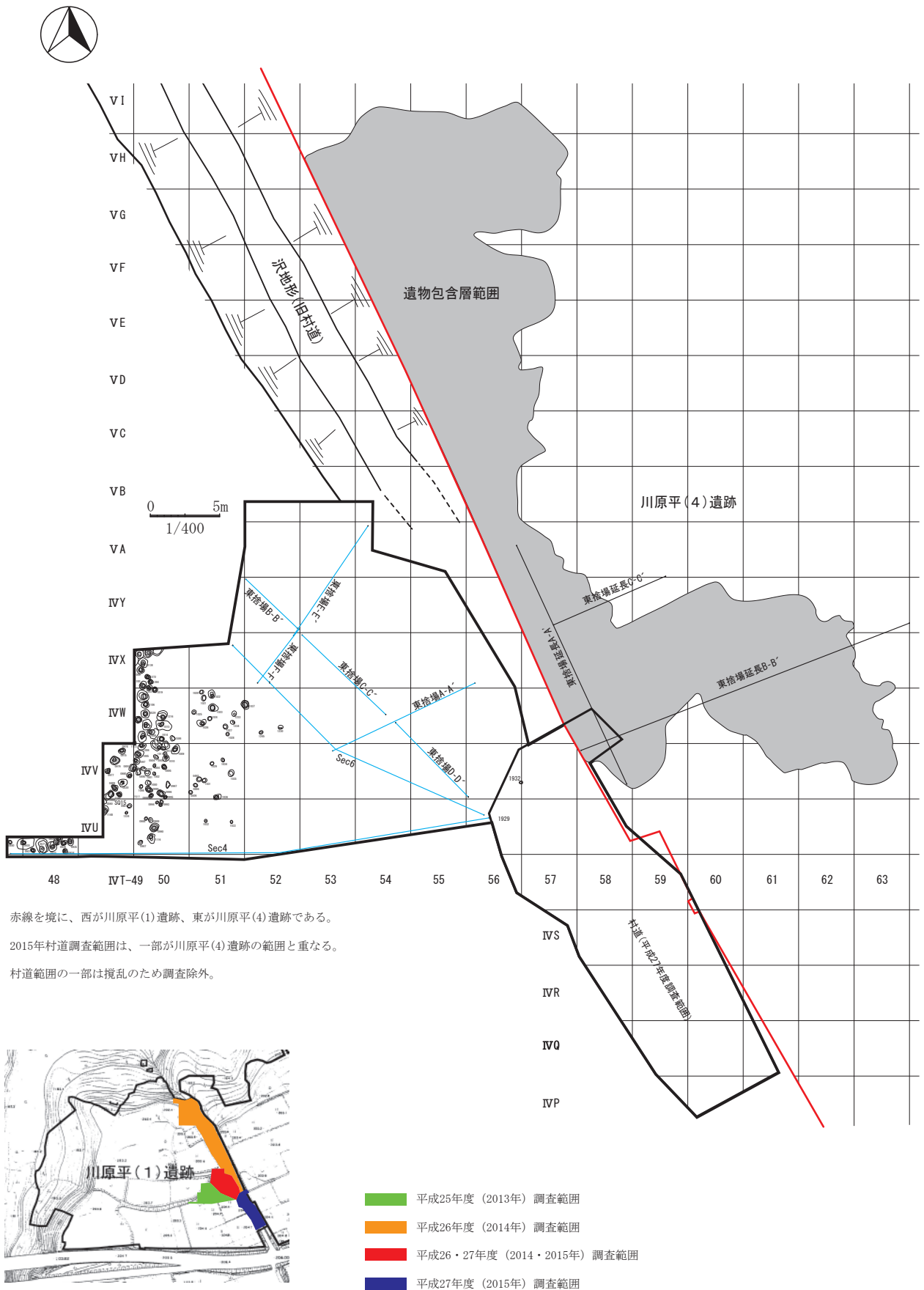
2014年(平成26)は本地区が遺跡の東端にあつることから東捨場と呼称し、Sec6以北を調査した。また、沢のような状態であった村道地区の北半(IVW列以北)を調査し、この部分が道路開削時に切り土されており、本来は沢ではないことが判明した。

2015年(平成27)は前年度に完了できなかったセクションベルトB・EおよびSN64~66を精査し、村道地区の南半を調査した。(岡本)

### 2 整理・報告書作成作業の方法

本遺跡の整理作業に関わる基本事項は、報告書Ⅱで示している。整理期間は2015・2016両年度である。

土器はグリッドごとに仕分けし、重量計測した。重量を計測した目的は、図17のようにグリッドごとの出土重量を示し、捨場への遺物土集中度を明らかにしたかったためである。接合はグリッドごとに下層から行い、層ごとにどの時期の土器が含まれているかの把握に努めた(本編末尾に表を掲載)。復元実測可能なものはできるだけ抽出するとともに、変わった特徴のあるものは小片でも抽出した。整理期間の都合で、掲載するすべての土器を実測することができなかったため、写真掲載にとどめたものが多い。石器・製品類は土器とは別に、単体ごとに資料化の要不要を判断した。(岡本)



赤線を境に、西が川原平(1)遺跡、東が川原平(4)遺跡である。  
 2015年村道調査範囲は、一部が川原平(4)遺跡の範囲と重なる。  
 村道範囲の一部は攪乱のため調査除外。

図1 東捨場地区全体図並びにセクション配置図

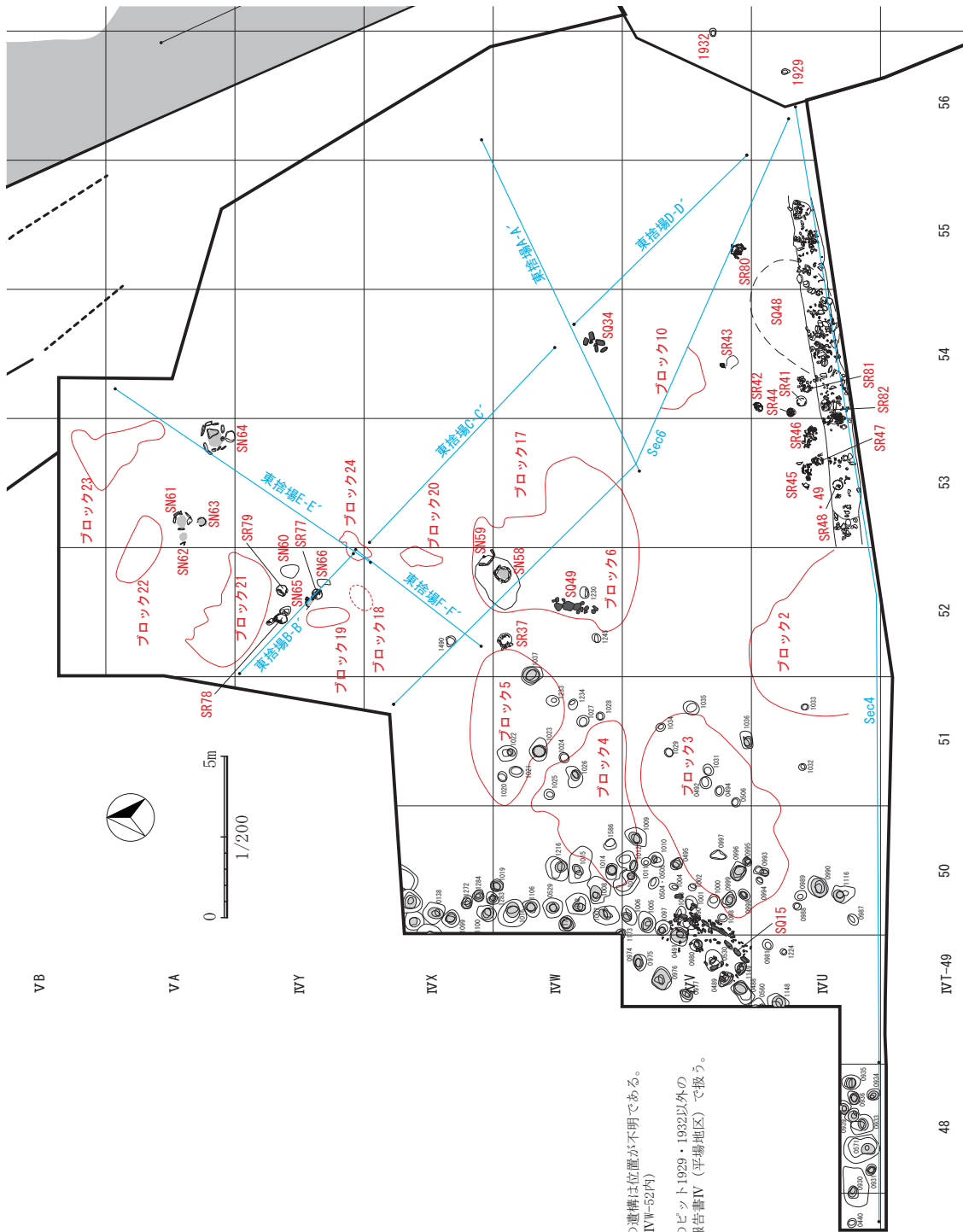
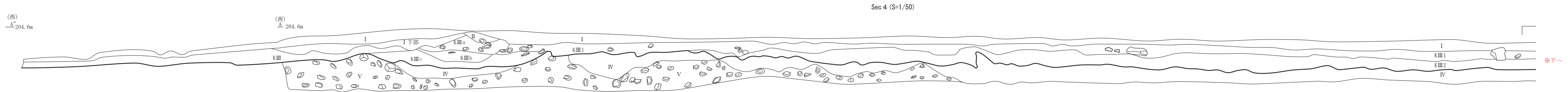


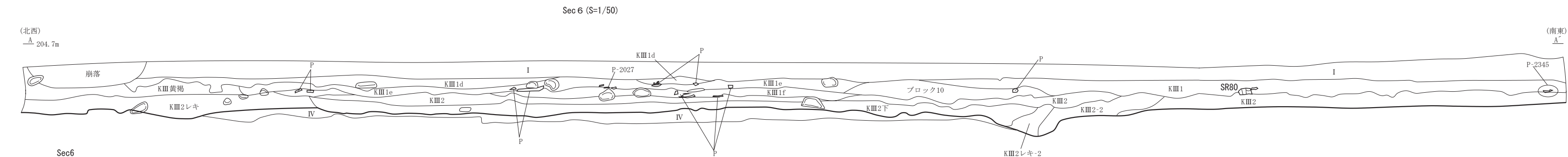
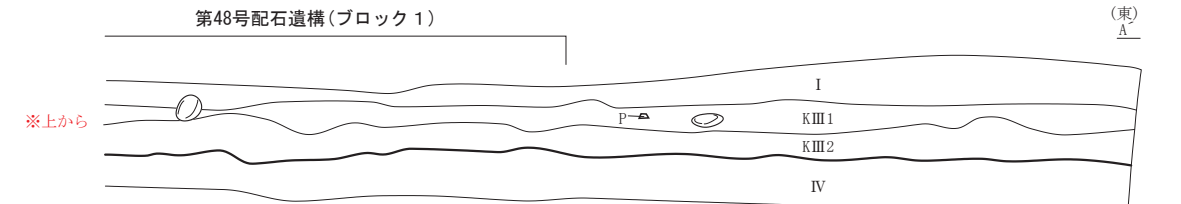
図2 東捨場地区 遺構配置図

注1：下記の遺構は位置が不明である。  
 ・SR38～40(IVW-52内)  
 注2：56列のピット1929・1932以外のピットは、報告書IV(平場地区)で扱う。

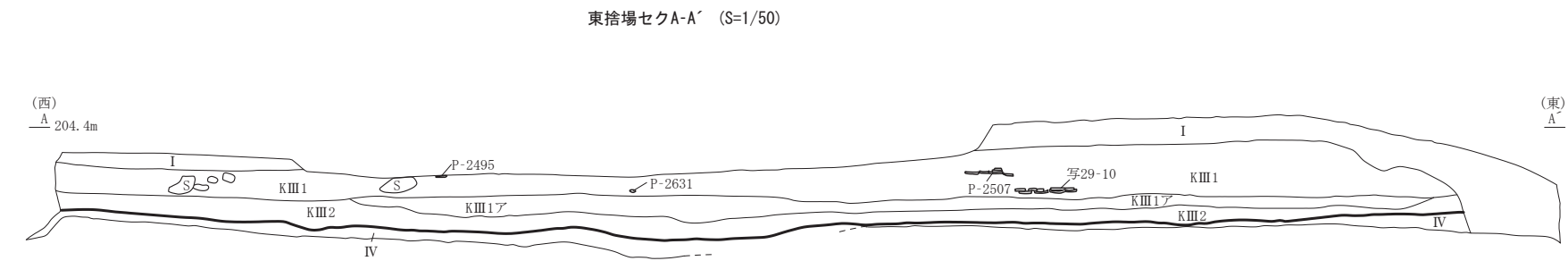
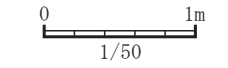




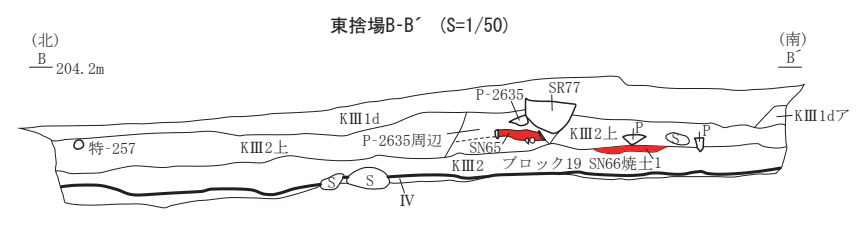
- Sec4**
- I層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ15~100mm)10%、炭化物僅少、しまりややあり
  - II層 I層下部にふい黄褐色土(10YR4/3) 礫(φ1~180mm)30%、炭化物(φ1~40mm)15%、土器混入、黄褐色粒(φ1~45mm)5%
  - KIII層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ8~120mm)20%、炭化物僅少、しまりあり
  - KIIIa層 灰黄褐色土(10YR4/2) 礫(φ3~190mm)25%、炭化物(φ2~20mm)1%
  - KIIIb層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ1~130mm)15%、炭化物(φ1~10mm)10%、黄褐色粒(φ1~1mm)1%
  - KIIIc層 暗褐色土(10YR2/3) 礫(φ1~180mm)30%、炭化物(φ1~40mm)15%、土器混入、黄褐色粒(φ1~45mm)5%
  - KIII1層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~120mm)7%、炭化物(φ1~2mm)10%
  - KIII2層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~150mm)7%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII2下層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~190mm)10%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII2上層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~130mm)7%、炭化物(φ1~2mm)10%
  - SN65 1層=焼土 赤褐色土(2.5YR4/6) 炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1d層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~120mm)7%、炭化物(φ1~2mm)10%
  - KIII1e層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~130mm)7%、炭化物(φ1~2mm)10%
  - KIII1f層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1g層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1h層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1i層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1j層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1k層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1l層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1m層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1n層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1o層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1p層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1q層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1r層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1s層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1t層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1u層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1v層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1w層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1x層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1y層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1z層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - 地山 褐色土(10YR4/4) 礫(φ10~100mm)10%



- Sec6**
- KIII1層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ1~180mm)30%、炭化物(φ1~40mm)15%、土器混入、黄褐色粒(φ1~45mm)5%
  - KIII1d層 暗褐色土(10YR2/3) 10YR3/4暗褐色土(層左端部に僅か)、礫(φ1~250mm)7%、炭化物(φ1~30mm)5%
  - KIII1e層 暗褐色土(10YR2/3) 礫(φ1~190mm)5%、炭化物(φ1~15mm)2%
  - KIII1f層 暗褐色土(10YR2/2) 礫(φ1~230mm)5%、炭化物(φ1~20mm)2%
  - KIII1g層 褐色土(10YR4/4) 10YR3/4暗褐色土30%、礫(φ1~90mm)2%、炭化物(φ1~35mm)2%
  - ブロック10 暗褐色土(10YR3/3) 礫(多数)(φ1~140mm)30%、炭化物(φ1~12mm)5%、土器混入
  - KIII2層 褐色土(10YR4/4) 礫(φ1~130mm)15%、炭化物(φ1~10mm)10%、黄褐色粒(φ1~10mm)3%
  - KIII2下層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ1~110mm)10%、炭化物(φ1~6mm)5%
  - KIII2上層 暗褐色土(10YR2/3) 10YR4/6褐色土、礫(φ1~180mm)4%、炭化物(φ1~12mm)1%



- 東捨場(A-A')**
- I層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~190mm)7%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII1層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~250mm)15%、炭化物(φ1~2mm)10%
  - KIII1ア層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~150mm)7%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII2層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~190mm)10%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - 地山 褐色土(10YR4/4) 礫(φ10~100mm)10%



- 東捨場(B-B')**
- KIII1d層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~120mm)7%、炭化物(φ1~2mm)10%
  - KIII2上層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~130mm)7%、炭化物(φ1~2mm)10%
  - KIII2下層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
  - SN65 1層=焼土 赤褐色土(2.5YR4/6) 炭化物(φ1~2mm)7%
  - KIII2層 暗褐色土(10YR2/3) 礫(φ10~250mm)7%、炭化物(φ1~2mm)3%
  - 地山 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~80mm)3%
  - SN65 1層=P-2635焼土 赤褐色土(10YR4/8) 炭化物(φ1~2mm)5%
  - P-2635周辺 暗褐色土(10YR2/3) 礫(φ10~30mm)3%、炭化物(φ1~2mm)5%
  - KIII1dア層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~100mm)7%、炭化物(φ1~2mm)7%

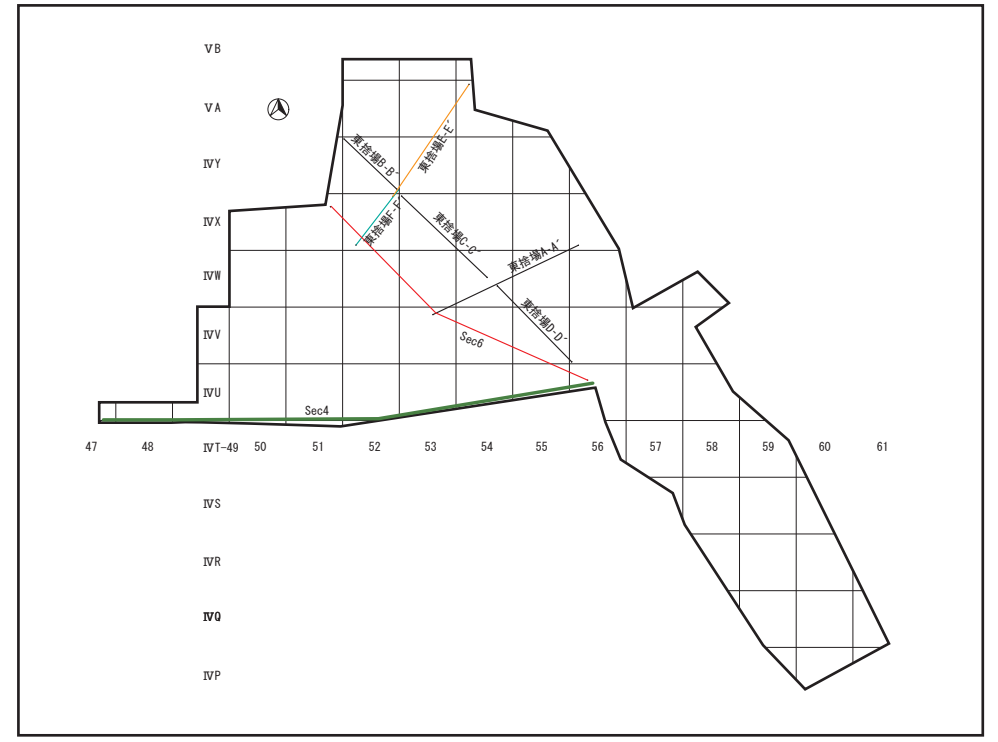


図3 東捨場地区 セクション図(1)





## 第2節 基本層序

本遺跡における基本土層とその解釈は次のとおりである。Ⅰ層：表土。Ⅱ層：本来はⅢ層であったが、耕地や道路の造成時に攪乱を受けた部分。Ⅲ層：耕作等による新しい時代の攪乱を受けていない縄文時代の堆積層。漸移層：Ⅲ層とⅣ層の間にある、遺物を含まない自然堆積土。Ⅳ層：段丘堆積物。いわゆる地山（無遺物層）。地山については深掘りを行った地点が少なく、また地点ごとに様相が異なるため、地山内の堆積順序あるいは年代については情報が不足している。このため、地山は基本的にⅣ層と表記し、必要に応じて「Ⅳ層（ローム）」のように（ ）内に土質を記した。ただし、東捨場においてはSec4の記録でⅣ層をローム、Ⅴ層を礫混じりロームとしており、図3ではⅤ層という表記を残した。

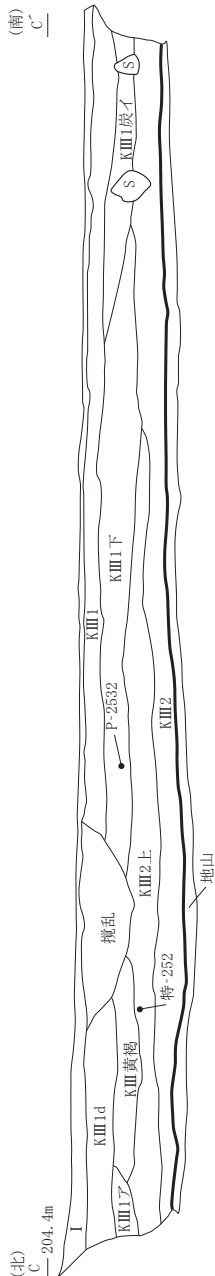
2011年調査の所見では、調査区（現南捨場）の東端辺りではⅢ層の遺物が少なくなり、色調も黒または黒褐色であったものが、灰褐色に近くなっていた。このため、調査区東端付近の遺物包含層をⅢ層として連続させるか新しい層名を付すかという問題が生じたものの、決着がつかないまま2013年の調査を迎えたため、当面の措置として仮Ⅲ層とすることにして調査を開始した。最終的に遺跡内の他の地点においても2011年調査区Ⅲ層との連続が確認できない遺物包含層が発見され、これらをすべてⅢ層としたことにより仮という文字は意味を失ったが、遺物への注記をKⅢ層としたため、以下の記述はKⅢ層で統一する。包含層は大きくは上下に分かれる見通しを得たため、上部をKⅢ1層、下部をKⅢ2層に区分した。両層は地点により細分されるため、数字の後に記号を付してKⅢ1d層のように表記した。KⅢ1・KⅢ2の両大別層とも晩期3期を含んでおり、層ごとの厳密な堆積時期を確定することはできなかった。土層図作成前の取り上げ遺物は、1・2と区分せず、KⅢ層とした場合がある。また、取り上げ層位で下層というのは、下位という意味で用いている。つまりKⅢ下層はKⅢ層下位という意味で、土層図には表れていないことがある。

本地区におけるⅠ・Ⅱ層は薄い部分が多く、地表下20cmほどで包含層に達する。包含層（KⅢ層）は50～90cmの堆積がある。包含層の形成は縄文時代後期後葉に開始され、それ以前の遺物・遺構はなく土地利用の痕跡は確認できない。包含層の下部は地山で、土質は黄褐色ロームである。包含層と地山との境に明瞭な漸移層は確認できない。一部に包含層形成前の風倒木痕が確認される。

地山の標高は、Sec4で203.7m、Sec6で203.8m、Aラインで203.6mとほぼ平坦だが、Eラインでは西端が203.5m、東端が203.1mである。川原平(4)遺跡の東捨場延長地区ではBライン西端が203.6m、東端が203.2mである。以上から、東捨場地区周辺の旧地形はおおむね平坦であるが、南西がやや高く、北西が低い。50～90cmの厚さをもつ包含層は各所でほぼ水平に堆積しており、最高所はSec4の204.4m、AおよびEラインで204.2mである。川原平(4)遺跡の東捨場延長地区では包含層の層厚が最大でも50cm、最高所は同Bラインで203.9mと、(1)遺跡の方が(4)遺跡より高い。包含層は居住域から離れるに従って厚さを減じているといえる。東捨場から東捨場延長地区にかけての地山のエレベーションは図5に示した。

(岡本)

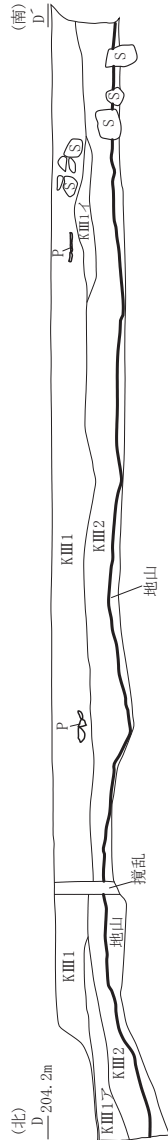
東捨場セクC-C' (S=1/50)



東捨場(C-C')

- I層 黒褐色土(10YR3/2) 礫(φ10~50mm)10%、炭化物(φ1~2mm)5%
- カクラン 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~100mm)7%、炭化物(φ1~5mm)20%
- KIII1層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~130mm)10%、炭化物(φ1~2mm)7%
- KIII1d層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~50mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
- KIII1下層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~140mm)15%、炭化物(φ1~2mm)10%
- KIII1a層 黒色土(10YR2/1) 礫(φ10~150mm)7%、炭化物(φ1~4mm)25%
- KIII1b層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~40mm)5%、炭化物(φ1~2mm)5%
- KIII1c層 褐色土(10YR4/4) 礫(φ10~140mm)5%、炭化物(φ1~2mm)10%
- KIII2上層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)10%、炭化物(φ1~2mm)7%
- KIII2層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~140mm)7%、炭化物(φ1~2mm)7%
- 地山 褐色土(10YR4/4) 礫(φ10~50mm)7%

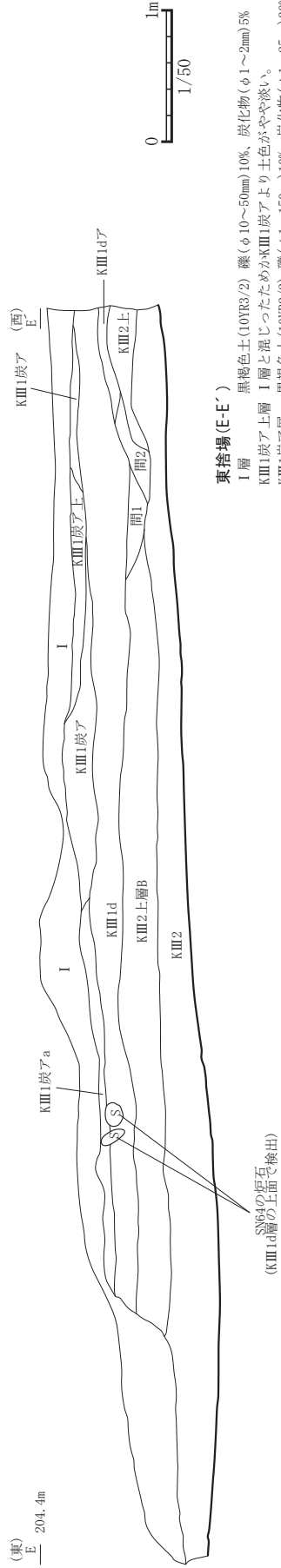
東捨場セクD-D' (S=1/50)



東捨場(D-D')

- KIII1層 黒褐色土(10YR2/3) 礫(φ10~140mm)15%、炭化物(φ1~2mm)10%
- KIII1a層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~40mm)5%、炭化物(φ1~2mm)5%
- KIII1b層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~30mm)3%、炭化物(φ1~2mm)3%
- KIII2層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~200mm)10%、炭化物(φ1~2mm)7%
- 地山 褐色土(10YR4/4) 礫(φ10~50mm)7%

東捨場セクE-E' (S=1/50)

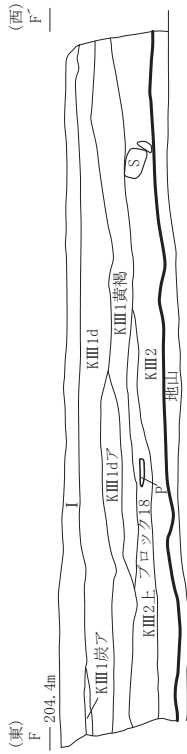


東捨場(E-E')

- I層 黒褐色土(10YR3/2) 礫(φ10~50mm)10%、炭化物(φ1~2mm)5%
- KIII1炭了上層 I層と混じったためKIII1炭了より土色がやや淡い、
- KIII1炭了層 黒褐色土(10YR2/2) 礫(φ1~150mm)10%、炭化物(φ1~25mm)30%
- KIII1炭了a層 KIII1炭了と同じ層と思われるが、炭が多く、やや黒っぽい、
- KIII1d層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~50mm)5%、炭化物(φ1~2mm)7%
- KIII1c層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~80mm)7%、炭化物(φ1~2mm)10%
- 間1層 黒褐色土(10YR2/3) 礫(φ1~70mm)5%、炭化物(φ1~15mm)1%
- 間2層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ1~15mm)1%、炭化物(φ1~10mm)2%
- KIII2上層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~160mm)10%、炭化物(φ1~2mm)10%
- KIII2上層B 黒褐色土(10YR2/3) 礫(φ1~190mm)20%、炭化物(φ1~20mm)1%
- KIII2層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~200mm)10%、炭化物(φ1~2mm)7%

図4 東捨場地区 セクション図(2)

東捨場セクF-F' (S=1/50)



東捨場(F-F')

- I層 褐色土 (10YR3/2) 礫 (φ 10~50mm) 3%, 炭化物 (φ 1~2mm) 7%
- KIII1黄ア層 褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ 10~30mm) 2%, 炭化物 (φ 1~2mm) 5%
- KIII1d層 褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ 10~100mm) 7%, 炭化物 (φ 1~2mm) 10%
- KIII1dア層 褐色土 (10YR3/4) 礫 (φ 10~80mm) 7%, 炭化物 (φ 1~2mm) 10%
- KIII1黄地層 褐色土 (10YR4/4) 礫 (φ 10~120mm) 5%, 炭化物 (φ 1~2mm) 10%
- KIII2上層 黒褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ 10~120mm) 10%, 炭化物 (φ 1~2mm) 10%
- KIII2層 黒褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ 10~160mm) 15%, 炭化物 (φ 1~2mm) 7%
- 地山 褐色土 (10YR4/4) 礫 (φ 10~150mm) 15%



地山エレベーション (S=1/200)



東捨場延長



地山エレベーションの位置  
(左図赤線: S=1/400)

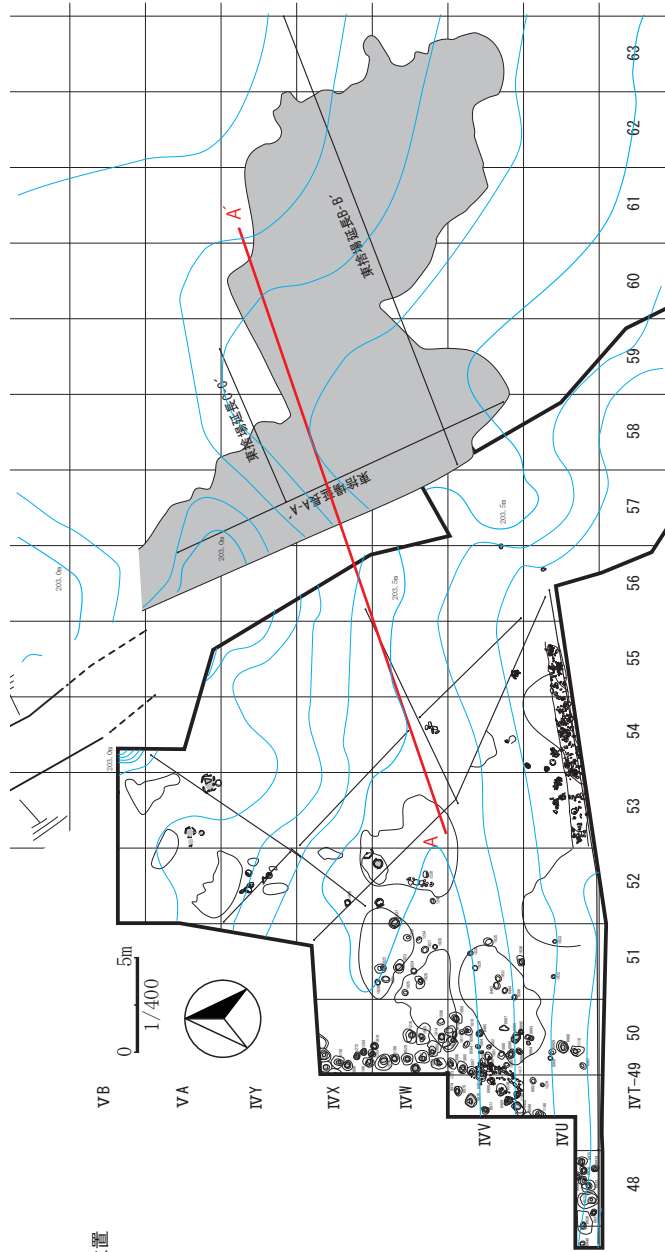


図5 東捨場地区 セクション図(3)

## 第2章 東捨場地区の検出遺構と出土遺物

### 第1節 遺構

本編で報告する遺構は、配石遺構4基、土器埋設遺構19基、焼土遺構9基、ピット2基である。欠番はない。遺構番号は遺跡全体での通し番号であり、本編にない番号の遺構は別地区で検出されたものである。整理過程で新たに遺構番号を付したものは、各項で個別に示した。

#### 1 配石遺構

**第15号配石遺構** (SQ15 遺構：図6、写真9 遺物：図6、写真19)

【位置・確認・重複】IVV-49・50グリッドに位置し、KⅢ層掘削中に確認した。第108a号建物跡(SI108a)に切られているため、配石の西側は原形をとどめていないと思われる。なお、包含層を地山まで掘り下げた後にピットを確認しており、Pit0490・1003のように配石下部において単独で検出された柱穴には本遺構より古いものがあることは確かだが、本遺構と周辺ピットとの先後関係は明瞭でない。

【規模・形状】3.01×0.98mで、南北に長い。頭大の石で方形に組んである。東側は、扁平な礫を立てた状態でほぼ一直線に配置している。列状に配置された礫をおおむね東限として、周囲および西側に礫が散漫に確認される。

【堆積土】遺構を短軸方向に断ち割ったが、明瞭な礫掘方や下部の掘り込みは確認できない。1層は礫下部にある。2・3層は東捨場の堆積土であり、本遺構に直接の関係はもたない。遺物は覆土として取り上げているが、掘り込みをもたない遺構なので、遺構確認または配石の下部で出土したものである。

【出土遺物】土器はすべて破片で、出土量は500gほどである。写19-1は十腰内IV群で、報告書Ⅱ-図118-17と同一個体のようなが接合しない。写19-2は晩期4～5期の鉢である。このほか時期が分かる遺物としては後期7-4期・8期、晩期1b期・2期・3期の有文土器が少量ずつ出土している。写19-12は粗粒玄武岩製の磨製石斧で、刃部と基部が欠損している。

【小結】写19-2から、晩期4～5期に構築された可能性があるが、晩期中葉以降と考えられる第108a号建物跡(SI108a)以前の配石遺構である。(高橋)

**第34号配石遺構** (SQ34 遺構：図6、写真9 遺物：図6、写真19)

【位置・確認】IVW-54グリッドに位置し、KⅢ1層掘削開始直後に確認した。

【規模・形状】長軸10～30cmの礫6個が、80×40cmの範囲に検出された。遺構周辺には礫が少ないことから人為的に配置されたものと考えられるが、何らかの形状を意図した配置には見えない。S4以外は扁平な礫で構成される。S-5は石皿を転用したものである。

【堆積土】礫を設置した掘方は確認できない。礫の接地面が揃っており、KⅢ1層の中の平坦な場所に礫を置いたと考えられる。

【出土遺物】遺構に直接伴う遺物はなく、配石の下から出土したP-2456は非掲載である。周辺では礫設置レベルの下位から晩期3期の土器が出土している。写真19-13は配石S-5として使われた石皿である。

【小結】検出層および周辺遺物から晩期3期の遺構と考えられる。(岡本)

#### 第48号配石遺構 (SQ48 (旧ブロック1) 遺構：図7、写真10・11 遺物：図7、写真20)

【位置・確認・重複】IVU-54・55グリッドに位置する。表土を除去したところ、KⅢ1層で遺物と礫の集中を確認した。調査中は、遺物の集中からブロック1としたが、礫がまとまって分布していることから、整理過程で配石遺構に変更した。西側に第82号土器埋設遺構が重複する。周辺に土器埋設遺構や、潰れた状態の深鉢形土器などが複数確認されている。

【規模・形状】3.92×2.46mの楕円形である。セクション4には、配石が見られないうえ、平成23年度調査の所見で一帯に遺構・遺物は希薄であるので、南限はセクション4のベルトまでと考えられる。拳大から頭大の礫によって構成されている。

【堆積土】掘り込みなどは確認できなかった。

【出土遺物】ブロック1として取り上げた遺構周囲の土器は、重量0.7kgである。ほとんどが晩期3期に属する。ブロック1は上下に分けて取り上げられているが、ともに晩期3期の土器が出土しており時期差は認められない。晩期3期の一括資料であるが、完形にならないものが多い。

【小結】周辺から出土した土器により、晩期3期頃に構築されたと考えられる。(高橋)

#### 第49号配石遺構 (SQ49 遺構：図6、写真9)

【位置・確認・重複】IVW-52グリッドに位置する。ブロック6の範囲内にあり、その検出面で確認された。

【規模・形状】1.45×0.42mで、一列に礫が並んでいる。

【堆積土】掘り込みはもたず、KⅢ1f層の中に礫が並ぶ。

【出土遺物】遺構に直接伴う遺物はない。

【小結】ブロック6の出土遺物から、晩期前葉以前に構築されたと考えられる。(高橋)

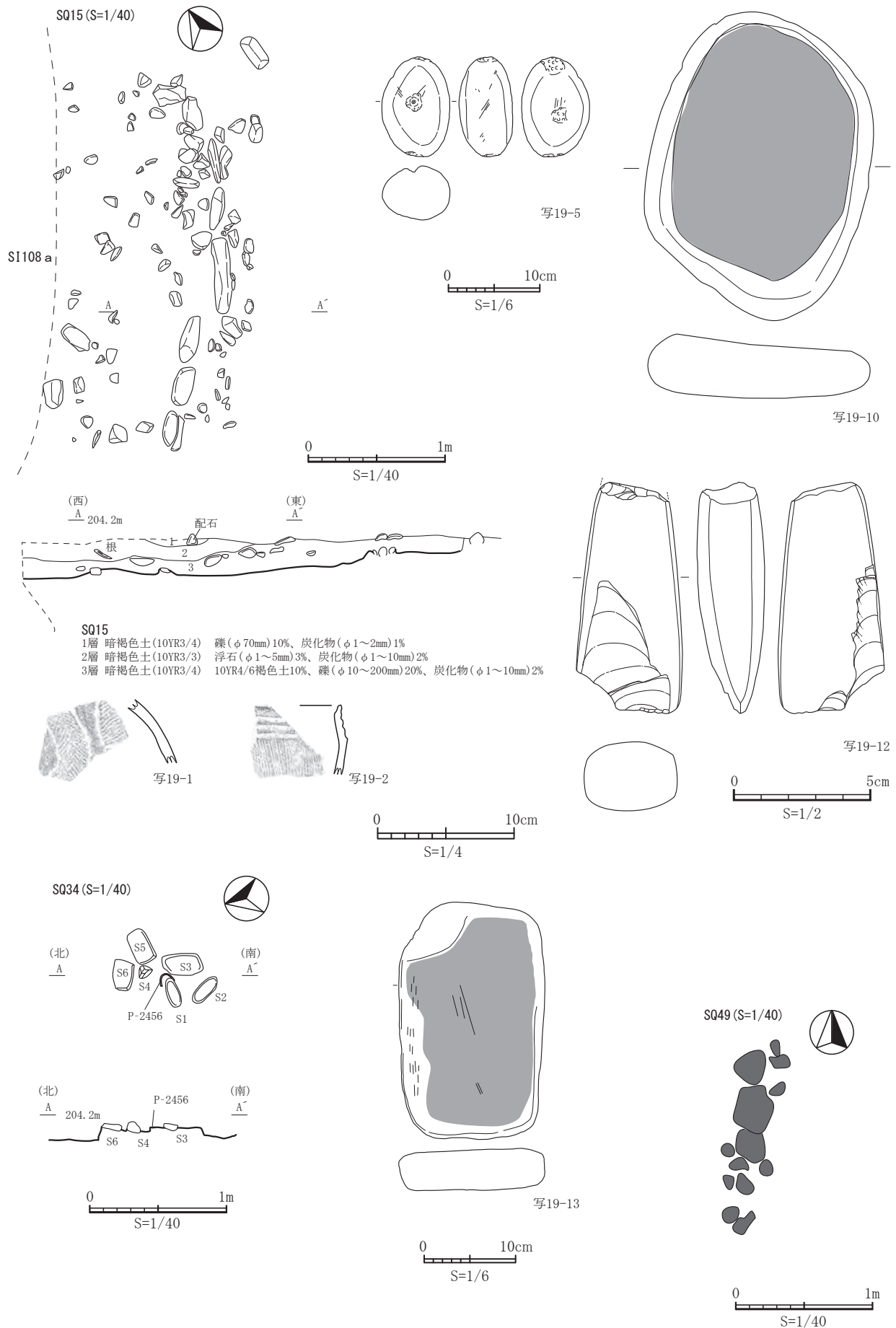


図6 東捨場地区 配石遺構(1)





図7 東捨場地区 配石遺構(2)





## 2 土器埋設遺構

第48号配石遺構の周辺で多数確認できた。すべて倒立状態に設置されているが、セクションを観察する限り、掘方が確認できなかった。第49号土器埋設遺構に長いトレンチを入れ、堆積状況を確認したところ(図10)、旧地表面と思われる層(KⅢ2層)の境に口縁部が乗せて設置してあることが判明した。先行して調査した他の土器埋設遺構についても、写真で確認したところ、すべて同じような状態であった。また同時期の土器の多くが、土器埋設遺構と同じレベルで確認できた。これらの特徴を鑑みて、東捨場で確認できた土器埋設遺構は、土坑を構築し、その中に設置したのではなく、地面に逆さまの状態に設置したと推定される。

これ以外に、近くで押しつぶされた様に出土した深鉢形土器も、埋設土器と認定しなかったが、本来は倒立状態で設置していたかもしれない。ただ、倒立状態であることを積極的に言えるだけの情報はなかったため、以下、調査時に倒立状態で確認できた資料を土器埋設遺構として報告する。

類例は、岩手県北上市九年橋遺跡第8次調査、1号埋設土器である(藤村1985)。深鉢形土器を逆さまの状態に地山面上に置いたものである。土器周辺には掘り込み面等は確認されないため、同報告書では、意図的に置かれたものかどうかは不明であると報告している。また、川原平(1)遺跡に隣接する川原平(4)遺跡においても、第27号土器埋設遺構が同じ特徴を有しており、東捨場一帯にこのような遺構がまとまって検出されたと言えよう。(高橋)

### 第37号土器埋設遺構 (SR37 遺構：図8、写真14)

【位置・確認】 IVW-52グリッドに位置する。KⅢ1d層で確認された。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部は、KⅢ層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったため、資料化していない。

【堆積土】 土器内は褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 ブロック6の近辺なので晩期前葉以前の可能性もあるが、このような埋設状態の土器は、晩期中葉に比定されるものが多いので、時期は新しくなる可能性もある。(高橋)

### 第38号～第40号土器埋設遺構 (SR38・SR39・SR40 遺構：写真14 遺物：図11、写真21)

IVW-52グリッドに位置する。半截したところ、掘方が確認できなかった点と、土器が断片だったので、現場では土器埋設遺構と認定せず、SR番号をつけて取り上げた。図面などの記録は取らなかった。

その前で調査したSR37については、掘方が見えなかったが、土器が逆さまに置かれた状態であったので、掘方が確認できないのは、土の影響と考えた。しかし、その後SR41など、掘方が不明確なものが、多数確認でき、SR38～40も類似した遺構の可能性があると判断し、土器埋設遺構の所に掲載した。ただ、土器の時期が晩期前葉や、正位の状態で確認できたものもあるなど、SR37、SR41以降と様相が異なる。そのため、土器埋設遺構でない可能性は高い。

(高橋)

**第41号土器埋設遺構** (SR41 遺構：図8、写真14 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】 IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部は推定で、KⅢ2層上面に接している。土器は口唇部に突起を持つ深鉢形土器である。

【堆積土】 土器内は黄褐色・褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第42号土器埋設遺構** (SR42 遺構：図8、写真14 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】 IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部は推定で、KⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったため、資料化していない。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 深鉢形土器の内側に、台付鉢形土器(写21-4)が確認できた。石鏃(写21-5)が粗製深鉢の下で出土しているが、構築場所が捨場であることから積極的に埋納したものかどうかは疑問がある。

【小結】 土器内部から出土した台付鉢形土器から、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第43号土器埋設遺構** (SR43 遺構：図8、写真14 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】 IVV-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の北側に位置する。KⅢ層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く鉢形土器が逆さまに置かれている。その南に土器(写21-6)が散らばるような状態で出土した。口縁部は推定で、KⅢ2層上面に接している。土器は口縁部に平行沈線を持つ。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 出土土器が晩期2～3期であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第44号土器埋設遺構** (SR44 遺構：図8、写真15)

【位置】 IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったため、資料化していない。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】 第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。(高橋)

**第45号土器埋設遺構** (SR45 遺構：図8、写真15 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。複数個体の深鉢形土器(図11-2～5・写21-7)がまとまって出土している。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 土器は後期後葉から晩期前葉であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。(高橋)

**第46号土器埋設遺構** (SR46 遺構：図9、写真15 遺物：図12、写真21)

【位置】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。2個体の深鉢形土器(写21-8・9)で構成されている。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。晩期2・3期の土器片と剥片が少量出土しているが、図化していない。

【小結】 晩期中葉の埋設土器と考えられる。(高橋)

**第47号土器埋設遺構** (SR47 遺構：図9、写真15 遺物：図12、写真21)

【位置】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。深鉢形土器であるが、本体の接合・復元ができなかったので、底部(写21-10)のみ資料化した。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 出土土器が晩期2～3期であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。(高橋)

**第48号土器埋設遺構** (SR48 遺構：図10、写真15 遺物：図12、写真21)

【位置・確認】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。土器は口唇部に突起を持つ深鉢形土器である(写21-11)。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

#### 第49号土器埋設遺構 (SR49 遺構：図10 遺物：図12、写真21)

【位置・確認】IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。KIII1層で確認した。

【重複】第48号配石遺構の範囲内にある。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。深鉢形土器(図12-1)と台付鉢形土器(写21-13)であるが、本体の接合・復元ができなかったので、底部のみ資料化した。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

#### 第77号土器埋設遺構 (SR77 遺構：図9)

【位置】IVY-52グリッドに位置する。KIII2上層を掘り込んで埋設されている。P-2634として取り上げた。整理過程で遺構番号を付した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。口縁・底部を欠く粗製深鉢が正位で出土した。土器は資料化していない。

【小結】周囲の焼土遺構との関連から、晩期前葉の可能性が高い。

(岡本)

#### 第78号土器埋設遺構 (SR78 遺構：図9)

【位置】IVY-52グリッドに位置する。KIII2上層を掘り込んで埋設されている。P-2675として取り上げた。整理過程で遺構番号を付した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。口縁・底部を欠く粗製深鉢が逆位で出土した。土器は資料化していない。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】周囲の焼土遺構との関連から、晩期前葉の可能性が高い。

(岡本)

#### 第79号土器埋設遺構 (SR79 遺構：図9)

【位置】IVY-52グリッドに位置する。KIII2上層を掘り込んで埋設されている。P-2676として取り上げた。整理過程で遺構番号を付した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。口縁・底部を欠く粗製深鉢が正位で出土した。土器は資料化していない。

【小結】周囲の焼土遺構との関連から、晩期前葉の可能性が高い。

(岡本)



**第80号土器埋設遺構** (SR80 遺構：図9 遺物：図12、写真21)

【位置】 IVV-55グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。土器は口縁部に羊歯状文と突起を持つ鉢形土器である (写21-14)。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 土器の特徴から、晩期3期と考えられる。 (高橋)

**第81号土器埋設遺構** (SR81 遺構：図9)

【位置】 IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったの  
で、資料化していない。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。 (高橋)

**第82号土器埋設遺構** (SR82 図7)

【位置】 IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったの  
で、資料化していない。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。 (高橋)

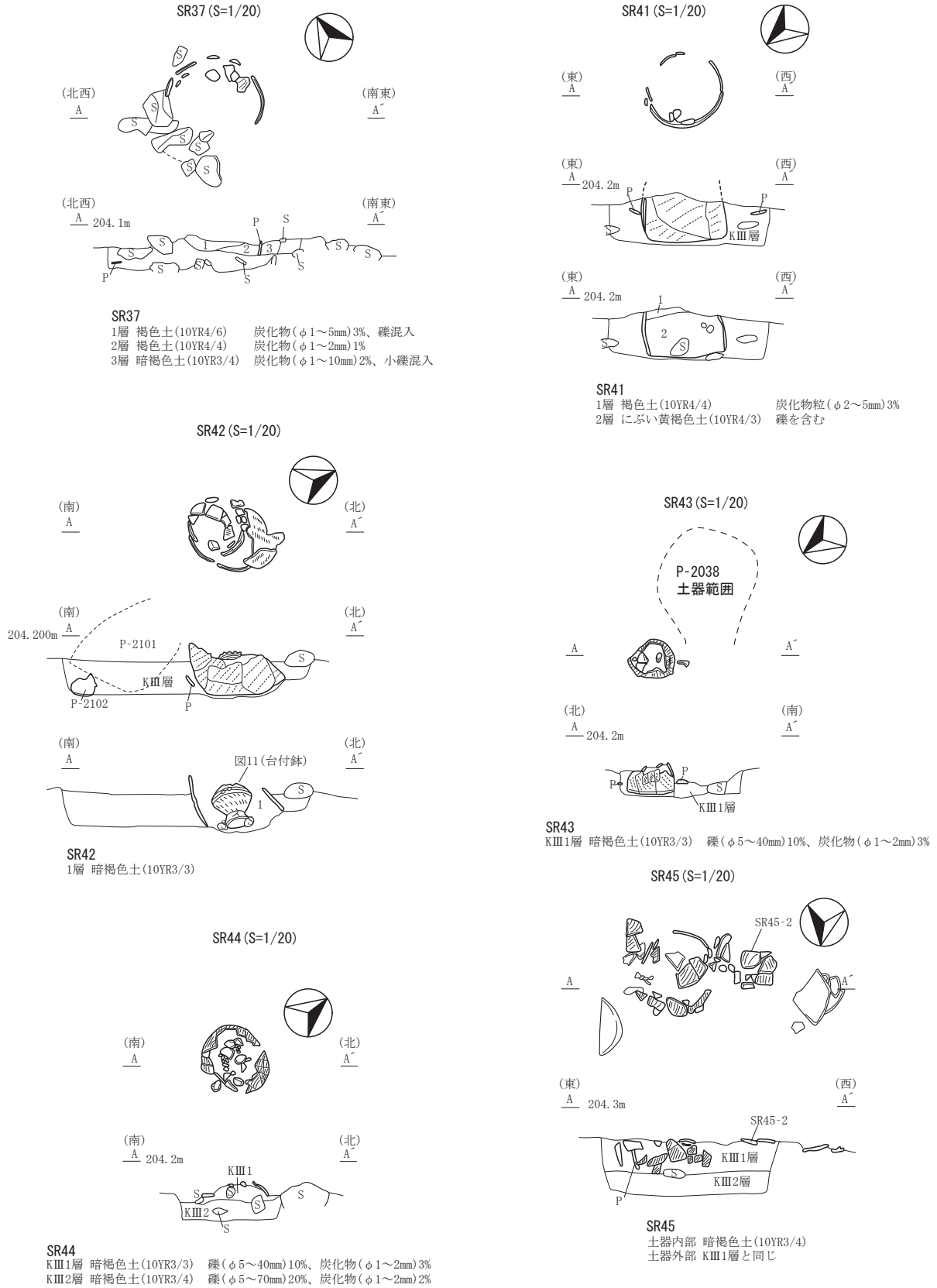


図8 東捨場地区 土器埋設遺構(1)

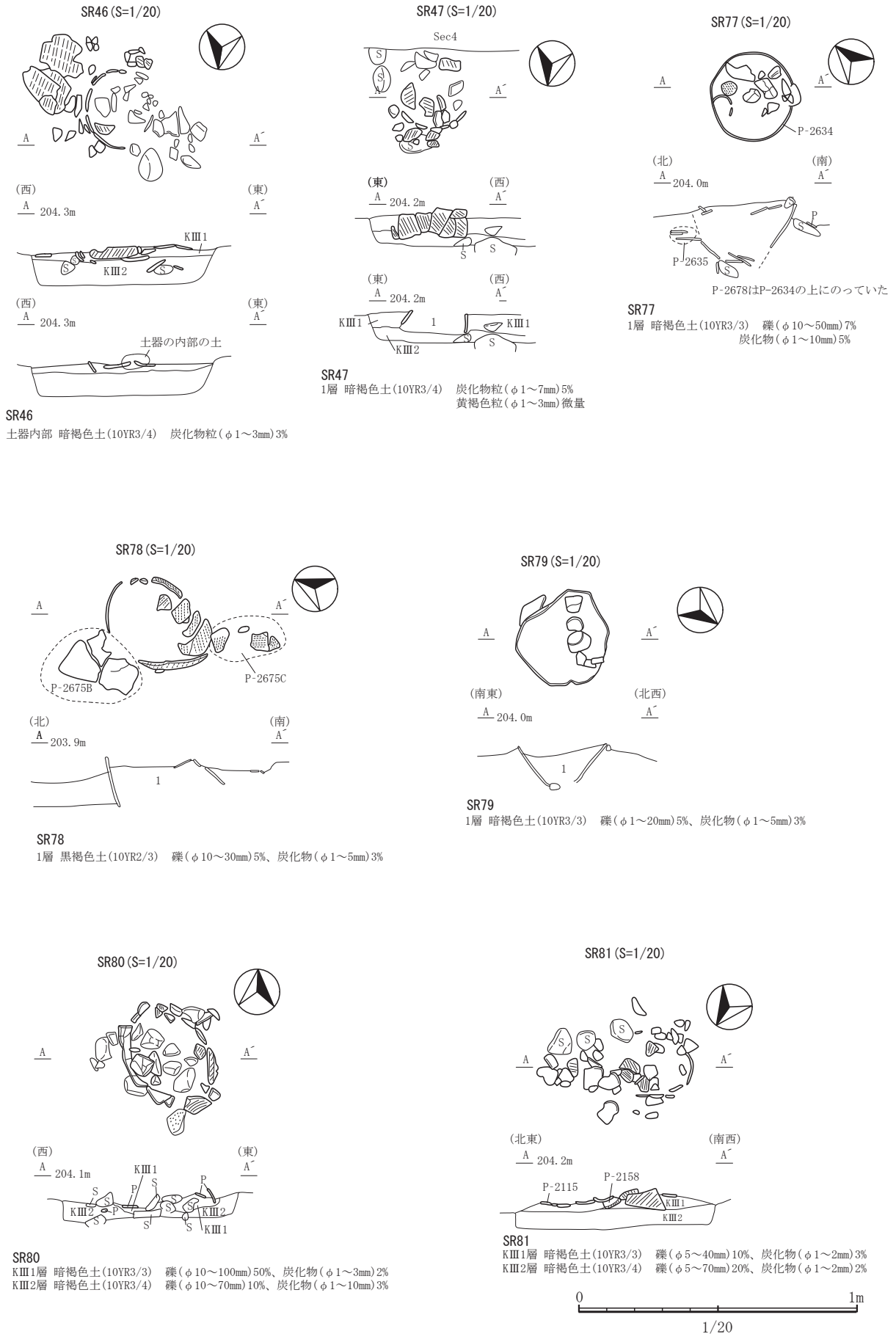
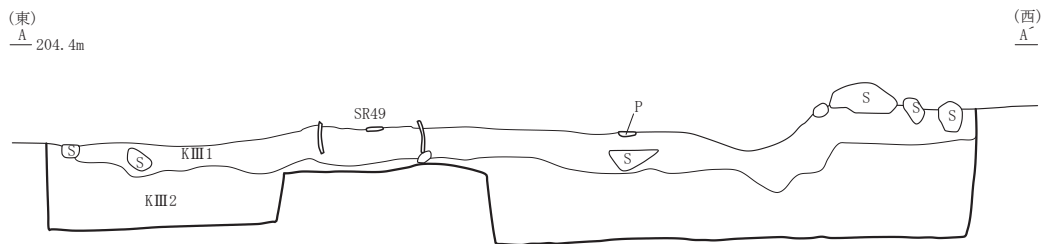
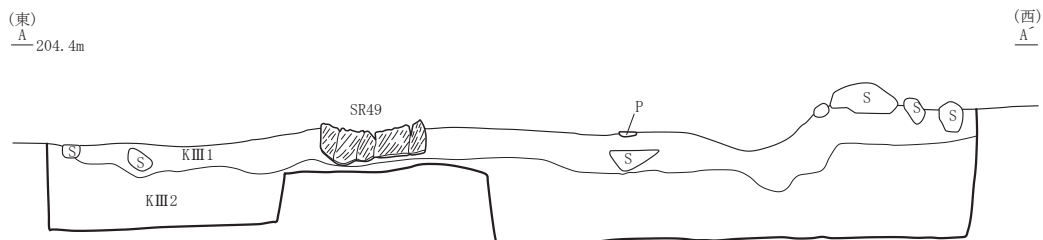
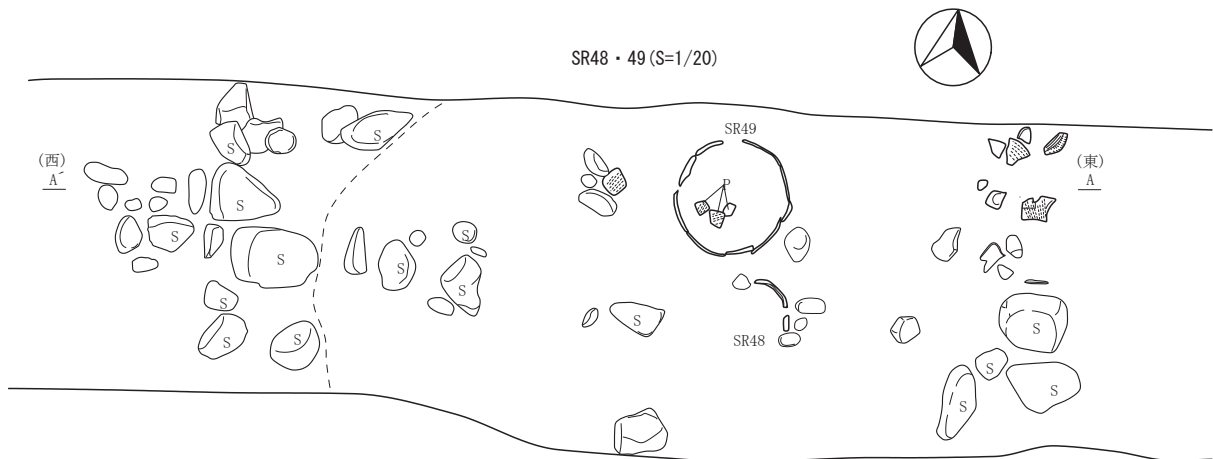


図9 東捨場地区 土器埋設遺構(2)



**SR48・49**  
 KIII1層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~130mm)15%、炭化物(φ1~10mm)3%  
 KIII2層 褐色土(10YR4/4) 10YR3/4暗褐色土20%、礫(φ10~80mm)5%、炭化物(φ1~10mm)2%  
 土器内部 暗褐色土(10YR3/3) 礫1%含む、炭化物3%

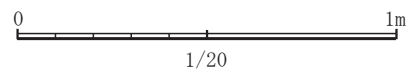


図10 東捨場地区 土器埋設遺構(3)



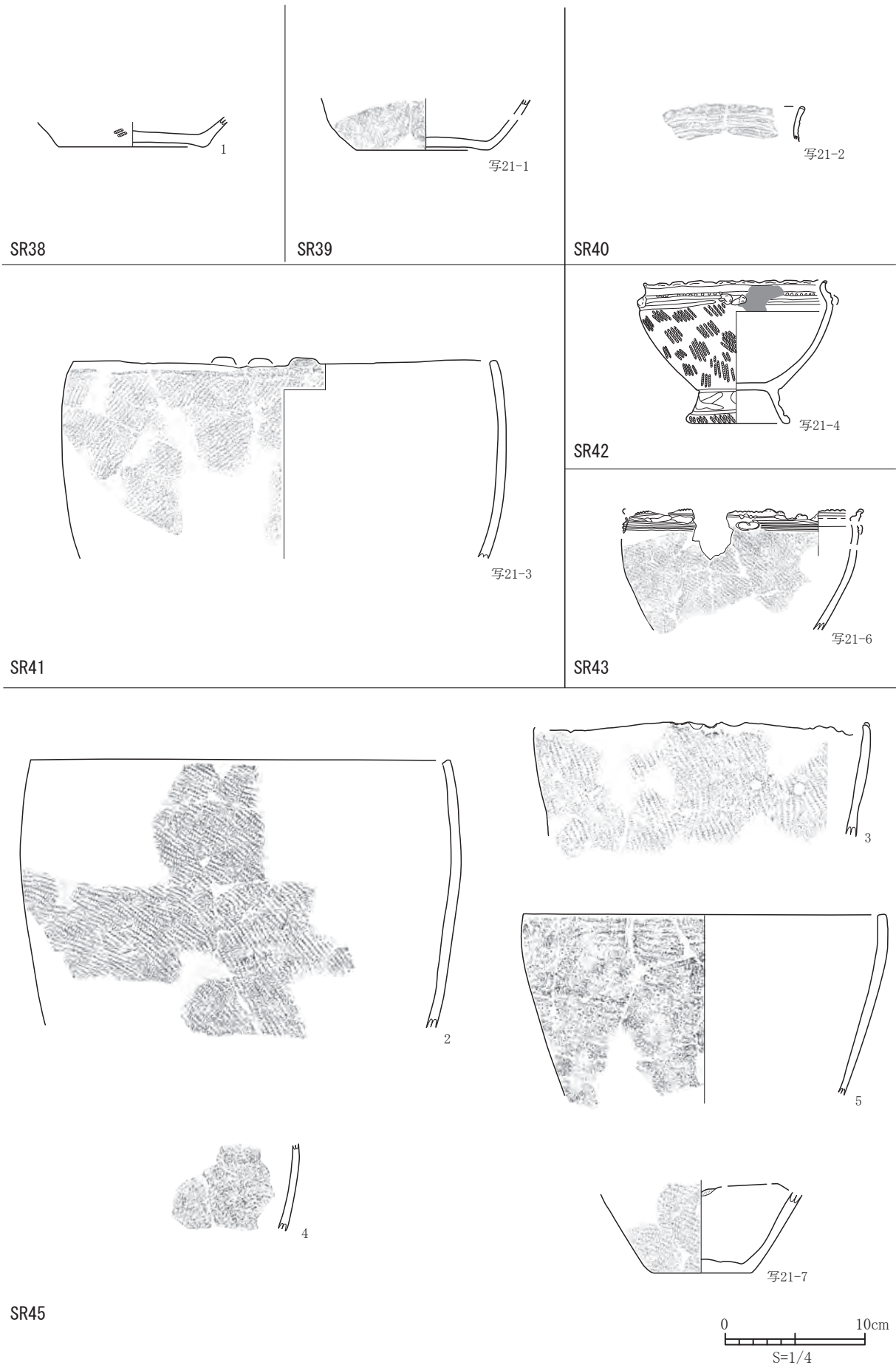


図11 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物 (1)

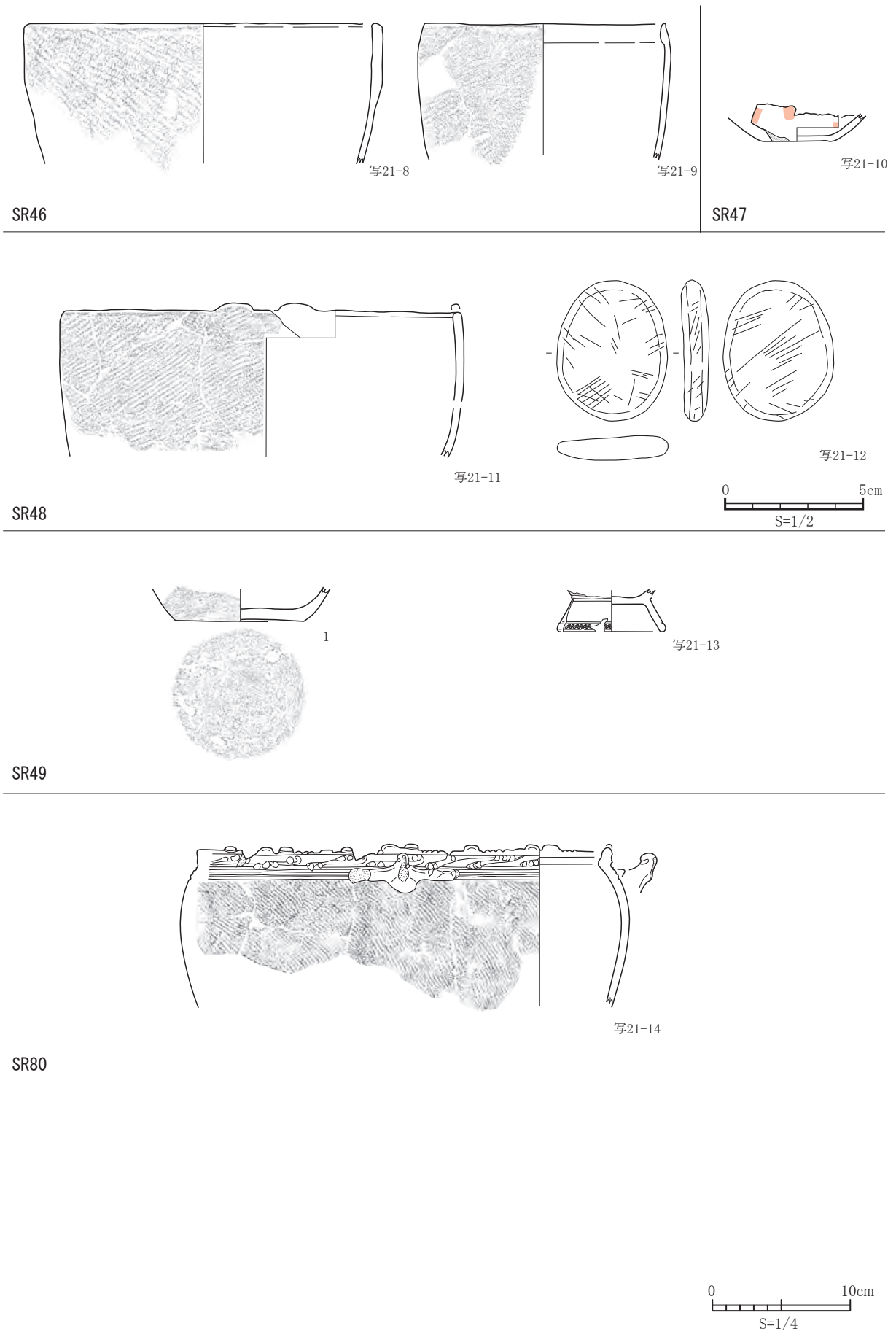


図12 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(2)

### 3 焼土遺構

**第58号焼土遺構** (SN58 遺構：図13、写真6 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】 IVW-52グリッドのKⅢ1d層で確認された。検出面では炉外にも炭化物や焼土の散布が確認できる。炉の周囲に貼床や硬化面は確認できなかった。SN59に隣接し同一面で検出されたが、直接の切り合いはなく、先後関係は不明である。ブロック17と重複し、本遺構が新しい。

【規模・形状】 石囲炉で、炉石は完存している。長径10～25cmの石9個を外径50cmほどの円形に配置しており、その内部を炉外よりも5cmほど掘り窪めて火床面としている。火床面は直径30cmの円形で、炉石には明瞭な被熱痕跡はない。

【堆積土】 断面図の※層は、炉外に広がる炭化物を含む焼土層で、取り上げ層位は周辺焼土である。1層は遺構廃絶後の堆積土で、焼土や炭化物、土器を含む。2層は遺構の構築に伴う攪乱を受けていないKⅢ1d層で、上面が被熱している。被熱の深さは3cmである。

【出土遺物】 土器は小片のみで、遺構に伴うというより当時の地表に散らばっていたものではないかと考えている。写22-1は1層で出土しており、晩期1a期の可能性がある。写22-2・3は周辺焼土で出土した。2は晩期前葉に属す。周辺出土炭化材C-1はクリと同定され（樹種同定No.170）、炭素年代測定結果は2910±20yrBP (KAWA(1)-69) である。また、1層出土焼獣骨（種は同定できず）の炭素年代測定結果は、2850±20yrBP (KAWA(1)-164) であった。

【小結】 出土土器から晩期前葉以降に構築されたものである。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期と晩期1b期の土器が出土しており、矛盾はない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、出土土器や炭素年代測定結果から考えて、晩期前葉の遺構と判断しておきたい。

**第59号焼土遺構** (SN59 遺構：図13、写真6 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】 IVX-52グリッドのKⅢ1d層で確認した。炉の周囲に貼床や硬化面は確認できなかった。SN58に隣接し同一面で検出されたが、直接の切り合いはなく、先後関係は不明である。ブロック17と重複し、本遺構が新しい。

【規模・形状】 石囲炉である。北半の石は抜き取られたようで、3個の炉石が残存している。確認できる最大外径は65cmである。明瞭な火床面は確認できず、炉石も被熱していない。

【堆積土】 堆積土中に焼土は確認できない。炉石内外に同質の土が認められ、KⅢ1d層を10cmほど掘り窪めて構築している可能性がある。セクションラインでは炉石の掘方は確認できない。炉石の内側を1層（炉内）、外側を2層とした。平面図の炭化物位置は炉底面の可能性がある高さである。

【出土遺物】 土器は小片のみで、遺構に伴うというより当時の地表に散らばっていたものではないかと考えている。写22-5・6は炉内出土で、いずれも晩期1b期と考えられる。写22-4は炉外出土で、晩期の粗製土器である。1層出土炭化材はクリと同定され（樹種同定No.171）、年代測定結果は2850±20yrBP (KAWA(1)-70) である。平面図に出土位置を示した炉底面出土炭化材の年代測定結果は2830±20yrBP (KAWA(1)-71) である。

【小結】 出土土器から晩期1b期以降に構築されたものである。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期2期の土器が出土しており、矛盾はない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土している

ため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、出土土器や炭素年代測定結果から考えて、晩期前葉の遺構と判断しておきたい。

#### 第60号焼土遺構 (SN60 遺構：図13、写真7・8 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】 IVY-52グリッドのKⅢ1d層で確認した。炉の周囲に貼床や硬化面は確認できなかった。SN65・66とは直接重複しないが、両者より上位の層準で検出されており、本遺構が新しい。

【規模・形状】 地床炉で、掘り込みは伴わない。火床面は55×40cmの楕円形である。

【堆積土】 掘り込みをもたないため、炉に伴う堆積層はない。KⅢ1d層が被熱しており、1層は被熱部分で、被熱の深さは5cmである。2層はKⅢ1d層である。

【出土遺物】 焼土脇で写22-7が出土しており、後期後葉～晩期前葉の台付鉢の台部である。遺構に伴うものではなく、機能時の地表面にあったものであろう。このほかに時期の分かる破片は出土していない。

【小結】 出土土器から晩期前葉以降に構築されたものである。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており矛盾はない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、直近の出土土器から、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第61号焼土遺構 (SN61 遺構：図14、写真7・8 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】 VA-53グリッドのKⅢ1d層で確認した。SN62と同一平面であるが、直接重複しないため新旧関係は不明である。SN63より検出標高が高いため、本遺構が新しい可能性がある。

【規模・形状】 石囲炉である。炉石は6個確認でき、全周していない。明瞭な抜き取り痕が確認できないので、当初から全周していなかった可能性もある。現存する炉石の掘方も確認できなかった。炉の外径は直径60cm、火床面は40×30cmの楕円形である。

【堆積土】 1・2層は廃絶後の堆積土である。2層の厚さから考えて、炉内は周囲よりやや掘り窪めていた可能性が高い。3層はKⅢ1d層が被熱したもので、被熱の深さは7cmである。

【出土遺物】 2・3層から土器片が少量出土したが、時期の分かるものはない。写22-10・11は1層で出土しており、炉の廃絶後の土器と思われる。10は晩期、11は晩期～中葉の粗製深鉢である。2層出土焼獣骨（種は同定できず）の炭素年代測定結果は、2630±20yrBP (KAWA(1)-166) である。写22-8・9は炉石に転用された礫石器である。

【小結】 本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており、遺構の構築はそれ以後と判断できる。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、周囲の焼土遺構との関係から、晩期前葉の遺構と判断する。焼獣骨の年代測定結果は、遺構の推定時期に対してやや新しい年代を示す。

#### 第62号焼土遺構 (SN62 遺構：図14、写真7・8)

【位置・確認・重複】 VA-53グリッドのKⅢ1d層で確認した。SN61と同一平面であるが、直接重複しないため新旧関係は不明である。SN63より検出標高が高いため、本遺構が新しい可能性がある。

【規模・形状】 火床面の西側に2点の石が確認できるが、炉石とするには小ぶりで、火床面を囲むよ



うにも見えないため、本遺構は地床炉と判断する。火床面は直径25cmの円形である。

【堆積土】炉に伴う堆積層はなく、構築にあたって掘り窪めた痕跡もない。1層はKⅢ1d層が被熱したもので、被熱の深さは5cmである。

【出土遺物】なし。

【小結】本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており、遺構の構築はそれ以後と判断できる。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、周囲の焼土遺構との関係から、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第63号焼土遺構 (SN63 遺構：図14、写真8 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】VA-53グリッドのKⅢ1d層で確認した。SN61・62よりも下位に位置する。

【規模・形状・土器埋設状況】土器埋設炉で、煮沸痕跡のある粗製深鉢を転用し、正位に埋設している。土器の周囲にも焼土が確認された。埋設された写22-12は晩期の深鉢である。底部が完全な平底であることから、晩期前葉以降と判断される。口縁は確認されないが、埋設時に打ち欠かれたものか、埋設後に欠損したものかは不明である。

【堆積土】炉体土器よりも一回り大きな掘方をもち、炉体土器の底部は掘方底面には接していない。炉内堆積土は3細分され、焼土は土器の中位で確認された。

【出土遺物】炉内堆積土から後期8期と晩期2期の土器片が少量出土した。機能時の混入である。

【小結】炉内出土土器から晩期2期以降と判断でき、炉体土器の底部形状が平底を呈することと調和的である。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており、これと矛盾しない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、積極的に中葉に下げる理由は見当たらないため、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第64号焼土遺構 (SN64 遺構：図15、写真9 遺物：図16、写真22)

【位置・確認】VA-53グリッドに位置する。2014年にセクションベルト内で確認し、2015年に精査した。KⅢ1d層上面に作られている。

【規模・形状】大小の炉石が1m×70cmの楕円形、あるいは隅丸方形に配置される。南側に位置する直径30cmほどの丸石は、炉石ではない可能性がある。炉石の配置には隙間がある。炉石には掘方を伴うが、隙間の部分では掘方が検出できないので、当初から密に配置されてはいなかったと考えられる。火床面は50×40cmの楕円形である。火床面の中央がやや窪んでおり、炉内がやや掘り窪められていた可能性がある。

【堆積土】炉に伴う堆積土は確認されず、KⅢ1d層が被熱している。被熱の深さは8cmである。

【出土遺物】1層から少量の土器片が出土している。焼土に伴うというよりも、当時の地表面にあった土器ではないかと考えられる。有文土器の時期は、後期8期と晩期1b期で、写22-13は晩期1b期の鉢である。写22-14は石皿で、火床面より上位で出土したため、本遺構に直接伴うものではないかもしれない。

【小結】出土土器から晩期1b期以降の遺構である。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土している。晩期中葉の可能性がないわけではないが、積極的に中葉に下げる理由は見当た

らないため、晩期前葉の遺構と判断する。

**第65号焼土遺構** (SN65 遺構：図15、写真9 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】2014年に確認し、2015年に精査した。IVY-52グリッドに位置し、KⅢ2上層を掘り込んで作られている。SN66・ブロック19より上位に位置しており、本遺構が新しい。

【規模・形状・土器埋設状況】火床面の周囲で土器が出土しており、土器埋設炉の可能性が高い。西半は掘りすぎたため全容がつかめないが、火床面は20×15cmの楕円形に広がるようである。底部を欠く粗製深鉢を倒立状態で埋設している。埋設された土器の下端（口縁）まで焼土が確認される。写22-15は埋設された土器本体である。煮沸痕跡のある粗製深鉢を転用している。

【堆積土】土器の周囲に土層の乱れがあり、土器に対してやや大きな掘方が想定できる。土器内に焼土があることが確認できる。

【出土遺物】埋設された土器以外の遺物は確認できない。

【小結】晩期1期までが出土しているブロック19より新しいことから、晩期前葉以降の遺構である。本グリッドのKⅢ2上層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土している。晩期中葉の可能性がないわけではないが、積極的に中葉に下げる理由は見当たらないため、晩期前葉の遺構と判断する。

**第66号焼土遺構** (SN66 遺構：図15、写真9)

【位置・確認・重複】2015年に精査した。IVY-52グリッドに位置し、KⅢ2層の上面に作られている。SN65より下位、ブロック19の上位に位置する。

【規模・形状】地床炉である。40×20cmの楕円形に火床面が広がる。

【土器埋設状況】底部を欠く粗製深鉢を倒立状態で埋設している。掘方は確認できなかった。埋設された土器の下端（口縁）まで焼土が確認される。

【堆積土】掘り込みはもたず、KⅢ2層が被熱している。被熱の深さは5cmである。

【出土遺物】なし。

【小結】晩期1期の廃棄単位であるブロック19の上位に位置するため、晩期前葉以降の遺構である。本グリッドのKⅢ2層では晩期3期までが出土しているため、遺構の帰属時期は晩期1期から晩期3期までで考える必要があるものの、周辺焼土の帰属時期から積極的に晩期中葉に下げる理由は見当たらない。ここでは晩期前葉の遺構と判断しておく。 (岡本)

## 4 ピット

報告範囲内の柱穴は、建物跡を構成するものを含め、多くは包含層掘削終了後に地山面で確認したものである。ただし、それはKⅢ層中での確認が困難であったためであり、柱穴の構築が包含層形成以前に遡るわけではない。なお、東捨場地区で検出されたものは報告書Ⅳの平場地区で報告することとし、本項では村道地区で検出された2基について記載する。

Pit1929はIVU-56、Pit1932はIVV-56に位置し、地山面で確認した。詳細は遺構一覧表に記載した。

(岡本)

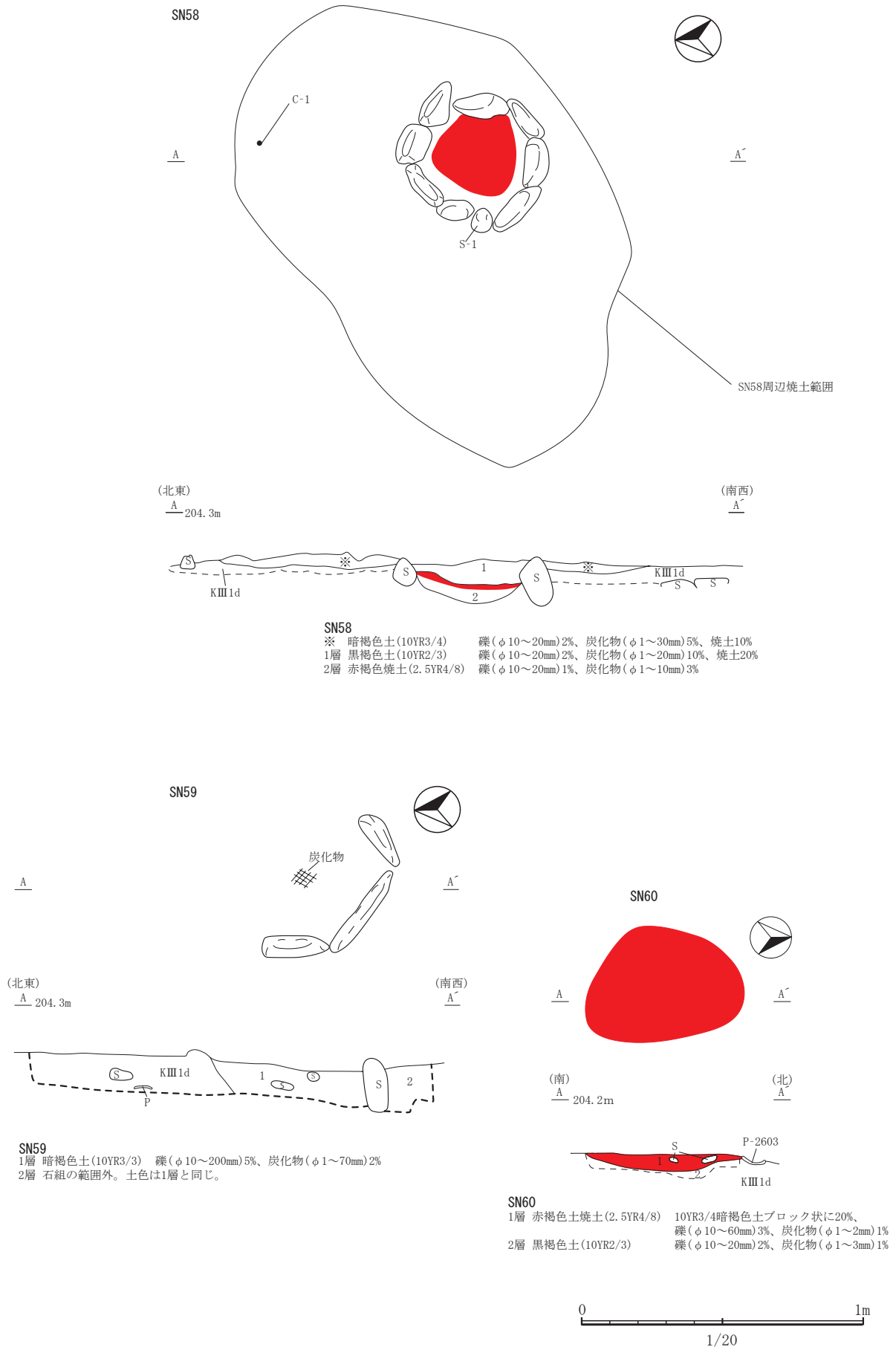


図13 東捨場地区 焼土遺構(1)

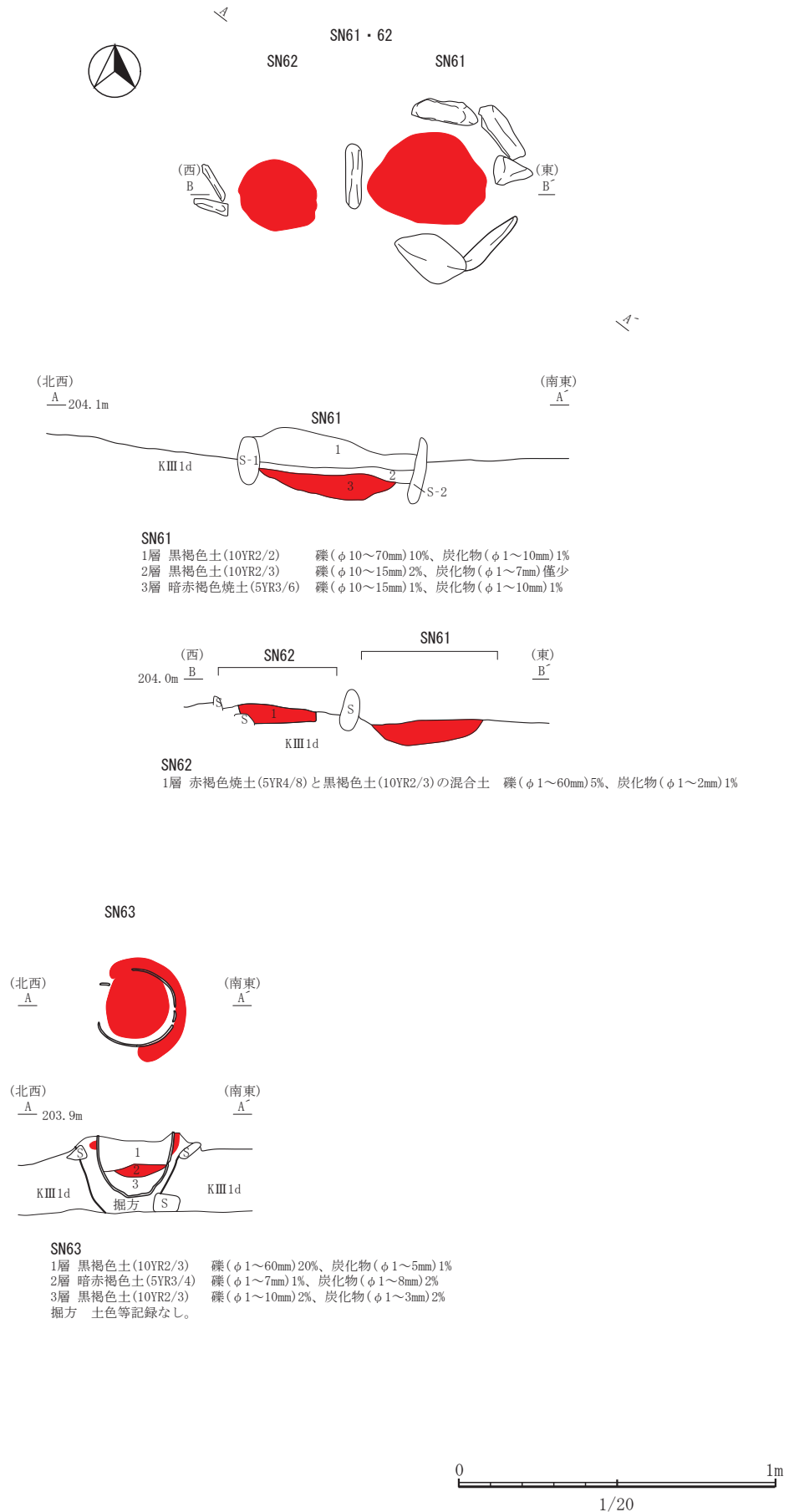
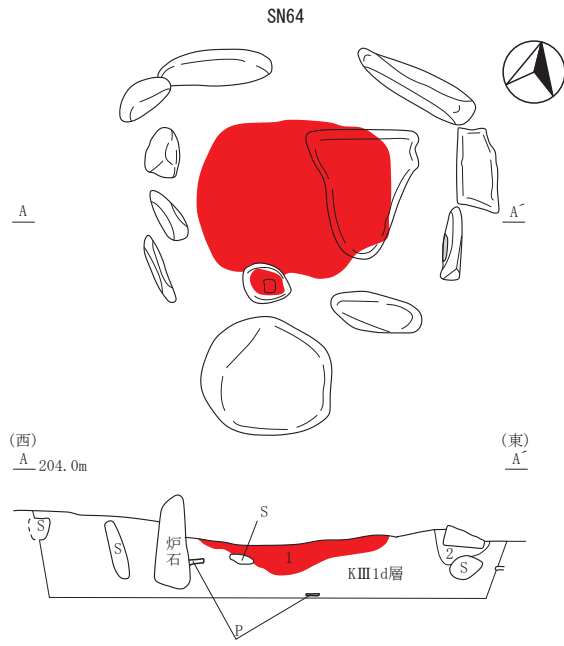
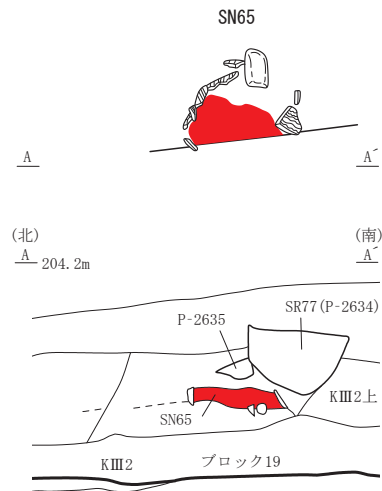


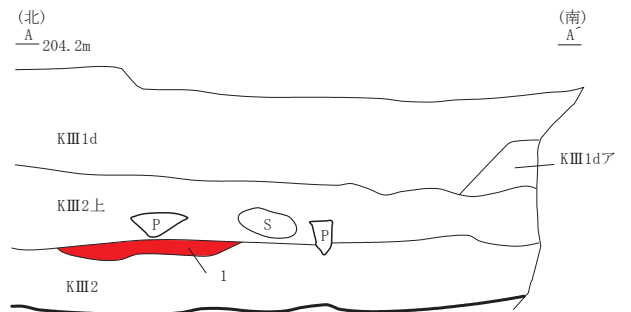
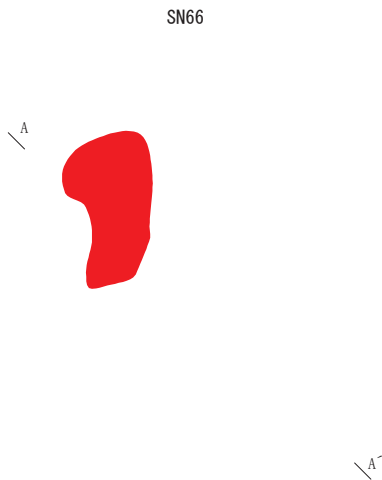
図14 東捨場地区 焼土遺構(2)



**SN64**  
 1層 褐色焼土(7.5YR4/6) 7.5YR3/4暗褐色土10%、炭化物(φ1~70mm)7%  
 2層 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物(φ1~3mm)1%



**SN65**  
 SN65 1層=P-2635焼土 赤褐色土(10YR4/8) 炭化物(φ1~2mm)5%



**SN66**  
 1層 赤褐色焼土(2.5YR4/6) 炭化物(φ1~3mm)15%

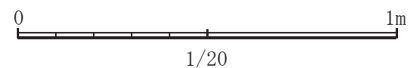


図15 東捨場地区 焼土遺構(3)



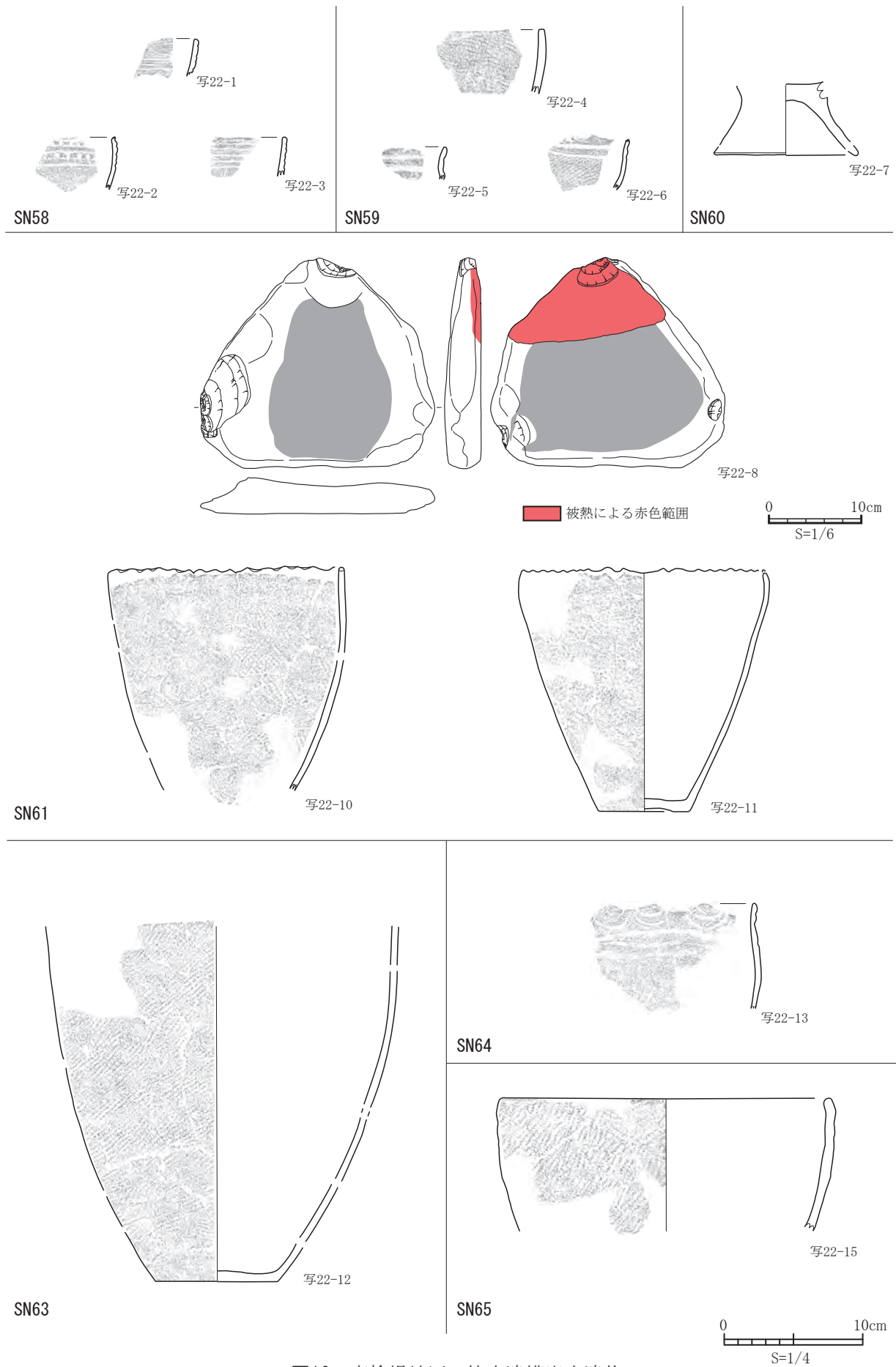


図16 東捨場地区 焼土遺構出土遺物

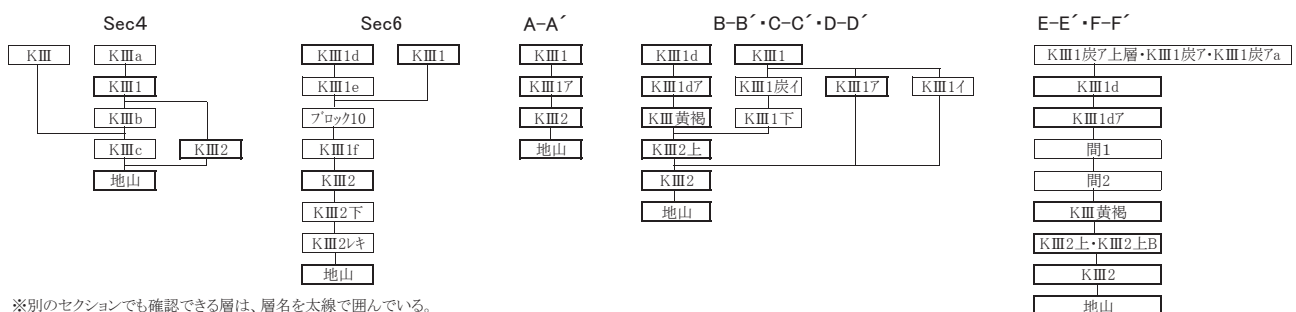
## 第2節 東捨場

### 1 概要

東捨場は平坦地に形成された捨場である。捨場に堆積した土（遺物包含層）は、遺構掘削残土、廃棄された遺物および有機物、あるいは廃棄物の腐臭を覆うためにかけられた人為堆積土である。もちろん、人為堆積の窪みに溜った水成や風成による自然堆積土の存在は否定しないが、盛土と呼称されることもある人為堆積が基本であることを押さえておく必要がある。地山の上に堆積した土の厚さは柱穴が検出されている区域よりも厚いので、縄文時代集落の集落機能時には写真5-7のように周囲よりは若干の高まりがあったと推定されるが、細別各層がおおむね水平に堆積していることから、土まじゅう状の盛土がこの地区に形成されていたわけではなさそうである。この意味では平場地区の盛土遺構とは異なる廃棄域であり、時期的な差によるものであろう。捨場内に焼土遺構や配石遺構、土器埋設遺構がみられることから、土地利用のあり方は南捨場との共通性が高い。なお、土層の区分は主に色調によってなされており、1回の廃棄単位を認定できるような細かな線引きはしていない。堆積土中に焼獣骨の碎片が多数含まれることは、ほかの捨場とも共通する。

遺物の出土状況を観察すると、一回の廃棄で多数の土器が捨てられた事を見出すことはできなかった。捨場は小さな廃棄単位の積み重ねで成り立っていると考えられる。廃棄後に移動した土器があることを確実に示すことはできず、離れた場所で出土した破片同士が接合する事も比較的少ないので、廃棄後に土を均したりする行為が頻繁に行われていたようには思えない。そうであれば、捨場内には多数の凹凸があったはずである。ある窪みに別の時期に土器を捨てたとすれば、我々が調査したときには同一レベルで別型式の土器が出土する現象として捉えられる。亀ヶ岡文化の捨場を我々が調査するときは、今回がそうであったように必ず時間との戦いになる。土器や石器など遺物がざくざく出て潮干狩りのようだという話、時期の古いものも新しいものも混在して出土するので層の上下で時期差は出せないという話など、亀ヶ岡文化の捨場調査の印象論はこのような中で成立するのではないだろうか。

下表はセクションごとの細別層を整理したものである。上部をKⅢ1層、下部をKⅢ2層として大別できるが、いずれにおいても晩期3期の土器が出土しており、層の上下から時間的な差（土器型式の差）を導くことを困難にしている。



※別のセクションでも確認できる層は、層名を太線で囲んでいる。

主要な層の概要および出土した土器の時期は、下記の通りである。

KⅢ1層：色調は暗褐色で、礫も多数含まれる。東捨場の地山はロームが基本なので、礫は別の場所から持ち込まれたと考えられる。東捨場の南半に広がりをもつ。後期7-4期～晩期2期の土器は少ない。主体は晩期3期で、復元個体も多い。確実な晩期4期は含まれず、晩期5期が少量出土する。セクションA-A'（図3）では、写29-10の土器とP-2507がどちらも水平に出土している。一時的な地表面に対応する可能性があり、本層の堆積が何段階かに区分できることを示唆する。

KⅢ1d層：KⅢ1d層はKⅢ1層とは直接上下を確認できる場所はなく、東捨場の北半に広がりをもつ。色調は黒褐色で、後期7-4期～晩期1b期が多い。晩期2期は少なく、復元率も低い。2013・2014年いずれの調査でも晩期3期の土器が少量出土している。晩期4期以降の土器は含まれない。

KⅢ1炭ア層：炭化物主体の層で、焼土は含まれない。時期は異なるが、北捨場などでも類似した層が確認されている。出土炭化材の放射性炭素年代測定値は $2760 \pm 20$ yrBPである。

KⅢ1炭イ層：炭化物主体の層で、焼土は含まれない。写36-7の土器は本層に据え置かれたような状態で、逆位で出土したもののだが（写真17-3）、土器埋設遺構とはしなかった。本層出土炭化材の放射性炭素年代測定値は $2920 \pm 20$ yrBPである。

KⅢ1下層：KⅢ1炭イ層の下部にある。後期7-4期～晩期3期が出土している。

KⅢ黄褐：KⅢ1d層とKⅢ2上層の間にある。地山ロームに由来すると考えられ、遺構の掘りあげ土の可能性もある。遺物は少なく、後期後葉～晩期前葉の土器が少量出土している。

KⅢ2上層：KⅢ2層より礫を多く含み、色調も濃いことから区分される。KⅢ1d層とKⅢ2層の間にある。後期7-4期～晩期3期の土器が出土している。出土漆塗膜（特274）の放射性炭素年代測定値は $3060 \pm 20$ yrBPである。

KⅢ2層：KⅢ1層・KⅢ1d層の下部にある。両層よりも色調は淡い。KⅢ2層では後期7-4期～晩期1b期の土器が多く、晩期2期は少ない。また、2013・2014年いずれの調査でも晩期3期の土器が少量出土している。晩期4期以降の土器は含まれない。出土漆塗膜の放射性炭素年代測定値は $3050 \pm 20$ yrBPである。写37-8の土器は台部を欠くものの大きな破損箇所のない状態で、逆位で出土した（写真17-2）。周囲ではあまり土器が出土しておらず、単体で確認した。掘方は確認できず、土器埋設遺構とはしなかった。

KⅢ層：Sec4にKⅢ層という区分を設けているが、その場所以外でも土層図作成前には多くをKⅢ層として取り上げている。

KⅢ上層：KⅢ層の上位という意味で相対的に用いており、土層図には表れていない。

KⅢ下層：KⅢ層の下位という意味で相対的に用いており、土層図には表れていない。

図17は東捨場および川原平(4)遺跡東捨場延長部分で出土した土器の重量分布である。報告書Ⅱ第5章図④と連続させると、南捨場の区域Fよりもグリッドあたりの出土量が多く、南捨場とは区分される捨場と考えてよい。村道を挟んで遺物量は減るものの、捨場としては川原平(4)遺跡に連続している。1グリッドで出土した土器重量の最大はIVY-52の168.2kgと、南捨場の最大値とほぼ同じで、西、北、北東捨場の最大値の三分の1程度である。平地に形成された捨場ということで堆積量自体が斜面捨場より少なかったことに起因するのだろう。（岡本）

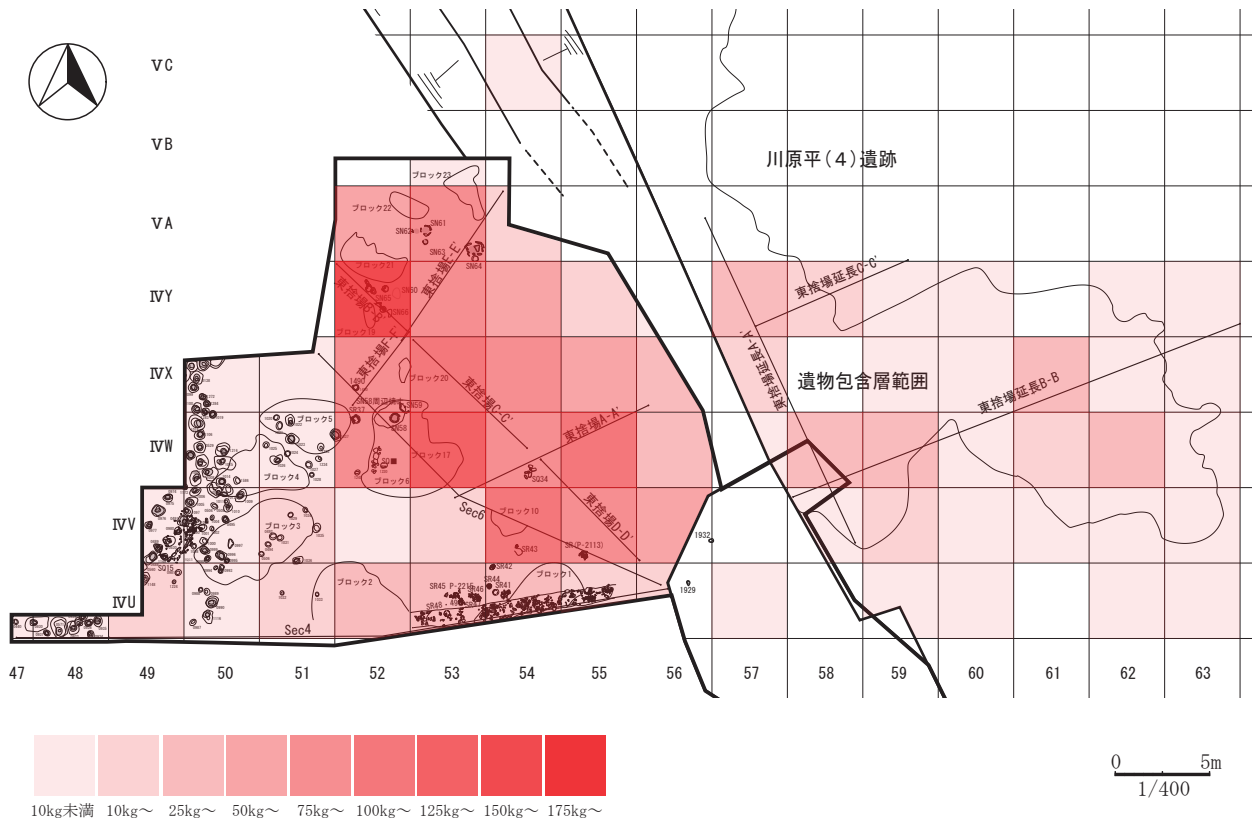


図17 土器の重量分布

表1 グリッド別土器出土重量 (数字はkg)

VC								0.9									
VB							8.1										
VA						67.9	86.9	23.3									
IVY						168.2	91.5	70.3	14.6	3.1	31.3	10.9	2.6	1.0	0.4	0.1	
IVX		0.2		0	0.6	86.6	116.4	95.9	56.4	42.0	24.7		3.8	2.9	48.7	8.7	0.1
IVW	0.1	0	0.1	0.7	5.7	76.5	131.2	96.9	112.4	43.6	4.8	36.9	25.6	6.1	10.5	27.7	1.8
IVV		0	1.1	7.9	15.6	7.7	15.5	105.7	86.6	64.0		7.0	10.4	2.1	3.1	3.1	2.9
IVU	1.6	1.2	12.1	9.8	18.2	28.7	29.5	43.3	24.6	14.1	1.5		0.2	0.3		0.2	0.1
	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63

0は0.1kg未満。  
 ブロックは数値に含めた。  
 遺構および帰属グリッドが不明のものは除外。

## 2 土器集中範囲（ブロック）

現地調査中に土器が集中して出土した範囲に対して「ブロック」という名称を与えて遺物を取り上げた。見かけの上で土器が集中していることを認定基準としており、集中の度合いは相対的なものである。ブロックの認定基準は南捨場とほぼ同じである。調査過程で一括廃棄をとらえたわけではなく、型式としてのまとまりを抽出できるのではないかと考えたためにグリッドより小さい遺物取り上げ単位を設けたものである。このため本項の検討対象は土器に限定し、「土器集中域」として報告する。ブロック番号は遺跡全体での通し番号であり、空白の番号は本編以外に掲載されている。ブロック1は配石遺構（SQ48）に振り替えた。

図18・19の●印は、取り上げ番号を付した土器の出土位置である。同図では各ブロックの範囲を示しているが、これは取り上げ番号を付さなかった遺物でもその範囲内はブロックとして一括したことを示す。取り上げ番号を付したものは、その範囲外にも存在する場合がある。ブロックとして取り上げた土器以外の遺物は必要に応じて触れるにとどめ、石器は遺物観察表の出土位置の項目にブロック番号を記した。

### ブロック2（遺構：図18、写真12 遺物：図21、写真23）

【位置・確認状況・規模・形状】IVU-51・52グリッドのKⅢ1層で確認した。遺物は4×5mの範囲に半円状に広がっている。

【堆積土】掘り込みはなく、KⅢ1層の中に遺物や自然石が高低差をもたず散在する。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土としている。

【出土遺物】土器はすべて破片で、出土重量は8kgである。後期7-4期、晩期1期、晩期3期が出土している。写23-1は晩期1a期、写23-2は晩期1b期、写23-4・5は晩期3期である。写23-6は香炉頂部で後期に属す。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、復元される土器もないことから、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

### ブロック3（遺構：図18、写真12 遺物：図21、写真23）

【位置・確認状況・規模・形状】IVU・V-50・51グリッドのKⅢ層で確認した。6.4×3mの楕円形に広がる。ブロック4に隣接し、同一面にある。

【堆積土】掘り込みはなく、遺物や自然石が高低差をもたずに散在する。Sec6より、検出面はKⅢ1f層相当である。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、0.8kg出土した。後期7-4期、晩期1期、晩期3期が出土している。写23-7は後期7-4期、写23-9は晩期1a～1b期、写23-10は晩期3期である。写23-8は後期後葉～晩期前葉の粗製土器である。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。



**ブロック4**（遺構：図18、写真12 遺物：図21、写真23）

【位置・確認状況・規模・形状】IVV・W-50・51グリッドのKⅢ層で確認した。5×3mの不整形に広がる。ブロック3・5に隣接し、同一面にある。

【堆積土】掘り込みはなく、遺物や自然石が高低差をもたずに散在する。Sec6より、検出面はKⅢ1f層相当である。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、2.5kg出土した。後期7-4期、晩期1a期、晩期2～3期が出土している。写23-11は後期7-4期、写23-12は晩期1a期、写23-13は晩期2～3期である。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

**ブロック5**（遺構：図18 遺物：図21、写真23）

【位置・確認状況・規模・形状】IVW・X-51・52グリッドのKⅢ層で確認した。4.8×2.8mの楕円形に広がる。ブロック4に隣接し、同一平面上にある。

【堆積土】掘り込みはなく、遺物や自然石が高低差をもたずに散在する。Sec6より、検出面はKⅢ1f層相当である。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、1.8kg出土した。後期7-4期、後期8～晩期1a期、晩期3期、晩期4期が出土している。写23-14は後期7-4期、写23-15・17は後期8期～晩期1a期、写23-16は晩期4期である。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期4期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

**ブロック6・ブロック17**（遺構：図19、写真12・13 遺物：図22・23、写真25）

【位置・確認状況・規模・形状】ブロック6は2013年、ブロック17は2014年に調査した。両者は一体のものと考えられ、IVV・W・X-52・53グリッドに5.4×5mの不整形に広がる。検出層は、Sec6よりKⅢ1d層である。SQ49はブロック6の範囲内に位置しており、同時期の遺構と考えられる。

【堆積土】遺物取り上げ層位は、ブロック6がKⅢ層または覆土、ブロック17がKⅢ1d層であるが、一部の遺物は層が混乱しKⅢ1d～f層となっている。写真12-下段左はブロック17の全景だが、遺物の多いところは周囲と比べて礫が多く、土色の黒味が強い場合もある。また、写真13-上段左はブロック17の遺物取り上げ後の状態であるが、掘り込みをもたず、整然と並べられたわけでもない、大小の混在した礫からなる集石が確認できる。このようなあり方は、遺物を捨てるだけでなく、礫を含めて遺構の掘削残土を捨場に廃棄したという人間行動の一端を示していると考えられる。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期、晩期1a期、晩期1b期、晩期2期、晩期2～3期の土器が出土している。ブロック6は、写24-1が後期8期、写24-2・3・8が晩期1b期、写24-4が晩期1a～1b期、写24-6が晩期2～3期、写24-5・7が後期後葉～晩期である。ブロック17は、写25-3～4・6・10～13が晩期1b期、写25-5が晩期1b～2期、写真25-7・9・14が晩期2期、8が晩期である。このほか、写44-87が晩期2

～3期である。

【小結】晩期3期に下る可能性がある復元個体を含むものの、主体は晩期1b～2期であり、晩期前葉のまとまった資料と考えられる。接合が進まない土器が多く、破損したものを廃棄した可能性がある。

**ブロック10**（遺構：図19、写真13 遺物：図22、写真25）

【位置・確認状況・規模・形状】IVV-54グリッドに位置し、径2mの半円状に広がる。Sec6の北側を2014年に調査した際には顕著な遺物の広がり確認できなかった。

【堆積土】掘り込みはもたず、Sec6においてKⅢ1e層とKⅢ1f層に挟まれて確認された。遺物取り上げ層位は覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、晩期2期、3期の土器が出土している。写25-2が晩期3期、写25-1は晩期前葉の可能性はある。

【小結】小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

（ブロック17はブロック6と連続しているため、ブロック6と合わせて記載している）

**ブロック18**（遺構：図19、写真13 遺物：図23、写真26）

【位置・確認状況・規模・形状】IVX・Y-52グリッドに位置し、KⅢ2層で確認された。ブロック19に隣接し、直径約1.5mの範囲に広がる。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器や礫が小規模な山状にまとまっている。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期、晩期1a期、晩期3期の土器が出土している。写26-1は後期7-4期、写26-2は後期8期、写26-4は後期後葉、写26-6は後期8期、写26-3は晩期1a期、写26-5は晩期3期である。

【小結】晩期3期の土器は破片であり、このブロックにおいては混入と考えられる。後期末葉～晩期初頭の小規模な廃棄単位ではないかと考えられる。

**ブロック19**（遺構：図19、写真13 遺物：図24、写真26）

【位置・確認状況・規模・形状】IVY-52グリッドのKⅢ2層で確認した。1.3m×50cmの楕円形に広がっている。ブロック18に隣接し、SN65・66より下位に位置する。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器や礫が小規模な山状にまとまっている。ブロックの中央にはロームが認められる。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期、晩期1期が出土している。写26-7・10は後期7-4期、写26-11は後期8期、写26-9は後期後葉～晩期、写26-8は晩期1b期の可能性がある。

【小結】土器や礫を含む土が小さな山のように検出された。土器の時期が混在していることや、復元率が低いこと、また土壌化していないロームが含まれていることなどから、遺構掘削残土などを廃棄した可能性がある。時期は下限となる土器型式から晩期前葉と考えられる。

**ブロック20** (遺構：図19、写真13 遺物：図24、写真26)

【位置・確認状況・規模・形状】IVX-52グリッドのKⅢ2層で確認した。1.3m×50cmの不整な楕円形に広がっている。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器が密集している。顕著な礫は含まれない。

【出土遺物】後期8期～晩期1a期が出土している。写26-12は後期8期、写26-14は後期8期～晩期1a期、写26-13は後期後葉～晩期で、写26-15は後期後葉と考えられる。

【小結】後期末葉～晩期初頭の廃棄単位の可能性がある。

**ブロック21** (遺構：図19、写真13 遺物：図24、写真27)

【位置・確認状況・規模・形状】IVY・VA-52グリッドのKⅢ2上層で確認した。2.4×1.5mの不整な楕円形に広がる。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器が平坦な面を作るように密集している。顕著な礫は含まれない。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期～晩期1a期、晩期3期が出土している。写27-1が後期7-4期、写27-3が後期8期、写27-6が後期後葉、写27-2が晩期前葉、写27-4・5が晩期3期である。

【小結】出土状況からは二次的な堆積には見えず、後期末葉～晩期初頭の小規模な廃棄単位ではないかと考えられる。新しい時期の遺物、特に晩期3期のものは破片であり、本ブロック形成後に上部を覆ったKⅢ2上層の土に含まれていたものと考えられる。

**ブロック22** (遺構：図19、写真13 遺物：図24・25、写真27)

【位置・確認状況・規模・形状】VA-52・53グリッドのKⅢ2上層で確認した。2.1×1mの楕円形に広がる。近接する焼土遺構より下位で検出され、ブロック23と同一面である。

【堆積土】掘り込みはもたず、遺物と礫が密集している。

【出土遺物】遺物が重なっていたため上下に分けて取り上げたが、一体のものと考えられる。後期7-4期、晩期1a期、晩期1b期が出土しており、下部で出土した有文土器は後期7-4期に限られる。写27-12が後期7-4期、写27-7が後期8期、写27-13が後期後葉、写27-9が晩期1a期、写27-8・14・15が後期後葉～晩期、写27-10が晩期前葉、写27-11が後期後葉～晩期前葉である。写67-3の線刻礫を伴う。また、ブロック内で出土した炭化材を分析し、樹種はニシキギ属と同定され(樹種同定No.190)、年代測定結果は3110±20yrBP (KAWA(1)-166)である。

【小結】土器の復元率は低いが、後期7-4期の小規模な廃棄単位と考えられる。炭化物の年代値も本遺跡で測定したものでは比較的古い値が出ており、後期7-4期の年代を示している可能性が高い。新しい時期のものは、本ブロック形成後に上部を覆ったKⅢ2上層の土に含まれていたものと考えられる。

**ブロック23** (遺構：図19、写真13 遺物：図25、写真28)

【位置・確認状況・規模・形状】VA・B-52グリッドのKⅢ2上層、ブロック22と同一面で確認した。最大幅2.5、長さ2mの帯状に広がる。近接する焼土遺構より下位で検出され、ブロック22と同一面である。

【堆積土】掘り込みはもたず、周囲に比べ礫が集中しており、その中に遺物が含まれる。

【出土遺物】有文土器は晩期1a期、1b期、2期が出土している。写28-2は晩期1a期、写28-4は晩期1b期、写28-3は晩期2期、写28-1は後期後葉～晩期である。

【小結】土器の復元率は低いですが、晩期1a～1b期の小規模な廃棄単位と考えられる。晩期2期の土器は破片であり、本ブロック形成後に上部を覆ったKⅢ2上層の土に含まれていたものと考えられる。

ブロック24（遺構：図19、写真13 遺物：図25、写真28）

【位置・確認状況・規模・形状】2015年調査において、セクションベルトE内、IVY-52グリッドのKⅢ2上層で確認した。前年度調査における周辺部の掘り下げの際には顕著な遺物のまとまりは確認していない。

【堆積土】掘り込みはもたず、KⅢ2上層の中に少量の遺物がまとまる。

【出土遺物】本ブロックとして取り上げた遺物は少量で、完形に復元できるものはない。有文土器は晩期1a期に限られる。写28-5のみ掲載している。

【小結】晩期1a期の小規模な廃棄単位と考えられる。

（岡本）

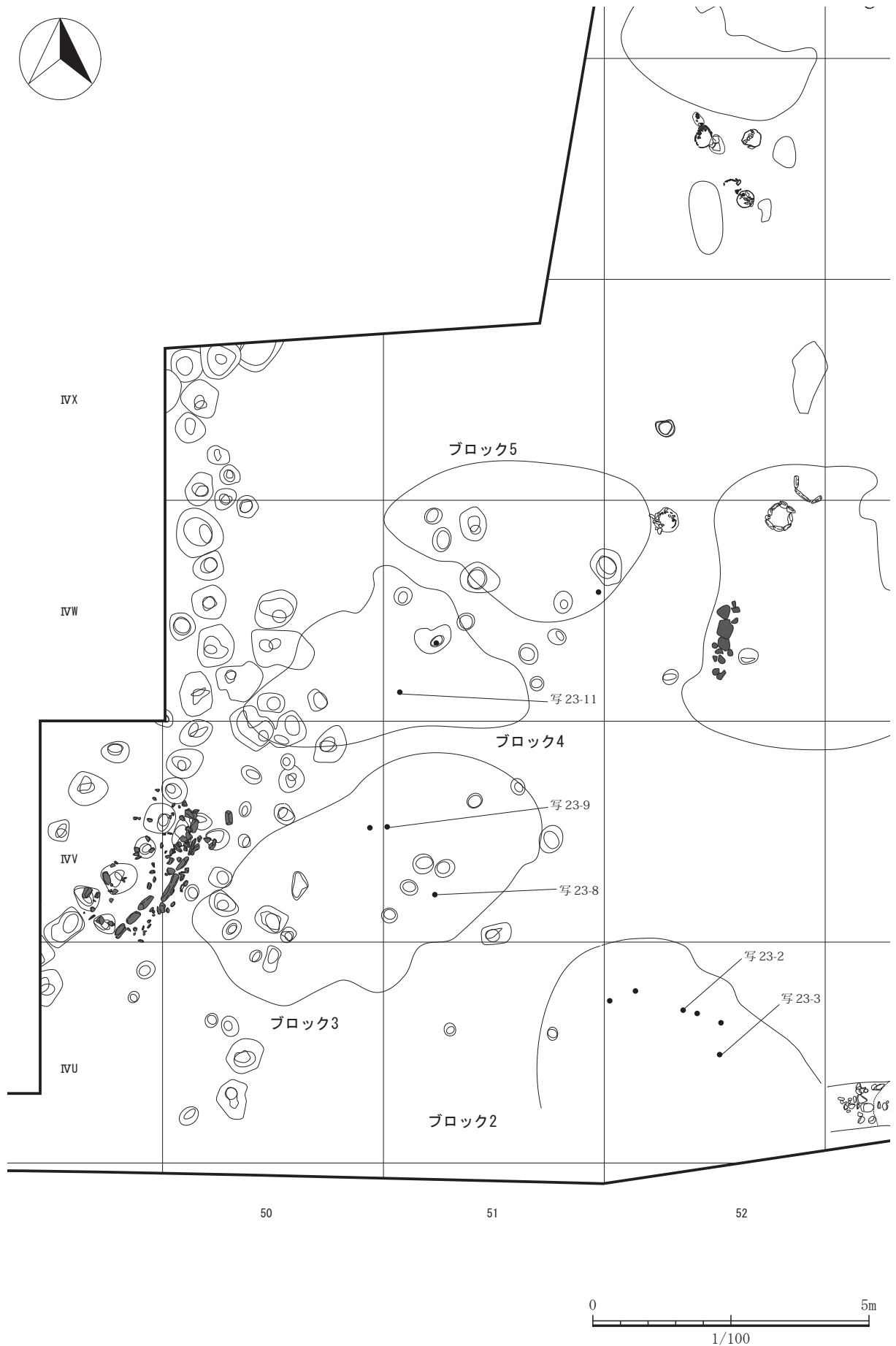


図18 東捨場地区 ブロック (1)



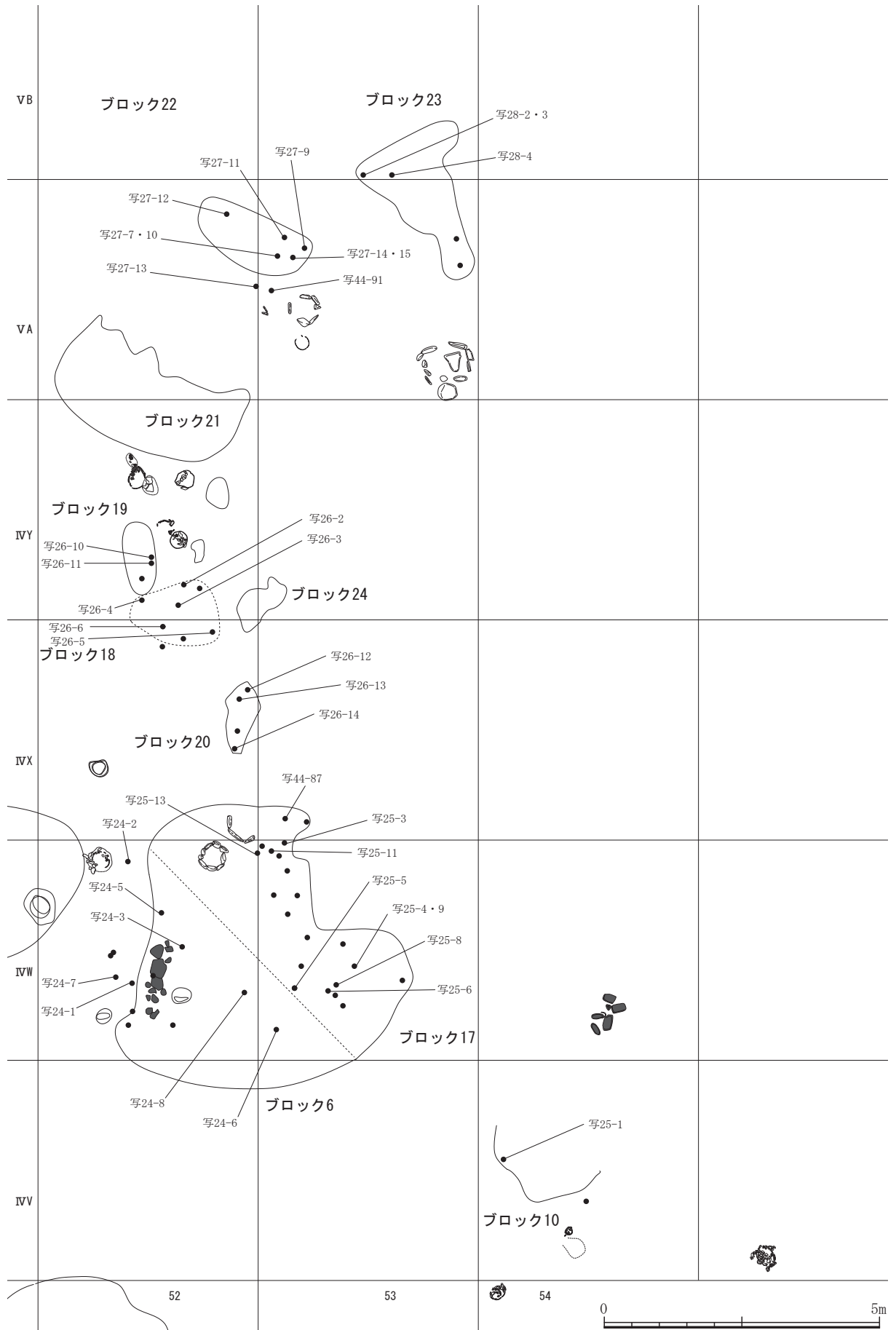


図19 東捨場地区 ブロック (2)



### 3 土器

東捨場地区出土土器の総重量は約1900kgである(図17・表1)。IVW～IVY-52～54グリッドで出土量が100kgを超える。後期後葉から晩期後葉の深鉢・鉢・台付鉢・片口鉢・浅鉢・皿・台付皿・壺・注口がみられ、KⅢ1層からまとまって出土した(図25～30、写真28～40、表7)。

#### I 層

晩期1b期の浅鉢(写28-6)、晩期前葉の壺(写28-8)、晩期4～5期の壺(写28-7)が出土した。

#### KⅢ1層

後期後葉から晩期後葉の深鉢・鉢・台付鉢・片口鉢・浅鉢・皿・台付皿・壺・注口が出土した。後期後葉の土器は調査区北東部のIVU-53・IVW-53～IVY-53・IVX-54～55グリッドに分布し、晩期前葉から後葉の土器は調査区全域に分布する。後期後葉の土器は晩期以降と比べて少ない。

深鉢は晩期のものが出土した(写29-6, 写30-2, 8, 9)。三叉状の抉りにより装飾的な口縁をもつもの(写29-6)、小波状口縁のもの(写30-9)、平口縁で体部上半に条痕のあるもの(写30-2)がある。

鉢は後期7-4期から晩期中葉のものが出土した(写29-1～5, 7～9, 写30-1, 3～7, 10, 写31-1～3, 5～8)。後期後葉のものは刻目を充填した入組文のある鉢(写29-1・2)がある。晩期前葉・中葉の深鉢は口唇にB突起をもつもの、刻目をもつもの、三叉状の抉りにより装飾的な口縁をもつものなどがある。

片口鉢は晩期2期から4期のものが出土した(写31-9～12)。口唇にB突起を配置し、口縁直下に横走沈線を施したものが多い(写31-10～12)。

台付深鉢は晩期3期のものがある(写31-13)。写31-13は外面に横位沈線4条がみられ、沈線間に退化した羊歯状文がみられ、その下には沈線による雲形文が施されている。内面に漆液が付着していることから漆液を保管・貯蔵した容器と推定される。

台付鉢は晩期1a期から3期のものが出土した(写31-14～16, 18, 35-8)。

台付浅鉢は晩期3期から4期のものが出土した(写31-17, 写32-1)。写31-17は口縁直下に横位沈線が3条みられ、その下に2個一組の突起がある。写32-1は外面に彫去による雲形文が施されている。

浅鉢は晩期3期のものを主体とし、晩期1b期から晩期3期のものがある(写32-2～11, 写33-2～4)。晩期1b期の写33-2は沈線間に入組文が施されたものである。晩期3期のものは体部に沈線あるいは彫去による雲形文を施したものが多い。

皿は晩期3期のものがある。写33-1は装飾的な口縁をもち、外面に彫去による雲形文が施されている。写33-8は口唇に連続するB突起があり、口縁部には粗雑な沈線がみられる。

台付皿は晩期3期のものがある(写33-5～7)。写33-5は連続した三叉状の抉りと斜位の刻目によりB突起状の装飾的な口縁を作出したものである。台内部が黒色光沢であり、塗膜分析の結果、透明漆が1層みられることが判明している。写33-7は台で、外面に彫去による雲形文がみられる。

壺は短頸及び長頸がある(写34-2～12, 写35-1～7, 9, 12)。晩期3期を主体とする。体部に雲形文を施したのものや、頸部に隆帯をめぐらしたものがある。写35-12は端部に突起がみられ、外面に刺突列が施された長頸の壺である。写35-15は壺と推定される破片で、沈線・隆帯・突起で人面を表現

している。

注口は後期後葉から晩期前葉のものがある。写34-1・写36-3は円形あるいは縦長の貼瘤をもつ注口である。写36-3は二山状を呈した香炉の頂部で、一方に獣面、もう一方に人面が表現されている。

### KⅢ1d層

IVW-52・IVY-52・IVX-52グリッドに広がる。後期8期の鉢が出土した。写36-4は刻目列による入組文と推定される文様を施した鉢である。写36-5は台形突起と二山状台形突起を2種類交互に配し、入組文の空隙と口縁突起下に三叉文を施した鉢である。写36-6は木葉痕のある底部である。

### KⅢ1炭イ層

晩期3期に相当する台付鉢・壺が出土した。写36-7は連続した三叉状の抉りにより装飾的な口縁のある台付鉢、写36-8は彫去による雲形文のある壺、写36-9は沈線による雲形文のある壺である。

### KⅢ1下層

IVW-53及びIVX-53グリッドで晩期1b期に相当する土器が出土した。写37-1・4は入組三叉文、写37-2は入組文と三叉文、写37-3は入組文と抉りによる三叉文のある鉢である。

### KⅢ2層

VA-52～53及びIVY-52・53グリッドで後期後葉から晩期前葉（後期7-4期～晩期1b期）の土器が出土した。深鉢・鉢・壺・注口・香炉がある。写37-5は口縁直下に刻目列と貼瘤をもつ鉢である。写37-6は入組文の空隙に三叉文のある鉢で後期8期に相当する。写37-7は口唇に沿って刻目列をもつ深鉢である。写37-8は小波状口縁の鉢で、崩れた入組三叉文がみられる。写37-9は沈線文のある台付鉢である。写37-10は口縁直下に刻目列と横位沈線を施した浅鉢と推定される破片、写37-11は沈線と突起で人面を表現し、頭部上方に透かし孔をもつ香炉と推定される土器片である。写37-12・13は高台付きの壺である。写37-13は頸部に隆帯をもち、その上に突起がある。写37-14は高台をもつ注口で、頸部と肩部の境目に円形の貼瘤に円形刺突を施す。

### KⅢ2上層

IVY-52・53及びIVX-53グリッドで後期7-4期から晩期1b期を中心とする土器が出土している。深鉢・鉢・台付鉢・壺・注口がある。写38-1は口縁突起に三叉文、体部に入組文のある台付鉢である。写38-2は短沈線と刺突を交互に配した鉢、写38-3は粗製の台付鉢である。写38-4は一山突起と二山突起を交互に配置した台付皿である。写38-6は波状口縁の深鉢である。写38-7は台である。写38-8は壺で内面に赤色顔料がみられ、赤色顔料容器の可能性がある。注口は後期7-4期から後期8期のものが認められる（写38-5・9～12）。注口部が欠損しているものが多いが、基部に二袋状の膨らみのあるもの（写38-11）、一袋状の膨らみのあるもの（写38-12）がある。

### KⅢ2上層B

IVY-53及びVA-53グリッドで後期8期から晩期1b期の土器が出土した。写38-13は2条の沈線間に入組文のある台付鉢、写38-14は沈線文を施した鉢、写38-15は透かし孔を伴う台である。

### KⅢ上層

晩期中葉と推定される短頸の壺（写39-1）が出土した。体部から底部にLR縄文が施される。

### KⅢ下層

IVU-54及びIVV-55グリッドで晩期前葉から中葉の土器が出土した。台付鉢、浅鉢、壺、皿がある。写39-2は沈線間に刺突列を施した台付鉢、写39-3・4は彫去による雲形文のある皿、写39-5は2条の沈線間に彫去による雲形文のある台付き皿、写39-6は雲形文のある壺、写39-7は内外面に赤彩のある壺の底部、写39-8・9は短頸の壺である。

### KⅢ層

口縁に円柱状の突起をもち、入組三叉文を施した鉢（写40-1）、口縁に連続するB突起のある鉢（写40-2）、入組文・三叉文のある台付浅鉢（写40-3）、短頸で寸胴の壺（写40-4）を掲載した。

### 自然科学分析

#### 【炭素・窒素安定同位体比分析】

晩期中葉に相当する片口鉢2点に付着した炭化物の炭素・窒素安定同位体比分析を実施した。分析の結果、写31-9（試料⑪）の内面付着炭化物は主にC<sub>3</sub>植物の堅果類に由来する炭化物、写31-11（試料⑫）の外表面付着炭化物は、C<sub>3</sub>植物に由来する炭化物と推定されている（報告書Ⅷ第7章第5節）。

#### 【土器付着黒色塗膜の分析】

晩期3期の皿類に付着した黒色塗膜の薄片分析及び赤外分光分析を実施した。写33-5（塗膜分析No. 16）の台付皿は台内面に黒色塗膜が付着し、光沢を有する。分析の結果、透明漆層が1層塗布されていることが判明した。写35-13（塗膜分析No. 17）の皿は外面に黒色塗膜が付着している。分析の結果、黒色漆層1層が確認され、煤など有機系黒色顔料と推定されている（報告書Ⅷ第7章第2節参照）。

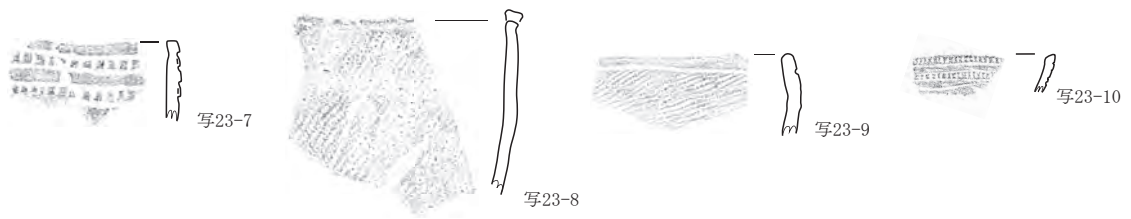
（中澤）





ブロック2

---



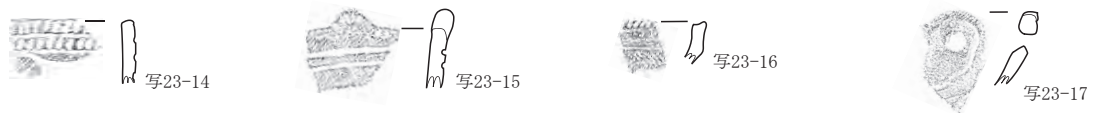
ブロック3

---



ブロック4

---



ブロック5

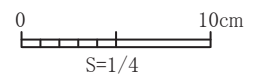
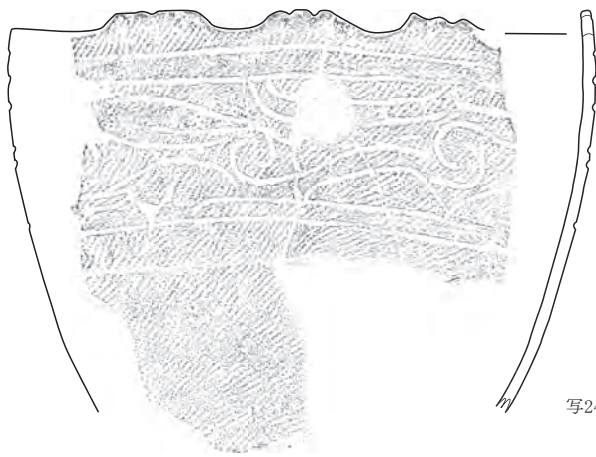
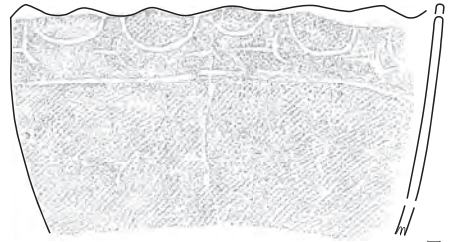


図21 東捨場地区 土器(1) ブロック1・2・3・4・5



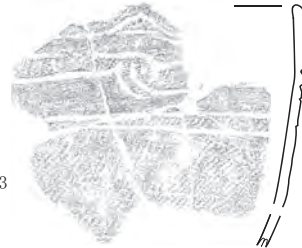
写24-1



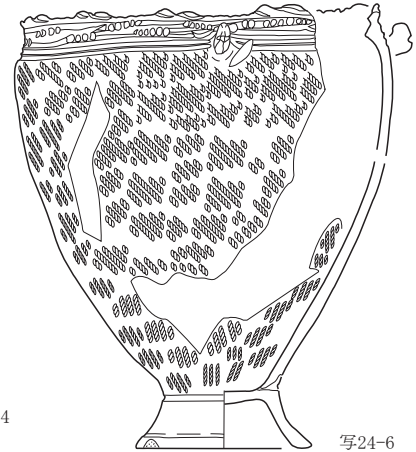
写24-2



写24-3



写24-4



写24-6

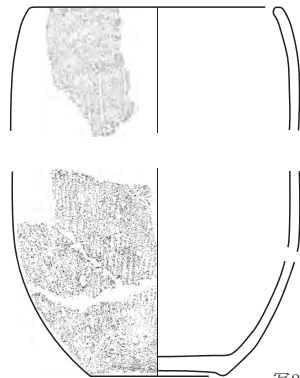


写24-5



写24-7

ブロック6



写25-1



写25-2

ブロック10

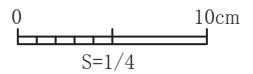
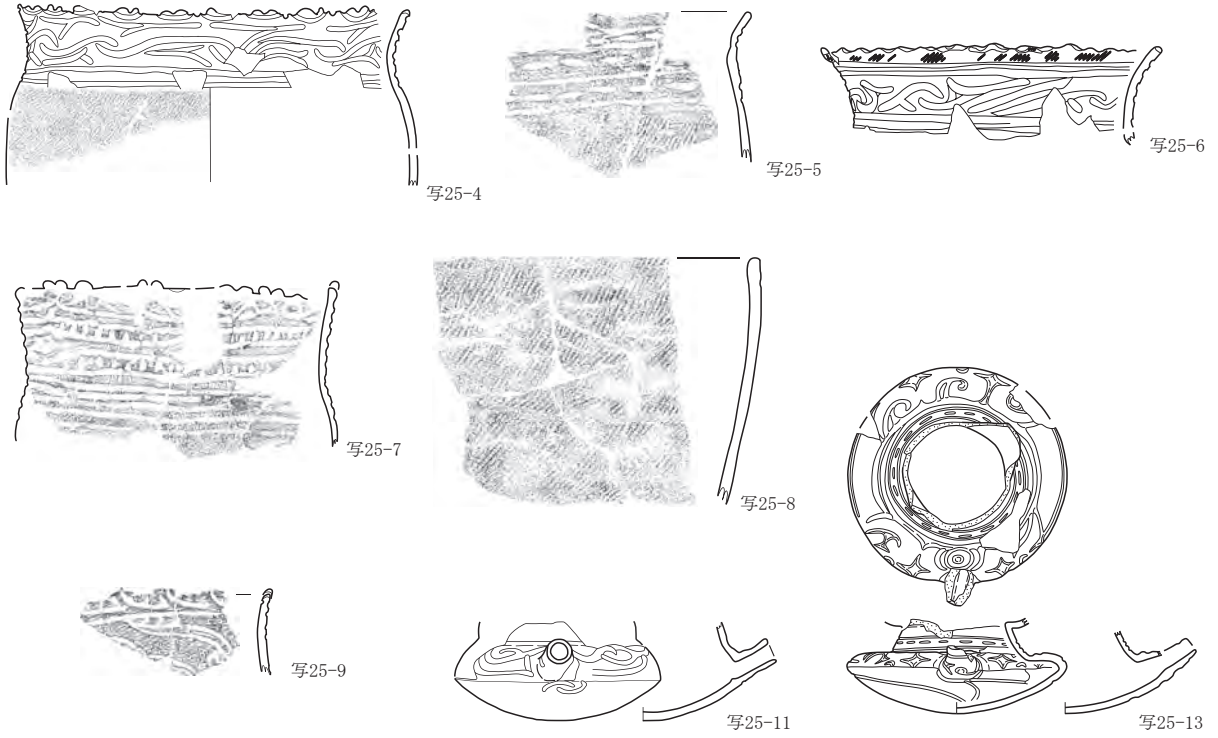
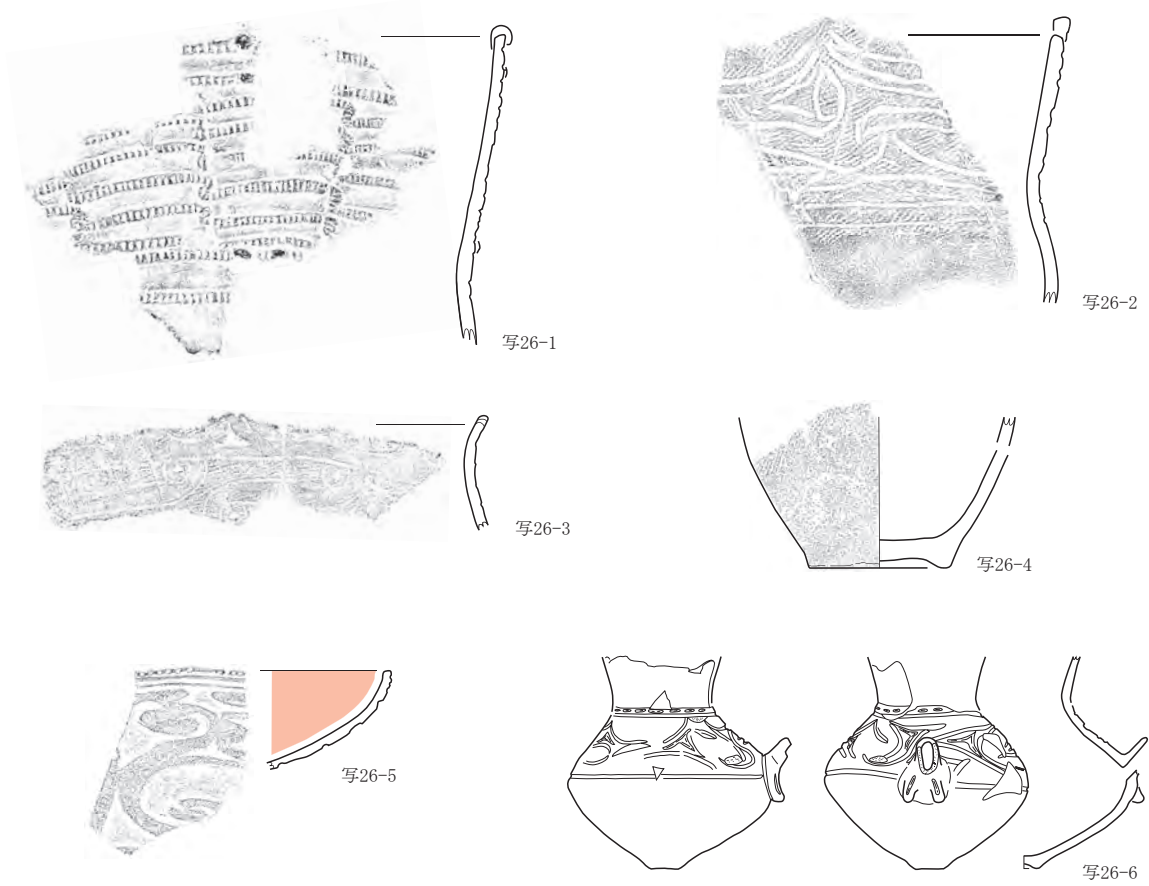


図22 東捨場地区 土器(2) ブロック6・10



ブロック17



ブロック18

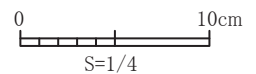


図23 東捨場地区 土器(3) ブロック17・18

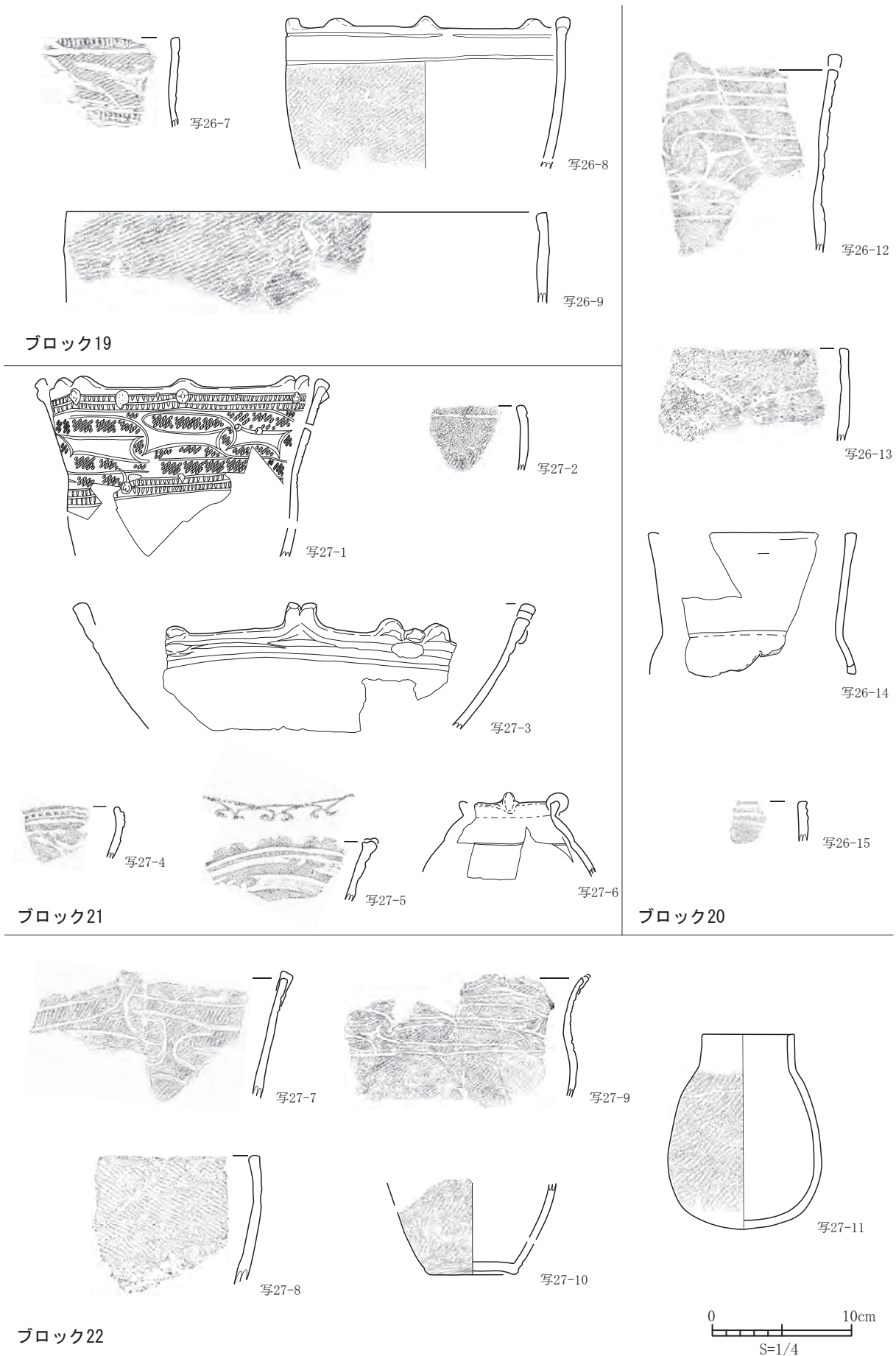
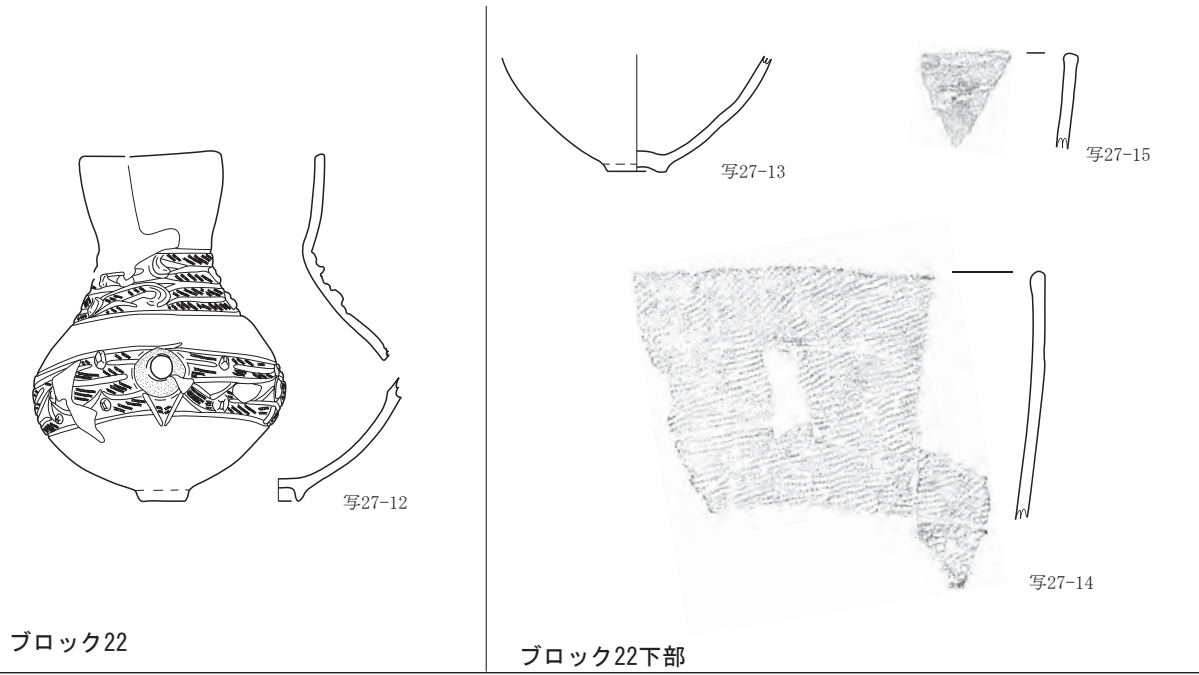


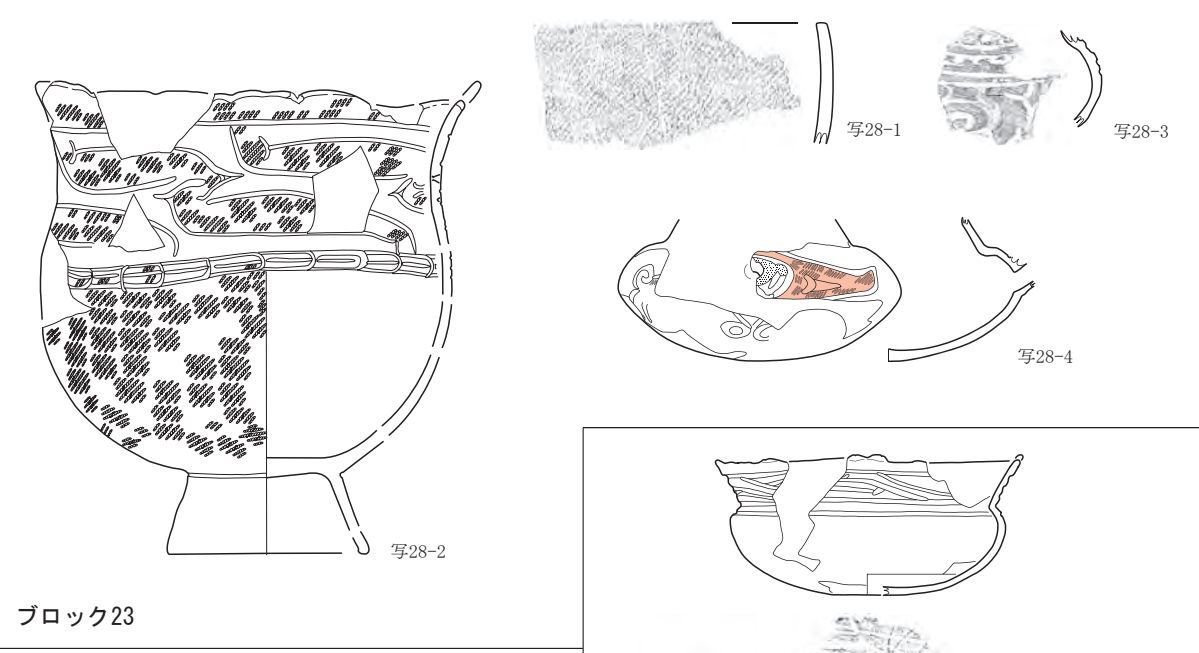
図24 東捨場地区 土器(4) ブロック19・20・21・22





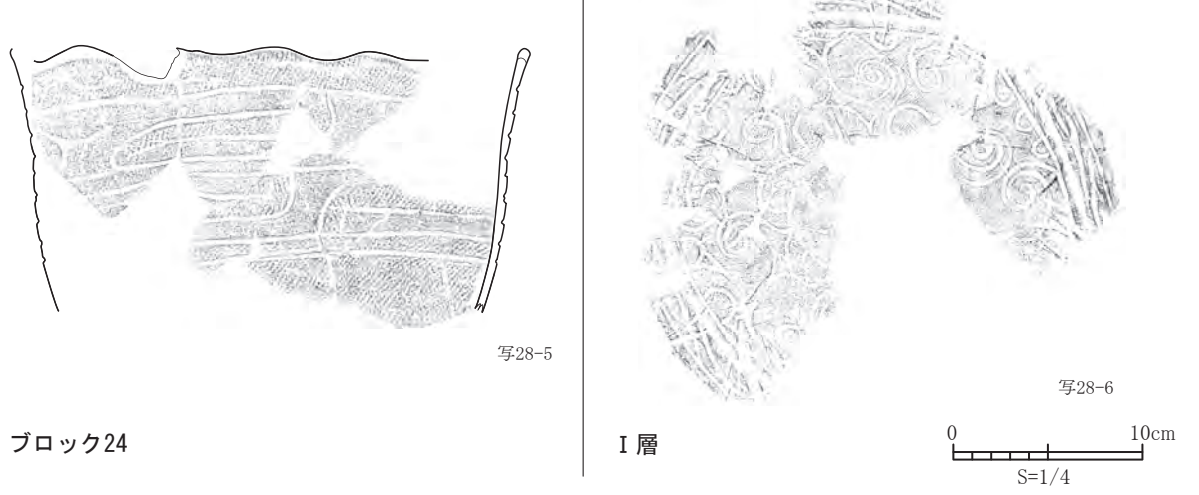
ブロック22

ブロック22下部



ブロック23

I層



ブロック24

図25 東捨場地区 土器(5) ブロック22・23・24・I層



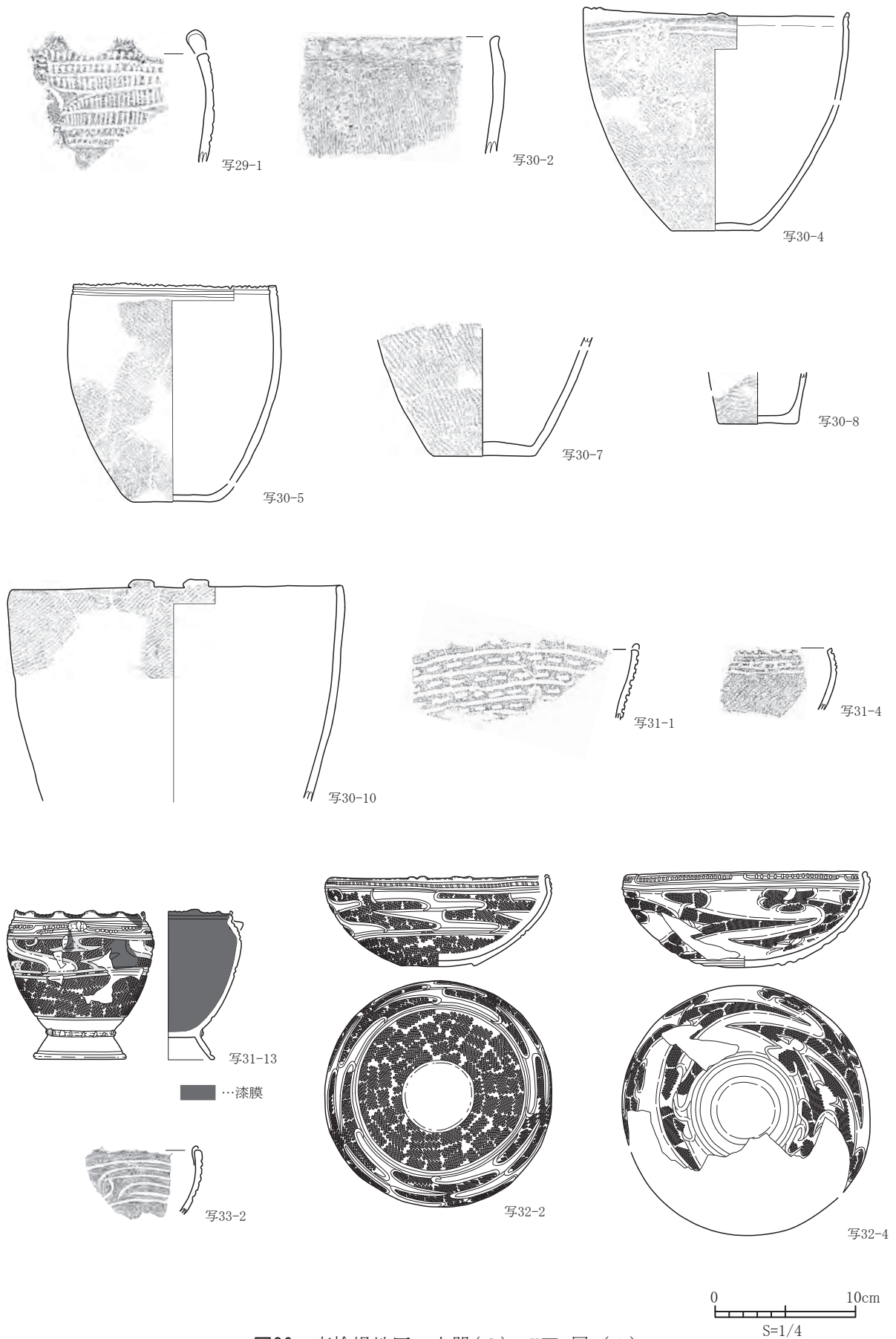
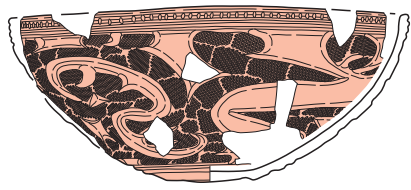
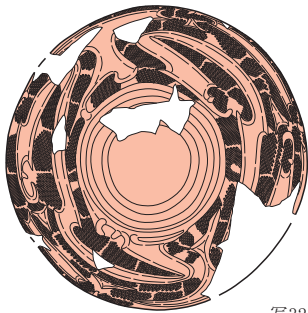
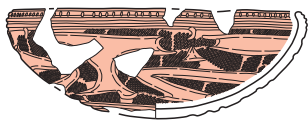


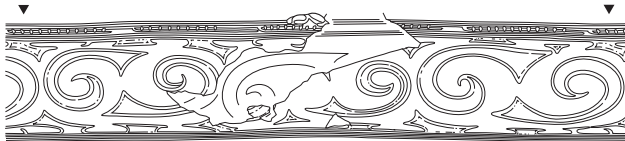
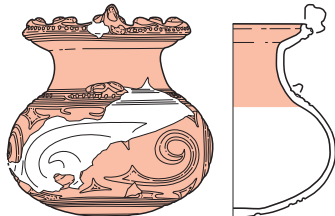
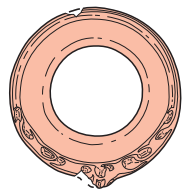
图26 東捨場地区 土器(6) KIII1層(1)



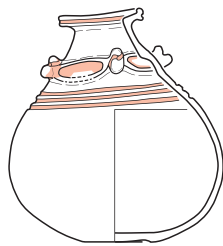
写32-6



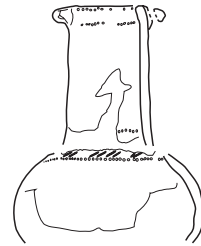
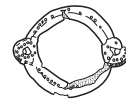
写32-10



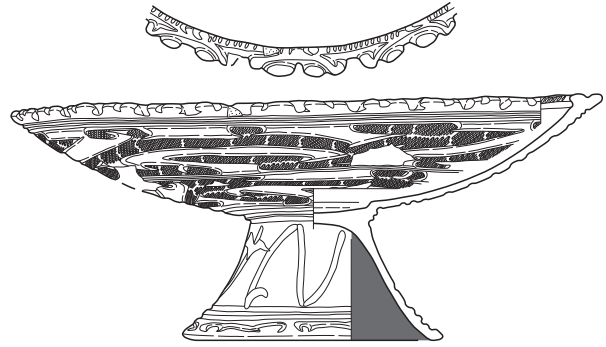
写34-3



写34-7



写35-12



写33-5  
塗膜分析No.16

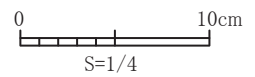
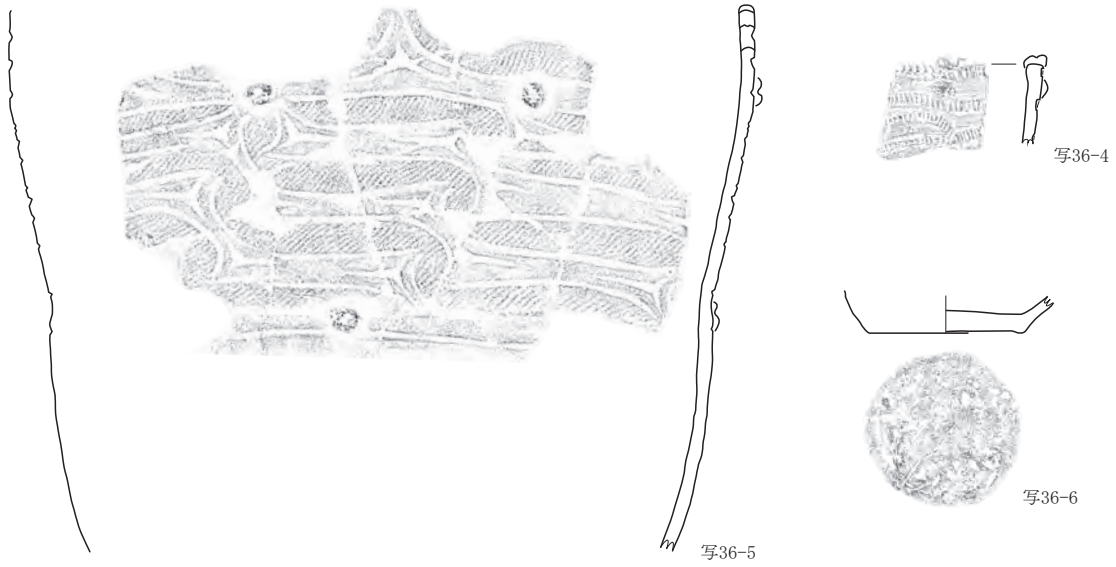


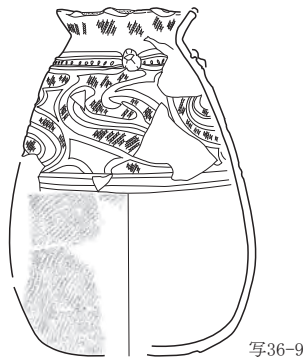
图27 東捨場地区 土器(7) KIII1層(2)





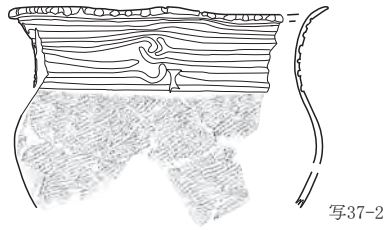


KIII1d層



写36-9

KIII1炭イ層

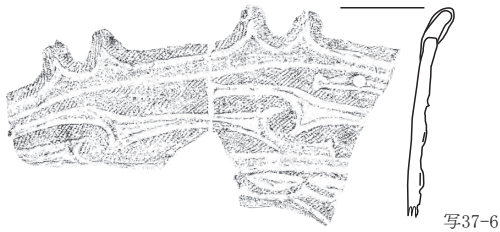


写37-2

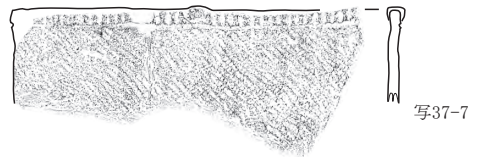
KIII1下層



写37-3



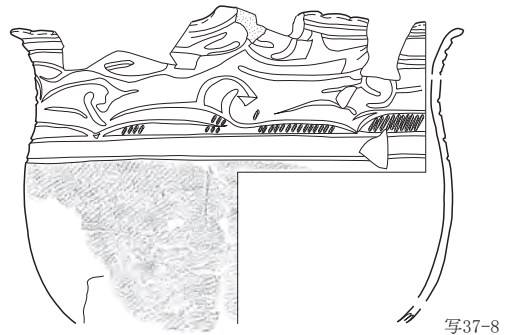
写37-6



写37-7



写37-10



写37-8

KIII2層



写37-11

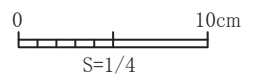


図29 東捨場地区 土器(9) KIII1d層・KIII1炭イ層・KIII1下層・KIII2層

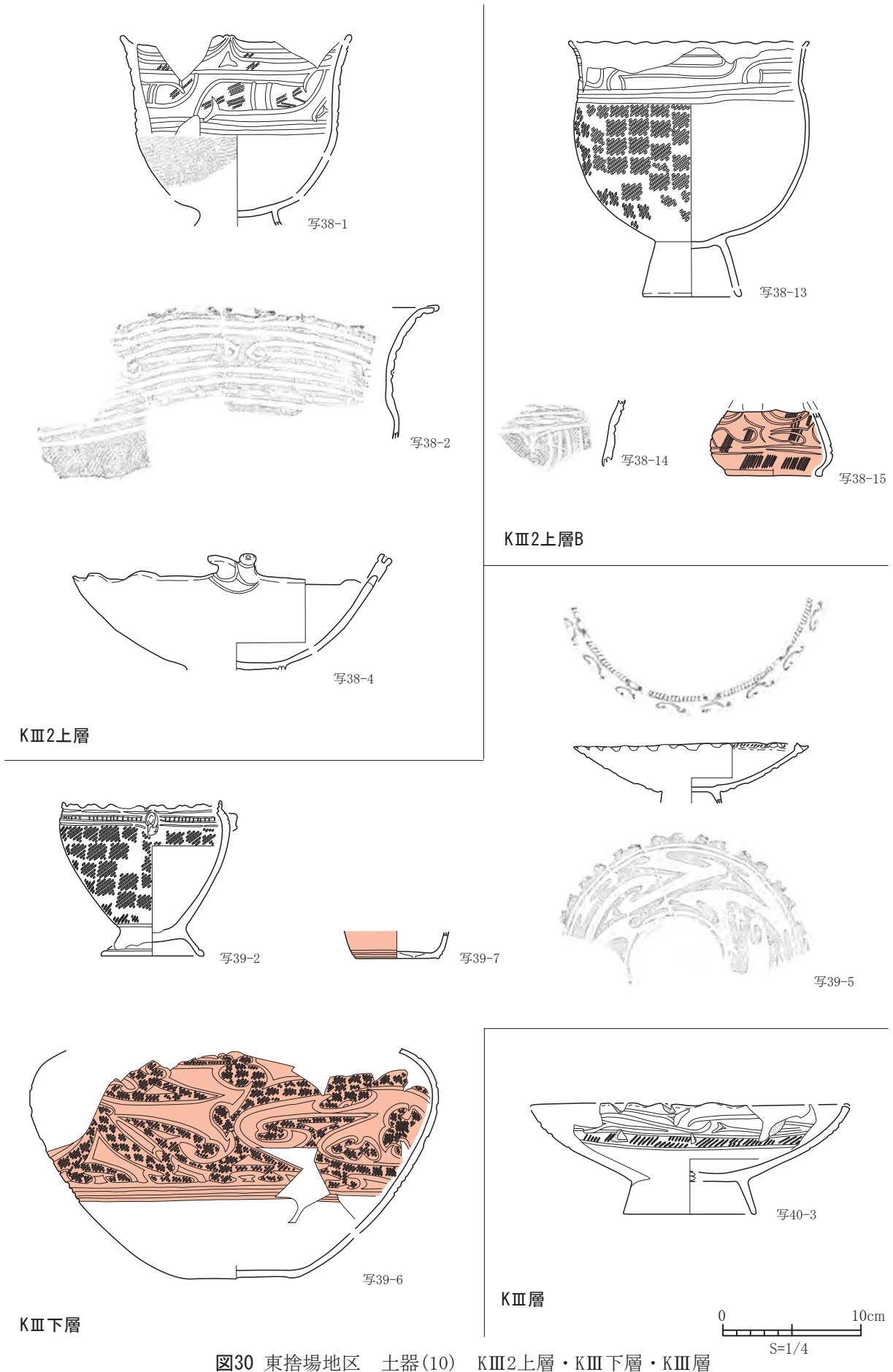


图30 東捨場地区 土器(10) KⅢ2上層・KⅢ下層・KⅢ層



## 4 土製品

東捨場からは、土偶24点、亀形土偶3点、耳飾り7点、土版1点、スプーン形土製品2点・粘土塊2点、円盤状土製品12点、ミニチュア・小型土器36点の計87点が出土した（図31～37、写真41～44、表8・9）。

**土偶**（図31-1～9、図32-10～18、図33-19～24、写真41・42）

全体の形状は、いかり肩（図31-1）・なで肩（図31-5）で、ウエストがくびれ、腰部がはる形状である。顔面は目を楕円形文様の中心に横一文字の沈線を施文する遮光器表現のものと、目・口・鼻孔を刺突で眉・鼻を粘土で貼り付けて表現しているもの（図31-2）もある。15は目を表していない。2は顔の輪郭が円形を呈している。また、耳部が極端に大きく羊の耳のような形態であるが、馬淵川流域にみられる土偶と類似面をもつ。乳房は粘土を用いて貼り付けている。12は内面に輪積み痕跡が確認される。1・5は腹部がふくらんでおり妊婦を表しているものと思われる。16は穿孔がみられる。足部は平坦で自立できるもの（図33-19）と自立できないもの（図31-5）がみられる。文様は、乳房の間に縦位の粘土紐を貼り付け正中線とし、1は左右に渦巻文を施文している。2は顔の周縁にきざみ、ほほに沈線を施文しており土面の技法と類似している。2は首部にアスファルトが付着している。21は中実の蹲踞土偶であり、正面・背面に赤色顔料を塗布している。脚部の間に粘土を用いて男性性器を貼り付けている珍しい例である。

**亀形土偶**（図33-33、図34-35～36）は、すべて破片である。35は先端部にX字状の文様を施文している。36は粘土紐を用いており部位は側縁部と考えられる。

**土製品**（図33-25～31、図34-34、図34-39～51、図35-52～55、写真42・43）

**耳飾り**（図33-25～31、図34-34）の形態は滑車形と耳栓（図33-31）の二種がみられる。文様は34が玉抱三叉文、29が表裏面の側縁に連続刺突、30は中心部に向かって放射状に施文、34は透かし彫りで表現し、耳飾りの中では優品である。

**土版**（図34-39）は、中央部分のみである。残存部から推定すると台形を呈し無文である。

**スプーン形土製品**（図34-40・41）は、把手部が欠損している。文様は縦位方向の短沈線を施文している。

**粘土塊**（図34-42・43）は、直径2.5cmを測り表面が凹凸している。

**円盤状土製品**（図34-44～51、図35-52～55）は、鉢形の胴部破片を用い周縁を打ち欠いて円形に整形している。周縁部は、打ち欠き後に一部擦っているものもみられる。52は底部を用いており、スス状炭化物の付着が多い。直径は3～4cmになるものが多いが、7～8cmと大形なもの（図35-52・53）もみられる。51は中心部に二次穿孔のみられるものである。

**ミニチュア・小型土器**（図35-57～73、図36-74～84、図37-85～91、写真43・44）

鉢は底部から口縁部にかけて外反する形状が多い。66は内面にスス状炭化物の付着がみられる。台付鉢（図35-71・図36-76・77）はスス状炭化物の付着がみられる。壺は体部下半が張り出し頸部が長い長頸壺と頸部が短い短頸壺があり、赤色顔料塗布が多い。80は内面に黒色付着物がみられる。87・90は四足土器であり、90は人面を表現しているものと思われる。図37-91の注口は断面形が算盤形を呈する。（成田）

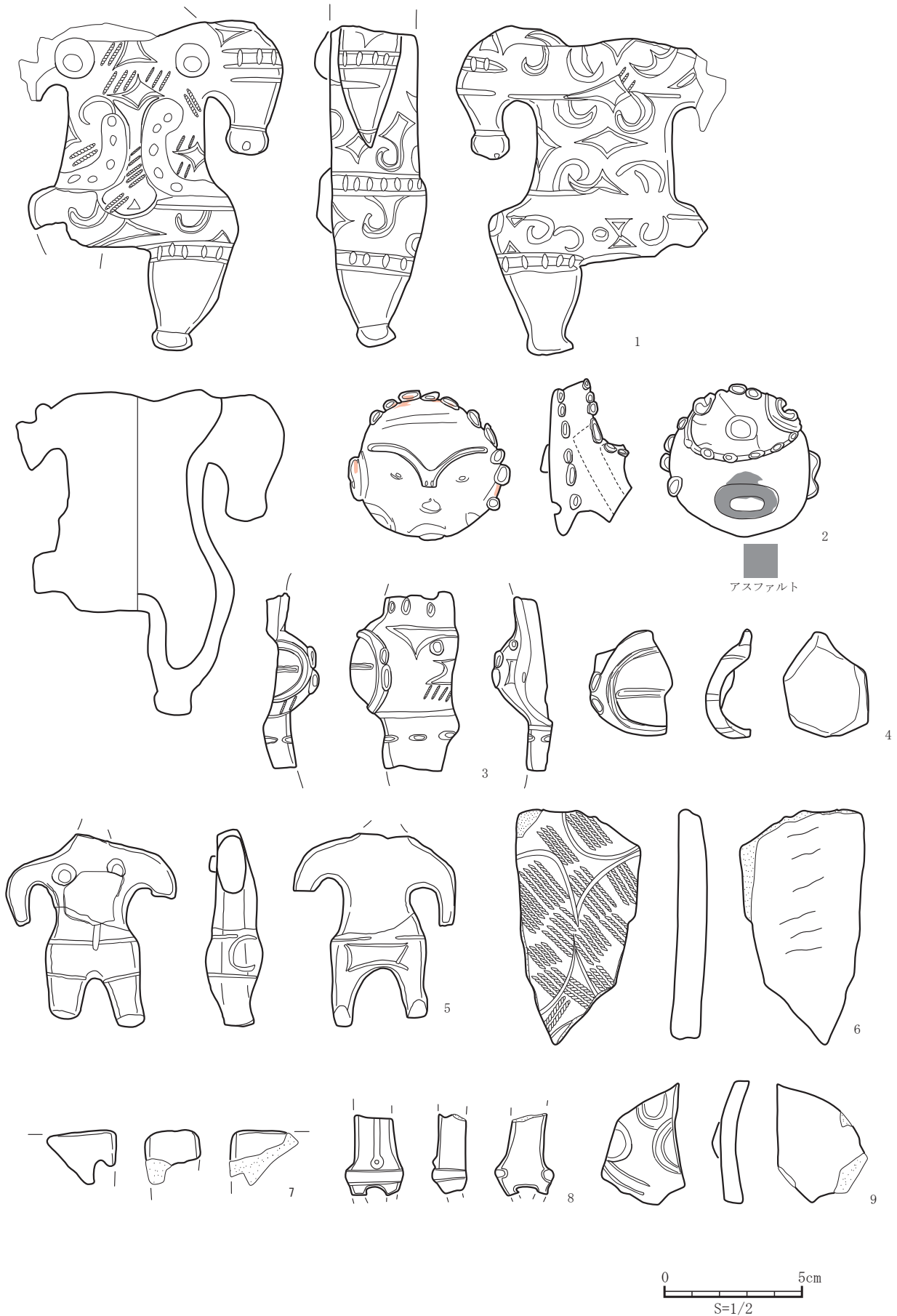
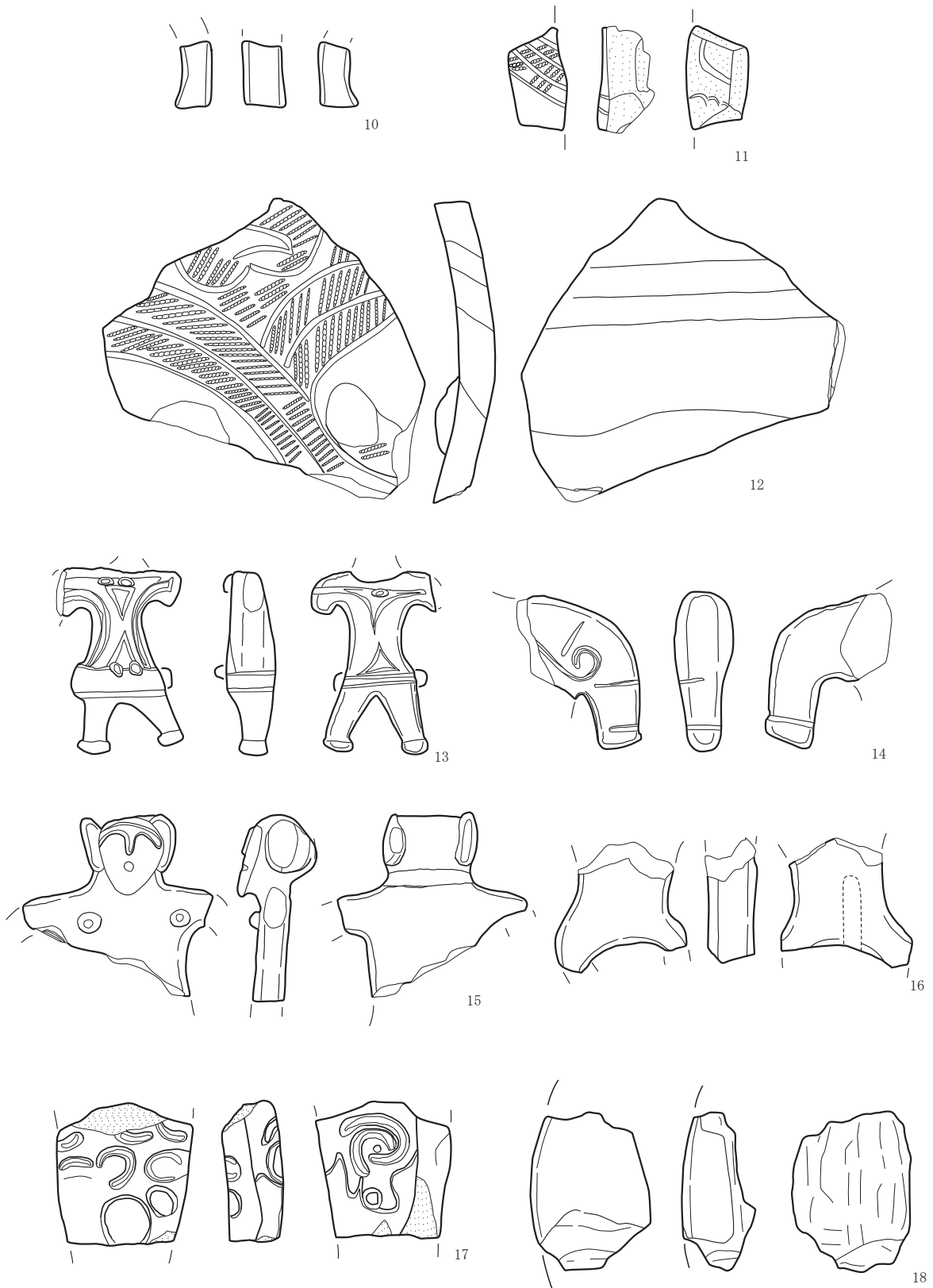


図31 東捨場地区 土製品(1)



0 5cm  
S=1/2

图32 東捨場地区 土製品(2)

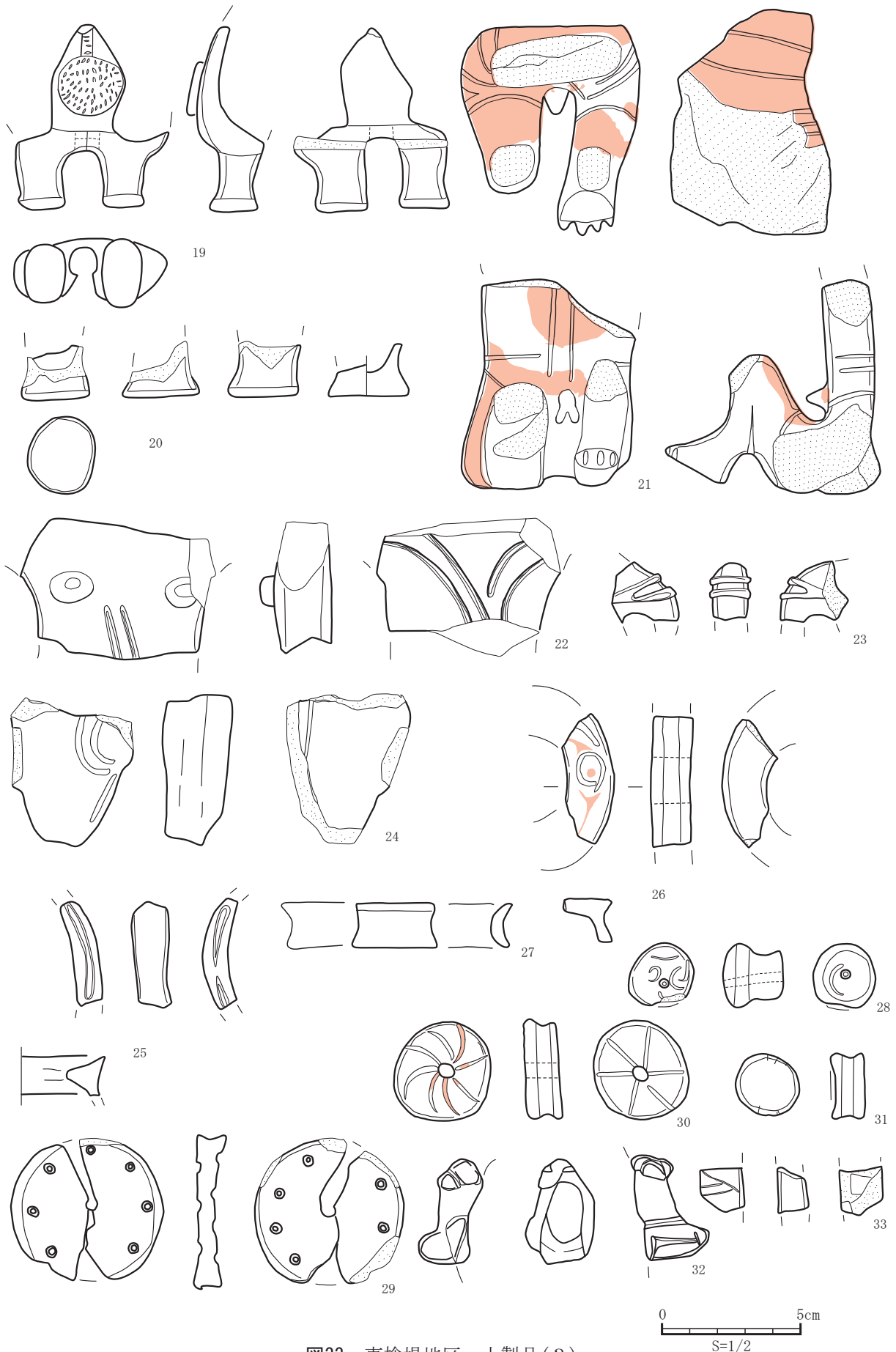


図33 東捨場地区 土製品(3)



図34 東捨場地区 土製品(4)



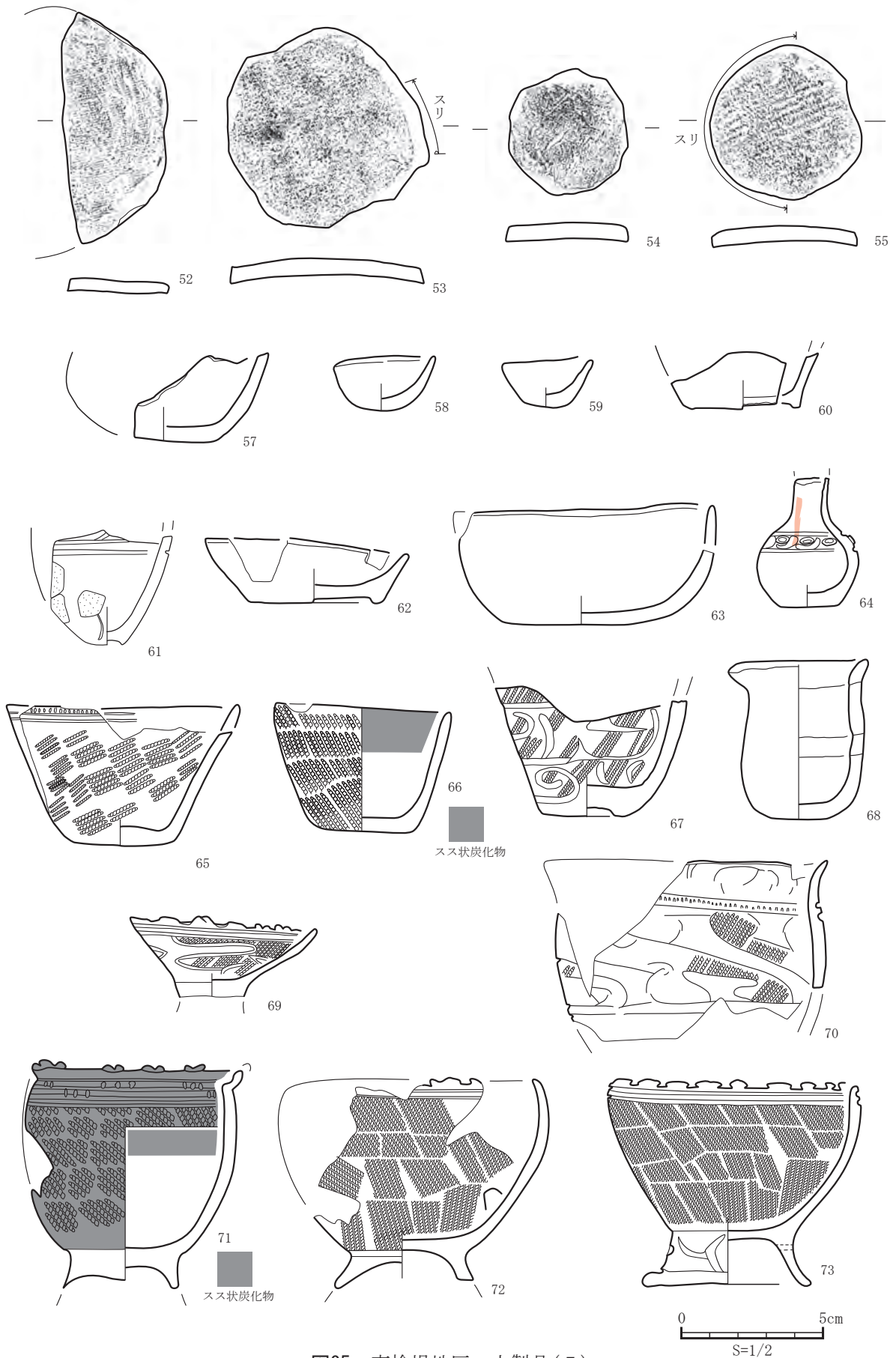


図35 東捨場地区 土製品(5)

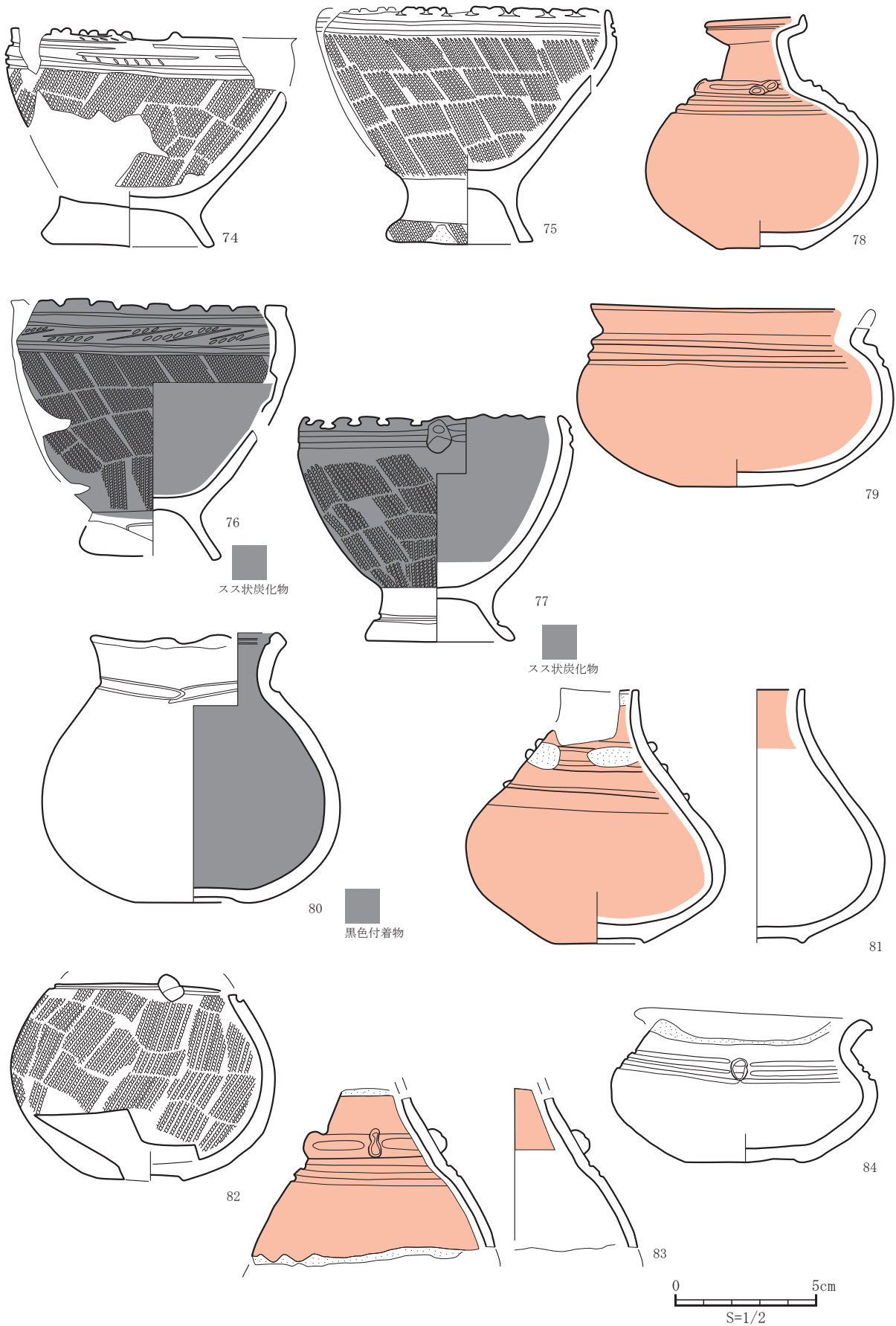


図36 東捨場地区 土製品(6)

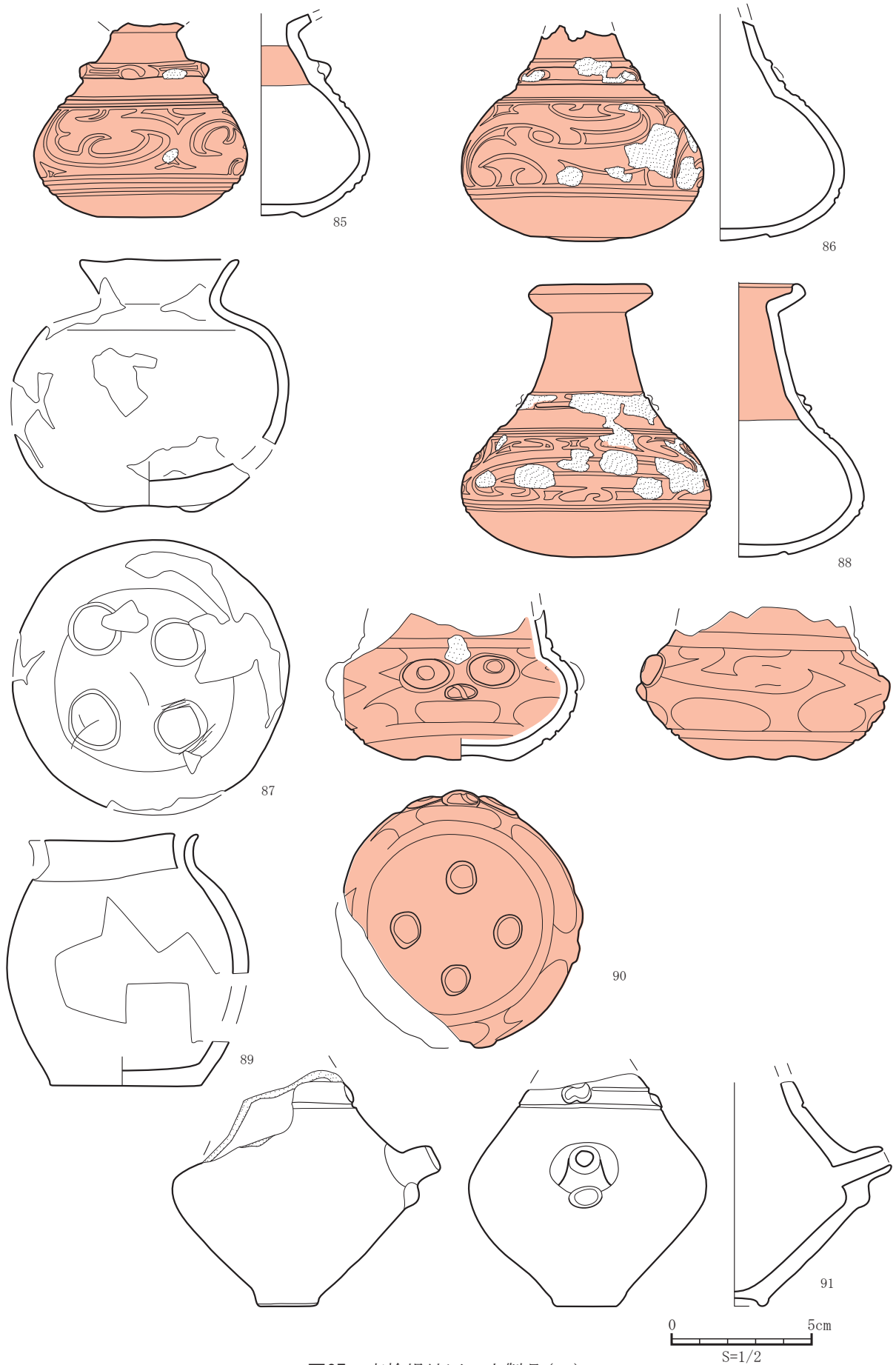


图37 東捨場地区 土製品(7)

## 5 石器

剥片石器や礫石器は出土量が多く、写真掲載を基本とした(図38~42、写真45~58・70、表10)。そのため、石器は写真図版を優先して事実記載する。写真・図ともに、上層から下層に向かって掲載することを基本とした。その他報告に関する考え方や石器出土点数及び組成については、報告書Ⅷに掲載する。東捨場延長部分と北東捨場及びその延長部分も同様である。

### 剥片石器

石鏃は写45-1~40・写48-17に掲載した。ほとんどが珪質頁岩製であるが硬く良質な石質のものが多い。有茎凸基鏃が多くを占める。形状と大きさは変異があるが丁寧な加工で整った左右対称の形のものが多い。そのため写45-37・39・40など左右非対称の物は未製品の可能性がある。写45-41~80と写46-2・3は石錐である。棒状の物と、棒状の錐の一端に基部を付けた物が多い。写45-76のように剥片の一端に錐先を作り出した物もある。

写46-1・4~9は石篋である。4にはアスファルトが付着する。

写46-10~48-8は石匙である。写46-15~26のように下辺が刃部にあたる横型石匙が丁寧な加工で作られる。つまみ部分にアスファルトが付着するものは刃部に光沢が確認できるものが多い。縦型石匙は加工部分の少ない物が多い。写47-7は、小さく欠失しやすい大きさのつまみ部のみ作り出したものである。同15・22は、つまみ部のほかに、つまみに類した突起を作り出している。明瞭ではないものの、側縁での凸の作り出しは写47-29~31にもみられる。

写48-9~49-4は削器や異形石器などである。写48-12~16は削器とした。石鏃未製品の可能性のあるものを含むが、この形状の物には一側縁にアスファルトが付着するものがある。同17・18・20は黒曜石製で、17は異形石器破片よりも石鏃破片の可能性が高く、18は削器、20は小形で円形の削器である。32は二次加工剥片であるが、裏面のほぼ全面にアスファルトが付着している。

写49-1~3は黒曜石製の異形石器である。4は鉄石英製で、赤色である。同5~23は石核・石核転用敲石及び剥片の接合資料(写49-9)である。(齋藤)

### 磨製石斧

磨製石斧は写真50(図39・40)に掲載した。石材は緑色凝灰岩、凝灰岩、粗粒玄武岩、角閃岩、緑色岩である。

大半が破損している。整形は、研磨と敲打によってなされている。写50-1は裏面に擦切痕が見られる。

写50-6は、扁平な形状であるので、他の磨製石斧と比較して形状が異なる。整形加工の剥離痕が明瞭に残されている。石材は緑色凝灰岩である。

写50-9は刃部が潰れている。敲石へ転用されたと思われる。

小形磨製石斧(写50-2、12)が2点出土している。緑色凝灰岩と緑色岩製である。

欠損面に再加工の痕跡がある磨製石斧がある。写50-4は刃部破損面に敲打痕が見られる。写50-8、7は基部欠損面に剥離が見られる。写50-1は、基部断片資料であり、折れ面を打面として剥離、折れ面には敲打痕が見られる。基部にも敲打の集中がみられる。敲石に転用された可能性がある。またア

スファルトと思われる黒色の付着物が見られる。

(高橋)

### 礫石器

磨面と敲打痕など複数の種類の使用痕を持つものも多いが、主体となる使用痕から概ね磨石、敲石、凹石、石皿の順に写50-13～写真58にまとめた。磨石は花崗岩などの硬質の石を含み、大きさも大形から小形まで変異がある。凹石は凝灰岩など軟質の石材が中心である。写54-1・2のように大きな窪みを持つものは、石製品に近い印象を受ける。写52-15は底面が平坦に面取りされ、正面の中央部から側面にかけて敲打による窪みが回り込む。礫石器とするよりも、独鈷石等の石製品の製作途中品の可能性がある。写55-16は擦切具である。同17は石皿で片方の面が縁付きで、もう一方が中高の石皿となっているものである。

写真58-1～6は自然礫である。有孔のもの、棒状、くびれのあるものを掲載した。写真58-9は被熱により赤黒色に変化した部分の中に、被熱の弱い部分が白く紐状に浮かびあがった自然礫である。

(齋藤)

## 6 石製品 (図45～51、写真59～70、表10・11)

石器と同様に写真番号をもとに記述する。

### 石棒類

石棒類は写真59・60 (図43・44) に掲載した。石材は粘板岩が大半である。

写59-1は、真っ二つに割れた破損面にアスファルトと思われる黒色の付着物が見られる。欠損後、修理したものと思われる。柄頭には工字文風の沈線文が施文されている。写59-3は石刀である。柄頭には沈線文が見られ、沈線と沈線の中の側面に敲打痕が見られる。明確な刃縁が作出されていないが、残存部の中央から、柄部と刃部の境が見られ、断面形状が異なる。同一個体と思われる切っ先が出土している。写59-5は柄頭に三叉文崩れの沈線文が施文されている。写59-6は凝灰岩製であり、正面に深い溝がある。柄頭は円盤状であり、側面に沿って沈線が1条巡る。写59-2・10は柄頭の断片資料である。2は沈線文が柄頭をらせん状に巡る。写59-13は両端が尖頭状で、中央がくぼむ、独鈷石状の形態である。

写59-8は点紋粘板岩製である。敲打による凹帯が見られる。写70-14は凝灰岩製、石刀の刃先断片である。刃先に刻みが見られる。写59-9は点紋粘板岩製で素文の蛇頭形の柄頭を有する。写59-4は点紋粘板岩製、先端部資料である。写59-12は隣接グリッドの上下層から出土した破片同士が接合した。欠損品を再加工したものと思われる。写59-7は柄部資料であり、柄頭には突起、沈線文、柄頭の境に近い部分には2条の隆帯が巡っている。写59-11は柄頭断片資料であり、扁平な形状である。X状の沈線文が施文されている。

写真のみ掲載した石棒類は、胴部や先端部などの断片である (写真50-11、59、60)。

(高橋)



## 岩版

岩版は14点出土した。

形態は、端部が丸みをもつ楕円形（写60-10）と端部が平坦で全体の形状が方形（写60-3・9）、下部に向かって広がる形（写60-2）の三形態が確認できる。

文様は中心部に垂直な直線の正中線を施文し、その端部に円形の孔を施文しているものがある（写60-5・6・10）。写60-5は上部に対する楕円形文を施文しており、顔面の目を表現している。写60-3・9・10、写62-1・4は渦巻文様の間に三角形文を充填しており、写60-2・5は両端渦巻文様を施文している。写60-4・61-3は表裏面に擦痕を有している。（成田）

## その他の石製品

写61-4～6は岩版の形に整えられているが、文様が刻まれていない。岩版未製品の可能性と共に、このままで完結する可能性がある。擦痕等がみられることから、線刻礫と同じ扱いとした。写真61-7は半球状の石製品であり、裏面が内側に向かって窪みを持つ。

写62-3・5～66-4は石製円盤である。石材は花崗岩、安山岩、デイサイト、凝灰岩など遺跡周辺で獲得できる石材が用いられ、写63-7のように珪質頁岩製のものもある。写62-3・5・9、63-2・8、65-21のように、軟質の凝灰岩やシルト岩では側面を含めて丁寧に研磨したものがある。また、剥離のみで側面の敲打痕等が無く、整形しないものが多い。剥離加工も1～2打撃で終わる物がある。写62-22のように板状の楕円礫の縁面に敲打痕のある石製円盤は敲石との区分が難しい。製作に両極打法が多用されるため、剥離が向かい合う抉りとなったものは、石錘との区分が難しい。石製円盤は性格を異にする複数の物が含まれていると考えられ、今後の課題が多い。写64-2～5、11～13のように、中央部にアスファルトの付着した物もある。完成品の詳細な定義ができないため、1～2打撃の加工品についても未製品と述べることができない。そのことから、今後の再検討のために可能な限り、掲載することとした。そのため石製円盤を集合写真にして写真68～69に掲載した。集合写真毎に円1～11までの番号を付した。写真には東捨場と東捨場延長部分をあわせて掲載した。大きさの変化が大きく、円11にまとめた物は、長軸が2cm強から～4cm弱の小形品である。円12は石製円盤と類似した形状の礫である。明確な加工がみられず、素材礫あるいは、そのまま石製円盤として使用された可能性もある。円12の次には東捨場地区の南端の平成27年度調査の村道部分の出土品を主体とした円24を掲載した。

石製品では特筆されるのが、写66-13である。珪質頁岩のノジュールを素材としている。礫皮に近い外側の灰白色の部分を敲打により女性の乳房の形に作り出している。乳輪にあたる部分には、線刻を巡らせて乳首の盛り上がりについても削り出している。内側については、自然の窪まりがあり、縦長の穴がある。その周辺の珪質の部分は敲打により形を整えて、全体として女性の性象徴を表現しているように見える。写真67には線刻礫等を置いた。写67-12については正面中央の横線から下に向かって線が刻まれている。両側縁の対向する剥離についても人体を意識して加工された可能性がある。同13は線状の欠損部の下に線刻が残る。通常の凹石に形成される物としては違和感があり、線刻礫とした。写67-10についても凹痕はあるが、裏面の窪みの長さ幅共に大きく、半球状で底面に窪みを持つ写61-7のような石製品の未製品の可能性がある。

### 赤色顔料塊

写真69の右下に赤色顔料塊の一部を置いた。赤鉄鉱により鉱染された泥岩であり、周辺に産する(柴2016)。東捨場及び延長部分の出土量等は、北東捨場を含めた他の捨場のものとともに、報告書VIIIで記述する。(齋藤)

## 7 その他の遺物

アスファルト・漆製品(櫛・漆塗膜)が出土した(写真70、表12)。

### アスファルト(写真70、表12)

I層・KIII1層・KIII2上層からアスファルトが3点出土した。

### 漆製品(表12)

KIII1層から漆塗膜片が1点、KIII2上層から櫛と推定される漆塗膜片、KIII2層から赤色漆塗りの櫛が出土した。いずれも小破片であるため、観察表のみ掲載した。なお、櫛2点については放射性炭素年代測定を実施し、 $3060 \pm 20 \text{yrBP}$  (KAWA(1)-158)、 $3050 \pm 20 \text{yrBP}$  (KAWA(1)-159)の年代値が得られている(報告書VIII第5章第6節参照)。

(中澤)

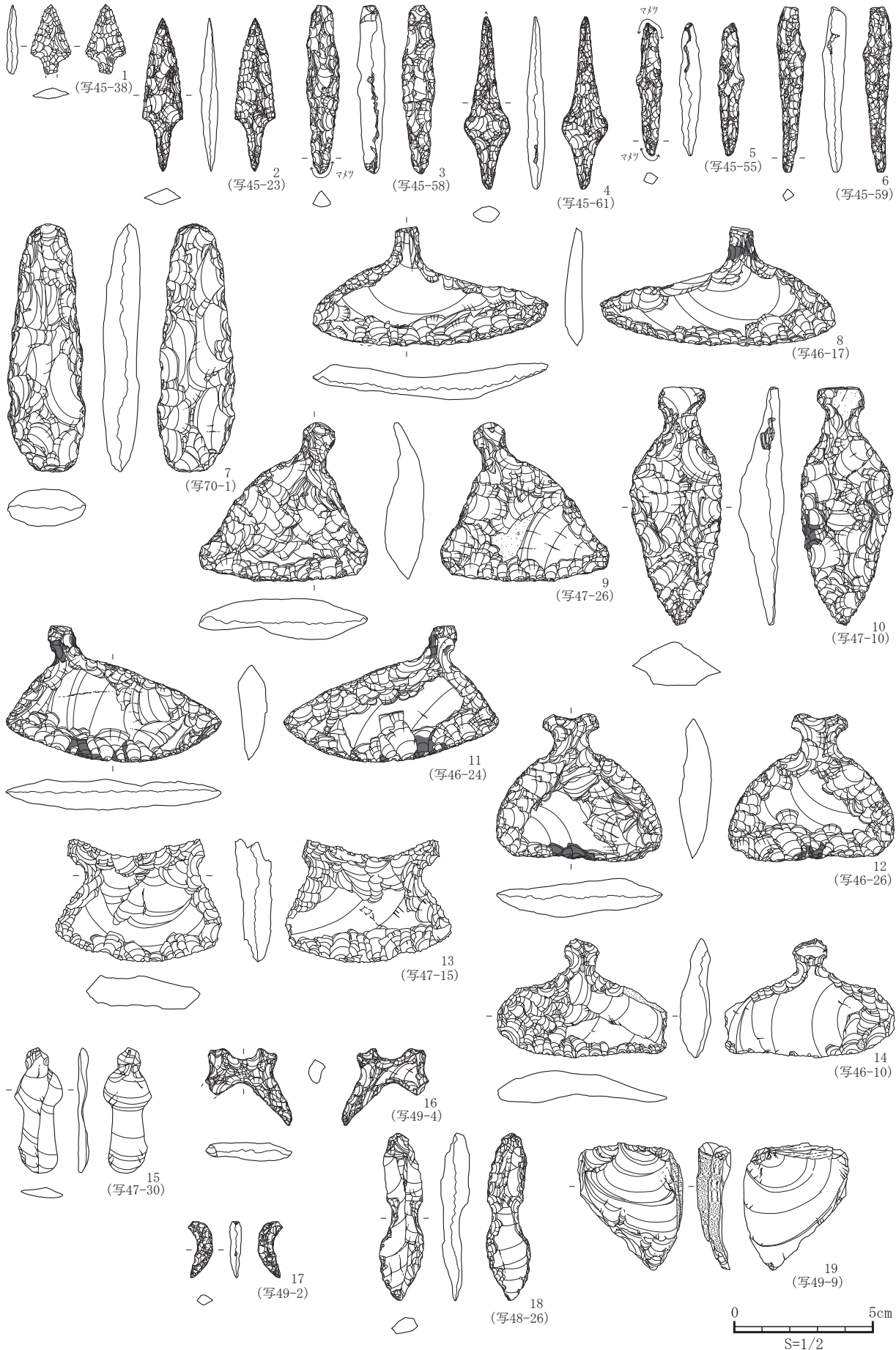


図38 東捨場地区 石器・石製品(1)

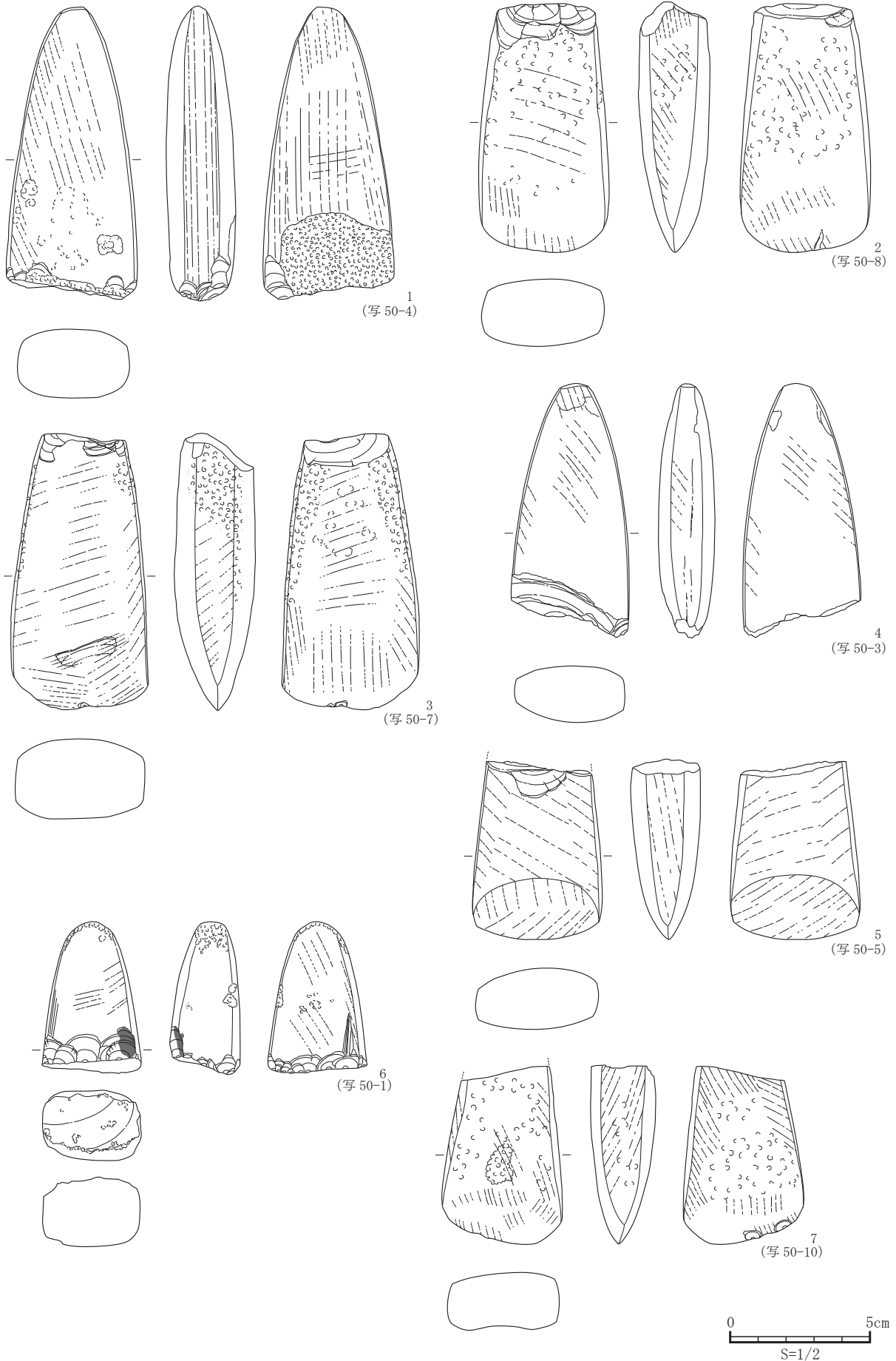


図39 東捨場地区 石器・石製品(2)



図40 東捨場地区 石器・石製品(3)



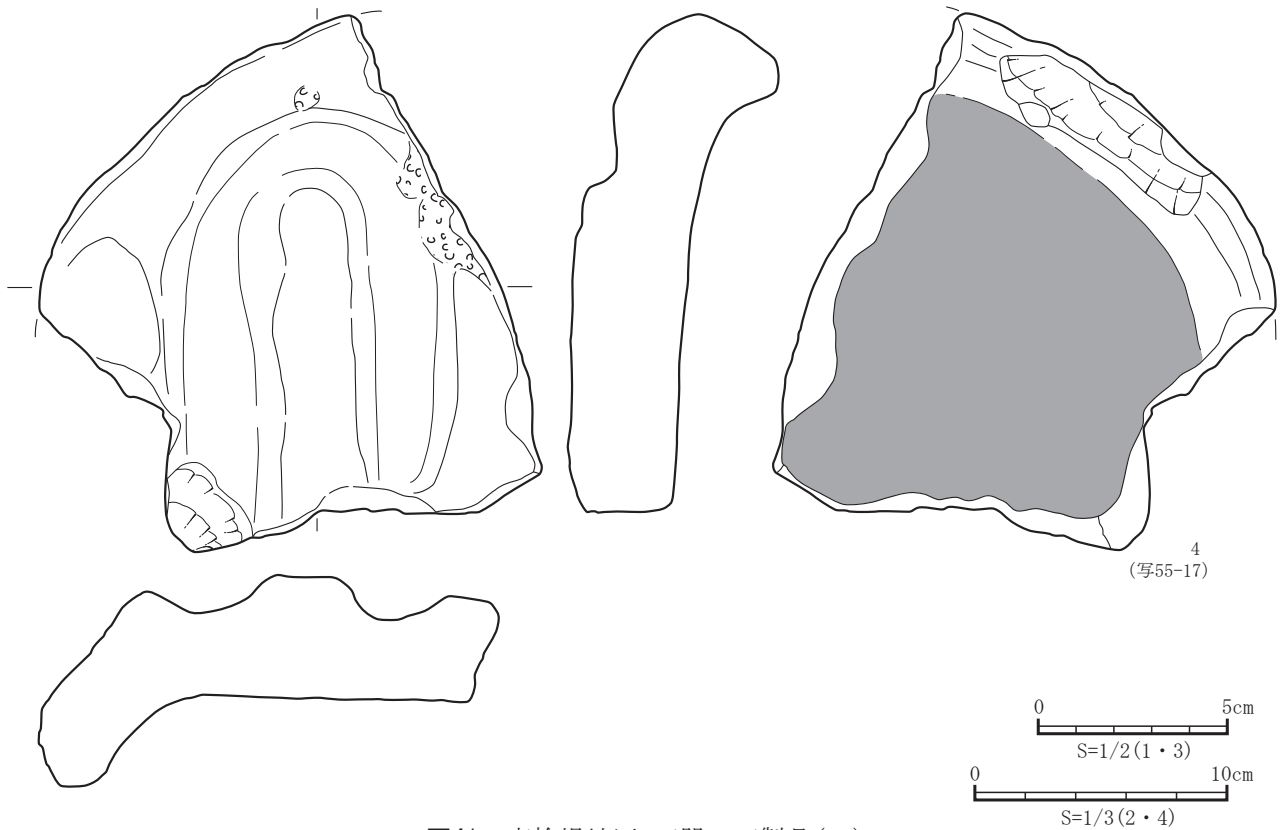
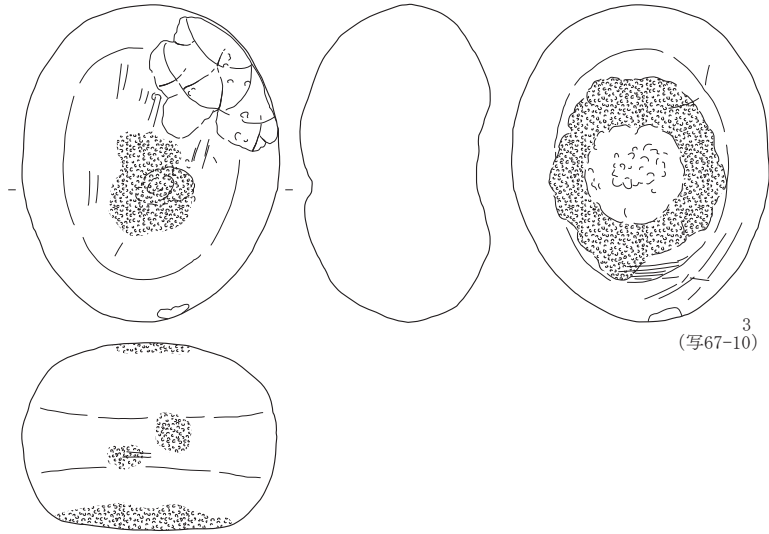
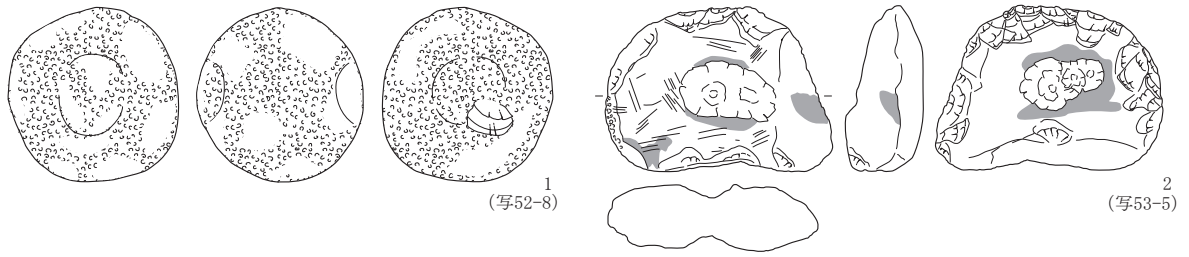


図41 東捨場地区 石器・石製品(4)

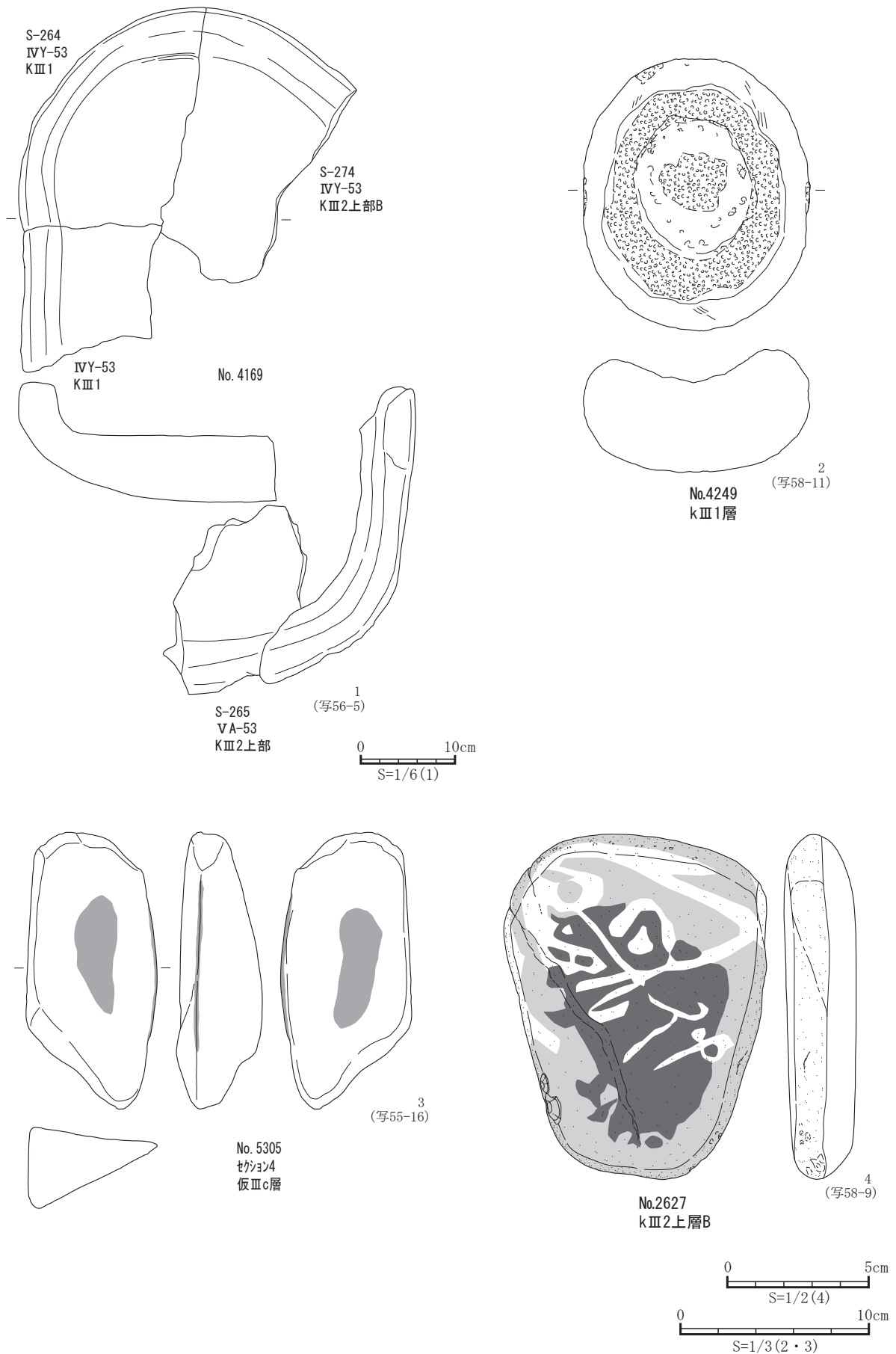
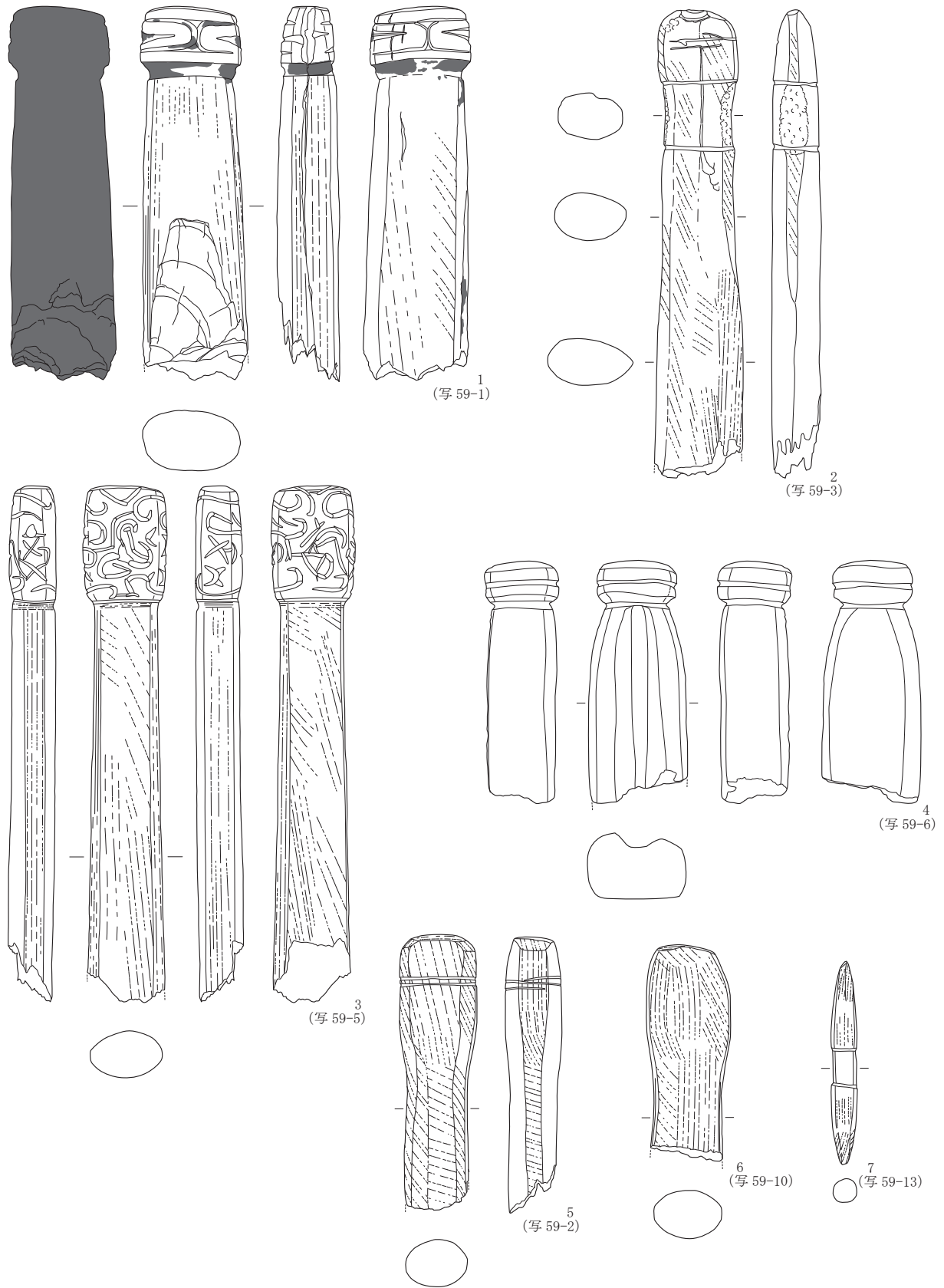


図42 東捨場地区 石器・石製品(5)



0 5cm  
S=1/2

図43 東捨場地区 石器・石製品(6)

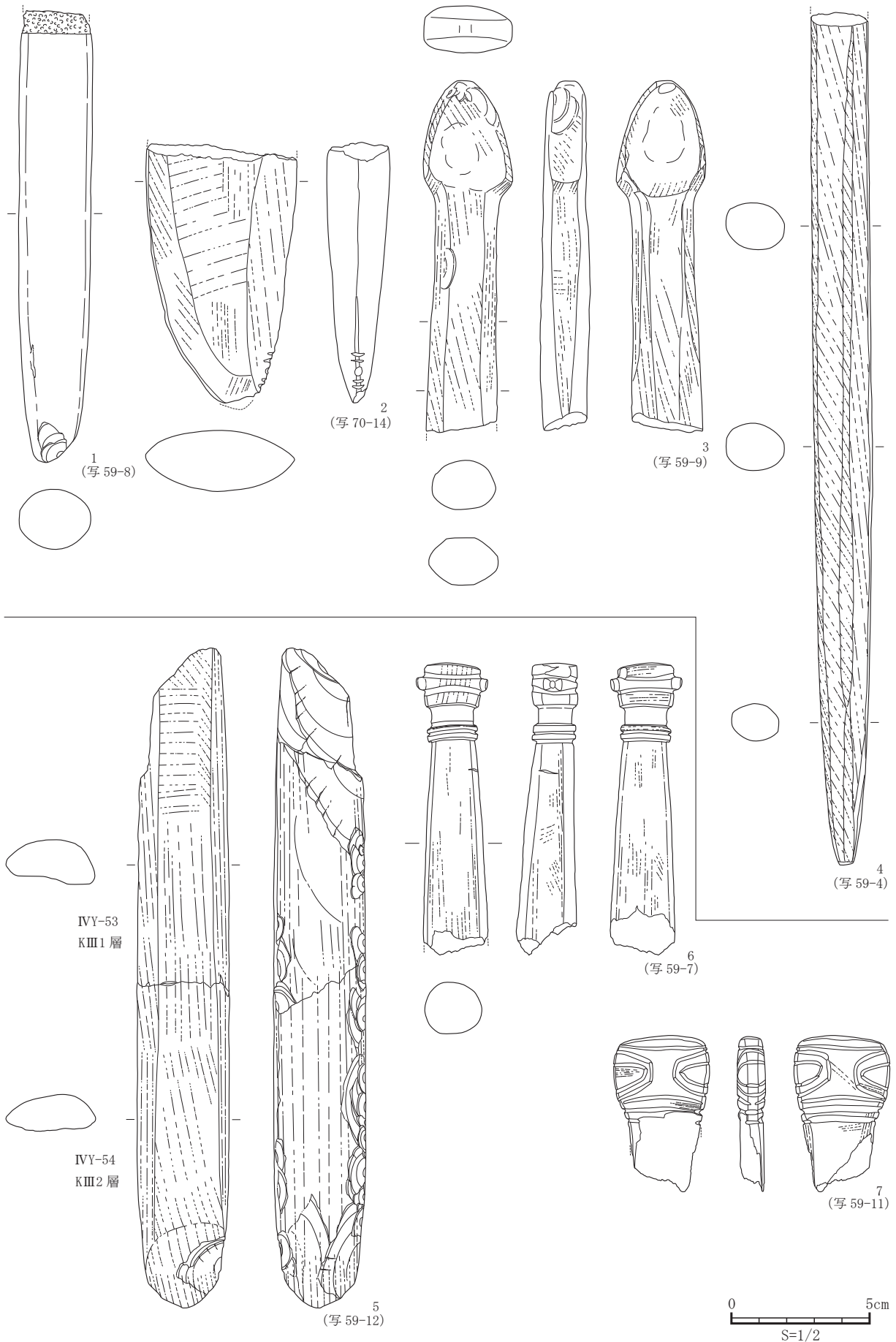


図44 東捨場地区 石器・石製品(7)



図45 東捨場地区 石器・石製品(8)



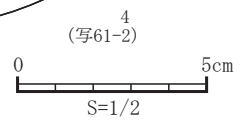
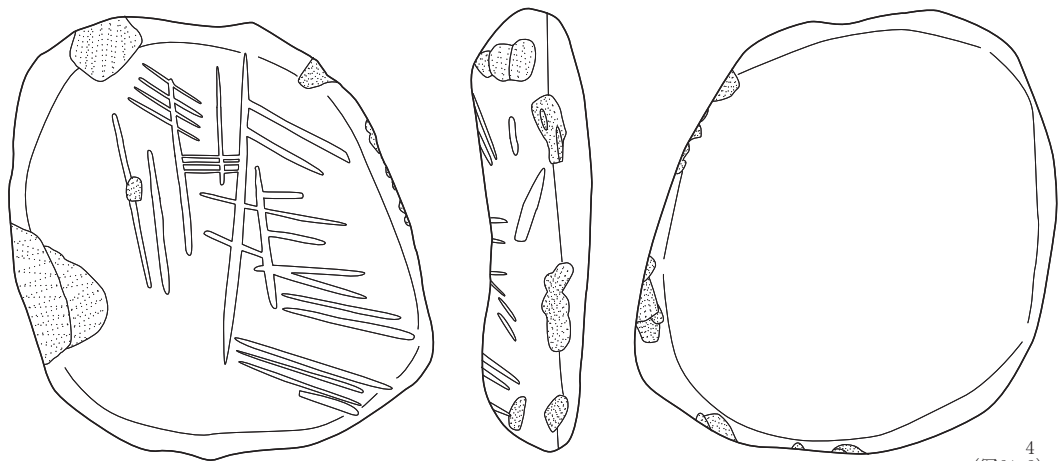
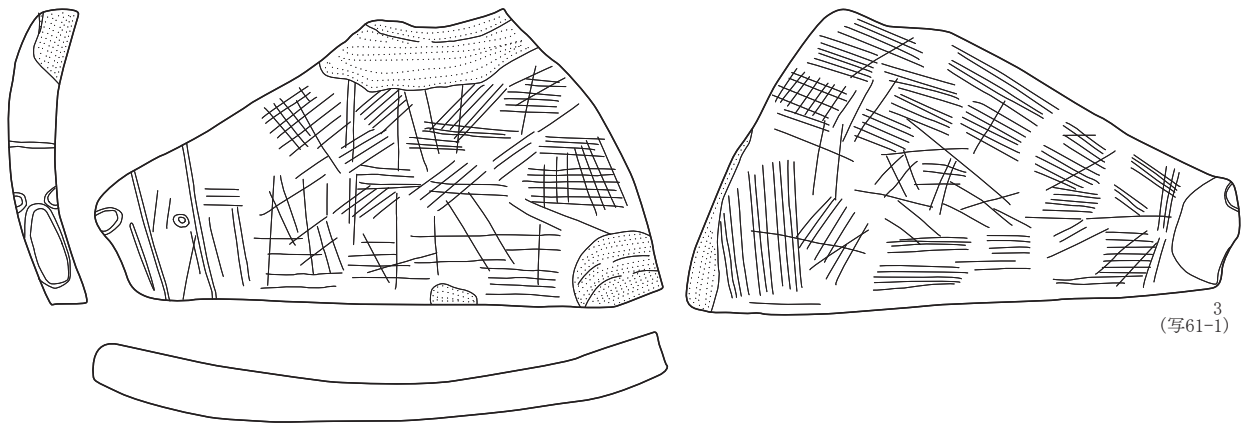
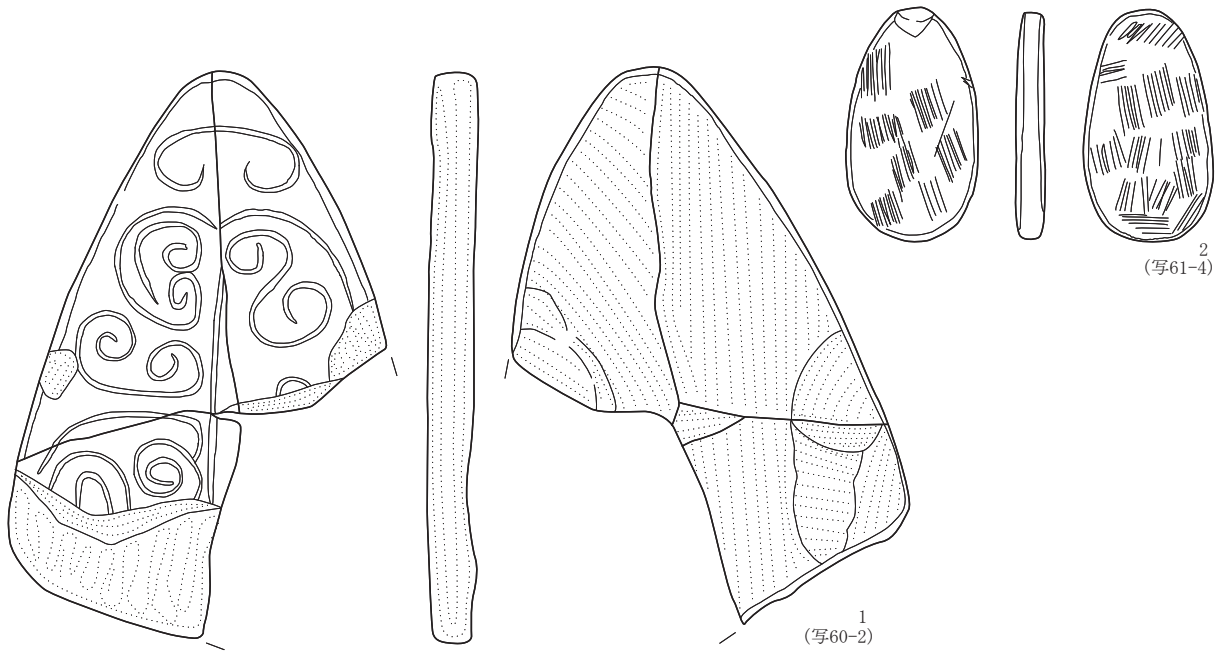


図46 東捨場地区 石器・石製品(9)



図47 東捨場地区 石器・石製品(10)

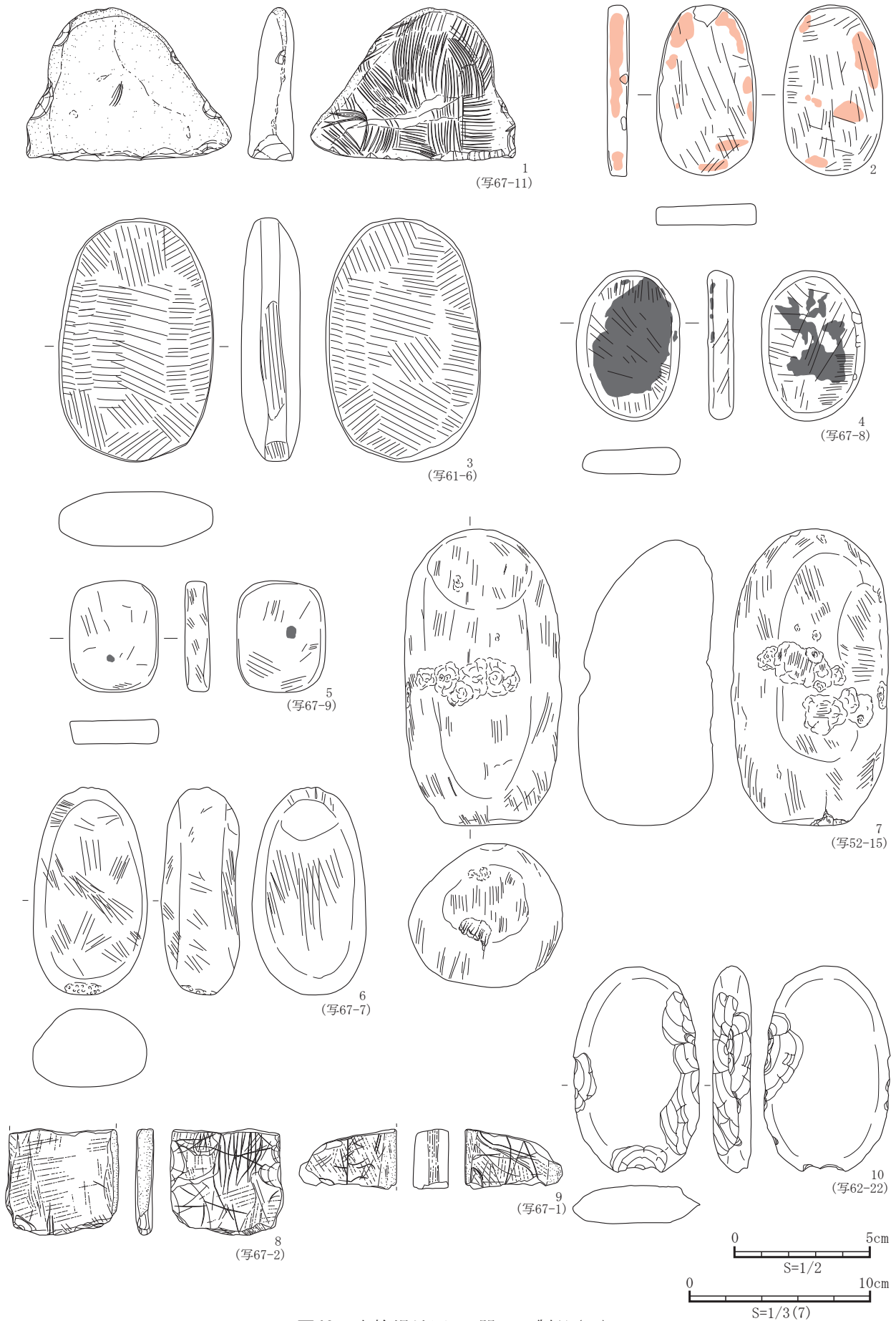


図48 東捨場地区 石器・石製品(11)

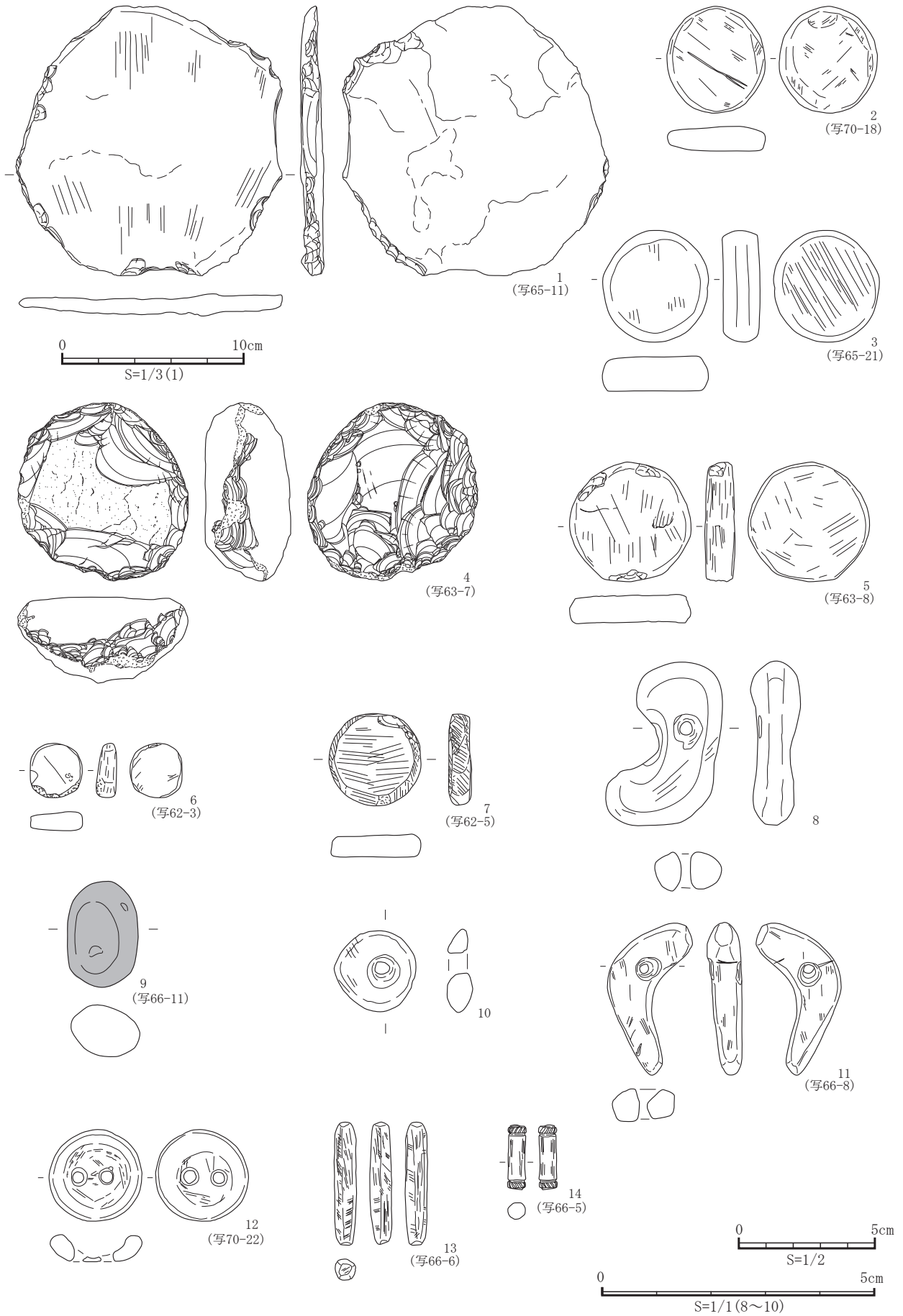


図49 東捨場地区 石器・石製品(12)

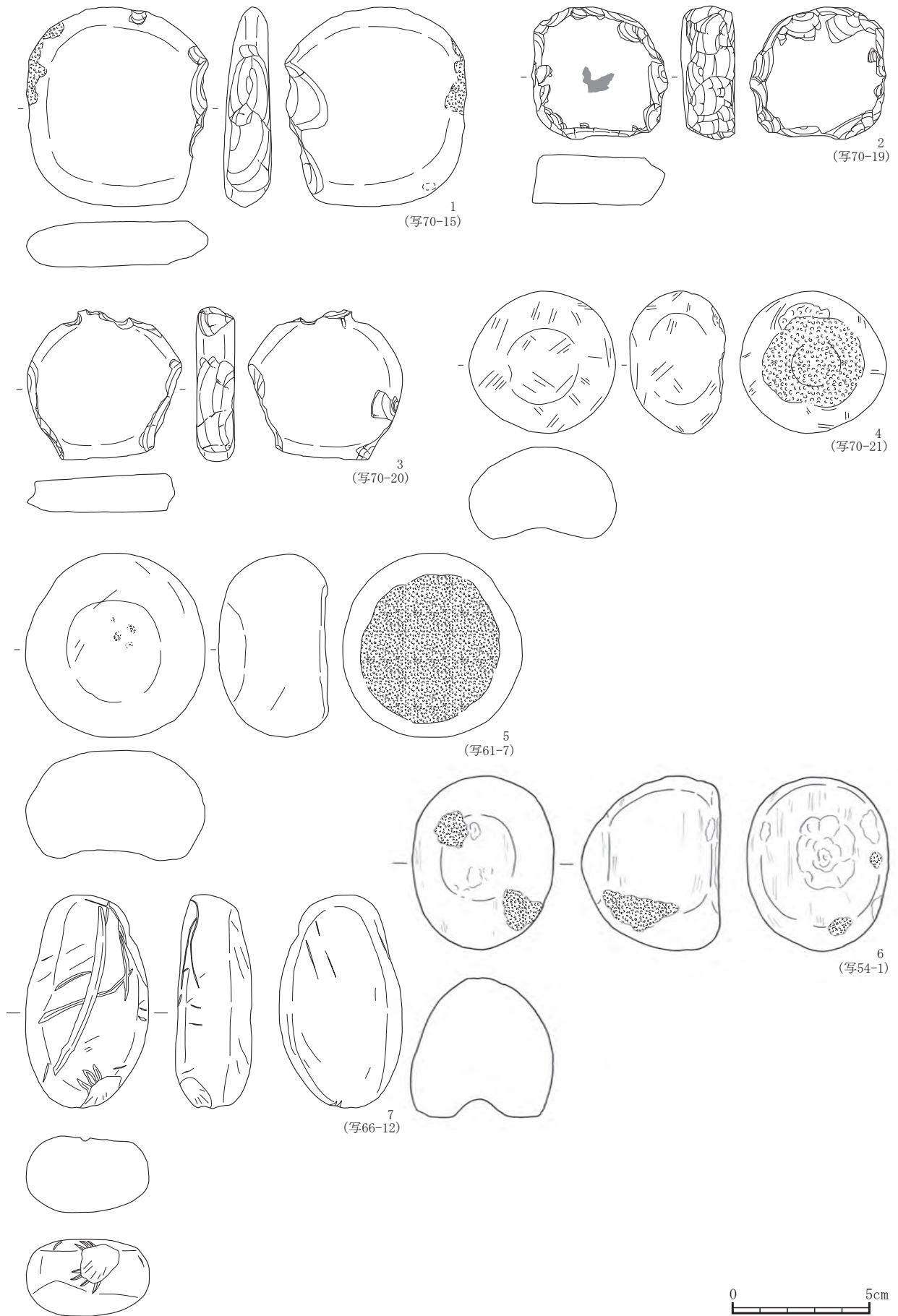
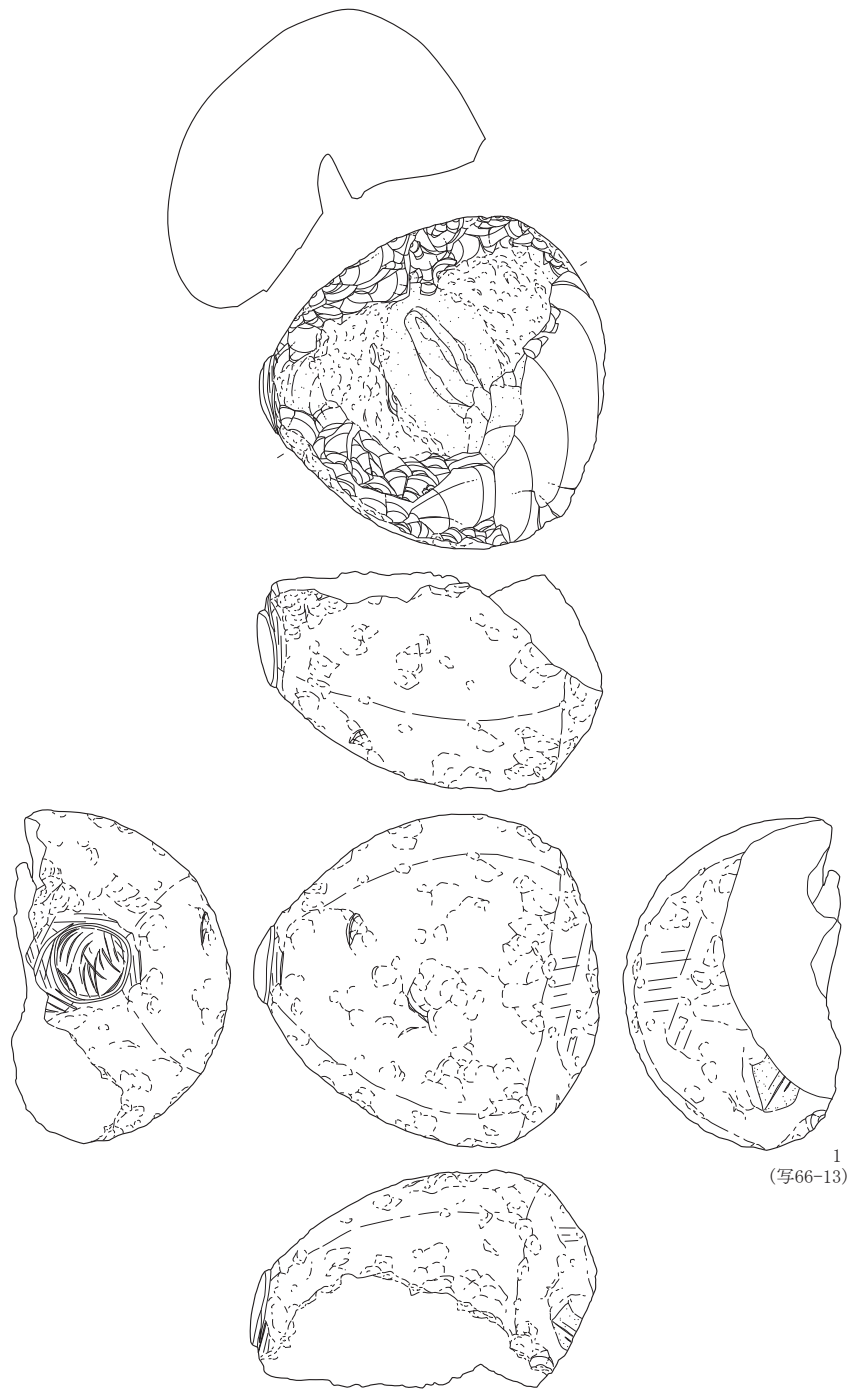


図50 東捨場地区 石器・石製品(13)





1  
(写66-13)

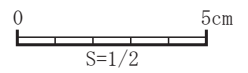


图51 東捨場地区 石器・石製品(14)

## 第3章 まとめ

東捨場地区は、主要な居住域と考えられる平場地区の外側に位置する平坦地である。竪穴建物跡に伴わない焼土遺構が検出されること、墓域が確認されずいくつかの群に分かれた土器埋設遺構が存在すること、小規模な配石遺構が散在すること、断続的に廃棄域となることなど、土地利用のあり方は平場地区に対して同様の位置にあり地形も類似する南捨場との共通性が高い。なお、東捨場と南捨場では相互に接合する遺物は知られていない。東捨場で検出された遺構は、配石遺構4基、土器埋設遺構19基、焼土遺構9基、ピット2基である。このほか、土器集中域であるブロックが14箇所確認された。下表はそれらの時期と検出層位の関係をまとめたものである。また、文末には出土土器の時期を層単位でグリッド別に示した。これは土器接合時の時期判定であり、その後若干の変更はあるものの、出土傾向の大枠を知ることができる。

遺構の時期と確認層位

層位	時期 後期7-4期	後期末～ 晩期初頭	晩期前葉	晩期3期	晩期4～ 5期	不明
KⅢ (不明含む)			SR38・39・40	ブロック3・4	SQ15 <sup>*</sup> ブロック5	Pit1929・ 1932
KⅢ1				SQ34・48 SR41・42・43・44・45・46・ 47・48・49・80・81・82 ブロック2		
KⅢ1d			SQ49 SN58・59・60・61・62・63・64 ブロック6 (17含む)・10 (KⅢ <sub>e</sub> ～f)	SR37		
KⅢ2上	ブロック22	ブロック21・24	SR77・78・79 SN65・66 ブロック23			
KⅢ2		ブロック18・20	ブロック19			

※SQ15は晩期5期の建物跡に壊されており、それ以前。

後期中葉以前の遺構・遺物は確認されておらず、地区内の土地利用は後期後葉に始まる。後期後葉～晩期初頭においては、地区の北側に小規模な廃棄単位（ブロック）が形成される。

晩期前葉の土地利用は前の時期よりも広がるが、主体は地区の北側である。ブロックの形成が続くほか、土器埋設遺構・焼土遺構が構築される。焼土遺構には確実に伴う遺物が少なく時期の決定は難しいが、検出層位および周辺で出土している土器から晩期前葉と判断した。前葉の中でも2期の遺物は少ないため、1b期に属する可能性が高い。隣接して晩期3期の捨場があり、出土炭化物の放射性炭素年代測定値は3期の土器付着物の測定値とも重なるため、3期に属す焼土遺構がある可能性は否定できないが、焼土遺構およびその直下、また焼土遺構が属すグリッドのKⅢ1d・KⅢ2上層では3期の土器は出土していない。検出層位は最も古いSN66がKⅢ2上面、SN65がKⅢ2上層の中、SN61・62・63がKⅢ1層の中、最も新しいSN58・59・60・64がKⅢ1d上面と多岐にわたり、同一層内でも上下差をもつ場合があることから晩期前葉の段階で地表面が次第にかさ上げされていく様子が窺える。

晩期3期には地区の南側が廃棄域として利用され、晩期前葉の遺構の上部には広がらない。この時期の土器は良好な一括資料であるが、比較的広い範囲に遺物が連続して出土し、ブロックのような廃

棄単位をつかむことはできなかった。廃棄域の中には配石遺構や土器埋設遺構が確認される。

晩期4期以降の遺物はごく少量が出土するのみだが、SQ15・ブロック5は該期に属する可能性がある。SQ15は晩期5期の建物跡に壊されているため、それ以前としかいえない。

焼土遺構は地床炉、石囲炉、土器埋設炉と形態が多様である。焼土周辺では硬化面や柱穴が確認されず、一般に屋外炉として扱われるものである。武藤康弘は秋田県平鹿遺跡を例に、炉の周辺から明確な床面が検出されない焼土遺構は平地式住居に伴う可能性が高いことを指摘している（武藤2016）が、今回の調査ではそれらを明らかにすることはできていない。

土器埋設遺構は晩期3期に属すると考えられるものが多い。墓域に伴うものではなく、いくつかの集中地点に分かれる。埋設された土器にはいずれも使用痕跡が認められ、内外面に炭化物が付着している。晩期3期のものはいずれも明瞭な掘方が観察されず、包含層中に伏せ置かれたように出土した。包含層中に置き去りにされたものであるとすれば、「埋設」という語は適さないが、青森県内で検出された晩期の土器埋設遺構は本遺跡が最多であり、比較対象が不足しているため本編では注意喚起の意味を含めてこれらを遺構として扱った。なお、掘方が確認できない逆位の埋設土器は、南捨場SR06・30（報告書Ⅱ）のほか第2章で触れたように岩手県九年橋遺跡でも検出されている（藤村1985）。

配石遺構はいずれも包含層中に礫を並べたもので、整った形状を意識したものではなさそうである。また、礫の掘方や土坑などの下部施設は検出されなかった。配石に確実に伴う、供献されたような遺物の出土状態も認められない。

東捨場に関連する放射性炭素年代測定値は下記の通りである。なお、比較対象である時期別の土器付着物の放射性炭素年代測定値は報告書Ⅷの第1分冊第10章に掲載した。

**本編に関連する放射性炭素年代測定結果**

出土地点	試料	測定値 (yrBP)	測定番号	出土遺物等による推定時期	土器付着物の測定値との比較
SN58周辺焼土	炭化材	2910±20	KAWA(1)-069	晩期前葉	後期8～晩期3期に相当
SN58・1層	焼獣骨	2850±20	KAWA(1)-164	晩期前葉	晩期1b・3期に相当
SN59	炭化材	2850±20	KAWA(1)-070	晩期前葉	晩期1b・3期に相当
SN59	炭化材	2830±20	KAWA(1)-071	晩期前葉	晩期1b・3期に相当
SN61・2層	焼獣骨	2630±20	KAWA(1)-166	晩期前葉	晩期4期に相当
ブロック22	炭化材	3110±20	KAWA(1)-126	後期7-4期	後期7-4期より古い
KⅢ2上層・IVY-52	漆塗膜	3060±20	KAWA(1)-158	晩期3期以前	後期7-4～8期に相当
KⅢ2層・IVY-53	漆塗膜	3050±20	KAWA(1)-159	晩期1b期以前	後期7-4～8期・晩期2期に相当
KⅢ1炭ア層	炭化材	2760±20	KAWA(1)-125	晩期3期以前	晩期4期に相当
KⅢ1炭イ層	炭化材	2920±20	KAWA(1)-124	晩期2期以前	後期8～晩期3期に相当

後期後葉～晩期前葉の土器は数箇所のブロックとして出土状況を把握できたが、器種・文様の組み合わせを論じることができるほどの出土量は得られなかった。また、KⅢ1層出土土器は晩期3期の一括資料であるが、3期の中での新旧を出土状況から明らかにするには至っていない。

特殊な遺物としては、人面・獣面付の土器が4個体出土している。写36-3は両者が一個体の中に共存する例である。写42-21は股間に突起がみられ、男性を表現した土偶の可能性はある。KⅢ1d層で出土した晩期前葉の耳飾り（写42-34）は、直径7cmの大型品で、透かし孔等が入念に施されている。類例は少なく、県内では階上町滝端遺跡出土品に限られる（階上町教委2000）。石製品ではアスファルトで補修された岩版（写60-5）や石棒（写59-1）、同一個体に乳房と女性器を表現したとみられるもの（写66-13）が注目される。（岡本）

層位・グリッド別の土器の時期

Sec4 KⅢa層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVU-49						●	●	
IVU-50	●							

Sec4 KⅢb層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVU-47	●	●						
IVU-49	●				▲	▲		
IVU-50		●						

Sec4 KⅢc層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVU-50	●	●		●				

KⅢ層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVU-47	●							
IVU-48	●						●	
IVU-49	●					●	●	●
IVU-50	●					●		
IVU-51	●	●						
IVU-52			●	●				
IVU-53	●							
IVU-54	●					●		
IVU-55	●					●		
IVW-49							●	●
IVW-51	●				●	●		
IVW-52		●	●			●		
IVW-53	●	●	●	●				
IVW-54						●		
IVW-55						●		
IVW-50	●	●	●	●			●	
IVW-52	●	●	●	●				
IVX-48								●
IVX-51	●					●	▲	▲
IVX-52	●	●				●		
Sec4 IVU-49	●	●						
Sec4 IVU-50	●							
Sec4 IVU-55						●		
ブロック 2	●		●			●		
ブロック 3	●					●		
ブロック 4	●						▲	
ブロック 10					●	●		

KⅢ下層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVU-49	●	●						●
IVU-54	●		●			●		
IVU-54	●					●		
IVU-55	●					●		
IVV-51		●						
IVV-53	●			●				
IVV-54						●		
IVV-55	●					●		
IVW-52	●					●		
Sec4 IVU-54						●		

KⅢ1層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVU-53						●		
IVU-55						●		
IVU-56	●					●		
IVV-53	●					●		
IVV-54						●		
IVV-55						●		
IVV-56	●	●				●		
IVW-53				●	●	●		
IVW-54				●	●	●		
IVW-55				●	●	●		
IVW-56					▲	●		
IVX-53	●		●	●	●	●		
IVX-53	●		●	●	●	●		●
IVX-54	●				●	●		
IVX-55	●	●			●	●		
IVy-52			●	●				
IVy-53	●					●		
IVy-54	●	●	●	●	●	●	▲	●
IVy-55	●	●			●	●		●
VA-52	●	●	●	●				
VA-53	●	●	●	●		●		
VA-54	●				●	●		
VB-53		●						
Sec4 IVU-50	●	●						
Sec4 IVU-51	●	●		●		●		
Sec4 IVU-52	●		●		●	●		
Sec4 IVU-53	●	●	●					
Sec4 IVU-54	●					●		
Sec4 IVU-54	●					●		
Sec4 IVU-54	●					●		
ブロック 1			●			●		

KⅢ1下層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVW-53	●			●				
IVX-53		●		●	●			
IVX-53	●	●	●	●				
IVX-55		●				●		

KⅢ1炭ア層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVY-53	●					●		

KⅢ1炭イ層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVW-54		●		●	●			

KⅢ1炭層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVX-53				●				
IVY-53		●				▲		
VA-53			●					

KⅢ1d層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVW-52	●			●				
IVW-53	●			●				
IVX-52	●	●	●	●	●			
IVX-52	●		●	●	●	▲		▲
IVX-53			●			●		
IVX-55		●						
IVY-52	●	●		●				
IVY-53	●	●	●			●		
VA-52		●						
VA-53	●			●				
VA-54	●	●		●				
Sec6	●	●		●	●	●		
ブロック 17	●	●		●	●			

KⅢ1e層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
Sec6					●	●		

間1層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVY-53		●		●				

間2層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVY-53			●	●				

KⅢ黄褐層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVX-52	●	●		●				
IVX-53			●	●				

KⅢ2上層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVX-52	●			●	●	●		
IVX-53			●	●	●	●		
IVY-52	●				●			
IVY-53	●	●						
VA-53	●	●		●				
ブロック 21	●	●				●		
ブロック 22	●	●						
ブロック 22下部	●							
ブロック 23	●			●				
ブロック 24			●					

KⅢ2上B層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVY-53	●	●	●	●				
VA-53			●	●				
VA-54	●		●					

KⅢ2層

地点	後7-4	後8	晩1a	晩1b	晩2	晩3	晩4	晩5
IVU-53	●					●		
IVU-54	●					●		
IVV-54					▲	●		
IVV-55				●		●		
IVW-53	●							
IVW-54				●		●		
IVW-55		●			●	●		
IVW-56					●			
IVX-52	●		●					
IVX-53	●	●	●					
IVX-54				●				
IVX-55						●		
IVY-52	●	●		●		●		
IVY-53	●	●	●	●				
IVY-54	●	●	●	●	●			
VA-52	●	●	●	●		●		
VA-53	●	●	●	●				
VA-54	●	●	●	●			●	
Sec4 IVU-50	●							
Sec4 IVU-51	●	●						
Sec4 IVU-52	●		●	●				
Sec4 IVU-53	●	●	●					
Sec4 IVU-54	●					●	●	
Sec4 IVU-54	●					●	●	
Sec4 IVU-54	●					●	●	
ブロック 18	●	●	▲			●		
ブロック 19	●	●	●					
ブロック 20	●	●						

▲は可能性あり。  
個別の検討により、掲載資料は時期が変更されたものもある。





## 第2編 北東捨場地区

# 第1章 調査方法

## 第1節 発掘作業の方法

「北東捨場」と呼称したこの地区は、川原平(1)遺跡における北東縁辺部の滑落崖に位置し、居住域の外周に形成された捨場群（「西捨場」・「北捨場」・「本捨場」・「東捨場」・「南捨場」）の一部である。

北東捨場における発掘作業の方法について以下に述べるが、測量基準点・水準点の設置・グリッド設定、基本土層、表土等の調査、遺構の調査、写真撮影などの基本的事項については、既刊『川原平(1)遺跡Ⅱ』における記載とほぼ変わるところはない。よって、ここではそれらについての記載を省き、北東捨場が確認されるまでの経緯や、北東捨場に特化した調査方法を時系列で記し、調査経過の記載を兼ねることとする。なお、発掘調査方法に関する詳細については、第4章第1節に記した。

### 【捨場として認識されるまでの経緯】

当初この地区は、2013年に行われた確認調査において、広範囲に分布する黒褐色系土壌の存在と、この中から出土する多くの遺物のあり方から、多数の堅穴建物跡が重複したエリアであると想定されていた。

2014年の調査では、黒褐色系土壌の土質と、礫を含めた遺物の分布状況とを入念に観察することで、堅穴建物跡の重複状況の把握と、それら堅穴建物跡を切る柱穴の有無確認を同時に行うこととした。結果、黒褐色系土壌と地山との境界は、大きな弧状のラインを呈し、礫は、そのラインに平行するように筋状に分布し、個々の礫は、東～北東方向にやや傾いている傾向が認められた。

これらのことから、広範囲に分布する黒褐色系土壌は、堅穴建物跡が重複した結果等ではなく、地形に関係する大型の落ち込みであることが判明した。筋状に分布する礫の状況と多量の礫が傾斜している状況に加え、面的に分布する炭化物層の存在等も考えあわせ、この黒褐色系土壌は、斜面に形成された捨場堆積層（遺物包含層）であろうとの予測を持つに至った。

### 【北東捨場地区の調査方法（調査経過：詳細は、第4章第1節参照）】

- ・柱穴の有無確認を行う（調査終了まで継続）。最終的に、北東捨場地区内に柱穴の検出は無し。
- ・黒褐色系土壌に、小型トレンチ（図56・写真73参照：斜面トレンチ1、2-1、2-2、3-1、3-2、4-2、5、西端トレンチ）を設定、地点毎の深さを把握。
- ・地山が大きく落ち込んでいる状況を把握、黒褐色系土壌は予想以上に厚く、遺物も多量であることも判明。調査手順を見直す。
- ・「大正時代に開削された道路」<sup>1)</sup>に繁茂する樹木や表土を全て剥がして精査し、崩落土壌に含まれる遺物の回収および、「道路」の法面に現れた黒褐色系土壌（写真72-5）の断面図化を行い、予想遺物量と排土量を概算。「道路」部分を排土置き場として利用することとする。
- ・安全対策として、崖付近を階段状に水平カットし（図57参照）、手すりや歩み板などを設置（写真73-1参照）。
- ・小型トレンチの両側壁に現れた土層を分層し、土壌の傾斜方向を推定。

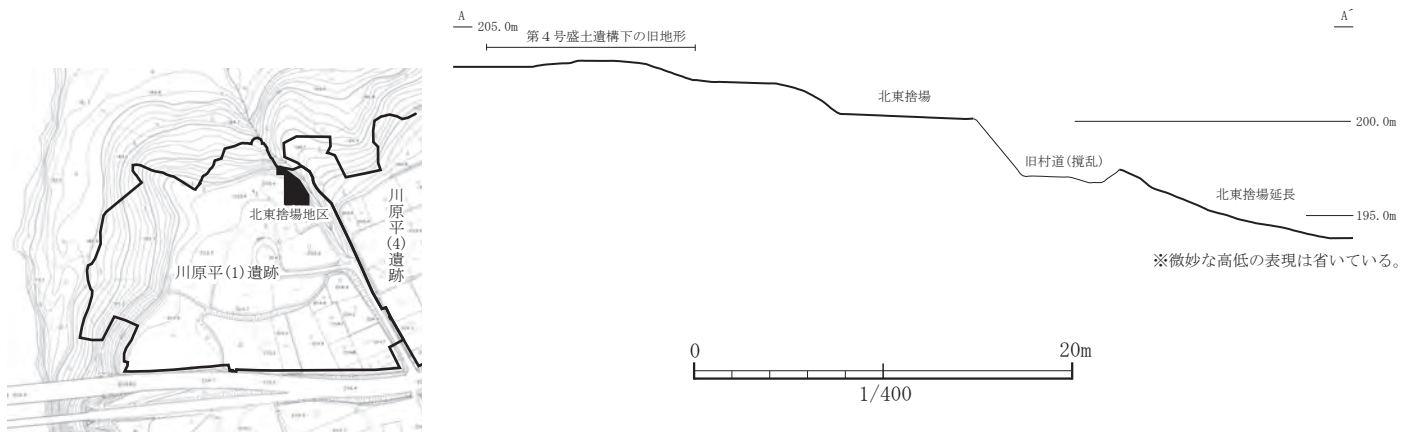
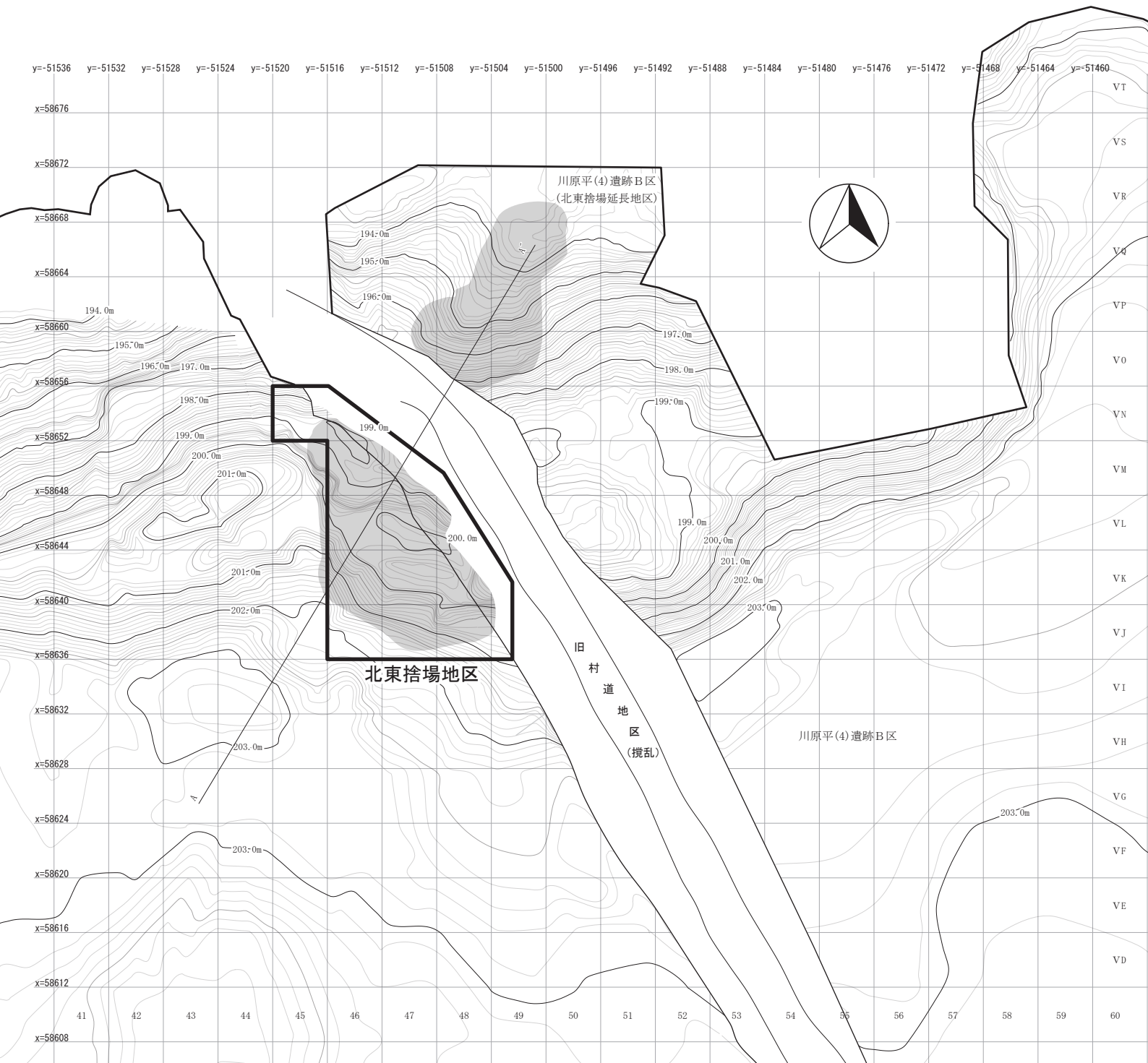


図 52 北東捨場地区の位置と周辺の地形 (1 : 400)  
 (網かけ内は捨場堆積層 (遺物包含層) の範囲)

- ・土壌の傾斜方向に合わせ、大型トレンチを3条（図56参照：トレンチ1～3）設定。
- ・トレンチ内に検出された土器の集中域を「ブロック」と称し、ブロック単位で遺物を取り上げる。集中範囲内に出土した石器など土器以外の遺物も、ブロック範囲内の遺物として取り上げる。
- ・トレンチに沿わせ、5本のベルトを設定。トレンチ1～3の各北壁面にベルト1～3、トレンチ1の南壁面にベルト1.5、トレンチ2の南壁面にベルト2.5を設定（図56）。
- ・トレンチ～ベルト間の掘り下げは、同一土層の面的な広がりを確認しながら行い、ここにおいても、土器の集中域を「ブロック」とした。
- ・「調査区西端トレンチ」（図56参照）以西の区域が調査可能になって以降、4本目の大型トレンチ（トレンチ5）を追加設定。このトレンチの南西端にみられる溝状の凹みに小型のトレンチ（トレンチ6・7）を設定（トレンチ6・7の部分は、『川原平(1)遺跡IV』の中で、「クラック地区」として報告している）。（木村）

## 註

1)第564集『川原平(1)遺跡II』【第1分冊 本文・観察表編】のP18（註3）および第566集『川原平(4)遺跡IV』のP15を参照。

## 第2節 整理・報告書作成作業の方法

北東捨場地区では、1箇所の捨場および配石遺構1基、焼土遺構2基が検出され、出土遺物は634箱（段ボールで土器400箱、石器等234箱）にのぼる。整理作業は、平成27年4月1日から平成29年3月31日まで実施した。遺構図面および出土遺物の整理・報告書作成作業の方法は以下の通りである。

【図面類の整理】トータルステーションを用いて作成した遺構平面図を原則として縮尺20分の1で図化し、簡易遺方測量で作成した土層断面図等との調整を行った。また、遺構台帳・遺構一覧表・遺物台帳等を作成し、発掘作業時の所見等を整理した。

【写真類の整理】写真等の記録類については、写真台帳を作成するとともに、35mmモノクロームフィルムは、撮影順にネガアルバムに収納し、35mmカラーリバーサルフィルムは、発掘作業状況や遺構毎に整理して、スライドファイルに収納した。デジタルカメラのデータについては、遺構毎にフォルダに整理し、ポータブルハードディスクドライブおよびDVD-Rに保存した。

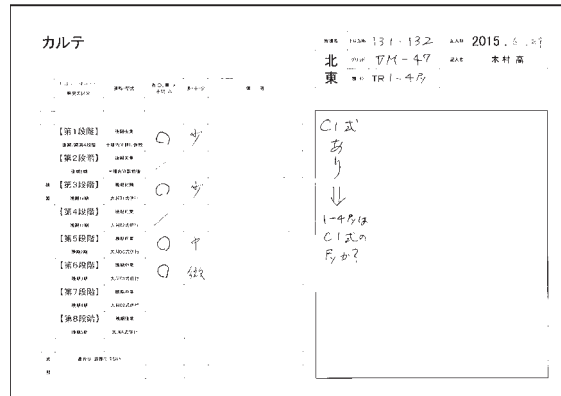
【遺物の洗浄・注記】遺物の注記は、遺物取り上げ時のカードをもとに、調査年度、遺跡名、出土地区・グリッド名、遺構名、出土層位、取上番号等を全て記し、剥片石器などの直接注記できない遺物については、チャック付の収納袋に注記した。土器細片（4cm×2cm，3.3cm×2.4cm程度以下）については、出土地点と層位を優先し、遺跡名と捨場名は右表のように省略した。注記後、ブロック、トレンチ、ベルト、グリッド、層位といった属性で分類し、「トロ函」（内寸：約58×36×16cm）へ収納、トロ函へは函管理番号を付け、内容物をリストにまとめた。

ブロック番号有		ブロック番号無			
P番号有	P番号無	P番号有	P番号無		
			トレンチ名有	ベルト名有	トレンチ名 ベルト名無
プロ4030	プロ4030	P-4312			
P-4312	P-X	TR1・4層	トレ1-6~7	ベルト2-4	VM-45
TR1・4層	TR1・4層		TR1・4層	VM-45 TR1・4層	TR1・4層

【土器の接合・復元】接合・復元にあたっては、出土地点や出土層名等を入念に点検しながら行った。遺物量が膨大であったため、作業に優先順位をつけた。ブロック出土のものを最重視し、ブロック内での接合→ブロック間（周辺・直下・直上）の接合→ブロック付近から出土したブロック以外との接合、ブロック以外の土器をグリッド毎に接合、という手順で進めた。

#### 【土器の時期別分類・抽出・収納】

接合・復元作業と並行しながら、北東捨場の様相把握に有効と思われる破片類の抽出・収納を行った。トロ函から、口縁部、底部、主要文様の観察できる破片、縄文のみの大型胴部破片、「土器製作体制」を考える上で注意したいもの、土器片利用円盤、赤彩土器…などを抽出し、時期別に分類し、目視による数量比をカルテ（右図）に記録した後、時期区分単位でメモ写真を撮影、セパレートボックスに収納した。抽出されなかった破片は再びトロ函に収納した。



なお、これらの抽出遺物は報告書掲載外ではあるが、再検討しやすい収納・保管としている。

【報告書掲載遺物の選別】掲載候補となった遺物には、整理番号を付し、台帳に登録した。選別にあたっては、美術工芸的な価値に惑わされることなく、ブロック出土資料を主体に掲載した。漆やアスファルト等が付着した希少資料、特殊資料についても可能な限り掲載した。

【遺物の観察・図化】遺物の特徴を適切にわかりやすく表現するよう図化した。拓本では表現しきれない凹凸のある遺物については、実測図を作成するように心がけた。掲載遺物については、種類毎に法量・特徴等を記載した遺物台帳（観察表・計測表）を作成した。なお、整理期間の都合上、大部分の遺物は写真掲載のみとし、遺存状態がよく時期・型式等がわかる代表的資料のみを図化した。

【トレース・版下作成】トレース・版下作成では、㈱CUBIC製「遺構実測支援システム」および「トレースくん」、アドビシステムズ㈱製「Adobe Illustrator CS4・CS6」および「Adobe InDesign CS4・CS6」を用いた。写真図版についても、デジタルデータを主に用いた。

【遺物の写真撮影】実測図では表現しがたい質感・雰囲気・製作技法・文様表現等を伝えられるように留意した。なお、写真撮影は業者に委託して行った。

【遺物の分類・整理・検討】遺物を種別、出土状態毎に整理し、全体的な様相について検討した。ブロック出土遺物は、今後の研究に資するよう、表2には、ブロックの観察結果を掲載した。また、各ブロックの層位と、主体となる土器型式に基づく推定時期や、ブロック出土でありながら掲載外となった土器の整理番号等については表3に掲載した。これらブロック出土の資料は、報告書掲載外も含め、再検討しやすい収納・保管としている。

【自然科学分析】本地区の変遷を知るために、炭化物等の放射性炭素年代測定、土器の製作体制を明らかにするために胎土分析、漆製品の製作技術を明らかにするために漆塗膜分析を行った。

【保存処理】漆塗り堅櫛・漆塗膜の保存処理を外部に委託した。

【報告書刊行】全てデジタルデータで入稿し、3回の校正を経て報告書を刊行した。

(木村・中澤)



## 第2章 北東捨場地区の概要

北東捨場は、北東縁辺部の滑落崖に形成されており、居住域の外周に巡る捨場群（西捨場・北捨場・[本捨場]・東捨場・南捨場）の一部を構成するものである。北側には岩木川が流れ、東方は、「大正時代に開削された道路」<sup>1)</sup>を挟んで川原平(4)遺跡B区に隣接している<sup>2)</sup>。

本捨場もいわゆる「斜面捨場」の類に属し、南西から北東にかけて下る斜面に、多量の土壌と礫、遺物が廃棄されていたものであるが、この斜面は滑落崖の一部分に相当するもので、西捨場や北捨場ほど規模の大きなものではない。斜面の存在は、確認時において全く認められず、上端が弧状を呈す大規模な凹みが、多量の黒褐色系の土壌（捨場の堆積層＝遺物包含層）で埋没していた状態であった。

検出位置は、グリッドで示すところのおおむねVL-47杭が本捨場の中心あたりに相当する（『川原平(1)遺跡Ⅷ』付図参照）。上述のように、北東方向には、「川原平(4)遺跡B区北西端」が隣接し、本捨場の西方には、本捨場とは様相の異なる土壌で埋没した「溝状の落ち込み（崩壊地形）」が続いている。これら「川原平(4)遺跡B区北西端」と「溝状の落ち込み（崩壊地形）」については、「北東捨場延長地区」と「クラック地区」として別途報告している<sup>2)</sup>。両地区からは、本捨場の遺物と時期的に並行するものが出土しており、廃棄活動の様相を広く考察する上で、両地区との比較は必須と言える。

捨場堆積層（遺物包含層）からの出土遺物は、段ボール箱で634箱（土器400箱、石器等234箱）を数える。多量の遺物の中から100単位の土器集中域（ブロック：第4章第3節参照）を抽出し、廃棄時における土器のセット関係を推定できる可能性がある。土器からみた捨場堆積層の形成期間（遺物の廃棄期間）は、縄文時代後期後葉から晩期5期までであり、長期にわたって利用され続けた捨場であることが判明している。

捨場堆積層（遺物包含層）の中からは、わずかながら遺構の検出もみられた。配石遺構1基、焼土遺構2基である。配石遺構は、晩期中葉における構築、焼土遺構も晩期中葉の形成と考えられる。少なくとも本捨場は、ある時期において、物質廃棄だけの空間ではなかったことが分かる。

（木村）

### 註

- 1) 第564集『川原平(1)遺跡Ⅱ』【第1分冊 本文・観察表編】のP18（註3）および第566集『川原平(4)遺跡Ⅳ』のP15を参照。  
2) 「川原平(4)遺跡B区北西端」は、巻頭写真1や写真72上段の航空写真などでも分かるとおおり、地形的に本捨場と連続している上に、出土遺物も多くが時期的に並行することから、「大正時代に開削された道路」の構築以前においては、本捨場と連続していたことが明らかである。このようなことから、川原平(4)遺跡B区の北西端の成果については、本報告書の第3編において「北東捨場延長地区」として報告している。グリッドで示すところの、V0～VR-46～53がその報告範囲である。

また、本捨場の西側に位置する「溝状の落ち込み（崩壊地形）」は、本捨場とは様相の異なる土壌で埋没していた部分である。この範囲は、2014年調査の終盤段階において、本捨場の連続部分として調査していたが、様々な時期の小破片が混在して出土する状況が認められ、土壌のみならず、遺物も本捨場の様相とは異なることが分かった。この地区における様相の把握には相当に困難を極め、後述する「トレンチ6,7」を新設し、「トレンチ1」および「トレンチ5」の南西端の土層、「トレンチ6,7」の土層を比較検討した結果、本捨場とは異なる廃棄空間であることが判明した。

以上のような状況から、「溝状の落ち込み（崩壊地形）」範囲の成果については、『川原平(1)遺跡Ⅳ』において、「クラック地区」として報告している。「クラック地区」の報告範囲は、本報告書の図53（次ページ）に掲載しているとおおり、機械的にグリッドで区切っているが、「クラック地区」の範囲内に相当する、2014年調査分（調査区西端トレンチ（図56参照）のラインよりも東側：北東捨場と同時に調査）に関しては、本編の報告対象としている。グリッドを用いずに、地形的に本捨場と「クラック地区」を分けるとすれば、図54・56に示した赤い線がその境界となろう。

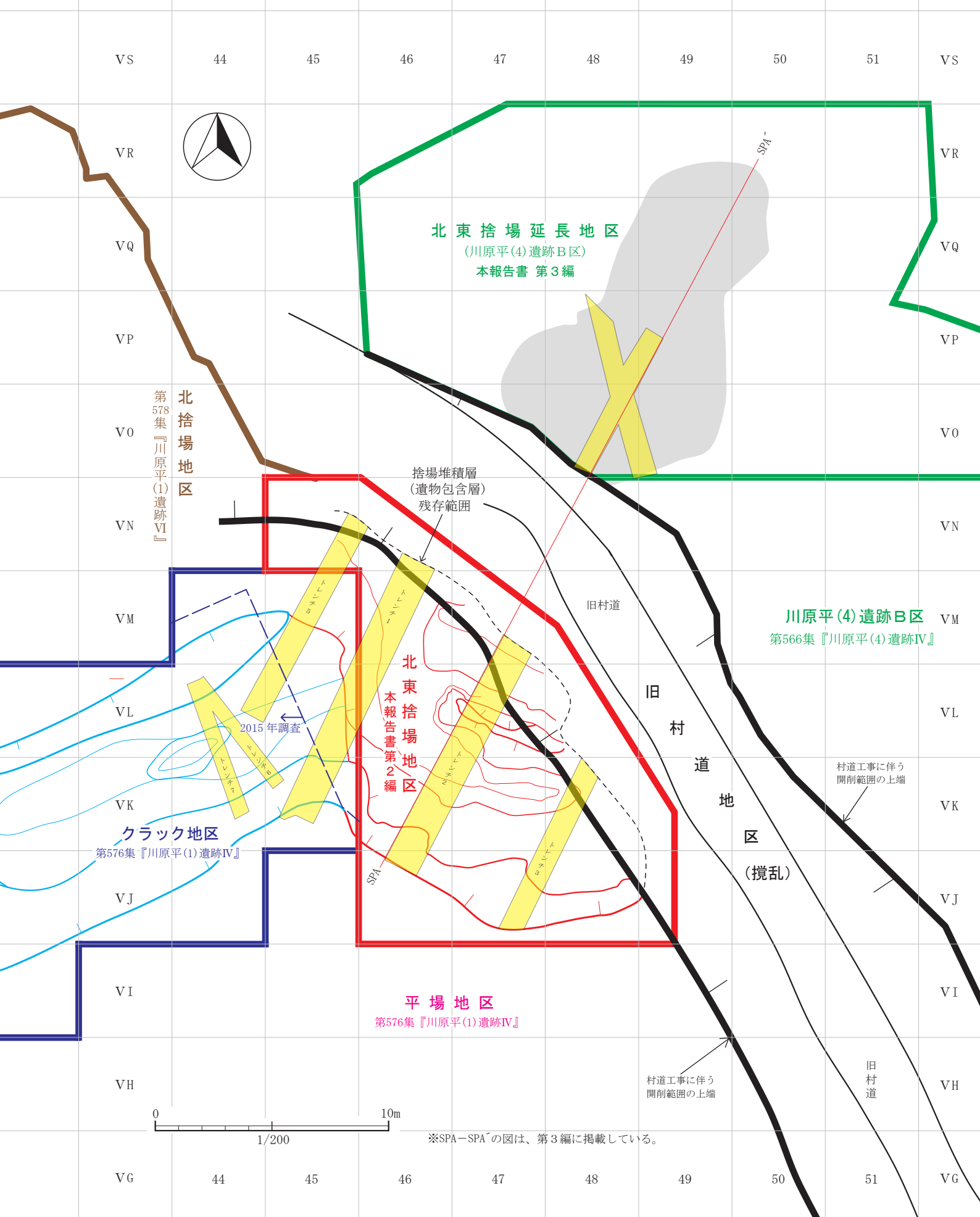


図 53 北東捨場地区・北東捨場延長地区・クラック地区等の位置関係 (1:200)

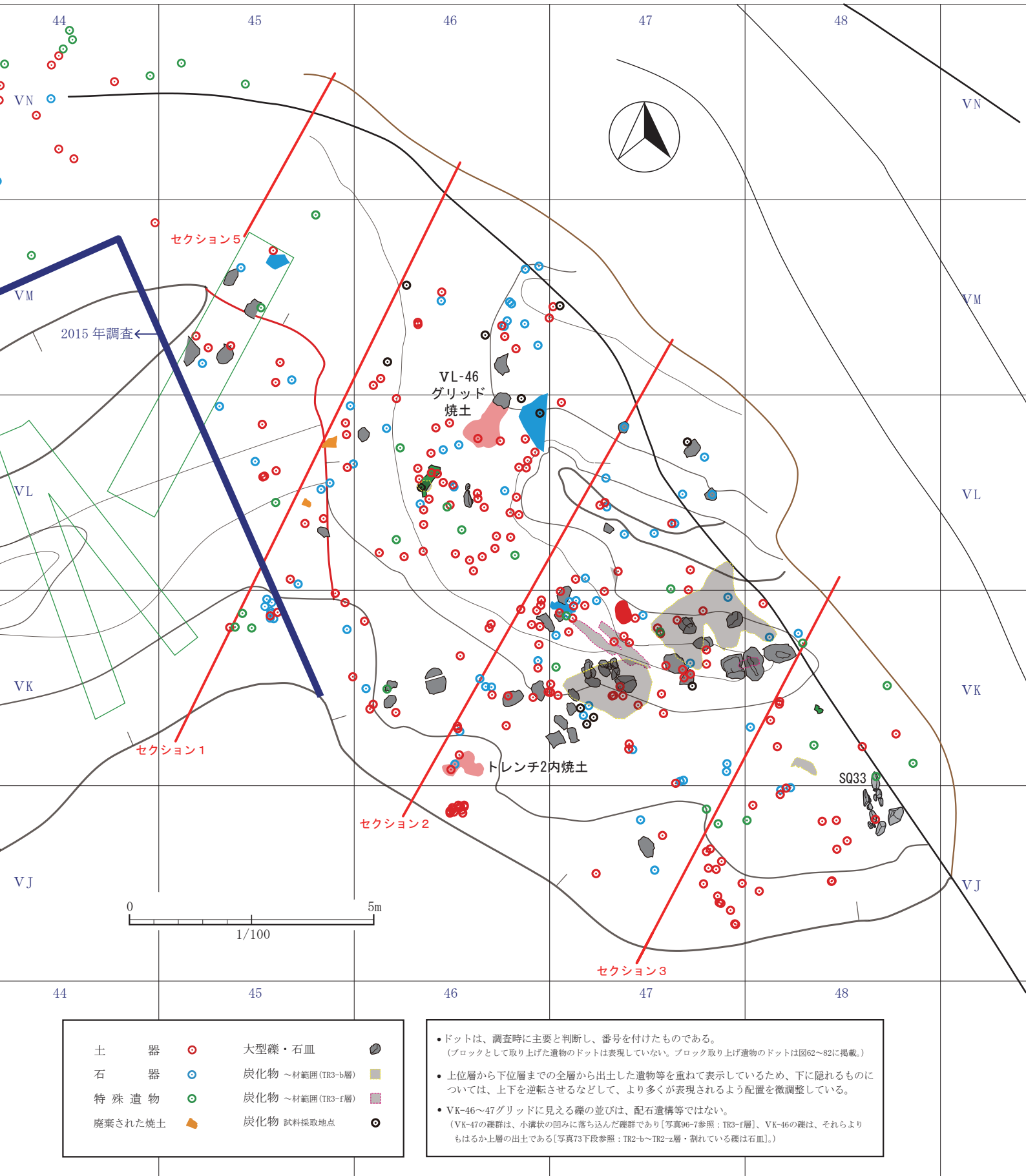


図 54 北東捨場地区 遺構配置図・遺物等分布状況図 (1:100)

## 第3章 検出遺構と出土遺物

配石遺構 1 基、焼土遺構 2 基が検出された。全て北東捨場の包含層中における検出である。

### 1 配石遺構

第33号配石遺構 (SQ33 図55、写真83・104)

【位置・確認・重複】 VJ～VK-48グリッドに位置し、TR3-イ層の中に確認した。重複なし。

【規模・形状】 TR3-イ層の中に礫が配置されている。平面的には、長軸を南北にとる2列の配石（西列＝S-3～9、東列＝S-10～14）に見えるものであり、各列の南端にはやや大型の礫（S-1, 2）が、軸線からわずかにずれて配置されている。断面図や写真でも分かるとおり、西列、東列の各礫は、面積の広い面を側にして、立てるように配置されている。顕著なのは、西列北端の板状礫（S-7）であり、その東側に沿うS-8, 9は、S-7の補強のために加えられたようにも見える（写真参照）。

礫設置のための掘方を入念に探したが、確認されなかった。また、土坑等の掘り込み等も伴わない。

【堆積土】 TR3-イ層の掘り下げ過程で確認したことから、覆土は同層であった可能性がある。

【出土遺物】 列内から土器片が数点出土し、4点ほどを図示したが、これらはTR3-イ層に含まれていたもので、本遺構に伴うものではないと考えられる。

【小 結】 TR3-イ層の形成途中（晩期中葉）における構築と考えられる。

（木村）

### 2 焼土遺構

2基とも本地区が捨場として機能していた（遺物包含層が形成されていた）ある段階で遺された被熱痕である。赤化範囲は非常にぼんやりしており、本遺跡において焼土遺構と一般的に称しているものとは異なることから、ここではSN番号を付さず、調査時の呼称をそのまま用いた。

なお、これら以外にも、付近にはいくつかの焼土が認められているが、全て廃棄された焼土であり、現地性のものではない。

VL-46グリッド焼土（図55、写真76）

【位置・確認・重複】 VL-46グリッドに位置する。TR1-4.5層の掘り下げ過程で確認した。重複なし。

【規模・形状】 赤化範囲は、113×77cmを測り、平面形は不整形を呈する。

【堆積土】 TR1-4.5層が被熱しているもので、掘り込み等は特に認められない。赤化の深さは17cmと深い。赤化度合いは全般に弱い。この焼土を覆うTR1-4.5層が堆積土に相当する。

【出土遺物】 本焼土に伴う遺物はなし。

【小 結】 TR1-4.5層の堆積過程（晩期中葉）における形成と考えられる。

（木村）

トレンチ 2 内焼土 (図55、写真79)

【位置・確認・重複】VK-46グリッド (トレンチ2-1~2) に位置する。TR2-z層の除去後、TR2-1層上面で確認した。重複なし。

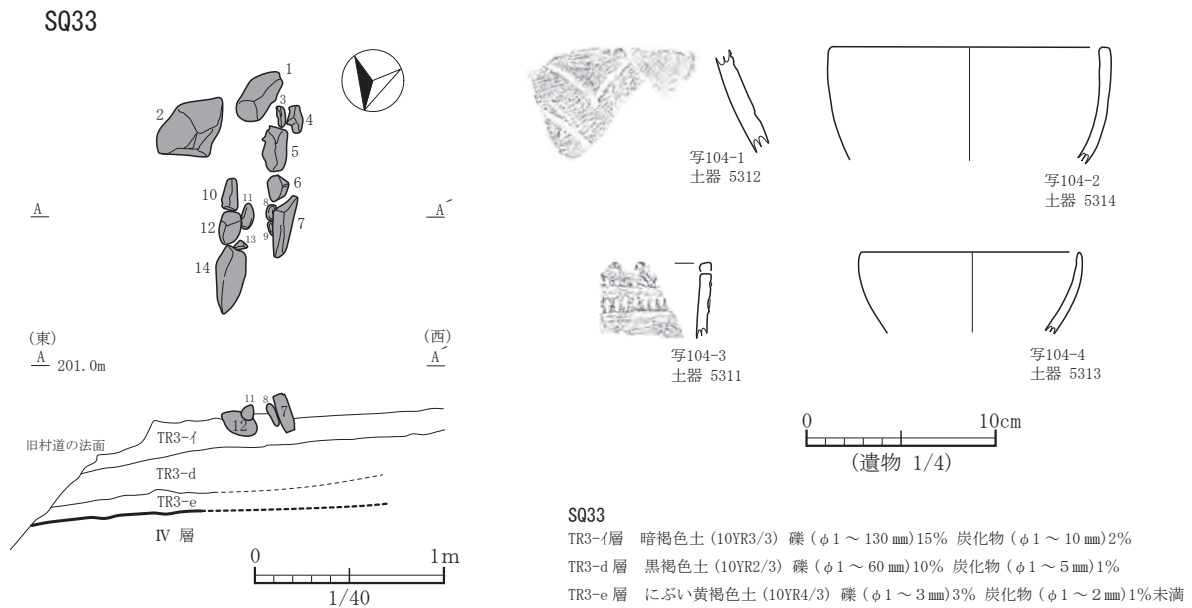
【規模・形状】赤化範囲は、81×65cmを測り、平面形は不整形を呈す。

【堆積土】TR2-1層が被熱したもので、掘り込みは認められない。赤化の深さは8cmで、赤化の度合いは弱い。この焼土を覆うTR2-zが堆積土に相当する。

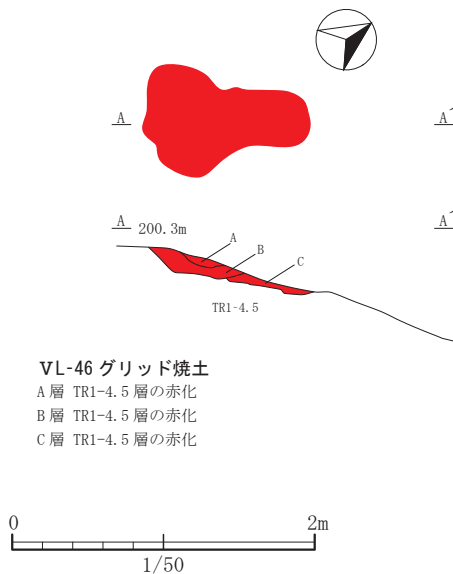
【出土遺物】本焼土に伴う遺物はなし。

【小 結】時期は、TR2-1層の堆積完了後、TR2-z層堆積以前 (おおむね晩期中葉) の形成と考えられる。

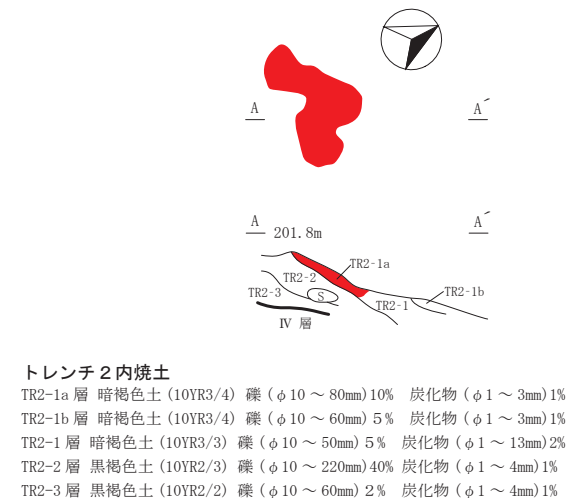
(木村)



VL-46グリッド焼土



トレンチ 2 内焼土



土層断面図における礫の表現は省いている (礫の状況については、写真図版参照)。

図55 北東捨場地区 配石遺構・焼土遺構



## 第4章 北東捨場

### 第1節 調査の方法

調査では、土壌と礫と遺物にみられる人為的痕跡と自然作用の関与度合いについて、常に思考しながら、遺物の層位的な取り上げ、土器集中域（ブロック：本章第3節）の認定、各種遺物と土器との共伴関係の有無、包含層中における遺構の有無等に最大限の注意を払って作業を進めた。

図54の遺構配置図でも分かるとおり、北東捨場地区の付近には、堅穴建物跡が構築されており、居住域が付近に存在することが明確であったことから、まずは捨場堆積層（遺物包含層）の上面を移植ベラで丁寧に削り落とし、遺構確認作業を複数回にわたって行った。

結果、北東捨場地区における捨場堆積層（遺物包含層）の内部に柱穴等は存在しないことを確認した。

ただし、この段階での捨場堆積層（遺物包含層）の上面には、東～北東方向にやや傾きながら筋状に分布する礫群や、傾斜しながら面的に分布する炭化物などが認められたことから、捨場堆積層（遺物包含層）の掘り下げ途中に堅穴建物跡の柱穴などが検出される可能性はあり得ると考え、層位的な掘り下げと断面の削り作業においては、常に土壌の色調が明瞭になるように心がけた。この作業姿勢は、北東捨場を完掘するまで、一貫して継続した。以下、調査の方法について述べる。

**【小型トレンチの設定】**捨場堆積層（遺物包含層）に、小型トレンチ（斜面トレンチ1、2-1、2-2、3-1、3-2、4-2、5、調査区西端トレンチ）を設定し、地点毎の深さと遺物の包含量、土層の堆積状況の把握を試みた（図56・写真73）。結果的に、捨場堆積層（遺物包含層）は予想以上に厚く（深く）、遺物と礫が相当に含まれていることを把握した。

**【大型トレンチの設定】**土壌の傾斜方向にあわせ、幅1mないし1.5m、長さ7.5～12mの大型トレンチを4条（トレンチ1～3、5）設定した。土層の比較検討をスムーズに行えるよう、各トレンチ間の距離は、2～4mと狭く設定した。（土壌の傾斜方向の割り出しは、小型トレンチの両側壁に現れた土層の観察に基づく）

**【中型トレンチの設定】**「調査区西端トレンチ」以西の区域が調査可能になって以降、調査面積を拡大したが、トレンチ5の南西端には、北東捨場とは様相の異なる土壌で埋没した溝状の落ち込み（崩壊地形）が認められたことから、この部分に中型トレンチ（トレンチ6・7）を設定した（図56）。この溝状の落ち込み部分は、『川原平(1)遺跡IV』の中で、「クラック地区」として報告されている。

**【大型トレンチの土層断面（ベルト）】**大型トレンチの土層断面に沿わせ、5本のベルトを設定した。トレンチ1～3の各北壁面にベルト1～3、トレンチ1の南壁面にベルト1.5、トレンチ2の南壁面にベルト2.5を設定した。これにより、北東捨場の土層観察面は、トレンチ4条（トレンチ1、2、3、5）とベルト6条（ベルト1、1.5、2、2.5、3、5）の側面（合計13面：トレンチの断面でありベルトの断面でもある箇所が6面）で行うことで、土層を比較しやすい状態を構築した（図56）。図化対象とした土層断面は、トレンチ1～3の各北壁面である。なお、これらベルト1～3は、地表面から底面までの深さが130～200cmという大型のものであり、北東捨場の生命線とも言うべき重要な断面であったことから、部分的な欠損や崩壊を防ぐため、断面を垂直にすることは避け、微妙な勾配をつけた。従って、土層断面の下端が、上端よりも手前にせり出す状況が生じたために、平面におけるセクションポイントは、トレンチの

上端ラインから若干ずれたものとなっている。ただし、土層断面図はトータルステーションで作成しているため、縦方向の長さの増幅などはない。

壁面の劣化防止策として、要所に保湿剤としての土嚢や土嚢袋等を断面の天端に設置し、乾燥気味の箇所には常に加湿し、終業前にはシートで壁面を覆うなど、恒常的な保守作業を行った。

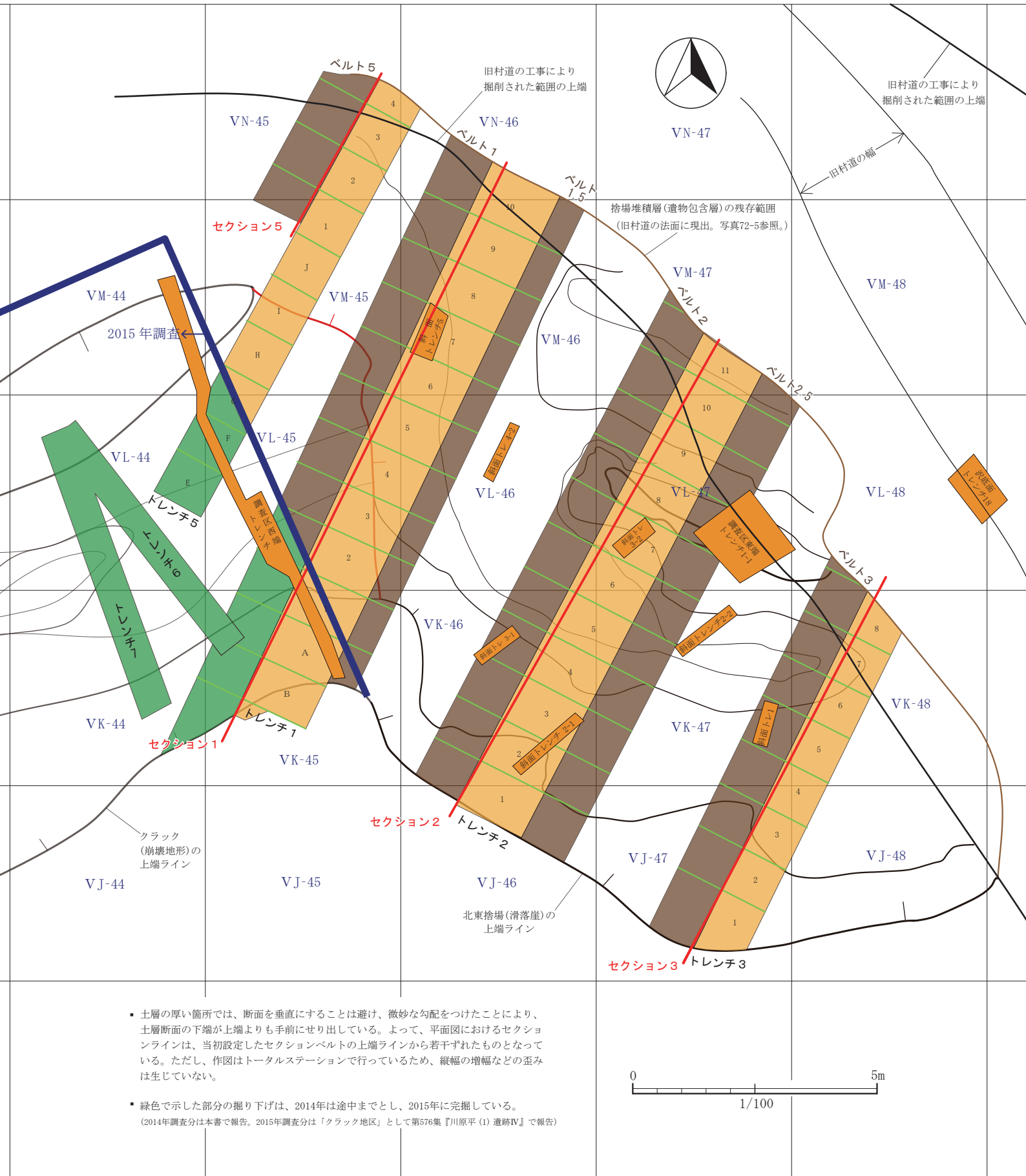
なお、ベルト1, 2, 3, 5の右端(北東側)は、安全対策のために施した水平カットの名残で、階段状になっている(図57および後述の【安全対策】参照)。

**【トレンチ内小グリッド・ベルト内小グリッドの設定】**大型トレンチおよびこれに沿うベルトは、いずれも南西-北東に軸線をとるもので、グリッドの軸線とは60°ほどずれる。よって、グリッド単位での遺物取り上げが煩雑になることから、各トレンチおよびベルトの内部を1mごとに分割し、「トレンチ1-3」、「トレンチ2-5」、「ベルト1-3」、「ベルト2-5」のように、「トレンチ内小グリッド」と「ベルト内小グリッド」を設け(図56)、トレンチとベルトに関しては、これらの小グリッドで遺物取り上げを進めた。(結果的に土器の接合作業も効率的に行うことができた。)グリッド、トレンチ、ベルトの関係は、下表の通りである。

大型トレンチ						中型トレンチ											
ベルト1	-1 -2 -3 -4 -5 -6 -7 -8 -9 -10 -11	VL-45 VL-45・VM-45 VM-45 VM-45・VM-46 VM-46 VN-46	トレンチ1	-1 -2 -3 -4 -5 -6 -7 -8 -9 -10 -11	VK-45・VL-45 VL-45 VL-45・VL-46 VM-46・VL-46 VM-46 VM-46・VN-46 VN-46	ベルト1.5	-1 -2 -3 -4 -5 -6 -7 -8 -9 -10 -11	VK-45 VL-45 VL-45・VL-46 VL-46 VM-46 VN-46	トレンチ6	トレンチ7							
ベルト2	-1 -2 -3 -4 -5 -6 -7 -8 -9 -10 -11	VK-46 VK-46・VL-46 VL-46 VL-47 VM-47	トレンチ2	-1 -2 -3 -4 -5 -6 -7 -8 -9 -10 -11	VK-46・VJ-46 VK-46 VK-46・VK-47 VL-46・VL-47・VK-47 VL-47 VM-47	ベルト2.5	-1 -2 -3 -4 -5 -6 -7 -8 -9 -10 -11	VJ-46 VJ-46・VK-46 VK-46・VK-47 VK-47 VL-47 VL-47・VM-47	斜面トレンチ1	斜面トレンチ2-1	斜面トレンチ2-2	斜面トレンチ3-1	斜面トレンチ3-2	斜面トレンチ4-2	斜面トレンチ5	調査区西端トレンチ	調査区東端トレンチ1-1
ベルト3	-1 -2 -3 -4 -5 -6 -7 -8	VJ-47 VK-47 VK-47・VK-48 VK-48	トレンチ3	-1 -2 -3 -4 -5 -6 -7 -8 -9	VJ-47 VJ-47・VJ-48・VK-48 VK-48 VK-48・VL-48	トレンチ5	-E -F -G -H -I -J -1 -2 -3	VL-44・VL-45 VL-45・VM-45 VM-45 VN-45	VM-44 VL-45 VL-47								

**【各トレンチの掘り下げ】**土層の堆積状況や地山面までの深さ等を早期に把握する一斉掘り下げの方式は採らず、各層の特徴と遺物の出土傾向を詳細に確認しながら、層位毎に慎重に掘り下げ、細かな作業を必要とする層と、簡略に掘り進めることが可能な層との見極めを行った。掘り下げ途中における遺構の有無確認は、恒常的な基本作業とした。

**【トレンチ～ベルト間の掘り下げ】**同一土層の面的な広がりやを常に観察しながら掘り下げた。ここにおいても掘り下げ途中における遺構の有無確認は、恒常的な基本作業とした。各層には、多くの遺物が包含されていたことから、基本的には移植ベラとねじり鎌を用いて掘削したが、トレンチ調査で把握された、簡略に掘り進めることが可能な層については、部分的にジョレンを用い、作業の省力化をはかった。



- 土層の厚い箇所では、断面を垂直にすることは避け、微妙な勾配をつけたことにより、土層断面の下端が上端よりも手前にせり出している。よって、平面図におけるセクションラインは、当初設定したセクションベルトの上端ラインから若干ずれたものとなっている。ただし、作図はトータルステーションで行っているため、縦幅の増幅などの歪みは生じていない。
- 緑色で示した部分の掘り下げは、2014年は途中までとし、2015年に完掘している。  
(2014年調査分は本書で報告。2015年調査分は「クラック地区」として第576集『川原平(1)遺跡IV』で報告)

図56 北東捨場地区 グリッド・トレンチ・ベルトの位置 (1:100)

【土層番号】大型トレンチの土層名は、トレンチ1にTR1系統、トレンチ2にTR2系統のように、トレンチごとにつけた。これらの頭番号に、枝番号として小文字アルファベット系(a～)、数字系(1～)、カタカナ系(ア～)を加え、「TR1-a」、「TR2-1」、「TR3-ア」のように表記した。これは、近距離であっても、日照の状況や土層断面の乾湿の状態などにより、同一層の認定は決して容易ではなかったため、層番号を意図的に増やしたものである。

各トレンチとも10m前後の長さをもつため、南西側(上方:左側)から付けた層番と北東側(下方:右側)から付けた層番とがあり、同一層に対して2つの層番が付されているものがわずかにある(TR1-4=TR1-e、TR2-2=TR2-エなど)。ただし、特徴的な土層で、ある程度広い範囲で同一と認定できる層については、トレンチ2でありながら、「TR3-e」を付けるなど、一部はトレンチ間で共有する層番号もある。なお、TR2-y層は、図57以降の土層断面図に表記されていないが、これはTR2-b層とTR3-a層の中間的な層である。

北東捨場の調査で用いた層番号

	TR1系	TR2系	TR3系	TR5系	TR6系
数字系	TR1-1 TR1-2 TR1-3 TR1-4 TR1-4.5 TR1-5 TR1-6 TR1-7 TR1-8	TR2-1 TR2-2 TR2-3 TR2-4		TR5-1 TR5-2 TR5-3	TR6-1 TR6-2 TR6-3 (クラック)地区と接続
小文字アルファベット系	TR1-a TR1-b TR1-c TR1-d TR1-e	TR2-a TR2-b TR2-x TR2-y TR2-z	TR3-a(希にTR3-a1) TR3-a2 TR3-b TR3-c TR3-d(希にTR3-d1) TR3-d2 TR3-e TR3-f TR3-g TR3-z		
カタカナ系		TR2-ア TR2-イ TR2-ウ TR2-エ	TR3-ア TR3-イ		

※トレンチ4は存在しない。トレンチ7は存在するが、TR7系の層番号の設定は無し。

【土器集中域(ブロック)の認定】土器の集中域が検出された場合、これを「ブロック」と称し、ブロック単位での遺物取り上げを行った。良好な復元個体になり得ると思われる2個体以上が近接(上面からの目視で2点間距離が60cm前後)して出土し、同時廃棄されているように見えるものを認定対象としている。

ブロックの土器として認定した個体土器(良好な復元個体になり得ると思われる個体)については、主要な破片をドットマップ化し、ブロックの範囲の輪郭については、ラインとして作図した。北東捨場のブロック番号は4000番台を用いたが、調査の初期段階では、遺跡全体で用いたブロック番号(ブロック15、16)を使用している。

【遺物の図化】ブロック出土遺物や重要遺物、特殊遺物については、写真撮影の後、遺物番号(P-4001～、S-4001～、特4001～)を付して図化した(北東捨場の遺物番号は4000番台と5000番台)。図化は、基本的にはドット、状況によって微細図とした。全面的に出土する土器破片や不定形な剥片類は、一括番号(P-X、S-X)を付し、写真撮影や図化は行わなかった。

【遺物の取り上げ】ブロック出土遺物や重要遺物、特殊遺物については、遺物番号毎にビニール袋に入れ、カードを付して取り上げた。ただし、ブロックの範囲内に含まれる、小型の土器片類は、以前よりその場に存在していたものが含まれていると考えられることから、これらについてはブロックのP-Xとして取りあげた。石器などの小型の遺物はチャック付き袋に入れた。写真撮影や図化を行わずに一括番号(P-X、S-X)を付した土器破片や不定形な剥片類は、グリッドと層番号でまとめ、カードを付して一袋にまとめた。なお、本捨場の北東側にある「大正時代に開削された道路」は、調査段階では「沢」と呼称し、遺物の取り上げも「沢」で取り上げている。

【排土置き場】(小型トレンチによる調査により、排土置き場が相当に不足することが分かったことから、)荒地状態にあった「大正時代に開削された道路」を精査し、法面に現れた捨場堆積層(遺物包含層:写真72-5)の断面図化を行い、予想排土量を概算し、「大正時代に開削された道路」部分を排土置き場として利用した。(結果的に、排土はほぼ計算通りに収まり、調査の初期段階で心配された危険な状態もこの排土によって日々改善された。)

【安全対策】捨場堆積層(遺物包含層)と「大正時代に開削された道路」との境は、落差4.5m前後(法面長約6m)の崖(写真72-5)であり危険だったため、安全対策として、崖付近を階段状に水平カットし(図57参照)、手すりや歩み板などを設置した(写真73上段参照:設置途中の状況)。また、この部分における過乾燥と過湿の反復による捨場堆積層(遺物包含層)の劣化・崩壊を防ぐため、シートによる法面保護を施した。トレンチ3の土層断面は相当な深さになることが精査の途中で分かったため、地表面から下方へ約1mまでの土層断面を図化・記録し、その深さまで掘り下げてから残り底面までを掘り下げた(写真80～81上段参照)。

(木村)

## 第2節 捨場堆積層<sup>1)</sup>(遺物包含層)(図57～60・写真71～82)

以下ではトレンチ1～3の土層断面をセクション1～3と読み替えて記述する。土層番号の付け方については、本章第1節(左ページ)を参照。

**【遺存状況】**多量の遺物が出土した本捨場は、遺存状況という面で見ると、それほど良好なものではない。前述のように、大正時代における道路構築のために大幅に開削されており、捨場堆積層(遺物包含層)の北東側は大規模に失われている。また、本捨場の確認面は極めて平坦であるが、これは、この地区が水田造成に伴う削平を受けているためである。よって、本捨場の確認面における、弧状を呈す落ち込みのラインは、本来の捨場の最上端(滑落崖の上端)から数十cm(20～30cmか)下位に相当しているものと考えられる。

**【微地形】**滑落崖の一部利用によって形成された本捨場は、残存範囲で見れば、南北(北西-南東)約20m、東西(南西-北東)約12m(北東捨場延長地区までを含めると約33m)、確認面から底面までの深さは約3mを測る。また、本捨場から北東捨場延長地区までの傾斜(完掘状態)を巨視的に見れば、まさに「緩傾斜」と言うべき状況ではあるが、後期後葉や晩期前葉頃の、土壌の堆積が少ない時期を想定して、微視的に地点間を比較すると、トレンチ1などは緩い傾斜であるが、トレンチ2や3は、かなり“きつい傾斜”となっている。傾斜がきついか緩いかという漠然とした区分は、あくまでも傾斜に対する人間の身体的な限界(楽に降りられるか、登れるか)に基づく感覚的表現ではあるが、傾斜の角度は、遺物の廃棄方法(姿勢、体勢、構え)に大きく関与し、また、廃棄された土壌や礫、遺物の自然移動の度合いにも深く関連するものと考えられる<sup>2)</sup>。このようなことを踏まえて、以下に捨場堆積層(遺物包含層)について述べていく。

**【色調】**色調については、日照量の少ない日や曇天下で慎重に観察した。巨視的には、セクション1～3の間に、際だった色調差は認められず、全般に黒褐色系の土壌を主体とするが、微視的にみると、セクション1は、黒褐色土が主体を占め、セクション2は、暗褐色土が主体、セクション3は、黒褐色土～暗褐色土が主体を占めつつも、褐色土(TR3-a=TR3-ア)が特徴的に堆積するというように、地点毎の色調には特性が認められる。つまり、同一時期の土層であっても、広範囲に同系色の土層が堆積することはないことが分かる。これは、初回の廃棄土壌(A)が、次回の廃棄土壌(B)と混和して(C)が形成され、3回目の廃棄土壌は、(A)～(C)の土壌の上に新たな廃棄土壌を重ね、混和した分は(D)となる、といったサイクルにより、地点毎に色調差が生じたのではないかと考えられる<sup>3)</sup>。

**【土層ライン】**セクション1, 2, 3を比較すると、セクション1はやや複雑なラインを呈しているが、セクション2、セクション3と、南東側に近づくほど、土層ラインは単調なものとなっている。これは、トレンチ2, 3のあたりにおいては、時間経過に伴って、安定的な堆積が進行していった状況とみられ、一方でセクション1のTR1-d、TR1-2=TR1-cの下端ラインをみると、それまでの堆積土が流れたか、あるいは土壌堆積のパターンが変化したのか、いずれにしても何らかの変化があったことを推測させる(地山の傾斜方向と、断面ラインが斜めに交差している状況も関係している可能性がある)。

また、セクション1のTR1-5層は、途中で土層が途切れている(図中の矢印)が、これは多量の礫の集積により、その下方には同層が広がらなかった状況を示す(写真75:土層断面⑤左側)。人間活動が土壌の自然な堆積を常に変えていることをよく示している。そのような意味で、セクション2, 3は、人間活動に伴う廃棄土壌であっても、きわめて自然に層序が形成されていった状況とみることができそうである。

**【遺物の包含状況】**全ての層に遺物は包含されているが、層ごとに多寡が認められる。極端な2例を示すと、土量に対する遺物量が明らかに多い層として、TR1-4層が挙げられる(晩期3期～4期を多



量に包含)。逆に、明らかに少ない層としては、TR3-アが挙げられ、この層からは、ごく希に小破片が出土するに過ぎない。このように、土器類が多量に廃棄された層、土壌が多量に廃棄された層とがある。

**【礫の包含状況】**各土層は全体的に礫を多く含んでいる。興味深いのは、先に述べたTR1-4層（土器類が明らかに多い）や、TR3-ア層（土器類が明らかに少ない）などにみられる礫の多さである。つまり、土器の包含が極端に多い場合と、極端に少ない場合に限って、礫の包含率が高い傾向がある。土器が多ければ礫も多く、土壌が多い場合も礫が多い。このことは、TR1-4層にみられる状況は、ある段階において、遺物の廃棄と礫の廃棄は同じ場所が選ばれていた可能性、そして、TR3-ア層にみられる状況は、多量の土壌の廃棄とともに、地山<sup>4)</sup>に含まれていた礫も自然に混じった、このような状況があったことを推測させる。TR3-ア層は、本捨場では希と言うべき褐色を呈す土壌であることも考え合わせると、この層は、堅穴建物の構築などに伴う、一括性の高い掘削土であると推定される。

**【各層の特徴（「層」の表記を省略）】セクション1** TR1-bは、赤茶色がかかり、植物などの影響を受けている可能性がある。TR1-cは、礫と土器が多い。TR1-eは、TR1-4を途切れさせる層だが、これは何か有機質の痕跡であろうか。TR1-4は、暗褐色土で、明らかに周囲の層よりも明るい。礫も土器も多量に出土した。TR1-4.5も上層と同様、周囲より明るい暗褐色土。TR1-5は、礫100%の箇所により、土層ラインが途切れる（図中矢印部分）。TR1-6は、明るい暗褐色土で、焼土粒を多く含み、特徴的である。

**セクション2** TR3-Zは、特徴的な粘土質土。TR3-bは、炭化物層で、ほぼ純層の箇所もある。炭化材が主で、茅状のものも微量に混じる。消失家屋等の廃棄部材の可能性はある。遺物は微量であるが大洞A式を含む。TR2-1、TR2-b、TR2-Z、TR2-ア、TR2-イ、TR2-ウは大洞C1式を包含し、TR2-bは多量の大洞C1式を含み、TR2-Zには礫が多い。TR2-X（TR2-イ）はしまり無く、ボソボソしている。TR2-2、TR2-エ、TR3-d2は、大洞B式を包含し、TR2-エは、礫多く、TR3-d2は、焼土粒やローム粒により赤みがかって見える。TR3-eは、礫多く、TR3-fは、混入物僅少で、地山と3-gとの混合土を主体に褐色を呈す。これらTR2-3、TR3-e、TR3-fは、後期後葉～後期末を包含する。TR2-4には、中期の土器がわずかに含まれている。なお、セクション2は、下方の下層において、TR3系の土層（TR3-Z、TR3-b、TR3-d2、TR3-e、TR3-f）が分布する。

**セクション3** TR3-cは、一括廃棄の可能性のある地山起源土壌と推定され、礫が多く、遺物は少ないが、ごく希に大洞C2式の略完形が出土する。TR3-アは、粘性の強い粘土質土で、礫多く、大洞C1式をわずかに包含し、特徴的な褐色を呈す。これも上層と同じく、一括廃棄の可能性のある地山起源土壌と推定される。TR3-イも粘性の強い粘土質土で、大洞C1式を包含する。TR3-d、TR3-d2は、ともにシルト質で、焼土粒やローム粒により赤みがかかり、大洞B式を含む。TR3-eは、シルト質であるがややしまりに欠け、柔らかい。TR3-fは褐色を呈す。これらTR3-eとTR3-fの境に後期後葉～後期末が出土する。TR3-gには中期が微量に含まれる。

**【クラック地区との関係】**P92の註2において、本捨場の西側に隣接する「クラック地区」について触れたが、クラック地区Aベルトの土層断面（『川原平(1)遺跡IV 図171』）における堆積土と同一と考えられる層がいくつか認められる。同一ラインで連続した土層ではなく、互いに土壌のカット方向が異なることから、完全な同一層とは言い難い面もあるが、右に推定される土層の対応関係を記しておく。

北東捨場	クラックAベルト
TR6-1, TR6-2層	1b層
TR1-5層	3a, 3b層
TR1-6層	5a層
TR1-7層	8a, 8b, 8c層

(木村)

**註**

1) トレンチ5の土層断面（セクション5）については、包含層の形成が他の地点に比べて十分ではない（地山の傾斜がきついことから、常に土壌が流出していた可能性がある）範囲の図示である上、TR1-a、TR1-bと時間的に並行すると思われる薄い層が3層ほど堆積するにすぎないことから、ここではトレンチ1～3（セクション1～3）を主体に述べる。

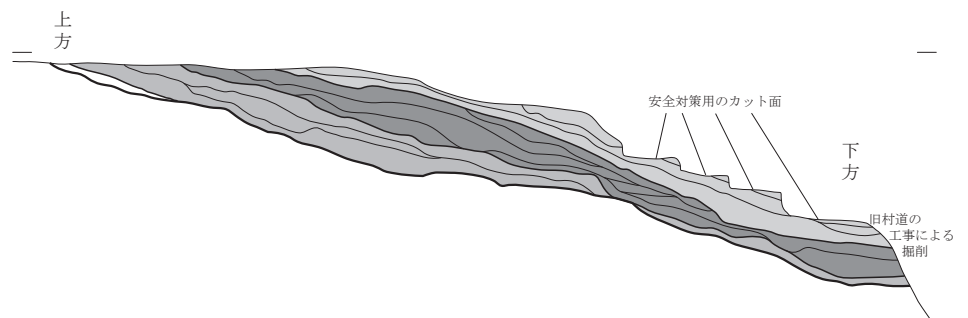
捨場堆積層（遺物包含層）の分層線は、多孔質な土壌と多量の礫のために、思い通りに引くことは困難であった。線は釘を使って引いたが、軟質な部分に釘先が引き込まれることが多く、一度引いた線を消そうとしても、断面は抉れるばかりで、線の修正は極めて難しかった。よって、図示した土層ラインと、写真中のラインとは、若干の違いが生じているが、あくまでも線画で図示したラインが正式なものである。

遺物観察表には、TR2-y層などの、トレンチ1～5のいずれにも登場しない土層が記されているが、この層などは、トレンチ2と3の間の層で、セクション1～3のライン上には存在しなかった層である。（TR2-y層は、TR2-b層とTR3-a層の中間的な層）

- 2) 土壌の堆積が進行することによって、本捨場は徐々に平坦化していったものと考えられる。ある程度の土壌堆積が進んだ晩期中葉頃においては、トレンチ3のセクションポイントA付近から下方に降りていく行為は可能だったと推定される。
- 3) 廃棄された土壌内の混入物や、廃棄された有機物の腐食過程、そこに繁茂した植物の種類、土中生物の活動や化学変化など、多様な原因が考えられる。
- 4) 図中における「漸移層」と「IV層」は、既報告の内容と同様である。即ち、漸移層は「遺物を含まない明褐色～黒褐色土」、IV層は、既報告の「IV層」・「地山」に相当し、「礫やローム、両者の混合層など地点によって多様な状態を呈す土壌である。

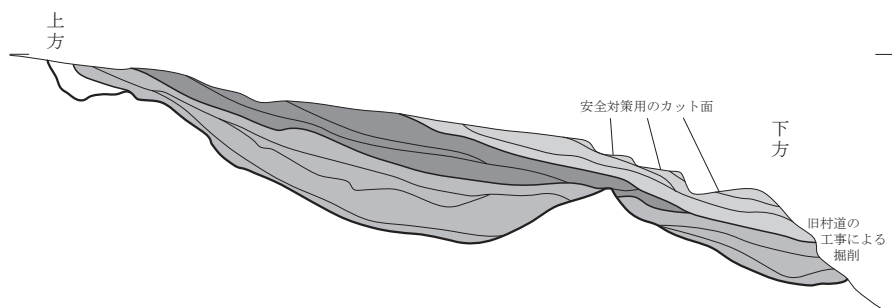
トレンチ1 (セクション1：TR1系のみ表記 図58参照)

上方層名⇔下方層名	土層の形成時期
TR1-a	晩期 4期～5期
TR1-1=TR1-b	
TR1-2=TR1-c	
TR1-d	晩期 3期～4期
TR1-3	
TR1-4=TR1-e TR1-4.5	
TR1-5	晩期2期(僅少) 後期7-4期 ～晩期1b期
TR1-6	
TR1-7	
TR1-8	捨場としての利用なし



トレンチ2 (セクション2：TR2系のみ表記 図59参照)

上方層名⇔下方層名	土層の形成時期
TR2-ア	晩期 4期～5期
TR2-X=TR2-イ	
TR2-a=TR2-ウ	
TR2-b	晩期 3期～4期
TR2-Z	
TR2-1	
TR2-2=TR2-エ	晩期2期(僅少) 後期7-4期 ～晩期1b期
TR2-3	
TR2-4	捨場としての利用なし



トレンチ2は、下方および下層において、TR3系の土層（TR3-Z, TR3-b, TR3-d2, TR3-e, TR3-f, TR3-g）が堆積する。

トレンチ3 (セクション3：TR3系のみ表記 図60参照)

上方層名⇔下方層名	土層の形成時期
TR3-Z	晩期 4期～5期
TR3-b	
TR3-c	
TR3-a = TR3-ア	晩期 3期～4期
TR3-a2=TR3-イ	
TR3-d	晩期2期(僅少) 後期7-4期 ～晩期1b期
TR3-d2	
TR3-e	
TR3-f	
TR3-g	捨場としての利用なし

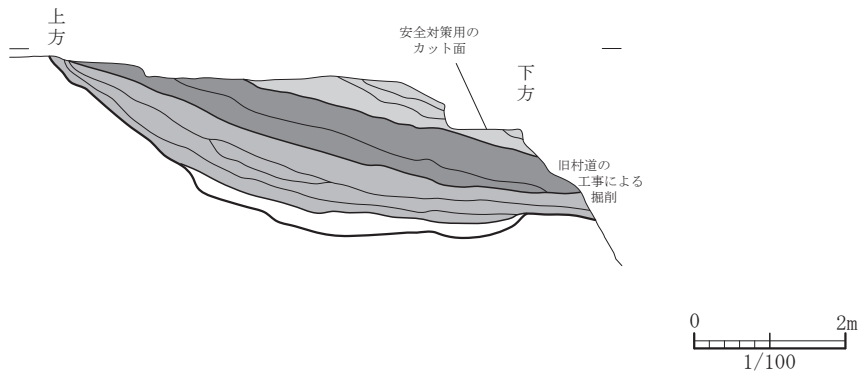


図57 北東捨場地区 トレンチ1～3土層断面図と土層番号・各土層の形成時期

トレンチ1  
(セクション1)



図 58 北東捨場地区 トレンチ1 土層断面図

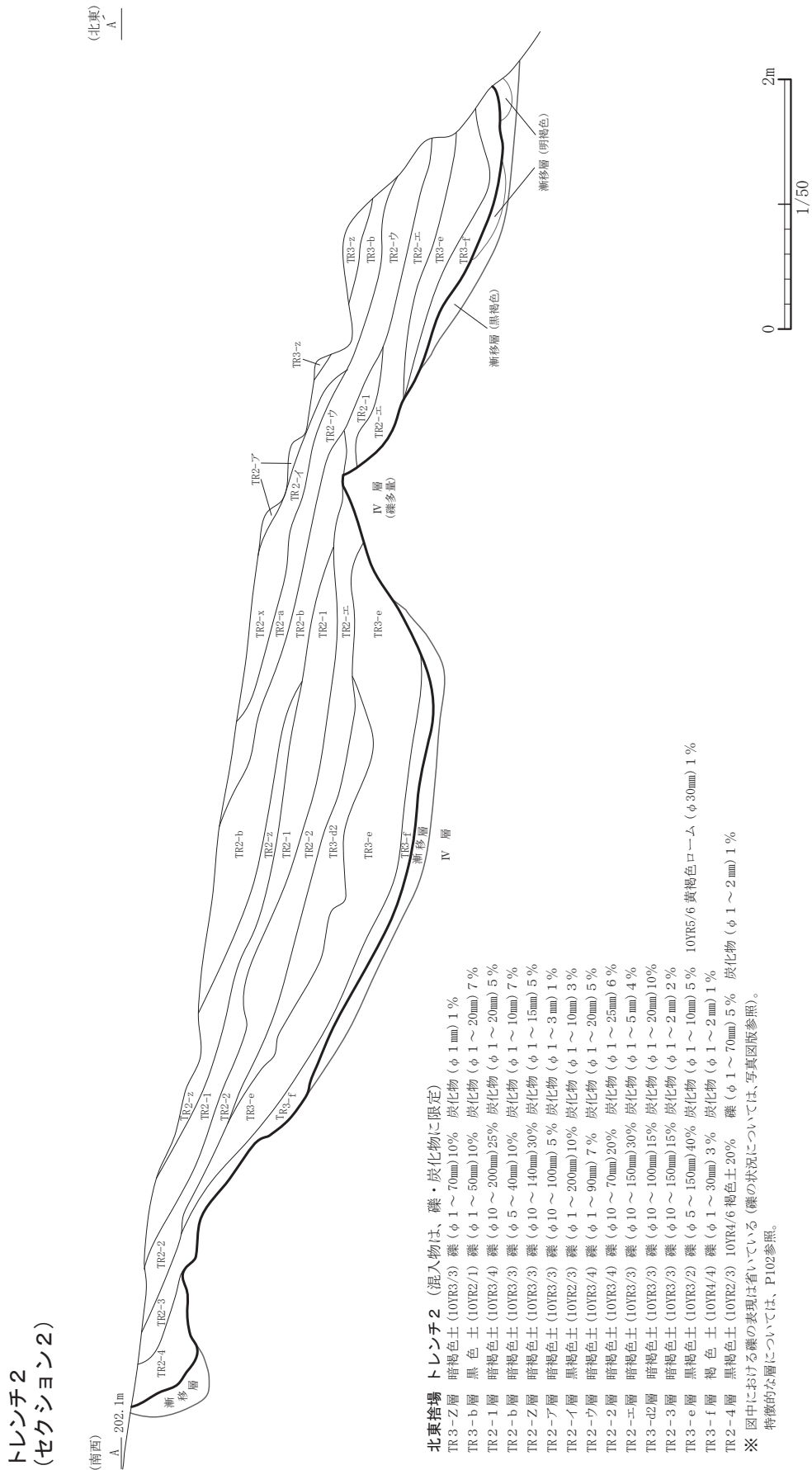
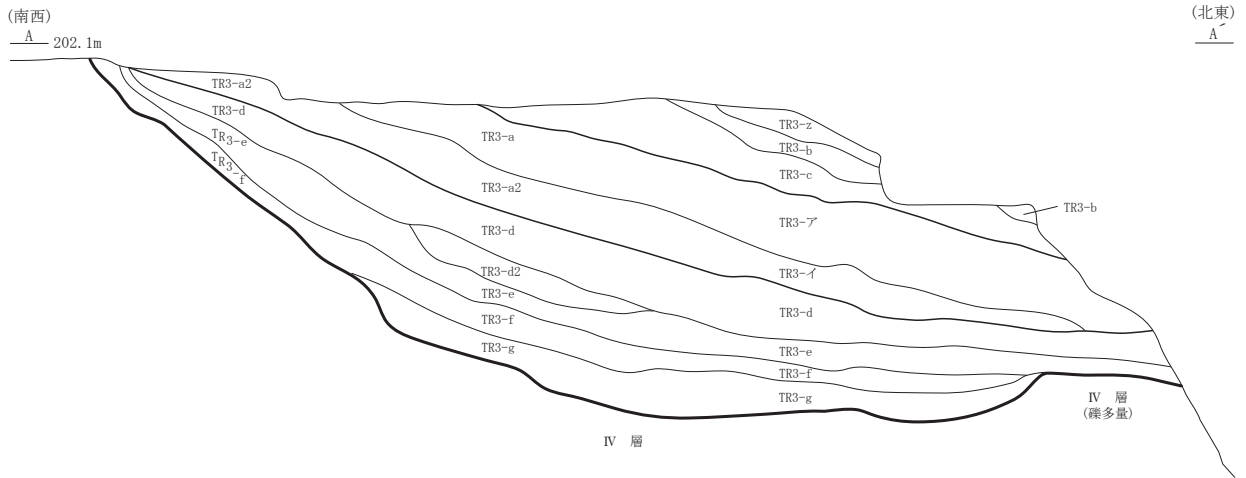


図 59 北東捨場地区 トレンチ2 土層断面図

トレンチ3  
(セクション3)

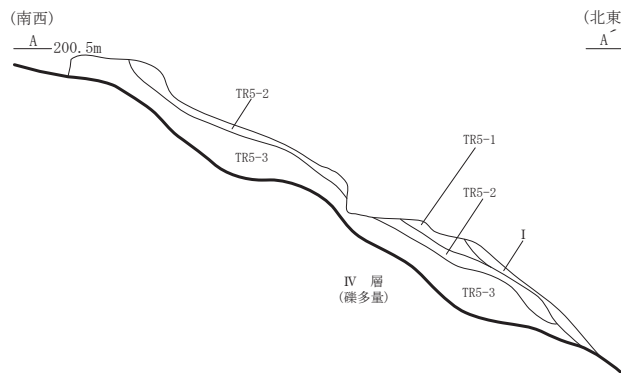


北東捨場 トレンチ3 (混入物は、礫・炭化物に限定)

- TR3-z層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ 1 ~ 35mm) 3% 炭化物 (φ 1 ~ 15mm) 1%
- TR3-b層 黒褐色土 (10YR3/2) 礫 (φ 1 ~ 135mm) 20% 炭化物 (φ 1 ~ 20mm) 5%
- TR3-c層 黒褐色土 (10YR3/2) 礫 (φ 1 ~ 140mm) 30% 炭化物 (φ 1 ~ 17mm) 1%
- TR3-a層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ 1 ~ 130mm) 20% 炭化物 (φ 1 ~ 12mm) 1%
- TR3-a2層 黒褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ 1 ~ 190mm) 10% 炭化物 (φ 1 ~ 8mm) 1%
- TR3-ア層 褐色土 (10YR4/4) 礫 (φ 1 ~ 190mm) 50% 炭化物 (φ 1 ~ 20mm) 1%
- TR3-イ層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ 1 ~ 160mm) 20% 炭化物 (φ 1 ~ 13mm) 1%
- TR3-d層 黒褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ 1 ~ 360mm) 20% 炭化物 (φ 1 ~ 10mm) 1%
- TR3-d2層 暗褐色土 (10YR3/4) 礫 (φ 1 ~ 120mm) 5% 炭化物 (φ 1 ~ 30mm) 2%
- TR3-e層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ 1 ~ 300mm) 10% 炭化物 (φ 1 ~ 40mm) 3%
- TR3-f層 褐色土 (10YR4/4) 礫 (φ 1 ~ 70mm) 1% 炭化物 (φ 1mm) 1%
- TR3-g層 黒褐色土 (10YR2/2) 礫 (φ 10 ~ 30mm) 2% 炭化物 (φ 1 ~ 5mm) 1%

※ 図中における礫の表現は省いている (礫の状況については、写真図版参照)。特徴的な層については、P102参照。

トレンチ5  
(セクション5)



北東捨場 トレンチ5

- TR5-1層 黒褐色土 (10YR2/2) 礫 (φ 10 ~ 100mm) 3%
- TR5-2層 黒褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ 10 ~ 250mm) 5%
- TR5-3層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ 10 ~ 250mm) 30%

※ 図中における礫の表現は省いている (礫の状況については、写真図版参照)。

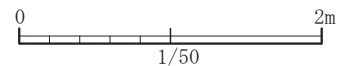


図 60 北東捨場地区 トレンチ3・トレンチ5土層断面図



### 第3節 土器集中域(ブロック)(図61~82・84~94、表2・3、写真84~96・104~131)

発掘調査では、良好な復元個体になり得ると思われる2個体以上が近接(上面からの目視で2点間距離が60cm前後)して出土し、同時廃棄<sup>1)</sup>されているように見えるものを「ブロック」として取り上げた<sup>2)</sup>。開放的な空間への廃棄に見えるものであることから、土坑内の一括資料のような、閉鎖的かつ安定的なまとまりは保証されず、偶然の近接した出土である可能性<sup>3)</sup>は否定できない。しかしそもそも、同時廃棄であるか否かの判断以前に、近接した出土が偶然であるかどうかさえも、厳密には判断できない。このようなことから、同一層の中で平面的に近接して出土した状況を「ブロック」として機械的に捉え、事例数を増やすことにより、本捨場における廃棄行為の特質やある段階における土器の同時存在を推定する一助とした。勿論、ある瞬間における同時廃棄(一括廃棄)、短期間内における追加廃棄(下記)という「まとまり」を示しているものは、決して少なくないと考えている。

**【ブロックの重複】** 垂直方向での重複関係は当然あるものとしてここでは触れないが、平面的にもあったことはほぼ確実と言える。それは、地表面に露出している、過去に廃棄されていた個体A・Bの近くに、個体C・Dを廃棄し、そしてまた時間が経った後に、個体A~Dの付近に個体Eを廃棄するといった状況は十分に想定できるからである。以下に述べるブロックの中にも、新旧関係にある2単位のブロックが、1単位として取り上げられているものが含まれているものと思われるが、このような、取り上げ時における把握の不確かさが原因で、既存の編年観と一致しない状態を含んでいる可能性はある。しかし一方で、既存の編年観の再検討も行われる必要がある。

**【ブロックの認定数と報告数】** 発掘調査では、83単位のブロックを認定した。うち、8単位の大型ブロック(4024, 4031, 4032, 4043, 4052, 4053, 4054, 4062)については、範囲内を分割(細分)することにより、枝番号を付けたブロックが17単位生じた。この17単位のブロックを単独のものとして捉えれば、全体で100単位のブロックを調査中に認定したことになる。しかし、接合作業の結果、2個体ととらえていたものが1個体にまとまった等の例があり、ブロックとして認定すべきではないものも生じた。図示および写真報告に耐えうる良好な2個体以上が組み合わせられたブロックは最終的に45単位となった。以下、これら45単位のブロックについて述べる<sup>4)</sup>。

**【各ブロックの主體的な時期と多寡】** **【後期後葉~晩期前葉】** ブロック4055, 4069, 4081, 4082, 4084の5単位が認定された。**【晩期1a期(大洞B1式期)】** ブロック4074の1単位のみ認定となったが、該期は、前段階(後期後葉~晩期前葉)の時間幅にも含まれていることから、晩期1a期が極端に少ない訳ではない。**【晩期1b期(大洞B2式期)】** ブロック4031-1, 4033, 4051, 4053-2, 4057, 4058, 4061, 4072, 4075, 4080, 4083の11単位が認定され、割合に活発な廃棄活動のあったことがうかがわれる。**【晩期2期(大洞BC式期)】** ブロック4013の1単位のみ認定となった。ブロック以外の該期の遺物も、他の時期に比べると極端に少なく、他の捨場との比較が必要である。**【晩期3期(大洞C1式期)】** ブロック15, 4004, 4005, 4024-1, 4025, 4030, 4032-1, 4032-3, 4032-5, 4036, 4037, 4038, 4053-1, 4066の14単位が認定された。この時期に属すブロックが最多で、活発な廃棄活動期、あるいはこの時期の絶対年代幅が他の時期よりも長い等、様々な要因が推察される。**【晩期4期(大洞C2式期)】** ブロック4011, 4019, 4032-6, 4043下層A, 4043下層B, 4045, 4052-1, 4052-4の8単位が認定された。**【晩期5期(大洞A式期)】** ブロック16, 4044の2単位が認定された。この時期の土層は、削平を受けているため、ブ

ロック数の少なさは、集落の縮小云々の議論と安易に直結させることはできない。**晩期2期～4期・晩期中葉～後葉** これらのほか、晩期2期～4期と幅広く捉えたブロック4024-2, 4062-2、同じく幅広く捉えた晩期中葉～後葉のブロック4010がある。

**【時期毎の分布傾向 (図61-2)】** 時期毎の分布状況について概略を記す。**後期後葉～晩期前葉** VK-47・48グリッドのTR3-e層が中心的である。**晩期1a期(大洞B1式期)** 1単位のみのであるが、VL-46グリッドのTR2-2層において認定された。**晩期1b期(大洞B2式期)** VL-45・46グリッドのTR1-5層が中心的である。**晩期2期(大洞BC式期)** 1単位のみのであるが、VL-45グリッドのTR1-5層において認定された。**晩期3期(大洞C1式期)** VL-46, VM-46グリッドのTR1-4層が中心的である。**晩期4期(大洞C2式期)** VK-47グリッドのTR2-b層、VM-46グリッドのTR1-4層が中心的である。**晩期5期(大洞A式期)** ブロック2単位のみであるが、VM-46グリッドのTR1-c層とVM-47グリッドのTR3-b層に認定された。

以上の分布傾向をまとめると、概ね後期後葉は本捨場の南東域、トレンチ3の中心あたりが廃棄の中心地、そして晩期前葉は北西に移動し、トレンチ1の上方から中心あたりが廃棄の中心地、晩期中葉はそこからごくわずかに北東に移動し、トレンチ1の中心から北東域が廃棄の中心地、そして晩期後葉は、トレンチ1と2の間の北東域に廃棄、というように、廃棄場所が移り変わる経過と経路が分かる。即ち、南東→北西(「クラック地区」方向へ)→北東(「北東捨場延長地区」へ)という動きが浮かび上がる。「北東捨場延長地区」方向への移動の背景には、廃棄土壌の堆積が進んだことによる、可動範囲の拡大があると考えられるとともに、「川原平(4)遺跡B区北西端」との連絡の活発化もあると考えられる。

**【重視されるブロック】** 図80に示した4081, 4082, 4083, 4084の各ブロックは、TR3-e層～TR3-f層において認識されたものである。これらは層位的に大きな上下差をもって出土したものではなく、形式的にも後期後葉～晩期前葉と幅広く捉えておくのが現時点では最良と思われるが、ブロック間で新古を推定する試みはなされても良い資料群と思われる。ブロック4084(写真96左下)は、上方から転がってきた礫と、放り投げられた(?)土器と炭化材の組み合わせとみられる。小溝状の凹みに多くの遺物が集まっており、自然作用の関与がうかがわれるブロックである。図72のブロック4053-2は、晩期1b期の注口3個体と台付鉢、壺、深鉢などで構成され、多くの器種がまとまっており、組成を考える際の良いセットになるものと考えられるが、注口がまとまって3点出土している状況は、器種組成比としては違和感のあるもの、即ち、何か儀礼的な活動に伴ったものかと推定される。一方、図70に示したブロック4062-2は、半精製と粗製の土器がまとまって出土しており、精製土器の伴出が無いために、晩期2期～4期と幅広い時間幅で把握せざるを得ないが、逆にこのブロックこそ、短寿命の煮沸系日用品で構成されたものであることからすれば、むしろ時間幅を狭めて捉えてみることも必要かと思われる。このような意味で、精製土器と粗製土器の両方が出土している他のブロックなどは、粗製土器の編年を整備していく上で、今後重要度が高まるものと考えられる。

(木村)

## 註

- 1)「廃棄」ではなく「送り」である云々の議論は常に重要であるが、当時の社会における観念についてまで考察することはできないことから、ここで用いる「廃棄」という用語は、「送り」的な観念を含めた幅広い概念として用いるものとする。
- 2)ブロックとして取り上げた遺物の中には、石器・その他もあるが、これらについては、土器とは別に報告している。
- 3)ブロックは、次世代に攪乱(蹴られたり、退かされたり)されたり、あるいは自然現象で風化が進んだり、様々な環境にさ



※ベルト内のブロック認定は行って  
いないため、空白域が生じている。

図 61-1 北東捨場地区 土器集中域(ブロック)配置図

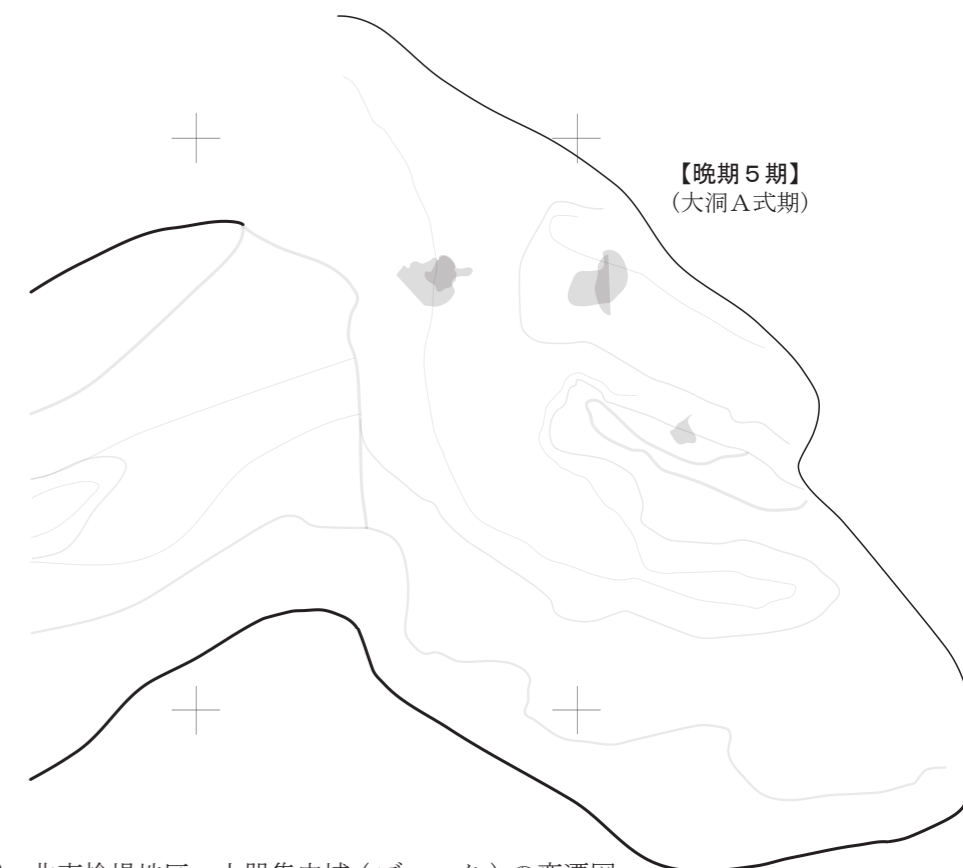
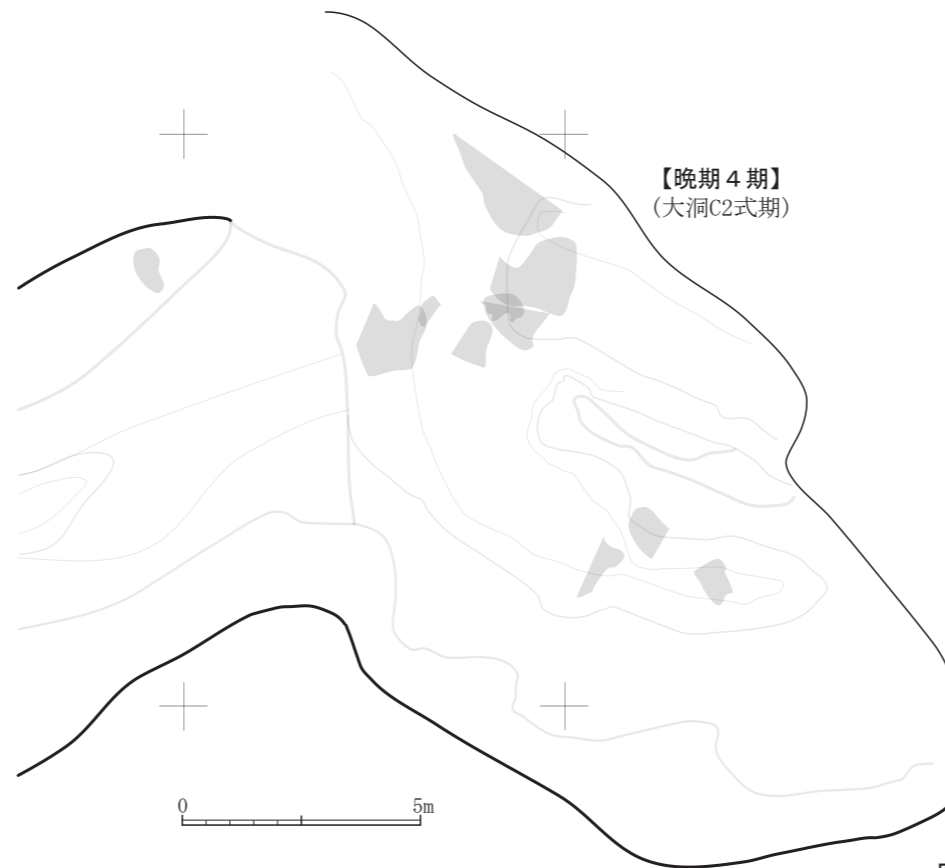
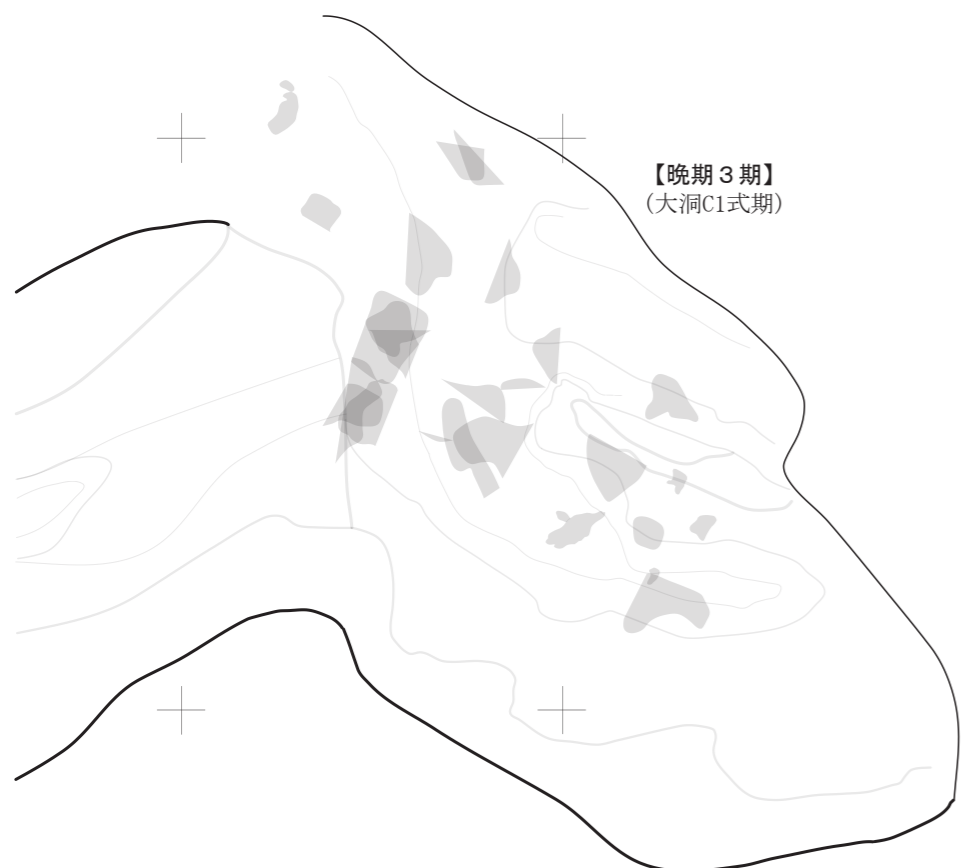
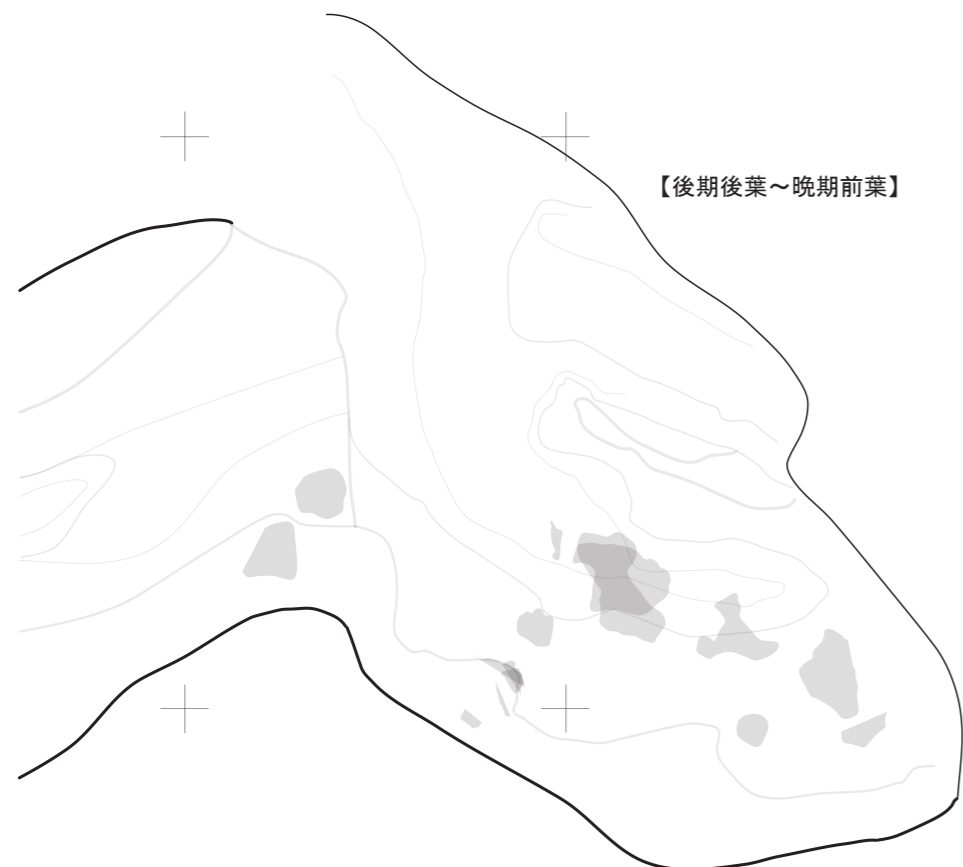


図 61-2 北東捨場地区 土器集中域(ブロック)の変遷図

らされ続け、後の土壌にバックされるまでの間に移動した可能性は当然想定される。また、植物の根、特に樹木類の根の成長による移動や根腐れ痕への落下なども考慮すれば、新しい物が下へ移動する可能性も十分考えられる。

4) 各ブロックの平面図は、紙数の都合上、同一層位ごとではなく、複数のブロックが検出された地点毎に掲載している。

情報の整理後に、いくつかのブロックについては、取り上げ層番号の誤認ではないかと思われるものが含まれていることが判明したが、層番号の変更などはあえて一切行っていない。矛盾する状況があれば、それは取り上げ時における誤認そのもの、また逆に、型式学と層位学との狭間に存在する不整合である可能性もあり得る。

ブロック範囲内に存在したP-X番号の土器片等との今後の検討等に混乱無く対応できるよう、ブロック番号の抹消や変更はあえて行っていない。

ブロック間で接合したものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表2 北東捨場地区 ブロック観察表(1)

ブロック名	位置	検出層位	掲載土器整理No.	その他出土土器整理No.(表3参照)	主体となる遺物の時期	挿図番号
ブロック15	VL-45	TR1-4	4038, 4039, 4041, 4044, 4045, 4046, 4054, 土4053	4040, 4042, 4043, 4053, 4104, 4106, 4107, 4108, 4109, 5145	晩期3	図65
ブロック16	VM-46	TR1-c	4051, 4052	4047, 4048, 4049, 4050, 4105, 4112	晩期5	図63
ブロック4001	VJ-46・VK-46	TR2-2	5156	4055, 4056, 4057, 5123	後期後葉～晩期	図76
ブロック4002	VM-46	TR1-c	4063	4058, 4059, 4060, 4061, 4062, 4113	晩期5	図63
ブロック4003	VL-47	TR2-ウ	4064		晩期後葉	図75
ブロック4004	VL-47	TR2-ウ	4066, 4068, 4070, 4079, 5290	4065, 4067, 4069, 4111	晩期3	図75
ブロック4005	VK-46・47	TR2-b	4078, 4080	4076, 4077, 4119, 4120	晩期3	図77
ブロック4006	VK-46	TR2-2		4071, 4072, 4073, 4074, 4075, 4115, 4116, 4117, 4118	後期後葉～晩期前葉	図76
ブロック4007	VN-45	TR1-a～TR1-b	4082	4081	晩期3	図62
ブロック4008	VM-45	TR1-a～TR1-b		4083, 4084, 4085	晩期	図62
ブロック4009	VL-45・46	TR1-4～TR1-5		4012, 4086, 4087, 4088, 4089, 4090, 4091, 4092, 4093, 4121, 4122, 4123, 4124	晩期3	図69
ブロック4010	VL-47・VK-47	TR2-b	4094, 4096, 4097	4095	晩期中葉～後葉	図77
ブロック4011	VK-47	TR3-b～TR3-c	4099, 4100, 4101	4098, 4114	晩期4	図79
ブロック4012	VK-47	TR3-c		4102, 4103	晩期3	図79
ブロック4013	VL-45	TR1-5	4126, 4139	4125, 4127, 4128, 4129, 4130, 4131, 4132, 4133, 4134, 4135, 4136, 4137, 4138	晩期2	図71
ブロック4014	VL-45	TR1-5		4148, 4149	晩期1	図71
ブロック4015	VL-47	TR2-ウ	土4058	4141, 4142, 4143, 4144, 4145, 4146, 4147	晩期3	図75
ブロック4016	VL-45	TR1-1		4150, 4151, 4152, 4153, 4154	晩1b	図62
ブロック4017	VK-48	TR3-ア～TR3-イ		4157, 4158, 4159, 4160	後期後葉～晩期	図78
ブロック4018	VK-47	TR2-y・TR3-c	4161	4155, 4156	晩期	図77
ブロック4019	VL-47	TR1-4	4162, 4166, 4167, 4170, 4171, 4172, 5309	4163, 4164, 4165, 4168, 4169	晩期4	図64
ブロック4020	VL-45	TR1-4	4173	4174, 4175, 4176, 4177, 4178, 4179, 4180, 4181, 4182	晩期1a	図66
ブロック4021	VK-46	TR2-1		4183, 4184, 4185, 4186, 4187, 4188, 4189	晩1a	図75
ブロック4022	VK-45	TR1-6	4193	4190, 4191, 4192, 4194, 4195, 4196, 4197, 4198, 4199, 4200, 4201, 4202, 4203, 4204	後期末葉～晩期初頭	図74
ブロック4023	VM-46・VL-46	TR1-c下	4225	4205, 4206, 4207, 4208, 4209, 4210, 4211, 4212, 4213, 4214, 4215, 4216, 4217, 4218, 4219, 4220, 4221, 4222, 4223, 4224	晩3	図63
ブロック4024-1	VL-46	TR1-4	4234, 4260, 4261, 4264, 4270	4249, 4250, 4263, 4264, 4265	晩3	図66
ブロック4024-2	VL-46	TR1-4	4229, 4231, 4233, 4236, 4237, 4241, 4252, 4259, 4270	4228, 4230, 4232, 4238, 4239, 4240, 4242, 4243, 4244, 4245, 4246, 4247, 4248, 4251, 4253, 4254, 4255, 4256, 4262, 4266, 4267, 4268, 4269	晩2～4	図66
ブロック4024-3	VL-46	TR1-4		4235	—	図66
ブロック4024-4	VL-46	TR1-4			—	図66
ブロック4025	VK-47・VL-47	TR3-a	4226, 4227		晩3	図78
ブロック4026	VK-47	TR2-y	4281	4271, 4272, 4273, 4274, 4275, 4276, 4277, 4278, 4279, 4280	晩3	図77
ブロック4027	VM-47	TR3-c		4282, 4283	晩2～3	図79
ブロック4028	VK-46	TR2-1		4284, 4285	後期後葉～晩期前葉	図75
ブロック4029	VK-45	TR1-7	4290	4286, 4287, 4288, 4289, 4291, 4292	晩期1b	図74

※異なるブロック間で接合したもの、あるいは同一個体となるものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。



表2 北東捨場地区 ブロック観察表(2)

ブロック名	位置	検出層位	掲載土器整理No.	その他出土土器整理No.(表3参照)	主体となる遺物の時期	挿図番号
ブロック4030	VM-46・VL-46	TR1-4	4293, 4294, 4299, 4301, 4310, 4311, 4313, 4315 土4055, 土4059	4295, 4296, 4297, 4298, 4300, 4302, 4303, 4304, 4305, 4306, 4307, 4308, 4309, 4312	晩3	図67
ブロック4031-1	VL-45	TR1-5	4316, 4317	4324, 4327, 4328, 4329, 4330, 4331	期1b	図71
ブロック4031-2	VL-45	TR1-5	4325	4318, 4319, 4320, 4321, 4322, 4323, 4326	晩期1b	図71
ブロック4032-1	VL-46	TR1-4	4364, 4395, 4399	4361, 4362, 4363, 4365, 4366, 4392, 4396, 4397, 4398, 4755	晩期3	図67
ブロック4032-2	VL-46	TR1-4	4375	4367, 4368, 4369, 4370, 4371, 4372, 4373, 4374, 4691	晩期3	図67
ブロック4032-3	VL-46	TR1-4	4384, 4385	4376, 4377, 4378, 4379, 4380, 4381, 4382, 4383, 4386, 4387, 4388, 4389, 4390, 4391	晩期3	図67
ブロック4032-4	VL-46	TR1-4		4332, 4333, 4334, 4335	晩期4	図67
ブロック4032-5	VL-46	TR1-4	4336, 4337	4338, 4339, 4340, 4341, 4401, 4402, 4403, 4404	晩期3	図67
ブロック4032-6	VL-46・VM-46	TR1-4	4346, 4355	4342, 4343, 4344, 4345, 4347, 4348, 4349, 4350, 4351, 4352, 4353, 4354, 4356, 4357, 4358, 4539, 4360	晩期4	図67
ブロック4033	VL-44	TR6-2～TR6-3	4405, 4407, 4412, 4717, 4724	4406, 4408, 4409, 4410, 4411, 4413, 4414, 4415, 4416, 4417, 4418, 4419, 4445, 4446, 4714, 4715, 4716, 4718, 4719, 4720, 4721, 4722, 4723	晩期1b	図81
ブロック4034	VL-46	TR1-4.5	4422	4420, 4421, 4423	晩期2～3	図69
ブロック4035	VM-44	確認面		4447, 4448, 4449, 4450, 4451, 4452, 4453, 4454, 4455, 4456, 4457	晩4	図82
ブロック4036	VM-46・VL-46	TR1-4～TR1-4.5	4431, 4432	4424, 4425, 4426, 4428, 4430, 4433, 4434, 4435, 4436, 4437, 4438, 4439, 4440, 4441, 4442, 4443	晩期3	図69
ブロック4037	VM-46	TR1-d	4460, 4461, 4466, 4475	4458, 4459, 4462, 4463, 4464, 4465, 4467, 4468, 4469, 4470, 4471, 4473, 4474, 5335	晩期3	図64
ブロック4038	VM-46	TR1-c	4483, 4500	4476, 4477, 4478, 4479, 4480, 4481, 4482, 4484	晩期3	図63
ブロック4039	VM-46	TR1-4	4487	4485, 4486, 4488, 4489, 4490, 4491, 4492, 4493, 4494, 4495, 4496, 4497, 4498, 4499	晩4	図68
ブロック4040	VL-47	TR3-c	4511	4507, 4508, 4509, 4510	晩期3～4	図79
ブロック4041	VM-45	TR5-2	4556	4501, 4502, 4503, 4504, 4505, 4506	晩2～3	図81
ブロック4042	VL-44	TR6-3～TR1-6	4035	4522, 4523, 4524, 4525, 4526, 4527, 4528, 4529, 4530, 4531, 4532, 4533, 4534, 4535, 4536, 4537, 4538, 4539, 4540, 4541, 4542, 4543, 4544	晩期2	図74
ブロック4043上層A	VK-47	TR2-b	4747	4568, 4569, 4570, 4571, 4573, 4575, 4576, 4746	晩期	図77
ブロック4043下層A	VK-47	TR2-b	4574, 4578, 4579, 4749	4577, 4750, 4751, 4752	晩期4	図77
ブロック4043下層B	VK-47	TR2-b	4034, 4567	4562, 4563, 4565, 4572	晩期4	図77
ブロック4044	VM-47	TR3-b	4516, 4517, 5192	4512, 4513, 4514, 4515, 4518, 4519, 4520, 4521	晩期5	図79
ブロック4045	VM-46	TR1-4.5	4756, 4757	4758, 4759, 4760, 4761, 4762, 4763, 4764, 4765, 4766, 4767	晩期4	図69
ブロック4046	VL-47	TR2-ウ		4768, 4769, 4770, 4771	晩期3	図75
ブロック4047	VM-45	TR5-2	4556	4545, 4546, 4547, 4548, 4549, 4550, 4551, 4552, 4553, 4554, 4555	晩期3	図81
ブロック4049	VJ-47・48	TR3-d	4773	4772, 4774, 4775	後期後葉～晩期前葉	図78
ブロック4050	VK-47	TR2-b		4776, 4777, 4778, 4779	晩期3	図77
ブロック4051	VK-48	TR3-e	4003, 4028	4557, 4558, 4559, 4560, 4561	晩期1b	図80
ブロック4052-1	VM-46・47	TR1-4	4580, 4582, 4596, 4597, 4602, 4610, 4614, 4615, 4626, 4627, 4727, 4728, 4731, 4732, 4735, 土4057	4581, 4583, 4584, 4587, 4588, 4589, 4590, 4591, 4593, 4594, 4598, 4601, 4603, 4604, 4605, 4606, 4608, 4609, 4611, 4612, 4613, 4725, 4729, 4730, 4734	晩期4	図68
ブロック4052-2	VM-47	TR1-4	4624	4616, 4617, 4618, 4620, 4621, 4622, 4623, 4625	晩期5	図68
ブロック4052-3	VM-47	TR1-4		4619, 4633, 4634	晩期	図68
ブロック4052-4	VM-46	TR1-4	4036, 4641, 4739, 4740, 4744, 4745, 土4060	4628, 4629, 4630, 4631, 4632, 4635, 4636, 4637, 4638, 4639, 4640, 4642, 4643, 4736, 4737, 4738, 4741, 4742, 4753, 4754	晩期4	図68

※異なるブロック間で接合したもの、あるいは同一個体となるものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表2 北東捨場地区 ブロック観察表(3)

ブロック名	位置	検出層位	掲載土器整理No.	その他出土土器整理No.(表3参照)	主体となる遺物の時期	挿図番号
ブロック4053-1	VL-45・46	TR1-5	4650, 4655	4657, 4658, 4659, 4660, 4661, 4662, 4663, 4664, 4665, 4666, 4667, 4668, 4669, 4670	晩期3	図72
ブロック4053-2	VL-45・46	TR1-5	4011, 4644, 4645, 4647, 4649, 4656, 4671, 4672, 4692, 4702, 4706, 5292	4646, 4648, 4651, 4652, 4653, 4654, 4694, 4695, 4696, 4697, 4698, 4700, 4701, 4703, 4704, 4705, 4707, 4708, 4709, 4710, 4712	晩期1b	図72
ブロック4054-1	VK-46・VL-46	TR1-5	4686	4680, 4681, 4687, 4688, 4690	晩期1b	図73
ブロック4054-2	VL-46	TR1-5	4685	4673, 4674, 4675, 4676, 4677, 4678, 4679, 4682	晩期1b	図73
ブロック4055	VJ-48	TR3-d～TR3-e	4792, 4793, 4794, 4799	4795, 4796, 4797, 4798	後7-4～晩1a	図78
ブロック4056	VJ-48・VK-48	TR3-e	4002	4780, 4781, 4782, 4783, 4784, 4785	晩期1a	図80
ブロック4057	VL-47	TR2-エ	4786, 4787, 4790, 4791	4788, 4789	晩期1b	図76
ブロック4058	VJ-47	TR2-2	4007, 4801	4800, 4802, 4803, 4804, 4805, 4806	晩期1b	図76
ブロック4059					—	図76
ブロック4060	VN-45	TR5-2	4809	4807, 4808	晩期3	図81
ブロック4061	VN-47・VM-47	TR2-エ	4810, 4822, 4823, 4825	4811, 4812, 4813, 4814, 4815, 4816, 4817, 4818, 4819, 4820, 4821, 4824, 4826	晩期1b	図76
ブロック4062-1	VM-46	TR1-4	4835	4037, 4827, 4828, 4829, 4830, 4831, 4832, 4833, 4834, 4836, 4837, 4838, 4839	晩期3	図70
ブロック4062-2	VM-46・47	TR1-4	4913, 4914, 4915, 4916, 4921, 4923, 4926, 4928, 4929, 4932, 4938, 4941, 4944, 4945, 4946, 4948	4907, 4908, 4909, 4910, 4911, 4912, 4917, 4918, 4919, 4920, 4922, 4924, 4925, 4927, 4930, 4931, 4933, 4934, 4935, 4936, 4937, 4939, 4942, 4943, 4947, 4949	晩期2～4	図70
ブロック4063	VK-46	TR2-2	4840	4841, 4842	後期後葉～晩期	図76
ブロック4064	VK-47	TR3-d～TR3-e	土4061	4844, 4845	晩期1a	図78
ブロック4065	VK-46	TR2-2		4846, 4847, 4848, 4849	晩期1a	図76
ブロック4066	VM-46	TR1-4	4880, 4883, 4884, 4886, 4887, 4898, 4903, 4906, 5306, 土4054	4859, 4860, 4861, 4862, 4863, 4864, 4865, 4866, 4867, 4868, 4871, 4872, 4873, 4874, 4875, 4876, 4877, 4878, 4879, 4881, 4882, 4885, 4888, 4889, 4890, 4891, 4892, 4893, 4894, 4895, 4896, 4897, 4899, 4900, 4901, 4902, 4904, 4905	晩期3	図70
ブロック4067	VK-46・47	TR2-2	4856	4850, 4851, 4852, 4853, 4854, 4855	晩期1a	図76
ブロック4068	VK-48	TR3-f		4858	—	図80
ブロック4069	VL-45	TR1-7上面	4950, 4954	4951, 4953	後期後葉～晩期	図74
ブロック4070	VL-45	TR1-5	4983	4982, 4984, 4985	晩期1b	図73
ブロック4071	VM-46・47	TR1-4.5	4006	4966, 4967, 4968, 4969, 4970, 4971, 4972, 4973, 4974, 4975, 4976	晩期1b	図69
ブロック4072	VL-45	TR1-5	4960, 4962, 4963	4955, 4956, 4957, 4958, 4959, 4961	晩期1b	図73
ブロック4073	VL-45	TR1-6～TR1-7		4986, 4987, 4988, 4989, 4990, 4991, 4992, 4993, 4994, 4995, 4997, 4998, 4999, 5000	晩期1a	図74
ブロック4074	VL-46	TR2-2	4964, 4980	4965, 4977, 4978, 4979, 4981	晩期1a	図76
ブロック4075	VL-46	TR1-6～TR1-7	5032, 5035	5018, 5019, 5020, 5021, 5022, 5024, 5025, 5026, 5027, 5029, 5030, 5031, 5033, 5034	晩期1b	図74
ブロック4076	VK-47	TR2-2～TR3-d2	5001	5002, 5003	晩期1a	図76
ブロック4077	VK-47	TR3-d2	土4062	5004	晩期前葉～中葉	図78
ブロック4078	VK-47	TR2-エとTR3-eの境	4020	5006, 5007, 5017	晩期2	図76
ブロック4079	VK-46	TR3-e		5008, 5009, 5011, 5012, 5013	後期後葉～晩期初頭	図80
ブロック4080	VM-46	TR1-4.5～TR1-5	4005, 4008		晩期1b	図69
ブロック4081	VK-47・48	TR3-eとfの境	4018, 5040, 5042, 5053, 5334	4014, 5036, 5037, 5038, 5039, 5041, 5043, 5044, 5045, 5046, 5049, 5050, 5051	後期後葉～晩期前葉	図80
ブロック4082	VK-47	TR3-e	5056, 5057, 5058, 5065, 5073, 5074, 5075, 5091	5023, 5054, 5055, 5059, 5060, 5061, 5062, 5063, 5064, 5066, 5067, 5068, 5069, 5070, 5071, 5072, 5076, 5077, 5078, 5079, 5080, 5081, 5082, 5090	後期後葉～晩期前葉	図80
ブロック4083	VK-48	TR3-eとTR3-fの境	5084, 5089	5083, 5085, 5086, 5087	晩期1b	図80
ブロック4084	VK-47	TR3-eとTR3-fの境	4022, 5016	5014, 5015	後期後葉～晩期前葉	図80

※異なるブロック間で接合したもの、あるいは同一個体となるものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(1)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
15	4040	P4023	半精製	鉢		晩3か	台部
15	4042	P4014	半精製	鉢	II Bc1t	後期後葉～晩期	
15	4043	P4018	半精製	鉢	I Aa2	晩2	
15	4053	P4025	粗製	深鉢	I Aa2	後期後葉～晩期	
15	4104	P4019	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
15	4106	P4028	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
15	4107	P4021	半精製	鉢	I Aa2	晩3	
15	4108	P4020	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
15	4109	P4016	粗製	深鉢			口縁なし
15	5145	P4016	粗製	深鉢			底部((平底))
16	4047	P4039	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
16	4048	P4043	半精製	深鉢	I Aa2	晩5	
16	4049	P4038	半精製	深鉢	I Aa1	晩4～5	口縁平行沈線
16	4050	P4044	半精製	深鉢	I Aa1	晩5	口縁平行沈線
16	4105	P4040	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
16	4112	P4042	半精製	鉢か		晩5か	赤彩。平行沈線。
4001	4055	P4064	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4001	4056	P4061	精製	壺		後期後葉～晩期	
4001	4057	P4061	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	高台
4001	5123	P4062	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4002	4058	P4075	半精製	深鉢	I Aa1	晩5	口縁平行沈線
4002	4059	P4075	半精製	深鉢	I Aa1	晩5	口縁平行沈線
4002	4060	P4074	半精製	鉢		晩3か	台部
4002	4061	P4077	半精製	鉢	II Bc1t	晩4～5	
4002	4062	P4072	粗製	深鉢	I Aa2	後期後葉～晩期	
4002	4113	P4076	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4004	4065	P4083	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4004	4067	P4083	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4004	4069	P4086	粗製	鉢	I Bb1	晩期前半	片口
4004	4111	P4084	粗製	深鉢			口縁なし
4005	4076	P4089	粗製	深鉢			底部(平底)
4005	4077	P4091	半精製	鉢		晩3か	台部
4005	4119	P4097	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部
4005	4120	P4092	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4006	4071	P4095	精製	深鉢	II A1t	後7-4	
4006	4072	P4094	精製	深鉢	I Aa1t	後7-4	
4006	4073	P4094	精製	深鉢		後8か	
4006	4074	P4096	精製	注口		後7～8	
4006	4075	P4096	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4006	4115	P4099	粗製	壺か		晩期	
4006	4116	P4099	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4006	4117	P4099	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4006	4118	P4097	精製	台付浅鉢		晩1bか	口縁なし
4007	4081	P4101	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4008	4083	P4103	半精製	鉢	I Aa5	晩3	
4008	4084	P4103	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4008	4085	P4104	粗製	深鉢	I Aa1t	晩期	
4009	4012	P4010	精製	台付鉢か			台部のみ
4009	4086	P4109	精製	鉢	II Bb4	晩1b	
4009	4087	P4109	半精製	鉢	II Bc1	晩2～3	
4009	4088	P4109	半精製	台付鉢か			台部のみ
4009	4089	P4010	精製	壺		晩2～3	赤彩
4009	4090	P4114	半精製	鉢	II Bc2	晩2	
4009	4091	P4112	半精製	鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁平行沈線
4009	4092	P4113	精製	浅鉢		晩3	底部
4009	4093	P4113	精製	浅鉢	I A1	晩2～3	
4009	4121	P4111				後期後葉～晩期	口縁なし
4009	4122	P4111	粗製	壺		晩期	
4009	4123	P4110	半精製	鉢	II Bc	晩2	
4009	4124	P4110					台部
4010	4095	P4121	半精製	鉢		晩期	台部
4011	4098	P4125	半精製	鉢	I Bb2	晩4か	

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4011	4114	P4150	粗製	深鉢			底部
4012	4102	P4127	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4012	4103	P4128	半精製	鉢	I Aa2	晩3	
4013	4125	P4133	精製	鉢	II A4	晩1b	
4013	4127	P4137	粗製	深鉢	II A4	後期後葉～晩期	
4013	4128	P4137	精製	鉢	II A4	晩1b	
4013	4129	P4136	精製	鉢	II Bc4	晩1b	
4013	4130	P4136	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	
4013	4131	P4136	精製	鉢	II A4	晩1b	
4013	4132	P4132	精製	鉢	II Bb4	晩1b	
4013	4133	P4132	精製	鉢	II A4	晩1b	
4013	4134	P4134	精製	深鉢		晩1a	
4013	4135	P4139	精製	鉢	II A4	晩1b	
4013	4136	P4138	精製	鉢	II Bc4	晩1b	
4013	4137	P4131	精製	注口か			口縁なし
4013	4138	P4131	粗製	浅鉢	II A4	晩1b	
4014	4148	P4129	半精製	深鉢	II Bb4	晩1b	
4014	4149	P4130	精製	注口		晩1	口縁なし
4015	4141	P4161	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4015	4142	P4164	半精製	鉢		晩期	底部(平底)
4015	4143	P4165	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4015	4144	P4163	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4015	4145	P4162	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4015	4146	P4160	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4015	4147	P4159	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4016	4150	P4173	精製	鉢		晩1a～1b	口縁なし
4016	4151	P4171	精製	注口		晩1b	
4016	4152	P4173	不明	鉢		後期後葉～晩期初頭	台部
4016	4153	P4172	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4016	4154	P4172	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	
4017	4157	P4176	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4017	4158	P4175	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4017	4159	P4174	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	条痕文
4017	4160	P4174	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4018	4155	P4180	半精製	鉢	II Bb4	後期後葉～晩期	
4018	4156	P4180	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4019	4163	P4188	精製	浅鉢	I B5	晩3	赤彩
4019	4164	P4188	精製	浅鉢	I B5	晩3	赤彩
4019	4165	P4188	半精製	鉢	I Aa1	晩期	口縁平行沈線
4019	4168	P4194	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4019	4169	P4195	半精製	鉢	II Bc2t	晩2	羊歯状文
4020	4174	P4203	不明			後期末葉～晩期初頭	台部
4020	4175	P4203	不明			後期末葉～晩期初頭	台部
4020	4176	P4210	不明	深鉢		晩期	底部(平底)
4020	4177	P4209	精製	鉢		晩1a	口縁なし
4020	4178	P4209	不明	鉢か		晩期	底部(丸底)
4020	4179	P4206	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4020	4180	P4204	粗製	深鉢	I c1	後期後葉～晩期	
4020	4181	P4205	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4020	4182	P4205	精製	深鉢	II Bb4	晩1a	
4021	4183	P4211	粗製	壺	III	後期後葉～晩期	
4021	4184	P4211	精製	鉢	II Bb4	晩1a	
4021	4185	P4214	精製	深鉢		後7-4	口縁なし
4021	4186	P4212	精製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	
4021	4187	P4213	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4021	4188	P4215	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4021	4189	P4215	不明	不明		後期後葉～晩期	口縁なし
4022	4190	P4239	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覽(2)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4022	4191	P4243	粗製	深鉢		後期後葉	底部(高台)
4022	4192	P4243	粗製	台付鉢		後期後葉～ 晩期	台部
4022	4194	P4237	不明	鉢		後期末葉～ 晩期初頭	台部
4022	4195	P4240	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4022	4196	P4236	不明	鉢		後期末葉～ 晩期初頭	台部
4022	4197	P4238	粗製	深鉢		後期末葉～ 晩期初頭	口縁なし
4022	4198	P4232	粗製	深鉢	I Aa1	後期末葉～ 晩期初頭	
4022	4199	P4235	粗製	深鉢			口縁なし
4022	4200	P4241	粗製	壺			口縁なし
4022	4201	P4242	不明	不明		後期末葉～ 晩期初頭	台部
4022	4202	P4242	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4022	4203	P4234	精製	深鉢	II	後7-4	口縁なし
4022	4204	P4233	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4023	4205	P4223	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4023	4206	P4222	精製	浅鉢	I A1	晩期	無文
4023	4207	P4218	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4023	4208	P4225	半精製	鉢		晩期	台部
4023	4209	P4225	精製	浅鉢		晩3	口縁なし
4023	4210	P4218	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4023	4211	P4224	精製	壺	III	晩3	雲形文
4023	4212	P4226	精製	浅鉢	I A1	晩3	
4023	4213	P4227	精製	深鉢	II Bc2t	晩2	羊歯状文
4023	4214	P4219	精製	深鉢	II Bc2t	晩2	羊歯状文
4023	4215	P4230	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4023	4216	P4229	半精製	鉢		晩期	台部
4023	4217	P4229	粗製	深鉢	I Aa1t	晩期	
4023	4218	P4217	半精製	鉢		晩期	台部
4023	4219	P4217	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4023	4220	P4216	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	
4023	4221	P4220	精製	浅鉢		晩1a～1b	口縁なし(無文)
4023	4222	P4228	精製	壺		晩3	
4023	4223	P4228	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	
4023	4224	P4228	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	
4024-1	4249	P4250	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4024-1	4250	P4250	精製	鉢		晩1a	口縁なし
4024-1	4263	P4255	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4024-1	4264	P4255	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024-1	4265	P4255	粗製	壺	III	晩期	口縁なし
4024-2	4228	P4278	半精製	鉢	II Bc2	晩3	
4024-2	4230	P4261	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4024-2	4232	P4261	精製	注口か		晩3	口縁・注口なし。屈曲部。
4024-2	4238	P4276	粗製	深鉢	I Aa1t	晩期	
4024-2	4239	P4275	粗製	深鉢	I Aa1t	晩期	
4024-2	4240	P4257	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	
4024-2	4242	P4273	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024-2	4243	P4267	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024-2	4244	P4262	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024-2	4245	P4259	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024-2	4246	P4265	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024-2	4247	P4268	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	
4024-2	4248	P4268	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024-2	4251	P4263	半精製	鉢		晩3か	台部
4024-2	4253	P4280	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024-2	4254	P4256	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024-2	4255	P4271	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024-2	4256	P4270	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024-2	4262	P4249	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	補修孔あり
4024-2	4266	P4269	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024-2	4267	P4269	半精製	鉢	II Bc2	晩3	
4024-2	4268	P4257	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024-2	4269	P4274	粗製	深鉢	I Aa1t	晩期	

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4024-3	4235	P4277	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4026	4271	P4287	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4026	4272	P4289	粗製	深鉢		晩期	口縁なし。 ケズリ。
4026	4273	P4285	精製	浅鉢	I A1	晩3	口縁平行沈線。 赤彩。
4026	4274	P4285	粗製	深鉢	I Bc1	後期後葉～ 晩期	
4026	4275	P4293	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4026	4276	P4290	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	補修孔あり
4026	4277	P4290	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4026	4278	P4288	精製	浅鉢	I A1	後期末葉～ 晩期前葉	無文
4026	4279	P4283	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4027	4282	P4297	半精製	鉢		晩2～3	台部
4027	4283	P4296	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4026	4280	P4286	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	底部(平底)
4028	4284	P4298	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4028	4285	P4299	半精製	深鉢	II Bb1	後期後葉～ 晩期前葉	
4029	4286	P4300	精製	注口		後7～8	注口部
4029	4287	P4305	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	口縁なし。高台。
4029	4288	P4305	精製	鉢		後期後葉～ 晩期前葉	口縁なし(無文)
4029	4289	P4303	精製	深鉢	I Aa1	後8か	
4029	4291	P4306	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4029	4292	P4304	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期前葉	
4030	4295	P4320	精製	鉢		晩3	口縁なし。 雲形文。
4030	4296	P4322	精製	浅鉢		晩3	口縁なし。 雲形文。
4030	4297	P4322	精製	浅鉢	I A1	晩3	
4030	4298	P4314	精製	浅鉢	I B5t	晩3	
4030	4300	P4316	半精製	鉢	II Bc2t	晩2	羊歯状文
4030	4302	P4307	粗製	深鉢	I Bb1	晩期	
4030	4303	P4317	粗製	壺		晩期	
4030	4304	P4321	精製	浅鉢		晩期	口縁なし(無文)
4030	4305	P4310	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし(無文)
4030	4306	P4310	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4030	4307	P4319	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4030	4308	P4319	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4030	4309	P4318	精製	壺		晩期	口縁なし(無文)
4030	4312	P4313	不明	鉢		晩1a～1bか	台部
4031-1	4324	P4326・ 4328	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4031-1	4327	P4329・ 4330・ 4331	精製	鉢		晩1a～1b	口縁なし
4031-1	4328	P4327	精製	鉢	II A4	晩1b	
4031-1	4329	P4325	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4031-1	4330	P4333	粗製	浅鉢か		晩期	口縁なし
4031-1	4331	P4333	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4031-2	4318	P4335	精製	鉢	II Bb2	晩1aか	
4031-2	4319	P4335	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期初頭	底部(高台)
4031-2	4320	P4335	半精製	深鉢	I Aa2	晩1bか	
4031-2	4321	P4335	精製	鉢	II Bb2	晩1b	
4031-2	4322	P4335	精製	鉢	II Bb2t	晩1b	
4031-2	4323	P4336	精製	壺		晩1b	口縁なし。 三叉文。
4031-2	4326	P4334	精製	鉢	II Bb1t	晩1bか	
4032-1	4361	P4352	精製	鉢	II Bc5	晩3	
4032-1	4362	P4350	半精製	鉢		晩2	口縁なし。 羊歯状文。
4032-1	4363	P4350	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4032-1	4365	P4353	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4032-1	4366	P4340	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4032-1	4392	P4339・ 4342	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	底部(平底)



表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覽(3)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4032-1	4396	P4341・4342	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	
4032-1	4397	P4341・4342	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4032-1	4398	P4341	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	
4032-1	4755	P4339	半精製	台付鉢		後期後葉～晩期	台部
4032-2	4367	P4349	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4032-2	4368	P4349	精製	鉢		晩1bか	口縁なし
4032-2	4369	P4349	粗製	深鉢		晩期	底部(丸底気味)
4032-2	4370	P4345	精製	皿	I B5	晩3	赤漆塗
4032-2	4371	P4347	粗製	壺	II	晩3か	
4032-2	4372	P4380	粗製	壺		晩期	口縁なし
4032-2	4373	P4343	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4032-2	4374	P4344	粗製	深鉢	I Aa1t	晩期	
4032-2	4691	P4379	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4032-3	4376	P4356	粗製	深鉢		晩期	体部のみ
4032-3	4377	P4359	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	
4032-3	4378	P4362	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032-3	4379	P4358	半精製	鉢		晩3か	台部
4032-3	4380	P4358	不明	壺		晩3か	
4032-3	4381	P4358	半精製	鉢	II Bc2	晩3	
4032-3	4382	P4358	半精製	鉢	I Aa2	晩3	内屈に近い内湾
4032-3	4383	P4358	半精製	鉢	II Bc2	晩3	
4032-3	4386	P4360	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4032-3	4387	P4354	精製	注口		晩2～3	体部
4032-3	4388	P4354	半精製	鉢	II Bc4	晩4か	
4032-3	4389	P4354	半精製	鉢	II Bc2	晩4	
4032-3	4390	P4355	粗製	壺		晩期	
4032-3	4391	P4355	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4032-4	4332	P4363	粗製	注口		晩2～3	体部。屈曲部。
4032-4	4333	P4365	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032-4	4334	P4378	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032-4	4335	P4364	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	
4032-5	4338	P4366	精製	浅鉢		晩期か	無文
4032-5	4339	P4366	粗製	壺		晩期	
4032-5	4340	P4366	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4032-5	4341	P4366	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4032-5	4401	P4369	精製	注口		晩3	体部
4032-5	4402	P4369	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	平底
4032-5	4403	P4368	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4032-5	4404	P4371	粗製	壺		晩期	
4032-6	4342	P4377	半精製	壺		晩3か	
4032-6	4343	P4377	不明	壺		晩期	
4032-6	4344	P4377	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4032-6	4345	P4372	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032-6	4347	P4374	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032-6	4348	P4385	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4032-6	4349	P4385	半精製	鉢	II Bc2	晩3か	
4032-6	4350	P4385	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4032-6	4351	P4385	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032-6	4352	P4375	粗製	壺		晩期	口縁なし
4032-6	4353	P4375	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032-6	4354	P4374	粗製	壺		晩期	口縁なし
4032-6	4356	P4384	半精製	鉢		晩3か	台部
4032-6	4357	P4384	精製	皿		晩4か	底部。黒漆。
4032-6	4358	P4383	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032-6	4359	P4382	粗製	深鉢	I Aa2	晩2～3	
4032-6	4360	P4376	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4033	4406	P4388	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4033	4408	P4386	精製	浅鉢		晩1bか	無文
4033	4409	P4386	精製	深鉢		後8	
4033	4410	P4386	精製	深鉢	II Bb2	晩1a	
4033	4411	P4386	精製	深鉢		晩1a	口縁なし
4033	4413	P4391	粗製	深鉢	I Ba1	晩1b以降	口縁・底部(平底)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4033	4414	P4390	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4033	4415	P4403	不明	壺		晩期	
4033	4416	P4387	粗製	深鉢	I Ba1	晩期	
4033	4417	P4402	不明	鉢		晩期初頭か	
4033	4418	P4389	粗製	壺		後8～晩1	
4033	4419	P4389	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4033	4445	P4395	精製	深鉢		晩1a	
4033	4446	P4395	精製	注口		後7-4	
4033	4714	P4386	精製	深鉢		晩1aか	
4033	4715	P4386	精製	深鉢		晩1a	
4033	4716	P4386	不明	鉢		後期後葉～晩期初頭	
4033	4718	P4388	精製	深鉢		晩1 a	
4033	4719	P4388	精製	深鉢		後7-4	
4033	4720	P4388	精製	深鉢		晩1aか	
4033	4721	P4388	粗製	壺		後7-4～8	
4033	4722	P4388	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4033	4723	P4388	精製	深鉢		晩1a	口縁なし
4034	4420	P4392	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4034	4421	P4392	半精製	鉢	I Aa2	晩2	
4034	4423	P4394	半精製	鉢		晩2～3	
4035	4447	P4399	半精製	鉢	I Aa2	晩2	羊歯状文
4035	4448	P4399	不明	鉢		晩1か	台部
4035	4449	P4399	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	ケズリ
4035	4450	P4398	精製	深鉢	II Bb2t	晩1b	
4035	4451	P4398	不明	鉢		晩1か	台部
4035	4452	P4398	不明	鉢		晩1か	台部
4035	4453	P4398	精製	鉢	II Bb1	晩1b	
4035	4454	P4398	精製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	無文
4035	4455	P4396	精製	深鉢	II	晩2	口縁なし
4035	4456	P4396	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4035	4457	P4397	精製	深鉢		晩1b	
4036	4424	P4412	半精製	台付鉢	I Aa5	晩3	
4036	4425	P4412・4410	粗製	深鉢	I Aa1t	晩期	B突起。4427・4444と同一。
4036	4426	P4412	精製	浅鉢	I B1	晩1b	
4036	4428	P4413	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	4429と同一
4036	4430	P4408	精製	浅鉢	I B5	晩2	羊歯状文
4036	4433	P4421	粗製	壺	II	晩2以降	
4036	4434	P4421	精製	浅鉢	I B5	晩3	
4036	4435	P4421	精製	壺か		晩3か	赤彩。口縁平行沈線。
4036	4436	P4421	不明	壺か		晩期	
4036	4437	P4421	半精製	鉢		晩3か	台部
4036	4438	P4421	半精製	壺		晩3か	
4036	4439	P4411	粗製	深鉢		晩2以降	底部(平底)
4036	4440	P4410	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4036	4441	P4410	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	
4036	4442	P4410	粗製	深鉢		晩2以降	底部(平底)
4036	4443	P4410	半精製	鉢		晩3か	台部
4037	4458	P4414	不明	鉢		晩1か	台部
4037	4459	P4419	半精製	鉢	II Bc2	晩3	交互キザミ
4037	5335	P ×	粗製	浅鉢	I A1	晩3	雲形文
4037	4462	P4416	半精製	鉢	II Bc5	晩2	羊歯状文
4037	4463	P4416	半精製	鉢	II Bc2t	晩2	羊歯状文
4037	4464	P4416	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4037	4465	P4416	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	交互キザミ
4037	4467	P4418	半精製	鉢	II Bc2	晩3	交互キザミ
4037	4468	P4417	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	交互キザミ
4037	4469	P4417	精製	深鉢	II Bc2t	晩2	羊歯状文
4037	4470	P4417	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4037	4471	P4417	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	交互キザミ
4037	4473	P4417	精製	壺	III 1t	晩3か	
4037	4474	P4417	半精製	鉢		晩3か	
4038	4476	P4422	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁肥厚内面に稜
4038	4477	P4422	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4038	4478	P4422	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	交互キザミ
4038	4479	P4422	精製	浅鉢	I A1	晩3	雲形文。赤彩。
4038	4480	P4422	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	交互キザミ
4038	4481	P4423	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4038	4482	P4424	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	



表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覽(4)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4038	4484	P4420	半精製	鉢		晩3か	沈線文あり。赤彩。
4039	4485	P4427	粗製	深鉢	I Bb2	晩期	
4039	4486	P4427	半精製	鉢		晩3か	
4039	4488	P4430	半精製	鉢		晩3か	
4039	4489	P4430	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4039	4490	P4428	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4039	4491	P4429・4430	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4039	4492	P4429	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	キザミ
4039	4493	P4429	半精製	鉢	II Bc5	晩3	キザミ
4039	4494	P4429	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	ケズリ
4039	4495	P4429	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4039	4496	P4429	半精製	鉢	I Bb2	晩4	平行沈線
4039	4497	P4429	半精製	鉢		晩3～4	口縁平行沈線
4039	4498	P4429	粗製	深鉢	I Aa1t	晩期	
4039	4499	P4429	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4040	4507	P4452	粗製	深鉢		晩期	
4040	4508	P4450	半精製	鉢		晩3～4	
4040	4509	P4450	半精製	鉢	I Bb2	晩4	
4040	4510	P4454	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4041	4501	P4455	精製	浅鉢か		晩期	
4041	4502	P4455	精製	浅鉢	I A5	晩2～3	
4041	4503	P4456	精製	鉢	II Bb4	晩1b	
4041	4504	P4456	半精製	鉢	II Bc2t	晩2	
4041	4505	P4456	半精製	鉢	II Bc2t	晩2	
4041	4506	P4456	半精製	深鉢	I Bb	晩2か	
4042	4522	P4461	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4523	P4461	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4524	P4462	粗製	深鉢		後7-4～晩2	
4042	4525	P4462	不明	深鉢		後8～晩1	
4042	4526	P4458	不明	深鉢		後7-4～晩1	
4042	4527	P4458	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4042	4528	P4458	不明	壺か		晩期	
4042	4529	P4458	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4530	P4458	精製	鉢		晩1a	
4042	4531	P4458	粗製	壺	I	後期後葉～晩期	
4042	4532	P4463	精製	深鉢	II Aか	晩1a	
4042	4533	P4463	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4534	P4463	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	
4042	4535	P4463	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4042	4536	P4459	粗製	深鉢	II Ba1	後期後葉～晩期	
4042	4537	P4459	精製	注口		晩1aか	
4042	4538	P4460	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4042	4539	P4458	粗製	浅鉢	I A1	晩1か	
4042	4540	P4458	粗製	浅鉢	I A1	晩1か	
4042	4541	P4458	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4542	P4458	精製	深鉢		晩1a	
4042	4543	P4458	精製	深鉢		晩1aか	
4042	4544	P4458	精製	深鉢	II B b 4	晩1a	
4043上層A	4568	P4469	粗製	深鉢	I Aa1 t	晩期	
4043上層A	4569	P4469	粗製	深鉢	I Bc4	晩期	
4043上層A	4570	P4469	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4043上層A	4571	P4469	粗製	深鉢	I Aa1 t	晩期	
4043上層A	4573	P4468	精製	皿	I A5	晩3	雲形文
4043上層A	4575	P4467	半精製	浅鉢	I Aa1 t	晩期	無文
4043上層A	4576	P4467	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4043上層A	4746	P4470	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	
4043下層B	4562	P4488	粗製	深鉢	II	後期後葉～晩期	口縁なし
4043下層B	4563	P4488	半精製	鉢	II Bc1	晩4か	内面沈線
4043下層B	4565	P4487・4510	粗製	深鉢		中期か	口縁なし。ぶ厚い底部。縄文LRか。4566・4777(ブロック4050)と同一。

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4043下層B	4572	P4487	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4043下層A	4577	P4490	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4043下層A	4750	P4491	精製	鉢		晩3か	口縁なし。雲形文。
4043下層A	4751	P4491	精製	鉢		晩4か	口縁なし。雲形文。
4043下層A	4752	P4489	粗製	壺か		晩期	口縁なし。外面赤色顔料付着。
4044	4512	P4471	精製	壺		晩5	
4044	4513	P4471	粗製	壺か		晩期	
4044	4514	P4471	半精製	鉢		晩期	台部
4044	4515	P4471	精製	浅鉢		晩期	口縁なし。無文。赤彩。
4044	4518	P4473	精製	壺		晩5	体部。縄文あり。工字状文。
4044	4519	P4473	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4044	4520	P4472・4475	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4044	4521	P4475	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4045	4758	P4480	半精製	鉢	II Bc5	晩2	羊歯状文
4045	4759	P4480	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4045	4760	P4480	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4045	4761	P4480	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4045	4762	P4480	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4045	4763	P4480	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4045	4764	P4483	半精製	鉢		晩3か	台部
4045	4765	P4479	精製	浅鉢	I A1	晩3	
4045	4766	P4479	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4045	4767	P4479	精製	鉢		晩3～4	口縁なし。雲形文。
4046	4768	P4477	半精製	鉢		晩3か	台部
4046	4769	P4476	粗製	深鉢		晩期	底部(凹底)
4046	4770	P4476	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4046	4771	P4476	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4047	4545	P4497	精製	台付鉢		晩期	口縁なし
4047	4546	P4497	半精製	鉢	I Aa2	晩3	
4047	4547	P4498	精製	鉢	II Bb2	晩1b	
4047	4548	P4498	精製	鉢	II Bb2	晩1b	
4047	4549	P4498	精製	鉢	II Bb2	晩1b	
4047	4550	P4498	粗製	深鉢	I Aa2t	晩期	
4047	4551	P4498	粗製	深鉢か		後期後葉～晩期初頭	底部(高台状)
4047	4552	P4498	粗製	深鉢		後期後葉～晩期初頭	口縁なし
4047	4553	P4498	不明	鉢		晩期前葉	台部
4047	4554	P4498	精製	鉢	II Bb2	晩1b	
4047	4555	P4498	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期初頭	
4049	4772	P4500	精製	注口		後8か	体部
4049	4774	P4501	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4049	4775	P4503	精製	注口		後8か	注口部
4050	4776	P4508	精製	浅鉢		晩3か	台付浅鉢。台部。赤彩。
4050	4777	P4510	粗製	深鉢			口縁なし。4565・4566(両方ブロック4043下層)と同一。
4050	4778	P4509	精製	浅鉢	I Aa1	晩3	赤彩
4050	4779	P4507	半精製	台付鉢	II Bc2t	晩3	
4051	4557	P4512	精製	深鉢		後8	
4051	4558	P4513	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4051	4559	P4513	精製	深鉢	II A1t	後7-4	口縁なし
4051	4560	P4514	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4051	4561	P4515	不明	深鉢		後期後葉～晩期初頭	底部(高台状)
4052-1	4581	P4523	粗製	深鉢	I Aa1 t	晩期	
4052-1	4583	P4523, P4526-1, P4532	半精製	鉢	I Aa5	晩3	
4052-1	4584	P4526-1	精製	壺		晩2～3	外面赤彩
4052-1	4587	P4525	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4052-1	4588	P4525	半精製	壺		晩期	口縁なし
4052-1	4589	P4525	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4052-1	4590	P4540	粗製	壺		晩期	
4052-1	4591	P4539	半精製	鉢	II Bc5	晩3か	4592と同一
4052-1	4593	P4539	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4052-1	4594	P4539	半精製	鉢		晩3か	台部
4052-1	4598	P4531	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覽(5)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4052-1	4601	P4530	半精製	鉢		晩3か	台部
4052-1	4603	P4518・4519	半精製	鉢	II Bc2	晩3～4	4726と同一
4052-1	4604	P4520	粗製	深鉢	I Aa1 t	晩期	
4052-1	4605	P4521	半精製	鉢		晩3か	台部
4052-1	4606	P4522	半精製	鉢	II Bc2	晩3	
4052-1	4608	P4522	半精製	鉢	I c2	晩3か	
4052-1	4609	P4522	粗製	壺		晩期	口縁なし
4052-1	4611	P4524	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4052-1	4612	P4524	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4052-1	4613	P4524	半精製	浅鉢か		晩期	底部(円形凹底)
4052-1	4725	P4530・4532	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4052-1	4729	P4525	粗製	深鉢	I Aa1 t	後期後葉～晩期	
4052-1	4730	P4532	半精製	鉢		晩3か	口縁なし
4052-1	4734	P4529	粗製	深鉢	I Aa1 t	晩期	
4052-2	4616	P4545	精製	注口	III	晩1bか	口縁なし
4052-2	4617	P4545	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4618	P4541	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4052-2	4620	P4543	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4052-2	4621	P4543	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4622	P4541・4545	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	高台。底部直上に沈線。
4052-2	4623	P4541・4545	粗製	壺		晩期	口縁なし
4052-2	4625	P4542	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇内そぎ
4052-3	4619	P4546	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	
4052-3	4633	P4547	粗製	深鉢		晩期	口縁なし。ケズリ。
4052-3	4634	P4548	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4052-4	4628	P4553	粗製	壺		晩期	口縁なし
4052-4	4629	P4553	半精製	鉢	I Aa1	晩3	
4052-4	4630	P4553	精製	浅鉢	I B5	晩3	雲形文
4052-4	4631	P4553	半精製	鉢		晩3か	台部のみ
4052-4	4632	P4553	精製	鉢		晩5	台部。工字文か。
4052-4	4635	P4556	半精製	鉢	I Bb2	晩3～4	口縁沈線2条
4052-4	4636	P4556	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4052-4	4637	P4556	精製	浅鉢	I A1 t	晩3	雲形文縄文なし
4052-4	4638	P4555	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4052-4	4639	P4551	半精製	鉢		晩3か	台部のみ
4052-4	4640	P4551	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	
4052-4	4642	P4559	半精製	鉢		晩3か	台部のみ
4052-4	4643	P4554	半精製	鉢		晩3か	台部のみ
4052-4	4736	P4551	半精製	鉢	II Bc2	晩3	
4052-4	4737	P4559	精製	浅鉢	I B1	晩3	内外赤彩全面ミガキ
4052-4	4738	P4550	精製	深鉢	I Ba1 t	晩5	工字文
4052-4	4741	P4552	精製	浅鉢	I B5	晩3	
4052-4	4742	P4557	半精製	鉢	II Bc2	晩3	内面沈線
4052-4	4753	P4551	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	口唇面取なし
4052-4	4754	P4551	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4053-1	4657	P4573	精製	浅鉢	II 1	晩1b	
4053-1	4658	P4573	精製	鉢	II Bb4	晩1b	
4053-1	4659	P4573	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-1	4660	P4573	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-1	4661	P4571	粗製	深鉢	I Aa1 t	後期後葉～晩期	口唇面取条痕文
4053-1	4662	P4571	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取条痕文
4053-1	4663	P4571	半精製	深鉢		晩期	底部。底部付近に沈線。
4053-1	4664	P4571	精製	壺か		晩3か	赤彩
4053-1	4665	P4571	半精製	深鉢	I Aa1 t	晩2	羊歯状文
4053-1	4666	P4571	半精製	鉢	II Bb2t	晩3	
4053-1	4667	P4571	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(低い高台)
4053-1	4668	P4571	粗製	深鉢	II	後期後葉～晩期	口縁なし。口縁屈曲する深鉢。
4053-1	4669	P4571	粗製	壺	III 1	晩1bか	
4053-1	4670	P4575	精製	注口	III 1	晩1bか	
4053-2	4646	P4581	精製	注口	III	晩1bか	4693と同一
4053-2	4648	P4577	精製	深鉢	II Bb2	晩1b	多条平行沈線
4053-2	4651	P4576	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4652	P4576	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4053-2	4653	P4576	精製	浅鉢		晩1bか	口縁なし、4699・4422(掲載・ブロック4034)と同一
4053-2	4654	P4576	粗製	深鉢	II Bb1		
4053-2	4694	P4581	精製	鉢	III Bb4	晩1b	
4053-2	4695	P4581	精製	鉢	II Bb4	晩1b	
4053-2	4696	P4581	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4053-2	4697	P4577	精製	注口		晩1aか	
4053-2	4698	P4579	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4700	P4579	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4053-2	4701	P4578	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4703	P4582	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4053-2	4704	P4582	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4705	P4582	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4707	P4582	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4053-2	4708	P4582	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4053-2	4709	P4582	不明			後期後葉～晩期	台部
4053-2	4710	P4582	粗製	壺		晩期	
4053-2	4712	P4583	精製	鉢		晩1bか	台部
4054-1	4680	P4568	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(凹底)
4054-1	4681	P4562	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	胴部・底部
4054-1	4687	P4561・4562	精製	浅鉢	I A4	晩1b	4689と同一
4054-1	4688	P4561	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4054-1	4690	P4562	精製	鉢		晩1b	口縁なし
4054-2	4673	P4565	精製	鉢	II Bb4t	晩1a～1b	
4054-2	4674	P4565	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4054-2	4675	P4565	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4054-2	4676	P4563	精製	鉢	II Bb4	晩1a	
4054-2	4677	P4563	精製	鉢	II Bb4	晩1a	
4054-2	4678	P4566	精製	鉢	II Bb4	晩1a	
4054-2	4679	P4566	半精製	深鉢	I Aa1	晩1a	沈線間に連続する短沈線
4054-2	4682	P4569	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取。ケズリ顕著。4683と同一。
4055	4795	P4590	半精製	深鉢		後7-4	口縁なし
4055	4796	P4590	精製	注口	I 1か	後7-4～晩1a	
4055	4797	P4587	精製	深鉢		後7-4	口縁なし
4055	4798	P4587	精製	深鉢		後7-4～晩1a	台部
4056	4780	P4593	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4056	4781	P4593	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4056	4782	P4593	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口唇面取
4056	4783	P4593	精製	深鉢		晩1a	口縁なし
4056	4784	P4593	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4056	4785	P4594	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口唇面取
4057	4788	P4597	精製	注口か		後8～晩1a	無文
4057	4789	P4596	精製	鉢		晩1a	口縁なし
4058	4800	P4625	精製	壺		晩期前葉	口縁なし。外面赤彩。
4058	4802	P4601	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4058	4803	P4626	精製	深鉢		後7-4～晩1a	底部(高台)
4058	4804	P4627	精製	浅鉢	I A1	後7-4～8	無文
4058	4805	P4627	精製	深鉢		後8か	口縁なし
4058	4806	P4627	精製	深鉢		後8か	
4060	4807	P4602	精製	浅鉢	I A5	晩3	
4060	4808	P4602	精製	深鉢	II Bc2	晩2	
4061	4811	P4603	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4061	4812	P4603	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4061	4813	P4606	半精製	深鉢	II Bb1	後期後葉～晩期	

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覽(6)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4061	4814	P4606	精製	鉢		晩1a~1b	台部
4061	4815	P4606	精製	鉢	II Bb4	晩1b	
4061	4816	P4605	精製	鉢		晩1b	台部
4061	4817	P4605	精製	深鉢	II Bc2	晩1b	
4061	4818	P4604	精製	注口	II	晩1a	口縁なし
4061	4819	P4604	精製	深鉢	II A5	後8	
4061	4820	P4604	精製	鉢	II Bb4	晩1bか	
4061	4821	P4604	精製	深鉢	II A5	後8	
4061	4824	P4604・4605	精製	鉢		晩1a	口縁なし
4061	4826	P4605	精製	注口	III 1	晩1b	
4062-1	4037	P4609	精製	壺	III 1t	晩3	
4062-1	4827	P4608	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-1	4828	P4608	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-1	4829	P4610	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4062-1	4830	P4610	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4062-1	4831	P4610	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-1	4832	P4608	精製	浅鉢		晩期	口縁なし
4062-1	4833	P4610	精製	浅鉢	I A1	晩3か	内外赤彩
4062-1	4834	P4610	半精製	鉢	I Aa5	晩3	
4062-1	4836	P4610	精製	浅鉢	I Aa1	後7-4~8	無文
4062-1	4837	P4608	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取。平底。
4062-1	4838	P4608	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	
4062-1	4839	P4607	半精製	鉢		晩3	台部
4062-2	4907	P4611	半精製	鉢		晩3	台部
4062-2	4908	P4611	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4062-2	4909	P4611	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4062-2	4910	P4611	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4062-2	4911	P4611	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4062-2	4912	P4611	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4917	P4618	精製	鉢		晩1bか	台部
4062-2	4918	P4615	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	
4062-2	4919	P4615	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4062-2	4920	P4615	半精製	鉢		晩3	台部
4062-2	4922	P4614・4615	半精製	鉢		晩3	台部。透かし孔。4940と同一。
4062-2	4924	P4616	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4925	P4616	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4927	P4616	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4930	P4622	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4931	P4622	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4933	P4621	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4062-2	4934	P4620	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4062-2	4935	P4619	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4936	P4619	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4937	P4619	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4939	P4614	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4062-2	4942	P4617	半精製	鉢		晩3	台部
4062-2	4943	P4617	精製	浅鉢		晩期	口縁なし(無文)
4062-2	4947	P4612	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4062-2	4949	P4612	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4063	4841	P4624	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口唇面取
4063	4842	P4624	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口唇面取
4064	4844	P4631	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4064	4845	P4631	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4065	4846	P4633	精製	鉢	II Bb4	晩1a	
4065	4847	P4633	精製	深鉢	不明	後7-4	
4065	4848	P4633	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4065	4849	P4634	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4066	4859	P4638	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4066	4860	P4638	精製	壺		晩3	口縁なし。雲形文。
4066	4861	P4638	精製	壺		晩2~3	外面赤彩
4066	4862	P4638	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4863	P4638	半精製	鉢	I Aa2	晩3	
4066	4864	P4638	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4865	P4638	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4066	4866	P4638	精製	壺		晩3か	
4066	4867	P4638	精製	浅鉢	I B5	晩3	雲形文
4066	4868	P4638	精製	浅鉢	I B5	晩3	雲形文
4066	4871	P4638	半精製	鉢		晩3か	台部
4066	4872	P4636	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4873	P4636	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4874	P4636	精製	浅鉢	I A5	晩3	雲形文
4066	4875	P4636	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4876	P4636	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4877	P4636	粗製	深鉢	II Bb2	晩期	
4066	4878	P4636	半精製	鉢		晩3か	台部
4066	4879	P4636	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4066	4881	P4636	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4066	4882	P4636・4638	粗製	深鉢	I Aa1t	後期後葉～晩期	口唇面取
4066	4885	P4636・4638	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4066	4888	P4637	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4889	P4637	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4066	4890	P4637	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4891	P4637	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4892	P4637	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4066	4893	P4637	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	ケズリ
4066	4894	P4639	半精製	鉢	I Aa5	晩3	
4066	4895	P4639	不明	鉢		晩1a~1bか	台部
4066	4896	P4639	精製	鉢		晩3	口縁なし
4066	4897	P4639	半精製	鉢		晩3か	台部
4066	4899	P4640	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4900	P4640	半精製	鉢	I Aa4	晩3	
4066	4901	P4640	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4066	4902	P4640	半精製	鉢	I Aa4	晩3	
4066	4904	P4635	半精製	鉢	II Bc2t	晩2	
4066	4905	P4635	半精製	鉢	II Bc2t	晩3	
4067	4850	P4643	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(凹底)
4067	4851	P4643	精製	深鉢		後8	口縁なし
4067	4852	P4643	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4067	4853	P4643	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4067	4854	P4642	精製	深鉢	I Ba1t	晩1a	
4067	4855	P4642	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4068	4858	P4644	精製	深鉢	不明	晩1aか	
4069	4951	P4646・4649	精製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取。4952と同一。
4069	4953	P4645	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4070	4982	P4650	精製	鉢	II Bb4	晩1bか	
4070	4984	P4648	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4070	4985	P4648	精製	深鉢		晩1aか	口縁なし
4071	4966	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4071	4967	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4071	4968	P4652	不明	深鉢		中期～後期	底部(平底)。底面に縄文か。
4071	4969	P4652	不明	鉢		晩期	台部
4071	4970	P4652		深鉢		中期後葉	
4071	4971	P4652	粗製	壺	II	晩期	
4071	4972	P4652	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4071	4973	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4071	4974	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4071	4975	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4071	4976	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4072	4955	P4655	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4072	4956	P4655	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4072	4957	P4655	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4072	4958	P4656	精製	鉢	II A4	晩1a	
4072	4959	P4656	精製	鉢	II A4	晩1a	
4072	4961	P4656	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4073	4986	P4660	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4073	4987	P4660	粗製	深鉢	II	後期後葉～晩期	口縁なし

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覽(7)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4073	4988	P4660	精製	深鉢		後8か	口縁なし
4073	4989	P4660	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4073	4990	P4657	精製	鉢	I Aa2	晩1aか	
4073	4991	P4657	精製	深鉢		後8か	口縁なし
4073	4992	P4657	粗製	深鉢	II Ba1t	後7-4～8	縄文
4073	4993	P4657	精製	注口		後7-4～8	口縁なし
4073	4994	P4657	精製	深鉢	I Aa2	後8	
4073	4995	P4659	精製	香炉		後8か	内面炭化物。 4996と同一。
4073	4997	P4658	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4073	4998	P4658	精製	鉢		晩1a	口縁なし
4073	4999	P4658	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし。 条痕文。
4073	5000	P4658	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4074	4965	P4662	精製	鉢	II Bb4	晩1a	
4074	4977	P4663	不明	不明		後期後葉～ 晩期前葉	台部
4074	4978	P4663	精製	深鉢	II	後7-4	
4074	4979	P4663	不明	不明		後期後葉～ 晩期前葉	台部
4074	4981	P4664	精製	壺		晩1a	口縁なし
4075	5018	P4668	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	底部(平底)
4075	5019	P4668	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4075	5020	P4668	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4075	5021	P4668	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4075	5022	P4666					
4075	5024	P4666	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4075	5025	P4666	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4075	5026	P4666・ 4668・ 4669	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取。 5028と同一。
4075	5027	P4669	精製	鉢	II Bb4	晩1a	
4075	5029	P4669	精製	鉢	II Bb4	晩1a	
4075	5030	P4666・ 4669	精製	鉢	I Aa4	晩期前葉か	無文。 5052と同一。
4075	5031	P4669	精製	鉢	II Bb4	晩1a	
4075	5033	P4665	不明	不明		晩期か	台部
4075	5034	P4665	精製	鉢		晩1a	口縁なし
4076	5002	P4672	精製	鉢	II A4	晩1a	
4076	5003	P4672	粗製	壺か		晩期	口縁なし
4077	5004	P4674	精製	深鉢		後7-4	口縁なし
4078	5006	P4676	精製	浅鉢		晩期	無文
4078	5007	P4676	不明	鉢		後期後葉～ 晩期初頭	台部
4078	5017	P4676	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4079	5008	P4677	不明	鉢		後期後葉～ 晩期初頭	台部
4079	5009	P4678・ 4679	不明	台付鉢		後期後葉～ 晩期初頭	台部。 5010と同一。
4079	5011	P4679	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4079	5012	P4679	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期初頭	口縁突起
4079	5013	P4679	精製	深鉢		後8か	口縁なし
4081	4014	P4684	不明	鉢		後期後葉～ 晩期	台部
4081	5036	P4691	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4081	5037	P4685	半精製	浅鉢		後7-4か	口縁縄文
4081	5038	P4691	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4081	5039	P4685	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4081	5041	P4686	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4081	5043	P4686	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4081	5044	P4686	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4081	5045	P4691	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4081	5046	P4689	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取。5047・ 5048と同一。
4081	5049	P4689	半精製	壺		晩期前葉	口縁なし
4081	5050	P4689	精製	注口		後7-4～8	口縁なし

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4081	5051	P4691	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4082	5023	P4701	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)。 底部に赤色顔 料付着。
4082	5054	P4701	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4082	5055	P4703	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4082	5059	P4698	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口唇面取
4082	5060	P4698	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4082	5061	P4698	粗製	壺		晩期	口縁なし
4082	5062	P4698	不明	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4082	5063	P4698	精製	深鉢	II Ba1t	後8	
4082	5064	P4698	精製	注口		後7-4～8	口縁なし
4082	5066	P4699	不明	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4082	5067	P4699	精製	鉢	I Aa1	晩1a	
4082	5068	P4699	精製	注口	II	後7-4～8	
4082	5069	P4699	精製	深鉢	II A5	後7-4	
4082	5070	P4699	精製	深鉢	II A5	後7-4	
4082	5071	P4699	精製	鉢	I Aa1	晩1a	
4082	5072	P4699	精製	深鉢		後8か	口縁なし
4082	5076	P4700	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4082	5077	P4700	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4082	5078	P4700	粗製	深鉢	I Aa1t	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4082	5079	P4695	精製	深鉢		後8か	口縁なし
4082	5080	P4695	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4082	5081	P4697	精製	壺か		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4082	5082	P4697	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4082	5090	P4696	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4083	5083	P4706	不明	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4083	5085	P-×	粗製	壺		晩期	口縁なし
4083	5086	P-×	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4083	5087	P-×					5040(ブロック 4081掲載)と同 一。
4084	5014	P4709	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4084	5015	P4711	不明	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)



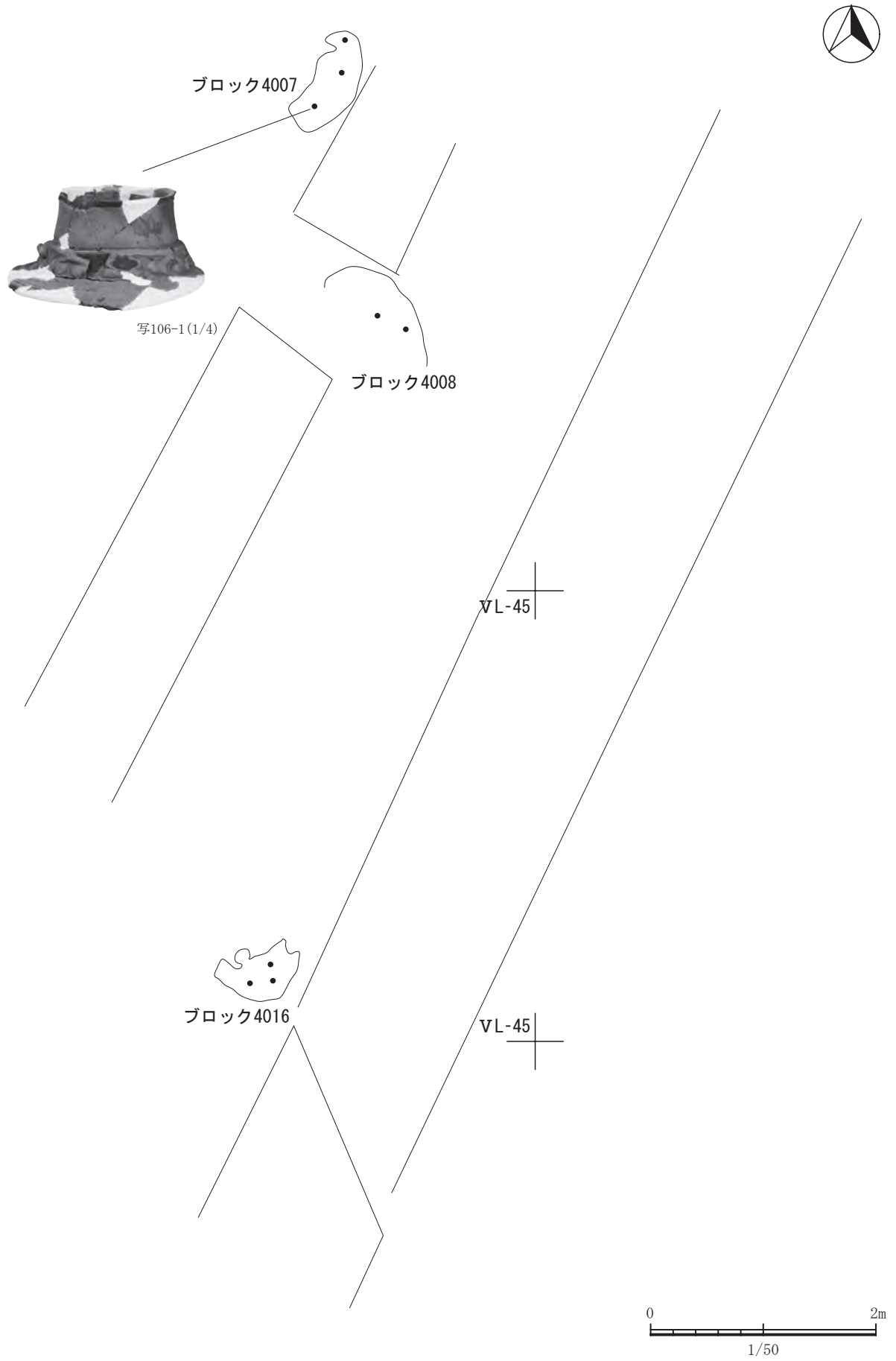


図62 北東捨場地区 ブロック4007・4008・4016 (TR1-a層～TR1-b層・TR1-1層)



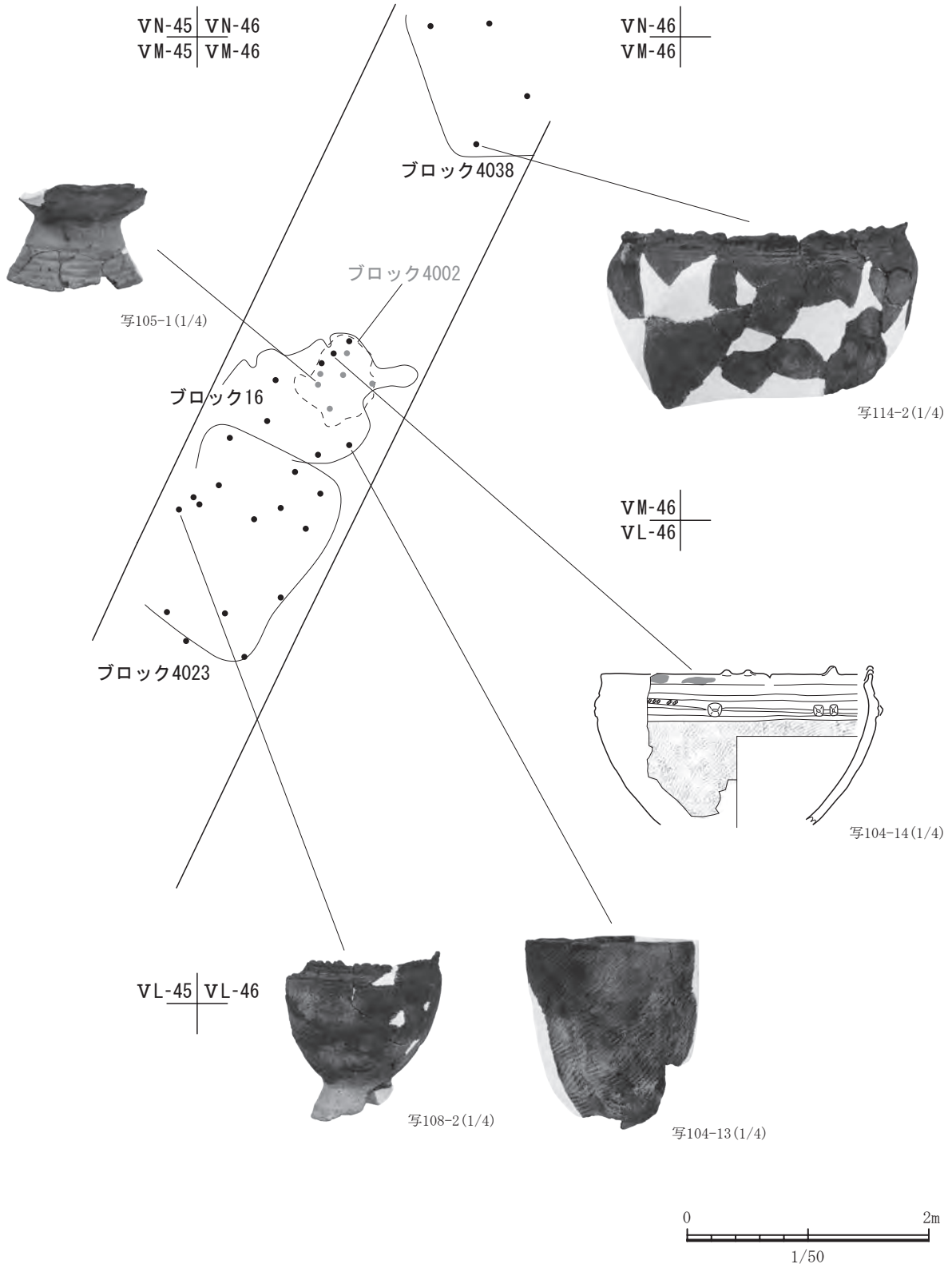
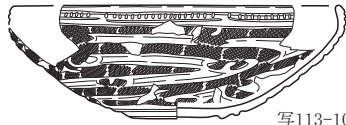


図63 北東捨場地区 ブロック16・4002・4023・4038 (TR1-2層・TR1-C層)



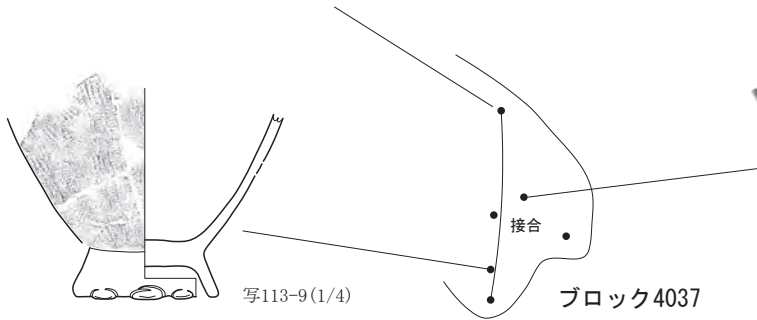
VN-46 | VN-47  
VM-46 | VM-47



写113-10(1/4)



写113-12(1/4)



写113-9(1/4)

ブロック4037



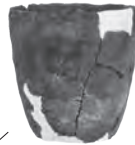
写113-11(1/4)

VM-45 | VM-46  
VL-45 | VL-46

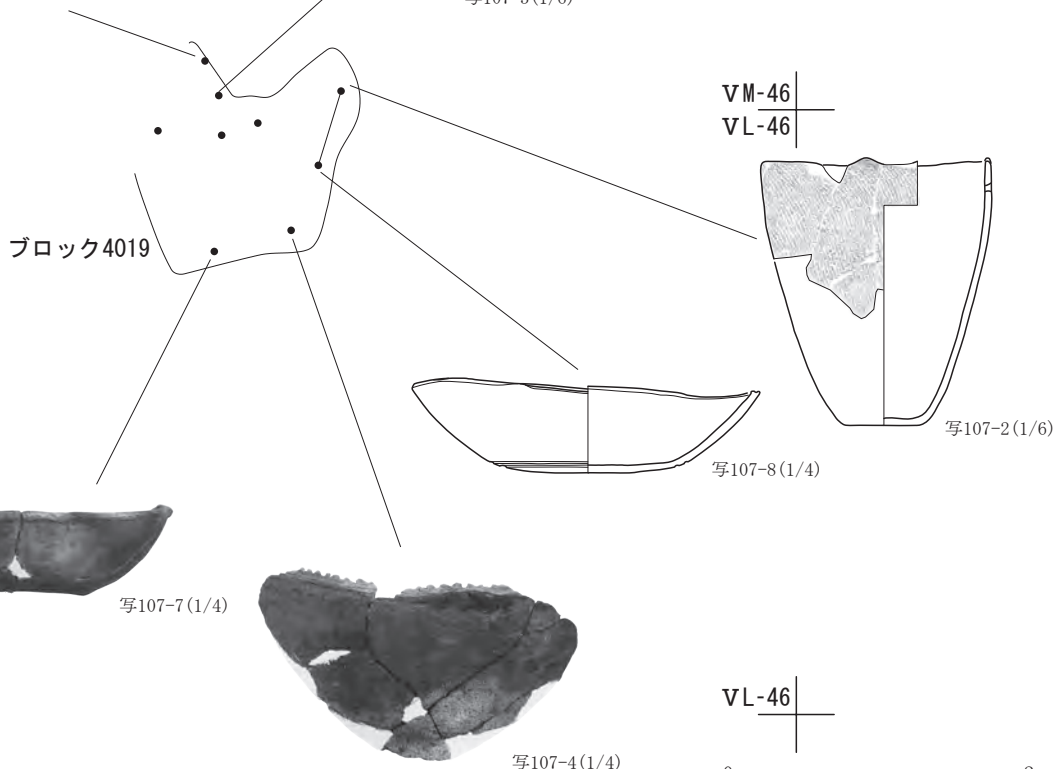
ブロック4037



写107-6(1/4)

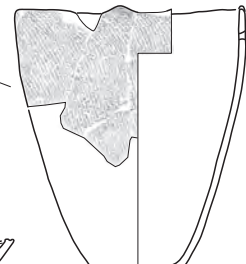


写107-3(1/6)

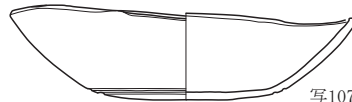


ブロック4019

VM-46 |  
VL-46



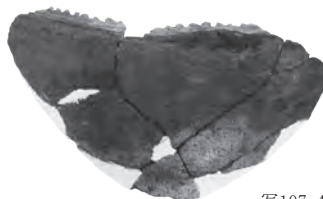
写107-2(1/6)



写107-8(1/4)

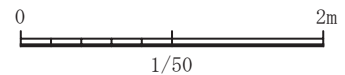


写107-7(1/4)



写107-4(1/4)

VL-46



ブロック4019

図64 北東捨場地区 ブロック4037 (TR1-d層) ・ 4019 (TR1-4層)

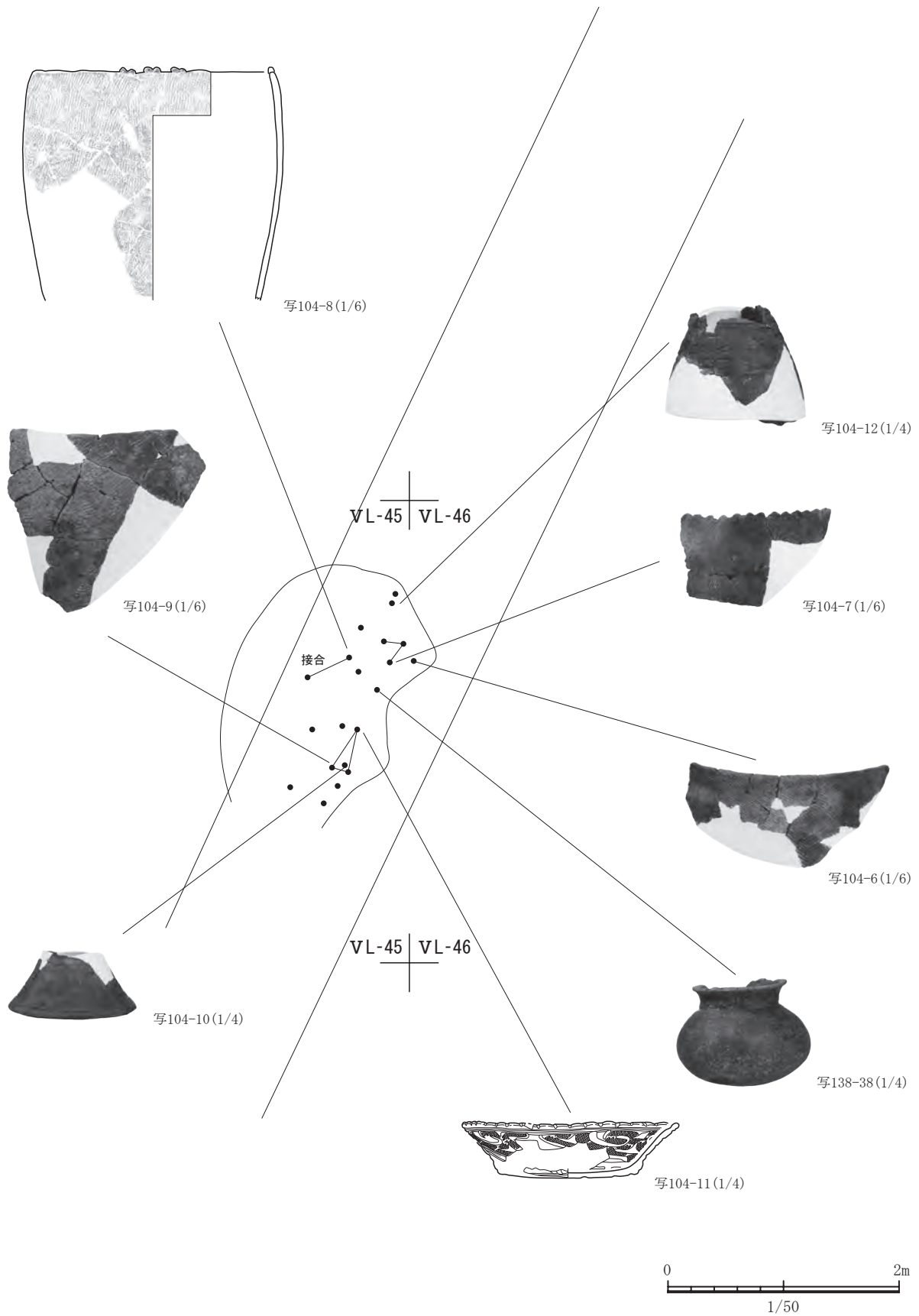
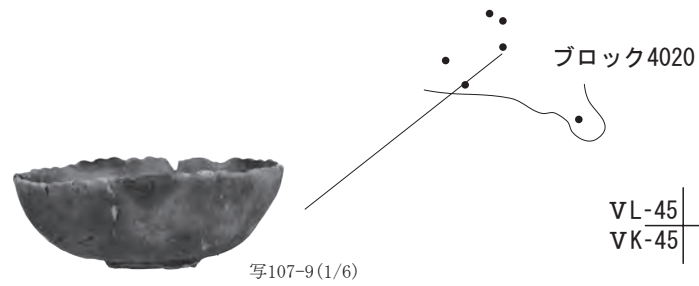
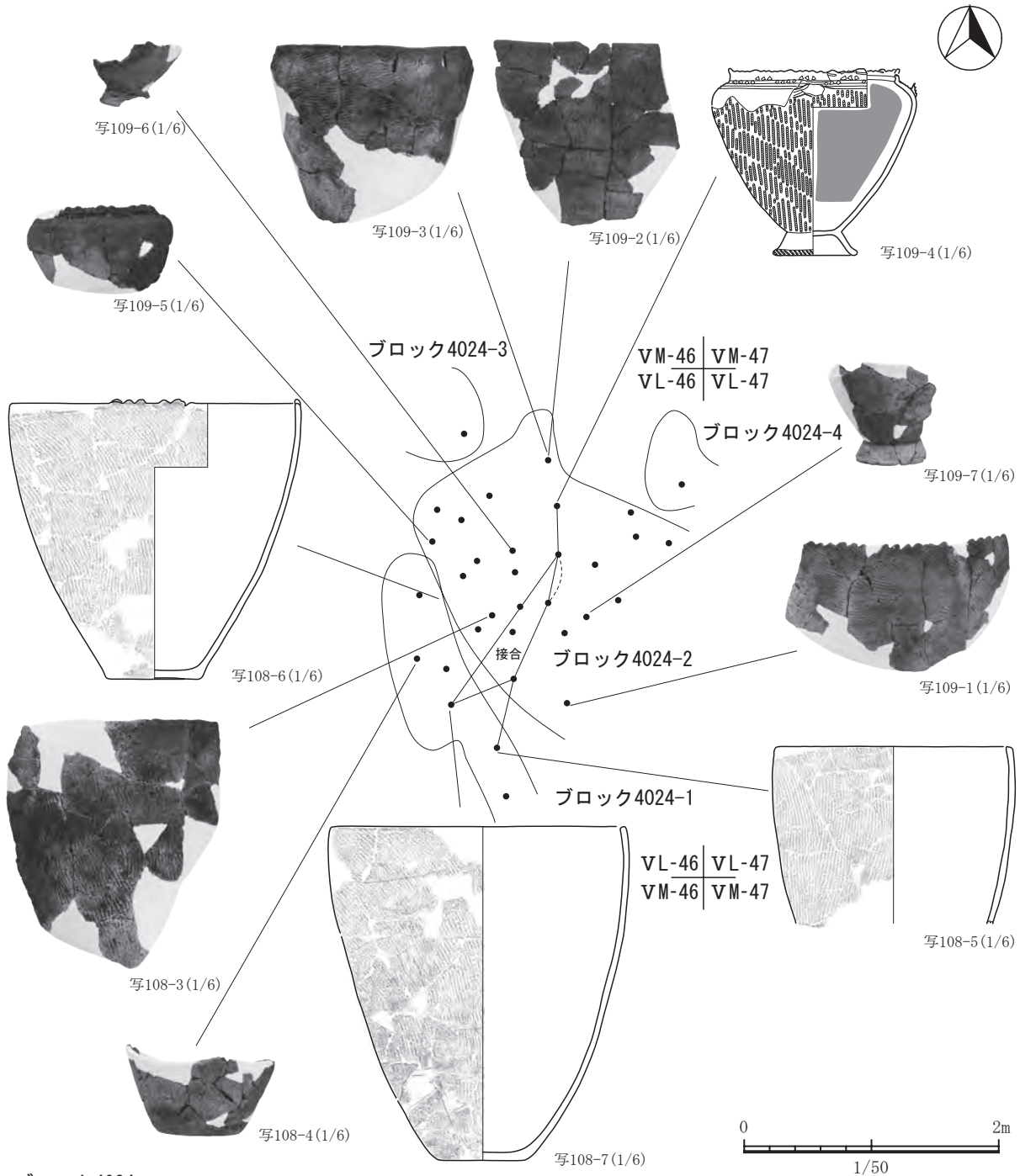


図65 北東捨場地区 ブロック15 (TR1-4層)

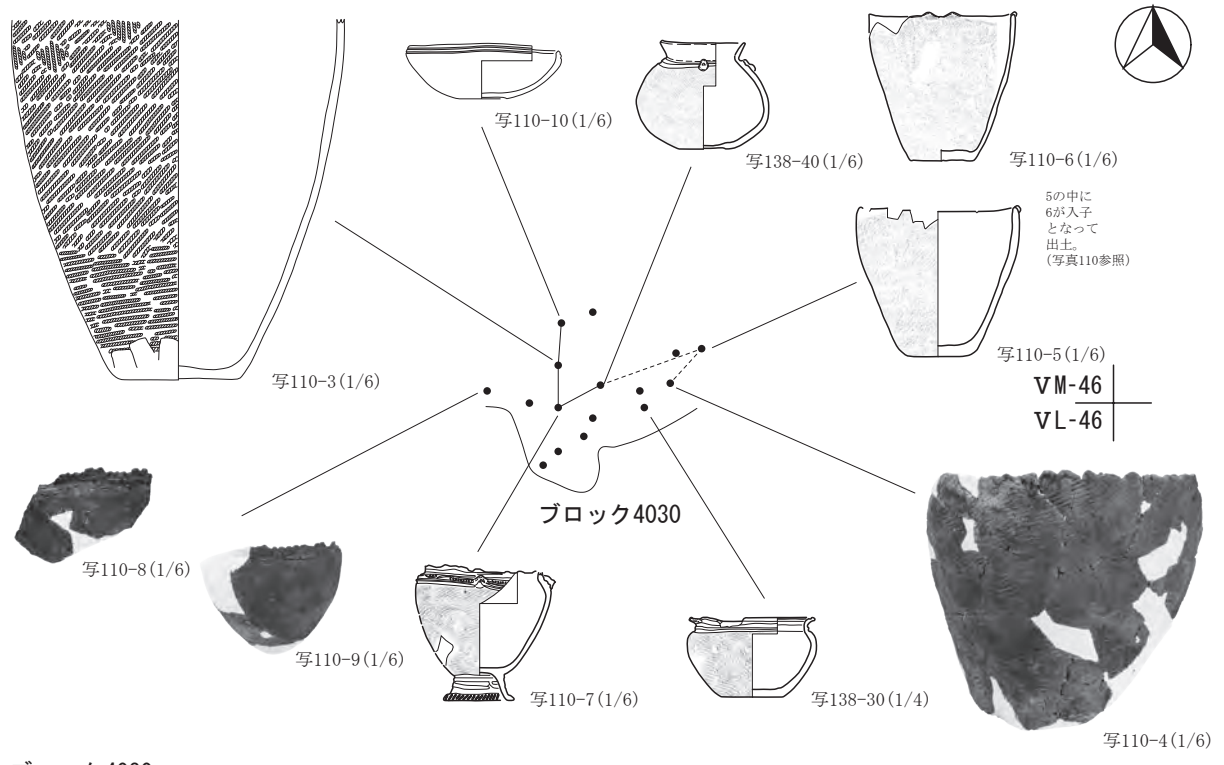


ブロック4020

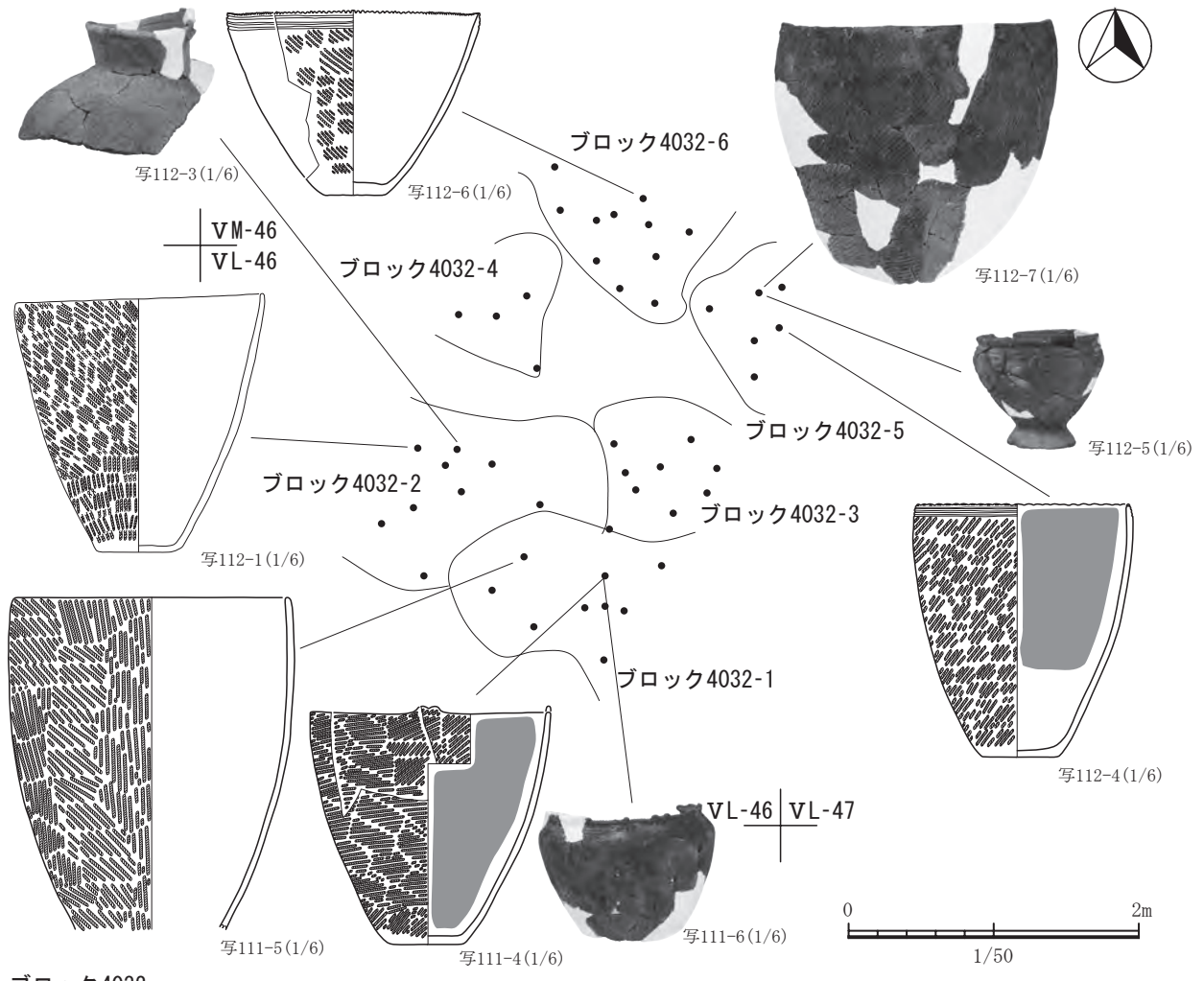


ブロック4024

図66 北東捨場地区 ブロック4020・4024 (TR1-4層)



ブロック4030



ブロック4032

図67 北東捨場地区 ブロック4030・4032 (TR1-4層)



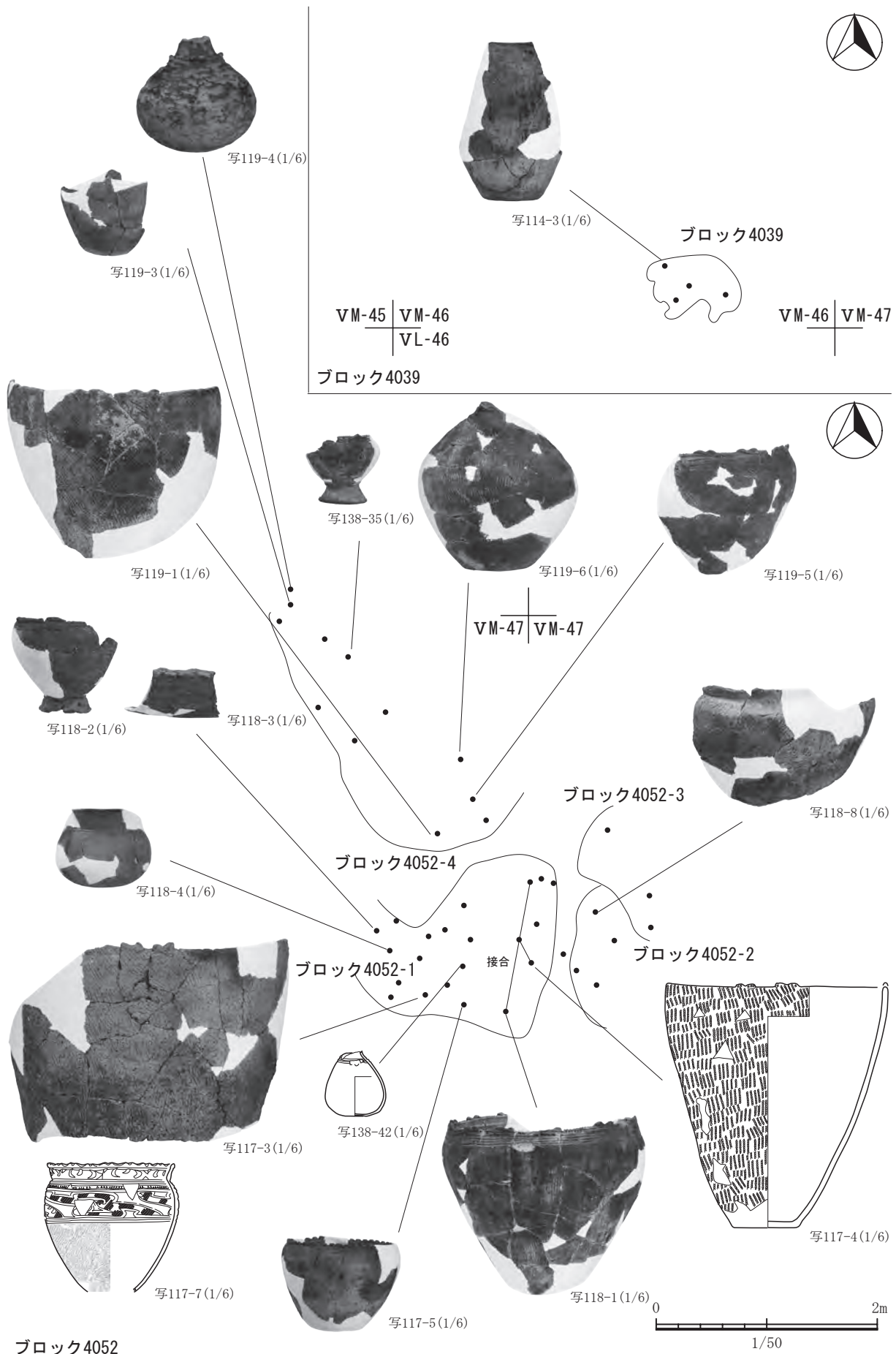


図68 北東捨場地区 ブロック4039・4052 (TR1-4層)

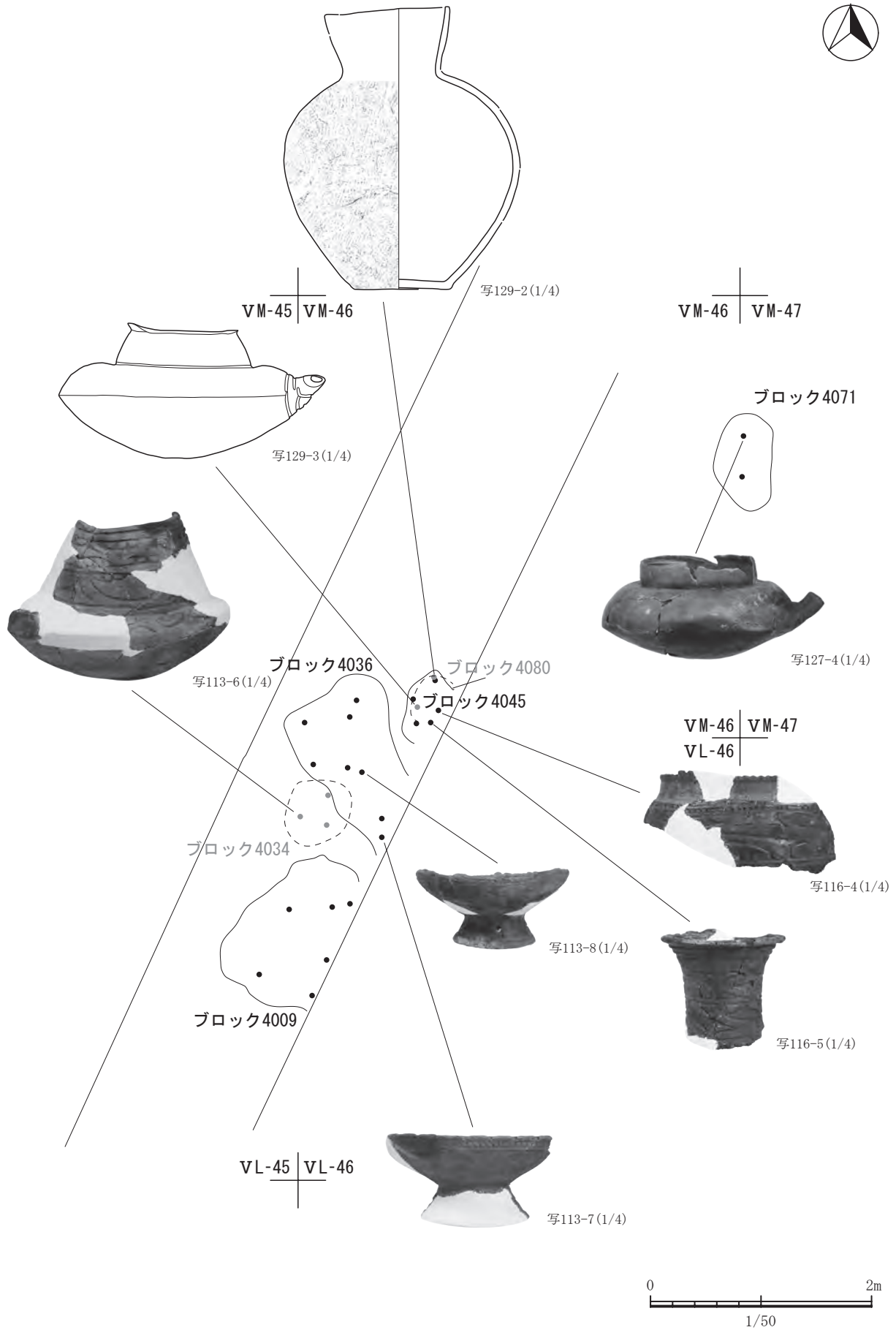
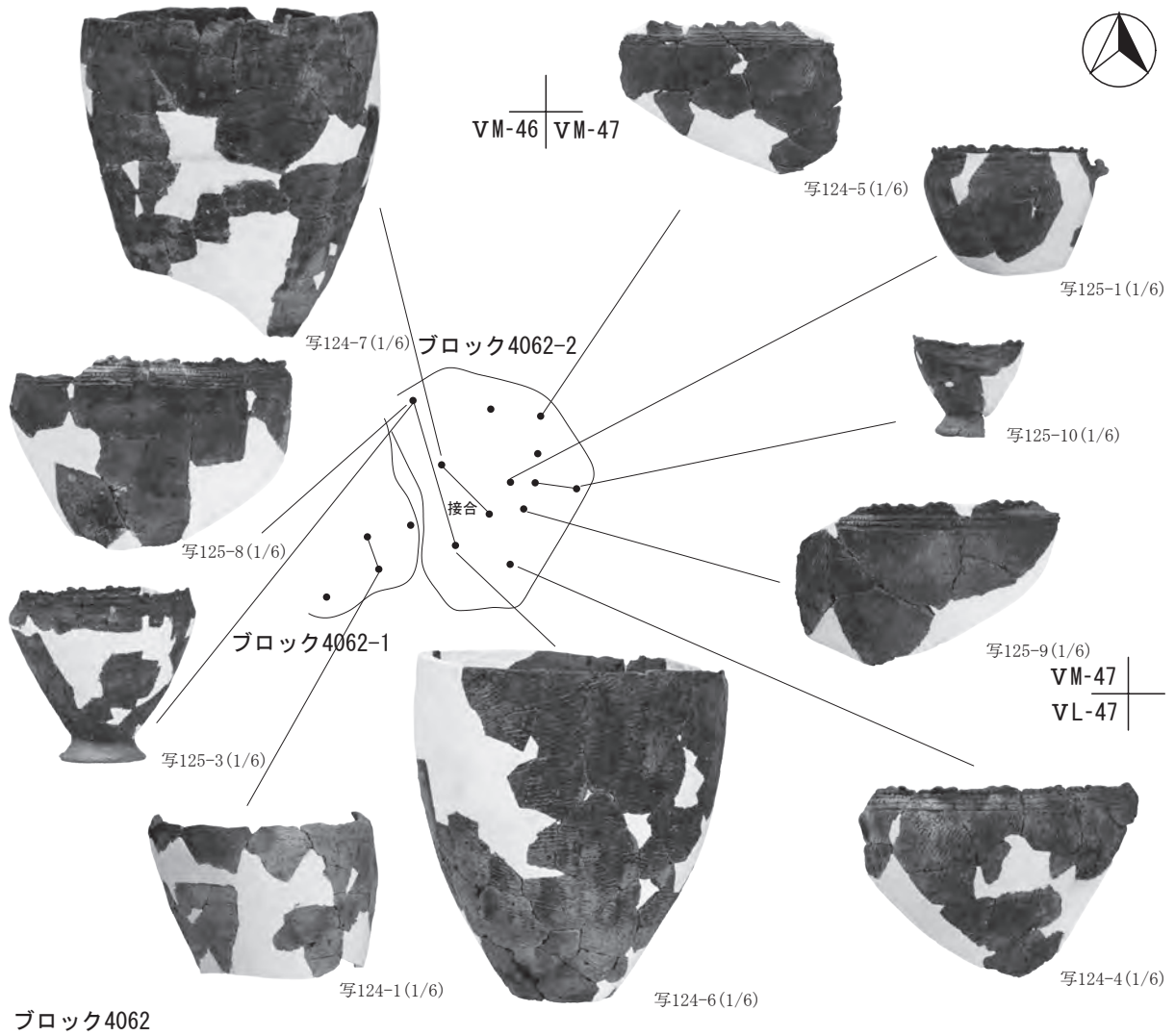
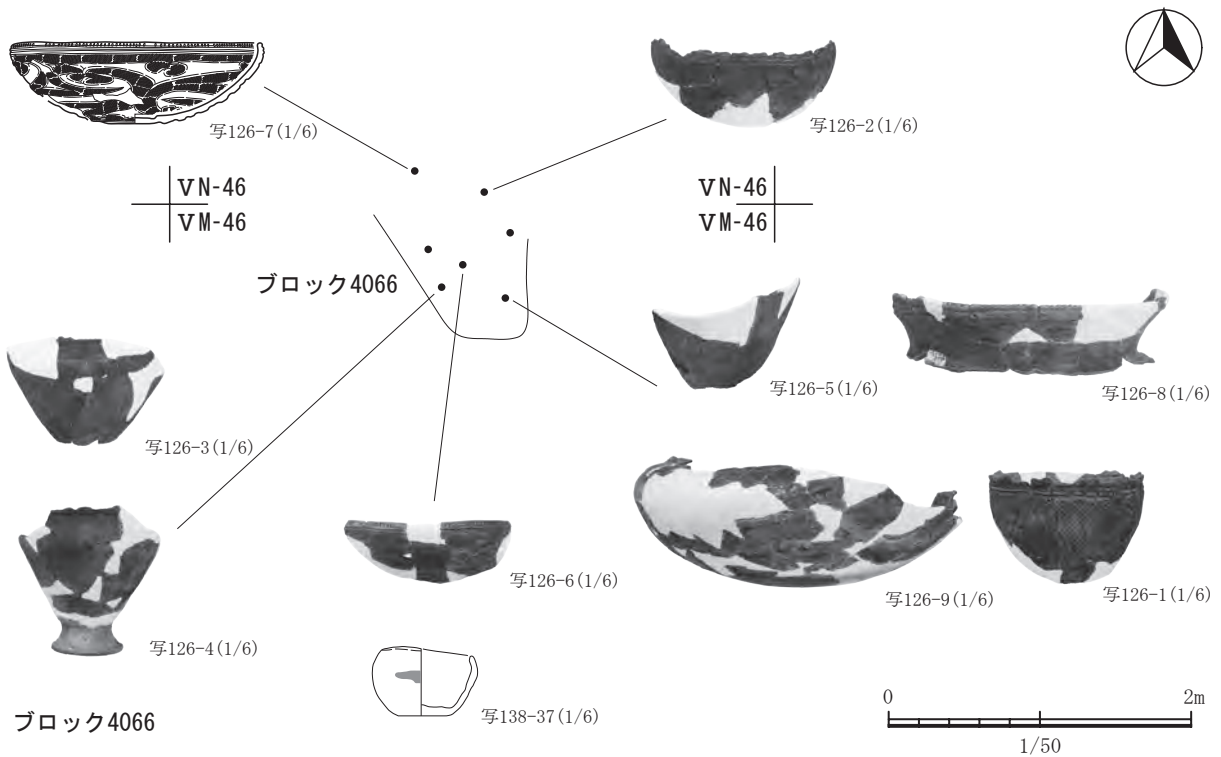


図69 北東捨場地区 ブロック4009・4034・4036・4045・4071・4080 (TR1-4層～TR1-5層)

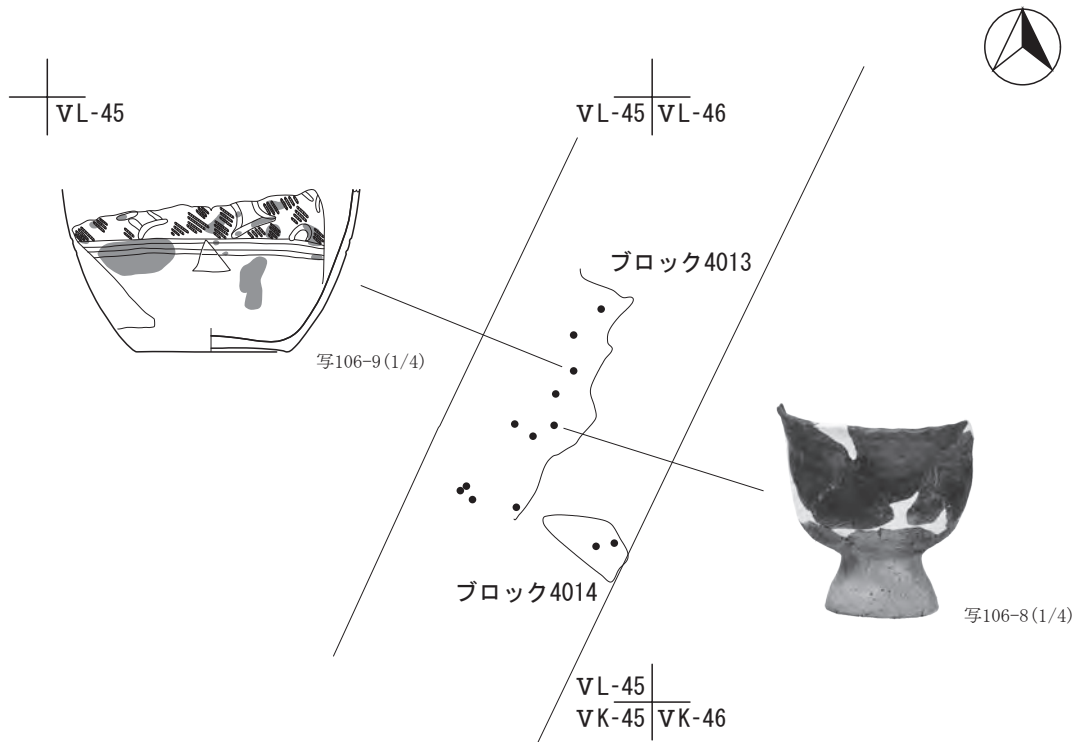


ブロック4062

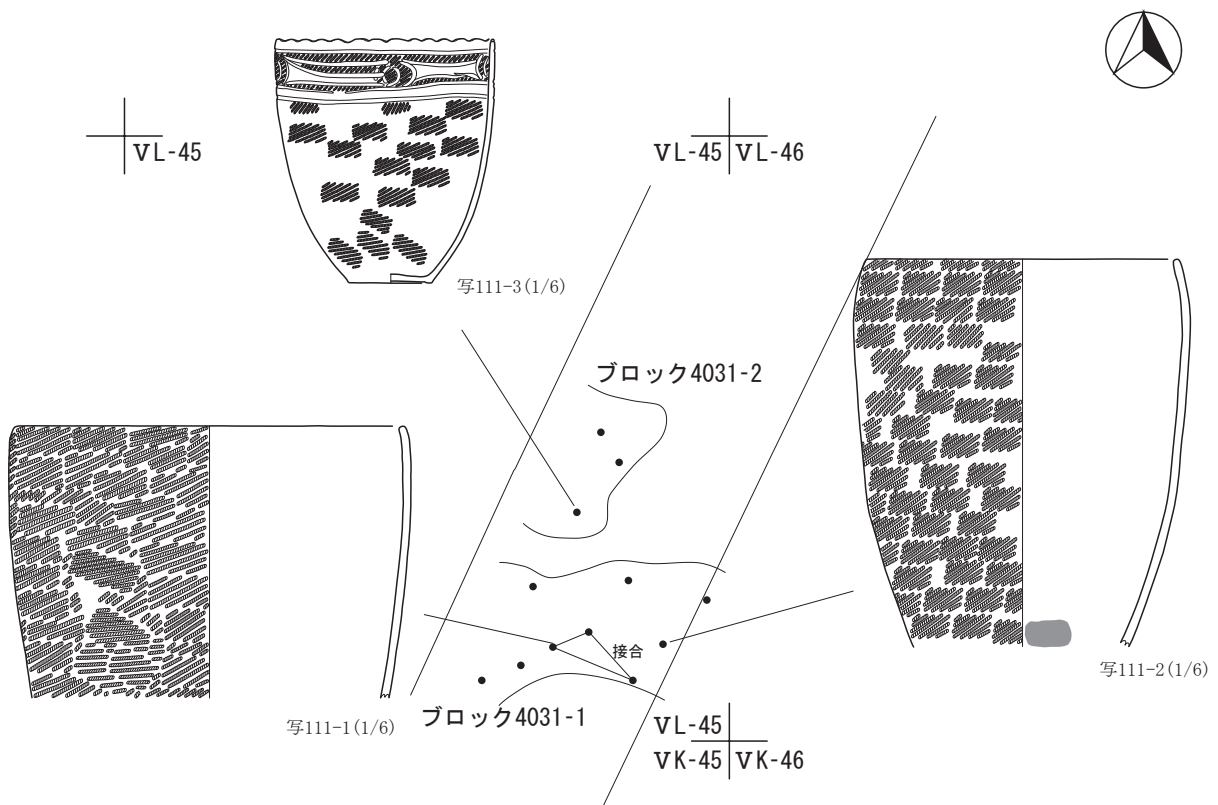


ブロック4066

図70 北東捨場地区 ブロック4062・4066 (TR1-4層)



ブロック4013・4014



ブロック4031

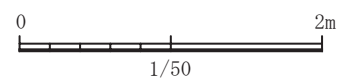


図71 北東捨場地区 ブロック4013・4014・4031 (TR1-5層)

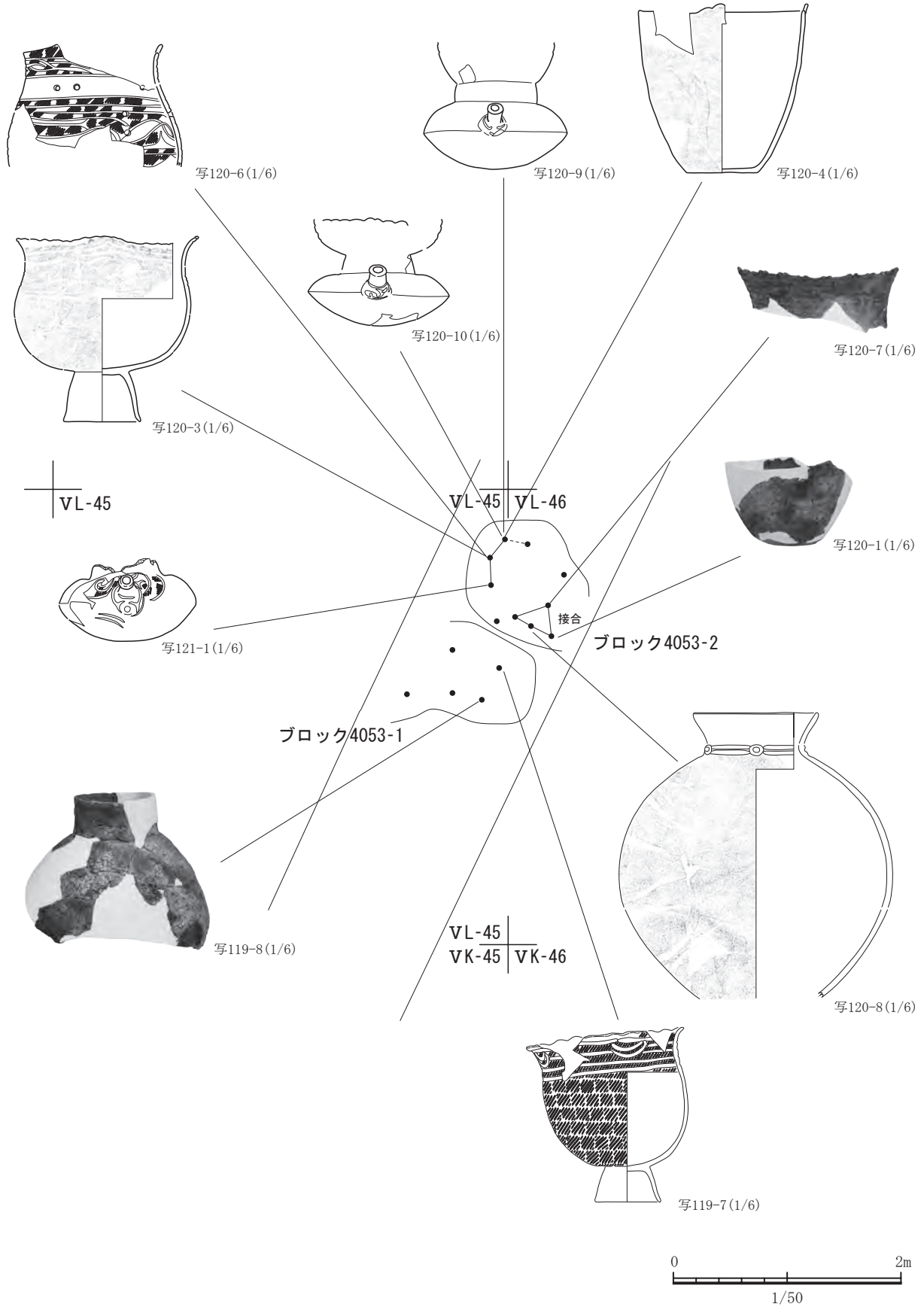


図72 北東捨場地区 ブロック4053 (TR1-5層)



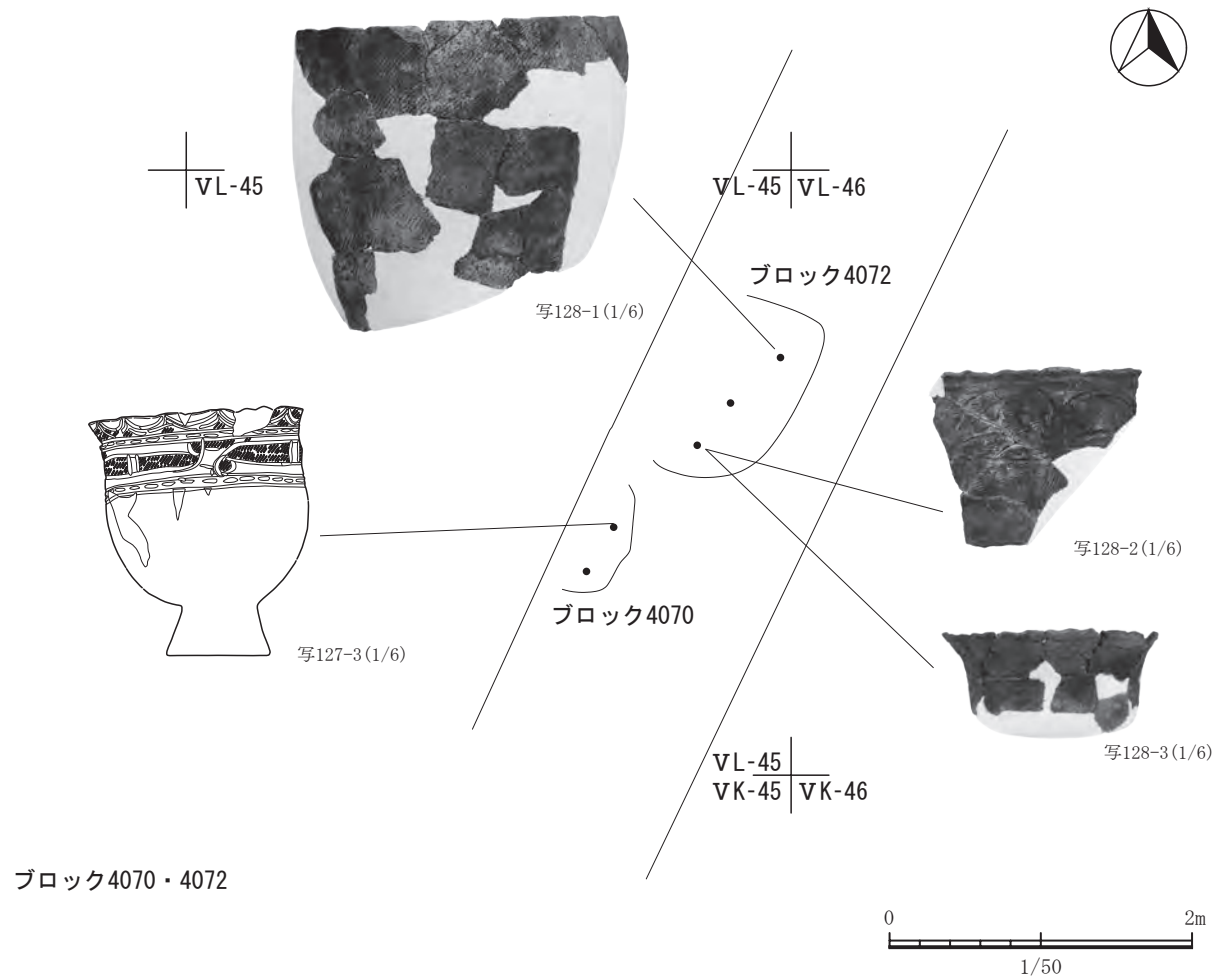
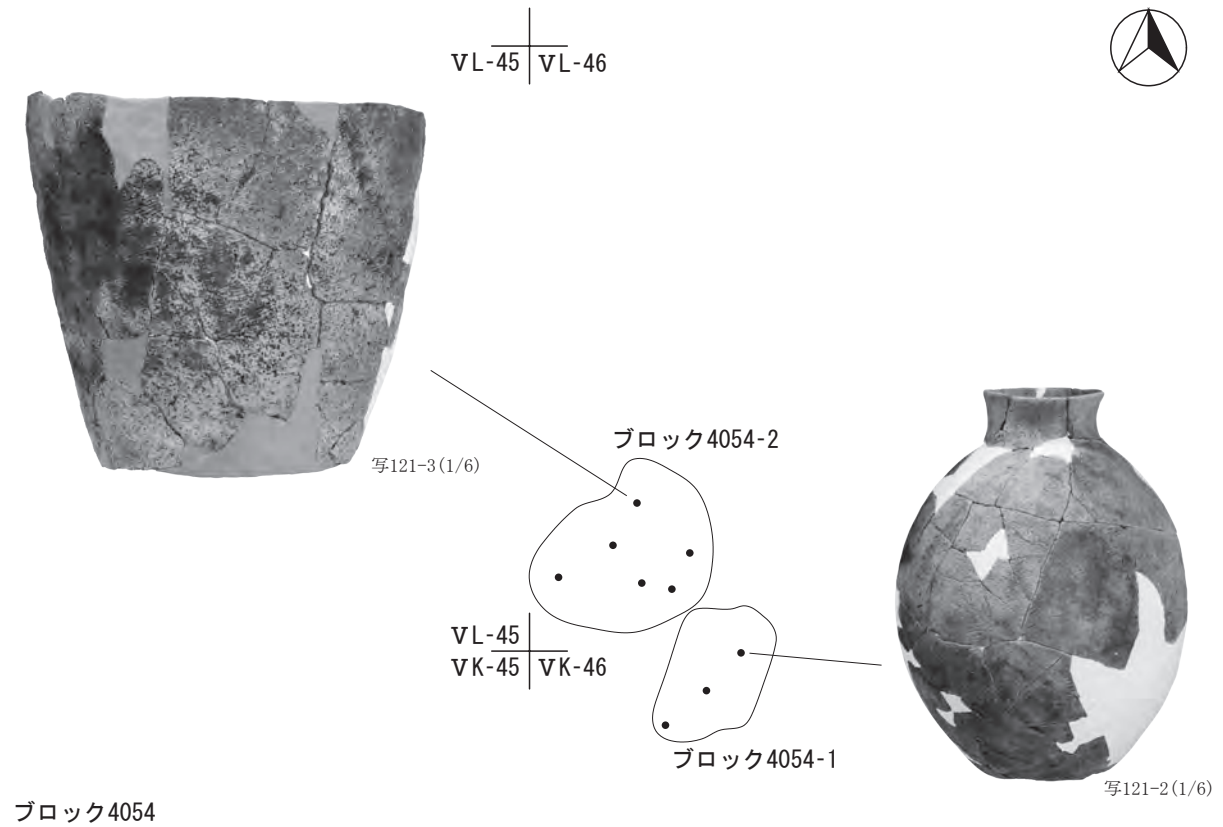


図73 北東捨場地区 ブロック4054・4070・4072 (TR1-5層)

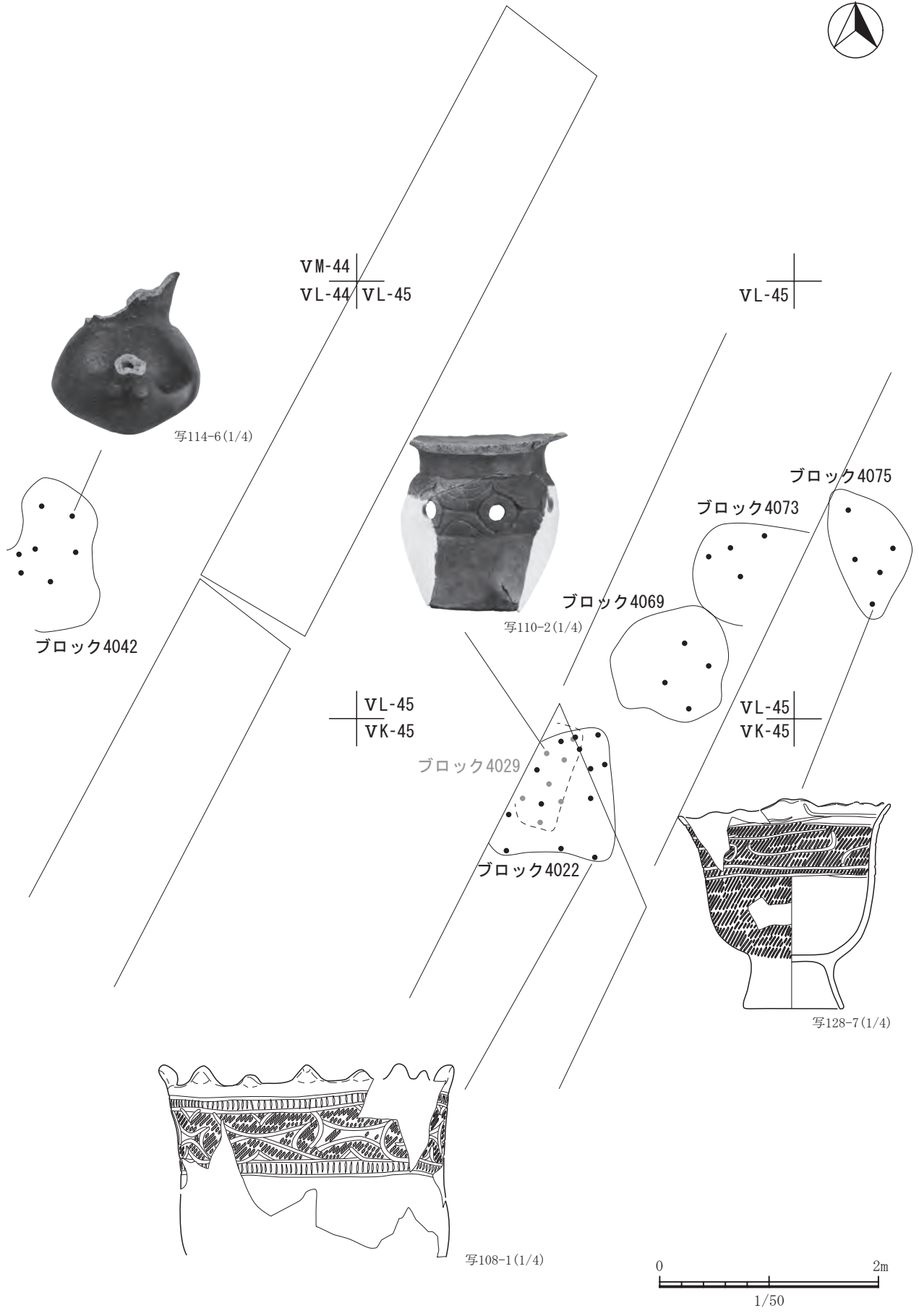


図74 北東捨場地区 ブロック4022・4029・4042・4069・4073・4075 (TR1-6層~TR1-7層)

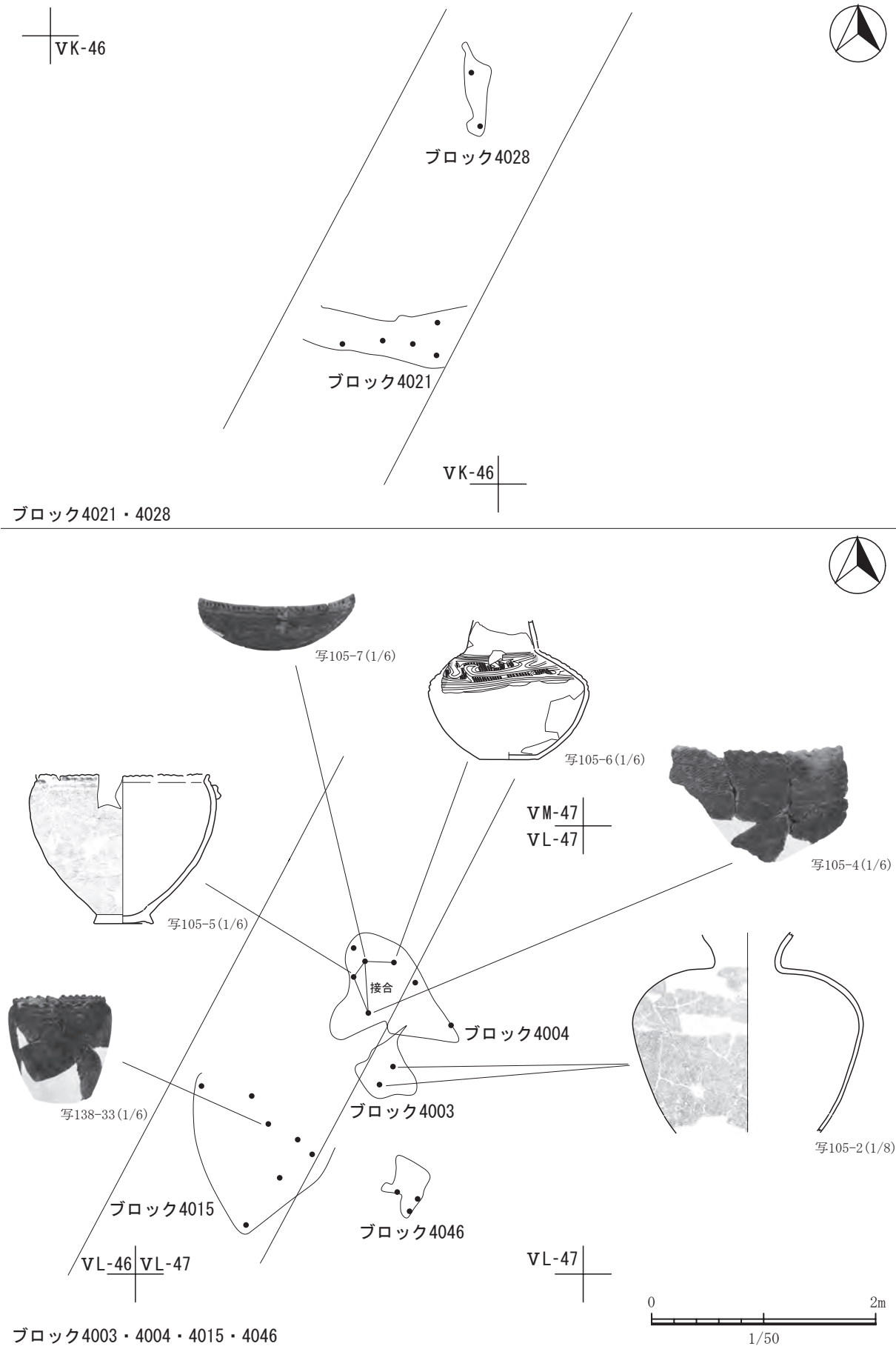


図75 北東捨場地区 ブロック4021・4028 (TR2-1層) ・4003・4004・4015・4046 (TR2-a層・TR2-ウ層)

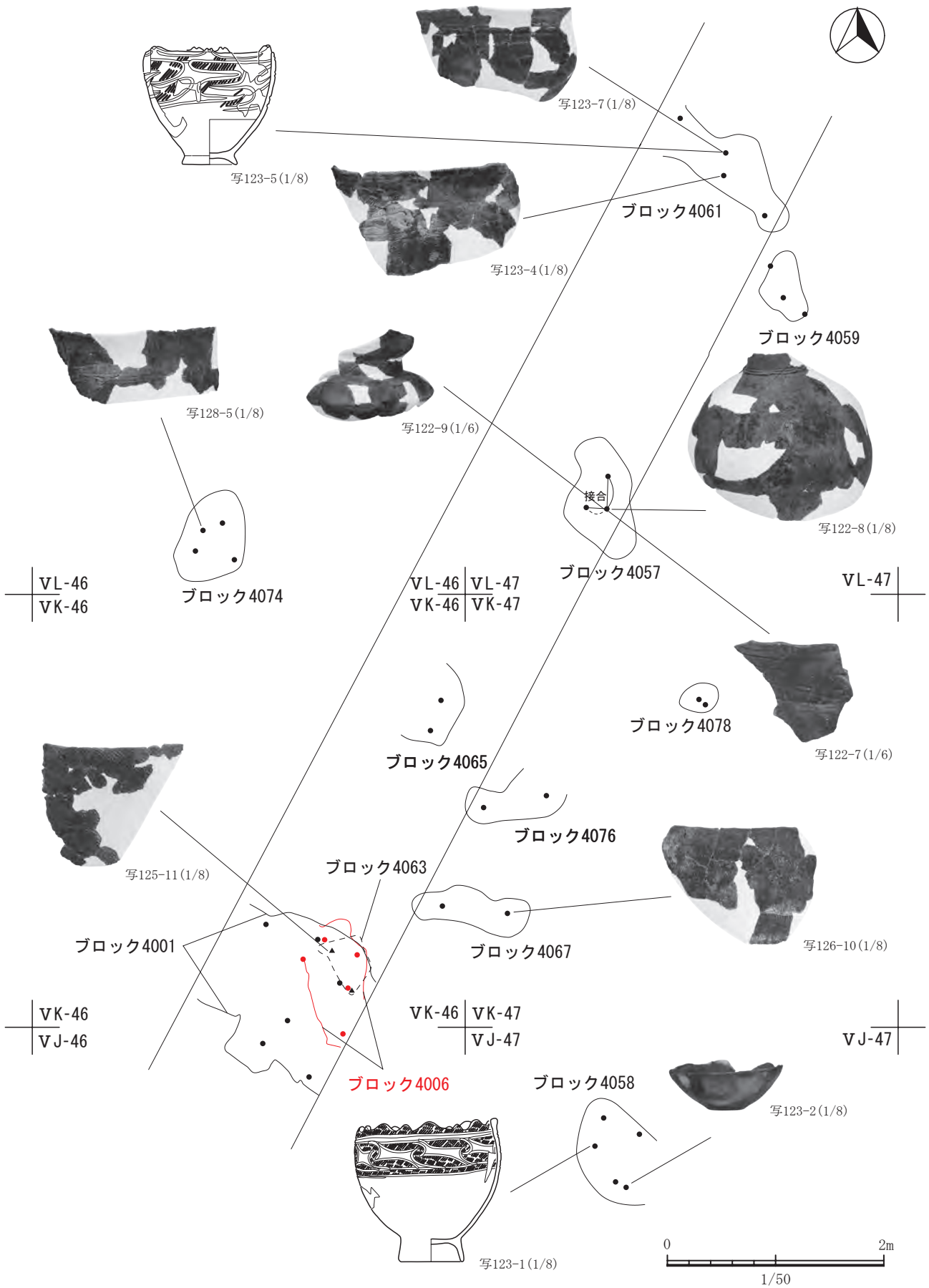


図76 北東捨場地区 ブロック4001・4006・4057・4058・4059・4061・4063・  
4065・4067・4074・4076・4078 (TR2-2層・TR2-エ層)

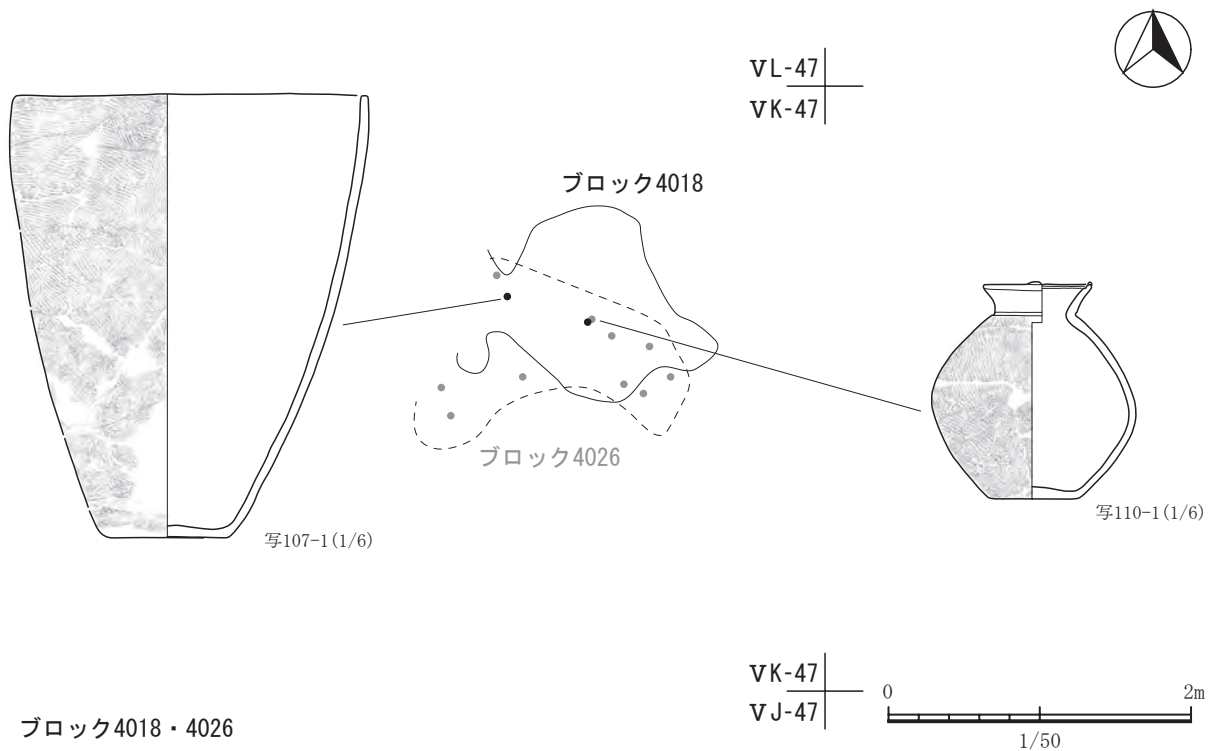
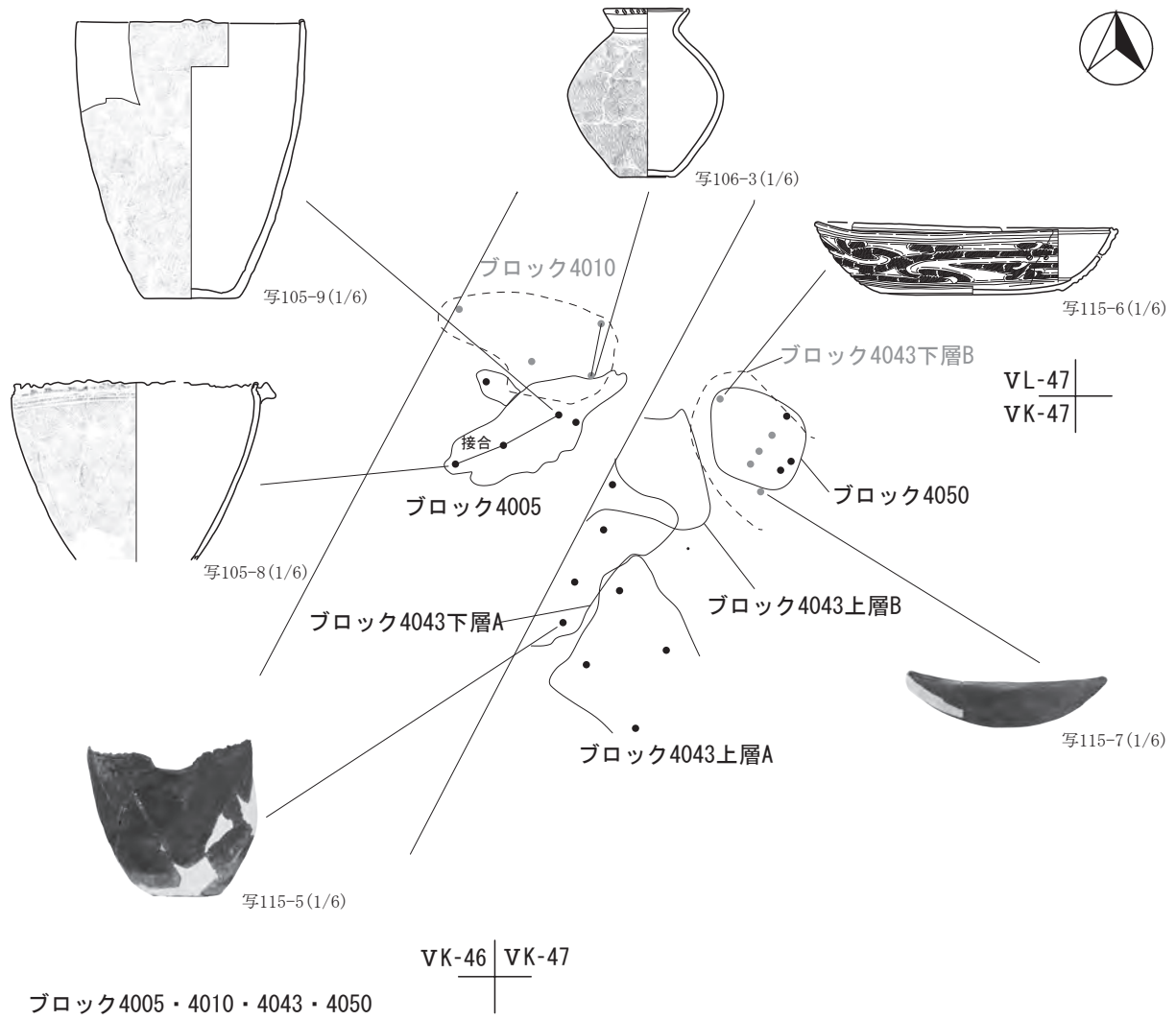


図77 北東捨場地区 ブロック4005・4010・4043・4050 (TR2-b層) ・4018・4026 (TR2-y層・TR3-c層)



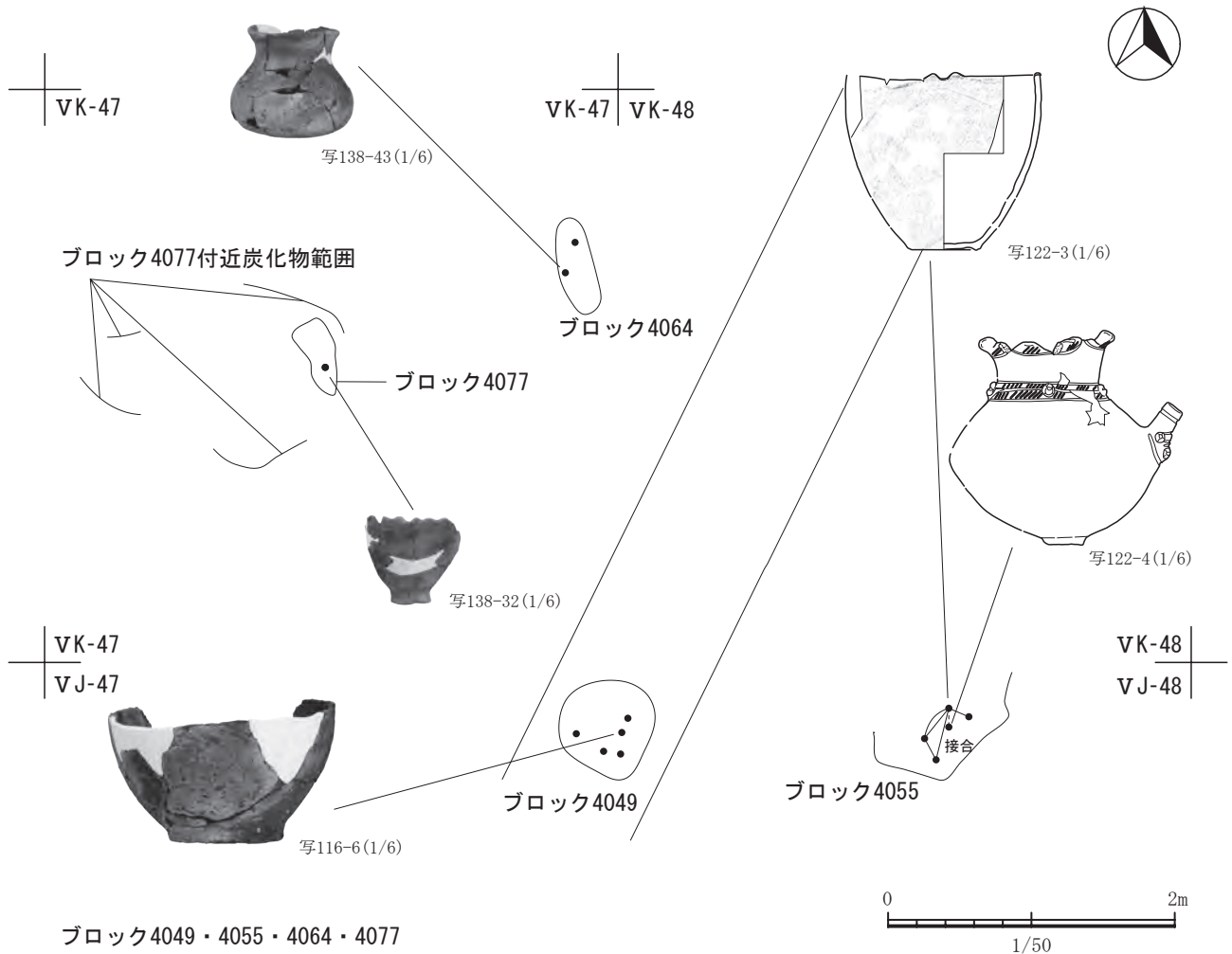
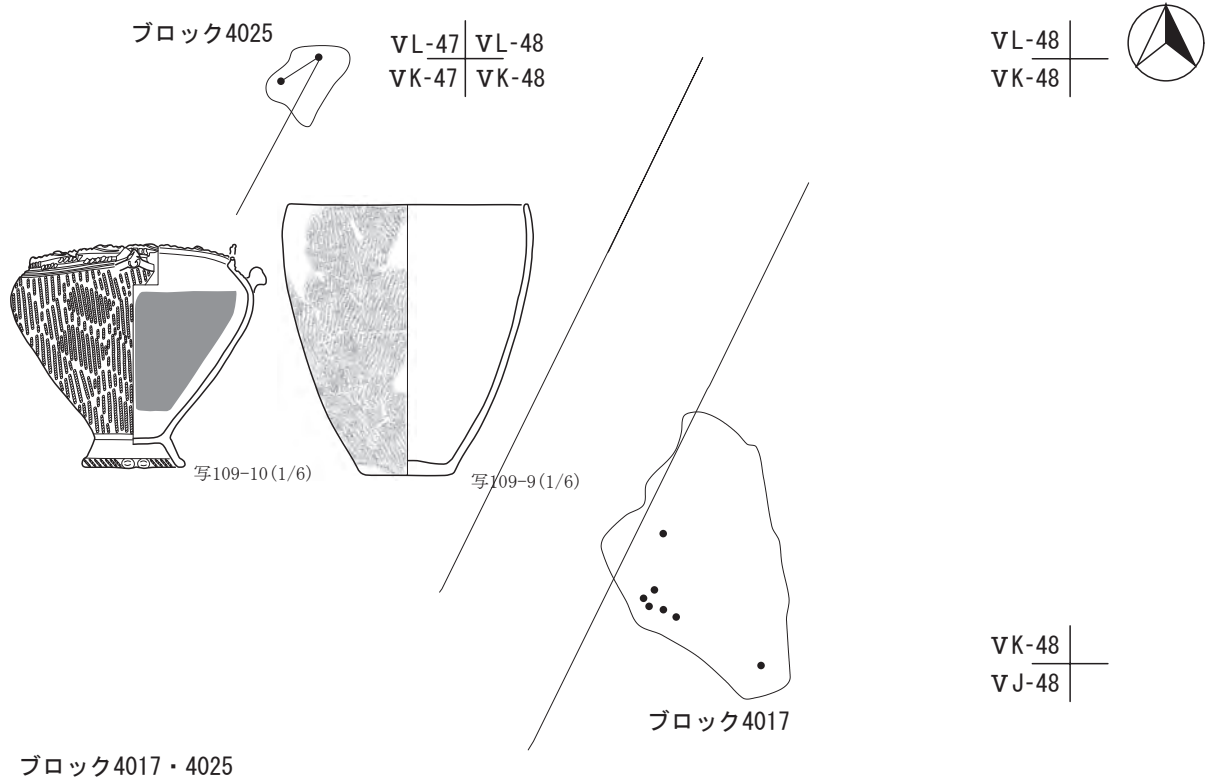


図78 北東捨場地区 ブロック4017・4025 (TR3-a層・TR3-ア～TR3-イ層)  
・4049・4055・4064・4077 (TR3-d層～TR3-e層)

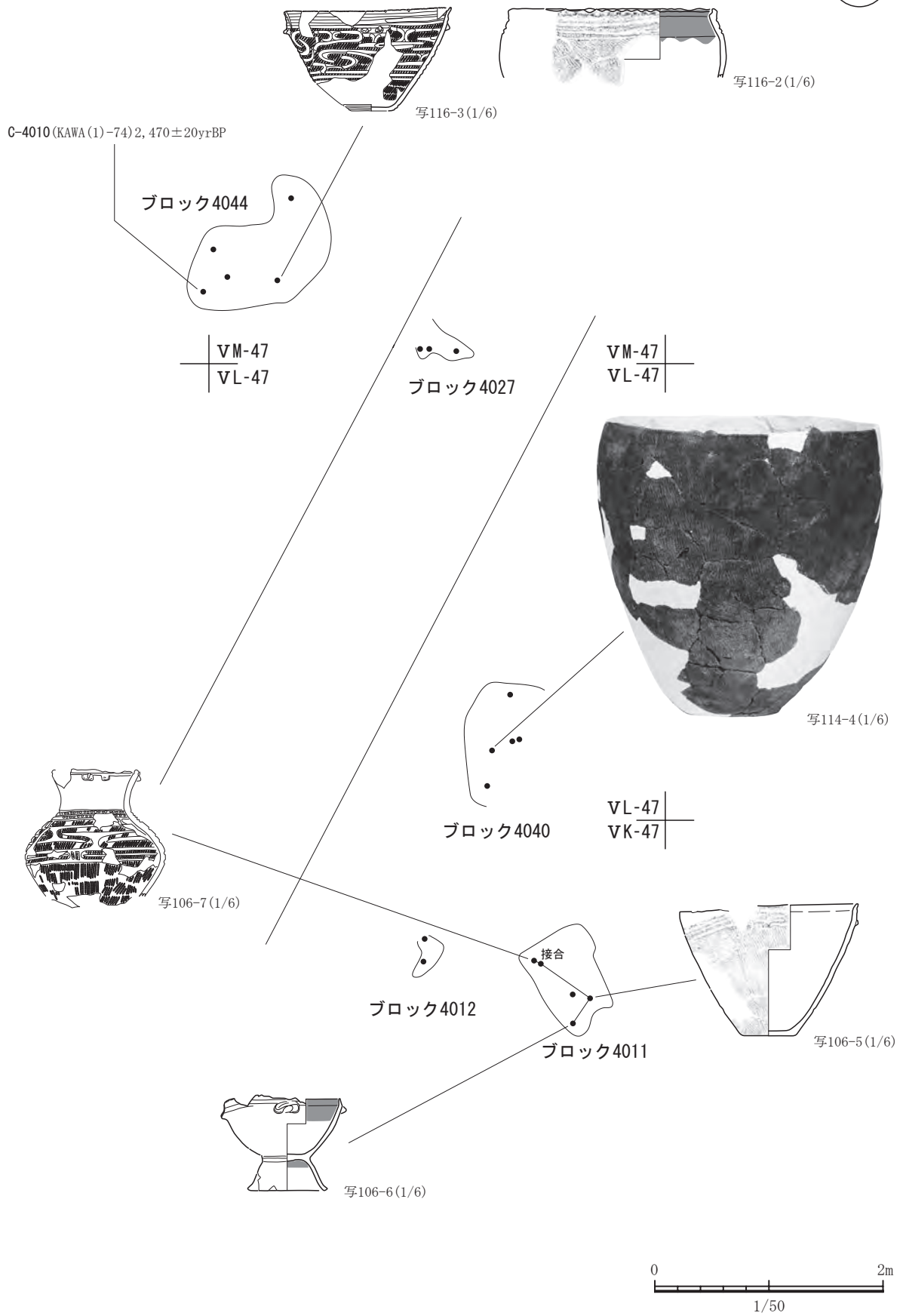


図79 北東捨場地区 ブロック4011・4012・4027・4040・4044 (TR3-b層～TR3-c層)

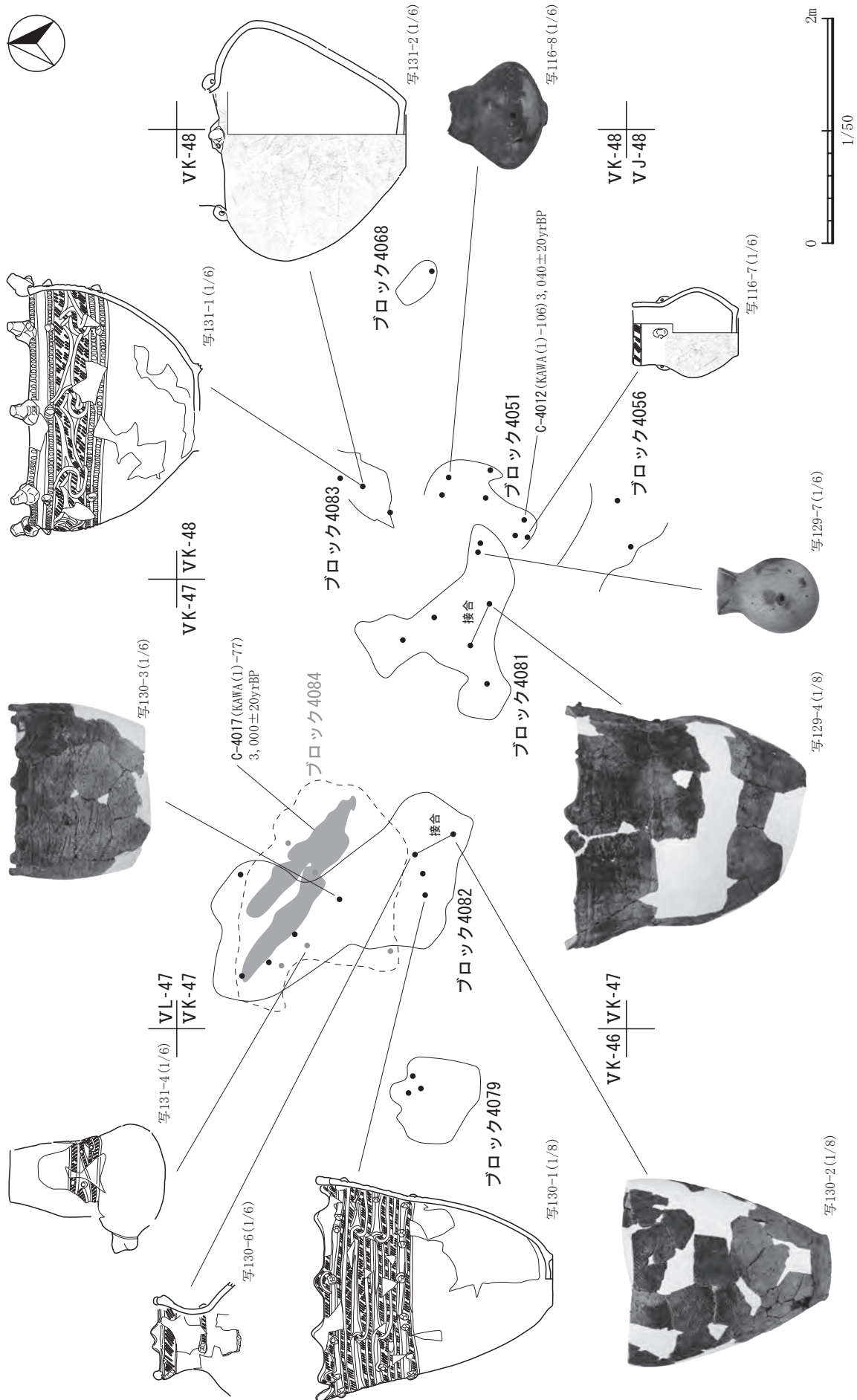


図80 北東捨場地区 ブロック4051・4056・4068・4079・4081・4082・4083・4084 (TR3-e層~TR3-f層)

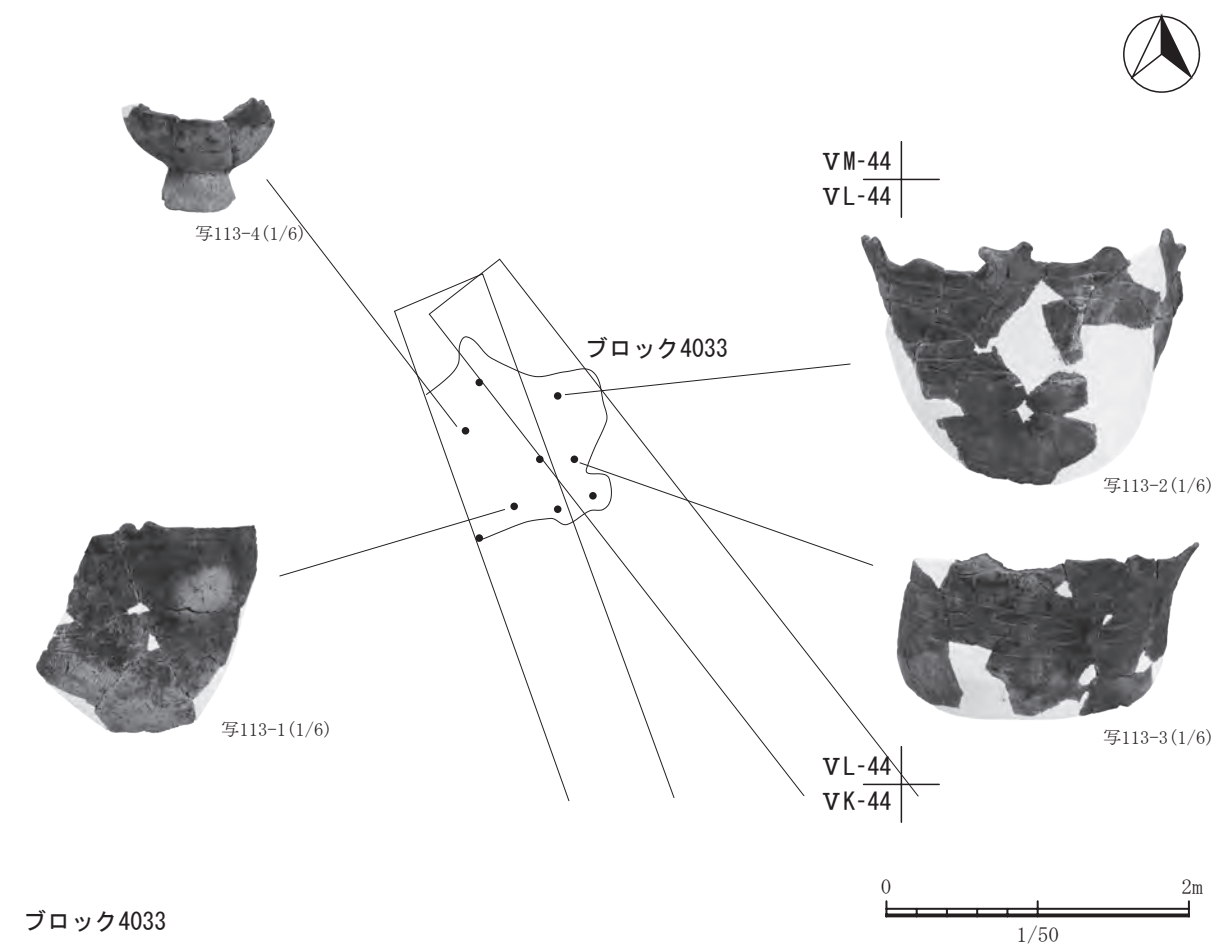
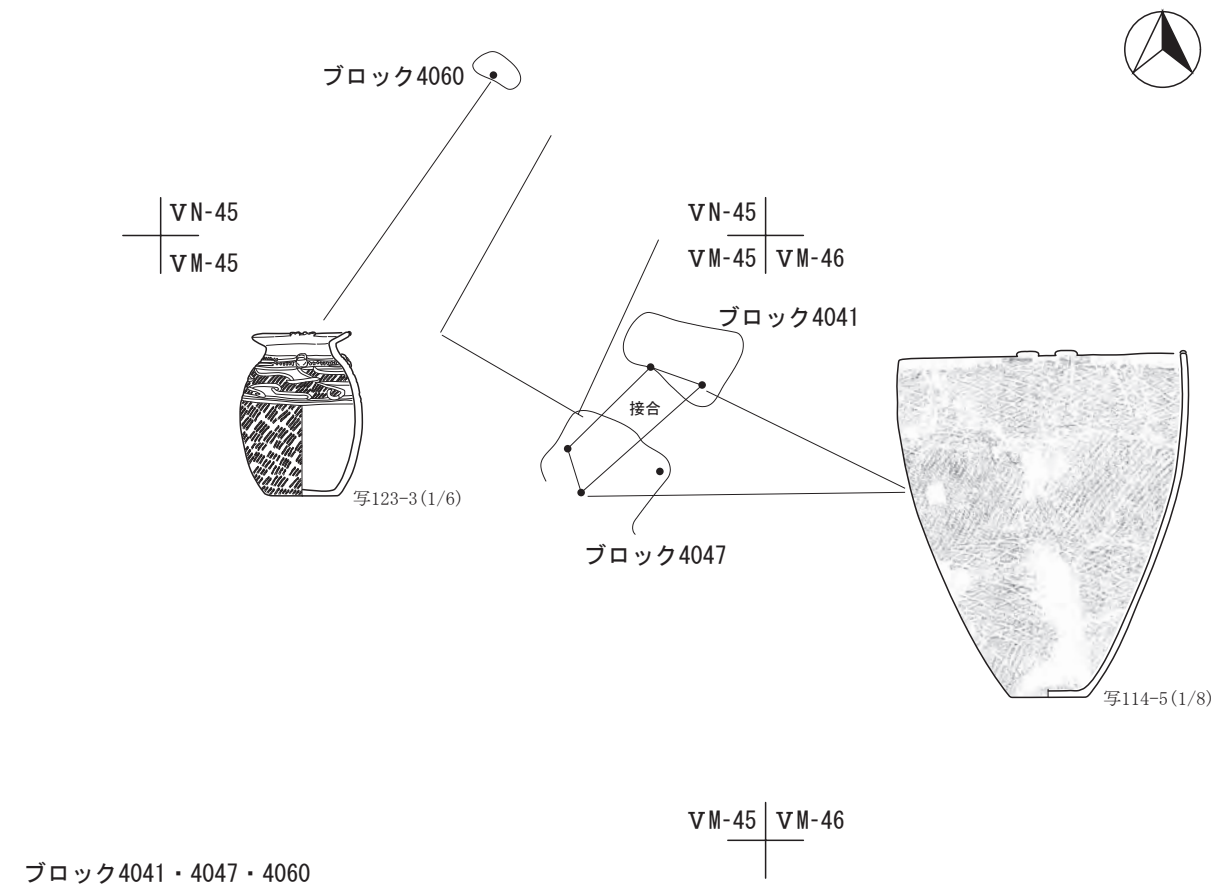


図81 北東捨場地区 ブロック4041・4047・4060 (TR5-2層) ・4033 (TR6-2層～TR6-3層)

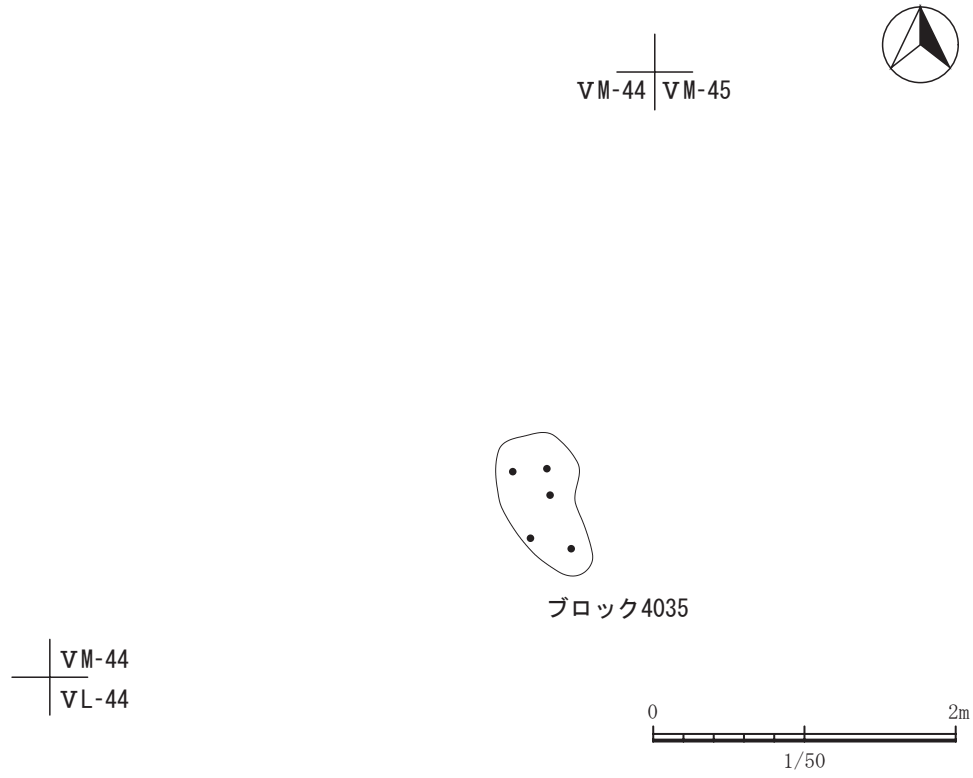


図82 北東捨場地区 ブロック4035 (確認面)



## 第4節 出土遺物

### 1 土器

北東捨場地区出土土器は総重量約3300kgである(図83・表4)。その分布は、出土量が500kgを超えるVL-46・47グリッドを中心とし、その周囲のVM-46・VL-45・VK-47グリッドで300～400kgとなり、周縁に向かうにつれて出土量が減少する。器種は深鉢(粗製・半精製)・鉢・台付鉢・浅鉢・皿・壺・注口がある。時期は縄文時代後期7-4期から晩期5期を主体とし、縄文時代中期の土器もわずかに出土した。本地区出土土器については、遺構内・外あわせて281点について、図化あるいは写真掲載した(図84～96、写真104～136、表13)。

#### トレンチ1

上層のTR1-1層～TR1-2層及びTR1-a～TR1-d層からは晩期中葉から後葉(晩期3～5期)の土器を主体とする。器種は深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・壺である。TR1-a層から晩期中葉～後葉の粗製深鉢(写132-1)・浅鉢底部(写132-2)、TR1-1層から晩期1a～1b期の長頸の壺(写132-3)、TR1-c層から晩期中葉～後葉に比定される壺(写132-4)、TR1-2～2-a層から粗製深鉢(写132-5)・短頸の壺(写132-6)が出土した。

中層のTR1-4～TR1-4.5層では晩期前葉から中葉の土器がみられ、晩期3期の土器を主体とする。器種は深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・皿・台付皿・注口・壺である。写132-7は入組三叉文と推定される文様のある浅鉢、写132-8は透かし孔の台部をもつ台付皿、写132-9は雲形文のある皿である。TR1-4.5層からは沈線と刻目による羊歯状文を施した半精製の鉢(写132-10)が出土し、内外面が白色を呈するのが特徴的である。このタイプの台付鉢は本遺跡でも一定量出土しているが、その多くが黄褐色あるいは褐色の色調であり、白色を呈するものは稀である。

下層のTR1-5～TR1-8層では、後期7-4期から晩期1b期にかけての土器がみられる。器種は深鉢・鉢・台付鉢・注口・壺である。TR1-4.5～5層出土の写133-1は晩期1bの注口である。TR1-4.5～7層出土の写133-2は後期7-4に比定される注口であり、外面に粘土紐を貼付し、その結節点に扁平な貼瘤を施す。頸部付近に赤色顔料が付着する。また、写133-3は晩期1a～1b期の注口であり、基部に三叉文が施されている。TR1-5層では晩期1b期の注口(写133-4)、TR1-5～3-e層からは晩期1a～1b期の注口(写真133-5)と晩期1b期(写133-6)、TR1-5～8層からは晩期1a～1b期の注口(写133-7, 8)が出土している。また、TR1-6～7層からは後期後葉～晩期に比定される粗製深鉢(写133-9)、TR1-7層から後期後葉の注口(写134-1)が出土している。

#### トレンチ2

上層のTR2-イ層～TR2-ウ層は晩期中葉から後葉(晩期3～4期)の土器を主体とする。TR2-イ層からは口縁部に横位沈線、2個一組の突起のある晩期4期の台付鉢(写134-2)、その下のTR2-ウ層からは晩期3～4期の深鉢・台付鉢・浅鉢・壺がまとまって出土した。

中層のTR2-b層からTR2-1層では晩期前葉から中葉(晩期3期)の土器を主体とする。TR2-1層からは晩期前葉の壺(写134-3)が出土した。TR2-b層からは晩期3～4期の深鉢・片口鉢・浅鉢・鉢・皿・

壺が出土した。写134-4は内外面に赤色顔料が施された鉢である。TR2-y層から晩期前葉から中葉の深鉢（写134-6, 7）・台付鉢（写134-8）・浅鉢（写134-9）が出土した。このほか、TR2-z層から十字型・ハート型の透かしを持つ器種不明の土器（写134-5）が出土した。

下層のTR2-2層からTR2-4層では後期後葉から晩期前葉（後期7-4期から晩期1b期）の土器を主体とする。最下層であるTR2-3層及びTR2-4層からは出土遺物が少ない。その上位にあるTR2-2層からは深鉢・台付鉢・浅鉢が出土した。後期7-4期から晩期1b期の土器が多い。ブロック4001及び4074からは波状口縁で外面に入組文配置した鉢（写104-15・128-5）が出土した。同一層であるTR2-エ層からは、後期8期から晩期1b期の深鉢・台付鉢・鉢・注口・壺が出土した。TR2-エ層とTR3-e層の境からは晩期1b～2期の土器が出土した。

### トレンチ3

上層のTR3-z層からTR3-イ層では晩期3～4期の土器を主体とする。最上層であるTR3-z層では土器は少ない。その下位のTR3-b層～TR3-c層では晩期3～4期の深鉢・台付鉢・鉢・壺が出土している（写134-12・13, 136-1, 2）。さらに下位のTR3-a層からも晩期3～4期の深鉢（写134-10）・台付鉢（写134-11）が出土している。また、TR3-a層と同一層であるTR3-ア層、その下のTR3-a2層・TR3-イ層からは遺物は少ない。

下層のTR3-d層～TR3-f層では後期後葉から晩期前葉（後期7-4期～晩期1b期）の土器が出土した。器種は深鉢・台付鉢・壺・注口がある。TR3-g層からは遺物少ない。TR3-d層・TR3-d2層から香炉（写135-1, 2）、TR3-e層からは後期後葉の注口（写135-3, 4）、TR3-e層とTR3-f層の境から後期後葉から晩期の深鉢（写135-6）・鉢（写135-5）、後期7-4期の台付深鉢（写135-8）・鉢（写135-7）が出土している。

### トレンチ5

TR5-1層からTR5-3層において晩期1a～3期の深鉢・鉢・壺・台付鉢が出土している（写136-3・4）。

### トレンチ6

TR6-2層からTR6-3層において後期後葉から晩期前葉の深鉢・鉢・壺・台付鉢が出土している。

### その他特筆される土器

**赤色顔料の塗られた土器**：ブロック4081で内外面に赤色顔料が施された土器が出土した（写129-6）。器種は壺と推定される。胎土は粗く、頸部と体部の境に横位沈線と突起があり、RL縄文が施されている。内面にも付着していることから、赤色顔料容器の可能性もある。

**発泡土器**：土器表面が被熱により変形・変質した状態の土器を「発泡土器」とした。重量が軽く、器面に多数の気泡が認められ、色調は青灰色あるいは黄褐色を呈する。北東捨場ではVL～VN-45・46グリッド、TR1-a層からTR1-4.5層から5点出土した。いずれも粗製深鉢と思われる。写136-6は粗製深鉢の口縁部破片で、歪んで変形している。体部上半に補修孔が1箇所認められることから、焼成後の加熱により変形したことを示唆する。写136-7・9・10は青灰色・暗褐色を呈し、器面に多数の

気泡が認められ、変形している。写136-8は粗製深鉢の口縁部破片で、筒状に変形し、青灰色を呈する。器表面には一部縄文が認められるが、発泡により摩滅している。二次焼成による焼けひずみのある土器については、南捨場地区でも出土し、晩期前半の粗製深鉢（報告書Ⅱ-図77-3）が報告されている。このほか、青森県内では三内丸山遺跡で縄文時代中期の発泡土器が出土している。県外では、栃木県藤岡町藤岡神社遺跡（栃木県埋文1999）や千葉県市原市能満上小貝塚（市原市文化財センター1995）・西広貝塚（市原市教委2007）など、関東・甲信越の縄文時代晩期の遺跡で確認されているが、出土例・報告例は多くはない。

## 自然科学分析

### 【土器付着赤色塗膜分析】

TR2-y層出土の晩期3期の浅鉢（写134-9）に付着した赤色塗膜の薄片分析及び赤外分光分析を実施した（試料No.12）。赤彩は土器内外面に施されている。外面の赤色塗膜の分析の結果、赤色漆と推定される漆層が2層確認され、赤色顔料はベンガラと推定されている（報告書Ⅷ第7章第2節参照）。

### 【胎土分析】

北東捨場出土土器の一部について胎土分析を実施した（報告書Ⅷ第8章第1節）。胎土分析の評価については、第3節を参照されたい。

### 【土器付着炭化物の放射性炭素年代測定】

放射性炭素年代測定については、ブロック4041・4047出土の深鉢（写114-5）の外面付着炭化物を測定した。この土器は口縁直下から体部半ばにかけて短軸絡条体5類とLR縄文が交互に施されている。測定の結果、 $2930 \pm 20$  yrBP（KAWA(1)-143）の年代値が得られている（報告書Ⅷ第5章参照）。

（中澤）

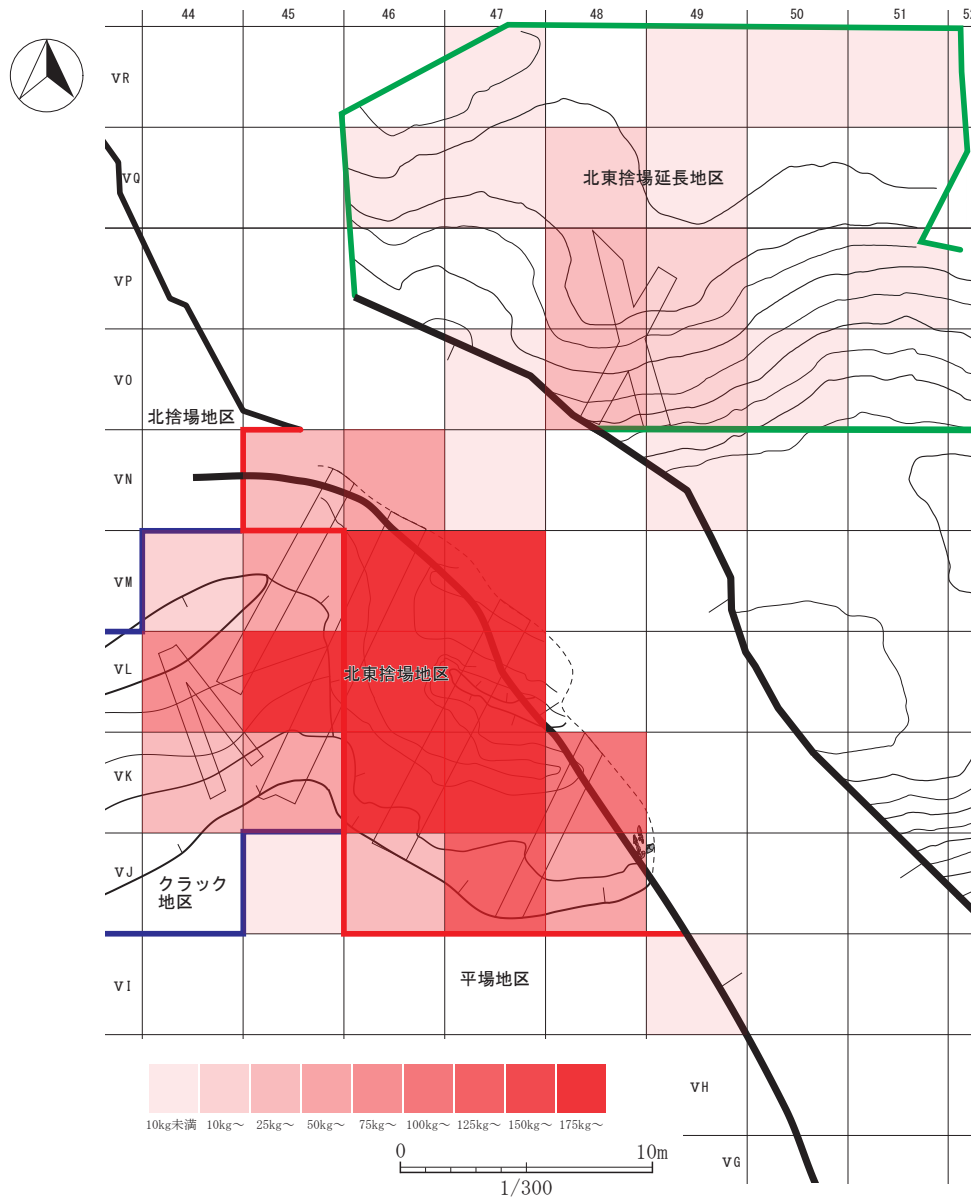


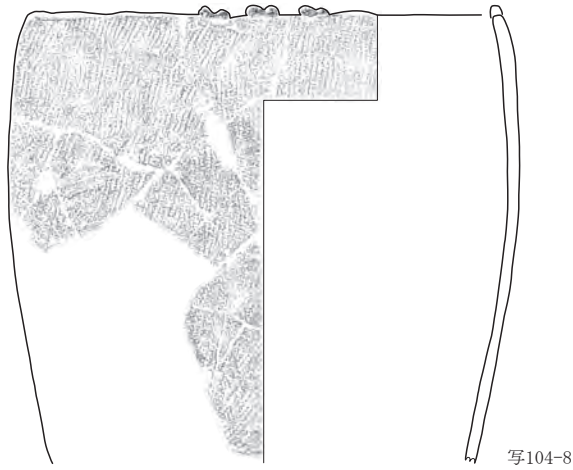
図83 北東捨場地区 土器の重量分布

表4 北東捨場地区 グリッド別土器出土重量

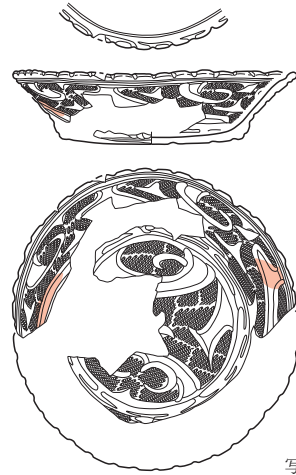
	44	45	46	47	48	49	50	51	52	総計
VR				0.6		0.1	0.4	0.1	0.1	1.3
VQ			0.4	0.1	18.9	8.3			0.1	27.8
VP					42.7	19.7		0.1		62.5
V0				4.2	32.8	23.9	0.2			61.1
VN		44.9	53.0	2.4		0.7				101.1
VM	23.4	53.3	324.2	193.7						594.7
VL	86.7	403.5	509.8	517.3						1517.2
VK	49.9	67.4	270.9	362.6	107.9					858.7
VJ		2.3	37.5	135.8	59.4					234.9
VI						3.0				3.0
総計	160.0	571.4	1195.8	1216.7	261.7	55.7	0.6	0.2	0.2	3462.2

単位はkg

【凡例】  175kg以上  300kg以上  500kg以上

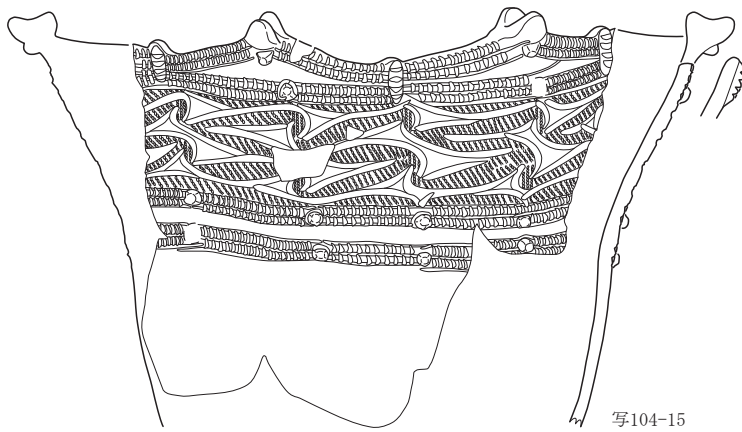


写104-8



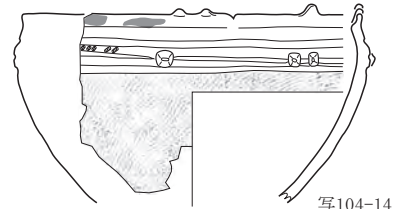
写104-11

ブロック15



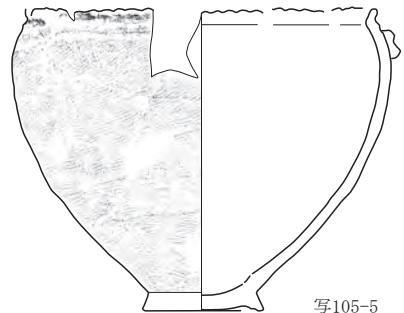
写104-15

ブロック4001

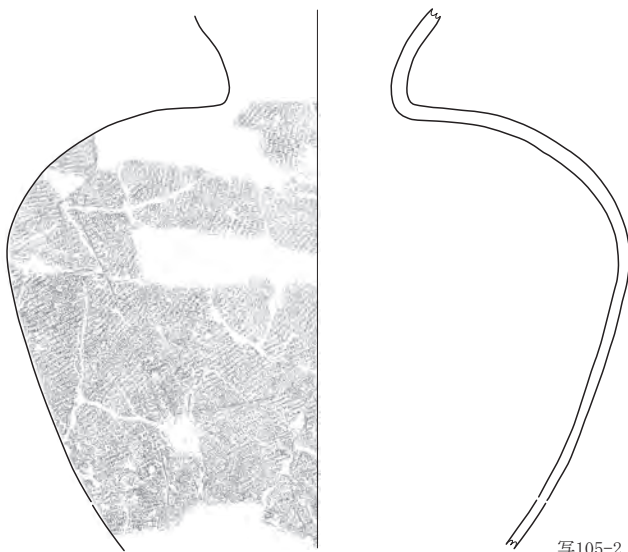


写104-14

ブロック16

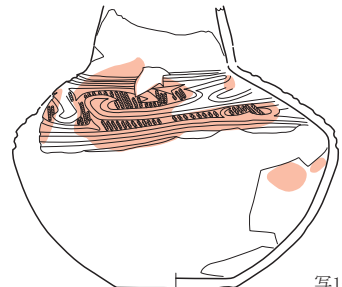


写105-5  
胎土分析028



写105-2

ブロック4003



写105-6  
胎土分析029

ブロック4004

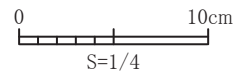
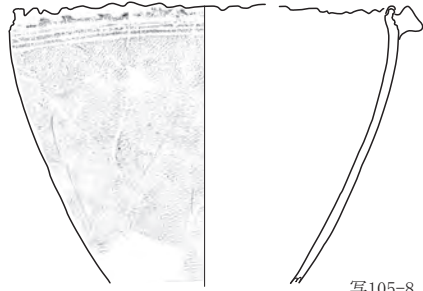
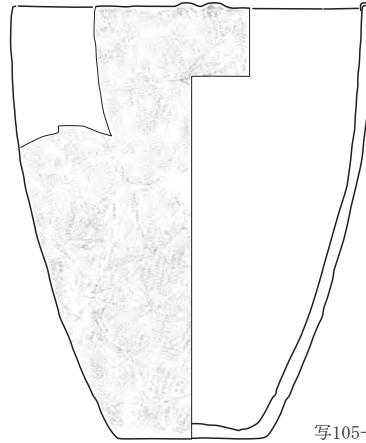


図84 北東捨場地区 土器(1) ブロック15・16・4001・4003・4004



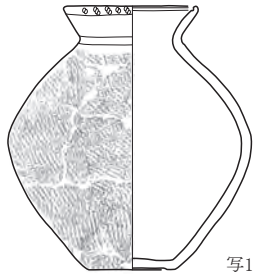


写105-8  
胎土分析023



写105-9  
胎土分析024

ブロック4005



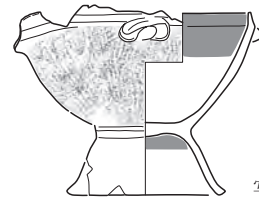
写106-3

ブロック4010



写106-5  
胎土分析027

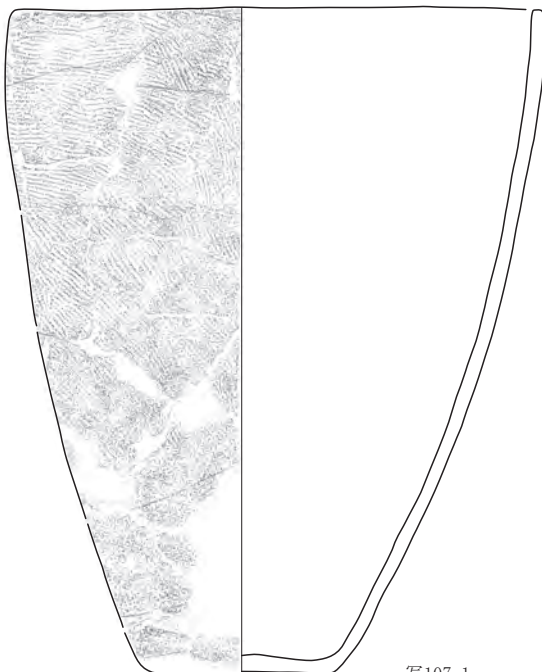
ブロック4011



写106-6  
胎土分析026



写106-7  
胎土分析025



写107-1

ブロック4018



写106-9

ブロック4013

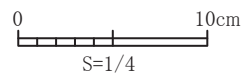
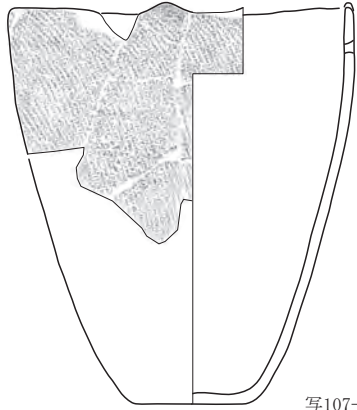
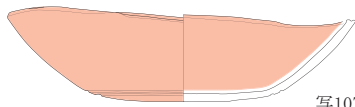


図85 北東捨場地区 土器(2) ブロック4005・4010・4011・4013・4018



写107-2  
胎土分析021

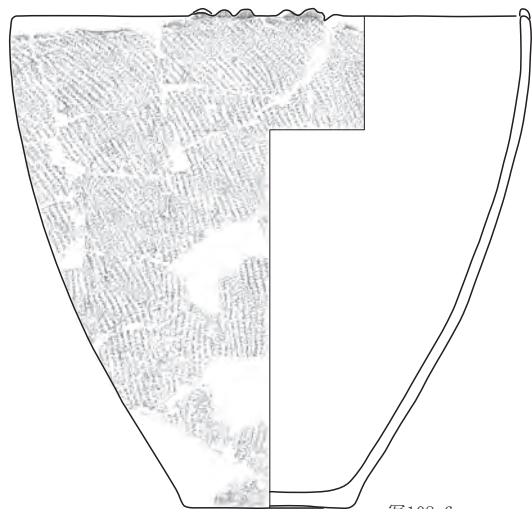


ブロック 4019

写107-8  
胎土分析022

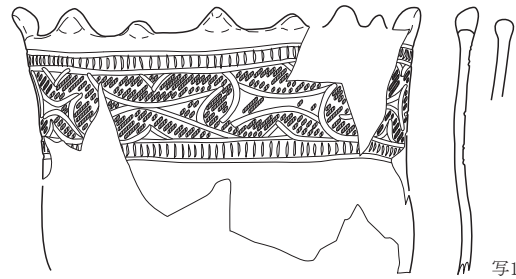


写108-5



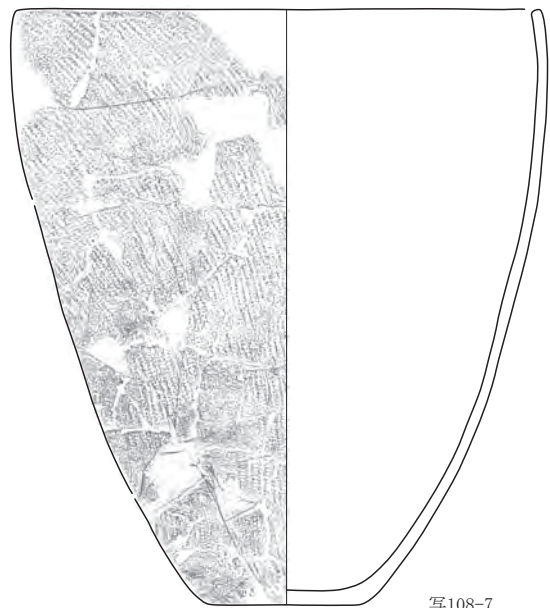
写108-6

ブロック 4024-1



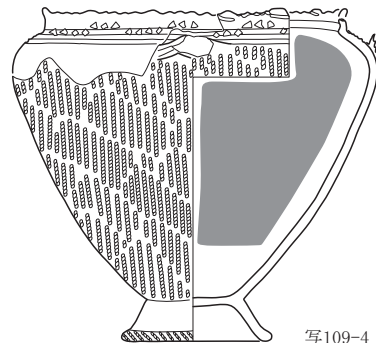
写108-1

ブロック 4022



写108-7

ブロック 4024-1, 4024-2



写109-4  
胎土分析019

ブロック 4024-2

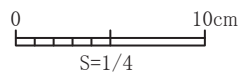
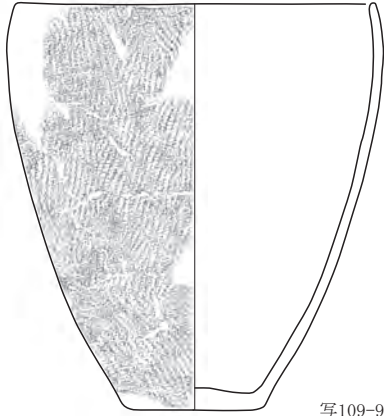
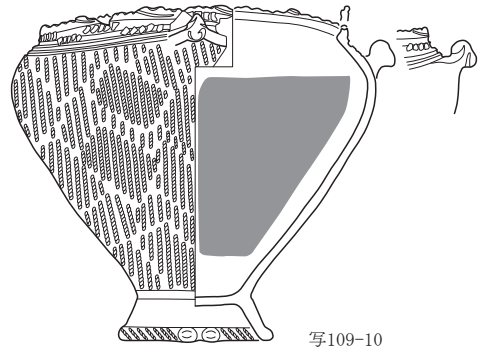


図86 北東捨場地区 土器(3) ブロック 4019・4022・4024-1・4024-2

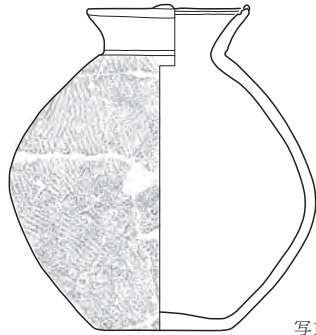


写109-9



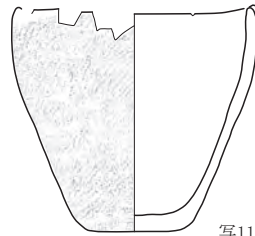
写109-10

ブロック 4025



写110-1

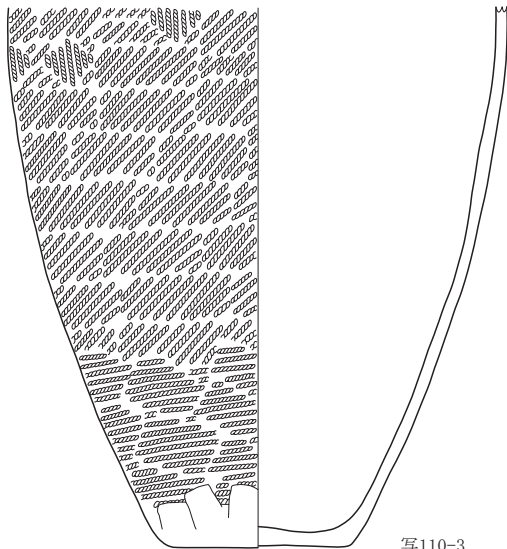
ブロック 4026



写110-5  
胎土分析014

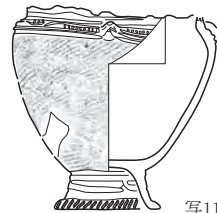


写110-6  
胎土分析015



写110-3

ブロック 4030



写110-7  
胎土分析016



写110-10  
胎土分析017

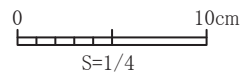
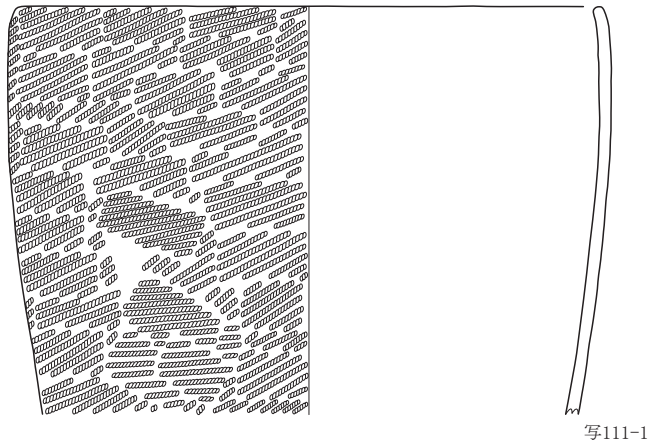
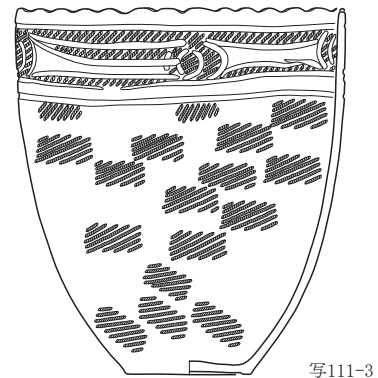


図87 北東捨場地区 土器(4) ブロック 4025・4026・4030

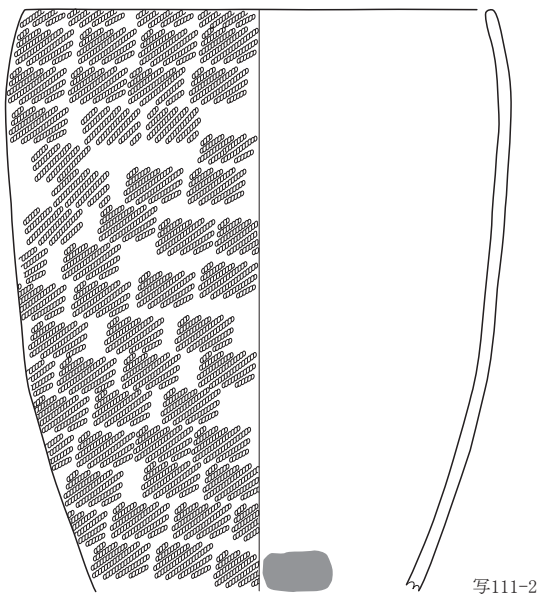


写111-1



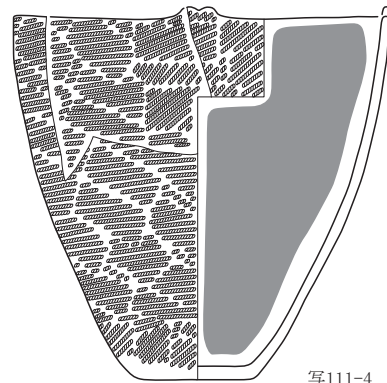
写111-3

ブロック 4031-2

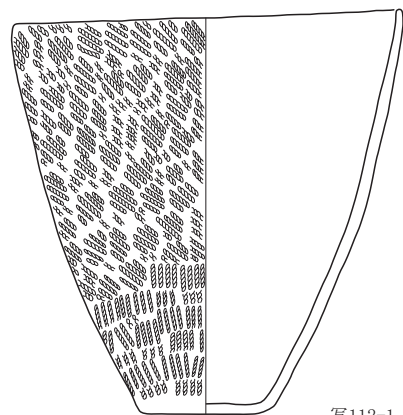


写111-2

ブロック 4031-1

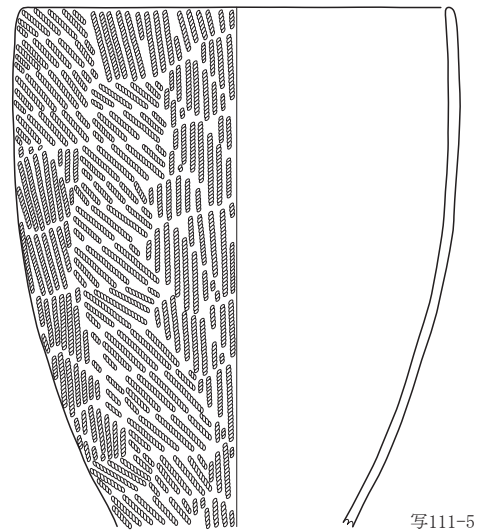


写111-4



写112-1

ブロック 4032-2



写111-5

ブロック 4032-1

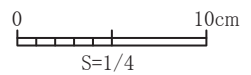
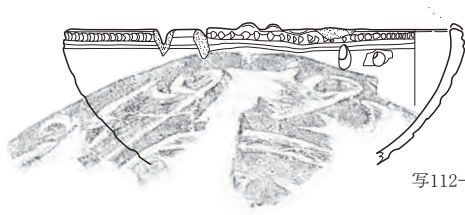


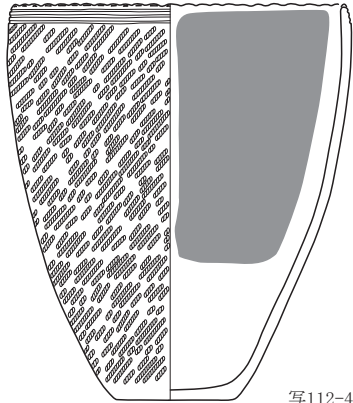
図88 北東捨場地区 土器(5) ブロック 4031-2・4032-1・4032-2





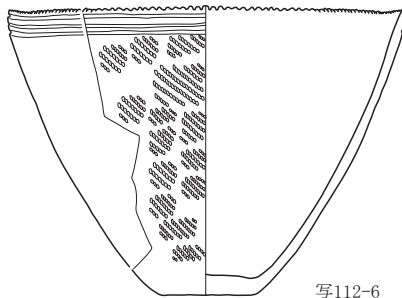
写112-2(赤彩)

ブロック 4032-3



写112-4

ブロック 4032-5



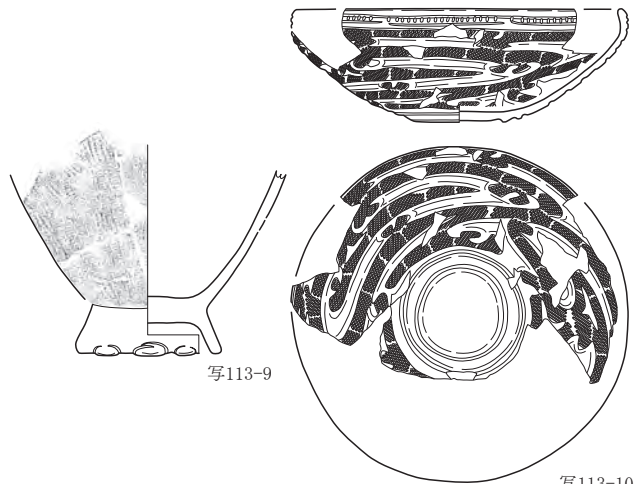
写112-6

ブロック 4032-6



写115-4

ブロック 4043下層A



写113-9

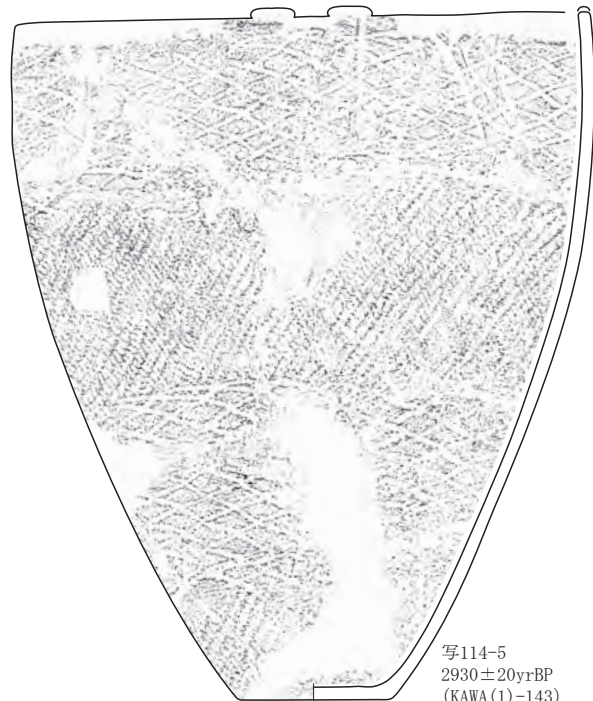
写113-10

ブロック 4037

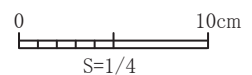


写114-1

ブロック 4038



写114-5  
2930±20yrBP  
(KAWA(1)-143)  
胎土分析030



ブロック 4041, 4047

図89 北東捨場地区 土器(6) ブロック 4032-3・4032-5・4032-6・4037・4038・4041, 4047・4043下層A



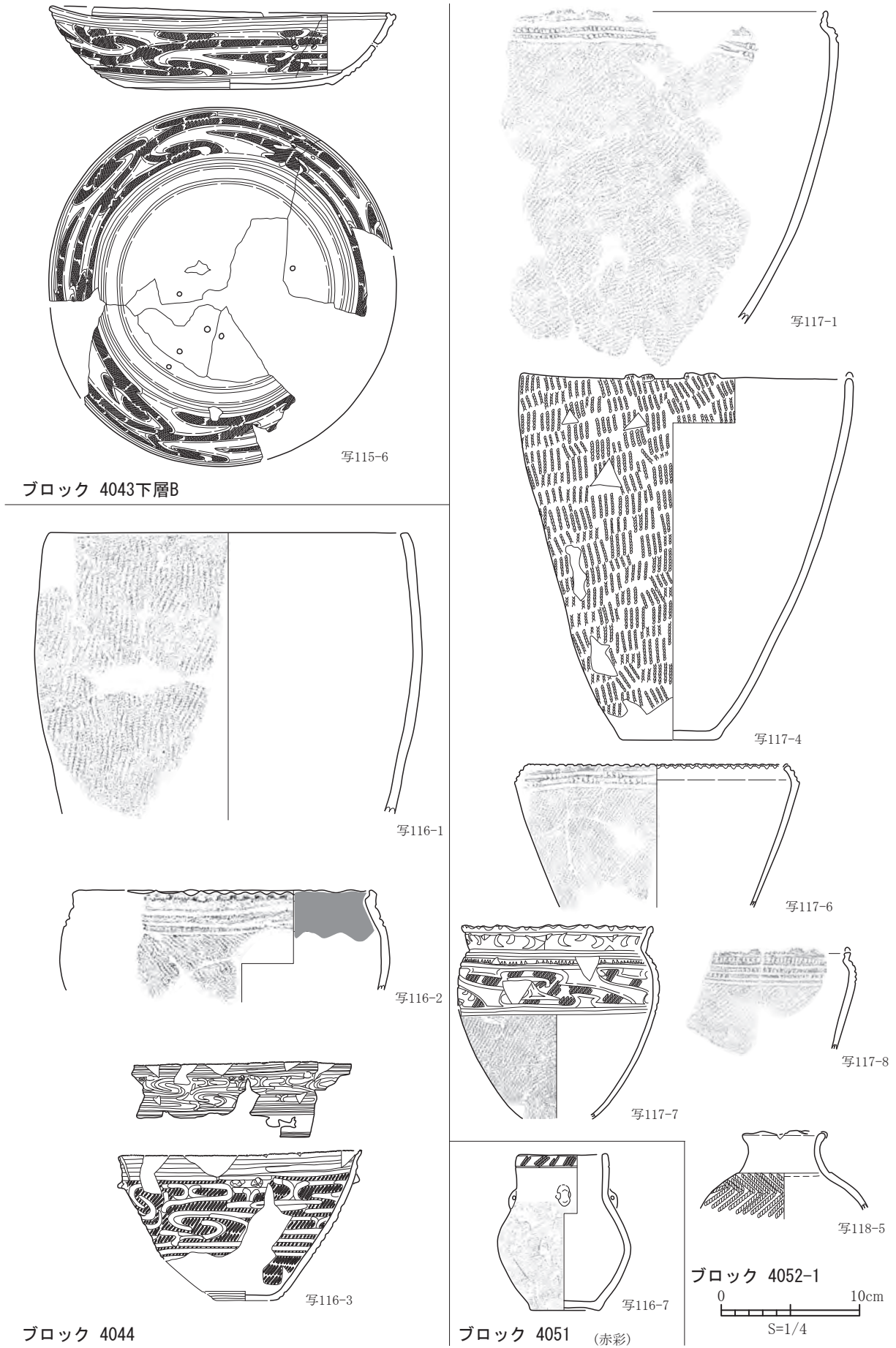
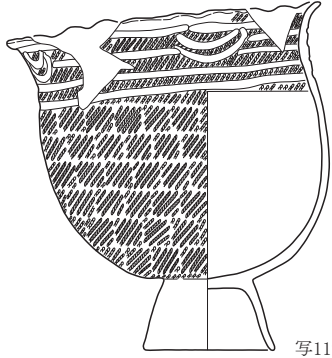
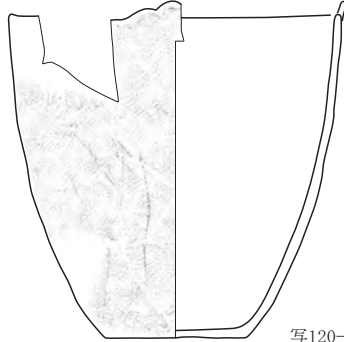


図90 北東捨場地区 土器(7) ブロック 4043下層B・4044・4051・4052-1

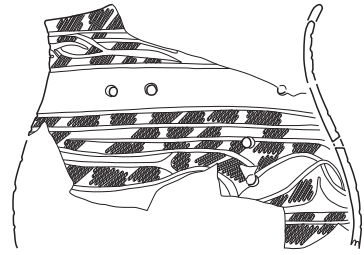


写119-7

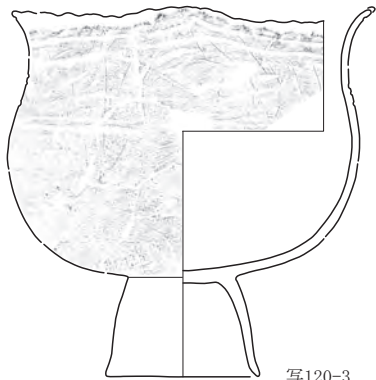
ブロック 4053-1



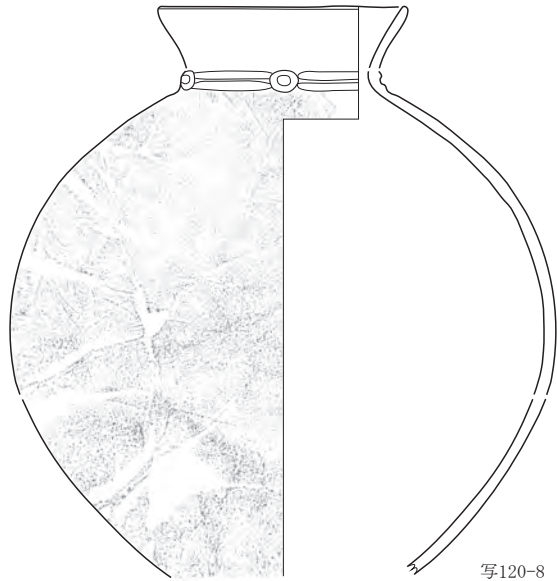
写120-4  
胎土分析010



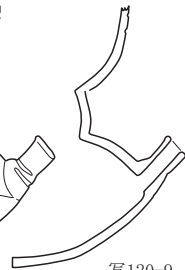
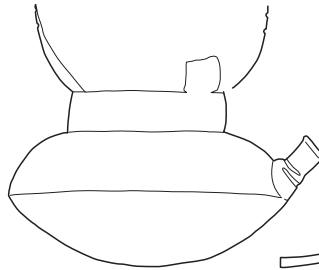
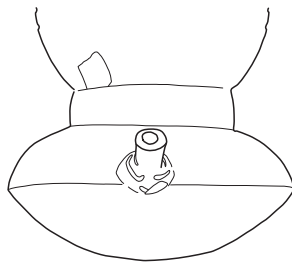
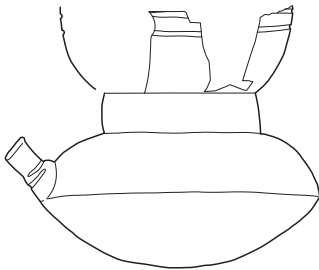
写120-6



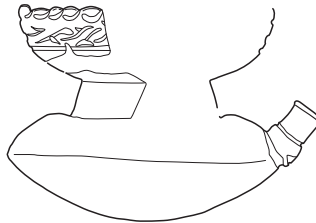
写120-3  
胎土分析008



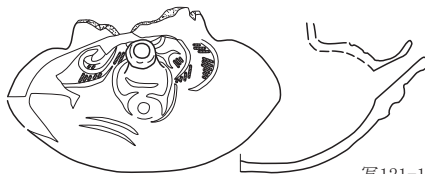
写120-8  
胎土分析009



写120-9  
胎土分析005



写120-10  
胎土分析006



写121-1  
胎土分析007

ブロック 4053-2

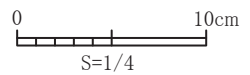


図91 北東捨場地区 土器(8) ブロック 4053-1・4053-2

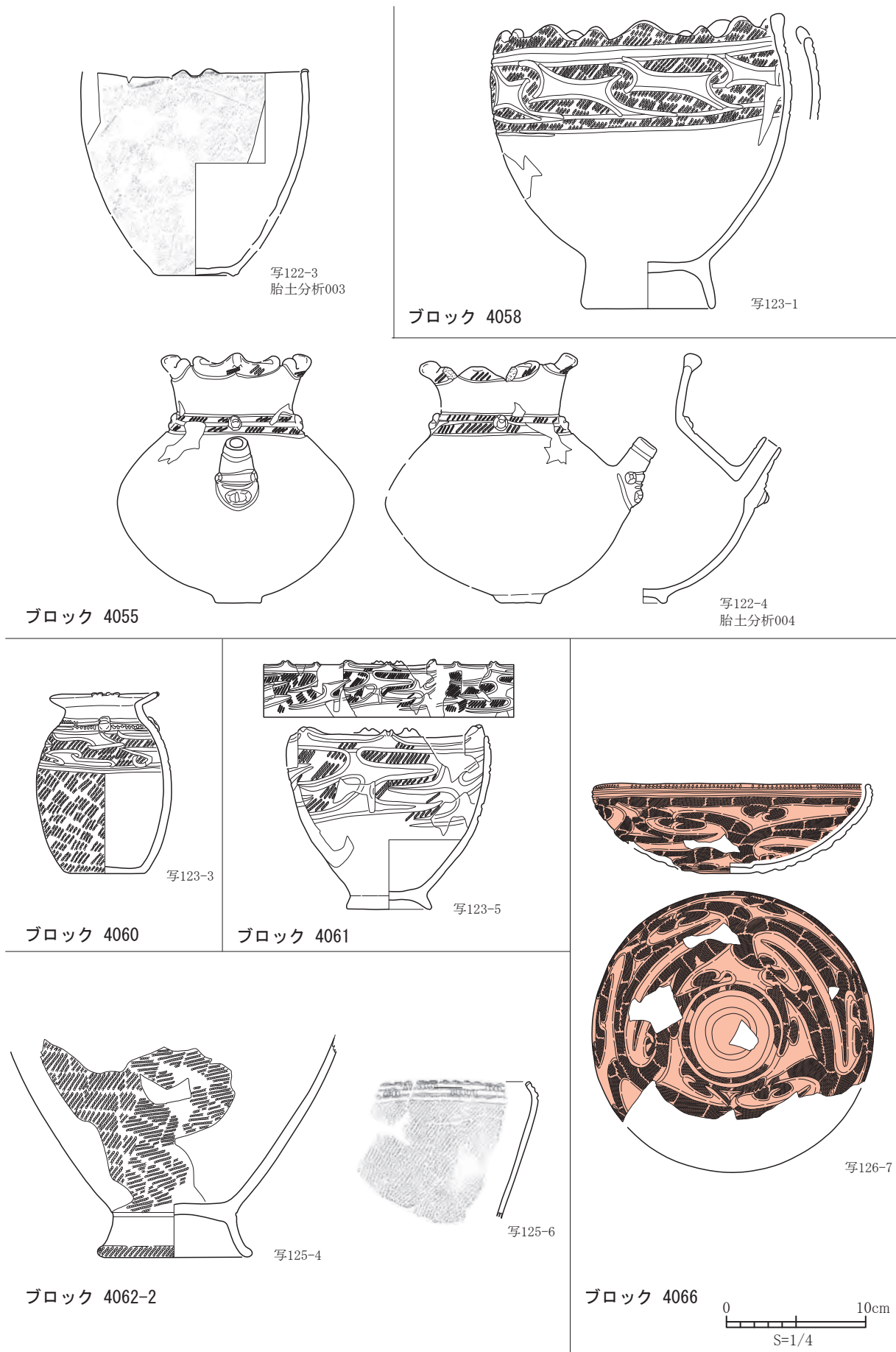
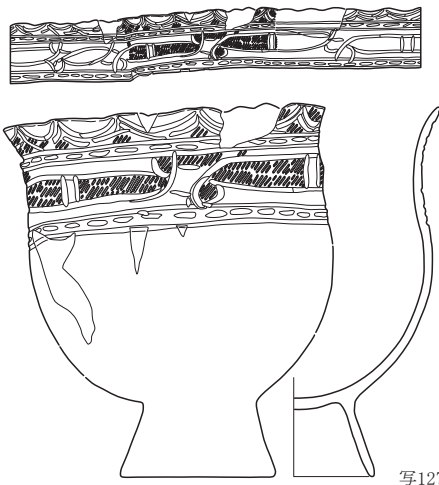
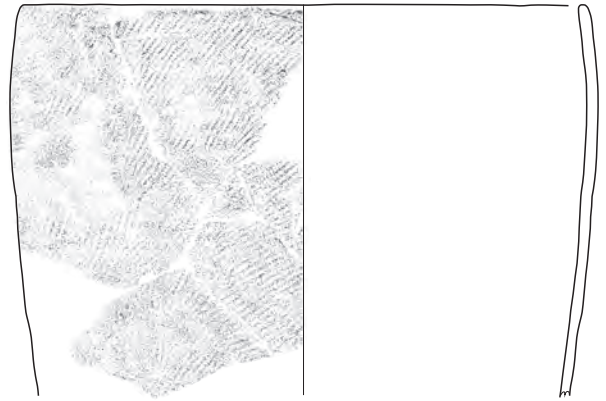


図92 北東捨場地区 土器(9) ブロック 4055・4058・4060・4061・4062-2・4066

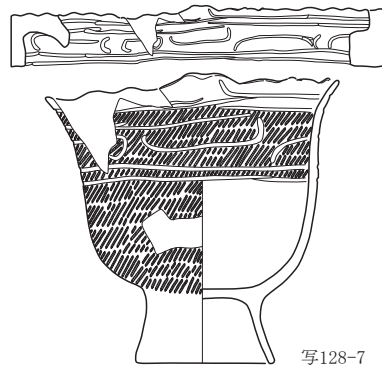


写127-3

ブロック 4070

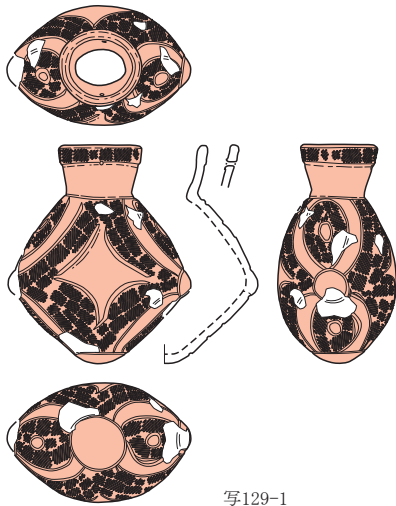


写128-6



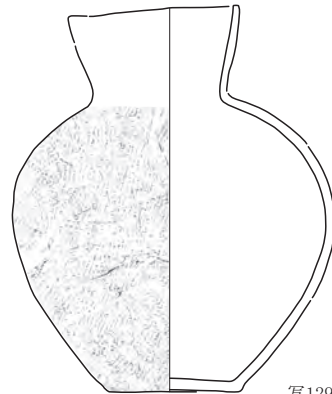
写128-7

ブロック 4075

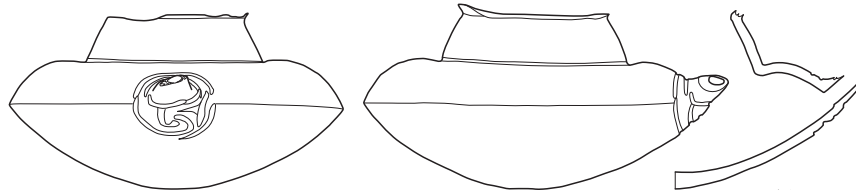


写129-1

ブロック 4078



写129-2  
胎土分析012



写129-3  
胎土分析011

ブロック 4080

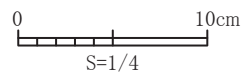


図93 北東捨場地区 土器(10) ブロック 4070・4075・4078・4080



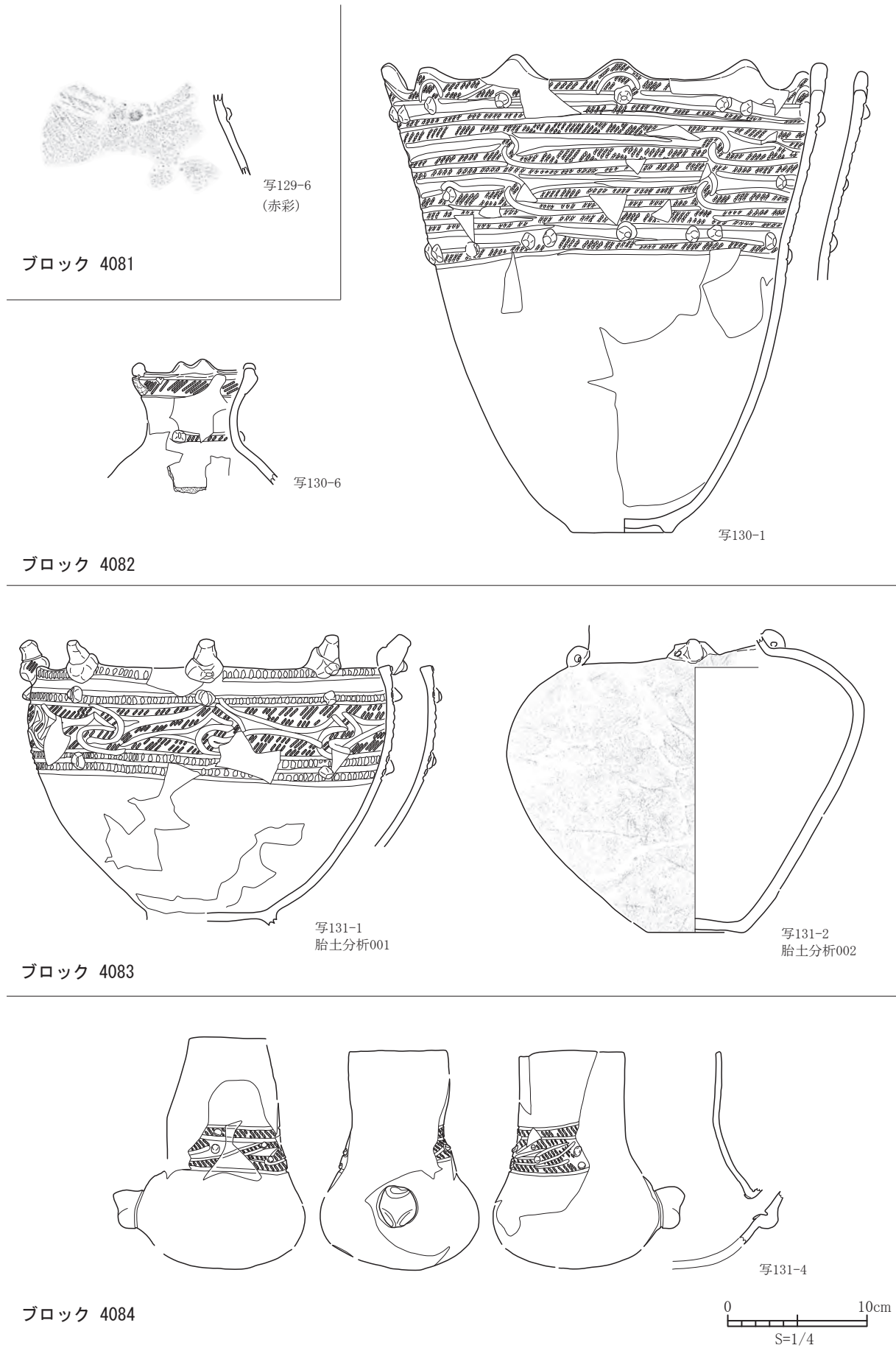


図94 北東捨場地区 土器(11) ブロック 4081・4082・4083・4084



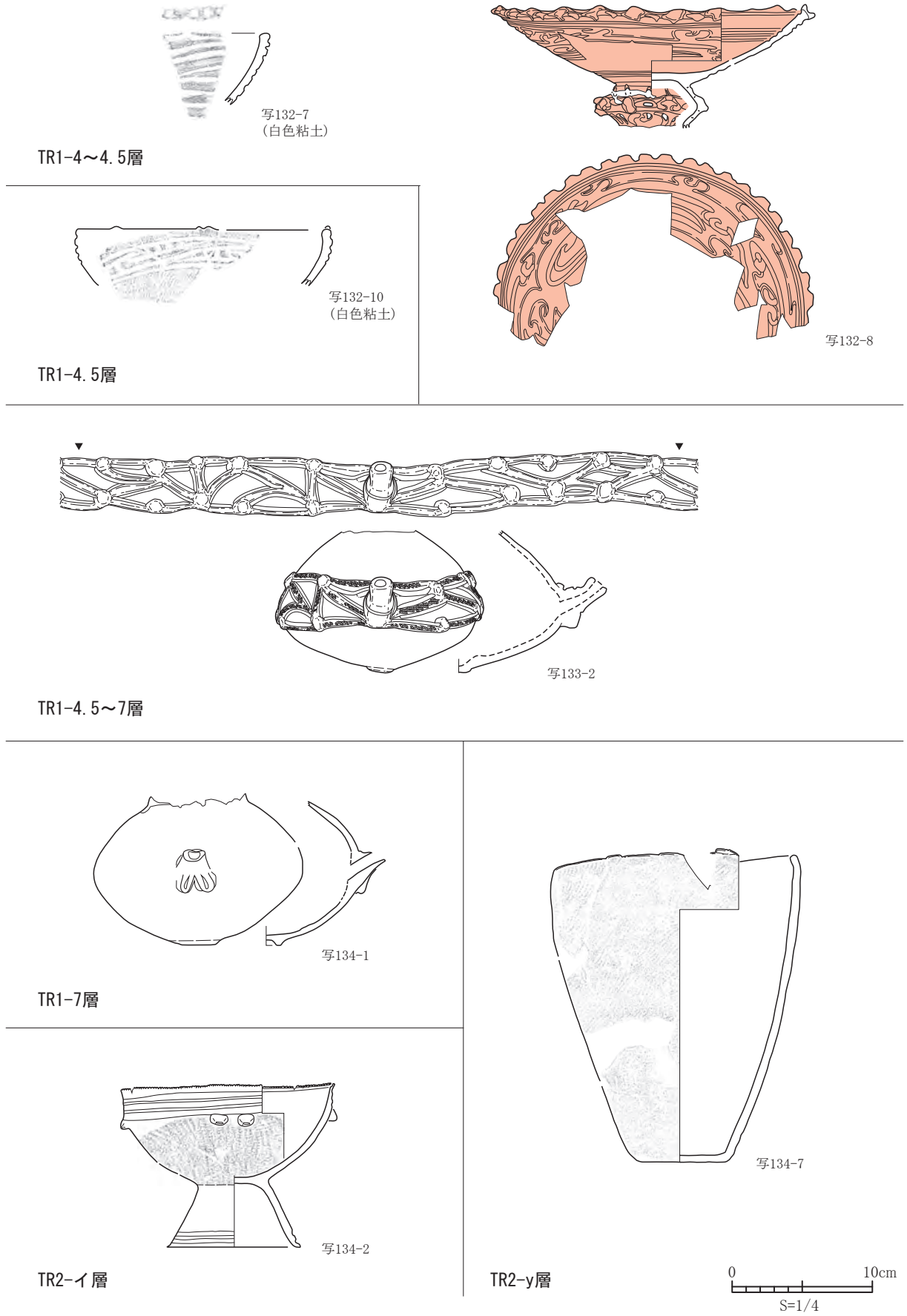


図95 北東捨場地区 土器(12) トレンチ1・トレンチ2

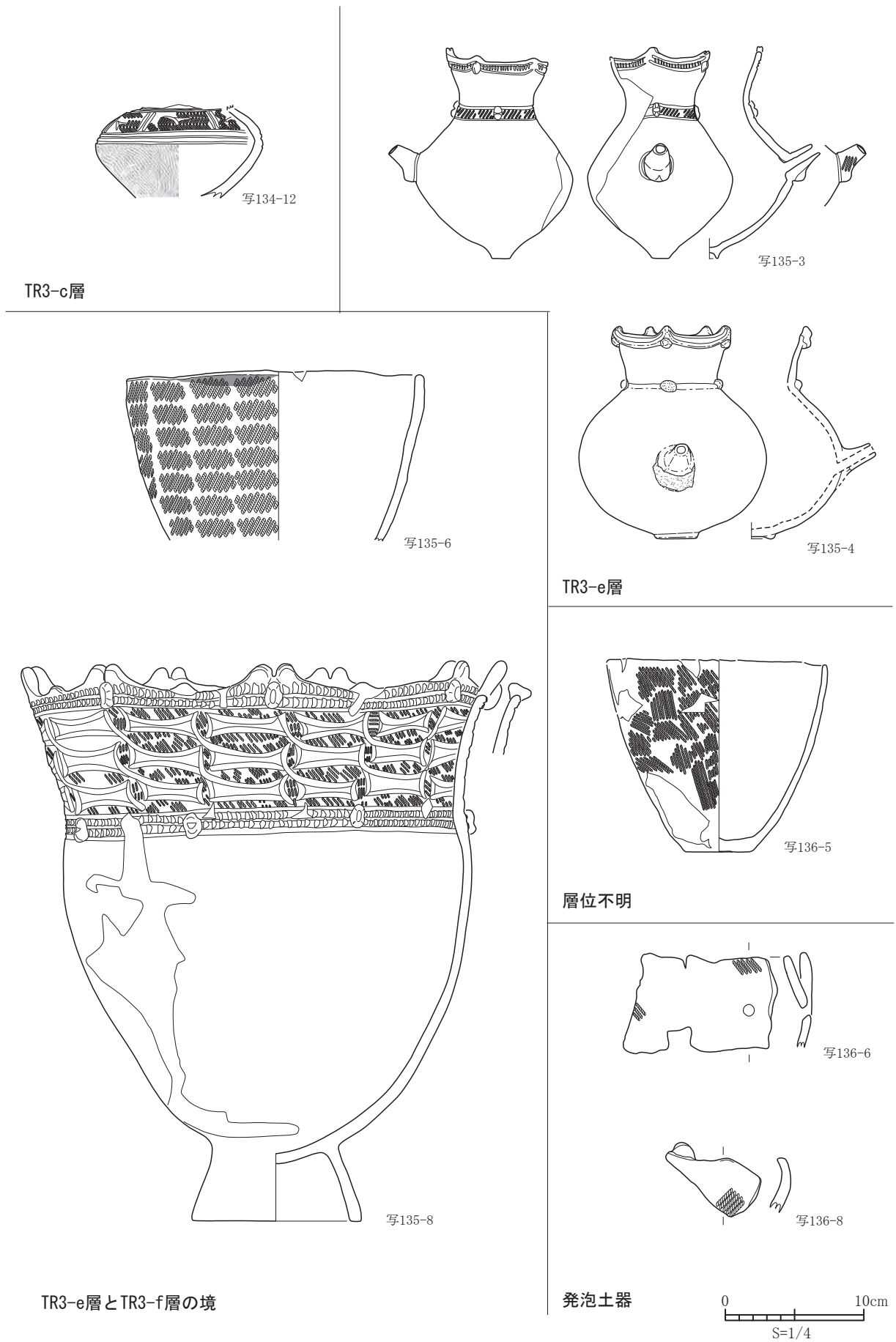


図96 北東捨場地区 土器(13) トレンチ3・その他

## 2 土製品

北東捨場地区からは、土偶10点、ケムシ形土製品1点、土製勾玉1点、耳飾り3点、有孔土製品2点、棒状土製品1点、粘土塊4点、円盤状土製品6点、ミニチュア・小型土器16点の計44点が出土した(図97～99、写真137～138、表12)。

**土偶**(図97-1～6・10・11、図98-18、写真137、写138-44)

土偶は10点出土した。土偶は中実と中空とに分かれて土偶を製作している。5の中実は頭頂部が平坦で皿状に顔面を施文せず、いかり肩を呈する。2は中実の手づくね土偶で体部の中央部に凹みをもつ。5は腕部が張る小形土偶である。4はアスファルトが付着、3は漆(?)、11は赤色顔料が付着し、18は赤色顔料と白色付着物がみられる。

**土製品**(図97-12・13、図98-14～32、図99-33～43、写真137～138)

**ケムシ形土製品**(図97-13)は1点出土した。当初は香炉形土器の一部とも考えられたが、断面が湾曲し、先端部(頭)及び側縁部に貼り出し(手・足)を表現しており土製品に分類した。正面は無文・背面に渦巻文・三角形文を施文し、背面のみに赤色顔料を塗布している。青森県では類例を知らず東京都東村山市下宅部遺跡の「ケムシ形土製品」と類似しているのでケムシ形土製品と名称を付した。

**土製勾玉**(図97-7)は1点出土した。無文で端部に穿孔があり欠損している。

**耳飾り**(図97-12・図98-14・15)は3点出土した。15は断面形が漏斗状を呈し、14は滑車形で赤色顔料が付着し、12は中央部に穿孔がみられる。

**有孔土製品**(図97-8・9)は2点出土した。中央部に穿孔があり側縁部に斜位の刻みがあり赤色顔料の付着がみられる。断面形は8が方形・9が楕円形を呈する。

**棒状土製品**(図98-16)は1点出土した。幅0.6cmで細長く両端が欠損している。

**焼成粘土塊**(図98-17・19～21)は4点出土した。直径2.0cmの小形なもの21から、6.5cmの大形なもの19があり表面は凹凸している。

**円盤状土製品**(図98-22～27)は6点出土した。深鉢・鉢の胴部破片で、すべて縄文を施文し、スス状炭化物の付着がみられる粗製土器である。25は周縁部を全体に擦っており、23・24は一部を擦っている。形態は円形が主体であるが、27は方形を呈する。

**ミニチュア・小型土器**(図98-28～32、図99-33～43、写真138)は16点出土した。29は全体に傾いており、37・42は赤色顔料を塗布している。33～35の鉢・台付鉢にはスス状炭化物が付着している。壺は形態が胴部が張り出すものと張り出さない二種の形態がみられる。28・43は注口土器、28は胴部が算盤状、43は壺に注口がつけられており、普通の器種にはみられないものである。

(成田)

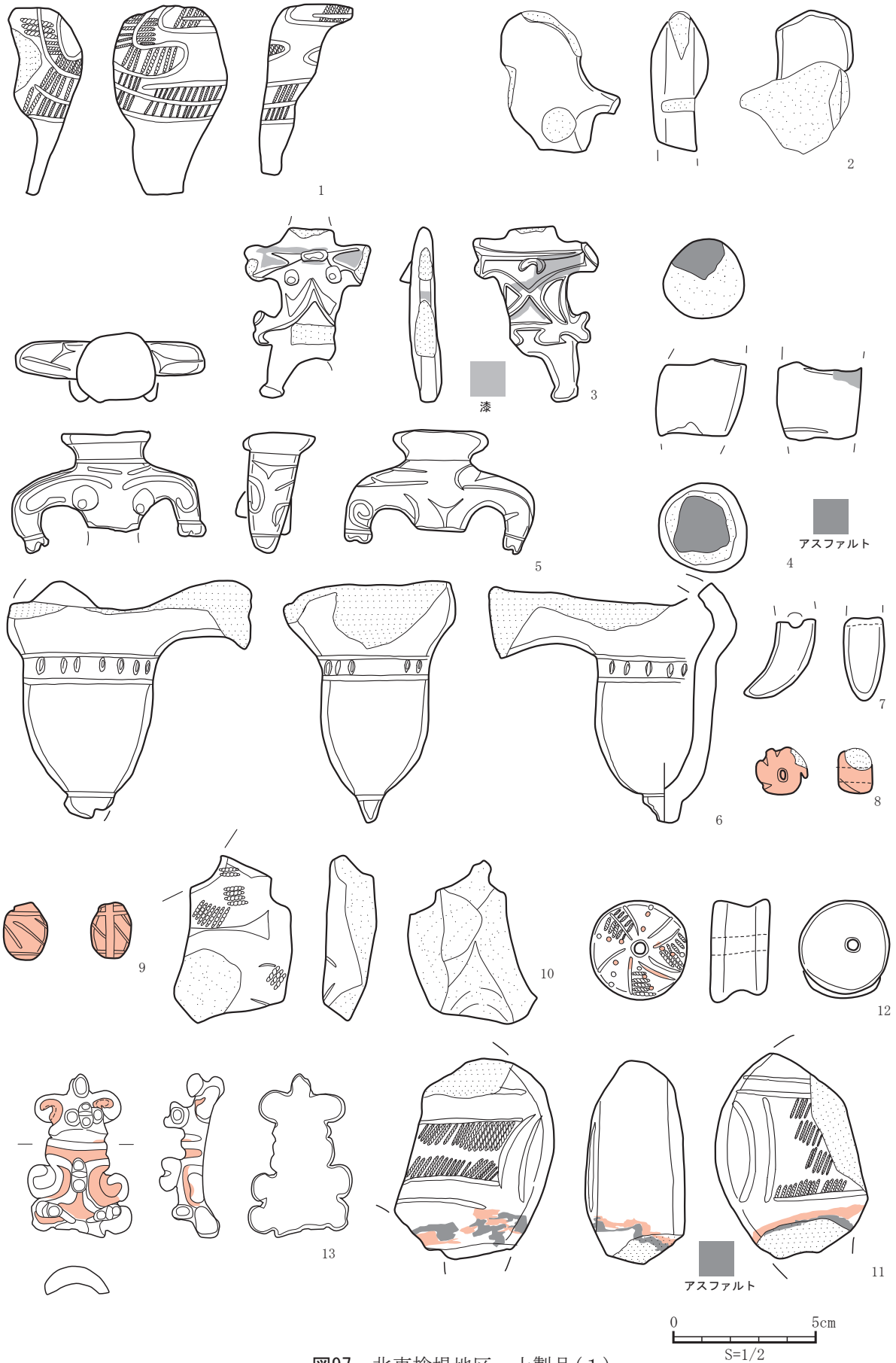


図97 北東捨場地区 土製品(1)

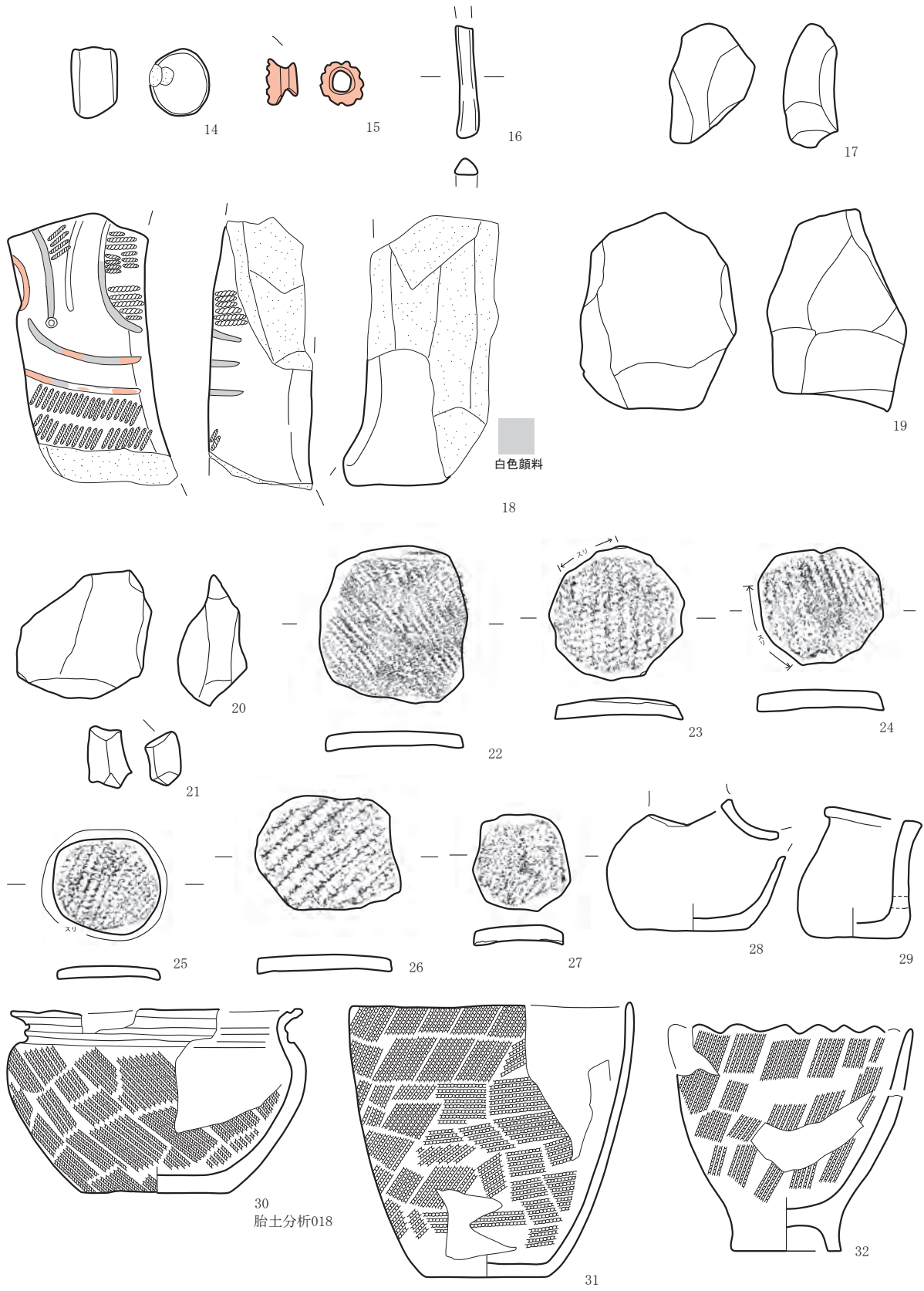


図98 北東捨場地区 土製品(2)



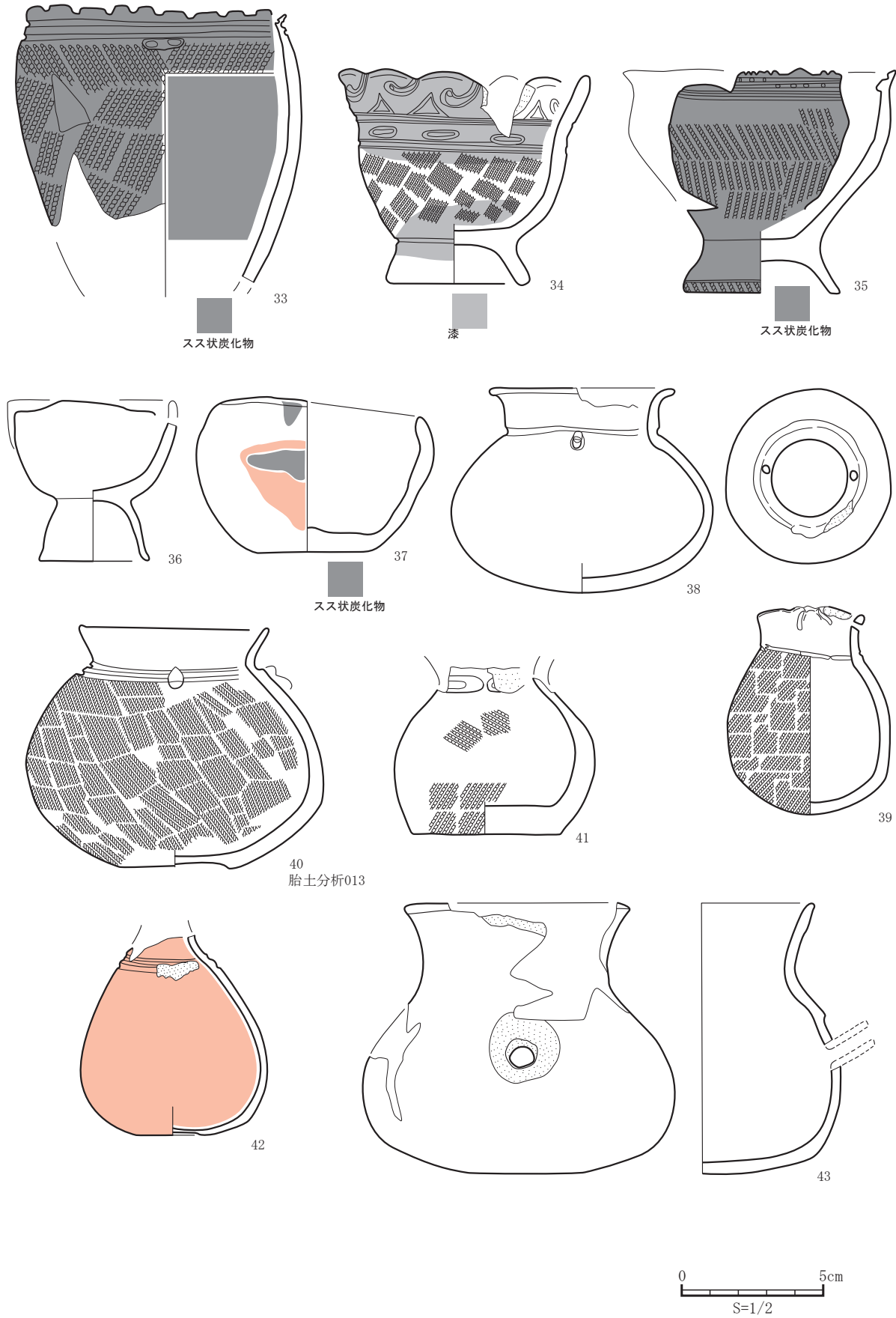


図99 北東捨場地区 土製品(3)

### 3 石器

東捨場と同様に、北東捨場でも写真掲載を基本とした。より細かく細分されている北東捨場の土層に対応させて、同種の石器においても若干離れて掲載したものがある(図100~108、写真139~162、表16)。

#### 剥片石器

一括出土品を除き写139-1~143-19、写143-23に掲載した。石鏃は有茎凸基鏃が多くを占め、丁寧な加工で整った左右対称のものが多い。写139-41の基部は二つの突起にわかれる異形の石鏃である。51~70は石錐である。石錐はほとんどが珪質頁岩であり、黒曜石製のものを含まない。68は、石鏃転用の可能性のある石錐であり、先端部が摩耗している。同71~75は、石篋である。石篋には珪質頁岩のみ使用されている。写140-1~141-17は石匙である。東捨場と同様に、横型が主体である。丁寧な加工でアスファルトの付着率が高い。縦型石匙はつまみ部のみ加工したものが多い。写141-10は、つまみ部と対になる左上の部分に抉りを加工して突起を作り出している。このような突起には写140-10のように両側に抉りが設けられることが多いが、片側のみである。写141-18~22・25は石錐未製品の可能性があるが削器とした。写141-23・27・29・31及び写142-11・19・20は異形石器である。写141-23は黒曜石、同31・142-11は鉄石英、142-20は玉髓と石材及び色は多様である。

写141-30は大形の石核で、縁辺から求心的に剥片を剥離している。写142-6は、求心的な剥片剥離が両面で行われている。同5は、縁辺の剥離面を打面として、さらに剥離を進行させたものであり、端部が尖った形状に近づいている。写143-19は三稜状で両端が尖る状態まで剥離が進行したものである。中央部で最後の剥離と敲打を行い、抉りが作りだされている。上下と左右が線対称に近づくため、異形石器に形状が類似する。写142-1は上面の打面から縦長の剥片が剥離されている。写141-24・32~34・142-8・143-8・9・10・13・16は石核転用敲石である。敲打の際の衝撃が小さく制御しやすい小形品が中心である。石核の変形という意味から石核とあわせて掲載した。写142-23は玉髓の原石を用いた敲石であるが、同様に扱った。写143-7・15・23は黒曜石製石核である。

(齋藤)

#### 一括出土石器(特4005)

北東捨場地区の中でVL-46グリッドのTR2-b~TR1-4層から特4005(剥片集中)として、剥片を中心に84点取り上げられている。石器の色や質をもとに母岩別に分類し、10のグループに分類できた。その中で、最も多い母岩1については、接合作業を行い、9個体の接合資料が得られた。川原平(1)遺跡から出土する珪質頁岩の中でも珪酸分が弱い部類にはいるが、同様な質のものも石器として加工されている。

図101~103に主要な物であるA~Dを図化した。接合資料は図よりもカラー写真の方が理解しやすい。図示しなかった資料も紹介できる。そのため、写真144~147をもとに記載する。

写144-1は石核、二次加工剥片、剥片による接合資料で、9点接合した。個体A(重量849.9g)として記載する。A-1・3~8が剥片、A-2が二次加工剥片、A-9が石核である。1'にはA-1~4を除いて正面からみた写真を置いた。正面に節理面、上面に礫面が残る。途中で打面調整等を行った痕跡はみられ

ない。剥片剥離工程としては、初めに下方向から剥片を2枚剥離する(A-1・2)。次に打面を180°転移し、剥片を1枚剥離する(A-3)。その後、打面を90°転移し、同方向から連続して5枚の剥片を剥離する(A-4～8)。ここまでで得られた剥片は、A-1が縦型の石匙や削器、A-3・4が石鏃になり得る素材である。また、それ以外は比較的厚手の剥片である。珪化の弱いこともあり、廃棄されることが多いものと考えられるが、厚形の削器になり得る素材である。

写145-1の接合資料は、個体B(重量244.6g)として記載する。正確にはB-1～5の5点の接合品と、B-6・7の2点の接合品に分かれ、B-3とB-6の間の剥片が1枚欠失しているために接合しない。しかし、ほぼ位置が特定できるため、あわせて図化し個体Bとした。写真及び図では、B-3とB-6の間隔を1mm程度としたが、1cm程度離れる可能性もある。正面に礫面が残る。剥離工程は、初めに上方向から6枚剥離する(①～⑥)。この時、③においては打面に数回打撃を行った痕跡がみられる。また、B-5は折損しており、剥片剥離時はB-1～4及びB-6と同じ打面から剥離したと考えられる。その後、打面を90°転移し、1枚剥離する(⑦)。⑦を剥離する際に、数回の打撃により打点の稜が潰れていることから、頭部調整を行った可能性がある。これらの剥片はB-1・6が石鏃、B-3が石匙や削器になり得る素材である。

写145-2の接合資料は、剥片3点の接合品である。個体C(重量118.5g)として記載する。正面に個体Bと類似した礫面が残る。接合はしないが両者は本来は近い位置にあったものと考えられる。頭部調整等を行った痕跡はみられない。全て上方向からの打撃により剥離されている(①～③)。これらの剥片は全て石匙や削器になり得る素材である。

写146-1は剥片3点の接合資料であり、個体D(重量107.8g)として記載する。正面と右側面に節理面、上面に礫面が残る。頭部調整等を行った痕跡はみられない。個体Cと同様に全て上方向からの打撃により剥離されている(①～③)。①においては数回打撃を行った痕跡がみられる。これらの剥片は、D-3が石鏃や削器、D-1・2がそれに加えて石匙や石篋になり得る素材である。

以上の個体A～Dは石材の質や混入物、色調等から同一母岩であるが個体としても同一の可能性はある。写真147には、その他の接合資料と主要な剥片を記載する。

写147-1～5は2点の剥片が接合したものである。礫面を残すものがみられるのは個体A～Dと同様であるが、接合しなかった。6以下は、未接合の剥片である。6と11が削器素材となり得る縦長剥片である。これらも礫面や節理面が残るものがみられる。

今回紹介した接合資料は、個体Aの礫面の外郭からみて、分割される以前は大形の礫であったと推測され、そのような大形原石を採取後、分割し、石器製作に利用していることが分かる事例である。また、これらの資料は、頁岩の中でも珪質分が少ないように見受けられる。

一方、川原平(1)遺跡で出土した頁岩製の剥片石器は珪質分の少ない頁岩も利用してはいるものの、良質な珪質頁岩が大半を占める。このことから、これらの接合資料は、石器製作に利用するための剥片を剥離しようとしたものの、中核部分でも珪質分の少ないものしか獲得できず、一部を除いて捨場に廃棄したと考えられる。石鏃や削器、石匙の素材となり得る形状の剥片も利用しなかった。

また、写真146の2には母岩1の、他の剥片24点を掲載した。小形削器の素材になりそうな物は1～2点である。他に写真から漏れた剥片が1点あるが、石器素材とはならない。母岩2は、砂岩であり剥片石器には質的に不向きである。同時に出土した18点の剥片は母岩3～10と8種類に分類できる

が、礫皮付近の灰白色の軟質部の割合が高いものや、被熱により表面等が変質しているものがある。石器素材となりうるものはない。母岩1に由来するものを含め、最終的に利用されなかった石器素材等を捨場に一括廃棄したものと考えられる。(久保・齋藤)

### 磨製石斧

磨製石斧は写真143(図104)に掲載した。石材は安山岩、緑色岩、緑色片岩である。

写143-20は、緑色片岩製であり、扁平な形状である。刃部などは剥離されている。写143-22は、緑色岩製で、基部が欠損し、破損面を中心に敲打痕が見られる。

(高橋)

### 礫石器

写真148～162、171-5に掲載した。磨石類は磨面と敲打痕など複数の種類の使用痕を持つものも多いが、主体となる使用痕から概ね磨石、敲石、凹石、石皿の順で掲載した。磨石では花崗岩が多いが凹石は凝灰岩が多い。写151-2は真円に近い形状の円盤状の礫を素材としている。側面使用の敲石としたが、石製円盤の可能性もある。

写155-1は、隅丸方形の板状礫の両面中央に浅い凹痕が形成される凹石である。軟質の緑色凝灰岩製であり、素材礫が方形に近く、石製品を思わせる形状である。同7は二次加工のある礫で礫器とした。

石皿は石材や縁ありと縁なしと形状の多様性がある。写156-7・8は中高の石皿である。8は正面の下部に石皿の縁が低い部分がある。裏面には脚部と考えられる二つの突起を上部に作り出している。裏面にも磨面が形成され、写真で中央に白く見える部分の下側に、敲打痕がある。また、裏面の中央部左側から下部左側には、器形に沿って溝状に敲打痕が連続する。その延長上の下部右側にも敲打痕があり、当初の意匠としては溝を下部に半周させようとした可能性がある。写162-10は両側縁に剥離があり、大型の石錘の可能性もある。

礫についても本項で述べる。写170-4は石皿に類した窪みを持つ自然礫である。同9は有孔の自然礫である。同10～12は緑色凝灰岩の玉素材であり、12は器表面に光沢を持つ。

(齋藤)

## 4 石製品(図109～114、写真163～173、表16・17)

石器と同様に写真番号をもとに記述するが図化の進んだ岩板は図番号で記述する。

### 石棒類

石棒類は写真163、164(図109・110)に掲載した。石材は粘板岩が大半である。

写163-1は、内反りの石刀である。柄頭と先端が欠損している。柄部付近に2条の沈線が巡る。また、峰にそって沈線が1条走る。柄部は北東捨場から、刀身は川原平(4)遺跡の北東捨場延長地区から出土している。写163-2は、点紋粘板岩製の石剣である。柄部が欠損している。写163-3は、大形品である。

同一グリッド・層から出土したもの同士が接合した。柄部は破損している。写163-4は、大形品の胴部資料であり、表土とTR3-e層とが接合した。写163-5は、断片資料であるが、一片が西捨場から出土している。写163-6は、凝灰岩製である。写163-7は、柄頭と胴部の境に2条の沈線が巡る。写163-8は、蛇頭形の柄頭を持ち、柄頭部にX状の沈線文が施され、沈線内に赤色顔料が残されている。柄部には敲打痕が残されている。写163-9は、点紋粘板岩製石剣である。柄頭と胴部の境に1条の沈線が巡る。写163-10は、柄頭と胴部の境に2条の沈線が巡る。写164-4は、3分割された石棒断片である。中心の破片が東捨場のIVX-52グリッドから出土している。写164-5は、安山岩製であり、敲打で整形されている。

写真のみの掲載は、胴部や先端部などの断片である(写164-1~3)。

(高橋)

### 岩版(図111)

形態は端部が丸みを有する楕円形(図111-5・7・9)と端部が平坦なもの(図111-1・6)の二種の形態が存在する。

図111-1は、中心部に正中線を施文し、左右に三角形文を充填しており、浮彫的技法を用いて施文している。同3・5・7は眉・目・口を表現する。3・5は左右に弧状文、7は渦巻文のC字文を施文している。3は裏面に渦巻文を施文している。9は正中線の左右に弧状文と山形状文を施文している。4は方形文を施文している。

(成田)

### その他の石製品

線刻礫を写171等に、石製円盤を写166-1~170-3・18に掲載した。写170-18は、器表面に線刻を持つ石製円盤である。石製円盤は形や加工状況、大小の大きさ、石材は多様性がある。写真172~173に集合写真としても掲載した。集合写真毎に円13~22までの番号で北東捨場と北東捨場延長部分をあわせて掲載した。石材毎に撮影することはできなかったが円13は花崗岩、円14は相馬安山岩、円15はデイサイトと安山岩、円16は凝灰岩、円17・18は(緑色)凝灰岩を主体としたものである。円16及び円21には観察表に示したように計5点、西捨場のものが入ってしまったが、西捨場の点数として報告書VIIIで修正する。円23は石製円盤に形状の類似する礫である。石材と大きさは共通している。

(齋藤)

## 5 その他の遺物(写真174、表18)

漆製品3点、アスファルト3点が出土した。

漆製品は漆塗膜と堅櫛が出土した(写174-1・2)。写174-1は漆塗膜であり、籃胎漆器と思われる。写174-2は結歯式堅櫛の棟部で、平面台形状を呈し、上端に三角形の突起をもつ。体部に数個の瘤状突起が認められる。櫛歯は残存しないが、歯の痕跡が9箇所認められる。西捨場地区でも同形態の堅櫛が出土している(報告書VIII-写280-7~10参照)。

(中澤)



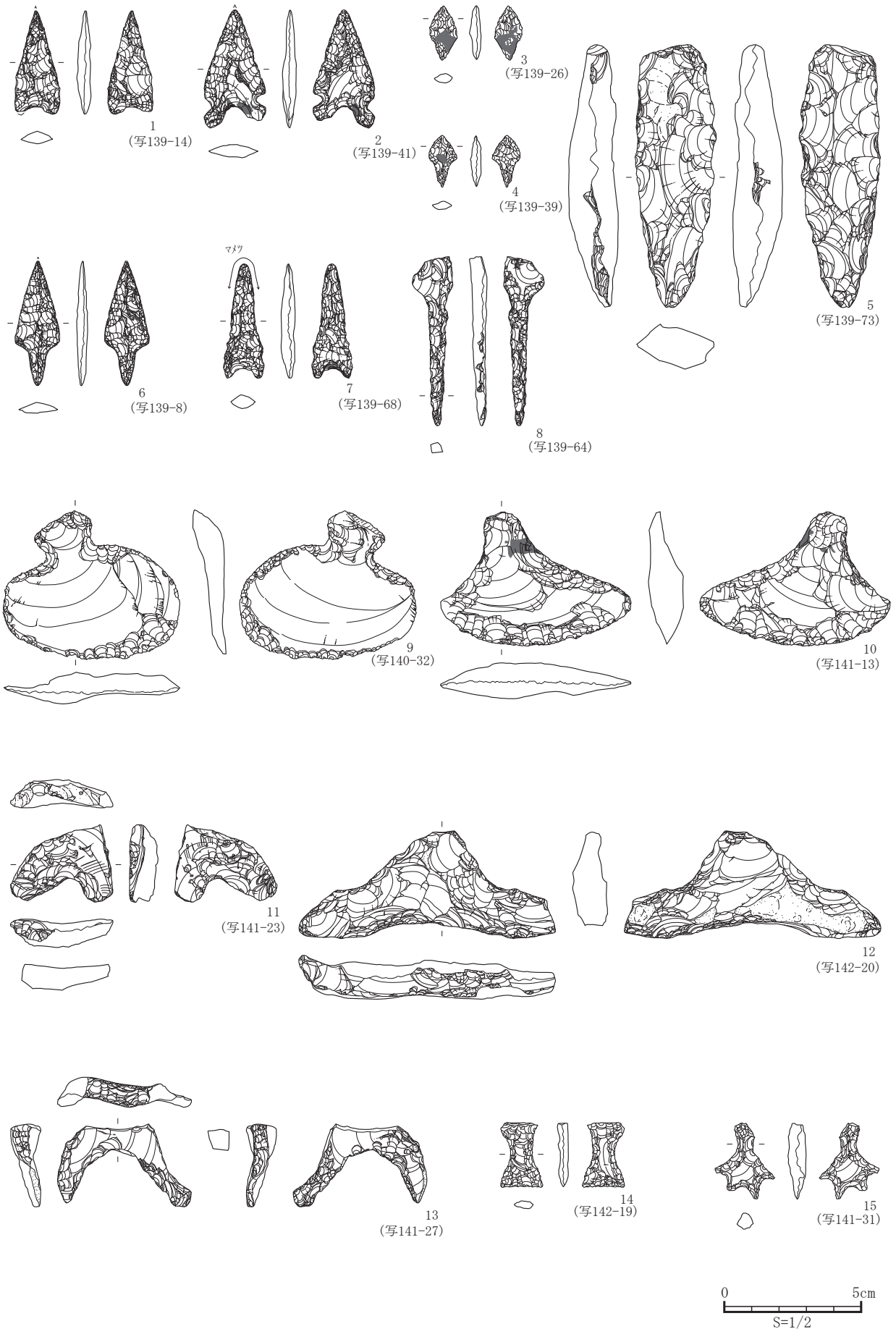


图100 北東捨場地区 石器・石製品(1)

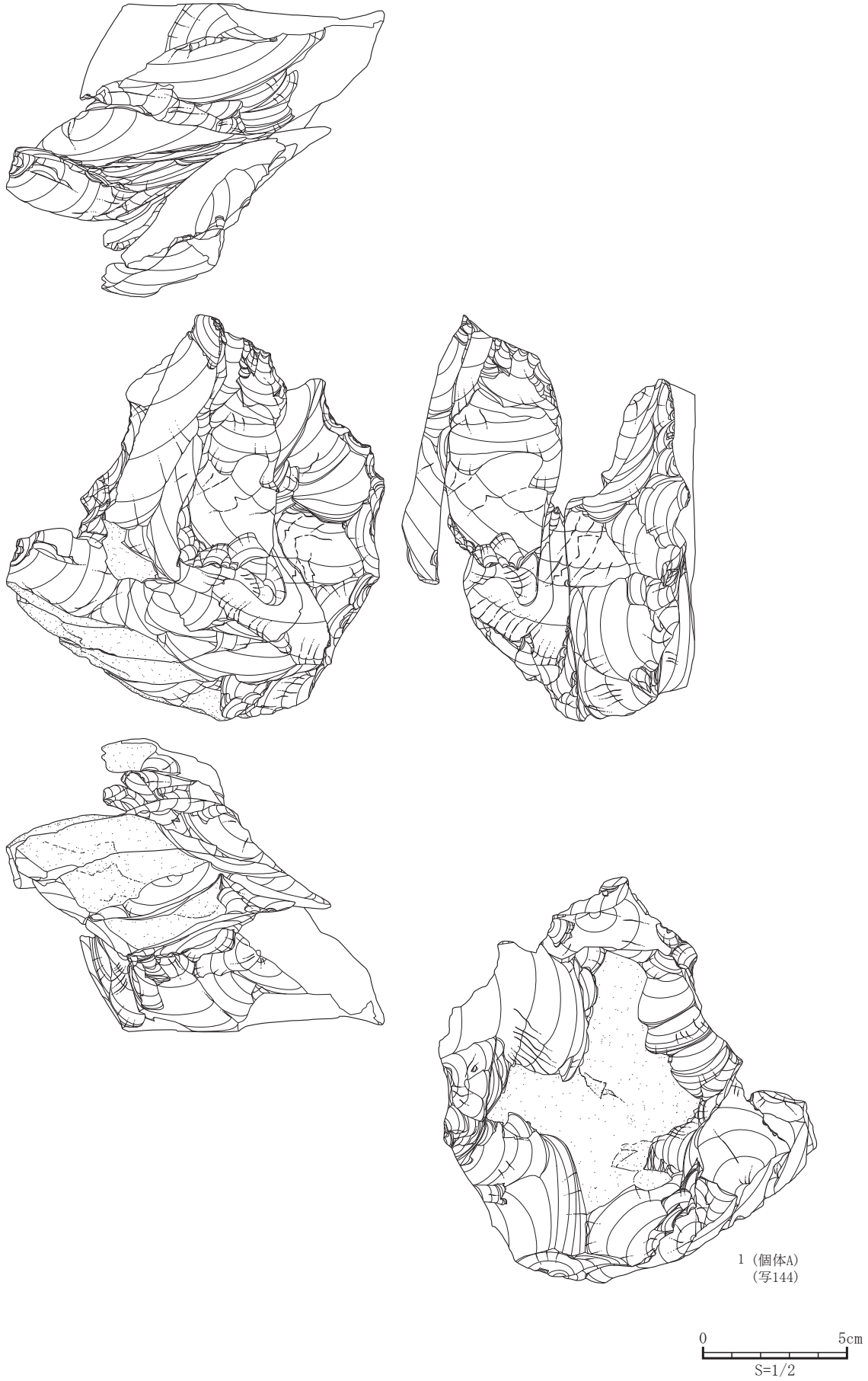


图101 北東捨場地区 石器・石製品(2)

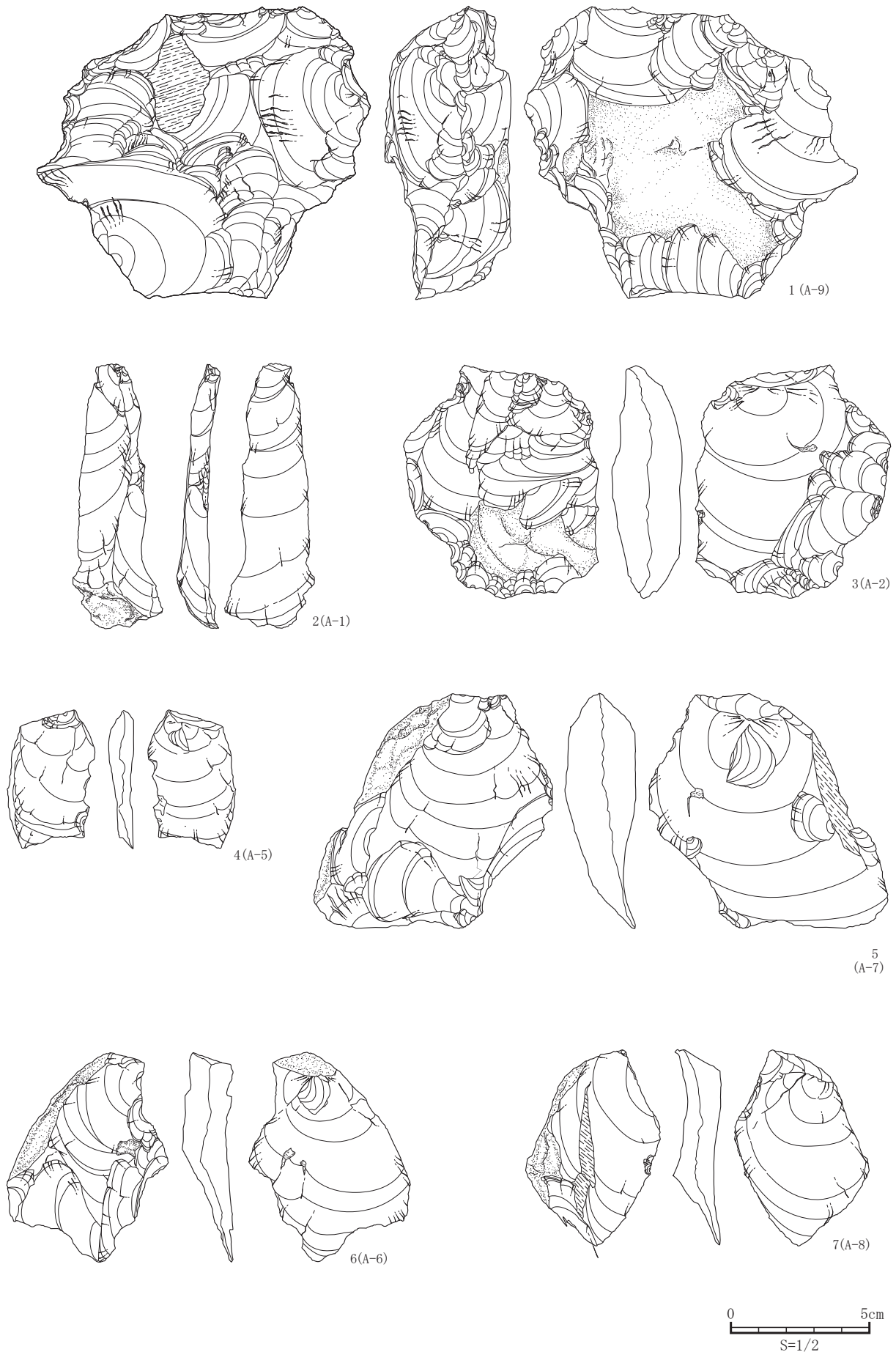


图102 北東捨場地区 石器・石製品(3)

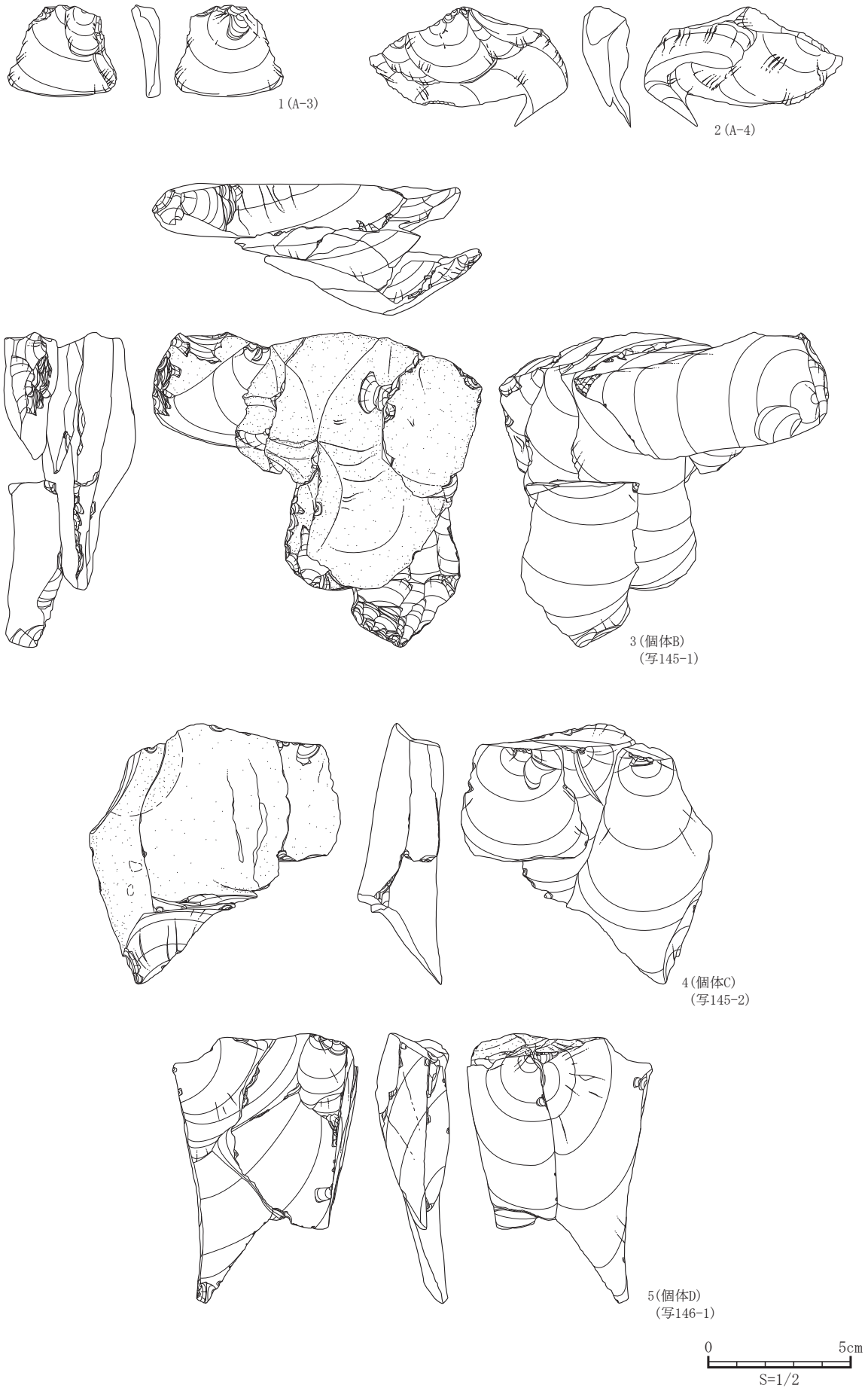


図103 北東捨場地区 石器・石製品(4)



图104 北東捨場地区 石器・石製品(5)



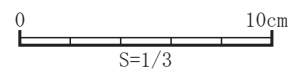
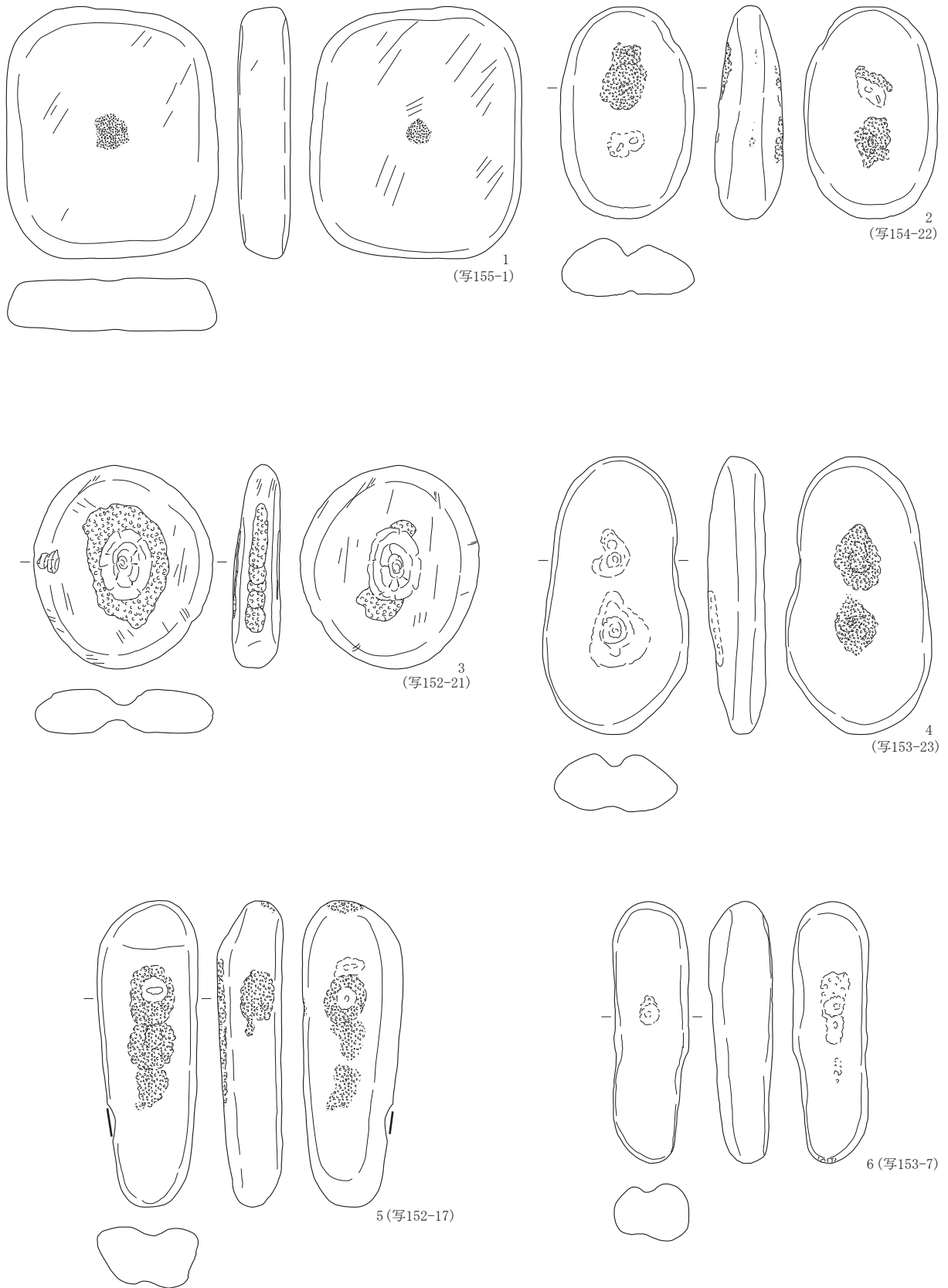


图105 北東捨場地区 石器・石製品(6)

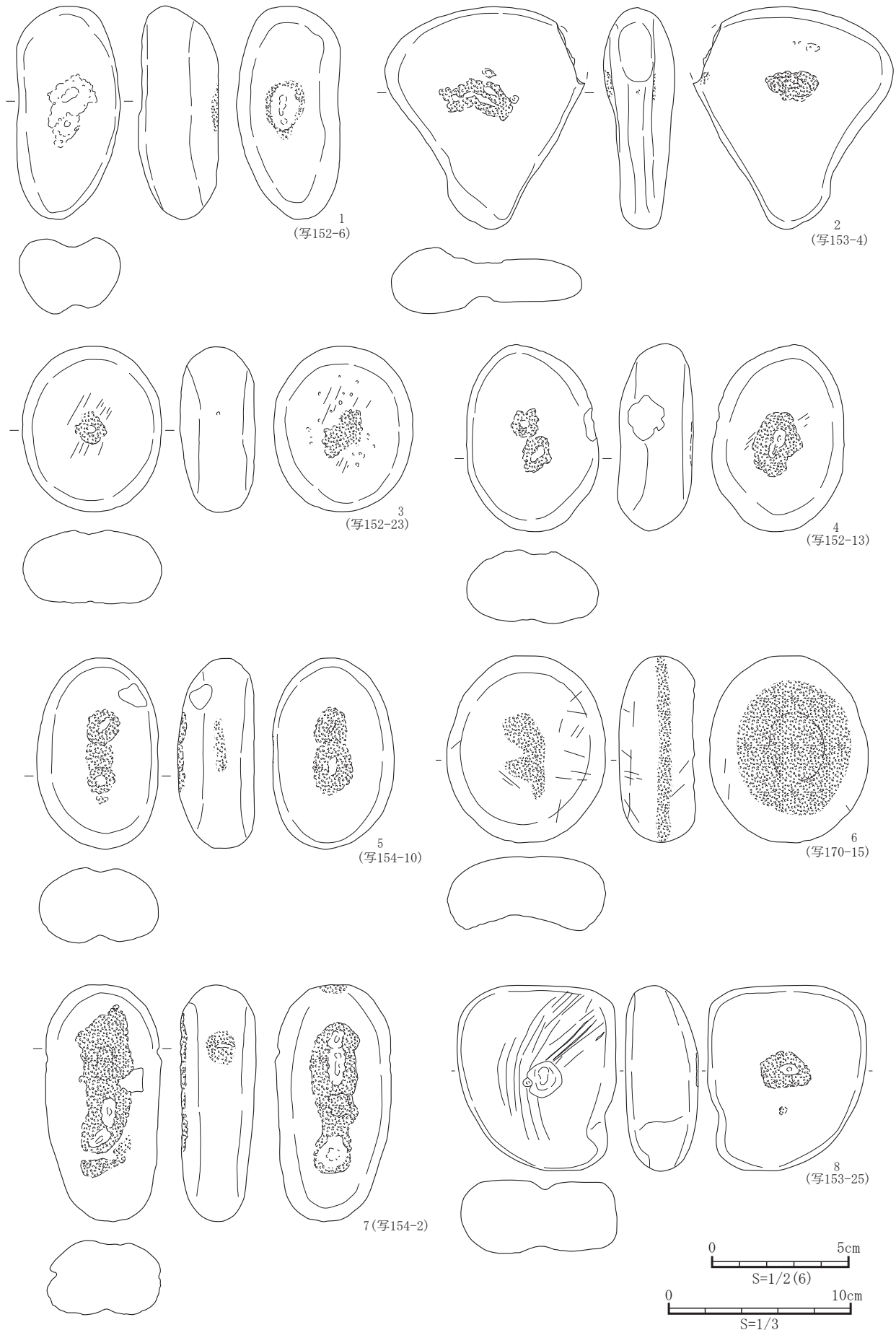
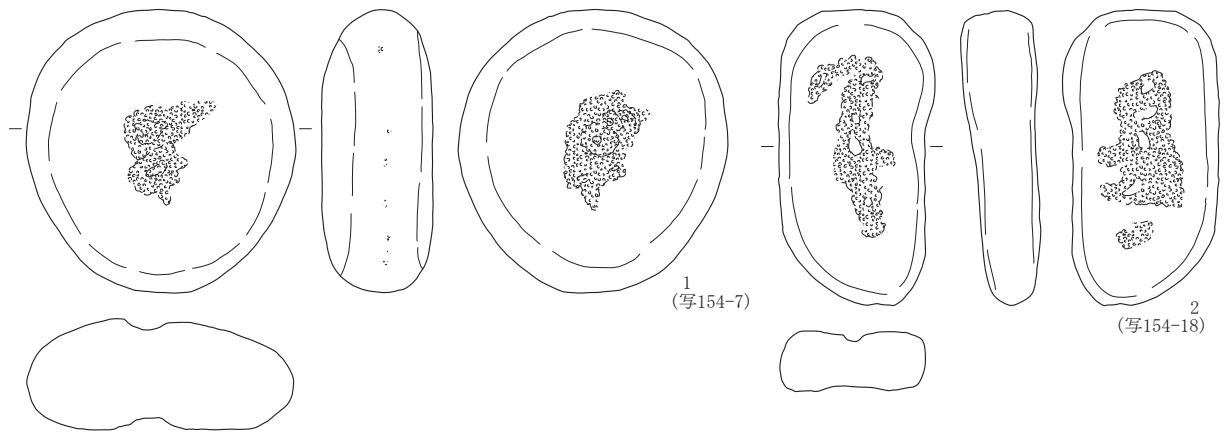
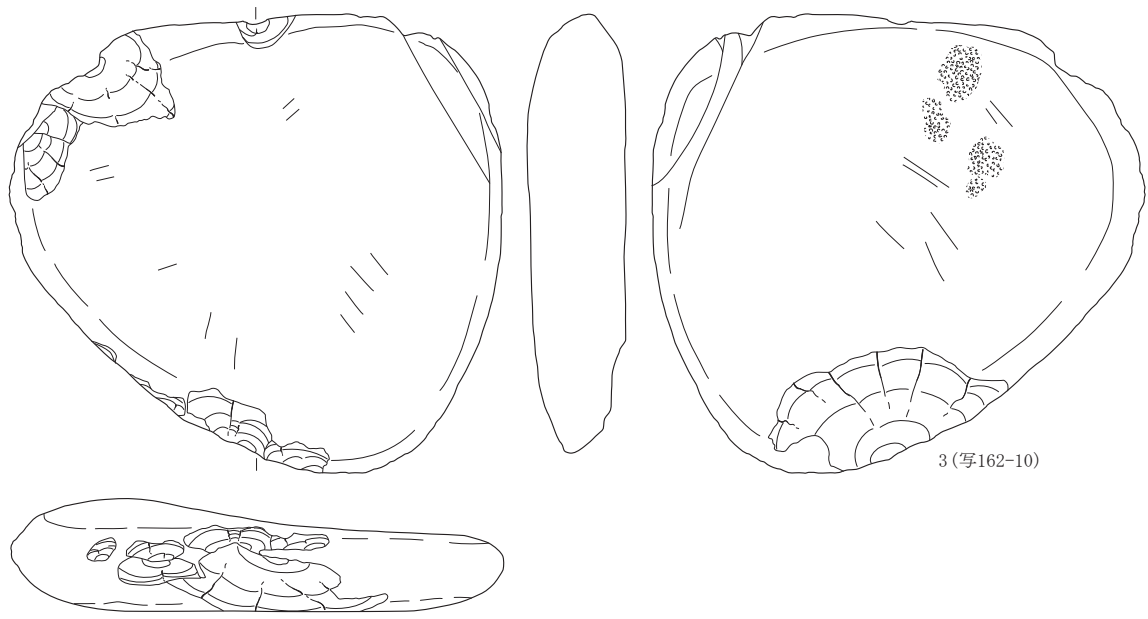


図106 北東捨場地区 石器・石製品(7)

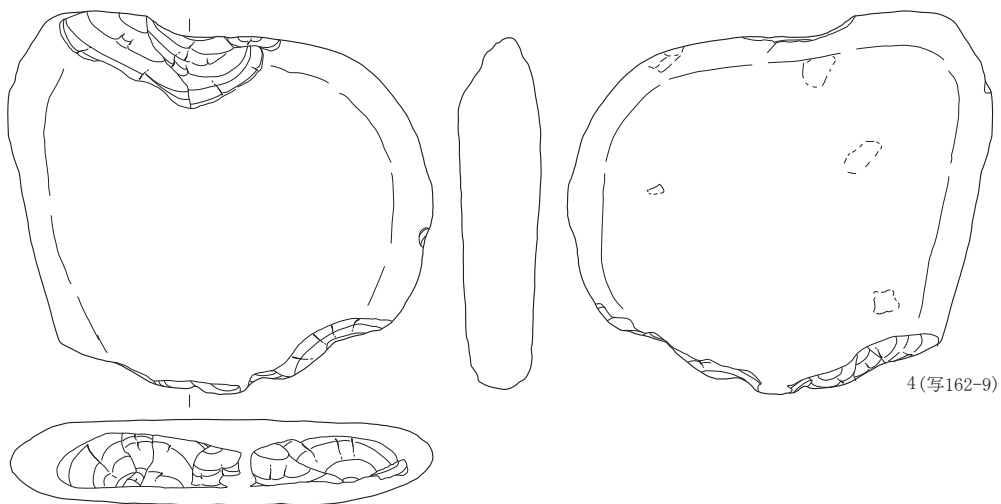


1  
(写154-7)

2  
(写154-18)



3 (写162-10)



4 (写162-9)

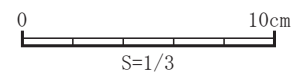


图107 北東捨場地区 石器・石製品(8)

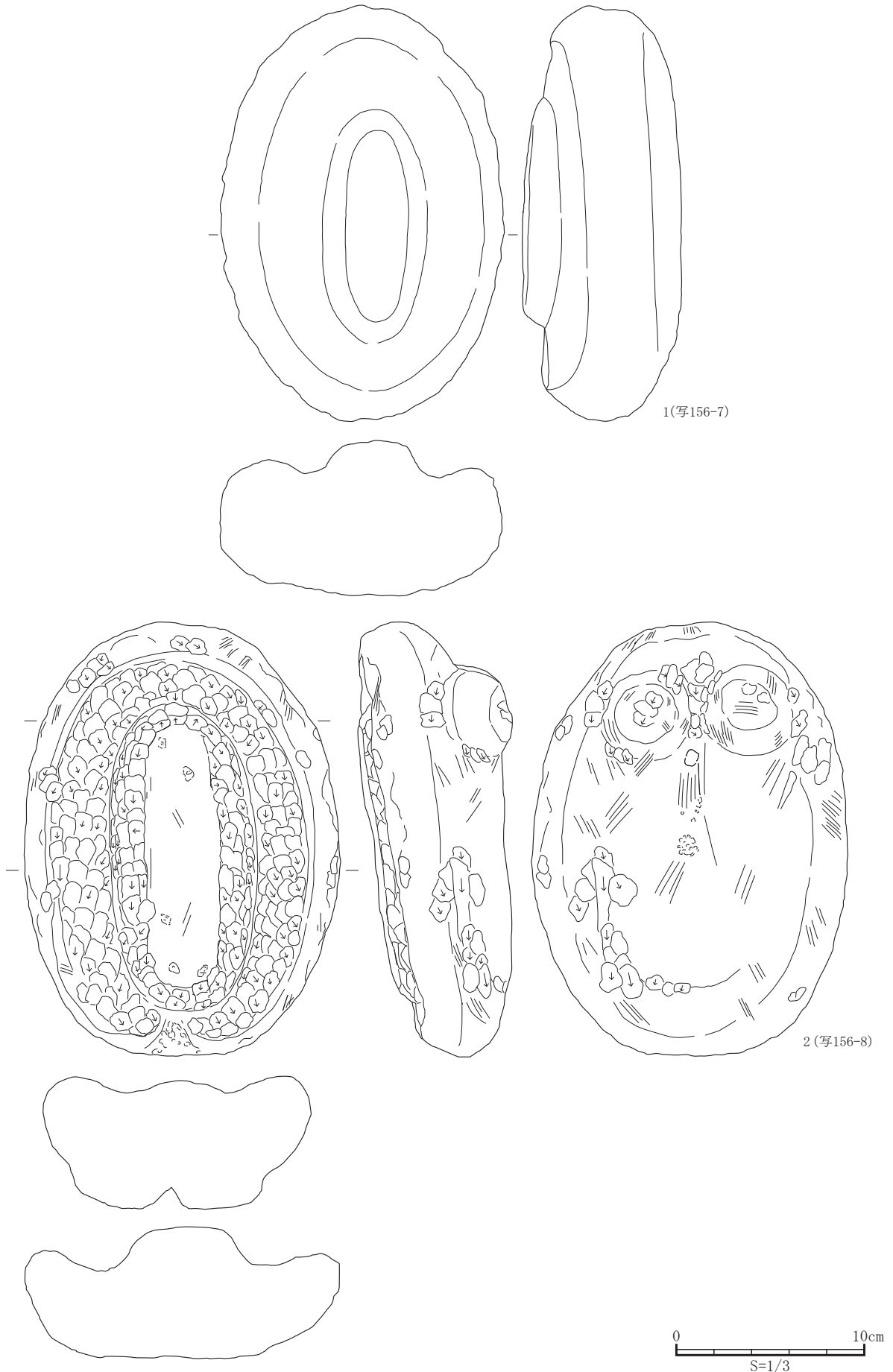


图108 北東捨場地区 石器・石製品(9)

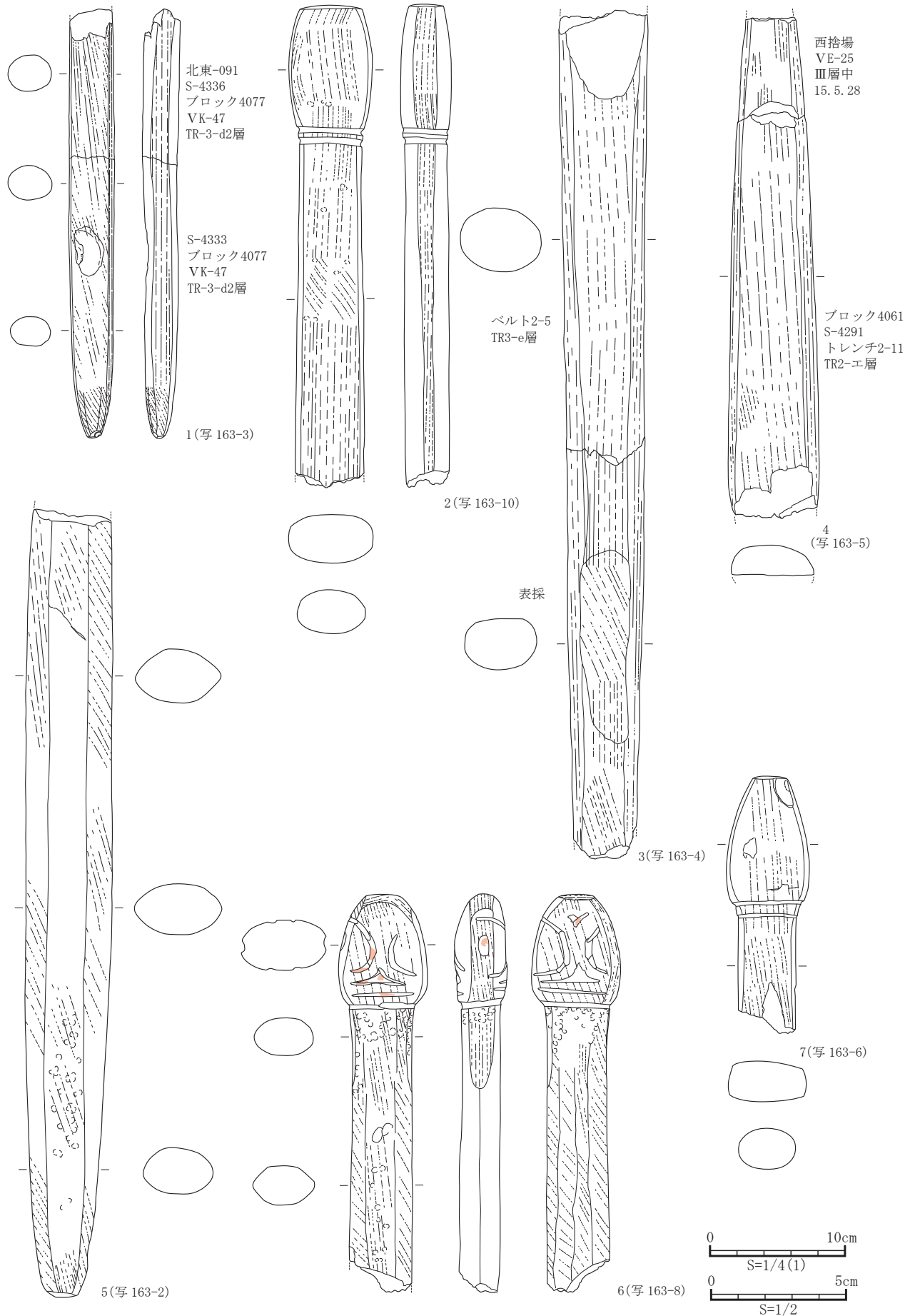


図109 北東捨場地区 石器・石製品(10)



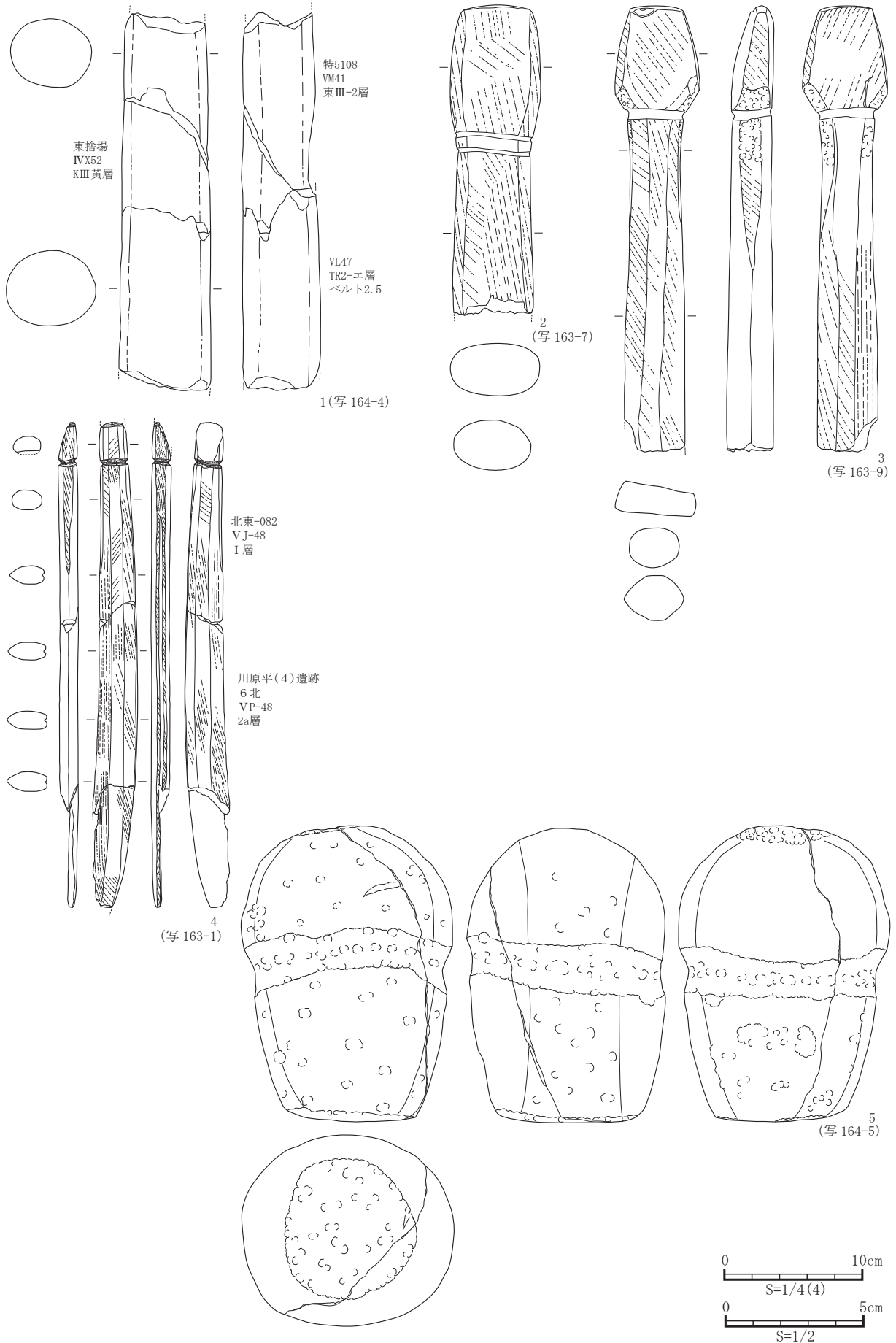


図110 北東捨場地区 石器・石製品(11)

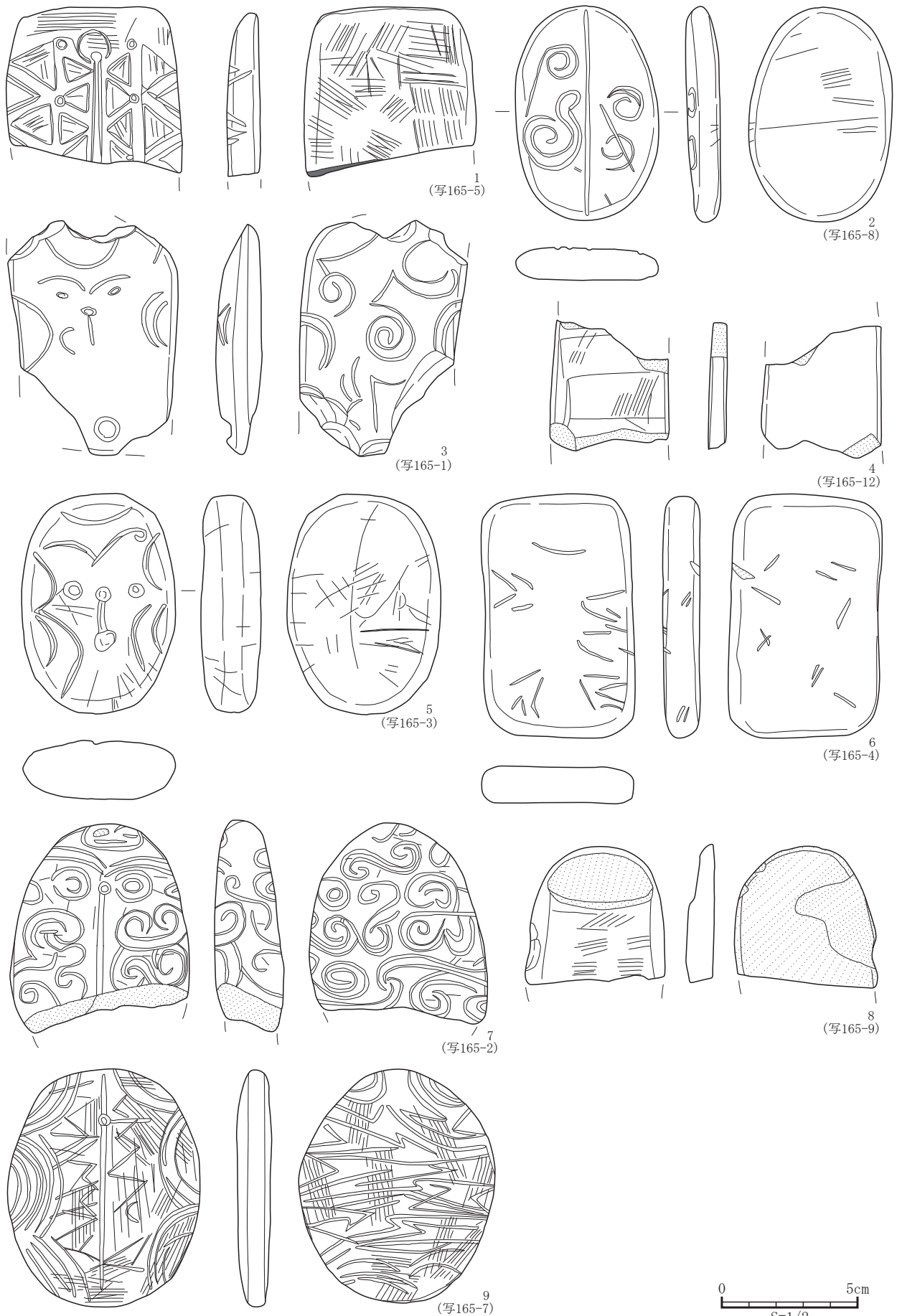


図111 北東捨場地区 石器・石製品(12)

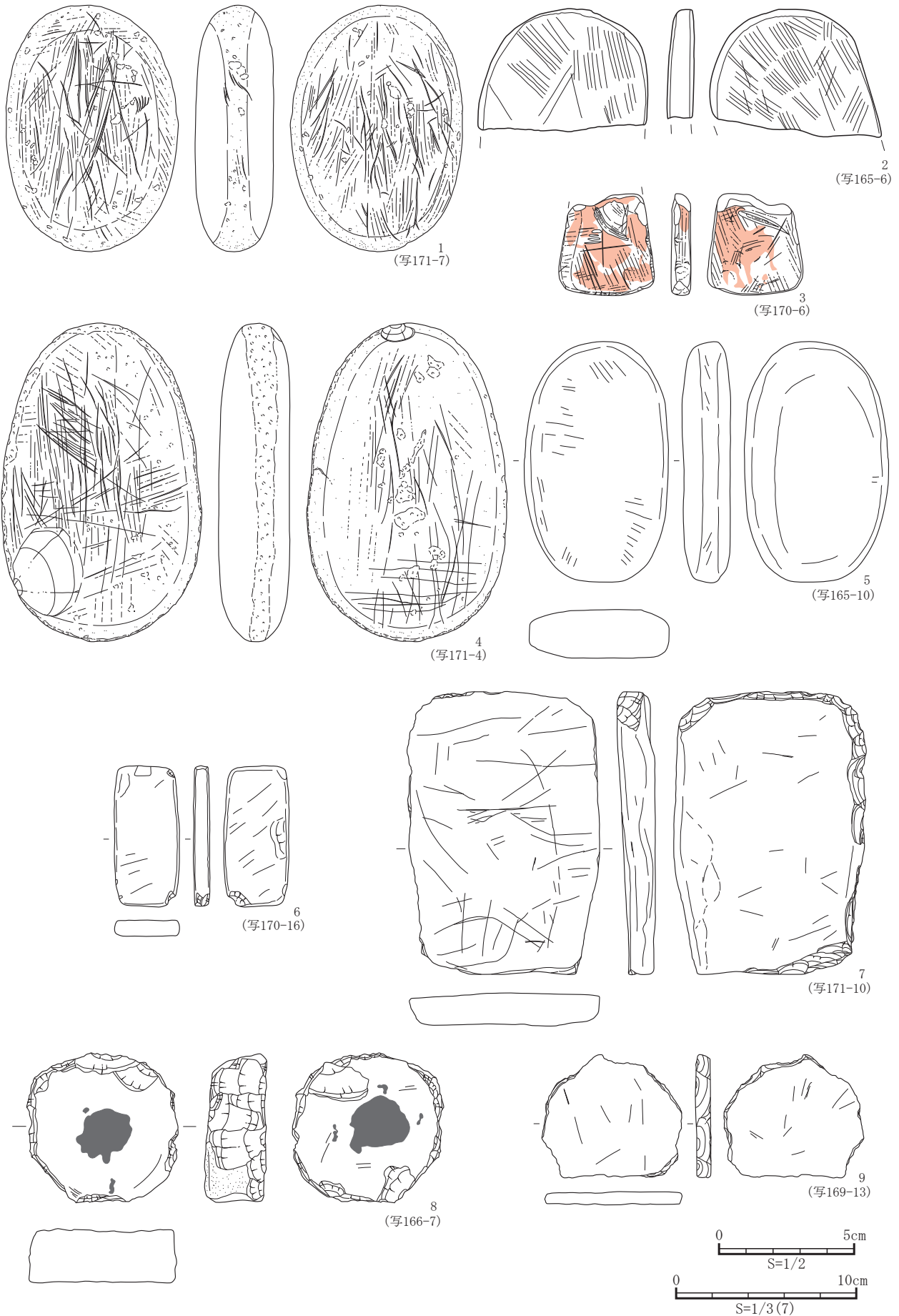


图112 北東捨場地区 石器・石製品(13)

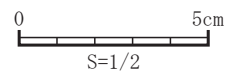
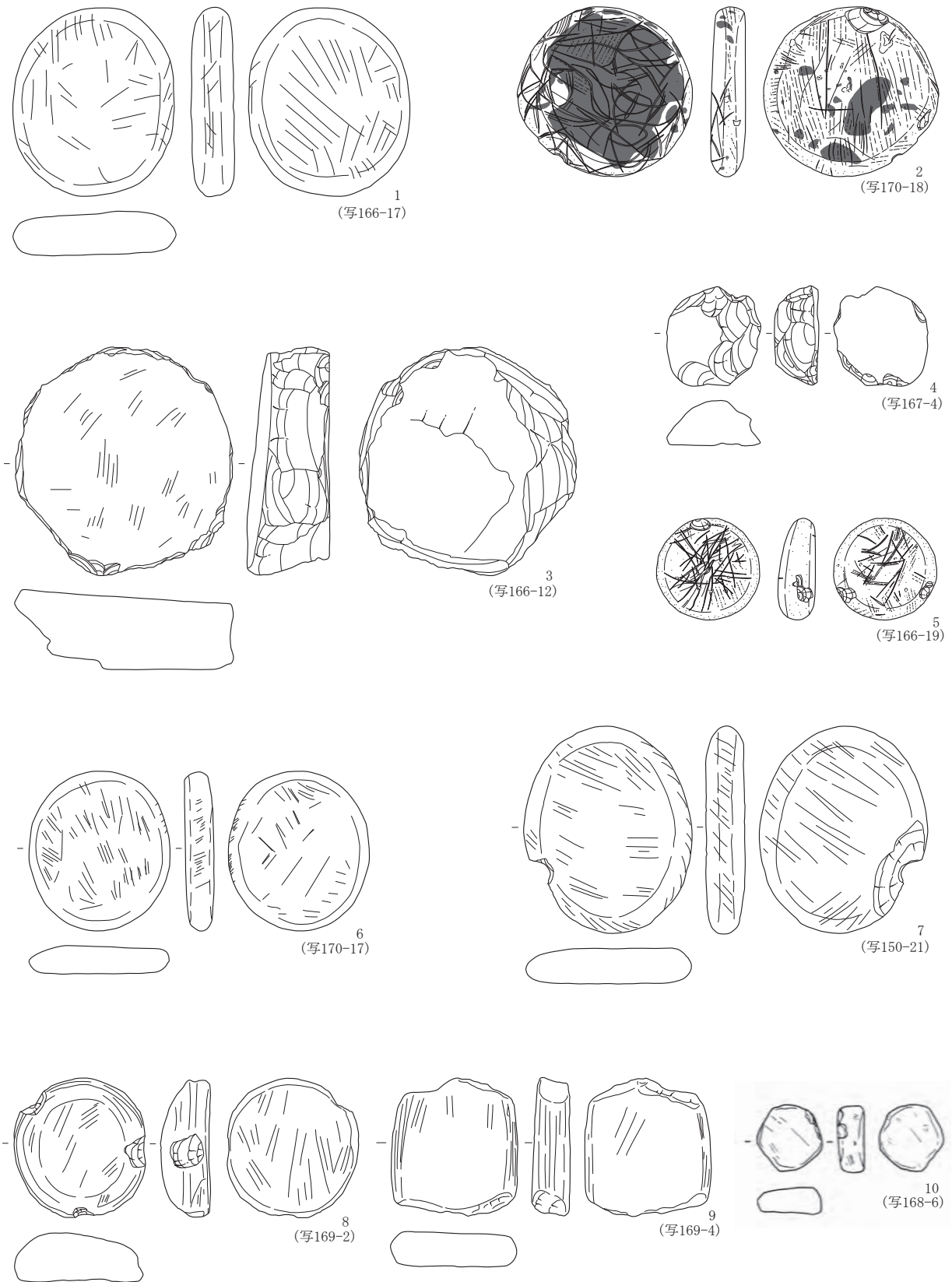


图113 北東捨場地区 石器・石製品(14)

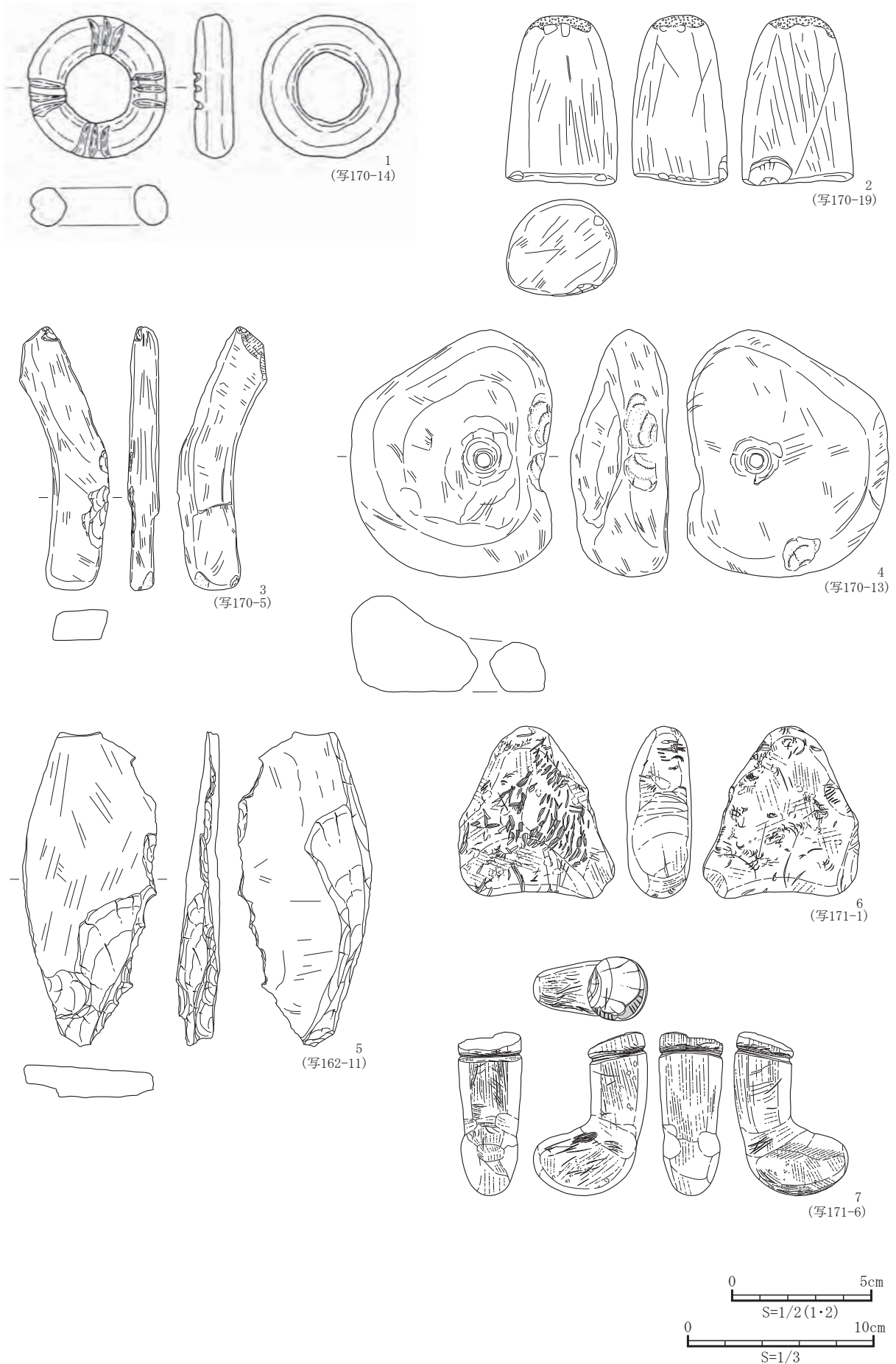


图114 北東捨場地区 石器・石製品(15)



## 第5章 まとめ

北東捨場は、北東縁辺部の滑落崖に形成されており、居住域の外周に巡る捨場群（西捨場・北捨場・[本捨場]・東捨場・南捨場）の一部を構成するものである。いわゆる「斜面捨場」の類に属し、南西から北東にかけて下る斜面に、多量の土壌と礫、遺物が廃棄されていたものである。

遺物は、縄文時代後期後葉から晩期後葉のもので占められ、形式的には、瘤付土器第Ⅲ段階（小林2008）～大洞A式までの各型式が出土しており、量的には、段ボール箱にして634箱（土器400、石器等234）を数える。

後期後葉から晩期後葉というこの時間幅は、土壌（礫含む）や遺物の長期にわたる廃棄活動の継続を示し、634箱という遺物量は、無数の廃棄単位が累積した結果そのものである。このように、本捨場はその名のとおりに、捨場として機能した部分が多いことは当然としても、堆積層（遺物包含層）の中に検出された配石遺構（1基：晩期中葉）と焼土遺構（2基：ともに晩期中葉）は、短時間ながらも、ここが廃棄の場所ではない別機能をもっていた可能性を示唆している。

捨場という空間がもつ性格を多面的に捉えるためには、廃棄という行為の中に「送り」的な観念を含めた、複層的な分析視点が必要であることは言うまでもないが、ここでは紙幅の都合もあることから、調査で得られたいくつかの事項を簡単にふり返る中で、そこから見いだされる課題等にも若干言及し、北東捨場に関するまとめをしたい。

**【捨場堆積層（遺物包含層）】** 特徴的な層についていくつか前述したが、特にTR3-ア層とTR3-c層、TR3-b層の3つの層は、小規模ながらも本捨場においては独特であり、重視される（第4章第2節）。

層位	特徴	出土遺物の時期	備考
TR3-ア層	堅穴建物などの構築に伴う一括性の高い掘削土か	大洞C1式わずかに包含	遺物少 堆積時期はC2式期の古段階か
TR3-c層	一括廃棄の可能性がある地山起源土壌	大洞C2式の略完形が希に出土	遺物少 堆積時期はC2式期の新段階か
TR3-b層	炭化物層 消失家屋等の廃棄部材の可能性がある	大洞A式を含む	遺物少

**【炭素年代測定】** 土層の形成時期と遺物との時間的關係を推定するため、上位層から5点、中位層から5点、下位層から4点を分析した（下表：分析の原報は第580集『川原平（1）遺跡Ⅷ』に掲載）。

層の位置	土層番号	主体となる土器の時期	yrBP（全て±20）	備考
上位	TR3-b層	晩期後葉	2470 2490 2530 2620	
	TR3-2層	晩期後葉	2520	
中位	TR2-b～1-4層	晩期中葉	2890	
	TR2-エ層（=TR2-2層）	晩期前葉	2880（種実）	TR2-エ層は礫多く空隙あり 種実は上層からの混入か
	TR2-2層（=TR2-エ層）	晩期前葉	2960 2960 2980	
下位	TR3-e層	後期後葉	3000（種子） 3040	
	TR3-f層	後期後葉	3000 3150	

**【土器集中域（ブロック）】** 捨場堆積層の中に100単位の土器集中域を認定し、うち、45単位の土器集中域（ブロック）に関する時期と多寡、時期毎の分布傾向について述べた（第4章第3節 図61-1, 2）。

土器集中域（ブロック）の分布中心 （平面：グリッド、垂直：層位）				土壌の推定形成時期	本書の時期区分	備考
TR1-c層	VM-46	TR3-b層	VM-47	大洞A式期	晩期5期	認定数僅少
TR1-4層	VM-46	TR2-b層	VK-47	大洞C2式期	晩期4期	
	VL-46・VM-46			大洞C1式期	晩期3期	活発な廃棄活動期か 大洞C1式期の実際時間幅の絞り込み必要
TR1-5層	VL-45			大洞BC式期	晩期2期	認定数僅少 大洞BC式の実際時間幅の絞り込み必要
	VL-45・46			大洞B2式期	晩期1b期	活発な廃棄活動期か 大洞B2式期の実際時間幅の絞り込み必要
TR2-2層	VL-46			大洞B1式期	晩期1a期	
TR3-e層	VK-47・48			瘤付第Ⅲ段階～大洞B2式期	後期7-4期～晩期1b期	「瘤付土器第Ⅲ段階」は小林（2008）「～大洞B2式期」にはB1式とB2式が含まれる（上の2行と一部並行）

【北東捨場の推移】捨場堆積層、炭素年代測定、土器集中域の結果を総合させ、北東捨場の推移を時系列で整理すると、概ね下記のようにまとめられる。なお、隣接するクラック地区や北東捨場延長地区との比較検討は、今後の課題として保留し、ここでは簡単に触れる程度とする。

**後期7-4期～晩期2期 (図115-左)** 北東捨場における土壌や遺物類の廃棄行為は、後期後葉(後期7-4期)から開始される。この頃の廃棄行為は、滑落崖の冠頂部分(上端付近)からの投棄が多かったようで(図61-2)、斜面の途中で静止したもの(写真97-7)や、斜面を転がり落ちていったもの(VK-47グリッド辺り)も少なくなかったようである。こうした廃棄行為の連続により、晩期前葉の段階に至っては、ほぼ半分位の深さにまで埋没する<sup>1)</sup>。この状態に達するまでの時間は、意外に短かったようで、AMSの年代値を参考にすれば、およそ100年間程度<sup>2)</sup>であったと推定される。この背景には、集落形成の早い段階における、掘削土などの頻繁な廃棄行為があったものと考えられる<sup>3)</sup>。勿論、後期後葉～晩期前葉にかけては、日常的に用いた土器の廃棄活動も継続的に行われ、時には儀礼的行為に伴う廃棄活動もあった可能性が推察される<sup>4)</sup>。

晩期前葉段階における本捨場は、土壌の堆積がかなり進行したことによって、“きつい傾斜(第4章第2節参照)”では既になくなっており、広く歩行できる緩い傾斜地になっていたようである。このことは、図61-2に示した土器集中域(ブロック)の変遷図にもよく表れている。ただし、「晩期前葉」という時間幅の中において、本捨場における晩期2期(大洞BC式期)の土器は、他の時期に比べて極端に少なく、それまで安定的だった廃棄活動が、この段階で一気に低調になったかのようにみえる<sup>5)</sup>。

**晩期3期 (図115-右)** 大洞C1式期に至って、廃棄行為は再び安定的となる。下図および図61-2で分かるとおり、広く満遍なく廃棄されていった様子が見て取れる。ただし、廃棄場所の中心的な部分は、先の晩期1b期(大洞B2式期)と同じVL-46グリッドであり、時間的な隔たりがあったはずではあるものの、なぜか同じ場所が選択されている点は留意される<sup>6)</sup>。この晩期3期(大洞C1式期)における遺物廃棄量は、他の時期に比べ最多である<sup>7)</sup>。この現象は、北東捨場に限ったことではなく、川原平(1)遺跡の各地区に概ね共通する傾向と思われる。なお、この頃は配石遺構(SQ33)の構築や焼土遺構(VL-46グリッド焼土・トレンチ2内焼土)の形成がみられる。配石遺構とトレンチ2内焼土は、本捨場の傾斜変換点から下ってまもなくの場所が選ばれ、遺物廃棄の範囲とは重ならない位置に構築されている点に注意したい(図115右)。

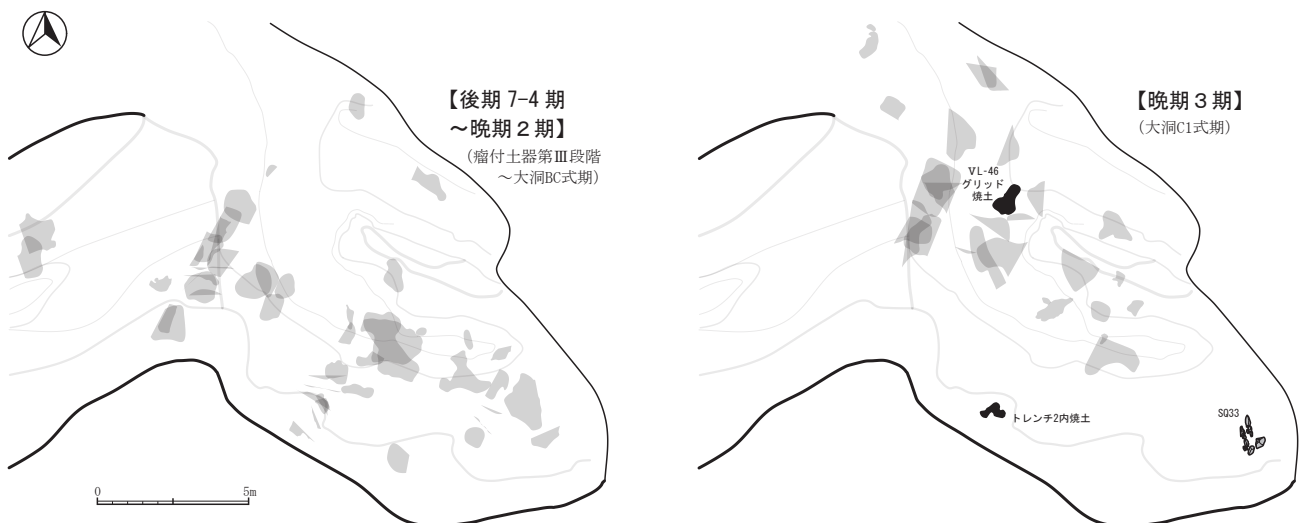


図115 後期7-4期～晩期2期・晩期3期の様相

**晩期4期** (図116-左) 大洞C2式期に至り、これまでとは状況が異なりはじめる。トレンチ3を中心に分布するTR3-ア層とTR3-c層は、一括性の高い掘削土であり、一斉廃棄されたものとみられる。掘削時期は晩期4期(大洞C2式期)頃と推定される。竪穴建物などの構築に伴ったかどうかは別としても、相当な土量であることから、これまでとは異なる、規模の大きい土木作業のあったことが推察される。これによって、3期の配石遺構などは完全に埋まりきり、当時は、「黄褐色を呈す土壌=排土」が少し盛り上がるような景観を呈していた可能性がうかがわれる。遺物の廃棄場所は、トレンチ1と2の間の辺りが主に選ばれるようになるが、これはトレンチ3のあたりに廃棄したこの「排土」が影響した可能性が高い。

**晩期5期** (図116-右) 最後の段階である大洞A式期になると、土器集中域はかなり少なくなるが、先の晩期4期(大洞C2式期)における廃棄の中心は引き継がれる。この地点は、北東捨場延長地区にかなり接近しており、巨視的には、廃棄場所が徐々に川原平(4)遺跡に近づいていった状況とみることもできる。この段階で注目される土層は、炭化物を顕著に含むTR3-b層である。茅状のものも微量に混じることから、消失家屋等の廃棄部材が主体である可能性がある<sup>9)</sup>。この炭化材も一斉廃棄されたような状況であり、先の晩期4期(大洞C2式期)におけるTR3-ア層の一斉廃棄を彷彿とさせる<sup>9)</sup>。これらの炭化物のAMSによる年代値は、2500年頃(yrBP)<sup>10)</sup>とみられることから、本捨場が利用開始され、完全に埋没するまでに要した期間は、約580年間くらいであったようである<sup>11)</sup>。

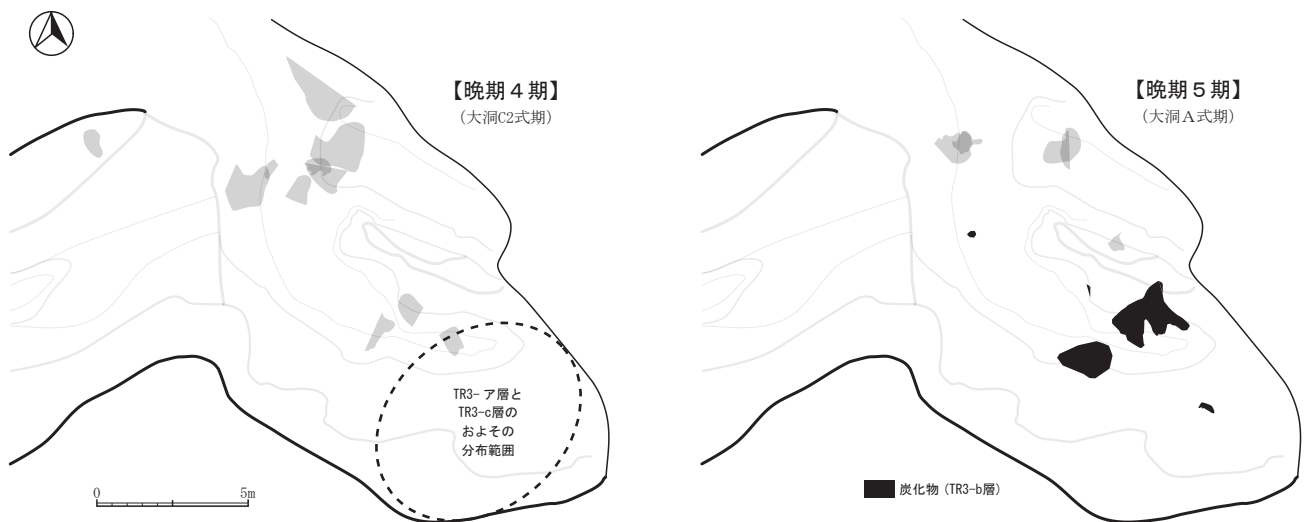


図116 晩期4期・晩期5期の様相

**【その他】** 特記しておきたい遺物について、いくつか触れておく。

**外来系土器** 図89(写114-5 ブロック4041・4047)の深鉢は、胎土分析(N<sub>0</sub>030)により、在地生産と推定されたものであるが、これに施されている網目状撚糸文(短軸絡条体5類)は、福島県域周辺資料との比較を促すものである。AMSによる推定時期は2930±20 yrBP(KAWA(1)-143)であり、晩期前葉頃の可能性があるが、同ブロック内の土器との対比では、晩期2期～3期頃と推定される。土器そのものの搬入ではないにせよ、外部情報の発信源を適度に暗示する好資料と言える。なお、外来系とすべきかどうかは検討が必要だが、聖山式も数点出土しており、これらについては他の地区の資料とまとめて今後の検討対象としたい。

**発泡土器** 写136-6～10に示したこれら発泡土器の成因については、未だ明らかにはなっていない。近畿地方における弥生時代遺跡の事例によれば、焼成遺構等の土器生産に関わる施設の付近に出土する傾向があるようである。本資料は二次焼成による発泡であるが、相当な高温被熱とみられることから、偶然の産物として片付けることなく、今後も継続的に注視したい資料である。なお、写136-11の粘土塊や図98-16の棒状の土製品、数点出土した焼成粘土塊なども、土器生産関連の遺物として積極的に捉え、総合的観点でこれらをまとめて重視したい。

**縦走気味の縄文** 本捨場の土器破片の分類中に気づいた事であるが、大洞C1式期の台付鉢に施される縄文は、縦走気味に施されているものが安定的に認められる。他の器種では同時期の中～小型の鉢・壺にも認められ、斜行縄文がまだ主体的なこの時期において、極めて特徴的な傾向と言える。これらは、炭化物の付着や著しい摩滅の影響により、施文単位の不明瞭なものが多いが、1回あたりの施文は縦方向にある程度長く、縄文の重複をなるべく避ける配慮もうかがわれることから、少なくともこれら縦走気味の縄文は、以前にはなかった効率的技術の開始を示している可能性がある。

縦走気味で長い縄文は、器体に対して原体を斜めに配置し、配置角度を保持したまま指圧の位置をスライドさせながら、器体に対し垂直に長く回転させる必要がある。このような施文は、峰山巖が「帯縄文」の説明中で述べている(峰山 1968)が、ここでの指圧の幅は、峰山が示したような指1本くらいの狭い幅ではなく、指2～3本くらいの幅で回転させているものと観察される<sup>12)</sup>。

本県域出土の中期弥生土器にみられる縦走縄文に比べれば、まだ幾分は斜めに施されており、垂直な縦走までには至っていないが、大洞C1式以降の資料にこの縄文が継続・増加していくことからすれば、後の弥生土器で主体となる技術の祖形は、この時期に遡る可能性は十分に考えられよう<sup>13)</sup>。

(木村)

## 註

- 1) 後期後葉～晩期前葉までの約100年間は、播鉢状の凹み(上半部よりも容積が小さい)に対する廃棄であることから、半分のレベルまで埋没するのに要した期間として、約100年間は概ね妥当かもしれない。
- 2)  $(3000+3150)/2 - (2960+2960+2980)/3 = 3075$ 年(後期後葉TR3-f層の平均年代) - 2967年(晩期前葉TR2-2層の平均年代) = 108年。因みに、3150年(後期後葉TR3-f層の最古年代) - 2960年(晩期前葉TR2-2層の最新年代) = 190年。
- 3) 後期後葉の遺物がまとめて出土するのは、TR3-e層とTR3-f層の境であり、捨場としての機能開始期に相当するTR3-f層に含まれる遺物は僅少である。即ち、TR3-f層は、下層のTR3-g層と廃棄土壌との混合土が主体と推定され、この層の形成期間内における遺物の廃棄はほとんど無かったと考えられる。よって、①土壌の廃棄(TR3-f層の形成)→②遺物の廃棄→③TR3-e層の形成…という流れが想定され、①は、集落形成初期の建物構築による排土等が含まれている可能性がある。
- 4) 注口土器3点を含む土器集中域(ブロック4053-2 晩期1b期:大洞B2式期 写真76上段)などがその典型と考えられる。
- 5) 単に、大洞BC式期の廃棄場所に北東捨場が選ばれなかった可能性はあるが、隣接するクラック地区から検出されている大洞BC式期の堅穴建物跡の存在がこの現象と関連している可能性をうかがわせる。あえて推測するならば、複数の成員によって共同利用されていた本捨場の至近距離に、堅穴建物が建つたために、それまでの利用者達は、ここを捨場として利用しなくなった(してはいけなくなった)など、単純ではあるがこうした一時的な事情の変化はあってもおかしくはない。しかし一方で、土器編年の問題として、川原平(1)遺跡においては、羊歯状文の施される典型的な大洞BC式の使用期間が短かった、あるいは、羊歯状文の施される典型的な大洞BC式の単独存在の期間が短く、大洞B2式の新相や大洞C1式の古相との並行期間が長かった等の想定も必要かもしれない。いずれにしても、本捨場において大洞BC式が極端に少ない現象は、捨場としての利用状況の変化、他の捨場における大洞BC式の出土量の状況、大洞BC式をめぐる編年上の問題等を含めて、多面的に考察する必要がある。(全ての地区から得られたC14値を見る限り、本集落は後期後葉～晩期前葉まで、ほぼ断絶なく継続したと考えられる。第580集『川原平(1)遺跡Ⅷ』参照。)
- 6) 小林謙一(2008)と小林圭一(2010)は、土器付着炭化物のAMS年代値より、大洞BC式の存続期間を概ね100年間と考えているが、北東捨場において、晩期1b期(大洞B2式期)の後、100年間の廃棄行為の低調期をはさんで、晩期3期(大洞C1式期)の段階で、晩期1b期(大洞B2式期)の廃棄中心部が再び選ばれる可能性は低いように考えられる。
- 7) ここで留意したいのは、晩期3期(大洞C1式期)の存続期間の問題である。仮にこの時間帯が他の型式の存続期間よりも長期であった場合、土器の絶対量が多くなることから、見かけ上、非常に活発な廃棄活動、と映ってしまう。活発かどうかについては、大洞C1式期の実年代における存続期間が明瞭になった段階ではじめて判断が可能になる。
- 8) 本書に掲載した分布範囲は、濃度の高い部分であり、現場ではもっと広い分布を示していた。
- 9) このような一連の活動は、川原平(1)遺跡における画期(集落の分解・川原平(4)遺跡への一部移転)の構成要素である可能性がある。また、縄文文化が大きく変容する時期に相当している点も軽視できない。
- 10) 年代が大きくかけ離れた2620年を除いた、2470年、2490年、2530年の3点の年代値の平均(2497年)。
- 11)  $((3000+3150)/2 \text{ 後期後葉TR3-f層の平均年代}) - ((2470+2490+2530)/3 \text{ 晩期後葉TR3-b層の平均年代}) = 3075 - 2497 = 578$ 年。因みに、TR3-f層の最古年代 - TR3-b層の最新年代 = 3150年 - 2470年 = 680年。
- 12) 実測園における縄文施文単位の表現は、『川原平(1)遺跡Ⅱ』に準じており、本来の施文単位ではない点に注意いただきたい。なお、この縄文について山内清男(1979[1961])は、「津軽方面の晩期後半[99](大洞C2式、A式等)には器面を縦走する条を有する縄紋が見られる。」と述べている。
- 13) この施文技術・発想は、多くの地域において、同時多発的に生ずるものではなく、どこか特定の地域から始まり、拡散していった技術である可能性が高い。縦走縄文は、北海道域がその主体的な地域であるとイメージされがちであり、現に晩期中葉の北海道出土資料にも認められるものであるが、本県域との細かな時間的前後関係の追究は今後の重要課題と言える。





図117 北東捨場 胎土分析実施資料 (S=1/6)



## 第3編 東捨場延長地区・北東捨場延長地区

# 第1章 調査方法

## 第1節 調査方法

### 1 東捨場延長・北東捨場延長地区の範囲

本編で扱う「東捨場延長地区」・「北東捨場延長地区」は、本遺跡と隣接する「川原平(4)遺跡B区西端の一部範囲」を指す。そのため、本項では、川原平(4)遺跡B区の一部を東捨場延長地区・北東捨場延長地区として報告するに至った経緯、報告の範囲、取り扱う内容等について触れる。なお、本遺跡と川原平(4)遺跡B区の境界は、旧村道により開削されているものの、基本的には地形の連続性が認められ、また、遺構・遺物の時期も重なる部分が多いことから、両遺跡を一つの集落として考えつつ発掘調査を行った。

#### 【報告の経緯】

本遺跡と川原平(4)遺跡の発掘調査は、ともに津軽ダム建設事業に伴い、ほぼ同年度に実施されてきた。中でも、東捨場地区、北東捨場地区、川原平(4)遺跡B区西端部については、平成26年度に発掘調査が実施された。この調査の結果、東捨場および北東捨場の範囲は、川原平(4)遺跡B区側に広がることが確認された。そのため、東捨場および北東捨場の形成過程や性格、出土遺物の内容等を検討する上では、延長地区を含めて総合的に把握することが不可欠であり、本編を設けるに至った。

#### 【報告の範囲・内容】

東捨場延長・北東捨場延長地区の範囲は、便宜的にグリッドに沿って区分した。地区区分は、川原平(4)遺跡B区内、東捨場延長地区がIVT~IVY-56~65グリッド、北東捨場延長地区がV0~VR-46~53グリッドである(図②)。区分に際しては、東捨場・北東捨場に類する堆積土の分布状況や遺物の出土状況等から判断した。報告の内容については、各延長地区から出土した遺物のみを扱うこととする。なお、延長地区内に分布する遺構については、東捨場延長地区で土器埋設遺構1基、ピット9基が検出されているが、『川原平(4)遺跡IV』(青森県教委2016)で報告済みである。

### 2 発掘作業の方法

東捨場延長・北東捨場延長地区では、既に発掘作業に着手していた東捨場および北東捨場の発掘作業も踏まえ、遺物包含層の堆積状況や遺構の有無等を確認するためのトレンチ調査を先行させ、特に遺物の層位的な取り上げに留意しながら調査を進めた。なお、調査の経過、測量基準点・水準点の設置、写真撮影の方法等については、『川原平(4)遺跡IV』(青森県教委2016)を参照されたい。

#### 【グリッドの設定】

グリッドの設定方法および名称については、本遺跡と共通しており、『川原平(1)遺跡II』(青森県教委2016)に詳しい。

#### 【基本層序】

基本層序については、表土から順にローマ数字を付して呼称した。ただし、本遺跡と川原平(4)遺

跡における基本層序は、層名が同じであっても、指し示す層が異なる点で留意される。

#### 【表土等の調査】

表土の除去は、遺物包含層の広がりを確認した上で、部分的に重機を用いて掘削の省力化を図った。出土遺物は、グリッド単位で取り上げた。

#### 【遺物包含層の調査】

遺物包含層は、層位毎に人力で掘削した。出土遺物は、グリッド・層位毎の取り上げを基本とした。また、必要に応じて、出土状況の写真撮影やドットマップ図の作成を行った。

(最上)

### 3 整理・報告書作成作業の方法

東捨場延長地区並びに北東捨場延長地区の整理作業は、平成27年4月1日から平成29年3月31日まで実施した。

【図面類の整理】発掘作業の過程で作成した平面図は主にトータルステーションを用いて作成したため、整理作業時に簡易遣り方測量で作成した堆積土層断面図等との図面調整を行い、発掘作業時の所見等を整理した。

【写真類の整理】写真等の記録類については、写真台帳を作成するとともに、35mmモノクロームフィルムは撮影順にネガアルバムに整理収納し、35mmカラーリバーサルフィルムは発掘作業状況や遺構毎に整理してスライドファイルに収納した。デジタルカメラのデータについては、遺構毎のフォルダに整理し、ポータブルハードディスクドライブおよびDVD-Rに保存した。

【遺物の洗浄・注記・接合・復元】遺物の洗浄後、接合・復元作業を進めた。遺物の注記は、遺物取り上げ時の遺物カードをもとに、調査年度、遺跡名、出土地区・グリッド名、遺構名、出土層位、取上番号等を略記した。出土地区の注記は川原平(4)遺跡の調査地点名(「5」:東捨場延長、「6」:北東捨場延長)とした。土器細片や剥片石器等、直接注記できない遺物については、収納袋に注記した。

【報告書掲載遺物の選別】出土遺物は台帳を作成して登録し、遺存状態がよく時期・型式等がわかる資料を報告書に掲載した。

【遺物の観察・図化】個々の遺物を目視及びルーペで観察し、遺物の特徴を適切にわかりやすく表現するように図化した。掲載遺物については、種類毎に法量・特徴等を記載した遺物台帳・観察表・計測表を作成した。

【遺構と遺物のトレース・版下作成】遺構・遺物の実測図やその他の挿図のトレース作業は、(株)CUBIC製「遺構実測支援システム」及び同「トレースくん」、Adobe社製illustrator CS4・CS6を用いてデジタルトレースを行った。

【遺物の写真撮影】実測図では表現しがたい、質感・雰囲気・製作技法・文様表現等を伝えられるように留意した。写真撮影は業者に委託して行った。

【調査成果の検討】遺物の検討結果を踏まえ、過去の調査成果や周辺地域の状況等も考慮しながら、遺跡の時期・構造・変遷等について検討・整理した。

(中澤)

## 第2章 東捨場延長地区

### 第1節 東捨場延長の調査方法と堆積層について

#### 1 東捨場延長の調査方法

東捨場延長地区は、川原平(4)遺跡B区の西端部、IVT～IVY-56～65グリッドの範囲に相当する(図②)。東捨場延長地区の地形は、旧村道を挟んで東捨場と同一の段丘平坦面が広がり、標高203.5m～203.2mの地点に位置する。

平成26年7月中旬、川原平(4)遺跡B区西端部においてトレンチ調査を開始した。トレンチは、東西方向に長く設け、約8m間隔で5ヶ所に設定した。トレンチ調査の結果、表土直下で遺物を多く包含する堆積層を検出し、その分布は、特に、東捨場の範囲と接するIVYライン以南で明瞭に確認されたことから、当該範囲が東捨場の連続部分に相当するものと判断した。トレンチ間には、適宜、土層観察用ベルトを残しながら掘り進め、東西ベルトをB-B'とC-C'、これに直行する南北ベルトをA-A'とした(図1)。出土遺物は、グリッド・層位毎の取り上げを基本とした。また、遺存状態が良好な遺物や、特徴的な遺物が出土した場合は、適宜、出土状況の写真撮影やドットマップ図の作成を行った。

#### 2 堆積層について

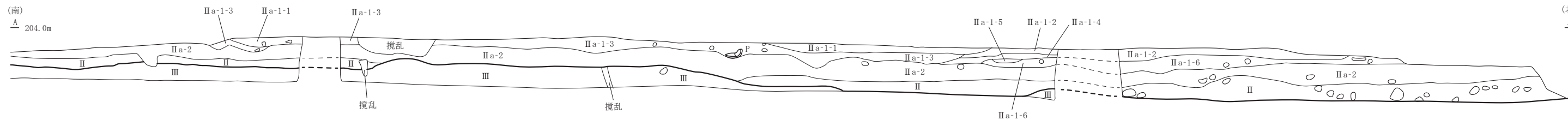
東捨場延長は、IVYライン以南において、遺物を多く包含する黒色ないし黒褐色土の広がりとして確認された。この堆積層は、南北約15m、旧村道から東方向へ約25mの範囲で広がり、基本的には東捨場から連続するものと考えられる。ただし、東捨場延長と東捨場の層位については、明確な対比はできなかった。また、同様の堆積層は、VAライン以北においても分布が認められたが、旧村道の縁に沿って比較的薄く堆積しており、東捨場延長の堆積層と確実な連続性を捉えることができなかった。VAライン以北の基本層序および出土遺物、東捨場延長地区内で検出された遺構については、『川原平(4)遺跡IV』(青森県教委2016)で報告済みである。

東捨場延長地区の土層断面図は、図118に示した。図は表土除去後の土層断面である。第Ⅱa層と第Ⅱ層が遺物包含層、第Ⅲ層が地山に相当する。この内、第Ⅱa層が東捨場の堆積層と類似し、遺物出土量も多い。

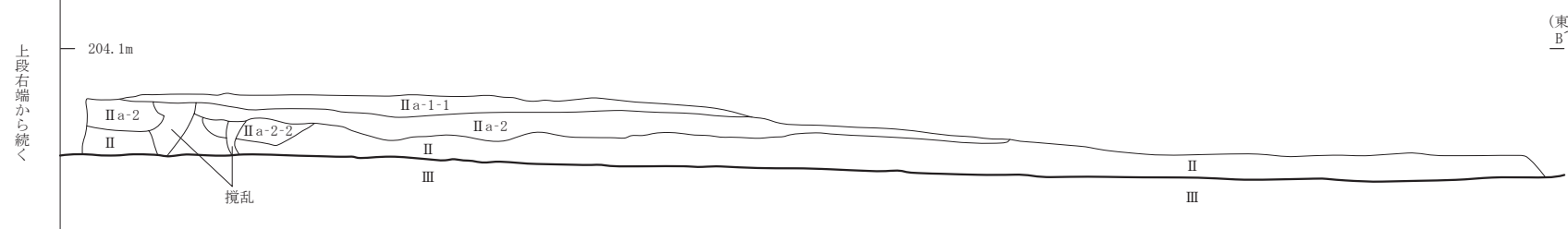
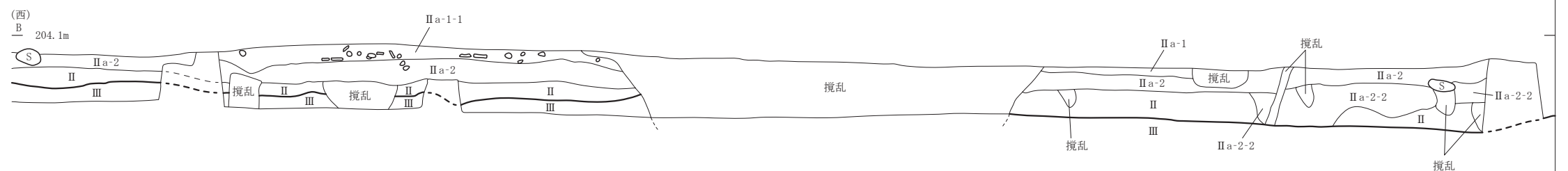
第Ⅱa層は、上位層の第Ⅱa-1層と下位層の第Ⅱa-2層に二大別できる。また、土色や混入物の違いにより、さらに細別される。第Ⅱa層の堆積状況としては、概ね東側に向かうほど、層下面が緩やかに低く傾斜しており、層厚も薄くなる傾向がある。B-B'土層断面では、第Ⅱa-2層の下面の標高値が、西端で203.8m、東端で203.4mを示す。第Ⅱa-1層は厚さ20cm前後で、黒色ないし黒褐色シルトを主体とし、小礫が比較的多く混入する。中でも、第Ⅱa-1-1層では炭化物、第Ⅱa-1-5層では焼土粒の混入が目立つ。第Ⅱa-2層は厚さ約30cmで、暗褐色シルトを主体とし、比較的均質である。第Ⅱ層は厚さ20cm前後で、暗褐色シルトを主体とし、遺物量は第Ⅱa層と比較して極めて少ない。

遺物の出土状況としては、同一層中でも遺物量に多寡が認められ、特に第Ⅱa-1層下位から第Ⅱa-2

東捨場延長A-A'



東捨場延長B-B'



- 東捨場延長(A-A', B-B', C-C')
- IIa-1-1層 黒色土(10YR2/1) 炭化物多量
  - IIa-1-2層 黒褐色土(10YR2/2)
  - IIa-1-3層 黒色土(10YR2/1)
  - IIa-1-4層 黒褐色土(10YR3/1)
  - IIa-1-5層 暗褐色土(7.5YR3/4)
  - IIa-1-6層 黒色土(10YR2/1)
  - IIa-2層 黒褐色土(10YR2/3)
  - IIa-2-2層 暗褐色土(10YR3/3)
  - II層 暗褐色土(10YR3/4)
  - III層 褐色土(10YR4/4) 川原平(1)遺跡におけるIV層相当

東捨場延長C-C'

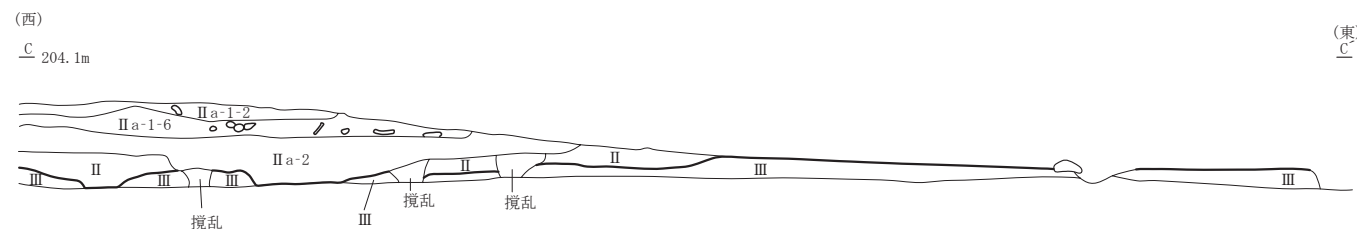


図118 東捨場延長地区 セクション図





層上面にかけての遺物量が多い。土器については多くが破砕しており、完形での出土が極めて少ない点で、東捨場の主体部と様相をやや異にする。また、第Ⅱa層中からは、主に縄文時代晩期中葉から晩期後葉の遺物が出土しており、東捨場の出土遺物と概ね呼応するが、縄文時代後期後葉から晩期前葉のものが少ない点で異なり、東捨場の東端部における特徴を示すものと思われる。

(最上)

## 第2節 出土遺物

### 1 土器 (図119～121、写真179～183、表19)

東捨場延長地区出土土器の総重量は約280kgである。晩期中葉から後葉の土器がみられ、東捨場の堆積層と類似するⅡa層では晩期4～5期の土器がまとまって出土した。

#### I 層

晩期中葉の鉢・ミニチュアの台付鉢が出土した (写179-1・2)。

#### Ⅱa-1下層

晩期中葉から後葉の深鉢・鉢・台付鉢・台付片口鉢・浅鉢・皿・壺・ミニチュア土器が出土した。写179-3は正面にB突起をもつ鉢である。写179-4・5の鉢は口縁直下に3条の横位沈線がある。写179-6・10は外面に3条の横位沈線が施され、2個一組の突起をもつ深鉢である。写179-7は口縁直下に3条の横位沈線を施した鉢である。写179-8の深鉢の口縁端部には粘土組接合痕が残存する。写179-9は体部から底部にかけてLR/RL非結束羽状縄文を施した鉢、写179-11は沈線による雲形文のある鉢である。写179-12は台付鉢で、肩部から立ち上がる大突起があり、上部は欠損する。写179-13は口唇部に一山突起と二山突起を交互に配置した台付鉢である。写179-14は台付片口鉢である。写180-1は彫去による雲形文が施された浅鉢である。写180-2は沈線による雲形文が施された浅鉢である。外面体部下半に赤彩が施され、内底面に褐色～黒色膜状付着物、外底面に黒色膜状付着物が認められる。写180-3は口縁にB突起を持つ皿である。写180-4は正面に一山突起1単位、二山突起3単位のある壺である。写180-6は晩期4期に相当する壺である。正面に突起を1単位もち、口唇は隆帯の添付により外側に肥厚する。外面に黒斑が認められる。

#### Ⅱa-1層

晩期中葉から後葉の深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・皿・蓋・壺が出土した。

写181-1～4は口縁部直下に横位沈線をもつ深鉢・鉢である。写181-5・7は粗製深鉢である。写181-6は口縁部から体部にかけて条痕文を施した深鉢である。写181-8・9は口唇に刻み目を有し、口縁直下あるいは体部に横位沈線を巡らせた鉢である。写181-10は沈線による雲形文のある鉢である。写181-11は口縁部に沈線を施した鉢で、内外面には炭化物が付着する。写181-12は口縁直下に沈線文のある鉢で、口縁付近に赤色顔料が付着している。写181-14・15・17は台付鉢、写181-16・写182-1～2は台付浅鉢である。写181-14・182-1は口縁直下あるいは体部に横位沈線をもち、体部に2個一組の突起をもつ。写181-13・182-4は外面に横位沈線を4～5条ある浅鉢である。写182-5は内外面が赤

彩された皿である。写182-6は口唇に三叉状の刻目を連続的に入れ、外面に沈線による雲形文のある皿である。写182-7～10は晩期4～5期の壺である。写182-11は台形状の摘みをもち、外面に沈線文・隆帯を伴う蓋である。

## II a-2上層

晩期中葉の深鉢・台付鉢・皿が出土した。

写182-13は半精製の鉢であり、体部に2個一組の楕円形状の突起をもつ。写182-14は装飾的な口縁を呈し、外面に横位沈線と沈線間に刻目・突起を伴う台付鉢である。写182-15は台付鉢である。台内部は炭化している。写182-16は外面に横位沈線と沈線文を施した鉢で、内外面が赤彩されている。写182-17は彫去による雲形文のある浅鉢で、内外面に褐色膜状付着物が認められる。

## II a-2層

晩期中葉から後葉の鉢・台付鉢・浅鉢・壺が出土した。

写183-1は口縁にB突起、外面に刺突・短沈線列・横位沈線・入組文を施した鉢である。写183-2は口縁にB突起と二山突起が交互に配置され、外面に工字文のある台付鉢である。写183-3は口縁部にB突起、外面に沈線による雲形文のある浅鉢である。写183-4は正面に二山状台形突起をもつ壺である。外面の口縁部～肩部と体部下半に少量の赤色顔料が付着し、内面は全面に赤色顔料が付着しているため、赤色顔料の貯蔵・保管容器と推定される。写183-5は正面に5個の一山突起（残存4個）のある壺である。内面がヘラミガキ後に黒色処理され、光沢を有する。写183-6は注口と推定され、外面に刺突を充填した入組文がみられる。

## 炭素・窒素安定同位体比分析

II a-1層から出土した晩期4期と推定される鉢（写181-11、試料⑧）の外面付着炭化物を分析し、主にC<sub>3</sub>植物の堅果類に由来する炭化物と推定されている（報告書Ⅷ第7章第5節）。

（中澤）

## 2 土製品（図119～121、写真179～183、表20・21）

土偶2点、亀形土偶1点、円盤状土製品7点、ミニチュア・小型土器5点の計15点が出土した。

**土偶**（写183-10・11） 写183-10は中空土偶の右足部で、指先部を沈線で表現している。膝には縄文施文後に入組み文を施文している。写183-11は左足部が欠損している中実土偶である。顔面は横長の円形で目は横楕円の中央部に横位の沈線を施文し遮光器を、鼻部は二孔で鼻孔を表現している。口部の両脇は弧状文を施文している。体部の中央には縦位の沈線で区画し、区画内部に刺突を充填している。文様は全体的に簡略した施文である。

**亀形土偶**（写183-12）は、側縁の突起部であり、突起部の下位に縦位に沈線を施している。

**円盤状土製品**（図121-1、写183-13～18） 写183-13～18は粗製の鉢の体部破片を用いており、写183-13は周縁の一部に擦りがみられる。図121-1は鉢の底部破片を整形している。

**ミニチュア・小型土器**（写179-2・180-5・182-12・183-7・8） 写179-2は台付浅鉢、写180-5は鉢、

写182-12は平口縁の鉢である。写183-7は香炉と推定される土器片である。写183-8は平口縁の皿で無文である。

(成田)

### 3 石器・石製品 (図122～124、写真184～190、表22)

#### 剥片石器

写185-31は黒曜石製の異形の石鏃といえるが、石偶のような形状のため、異形石器とした。写185-8の黒曜石製石鏃とともに青森県の木造出来島群である。写185-9～23は削器としたが小形のは、石鏃未製品の可能性がある。写185-11・12は、一側縁にアスファルトが付着しており、その側を上方とした。

(齋藤)

#### 磨製石斧

磨製石斧は図122-15に掲載した。石材は緑色凝灰岩の完形品である。刃部に微小剥離痕が見られる。基部には敲打痕が見られる。

#### 石棒類

石棒類は写真188 (図122、123) に掲載した。石材は粘板岩が大半である。

写188-14は、石刀の刃先部分である。擦切技法で折り取ったと思われる。石材は粘板岩である。

写188-12は、男根状の形状をした自然礫である。

石棒1点のみ写真で掲載した(26)。

図123-1は、長大な石棒である。柄部が欠損している。X字状と平行沈線文と敲打帯が見られる。

(高橋)

#### 岩版

図123-3はパンツ状文様があり、土偶のパンツ文様と類似性が強い。図123-5には正中線が表現されている。

(成田)

#### その他の石製品等

写189は石製円盤である。6は裏面側からの打撃により上下に挟りを持ち、紐ずれ等の痕跡がない。通常石錘のように両面に剥離がはならず、石製円盤とした。24は上面にのみ正面側と裏面側からの挟み打ちで、剥離加工が行われている。石製円盤の観察表では、このような表裏からの両極打法等による加工を「縦剥離」、23のように側面からの剥離加工を「横剥離」としたので留意されたい。26は、左上と右下に打撃による窪まりを持つが剥離方向は対向しない。27は珪質頁岩製であるが、剥離加工は円形の形状を意図して施されており、本類においた。写188-8は、両面の中央に凹があるが、通常の凹痕と異なり、敲打痕の上に、磨面が形成されている石製品である。同10・11は有孔の自然礫である。写188-17は素材が整形されず写190-1・13は素材が整形されているが刻線が細く線刻礫とした。

(齋藤)

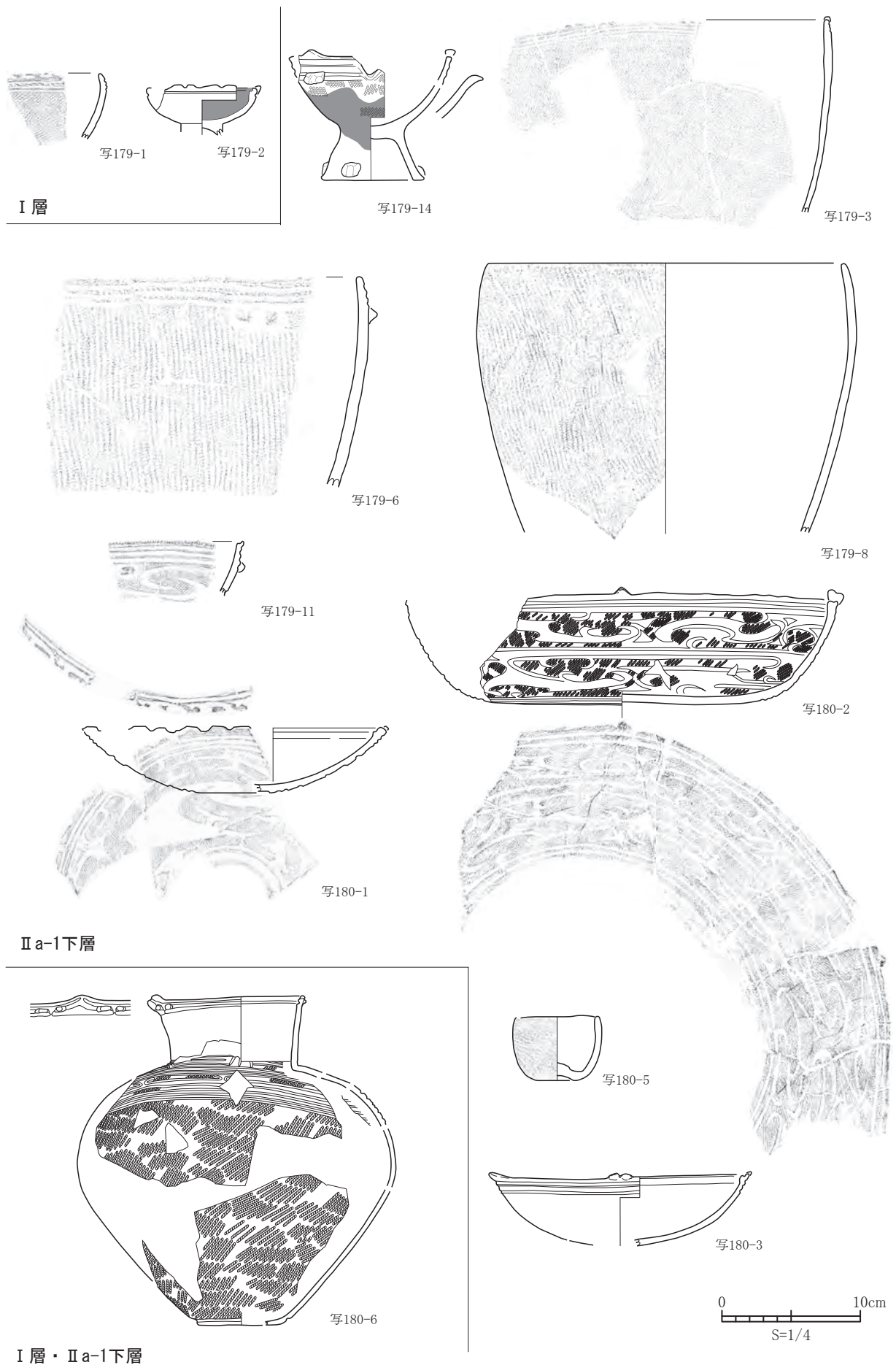


図119 東捨場延長地区 土器・土製品(1)



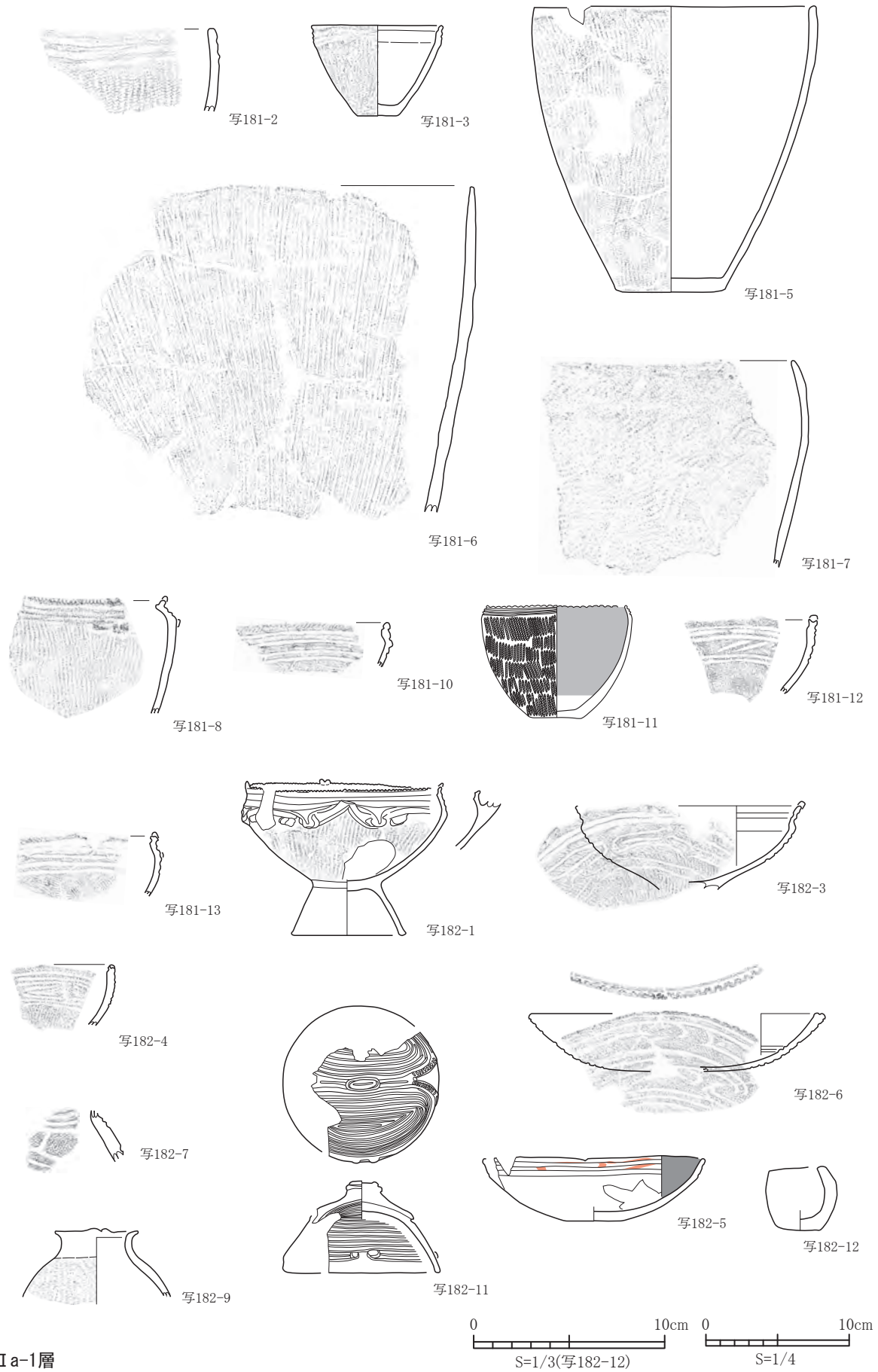


图120 東捨場延長地区 土器・土製品(2)

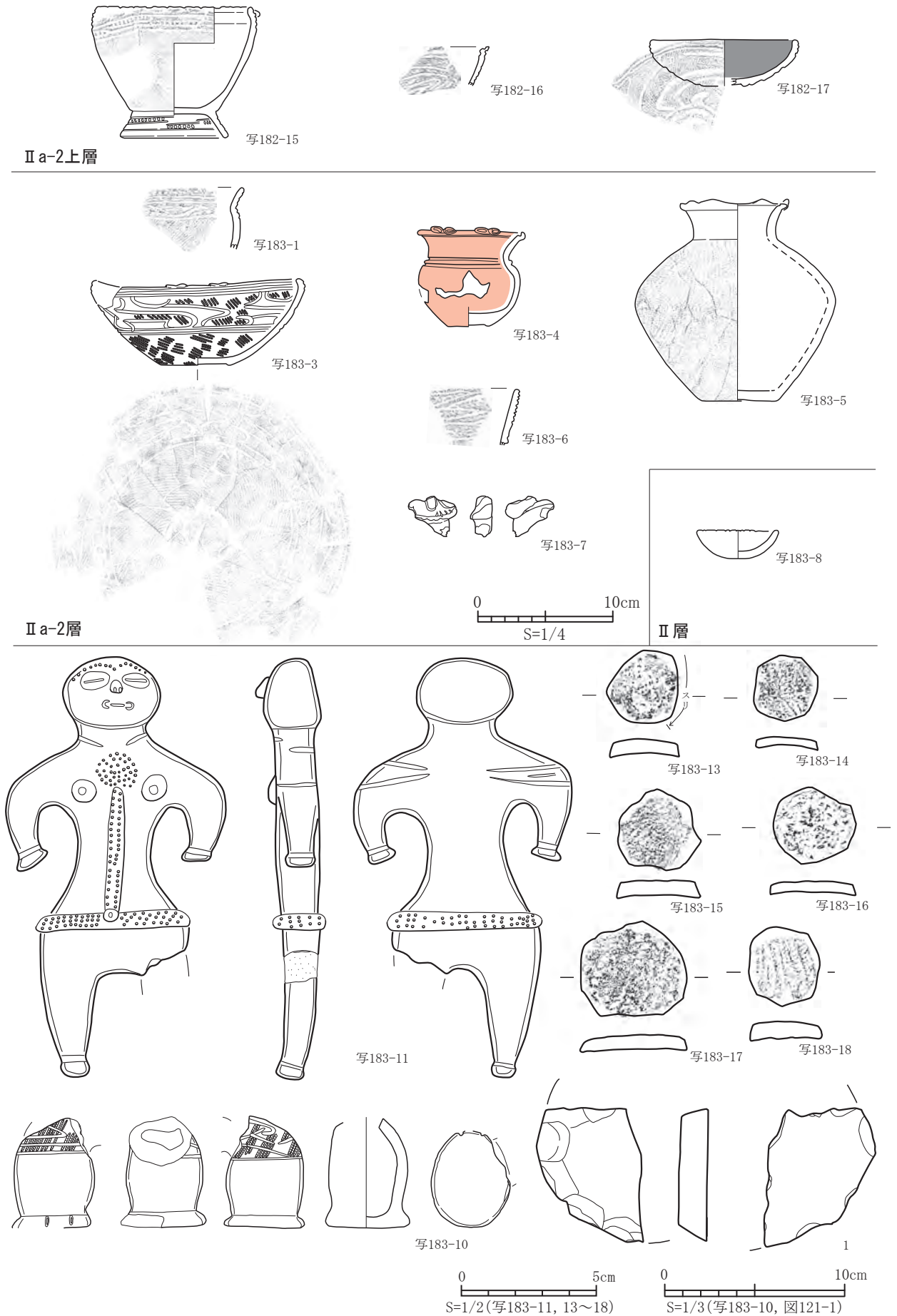


图121 東捨場延長地区 土器・土製品(3)

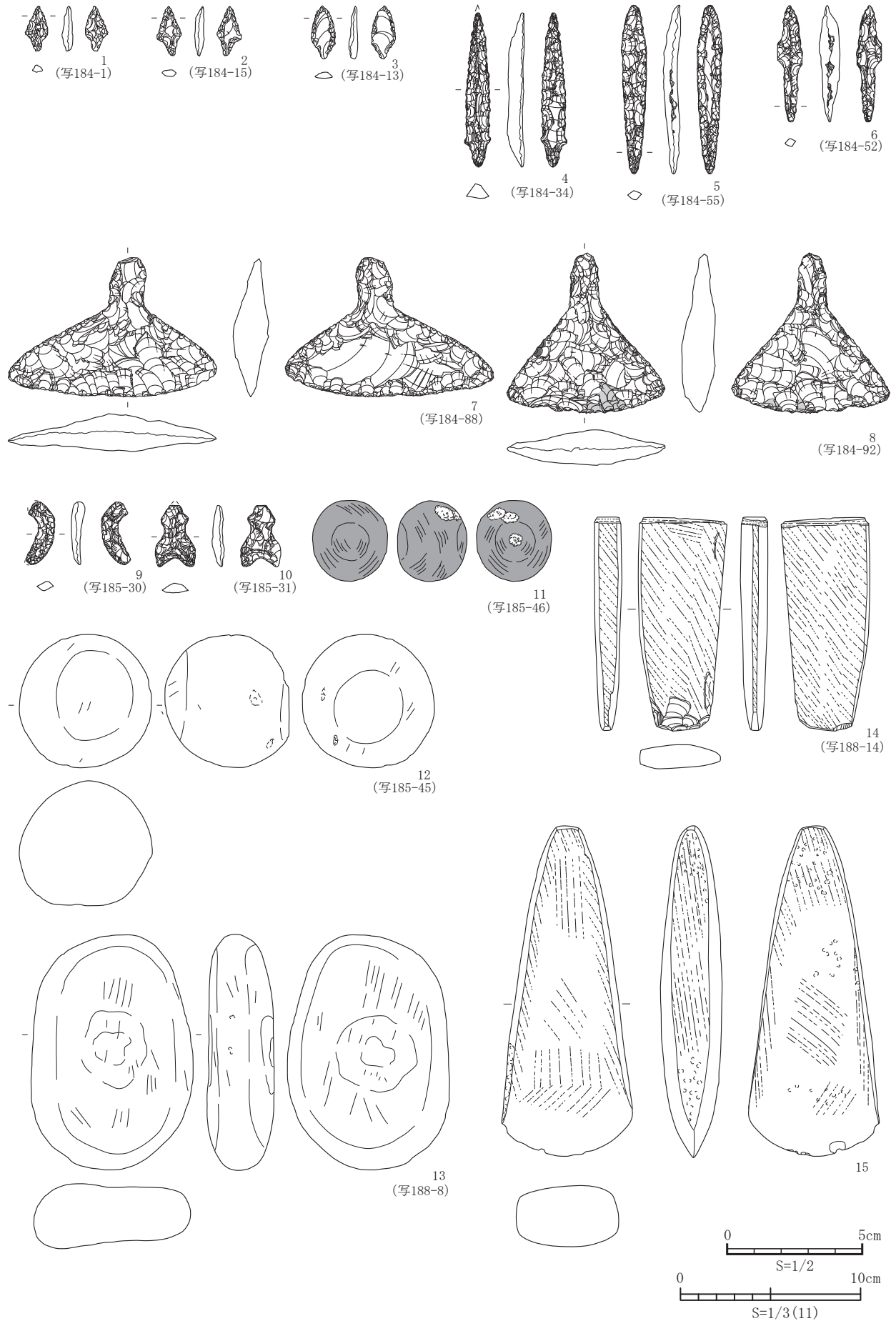


图122 東捨場延長地区 石器・石製品(1)

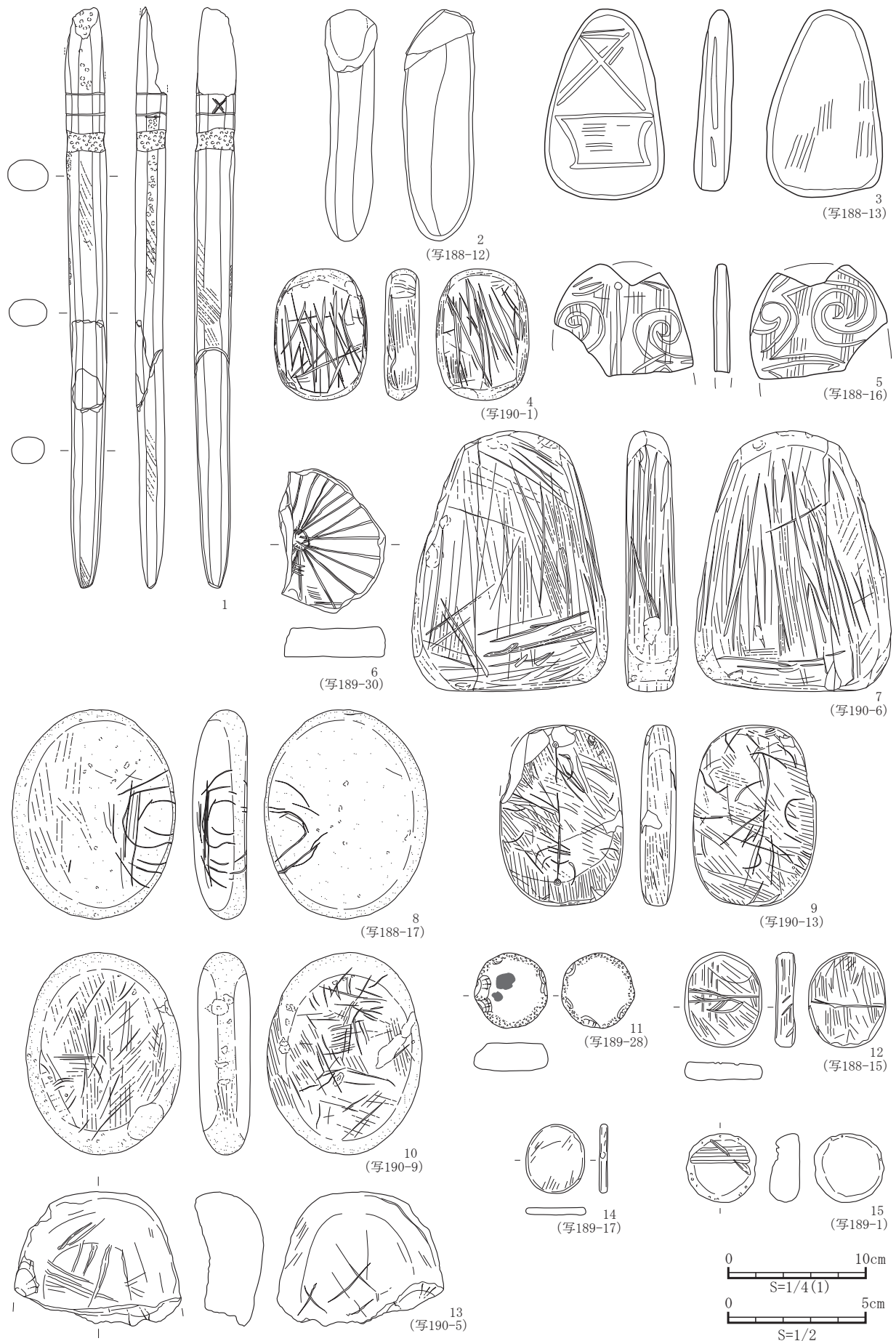


図123 東捨場延長地区 石器・石製品(2)



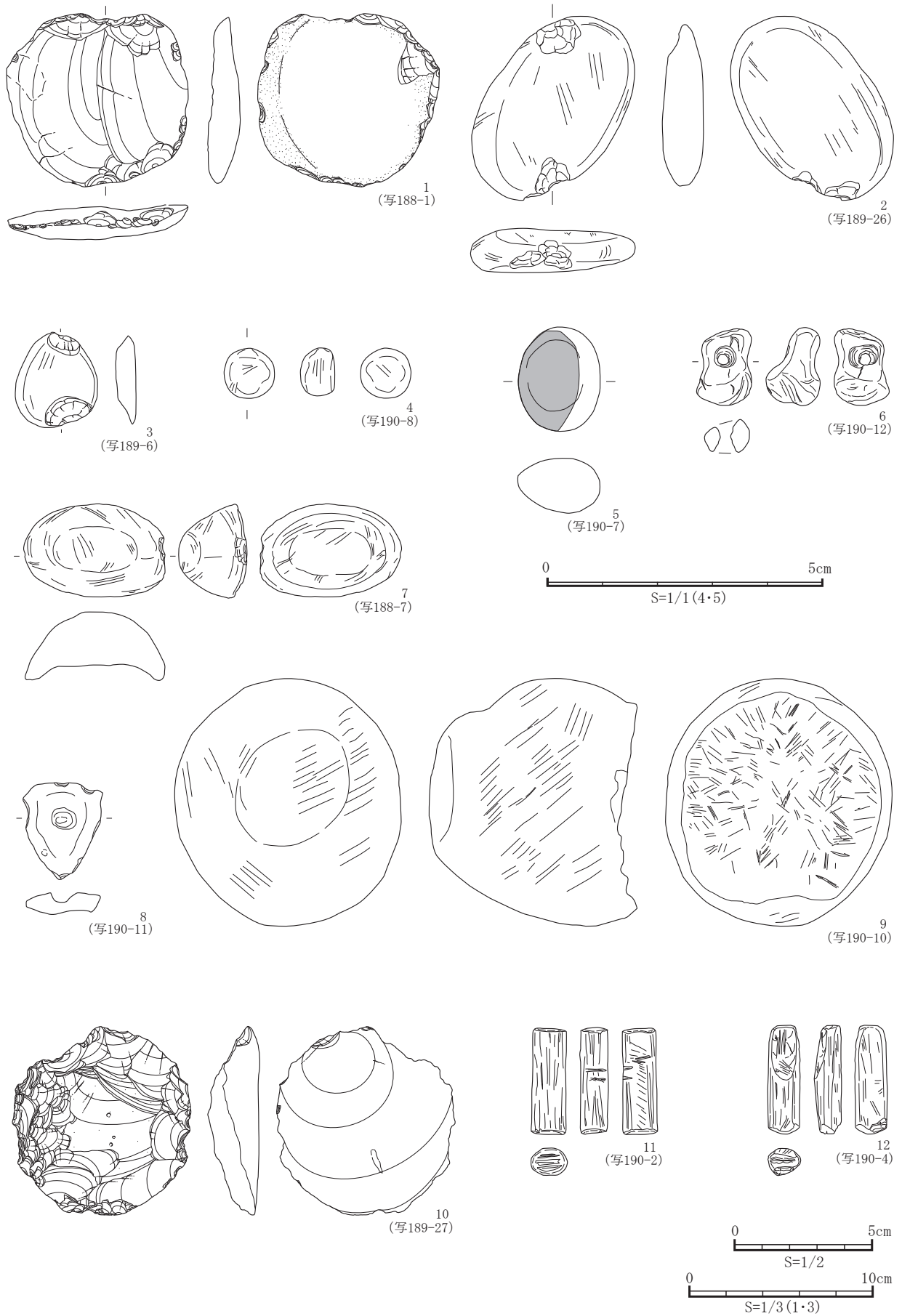


図124 東捨場延長地区 石器・石製品(3)



## 第3章 北東捨場延長地区

### 第1節 北東捨場延長の調査方法と堆積層について

#### 1 北東捨場延長の調査方法

北東捨場延長地区は、川原平(4)遺跡B区の北西部、V0～VR-46～53グリッドの範囲に相当する(図②)。一体の地形は、旧村道を挟んで北東捨場地区から連続する斜面が認められる。北東捨場地区における斜面の傾斜変換点は地山標高202m付近で、そこから北東捨場延長地区の194m付近まで北東方向へ傾斜が続く。なお、川原平(4)遺跡B区の北西部においても、標高202m付近から北西方向へ下る斜面がみられるが、この地点での捨場の形成は認められない。

平成26年9月下旬にトレンチ調査を開始し、同年10月の重機による表土除去後、発掘調査を本格化させた。トレンチは、北東捨場地区トレンチ2の延長上に設定した(図53)。トレンチ調査の結果、表土直下で遺物を多く包含する堆積層を検出し、その分布は、地形的に北東捨場地区との連続性が高いV0ライン以北で確認されたことから、当該範囲が北東捨場の連続部分に相当するものと判断した。トレンチに沿って土層観察用ベルトを残しながら掘り進め、出土した遺物は、基本的にグリッド・層位毎に取り上げた。なお、調査期間の時間的制約により、トータルステーションでの出土位置の記録、写真撮影等は必要最小限に留めている。

#### 2 堆積層について

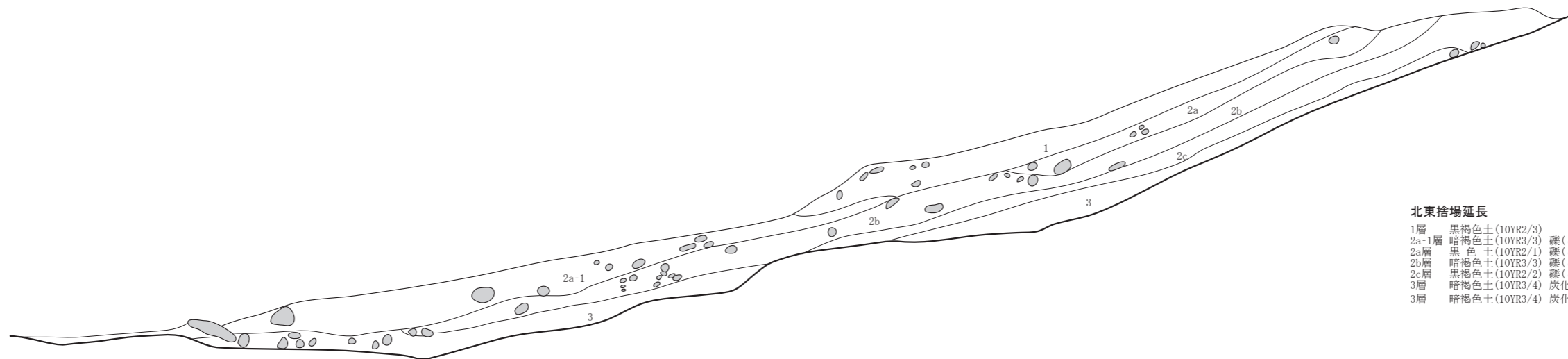
北東捨場延長は、V0ライン以北において、遺物を多く包含する黒褐色ないし暗褐色土の広がりとして確認された。この堆積層は南北約15m、東西約10mの範囲に分布し、北東末端部は傾斜が緩やかになる地点で終息する。北東捨場延長の堆積層については、基本的には北東捨場から連続するものと考えられるが、北東捨場の層位との明確な対比はできなかった。

北東捨場延長の堆積層は、大きく3層に分層した(図125)。第1層は厚さ約30cmで、黒褐色シルトを主体とし、北東端に小礫の混入がみられる。第2層は厚さ約50cmで、他層と比較して礫や炭化物の混入が目立ち、遺物量も多い。また、土色や混入物の違いから細分され、黒色・黒褐色シルトと暗褐色シルトとが概ね互層状に堆積する状況が認められた。第3層は厚さ20cm前後で、暗褐色シルトを主体とし、第1層と同様に北東端ほど礫の混入がみられる。地山の大部分は黄褐色粘質土と砂礫であるが、VP・Q-46グリッド付近では、一部に岩盤の露出が確認された(写真191-7)。堆積土中からは、縄文時代後期後葉から晩期中葉の遺物が出土しており、北東捨場から出土した遺物の時期と概ね呼応する。

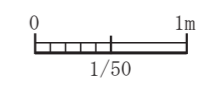
(最上)

(北東)  
△ 197.3m

(南西)  
△



- 北東捨場延長**
- 1層 黒褐色土(10YR2/3)
  - 2a-1層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ5~200mm)3%、炭化物1%
  - 2a層 黒色土(10YR2/1) 礫(φ5~15mm)10%
  - 2b層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ5~15mm)20%、炭化物3%
  - 2c層 黒褐色土(10YR2/2) 礫(φ5~15mm)3%、炭化物3%
  - 3層 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物3%



北東捨場延長地区

— 200.0m

— 195.0m

北東捨場延長地区 (上図縮小)

北東捨場地区トレンチ2  
(図57を反転して縮小)

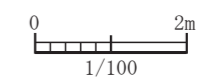


図125 北東捨場延長地区 セクション図



## 第2節 出土遺物

### 1 土器 (図126、写真192、表23)

北東捨場延長地区出土土器の総重量は約150kgである。トレンチが設定されたV0～VQ-48～49グリッドで30kgを超えるが、それ以外のグリッドでは10kg未満となる。1～2a層では晩期3～4期、2b～3層で後期後葉から晩期前葉の土器がみられる。

#### I層

写192-1は口縁直下2条の沈線間に刻目列を伴い、体部に彫去による雲形文のある皿である。外面に赤色顔料が付着する。晩期3期に相当する。

#### 1～2a層

写192-2は丸底の浅鉢で、外面に沈線文がみられる。晩期4期に相当する。

#### 2a層

浅鉢・台付皿・壺・注口土器が出土した。雲形文のある浅鉢(写192-3)・台付皿(写192-4)・壺(写192-7)がある。写192-3は内外面に赤彩を施し、内面に黒色付着物がみられる。写192-4は内外面に赤彩されている。写192-6は頸部に沈線文のある壺、写192-8は沈線文のある注口である。外面にわずかに赤色顔料が付着する。

#### 2b～2c層

後期後葉～晩期前葉の壺形のミニチュア土器が出土した(写192-9)。

#### 2～3層

写192-10は頸部と肩部の境目の隆帯上に短沈線、円形の突起をもつ壺である。晩期1a～1b期のものと思われる。

#### 3層

写192-11は沈線文の壺である。外面に赤色顔料が付着する。晩期1b～2期に相当する。

(中澤)

### 2 土製品 (図126、写真192、表24・25)

土偶2点、ミニチュア土器2点が出土した。

土偶(写192-12・13)は、中空の頭部破片で、頭頂部は王冠状を呈する。2点共に目部は弧状と横位の沈線により遮光器を表現している。写192-12は鼻部を粘土、写192-13は刺突で表現した小形の遮光器土偶である。

ミニチュア土器(写192-5・9) 写192-5・9は体部が張りだす壺である。

(成田)

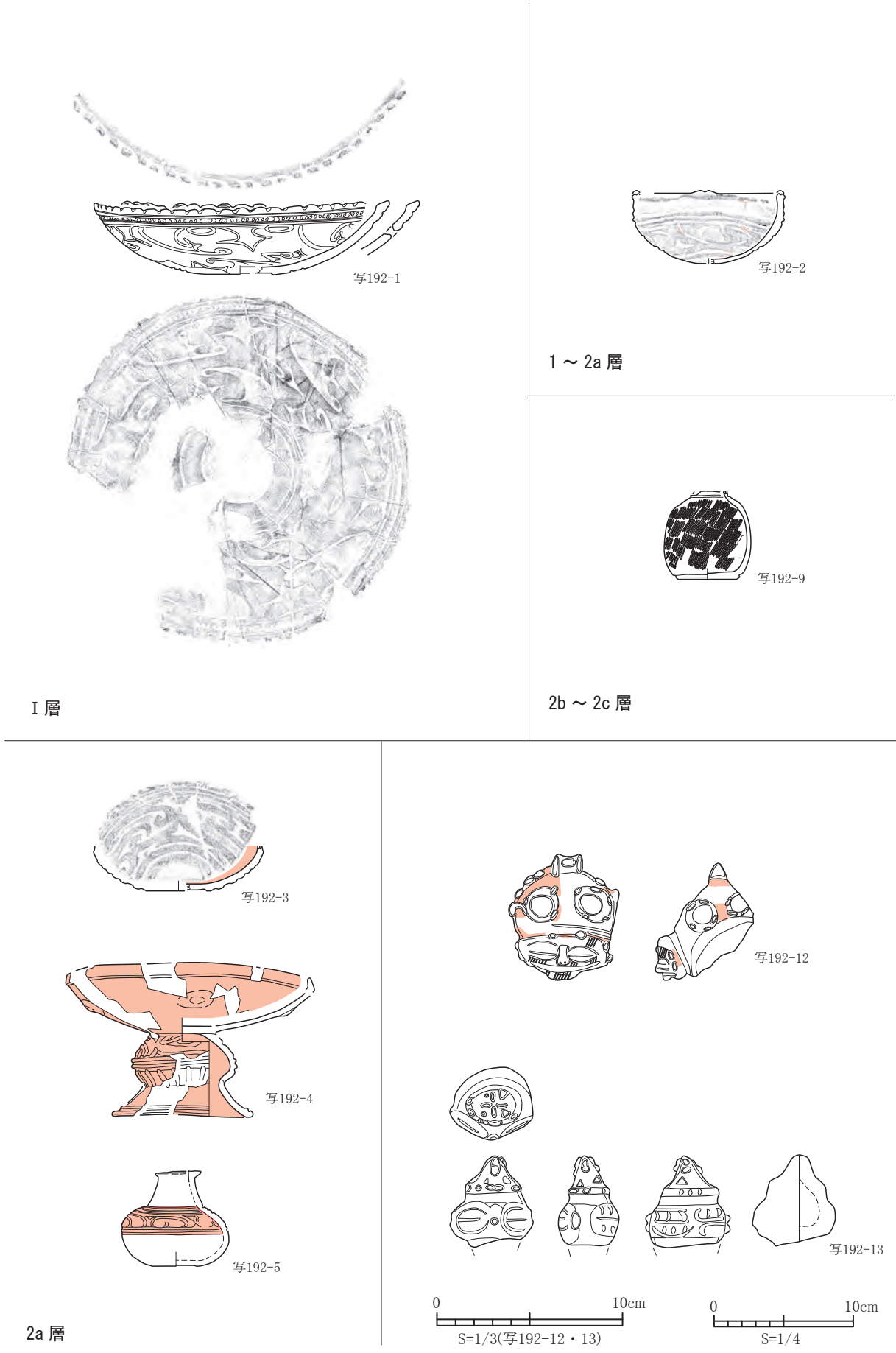


图126 北東捨場延長地区 土器・土製品



### 3 石器・石製品 (図127～128、写真193～198、表26)

報告書Ⅷの地区毎の石器組成の表に記載したように、出土数量は比較的少い。

#### 剥片石器

写193～194-3は剥片石器である。石鏃・石錐・石匙の出土点数が多いが、写193-9～21に形状変化のある石匙を多く掲載した。同22～24は、その形状から、一側縁にアスファルトが付着することの多い削器と考えられる。同26は異形石器である。同27以降は珪質頁岩製の石核であり大きさや形状の変化、敲石への転用などの変形を示すものを掲載した。

#### 磨製石斧

磨製石斧は写真194 (図127) に掲載した。石材は緑色岩、凝灰岩である。

写194-4は刃部欠損、他の2点は基部欠損である。

#### 礫石器

写194-7～197-13に掲載した。写194-22、195-7・8は、端部に平坦な敲打痕が形成されている。写197-12は石錘とした。

#### 石製品

写197-14は、半球状の石製品の裏面が窪みを持つものの変異と考えられる。正面から側面にかけて、段差と線刻を設けている。写198-1は小形の皿状の石製品で、裏面には弧状の線刻がある。同21は研磨加工が加えられた半球状の石製品の変異として考えられる。裏面に窪みの作り出しは無い。

(齋藤)

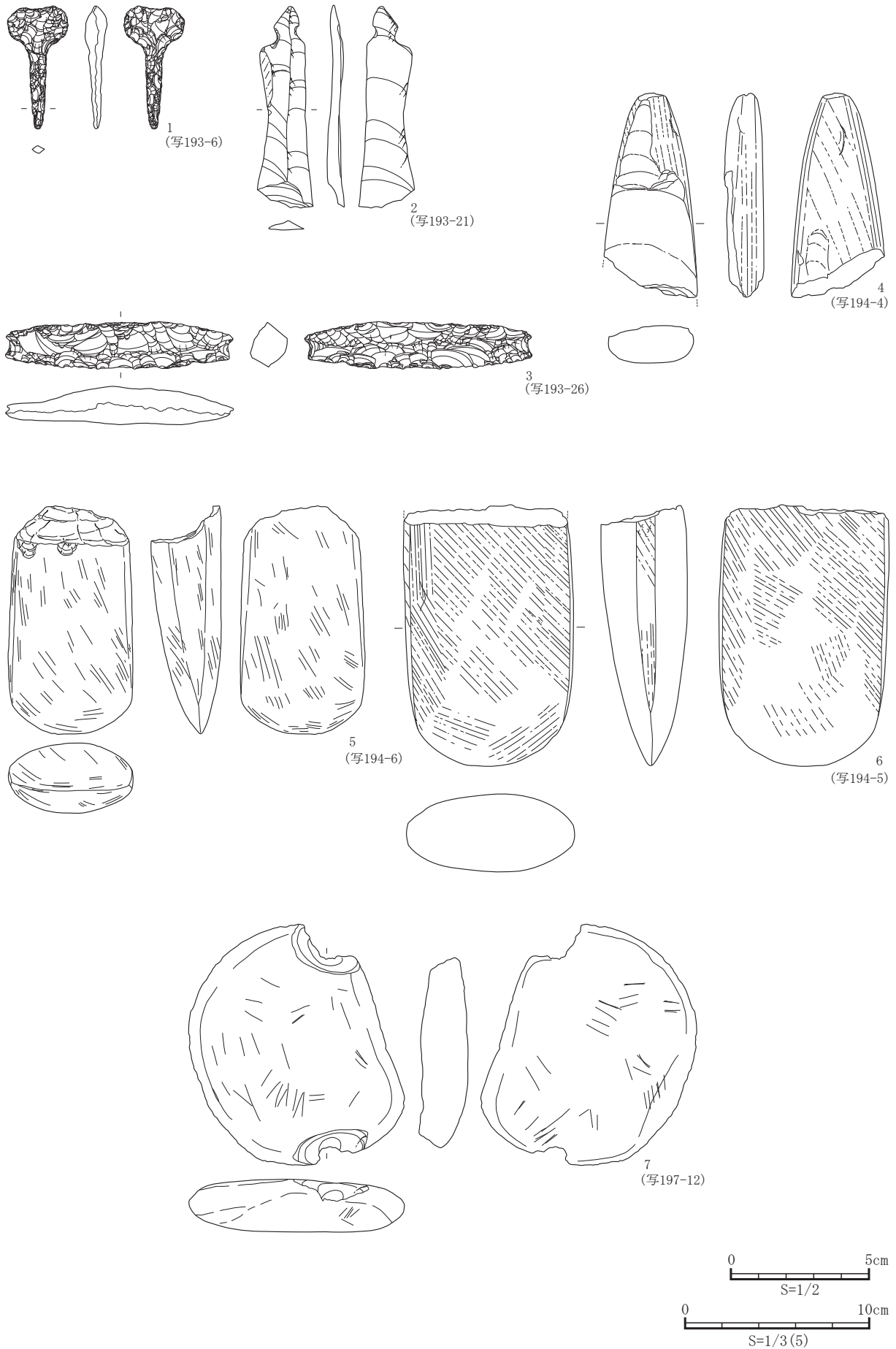


图127 北東捨場延長地区 石器・石製品(1)

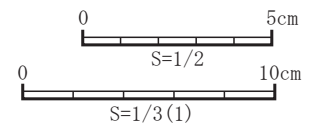
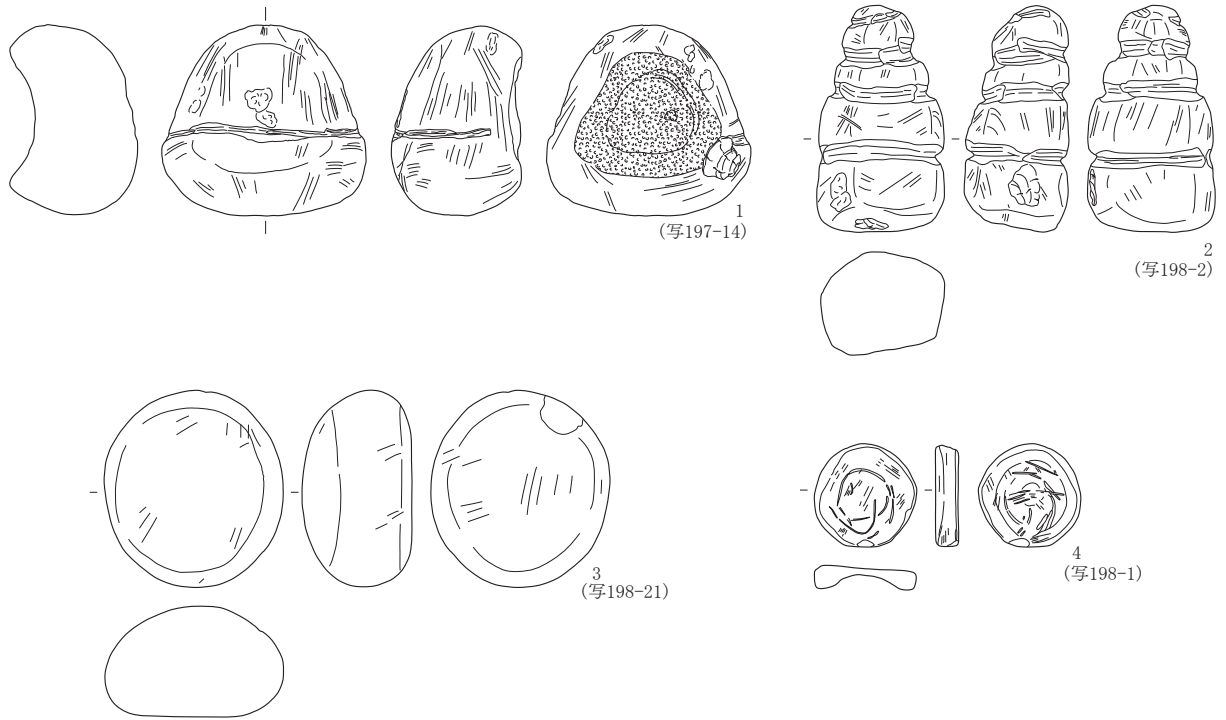


图128 北東捨場延長地区 石器・石製品(2)

## 第4章 まとめ

東捨場延長地区、北東捨場延長地区は、本遺跡の東側に接する川原平(4)遺跡の一部範囲を指す。本遺跡と川原平(4)遺跡は、旧村道を挟んで基本的に地形の連続性が認められ、さらには遺構・遺物の時期も重なる部分が多い。川原平(4)遺跡では、縄文時代晩期中葉から一部晩期後葉にかけての墓域が確認されており、本遺跡の集落構造・変遷を考える上でも重要な遺跡である。

この両遺跡の境界付近における発掘調査の結果、本遺跡の東捨場と北東捨場の範囲は、川原平(4)遺跡側に広がることが確認された。そのため、川原平(4)遺跡側に連続する捨場堆積層とその出土遺物について、「東捨場延長地区」、「北東捨場延長地区」として今回報告した次第である。なお、東捨場は段丘平坦面、北東捨場は斜面部に形成されている。

遺構は、東捨場延長地区の範囲内に土器埋設遺構1基、ピット9基が確認されている(青森県教委2016『川原平(4)遺跡IV』)。ピットはいずれも小規模なもので、規則的な配列は認められない。土器埋設遺構については、第27号土器埋設遺構として報告されたもので、粗製深鉢が倒立状態で認められ、口縁部はⅡa-2層上面に接する。遺構周囲が掘り下がっていたため、掘方は確認されていない。本遺跡でも掘方を伴わずに倒立状態に土器を設置した事例が、東捨場で多数確認されている。また、土器の口縁部が堆積層の境界に接する点についても、共通する特徴として留意され、このような遺構が東捨場地区を中心に一部延長地区まで広がっていたことがわかる。

遺物は、東捨場延長地区で縄文時代晩期中葉から晩期後葉、北東捨場延長地区で縄文時代後期後葉から晩期中葉のものが出土している。

東捨場延長地区については、出土土器の多くが押し潰れた状態もしくは破片で出土し、完形個体での出土例が極めて少ない点で、東捨場の主体部とは様相がやや異なる。この様相の違いには、捨場縁辺部としての性格が反映されている可能性がある。また、東捨場の堆積層に含まれる後期後葉から晩期前葉の遺物は、東捨場延長地区ではほとんど出土していない。よって、後期後葉から形成され始めた東捨場は、晩期中葉以降にその範囲を東捨場延長地区まで拡大したと考えられる。

北東捨場延長地区は、本遺跡の北東斜面末端部に相当し、川原平(4)遺跡側からの廃棄行為は認められない。遺物は斜面上方からの流れ込みによって時期的に新旧が混在するものと予想されたが、上層と下層の出土遺物にはある程度の時期差が認められた。上層からは主に晩期中葉、下層からは後期後葉から晩期前葉の遺物が出土している。北東捨場でも同様に、堆積層による出土遺物の時期差が確認されているが、最も上位の堆積層を中心に北東捨場延長地区には含まれない晩期5期の土器が出土している。このことから、北東捨場延長地区は北東捨場の形成に合わせて後期後葉から晩期中葉まで廃棄域として使用され、その後、晩期後葉の晩期5期には北東捨場の廃棄域が縮小したものと考えられる。

(最上)

## 引用文献

- 青森県教育委員会 2016 『川原平(4)遺跡IV』青森県埋蔵文化財調査報告書第566集。
- 市原市教育委員会 2007 『市原市西広貝塚III』市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第2集。
- 市原市文化財センター 1995 『能満上小貝塚』財団法人市原市文化財センター調査報告書第55集。
- 大八木規夫 1982 「地すべりの構造」『URBAN KUBOTA No.20(特集=地すべり)』(株)クボタ
- 小林圭一 2010 『亀ヶ岡式土器成立期の研究—東北地方における縄文時代晩期前葉の土器型式—』早稲田大学総合研究機構 先史考古学研究所。
- 小林謙一 2008 「縄文時代の暦年代」『縄文時代の考古学2 歴史のものさし—縄文時代研究の編年体系—』同成社。
- 柴 正敏 2016 「第4節 地形と地質」青森県教育委員会 2016 『川原平(4)遺跡IV』青森県埋蔵文化財調査報告書第566集。
- 栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1999 『藤岡神社遺跡』栃木県埋蔵文化財調査報告第197集。
- 階上町教育委員会 2000 『滝端遺跡発掘調査報告書』
- 藤村東男 1985 『九年橋遺跡第8次調査報告書』北上市文化財調査報告第39集。
- 峰山 巖 1968 「恵山式土器」『北海道考古学』第4輯 北海道考古学会。
- 武藤康弘 2016 「民族事例からみる多様な住居の様相—平地式住居の実態—」『縄文時代の食と住まい』ものが語る歴史32 同成社。
- 山内清男 1979[1961] 『日本先史土器の縄紋』先史考古学会、pp. 44 ~ 45。



表5 東捨場地区 遺構計測表

遺構名	グリッド	遺構時期	遺構名変更	備考	平面形	図版番号	写真図版番号	開口部/長さ×幅(直径)	底/長さ×幅(主柱穴)	深さ
SQ15	IVV-49・50	晩期中葉～後葉		掘方なし		6	9	3.01×0.98m	—	—
SQ34	IVW-54	晩期3				6	9	0.76×0.46m	—	—
SQ48	IVU-54・55	晩期3	旧ブロック1		不整形	7	10～11	3.92×2.46m	—	—
SQ49	IVW-52	晩期前葉以前		ブロック6の範囲に位置		6	9	1.45×0.42m	—	—
SR37	IVW-52	晩期中葉か		伏せ置かれた状態	掘方なし	8	14	掘方なし	掘方なし	—
SR38	IVW-52	後期後葉～晩期前葉		土器埋設遺構?	掘方なし	—	—	掘方なし	掘方なし	—
SR39	IVW-52	後期後葉～晩期前葉		土器埋設遺構?	掘方なし	—	14	掘方なし	掘方なし	—
SR40	IVW-52	晩期1b		土器埋設遺構?	掘方なし	—	14	掘方なし	掘方なし	—
SR41	IVU-54	晩期中葉か		伏せ置かれた状態	掘方なし	8	14	掘方なし	掘方なし	—
SR42	IVU-54	晩期3		伏せ置かれた状態	掘方なし	8	14	掘方なし	掘方なし	—
SR43	IVV-54	晩期中葉か		伏せ置かれた状態	掘方なし	8	14	掘方なし	掘方なし	—
SR44	IVU-54	晩期中葉か		伏せ置かれた状態	掘方なし	8	15	掘方なし	掘方なし	—
SR45	IVU-53	晩期中葉か		伏せ置かれた状態	掘方なし	8	15	掘方なし	掘方なし	—
SR46	IVU-53	晩期中葉か		伏せ置かれた状態	掘方なし	9	15	掘方なし	掘方なし	—
SR47	IVU-53	晩期中葉か		伏せ置かれた状態	掘方なし	9	15	掘方なし	掘方なし	—
SR48	IVU-53	晩期中葉か		伏せ置かれた状態	掘方なし	10	15	掘方なし	掘方なし	—
SR49	IVU-53	晩期中葉か		伏せ置かれた状態	掘方なし	10	—	掘方なし	掘方なし	—
SR77	IVY-52	晩期前葉	P-2634・P-2678		掘方なし	9	—	掘方なし	掘方なし	—
SR78	IVY-52	晩期前葉	P-2675	伏せ置かれた状態	掘方なし	9	—	掘方なし	掘方なし	—
SR79	IVY-52	晩期前葉	P-2676		掘方なし	9	—	掘方なし	掘方なし	—
SR80	IVV-55	晩期3	SR(P-2113)	伏せ置かれた状態	掘方なし	9	—	掘方なし	掘方なし	—
SR81	IVU-54	晩期中葉か	SR(P-2157、P-2158、P-2159)	伏せ置かれた状態	掘方なし	9	—	掘方なし	掘方なし	—
SR82	IVU-54	晩期中葉か	P-2313、P-2314、P-2319	伏せ置かれた状態	掘方なし	7	—	掘方なし	掘方なし	—
SN58	IVW-52	晩期前葉		年代測定あり		13	6	1.75×1.12m	—	15.7cm
SN59	IVX-52	晩期前葉		年代測定あり		13	6	0.63m	—	15.1cm
SN60	IVY-52	晩期前葉				13	8	0.55×0.41m	—	8.4
SN61	VA-53	晩期前葉		年代測定あり		14	7・8	0.59×0.58m	—	22.7
SN62	VA-53	晩期前葉				14	7・8	0.54×0.25m	—	6cm
SN63	VA-53	晩期前葉				14	8	0.31m	—	25.2cm
SN64	VA-53	晩期前葉				15	9	1.05×1.03m	—	10.7cm
SN65	IVY-52	晩期前葉				15	9	0.32m	—	—
SN66	IVY-52	晩期前葉				15	9	0.39×0.24m	—	—
Pit1929	IVU-56	不明				2	—	26×18	柱痕なし 底面絶対標高203.572m	掘方 18.4cm
Pit1932	IVV-56・57	不明				2	—	28×20	柱痕なし 底面絶対標高203.736m	掘方 23.2cm

表6 北東捨場地区 遺構計測表

遺構名	グリッド	遺構時期	遺構名変更	備考	平面形	図版番号	写真図版番号	開口部/長さ×幅(直径)	底/長さ×幅(主柱穴)	深さ
SQ33	VJ～VK-48	後期後葉～晩期前葉				55	83	1.30×0.76m	—	—
VL-46 グリッド 焼土	VL-46	晩期中葉				55	76	1.13×0.77m	—	—
トレンチ2 内焼土	VK-46	晩期中葉				55	79	0.81×0.65m	—	—

表7 東拾場地区 土器観察表(1)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
6	19	1	IVV49 P-X SQ15	覆土	壺か注口	後期6~7	外面：沈線文。RL/LR非結束羽状縄文突塊。	ナデ	赤形(外面)	報告書II118-17と同一個体	—	—	—	東-土器 2349
6	19	2	IVV49 P-X SQ15	覆土	鉢	晩期4~5	平口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線3条。文様帯地文なし。体部条縄文。	ナデ、口縁に沈線1条	炭化物(内)		—	—	—	東-土器 2350
—	20	1	IVV54 P2408 SQ48	KIII層	鉢	晩期中葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線2条。地文なし。口縁部~体部上半にRL縄文。	ナデ	炭化物(外面)		11.0	—	—	東-土器 2211
—	20	2	IVV54 P2130 SQ48	KIII層	壺小	晩期	外面：体部下半にRL縄文。底面刺縄。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東-土器 2210
7	20	3	IVV54 P2130b SQ48	KIII層	皿	晩期3	平口縁。B突起残存6単位。口唇：斜行列目。外面：口縁面下に横位沈線2条。彫去による雲形文。横位沈線4条。底面に彫去による雲形文。磨消(LR縄文)。磨消部ミガキ。底部：平底。	ミガキ 口縁に沈線1条	内外スス		(26.0)	(16.0)	6.0	東-土器 2212
—	20	4	IVV54 P2121 SQ48下層	KIII層	鉢	後期後葉	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：LR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(18.0)	—	—	東-土器 2098
—	20	5	IVV54 P2121 SQ48下層	KIII層	鉢	晩期3	平口縁。口唇：三叉状の抉り。外面：横位沈線4条。3条目に刻目列。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2103
—	20	6	IVV54 P2119 SQ48下層	KIII層	鉢	晩期2~3	平口縁。B突起残存6単位。口唇：B突起間に刻目列。外面：横位沈線4条。1~2条目に透化した半歯状文。肩部に立ち上がる突起。文様帯地文なし。体部上半にRL縄文。口縁部ミガキ。	ナデ 口縁部に沈線1条	内外スス		(24.0)	—	—	東-土器 2091
—	20	7	IVV54 P2354 SQ48下層	KIII層	鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：RL縄文(0段多条か)。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)		13.0	6.2	—	東-土器 2209
—	20	8	IVV54 P2122 SQ48下層	KIII層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部~体部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)		(9.0)	6.0	—	東-土器 2094
—	20	9	IVV54 P2123 SQ48下層	KIII層	壺	晩期中葉	平口縁。口唇：口縁肥厚(内)。外面：体部上半にRL縄文。口縁部ナデ。	体部ナデ 口縁部ミガキ 口縁部に沈線1条	外面スス		11.0	—	—	東-土器 2084
11-1	—	—	P-X SR38		鉢小	後期後葉~晩 期前葉	外面：面取なし。底部：低平な高台。	ナデ		胎土：砂礫	—	10.5	—	東-土器 2332
11	21	1	P-X SR39		深鉢小	後期後葉~晩 期前葉	外面：LR縄文。底部：低平な高台。	ナデ	炭化物(内)		—	9.4	—	東-土器 2334
11	21	2	P-X SR40		鉢	晩期Ib	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：沈線文(入組三叉文か)。縄文地施文。LR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		—	—	—	東-土器 2336
11	21	3	P-X SR41	KIII層	深鉢	晩期	平口縁。突起1単位(2個一組か)。口唇：面取(平坦)。LR縄文。	ナデ	炭化物(外)		32.6	—	(16.0)	東-土器 2067
11	21	4	P-X SR42		台付鉢	晩期3	連続した三叉状の抉りにより装飾的な口縁。外面：横位沈線3条(上位2条の沈線間に刻目列)。突起5単位(頂部刻目)。文様帯地文なし。体部にRL縄文。右部ミガキ。底部：台(端部肥厚・肥厚部RL縄文。横位に連続する三叉文5単位)。	ミガキ	炭化物(内・外面)		13.0	7.5	10.3	東-土器 2376
11	21	6	IVV54 SR43	KIII層	鉢	晩期2~3	平口縁。B突起。口唇：刻目。外面：横位沈線4条(上位2条の沈線に上下交互に刺突列)。文様帯地文なし。体部にRL縄文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内外)		16.4	—	(8.0)	東-土器 2066
11	21	7	IVV53 SR45	KIII層	鉢	晩期	外面：体部下半~底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2382

表7 東拾場地区 土器観察表(2)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
11-2	—	—	IVU53 P2215 SR45・45-2	KIII層	鉢	後期後葉～晩期	平口縁。口唇：面取(内削ぎ状)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(27.5)	—	—	東-土器 2379
11-3	—	—	IVU53 SR45	KIII層	鉢	晩期前葉～中葉	平口縁。口唇：押圧状の刻目か。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)	貫通孔2個一組	(25.0)	—	—	東-土器 2380
11-4	—	—	IVU53 SR45	KIII層	鉢	晩期	外面：体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面。 吹きこぼれ痕)		—	—	—	東-土器 2381
11-5	—	—	IVU53 SR45	KIII層	鉢	晩期	平口縁。口唇：部分的に面取。口縁部～体部上半にLR縄文。器面劣化顕著。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土：小礫	(27.5)	—	—	東-土器 2378
12	21	8	IVU53 P-X SR46	KIII層	深鉢	後期後葉～晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：LR縄文。口縁端部に面取時の粘土の段あり。	ナデ	炭化物(外) 外面黒斑		26.0	—	—	東-土器 2184
12	21	9	IVU53 P-X	KIII層	深鉢	晩期2～3か	平口縁。口唇：部分的に面取(平坦)。外面：LR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		(19.0)	—	—	東-土器 2170
12	21	10	IVU54 P2215 P-X SR47	KIII下層	壺	晩期2～3	外面：ナデ。器面彫刻顕著。底部：凹底。	ナデ	赤彩(外面)		4.5	—	—	東-土器 2373
12	21	11	IVU53 P-X SR48	KIII層	深鉢	晩期	平口縁。突起1単位(2個一組)。口唇：面取(平坦)。LR縄文。	ナデ	炭化物(外)		29.0	—	—	東-土器 2055
12	21	13	IVU53 P-X SR49	KIII層	台	晩期2～3か	外面：体部と台部の境に横位沈線2条。底部：台(端部肥厚。LR縄文)。	ナデ			—	7.8	—	東-土器 2175
12-1	—	—	IVU53 P-X SR49	KIII層	鉢か	晩期	外面：ナデ。底部：平底(底面に刺突のような圧痕3箇所)。	ナデ	炭化物(外)		—	9.4	—	東-土器 2176
12	21	14	IVU55 P2213 SR80		鉢	晩期2～3	平口縁。B突起残存1単位。口唇：刻目。外面：退化した羊歯状文。頸部と体部の境に横位沈線2条。立ち上がる大突起(付け根に小突起)。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(32.0)	—	—	東-土器 2374
16	22	1	P-X SN58	1層	鉢	晩期lbか	小波状口縁。口唇：面取(平坦)。外面：沈線文。沈線間に短沈線列1条。縄文地施文。LR縄文。	ナデ			—	—	—	東-土器 2339
16	22	2	P-X SN58 周辺焼土		鉢	晩期2か	平口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線5条(上から1・2条目間と3・4条目間にそれぞれ刻目列)。文様帯地文なし。LR縄文。	ナデ			—	—	—	東-土器 2346
16	22	3	P-X SN58 周辺焼土		鉢	晩期前葉	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線5条。文様帯地文なし。LR縄文。	ナデ			—	—	—	東-土器 2345
16	22	4	P-X SN59	2層	鉢	晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：LR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		—	—	—	東-土器 2340
16	22	5	P-X SN59	炉内	鉢	晩期lbか	平口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線。地文なし。	ナデ	炭化物(外)		—	—	—	東-土器 2344
16	22	6	P-X SN59	炉内	鉢	晩期lbか	外面：横位沈線2条。文様帯地文なし。体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(外)		—	—	—	東-土器 2341
16	22	7	IVU52 P2603 SN60		台	後期後葉～晩期前葉	外面：ナデ。底部：台。	ナデ	炭化物(台部内面)		—	10.2	—	東-土器 2335
16	22	10	P-X SN61	1層	鉢	晩期	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		17.5	—	16.8	東-土器 2063
16	22	11	P-X SN61	1層	深鉢	晩期前葉	小波状口縁。外面：LR縄文(縄文が不明瞭な部分が多い)。底部：低平な高台。	ナデ	炭化物(内外)		(16.0)	6.5	17.4	東-土器 2368

表7 東拾場地区 土器観察表(3)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
16	22	12	P-X SN63	炉体	深鉢	晩期	縄文LR(底部付近は縄文施文なし)。底面：平底	ナデ	炭化物(内外)		—	8.8	(25.6)	東-土器 2054
16	22	13	P-X SN64	1層	鉢	晩期1b	小波状口縁。口唇：部分的に面取。外面：沈線文(波頂部下に2条の弧線)。沈線あり)を交互に横位沈線2条。縄文地施文。LR縄文。	ナデ	炭化物(外)		(13.0)	—	—	東-土器 2337
16	22	15	P2635 SN65		鉢	後期後葉～晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：LR縄文。	ナデ	炭化物(外)		24.0	—	—	東-土器 2180
21	23	1	IVU2 P-X フロック2	覆土	鉢	晩期1a	平口縁。台形突起(外面に三叉状の体り)と一山突起(刻目・外面に弧状の沈線あり)を交互に配置。口唇：面取(平坦)。外面：沈線間に短沈線列1条。磨消縄文LR。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東-土器 2330
21	23	2	IVU2 P2015 フロック2	KIII層	深鉢	晩期1b	平口縁。突起残存1単位。外面：口縁突起下に横位の短沈線。三叉文。入組文。2条の沈線間に短沈線列。縄文地施文。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2205
21	23	3	IVU2 P2013 フロック2	KIII層	鉢	晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		34.0	—	—	東-土器 2246
21	23	4	IVW2 P-X フロック2	覆土	鉢	晩期3	外面：短沈線列。横位沈線2条。文様帯地文なし。LR縄文。	ナデ	赤形(内・外面)		—	—	—	東-土器 2273
21	23	5	IVAR2 P-X フロック2	覆土	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。沈線間に刻目列1条(口縁直下)。外面：横位沈線2条。彫去による菱形文。磨消縄文LR。	ナデ			—	—	—	東-土器 2315
—	23	6	VU52 特-205 フロック2	KIII層	香炉	後期後葉	外面：頂部に動物頭部を模した突起がつく。貫通孔1箇所。LR縄文。	ナデ			—	—	—	東-土2049
21	23	7	IVV1 P-X フロック3	覆土	鉢	後期7-4	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：沈線間に刻目列2条。地文なし。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東-土器 2238
21	23	8	IVV1 P2012 フロック3	KIII層	鉢	後期後葉～晩期前葉	平口縁。一山突起残存1単位。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。器面磨滅顕著。	ナデ	炭化物(外面)	胎土：小粒	—	—	—	東-土器 2235
21	23	9	IVV1 P2008 フロック3	KIII層	鉢	晩期1a～1b	平口縁。突起(頂部沈線)。口唇：面取なし。外面：横位沈線1条。口縁端部ナデ。LR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東-土器 2240
21	23	10	IVV0 P-X フロック3	覆土	鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：刻目列。横位沈線。体部上半にLR縄文。	ナデ			—	—	—	東-土器 2295
—	23	11	IVW1 P2010 フロック4	KIII層	鉢	後期7-4	平口縁。口唇：面取なし。外面：刻目列。沈線(入組文か)。磨消縄文LR。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2306
21	23	12	IVW1 P-X フロック4	覆土	鉢	晩期1a	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線1条。入組文。磨消縄文LR。	ナデ	炭化物(外面)		(26.0)	—	—	東-土器 2233
21	23	13	IVW1 P-X フロック4	覆土	鉢	晩期2～3	平口縁。口唇：刻目列。外面：沈線間に刺突列2条。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(10.2)	—	—	東-土器 2234
21	23	14	IVW2 P-X フロック5	覆土	鉢	後期7-4	平口縁。口唇：面取。外面：刻目列と横位沈線各2条(口縁直下)。入組文か。磨消(LR縄文)。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東-土器 2314
21	23	15	IVW1 P-X フロック5	覆土	鉢	後期8～晩期1a	平口縁。一山突起。口唇：面取。外面：横位沈線2条。縄文地施文。LR縄文。	ナデ	炭化物(内面)		—	—	—	東-土器 2308

表7 東拾場地区 土器観察表(4)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
21	23	16	P-X フロック5		鉢	晩期4	平口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線3条。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2338
21	23	17	IWS2 P-X フロック5	覆土	注口か	晩期1aか	突起。穿孔。外面：突起の形状に沿ってLR縄文。	ナデ			—	—	—	東-土器 2301
22	24	1	IWS2 P2032 フロック6	覆土	深鉢	後期8	平口縁。連続する台形突起(頂部刻目3~4本)。口唇：面取(平垣)。外面：2条の沈線間に入組文(粗縄)。縄文地文なし。LR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		(32.0)	—	—	東-土器 2050
22	24	2	IWS2 P2028 フロック6	KIII層	深鉢か	晩期1b	小波状口縁。口唇：面取(平垣)。外面：沈線文(口縁形状に対応した上向き の弧線文)。三叉文。横位沈線1条。磨消。体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		22.8	—	—	東-土器 2057
22	24	3	IWS2 P2047 フロック6	覆土下層	鉢	晩期1b	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：入組文。磨消。体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		(18.0)	—	—	東-土器 2270
22	24	4	IWS2 P-X フロック6	覆土	鉢	晩期1a~1b	小波状口縁。一山突起。外面：入組文(入組部に刺突)。沈線による三叉文(入 組文に接部)。沈線で区画された縄文帯。磨消。LR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		—	—	—	東-土器 2051
22	24	5	IWS2 P2046 フロック6	覆土下層	鉢	後期後葉~晩 期	平口縁。口唇：面取(平垣)。外面：LR縄文(縄文施文前にケズリ)。	ナデ	炭化物(外)		(30.0)	—	—	東-土器 2215
22	24	6	IWS2 P2027 フロック6	KIII層	台付深鉢	晩期2~3	平口縁。B突起8単位残存。口唇：刻目。外面：横位沈線4条(上位2条の 沈線間に退化した半指状文)。体部と台部の境に横位沈線。突起1箇所。文様 帯地文なし。縄文。底語：台(端部肥厚)。	口縁に沈線1条	炭化物(内外)		19.4	9.2	22.8	東-土器 2046
22	24	7	IWS2 P2026 フロック6	KIII層	鉢	後期後葉~晩 期前葉	平口縁。台形突起推定9単位(残存7単位。頂部刻目1本)。口唇：面取なし。 外面：体部上半にLR縄文。	ナデ、粘土紐巻 合痕残存。	炭化物(内・外面)		16.7	—	—	東-土器 2197
—	24	8	IWS2 P2045 フロック6	覆土下層	浅鉢	晩期1b	平口縁。大突起1単位。B突起2単位残存。外面：入組三叉文。2条の沈線 間に短沈線列1条。沈線文(彫去)。口縁部地文なし。体部磨消。LR縄文。	ミガキ	赤彩(内・外面)		—	—	—	東-土器 2186
22	25	1	IWS4 P2235 フロック10	覆土	鉢	晩期前葉か	外面：条痕文。底部：低平な高台。	ナデ	炭化物(内外)	胎土：砂礫	—	7.0	—	東-土器 2171
22	25	2	IWS4 P-X フロック10	覆土	浅鉢	晩期3	平口縁。裝飾的な突起2単位残存。口唇：面取。外面：横位沈線2条。沈線 による雲形文。地文なし。	ナデ、口縁突起 内面に隆帯とB 突起	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2291
—	25	3	IWS3 P2520 フロック17	KIII d層	鉢	晩期1b	小波状口縁。突起1単位残存(B突起。2個一組)。口唇：面取なし。外面： 口縁直下に横位沈線3条。入組文。横位沈線3条。文様帯地文なし。体部上 半にLR縄文。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(内・外面)		20.0	—	—	東-土器 2058
23	25	4	IWS3 P2516 フロック17	KIII d層	鉢	晩期1b	平口縁。連続する三叉文。沈線文(入組文)。横位沈線2条。文様帯地文なし。LR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		20.6	—	—	東-土器 2100
23	25	5	IWS3 P2530 フロック17	KIII d層	鉢	晩期1b~2	小波状口縁。突起か(欠損)。口唇：面取なし。外面：沈線間に短沈線列3条。 文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2131
23	25	6	IWS3 P2514 フロック17	KIII d層	鉢	晩期1b	平口縁。連続する三山突起。口唇：面取。外面：2条の沈線間に入組三叉文。 口縁部縄文帯。LR縄文。文様帯地文なし。	ナデ	炭化物(内)		18.2	—	—	東-土器 2139



表7 東拾場地区 土器観察表(5)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
23	25	7	IWS3 P-X フロック17	KIII1d層	鉢	晩期2	平口縁。連続するB突起。口唇：面取なし。外面：沈線文(上下に背向する弧線文)。弧線文の内側に刻目列。沈線間に短沈線1条。横位沈線2条。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(内・外面)		(17.0)	—	—	東-土器 2247
23	25	8	IWS3 P2515 フロック17	KIII1d層	鉢	晩期	平口縁。口唇：面取(内割ぎ状)。外面：口縁部～体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(外面)		(34.0)	—	—	東-土器 2081
23	25	9	IWS8 P2516 フロック17	KIII1d層	鉢	晩期2	小波状口縁。突起残存3単位。口唇：面取なし。外面：口縁形状に対応した刻目(刻目下端は沈線文に連続)。沈線文(口縁突起頂部付近から垂下し。隣接する口縁突起付近で鋭角に上折する)。辛歯状文か。横位沈線1条。磨消。丸縷文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2153
—	25	10	IWS3 P-X フロック17	KIII1d層	台付皿	晩期1b	小波状口縁。凸状の突起1単位(外面に沈線。三叉状の袈り)。外面：2条の沈線間に入組三叉文。文様帯地文なし。体部上半ミガキ。底部：台(欠損)。	ミガキ		東-2190・北-5689と同一個体	(34.0)	—	—	東-土器 2121
23	25	11	IWS3 P2519 フロック17	KIII1d層	注口	晩期1b	外面：注口周辺に沈線。頸部～底部ミガキ。注口：沈線文。基部に入組三叉文。底部：丸底。	ナデ	底部黒斑	注口内径1.0cm	—	丸底	—	東-土器 2187
—	25	12	IWS3 P-X フロック17	KIII1d層	台付皿	晩期1b	平口縁。口唇：押圧状の刻目。外面：沈線間に入組三叉文。文様帯地文なし。口縁部～底部ミガキ。底部：台(欠損)。	ナデ	炭化物(外面)		14.0	—	3.5	東-土器 2347
23	25	13	IWS3 P2525 フロック17	KIII1d層	注口	晩期1b	外面：彫去による沈線文。頸部に沈線間に短沈線列1条。体部下半に横位沈線1条(注口部で「ノ」字状に垂下)。地文なし。ミガキ。注口：欠損。沈線。底部：丸底。	ナデ			—	丸底	4.7	東-土器 2147
—	25	14	IWS3 P-X フロック17	KIII1d層	注口	晩期2	平口縁。B突起残存1単位。口唇：面取。外面：沈線間に刺突列2条。横位沈線1条。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東-土器 2258
23	26	1	IWS2 P-X フロック18	KIII2層	鉢	後期7-4	平口縁。一山突起残存1単位(突起外面に円形貼瘤)。口唇：面取。外面：沈線間に刻目列による入組文。円形貼瘤。文様帯地文なし。ミガキ。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東-土器 2182
23	26	2	IWS2 P2596 フロック18	KIII2層	鉢	後期8	波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁形状に沿った2条の沈線文。入組文。横位沈線2条。縄文地施文(LR縷文)。体部上半ナデ。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東-土器 2208
23	26	3	IWS2 P2597 フロック18	KIII2層	鉢	晩期1a	小波状口縁。一山突起残存1単位(頂部刻目2本)。口唇：面取なし。外面：沈線文(口縁形状に沿った弧線文)。口縁突起下に袈りによる三叉文。横位沈線1条。入組文。横位沈線と入組文の接続部に刺突と円文。磨消(LR縷文)。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土：海綿骨針・砂粒	18.0	—	—	東-土器 2189
23	26	4	IWS2 P2594 フロック18	KIII2層	鉢	後期後葉	外面：LR縷文。底部付近ナデ。底部：高台。	ナデ	炭化物(内)		—	7.4	8.2	東-土器 2183
23	26	5	IWS2 P2602 フロック18	KIII2層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁直下に沈線間に刺突列1条(刻目は数個一組)。横位沈線1条。彫去による雲形文。磨消(LR縷文)。	ミガキ	赤彩(内・外面)		(18.0)	—	—	東-土器 2268
23	26	6	IWS2 P2598 フロック18	KIII2層	注口	後期8	外面：口縁部と体部の間に短沈線列。沈線文。三叉文。体部半ばに横位沈線1条。磨消(LR)。体部下半ミガキ。注口：欠損。基部に二袋状の膨らみ(膨らみ上に沈線)。底部：高台。	口縁部ミガキ 体部ナデ			—	1.4	(11.0)	東-土器 2070
24	26	7	IWS2 P-X フロック19	KIII2層	鉢	後期7-4	平口縁。突起(欠損)。口唇：面取(平垣)。口縁形状に沿って刻目列と沈線が巡る。外面：沈線文。沈線間に刻目列1条。磨消(LR縷文)。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2297
24	26	8	IWS2 P-X フロック19	KIII2層	鉢	晩期1b小	平口縁。一山突起推定8単位(残存4単位)。口唇：面取(平垣)。外面：横位沈線2条。口縁部ミガキ。体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(内外)		(20.0)	—	—	東-土器 2143

表7 東拾場地区 土器観察表(6)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
24	26	9	IV52 P-X フロック19	KIII2層	鉢	後期後葉~晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部~体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(30.0)	—	—	東-土器 2206
—	26	10	IV52 P2626 フロック19	KIII2層	台付鉢	後期7-4	平口縁。大小の二山突起を交互に配置(8単位)。口唇：面取なし。外面：口縁直下に沈線。突起直下に凹形の貼輪。沈線。磨消。凡縄文。体部ナデ。底部：台(ナデ)。	ナデ	内外スス	胎土：砂礫	11.0	—	12.2	東-土器 2030
—	26	11	IV52 P2625 フロック19	KIII2層	注口	後期8	平口縁。口唇：面取。外面：口縁~底部ケズリ(一部ミガキ)。注口：基部に一袋状の膨らみ(頂部押圧)。底部：高台。	口縁部ミガキ、 頸部~体部ナデ	外面黒斑	注口内径0.8cm	9.0	3.2	8.1	東-土器 2021
24	26	12	IV52 P2627 フロック20	KIII2層	鉢	後期8	平口縁。一山突起残存1単位。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線2条。入組文。沈線による三叉文(入組文に接続)。横位沈線2条。磨消(LR縄文)。体部磨滅。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2239
24	26	13	IV52 P2628 フロック20	KIII2層	鉢	後期後葉~晩期	平口縁。口唇：面取。外面：LR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土：小礫	—	—	—	東-土器 2263
24	26	14	IV52 P2630 フロック20	KIII2層	注口か	後期8~晩期1a	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部~体部上半ミガキ。	ナデ	外面黒斑		(16.0)	—	—	東-土器 2282
24	26	15	IV52 P-X フロック20	KIII2層	不明	後期後葉小	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線3条。地文なし。口縁部ナデ。	ナデ			—	—	—	東-土器 2280
24	27	1	V52 P-X フロック21	KIII2層	鉢	後期7-4	平口縁。一山突起と二山突起2種類交互に配置(8単位。残存3単位)。口唇：面取(平坦)。外面：沈線間に刻目列2条。貼輪(中形)。突起間の貼輪一部欠落。入組文。沈線間に刻目列2条。磨消(LR)。体部ナデ。	ナデ	炭化物(内外)	貫通孔2個1組	(19.0)	—	—	東-土器 2092
24	27	2	V52 P-X フロック21	KIII2上層	鉢	晩期前葉	平口縁。口唇：面取。外面：横位沈線1条。縄文地施文。口縁部にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2328
24	27	3	IV52 P-X フロック21	KIII2上層	浅鉢か	後期8	平口縁。三山突起(中心は低く、瘤状)。台形突起(頂部刻目)。貼輪状の突起。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線2条。横長貼輪2単位残存。地文なし。口縁部~体部上半ミガキ。	ミガキ	外面黒斑		—	—	—	東-土器 2196
24	27	4	V52 P-X フロック21	KIII2上層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁直下に刻目列(刻目は数個一組)。横位沈線2条。磨消(LR縄文)。	ナデ	赤色顔料(外面)		(18.0)	—	—	東-土器 2269
24	27	5	V52 P-X フロック21	KIII2上層	浅鉢	晩期3	装飾的な口縁。口唇：肥厚。外面：横位沈線2条。彫去による雲形文。磨消(LR縄文)。	ミガキ			(24.0)	—	—	東-土器 2281
24	27	6	V52 P-X フロック21	KIII2上層	壺	後期後葉	平口縁。突起残存1単位。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部凡縄文。体部上半ナデ。	ナデ			(8.0)	—	—	東-土器 2257
24	27	7	V53 P2642 フロック22	KIII2上層	鉢	後期8	平口縁。台形突起残存1単位。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線1条。入組文。磨消(LR縄文)。	ナデ	炭化物(外面)	胎土：海綿骨針	—	—	—	東-土器 2105
24	27	8	V52 P-X フロック22	KIII2上層	鉢	後期後葉~晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部~体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土：小礫	—	—	—	東-土器 2104
24	27	9	V53 P2644 フロック22	KIII2上層	鉢	晩期1a	平口縁。台形突起残存1単位(頂部刻目数本)。口唇：面取なし。外面：口縁突起下に沈線による三叉文。口縁形状に沿った横位沈線1条。入組文。三叉文(沈線、入組文に接続)横位沈線1条。磨消。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2099
24	27	10	V53 P2642 フロック22	KIII2上層	鉢か	晩期前葉	外面：底部直上削り出し状。体部にLR縄文。底部：高台。	ナデ	炭化物(外)		—	6.2	—	東-土器 2101

表7 東捨場地区 土器観察表(7)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
24	27	11	V A53 P2643 ブロック22	KIII2上層	壺	後期後葉～晩 期前葉	平口縁。口唇：面取(平垣)。外面：口縁部ナデ。縄文LR。底部：丸底。	ナデ	外面黒斑		6.6	丸底	14.1	東-土器 2010
25	27	12	V A52 P2640 ブロック22	KIII2上層	注口	後期7-4	平口縁。口唇：面取(平垣)。外面：沈線。縦長とくくの字状の貼附。磨消(RL)。口縁部～底部ミガキ。注口部欠損。底部：高台。	口縁部ミガキ 体部ナデ			7.8	2.4	18.3	東-土器 2080
25	27	13	V A52 P2668 ブロック22下層	KIII2上層	注口か	後期後葉	外面：体部下平ナデ。底部：高台。	ナデ	外面スス	胎土：砂粒	—	3.0	—	東-土器 2203
25	27	14	V A53 P2670 ブロック22下層	KIII2上層	鉢	後期後葉～晩 期	平口縁。口唇：面取なし。外面：LR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(30.0)	—	—	東-土器 2202
25	27	15	V A53 P2670 ブロック22下層	KIII2上層	鉢	後期後葉～晩 期	平口縁。口唇：面取。外面：口縁部ナデ。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東-土器 2311
25	28	1	V A53 P-×	KIII2上層	鉢	後期後葉～晩 期	平口縁。口唇：面取(平垣)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。口縁端部に面取時の粘土の痕あり。	ナデ	炭化物(内・外面)		(23.0)	—	—	東-土器 2279
25	28	2	V B53 P2636 ブロック23	KIII2上層	台付鉢	晩期1a	小波状口縁。口唇：面取(外相ぎ状)。外面：横位沈線1条。入組文。三叉文(括り)。入組文に接納。沈線間に短沈線列(縦位に沈線を伴う)。磨消。縄文LR(体部下半)。台部ナデ。底部：凸。	ナデ	炭化物(内外)	貫通孔2個一組	22.5	10.4	24.2	東-土器 2049
25	28	3	V B53 P2636 ブロック23	KIII2上層	壺	晩期2	外面：沈線間に刻目列。横位沈線2条。地文なし。ミガキ。	ミガキ	赤彩(外面・内 面体部上半のみ)		—	—	—	東-土器 2298
25	28	4	V B53 P2637 ブロック23	KIII2上層	注口	晩期1b	外面：注口部の周囲に沈線文。括りによる三叉文。充填(LR縄文)。頸部～底部ミガキ。注口：半丸根。沈線。底部：丸底。	ナデ	外面注口付近と 頸部に赤色顔料		—	丸底	(8.3)	東-土器 2177
25	28	5	I V52 P-×	KIII2上層	鉢	晩期1a	小波状口縁。口唇：面取(平垣)。外面：入組文。入組文の空隙と被頂部下に三叉文。磨消。LR縄文。	ナデ	炭化物(内外)	二段の入組文は この器形では少 ない	—	—	—	東-土器 2161
25	28	6	I W52 P-×	I層	浅鉢	晩期1b	平口縁。B突起残存3単位。口唇：面取。外面：口縁部に沈線間に入組三叉文。体部に沈線文。口縁部と体部の境に横位沈線1条。口縁部地文なし。ミガキ。体部磨消(LR)。底部：丸底。	ナデ		東-2298と被合	15.8	丸底	7.0	東-土器 2112
—	28	7	V A54 P-×	I層	壺	晩期4～5	連続した三叉状の括りにより装飾的な口縁を作出分。外面：体部にLR縄文。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	(15.6)	東-土器 2068
—	28	8	I W55 P-×	I層	壺	晩期前葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁直下に沈線。口縁部と体部の境に横位沈線3条。体部上半にLR縄文。口縁部ナデ。	ナデ			8.5	—	12.3	東-土器 2166
26	29	1	I V53 P-×	KIII1層	鉢	後期7-4	平口縁。台形突起(頂部刻目1本)。口唇：面取。外面：沈線。沈線間に刻目列(入組文か)。縦長貼附(頂部刻目2本)。磨消。LR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2124
—	29	2	I V54 P-×	KIII1層	鉢	後期7-4	波状口縁。波底部に縦長突起(頂部に刻目)。口唇：面取(平垣)。口縁形状に沿って刻目列・沈線各2条。外面：入組文(刻目充填)。円形貼附。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2128
—	29	3	I W54 P2645	KIII1層	鉢	晩期2～3	平口縁。口唇：B突起状の刻目。外面：口縁形状に対応した刺突列。2条の沈線間に退化した半磨状文。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内外)		17.0	—	—	東-土器 2361
—	29	4	I W56 P-×	KIII1層	鉢	晩期3	平口縁。B突起残存7単位。口唇：突起間に連続する刻目。外面：横位沈線4条(1～2条目間に上下交互に3～4個一組の刺突)。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。口縁部ナデ。	ナデ	炭化物(内・外面)		16.0	—	—	東-土器 2102
—	29	5	I W54 P-×	KIII1層	鉢	晩期3	平口縁。B突起推定4単位(残存0単位)。口唇：面取(平垣)。外面：横位沈線5条(上位3条の沈線間に上下交互に6～7個一組の刺突列)。文様帯地文なし。体部にLR縄文。口縁部ミガキ。	ミガキ 口縁部に沈線1条	炭化物(内・外面)		21.2	—	19.7	東-土器 2181

表7 東拾場地区 土器観察表(8)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	29	6	IVW5 P2562	KIII層	深鉢	晩期3	三又状のかりにより装飾的な口縁。外面：横位沈線1条。沈線間に刻目列1条。肩部に1箇所突起。文様帯地文なし。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)		11.8	5.0	13.7	東-土器 2090
—	29	7	IVW5 P2651	KIII層	鉢	晩期2～3	平口縁。B突起残存4単位。口唇：刻目。外面：横位沈線4条(上位2条の沈線間に退化した半歯状文)。肩部に突起1単位。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		26.6	—	(17.6)	東-土器 2065
—	29	8	IVW5 P2648	KIII層	鉢	晩期2～3	平口縁。連続するB突起(残存1単位)。口唇：突起間に連続する刻目。外面：横位沈線4条。1～2条目に退化した半歯状文。肩部に突起1箇所。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		19.4	—	—	東-土器 2071
—	29	9	IVW5 P2537	KIII層	鉢小	晩期2～3	平口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線2条。弧線文。弧線内に刻目列。横位沈線3条。口縁直下肩部に横長粘輪(頂部刻目1本)。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(内・外面)		23.8	—	—	東-土器 2097
—	29	10	IVW5 P2632	KIII層	深鉢	晩期中葉小	平口縁。台形突起1単位(2個一組か)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁直下に突起1個。口縁部～体部上半にLR縷文。	ナデ	外面スス		28.2	—	—	東-土器 2062
—	30	1	IVW5 P-×	KIII層	鉢	晩期3小	平口縁。2個一組のB突起(残存4単位)。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線3条。文様帯地文なし。体部～底部にLR縷文。底部：低平な高台。	ナデ	炭化物(内・外面)	東-2083と接合	19.6	(8.0)	18.2	東-土器 2073
26	30	2	IVW5 P-×	KIII層	深鉢	晩期4～5	平口縁。口唇：内削ぎ。外面：体部上半に条痕。口縁部ナデ。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土：砂礫	—	—	—	東-土器 2138
—	30	3	IVU5 P2218	KIII層	鉢	晩期前葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部上半にLR縷文。底部：低平な高台。	ナデ	炭化物(内・外面)		(10.0)	(5.0)	8.9	東-土器 2377
26	30	4	IVW5 P2559	KIII層	鉢	晩期中葉	平口縁。B突起残存5単位(残存2単位)。口唇：面取(内削ぎ状)。外面：横位沈線2条。文様帯地文なし。LR縷文。底部：平底。	ナデ(口縁内面 やや肥厚)	炭化物(外)		19.0	6.4	15.8	東-土器 2109
26	30	5	IVW5 P2655	KIII層	鉢	晩期中葉	平口縁。口唇：刻目(部分的に三又状のかり)。外面：横位沈線2条。文様帯地文なし。体部～底部にLR縷文。底部：平底。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外)		(20.0)	6.0	15.5	東-土器 2110
—	30	6	IVW5 P2584	KIII層	鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(外面)		(20.2)	—	—	東-土器 2078
26	30	7	IVW5 P-×	KIII層	鉢小	晩期	外面：LR縷文。底部：低平な高台。	ナデ	炭化物(内)		—	7.2	—	東-土器 2132
26	30	8	IVW5 P-×	KIII層	深鉢	晩期	外面：LR縷文。底部：平底(底面ナデ)。	ナデ	炭化物(内外)		—	6.0	—	東-土器 2283
—	30	9	IVW5 P2508	KIII層	深鉢	晩期	小波状口縁。外面：口縁部～体部上半にLR縷文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)	粘土紐積み上げ 裏明脈	(23.0)	9.0	—	東-土器 2108
26	30	10	IVU5 P-×	KIII層	鉢	晩期	平口縁。突起1単位(2個一組)。口唇：部分的に面取。外面：LR縷文。	ナデ	炭化物(外)		23.4	—	—	東-土器 2372
26	31	1	IVW5 P-×	KIII層	鉢	晩期1b～2	平口縁。二山突起残存3単位。口唇：部分的面取。外面：沈線間に短沈線列4条。文様帯地文なし。	ナデ	炭化物(内・外面)		(20.0)	—	—	東-土器 2253
—	31	2	IVW5 P-×	KIII層	鉢	晩期2	平口縁。B突起残存1単位。外面：横位沈線2条。2個一組突起(頂部刻目)。沈線文。総位沈線4条。総位沈線間に刻目列。底部直上に横位沈線1条。磨滑(LR縷文)。底部ミガキ。底部：平底。	ナデ ミガキ	炭化物(内・外面)		(12.0)	(6.0)	7.1	東-土器 2232
—	31	3	IVW5 P-×	KIII層	鉢	晩期2～3	平口縁。B突起残存1単位。口唇：刻目。外面：沈線間に磨滑した半歯状文。横位沈線1条。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。口縁部ミガキ。	ナデ ミガキ	炭化物(内・外面)		(18.0)	—	—	東-土器 2371
26	31	4	IVW5 P-×	KIII層	鉢	晩期2小	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：2条の沈線間に刻目列。体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2370
—	31	5	IVW5 P2488	KIII層	鉢	晩期3	三又状のかりによる装飾的な口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線2条。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(内・外面)		12.7	—	—	東-土器 2136
—	31	6	IVW5 P2539	KIII層	鉢	晩期3	平口縁。連続する三又状のかりにより装飾的な口縁を作出。外面：横位沈線6条。3～4条目間に刻目列。肩部に1箇所B字状の突起。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(内・外面)		11.2	—	—	東-土器 2222
—	31	7	IVW5 P2477	KIII層	鉢	晩期2～3	連続する斜行刻目による装飾的な口縁。外面：横位沈線3。1～2条目間に退化した半歯状文。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(14.0)	—	—	東-土器 2085
—	31	8	IVW5 P2537	KIII層	鉢	晩期2～3	連続した三又状のかりによる装飾的な口縁。外面：退化した半歯状文。肩部に横位沈線2条。肩部に1箇所突起(頂部刻目)。文様帯地文なし。体部上半にLR縷文。	ナデ ミガキ	炭化物(内・外面)		11.6	—	—	東-土器 2144

表7 東拾場地区 土器観察表(9)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	31	9	IVX53 P-X	KIII1層	片口鉢	晩期2~4	片口。口唇：面取なし。外面：口縁部~体部上半にLR縄文。 片口。B突起残存3単位。口唇：刻目。外面：口縁直下に刺突列。横位沈線2条。文様帯地文なし。体部~底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ 口縁内側に沈線1条	炭化物(内・外面)	安定同位体比分析資料①	(20.0)	—	—	東-土器 2106
—	31	10	IVX56 P-X	KIII1層	片口鉢	晩期3~4	片口。B突起。口唇：面取なし。外面：横位沈線2条。文様帯地文なし。体部にLR縄文。底部：平底。	ナデ 口縁に沈線1条	胎土：砂礫	—	17.4	7.0	13.6	東-土器 2060
—	31	11	IVW55 P2510	KIII1層	片口鉢	晩期3~4	片口。片口唇側に2個一組のB突起(各2単位残存)。外面：横位沈線2条。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)	安定同位体比分析資料②	10.6	(4.3)	8.5	東-土器 2141
—	31	12	IVW54 P-X	KIII1層	片口鉢	晩期3~4	片口。片口唇側に2個一組のB突起(各2単位残存)。外面：横位沈線2条。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)	—	(17.0)	—	—	東-土器 2226
26	31	13	IVX55 P2618	KIII1層	台付浅鉢	晩期3	平口縁。一山突起(2単位)(残存1単位)。口唇：突起間に連続する刻目。外面：横位沈線4条。2~3条目間に退化した羊歯状文。横長の突起1箇所(頂部に刻目1本)。沈線による雲形文。横位沈線2条。磨消。体部下半にLR縄文。横位沈線。体部と台部の境に刻目列。台部ナデ。底部：台(端部肥厚)。肥厚部直上に横位沈線1条。	ナデ 口縁に沈線1条	漆液容器	—	8.6	6.7	11.0	東-土器 2042
—	31	14	IVW56 P2549	KIII1層	台付鉢	晩期2~3	外面：横位沈線1条。体部と台部の境に横位沈線2条。体部下半にLR縄文。底部：台(端部肥厚・肥厚部直上に横位沈線・ミガキ)。	ミガキ 台内面ミガキ	外面スス	—	—	7.0	(6.0)	東-土器 2013
—	31	15	IVU51 P2312	KIII1層	台付鉢	晩期1a	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁直下にLR縄文。入組文。沈線間に短沈線列。磨消。体部上半にLR縄文。台部ミガキ。底部：台。	ナデ	炭化物(内・外面)	(22.5)	7.0	7.0	19.5	東-土器 2111
—	31	16	IVX55 P2617	KIII1層	台付鉢か	晩期2~3	外面：体部と台部の境に横位沈線2条。体部下半にLR縄文。台部ミガキ。底部：台(端部肥厚・肥厚部直上)。	ミガキ	内外スス	—	—	7.4	(8.0)	東-土器 2038
—	31	17	IVW54 P2583	KIII1層	台付浅鉢	晩期4	平口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線3条。2個一組突起推定4単位(残存3単位)。突起片側頂部に三叉状の枒り。体部にLR縄文。台部ナデ。底部：台(端部に横位沈線1条)。	ミガキ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)	—	14.8	9.5	10.4	東-土器 2159
—	31	18	IVW56 P2342	KIII1層	台付鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部に横位沈線2条。肩部に突起。体部と台部の境に横位沈線1条。体部上半にLR縄文。底部：台(端部肥厚・肥厚部直上に沈線)。	ナデ	炭化物(外面)	(6.0)	3.6	—	—	東-土器 2072
—	32	1	IVW54 P-X	KIII1層	台付浅鉢	晩期3	連続した三叉状の枒りによりB突起状の口縁を作出。口唇：肥厚(内。肥厚部刻目)。外面：横位沈線1条。彫去による雲形文。横位沈線1条。底部：台(欠損)。	ミガキ 底面 凹線状の底	—	(20.0)	—	—	—	東-土器 2122
26	32	2	IVW55 P2681	KIII1層	浅鉢	晩期3	平口縁。突起1単位(B突起2個一組)。口唇：面取なし。外面：横位沈線1条。刻目列1条。2条の沈線間に横位沈線1条。磨消(LR縄文)。底部：凹底。	ミガキ	外面黒斑	—	15.8	5.2	6.4	東-土器 2002
—	32	3	IVW54 P2504	KIII1層	浅鉢	晩期3	平口縁。2個一組のB突起1単位。口唇：面取なし。外面：口縁直下に横位沈線2条。沈線による雲形文。横位沈線2条。磨消(LR縄文)。磨消部ミガキ。体部下半にLR縄文。底部：凹底。	ナデ	胎土：海綿骨針	—	15.8	5.0	6.4	東-土器 2113
26	32	4	IVX55 P-X	KIII1層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：彫去による雲形文。口縁直下に横位沈線2条(上位1条の沈線内に刺突列)。底部直上に横位沈線2条。磨消(LR縄文)。底部ミガキ。底部：凹底。	ミガキ	赤形(外面) 内面スス	—	17.0	5.2	6.5	東-土器 2115
—	32	5	IVW55 P2460	KIII1層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁直下に横位沈線2条。沈線による雲形文。横位沈線2条。磨消(LR縄文)。体部下半にLR縄文。底部：平底。	ナデ	胎土：砂礫	—	15.0	5.0	5.7	東-土器 2117
27	32	6	IVW56 P-X	KIII1層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：沈線間に刻目列1条。横位沈線1条。彫去による雲形文。底部直上に横位沈線2条。磨消(LR縄文)。底部：凹底。	ナデ	外面に赤色顔料	—	21.0	4.2	8.7	東-土器 2134
—	32	7	IVW55 P2561	KIII1層	浅鉢	晩期3	連続した三叉状の枒りにより裝飾的な口縁。外面：口縁に横位沈線2条。彫去による雲形文。横位沈線1条。磨消(LR縄文)。体部下半にLR縄文。底部：凹底。	ナデ 口縁に沈線1条	胎土：砂粒	—	17.2	4.2	5.8	東-土器 2127
—	32	8	IVU55 P-X	KIII1層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁直下に刻目列。横位沈線2条。外面：彫去による雲形文。LR縄文(LR縄文)。底部：凹底。	ナデ	外面黒斑	—	19.0	5.0	8.0	東-土器 2052
—	32	9	IVX55 P-X	KIII1層	浅鉢	晩期3	三叉状の枒りによる裝飾的な口縁。外面：横位沈線2条。沈線による雲形文。磨消(LR縄文)。	ミガキ	胎土：海綿骨針	(19.0)	—	—	—	東-土器 2142
27	32	10	IVU53 P2234	KIII1層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線3条。上位2条の沈線間に刻目列。彫去による雲形文。底部直上に横位沈線2条。磨消(LR縄文)。LR縄文。底部：丸底。	ナデ	赤形-スス(外面)	—	15.2	5.2	5.4	東-土器 2149



表7 東拾場地区 土器観察表(10)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	32	11	IVW56 P-X	KIII1層	浅鉢	晩期3小	平口縁。口唇：沈線。外面：横位沈線2条。地文なし。ナデ底部：凹底(張り出し状の脚、3箇所残存)。	ナデ	内外スス		(15.0)	(3.0)	5.3	東-土器 2221
—	33	1	IVU55 P2320	KIII1層	皿	晩期3	裝飾的な口縁。外面：彫去による雲形文。横位沈線2条。底部直上に横位沈線2条。磨消(LR縄文)。ミガキ。底部：平底。底面に沈線1条	ミガキ、口縁に沈線1条。底部と底面の境に隆起線。隆起線上にLR縄文			(21.0)	10.8	6.0	東-土器 2155
26	33	2	V454 P-X	KIII1層	浅鉢	晩期1b	平口縁。突起。口唇・面取(平坦)。外面：沈線間に組文。磨消、LR縄文。	ナデ		(14.0)	—	—	—	東-土器 2135
—	33	3	IVW54 P-X	KIII1層	浅鉢	晩期3	裝飾的な口縁。連続するB突起(残存7単位)。口唇・肥厚(内面。肥厚部列目、B突起)。外面：口縁直下に横位沈線3条。彫去による雲形文。体部と台部の境に横位沈線2条。彫去による雲形文。磨消(LR縄文)。ミガキ。底部：台(鋸歯状の沈線文。横位沈線2条。沈線文)。	ミガキ 隆起上にB突起。突起間に連続する刻目	褐色膜状付着物(赤彩か)		(27.0)	—	—	東-土器 2120
—	33	4	IVU56 P-X	KIII1層	浅鉢	晩期2	平口縁。B突起と裝飾的な突起。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線2条。沈線文。磨消(LR縄文)。底部：凹底。	ミガキ		平面楕円形	—	丸底	2.4	東-土器 2236
27	33	5	IVW53 P2506	KIII1層	台付皿	晩期3	連続した三叉状の袈り刻目と斜位の列目によりB突起状の裝飾的な口縁を作出。口唇：肥厚(内。肥厚部に刻目列、B突起)外面：口縁直下に横位沈線3条。彫去による雲形文。体部と台部の境に横位沈線2条。磨消、LR縄文。台部底面に横位沈線2条。磨消(LR縄文)。肥厚部LR縄文。端部に横位沈線1条。ミガキ。底部：台(沈線文。横位沈線2条。沈線文)。	ミガキ 底面に凹線状の一段。	台端部スス 台内部黒色光沢(漆か)	透膜分析No.16 (透明漆層1層)	31.0	13.6	12.6	東-土器 2032
—	33	6	IVW56 P-X	KIII1層	台付皿	晩期3	裝飾的な口縁。口唇・肥厚(内面。肥厚部に刻目列)外面：彫去による雲形文。口縁に横位沈線2条。体部と台部の境に横位沈線2条。磨消、LR縄文。台部底面に横位沈線2条。磨消(LR縄文)。肥厚部LR縄文。端部に横位沈線1条。ミガキ。底部：台(沈線文。端部肥厚。肥厚部LR縄文。端部に横位沈線1条)。	底面に凹線状の一段			(15.0)	8.8	8.4	東-土器 2137
—	33	7	IVW55 P-X	KIII1層	台	晩期3	外面：彫去による雲形文。端部肥厚。肥厚部に沈線。地文なし。	ナデ		赤彩(内・外面)	17.6	—	—	東-土器 2217
—	33	8	IVX54 P-X	KIII1層	皿	晩期3	平口縁。連続するB突起。外面：口縁部に粗雑な沈線。縄文地施文。体部と台部の境に横位沈線1条。体部下半に丸縄文。	ミガキ 口縁に沈線1条	内外スス		15.4	—	—	東-土器 2364
—	34	1	IVX55 P-X	KIII1層	注口	後期後葉	外面：沈線文。沈線で区画された2条の縄文帯。円形貼瘤。磨消(LR縄文)。体部下半ミガキ。底部：高台(欠損)	ナデ			—	—	—	東-土器 2363
—	34	2	IVW56 P2544	KIII1層	壺	晩期2～3	平口縁。突起1箇所残存(2個一組か)。口唇：面取なし。外面：口縁部と体部の境に横位沈線1条。体部にLR縄文。口唇部ミガキ。底部：凹底。	ナデ、口縁に沈線1条	外面スス		8.7	3.6	15.2	東-土器 2036
27	34	3	IVX54 P2624	KIII1層	壺	晩期3	平口縁。突起1単位(正面に横位と縦位のB突起を組合せた突起。その両側に2組ずつB突起を配置)。口唇：面取なし。口縁直下に沈線。突起直下に連続する突起。外面：沈線。沈線間に刺突列(刺突は十数個一組。刺突の単位に対応して下位の沈線が透切れる)。沈線による雲形文。底面直上に横位沈線3条。口縁部～底部ミガキ。底部：円形の沈線。	ミガキ	赤彩(外・口縁内側のみ)		8.2	3.0	10.4	東-土器 2018
28	34	4	IVX54 P2607	KIII1層	壺	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。口縁直下に沈線。外面：頸部に隆帯。横位のB突起1単位残存(3単位欠損)。2条の沈線間に刺突列。沈線による雲形文。口縁部～体部上半ミガキ。器面刺突頭著。	口縁部ミガキ、頸部～体部ナデ	赤彩(外面、口縁・頸部内側のみ)		6.5	—	(11.3)	東-土器 2022
28	34	5	IVW53 P2502	KIII1層	壺	晩期3	外面：頸部に隆帯2条。B突起(4単位)。沈線間に刻目列(十数個一組。下の沈線は刻目列の単位に対応して透切れる)。横位沈線2条。沈線。彫去による雲形文。頸部～体部上半ミガキ。	ナデ	赤彩(外面・内面頸部)		—	—	(9.5)	東-土器 2028
28	34	6	IVY54 P2586	KIII1層	壺	晩期3	外面：横位沈線2条。彫去による雲形文。体部～底部ミガキ。底部：丸底。	ナデ	赤彩(外面)		—	丸底	(8.4)	東-土器 2039
27	34	7	IVW56 P2550	KIII1層	壺	晩期3	平口縁。口唇：沈線。外面：隆帯(隆帯上に縦位のB突起4単位中3単位残存)。横位沈線3条。ミガキ。底部：凹底。	ミガキ	赤彩(外・口縁内側のみ)		4.2	3.7	12.2	東-土器 2007
—	34	8	IVY55 P2656	KIII1層	壺	晩期3	外面：隆帯(隆帯上に縦位のB突起4単位)。横位沈線3条。体部ミガキ。	ナデ	赤彩(外面、内面頸部のみ)		—	—	(15.4)	東-土器 2043

表7 東拾場地区 土器観察表(11)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
28	34	9	IVX54 P-X	KIII層	壺	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。口縁に沈線。外面：頸部に隆帯。隆帯上に縦位と横位のB突起を交互に配置(4単位)。横位沈線3条。ミガキ。器面剥離顕著。底部：凹底。	ミガキ	赤形(外・内面口縁～頸部)		7.5	4.5	18.6	東-土器 2035
—	34	10	IVW55 P-X	KIII層	壺	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部にL形細文。頸部と体部の境に横位沈線3条(上位2条の沈線面に刺突列)。肩部に1箇所縦長の突起(頂部刻目)。沈線による雲形文。磨消。体部にL形細文。	口縁部ミガキ、 体部ナデ 口縁部に沈線1条	赤形(外・内面) 褐色膜状付着物 (内面。漆膜か) 内面体部上半に 赤色顔料付着	漆液容器か	8.5	—	(19.3)	東-土器 2107
—	34	11	IVW55 P-X	KIII層	壺	晩期3	外面：彫去による雲形文。底部直上に横位沈線2条。体部～底部ミガキ。底部：凹底。	ミガキ	赤形(外面)		—	—	—	東-土器 2125
—	34	12	IVW54 P2458	KIII層	壺	晩期3	平口縁。突起1単位(B突起4個一組)。口唇：面取なし。外面：口縁部と体部の境に沈線1条。体部上半にL形細文。口縁部ミガキ。	ナデ、口縁突起 内側に沈線・隆 帯。	頸部に黒色塗膜 状付着		9.4	—	—	東-土器 2218
28	35	1	IVW55 P2563	KIII層	壺	晩期3か	外面：眼鏡状隆帯(連繋部に突起。突起頂部に刻目1本)。横位沈線2条。沈線文。地文なし。ミガキ。	ナデ	赤形(外面)		—	—	—	東-土器 2348
—	35	2	V A54 P2492	KIII層	壺	晩期3か	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部と体部の境に横位沈線2条。体部にL形細文。口縁部ミガキ。底部：平底(円形の沈線)。	口縁部ミガキ、 体部ナデ			7.2	4.2	10.2	東-土器 2140
28	35	3	IVV54 P-X	KIII層	壺	晩期4～5	平口縁。二山突起残存1単位。口唇：面取なし。外面：口縁部に横位沈線2条。突起。地文なし。ミガキ。	ナデ 口縁に沈線3条	赤形(外面口縁 部のみ。盛り分 けか。口縁内側)		(14.0)	—	—	東-土器 2366-②
28	35	4	IVV54 P-X	KIII層	壺	晩期5	外面：工字文。文様帯地文なし。ミガキ。	ナデ			—	—	—	東-土器 2366-①
—	35	5	IVW55 P2538	KIII層	壺	晩期前葉～中 葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：体部にL形細文。口縁部ナデ。	ナデ	外面スス		7.5	—	(6.7)	東-土器 2014
—	35	6	IVW55 P2649	KIII層	壺	晩期中葉	平口縁。突起1単位(数個一組のB突起か、1個残存)。口唇：面取なし。外面：体部にL形細文。口縁部ミガキ。底部：平底。	口縁～体部下半 ミガキ 口縁に沈線1条	外面スス		(10.0)	6.8	17.2	東-土器 2034
—	35	7	IVV54 P2130a	KIII層	壺	晩期中葉	平口縁。突起残存2単位。口唇：面取なし。外面：体部上半にL形細文。口縁部ミガキ。	口縁部ミガキ、 体部ナデ	炭化物(外面) 頸部に黒色と膜 状付着物		10.0	—	(16.6)	東-土器 2157
—	35	8	IVW55 P2649	KIII層	右付鉢	晩期中葉か	平口縁。B突起1単位。口唇：面取なし。口縁内側肥厚。外面：口縁部ミガキ。体部にL形細文。底部：台。	ナデ	口縁部に沈線1 条		10.5	—	15.5	東-土器 2008
28	35	9	IVW55 P2509	KIII層	壺	晩期中葉か	平口縁。B突起1単位。口唇：面取なし。外面：口縁部ナデ。体部～底部にL形細文。底部：底平な高台。	ナデ			6.2	11.1	5.4	東-土器 2011
—	35	10	IVV54 P2582	KIII層	壺	晩期中葉～後 葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部と体部の境に横位沈線1条。体部上半にL形細文。口縁部ナデ。	ナデ 口縁に沈線1条	外面スス		(9.0)	—	—	東-土器 2061
—	35	11	IVV54 P2581	KIII層	壺	晩期中葉～後 葉	平口縁。連続する裝飾的な突起(口縁1/2の範囲のみ。のこりの1/2は外側きざりに面取)。外面：体部上半にL形細文。口縁部ナデ。	ナデ 口縁に沈線1条			23.5	—	—	東-土器 2168
27	35	12	IVU51 P2216	KIII層	壺	後期後葉	平口縁。端部に突起(縦位の貫通孔。上面に刺突列)。口唇：面取なし。外面：刺突列。口縁部～底部ナデ。底部：凹底。	ナデ	外面黒斑		3.6	2.8	—	東-土器 2201
28	35	13	IVW53 P-X	KIII層	浅鉢か	晩期3	外面：彫去による雲形文。磨消(L形細文)。ミガキ。	ナデ	外面に黒色塗膜 (漆か)	漆膜分析No.17 (黒色塗膜1層 (煤など有機系 黒色顔料か))	—	—	—	東-土器 2130
28	35	14	IVW56 P2587	KIII層	壺か	晩期3か	外面：横位沈線3条。2個一組突起3単位。ミガキ。底部：丸底。	ナデ			—	丸底	—	東-土器 2126
28	35	15	IVX53	KIII層	壺か	晩期前葉	外面：沈線と隆帯と突起で人面表現。	ナデ			—	—	—	東-土器 2343
—	36	1	IVV53 P-X	KIII層	注口	後期7-4	平口縁。口唇：面取(平口)。外面：L形細文。円形もしくは縦長取端。口縁部～底部ミガキ。注口基部に一袋状の膨らみ(膨らみに×字状の隆帯)。底部：高台。	ナデ			(7.0)	2.0	16.2	東-土器 2148

表7 東拾場地区 土器観察表(12)

図版番号	写真図版番号	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	36	2	IV56 P-X	KIII1層	注口	晩期3	外面：頸部に沈線1条。横位沈線1条。体部曲部にB突起状の突起8単位。横位沈線1条。体部下半から底部に彫去による雲形文。磨消線LR。注口：粘土紐。基部に三又状の抉り。底部：丸底。	ナデ	内外スス	注口内径0.7cm	—	丸底	—	東土器 2227
28	36	3	IV54 P-X	KIII1層	香炉	後期後葉	香炉の頂部。二山状。一方に軌面表現。もう一方に人面表現。	ナデ		人面・軌面付土器	—	—	—	東土器 2316
29	36	4	IV52 P-X	KIII1d層	鉢	後期8	平口縁。突起(頂部に十字の刻目)。口唇：面取(平坦)。外面：刻目列。凹形貼瘤。沈線間に刻目列による入組文か。文線帯地文なし。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東土器 2241
29	36	5	IV52 P2674	KIII1d層	鉢	後期8	平口縁。台形突起と二山状台形突起を2種類交互に配置(残存2単位)。口唇：面取(平坦)。外面：入組文。入組文の空欄と口縁突起下に三又文。頸部と体部の境に横位沈線2条。凹形貼瘤(頂部凹形制突)。磨消。LR縷文。体部下半ナデ。	ナデ	炭化物(内外)		—	—	—	東土器 2146
29	36	6	IV53 P-X	KIII1d層	浅鉢か	晩期	底部：平底。本葉直。	ナデ	外面黒斑		—	8.5	—	東土器 2256
—	36	7	IV54 P2682	KIII1d層	台付鉢	晩期3	連続した三又状の抉りにより裝飾的な口縁を作出。外面：横位沈線2条。文線帯地文なし。体部にLR縷文。台部ミガキ。底部：台。体部と台部の境に連続的な刻目。	ナデ	内外スス		13.7	—	9.7	東土器 2006
—	36	8	IV54 P2686	KIII1d層	壺	晩期3	平口縁。突起1単位(B突起2個一組か)。口唇：口縁直下に沈線。外面：横位沈線3条。肩部にB突起1箇所。彫去による雲形文(横位沈線3条を挟み2に配置)。横位沈線3条。磨消。磨消部ミガキ。体部～底部LR縷文。横位沈線1条(底部直上)。底部：平底。	ナデ			7.4	7.0	14.7	東土器 2069
29	36	9	IV54 P2686	KIII1d層	壺	晩期3	平口縁。沈線で作出された突起1単位(3個一組)。口唇：面取なし。外面：2条の沈線間に刻目列。肩部に突起1箇所(突起頂部刻目)。沈線による雲形文。磨消。LR縷文。底部：平底。	ナデ			7.4	(6.2)	18.5	東土器 2167
—	37	1	IV53 P-X	KIII1下層	鉢	晩期1b	平口縁。突起1単位(2個一組。頂部刻目各2本)。口唇：面取なし。外面：口縁直下に横位沈線2条。入組三又文。横位沈線3条。文線帯地文なし。体部上半にLR縷文。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(内・外面)		18.0	—	—	東土器 2059
29	37	2	IV53 P2532	KIII1下層	鉢	晩期1b	小波状口縁。B突起推定4単位(残存2単位)。外面：横位沈線1条。平行沈線化した入組文と三又文(部分的に2段に配置)。文線帯地文なし。体部にLR縷文。	ナデ	炭化物(内外)		16.0	—	—	東土器 2192
29	37	3	IV53 P-X	KIII1下層	鉢	晩期1b	平口縁。口唇：面取なし。外面：入組文。抉りによる三又文。横位沈線1条。縄文地施文。LR縷文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(14.0)	—	—	東土器 2277
—	37	4	IV53 P-X	KIII1下層	鉢	晩期1b	平口縁。口唇：面取なし。外面：入組三又文。横位沈線2条。文線帯地文なし。体部～底部にLR縷文。口縁部ミガキ。底部：丸底。	ミガキ	内外面スス		(12.0)	4.2	6.0	東土器 2251
—	37	5	V A52 P-X	KIII2層	鉢	後期7-4	平口縁。一山突起残存2単位。突起下に凹形の貼瘤(1箇所)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁直下に刻目列。横位沈線3条(下位2条の間に刻目列)。貼瘤。文線帯地文なし。口縁部～底部ナデ。底部：高台(欠損)。	ナデ	炭化物(内・外面)		(17.0)	(7.2)	14.0	東土器 2056
29	37	6	V A52(東-2272) IV53(東-2276) P-X	KIII2層	鉢	後期8	平口縁。二山突起残存2単位(頂部に刻目)。口唇：面取(平坦)。口縁の形状に沿ってLR縷文を巡らす。入組文。入組文の空欄に三又文。磨消(LR縷文)。	ナデ	炭化物(内・外面)	貫通孔1個	(22.0)	—	—	東土器 2272・2276
29	37	7	IV53 P-X	KIII2層	浅鉢	後期後葉	平口縁。突起残存1単位。口唇：面取(平坦)。外面：口唇に沿って刻目列。横位沈線を巡らす。地文なし。体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(外面)		(22.0)	—	—	東土器 2319
29	—	—	IV53 P2633	KIII2層	浅鉢	後期後葉～晩期	縄文LR(縄文施文面ニクズリ)	ナデ	炭化物(外)		—	—	—	東土器 2003
29	37	8	IV53 P2633	KIII2層	鉢	晩期1b	小波状口縁。突起1単位。口唇：面取なし。外面：沈線。入組三又文(崩れている)。体部と口縁部の境に横位沈線2条。磨消。体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(内外)	逆位で出土	24.2	—	(15.0)	東土器 2001
—	37	9	IV53 P-X	KIII2層	台付鉢	晩期1b	小波状口縁。外面：横位沈線4条。沈線文(上向き)の2重の弧線文。3条目の横位沈線に接脱。縄文地施文。口縁部～体部上半にLR縷文。体部下半～台部はナデ。底部：台。	ナデ	炭化物(内・外面)	粘土・砂礫・海面骨針	(21.0)	9.0	—	東土器 2169
29	37	10	IV53 P-X	KIII2層	浅鉢か	晩期中葉か	平口縁。口唇：内削ぎ。外面：口縁直下に刻目列と横位沈線各2条。文線帯地文なし。体部上半ナデ。	ナデ			—	—	—	東土器 2305
29	37	11	V A53 P-X	KIII2層	香炉か	後期後葉～晩期前葉	外面：透かし孔。沈線と突起で人面を表現。	ナデ	人面付土器		—	—	—	東土器 2304

表7 東拾場地区 土器観察表(13)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	37	12	IV53 P-X	KIII2層	壺	後期後葉	外面：口縁部ナデ。体部にL縷文。器面摩滅顕著。底部：高台。	ナデ		胎土：小礫	—	4.0	(10.6)	東-土器 2207
—	37	13	V A52 P-X	KIII2層	壺	晩期1a~1b	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：頸部に隆帯。隆帯上に突起4単位。L縷文。体部にL縷文(摩滅顕著)。口縁部ミガキ。底部：高台。	ナデ	外面黒斑	胎土：砂礫	4.0	5.4	11.3	東-土器 2024
—	37	14	IV52 P2708	KIII2層	注口	後期7-4	外面：沈線文。円形貼帯(円形刺突)。磨消(L縷文)。ナデ。注口欠損。底部：高台。	ナデ	外面に黒斑	注口内径0.8cm	—	2.6	12.2	東-土器 2173
30	38	1	IV52 P2698	KIII2上層	台付鉢	晩期1a	平口縁。台形突起(残存1単位・頂部刻目2本)。外面：口縁形状に於いた沈線2条。口縁突起下に三叉文。横位沈線1条。入組又は組内位に縦位沈線。磨消。L縷文。底部：台。	ナデ	炭化物(内外)		16.0	—	—	東-土器 2165-①・②
30	38	2	IV53 P-X	KIII2上層	鉢	晩期1b	平口縁。B突起残存6単位。口唇：面取なし。外面：沈線。横位沈線。端部が渦巻く横位沈線(端部に刺突)。短沈線と刺突を交互。文様帯地文なし。体部上半にL縷文。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(外面)		(23.8)	—	—	東-土器 2194
—	38	3	IV52 P2697	KIII2上層	台付鉢	晩期前葉	平口縁。口唇：部分的に面取。外面：口縁部~体部にL縷文。底部：高台。体部ナデ。	ミガキ	外面スス 内面黒斑	胎土：砂礫	10.8	4.2	8.9	東-土器 2020
30	38	4	IV52 P2696	KIII2上層	台付皿	晩期1a~1b少	平口縁。一山突起と二山突起2種類交互に配置(推定10単位)。沈線。残存9単位。1単位のみ異形の突起。口唇：面取(外側ぎた)。外面：異形突起部分にこのみ沈線。ナデ。底部：台。	ナデ			22.0	—	(6.3)	東-土器 2160
—	38	5	IV52 P-X	KIII2上層	注口	後期7-4	平口縁。突起4単位(残存3単位)。口唇：連続する刻目。沈線。外面：体部上半に沈線文と縦位の貼帯4単位。L縷文充塞。体部半ばに沈線で区画されたる文様帯(縷文帯)上に2個一組の円形貼帯。口縁部~底部ミガキ。底部：高台。	ナデ			6.6	2.5	15.3	東-土器 2156
—	38	6	IV52 P2701	KIII2上層	漆鉢	後期7-4	波状口縁(波頂部に突起)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部形態に沿って刻目列と沈線1条が巡る。沈線間に刻目列1条。入組文。沈線間に刻目列2条。円形貼帯。底部直上に横位沈線1条。文様帯地文なし。体部~底部ナデ。底部：高台。	ナデ		胎土：小礫	—	5.0	11.0	東-土器 2164
—	38	7	IV53 P2679	KIII2上層	台	晩期1b~2	外面：台部ミガキ。底部：台(端部ユビオサエ)。	ナデ	外面スス	胎土：砂粒	—	12.0	—	東-土器 2017
—	38	8	IV53 P-X	KIII2上層	壺	晩期3少	外面：体部下半にL縷文。底部：円形の沈線。	ナデ	内面赤色顔料	赤色顔料容器小	—	3.8	(7.2)	東-土器 2163
—	38	9	IV53 P-X	KIII2上層	注口	後期7-4	平口縁。口唇：面取。外面：頸部に沈線・貼帯・L縷文。磨消。口縁部および体部~底部ミガキ。底部：高台(欠損)。注口：基部に貼帯1個。	ナデ	外面に黒斑	注口内径0.7cm	7.8	—	(14.7)	東-土器 2158
—	38	10	IV52 P2694	KIII2上層	注口	後期7-4	外面：沈線。L縷文(磨消)。貼帯。体部~底部ミガキ。注口欠損。底部：高台。	ナデ			—	3.2	(14.2)	東-土器 2026
—	38	11	IV52 P2704	KIII2上層	注口	後期8	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部~底部ミガキ。器面摩滅。注口：基部に二袋状の影らみ。	ナデ		胎土：砂礫 注口内径0.8cm	7.0	2.0	10.7	東-土器 2162
—	38	12	V A53 P2671	KIII2上層	注口	後期7-4~8	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部~底部ミガキ。注口：基部に一袋状の影らみ。底部：高台。	ナデ		胎土：砂礫 注口内径0.7cm	(3.4)	2.0	13.1	東-土器 2040
30	38	13	V A53 P2710	KIII2上層B	台付鉢	晩期1b	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：2条の沈線間に入組文。文様帯地文なし。体部下半に縷文L。台部ナデ。底部：台。	ナデ	炭化物(内外)		16.6	7.0	18.0	東-土器 2047
30	38	14	IV53 P-X	KIII2上層B	鉢	後期8	外面：沈線文。沈線間に短沈線列2条。磨消縷文L。	ナデ	外面スス		—	—	—	東-土器 2202
30	38	15	IV53 P-X	KIII2上層B	台	晩期1a	外面：沈線文。透かし孔。磨消(L縷文)。	ナデ	赤形(外面)		—	—	—	東-土器 2185
—	39	1	IV54 P2452	KIII上層	壺	晩期中葉少	外面：体部~底部にL縷文。頸部ナデ。	ナデ	内外スス	胎土：細砂	—	—	(16.2)	東-土器 2037
30	39	2	IV54 P2211	KIII下層	台付鉢	晩期3	平口縁。連続するB突起。口唇：面取なし。外面：横位沈線4条(中央2条の沈線間に刺突列)。肩部に縦位のB突起1箇所。体部と台部の境に横位沈線1条。L縷文。底部：台(ミガキ、横位沈線1条、端部貼帯)。	ミガキ 口縁部に沈線条	炭化物(内外)		11.4	(8.0)	11.1	東-土器 2096
—	39	3	IV54 P2149	KIII下層	皿	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：沈線間に刻目列(数十個一組)。横位沈線。彫去による雲形文。底部直上に横位沈線1条。磨消(L縷文。磨消部ミガキ)。ミガキ。底部：凹底。	ミガキ	赤形(内・外面)		(19.0)	(6.0)	—	東-土器 2086

表7 東拾場地区 土器観察表(14)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	39	4	IV54 P2201	KIII下層	皿	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：彫去による雲形文。横位沈線2条。磨消(LR)。ミガキ。底部：凹底。	ミガキ 口縁に沈線1条	赤彩(内・外面) 内外面とも被熱により部分的に黒色化。		(21.0)	4.2	5.4	東-土器 2152
30	39	5	IV54 P2203	KIII下層	台付皿	晩期3	B突起状の突起を連続的に配置して裝飾的な口縁を作出。口唇：肥厚(内側)。肥厚部に刻目列。B突起1単位残存。外面：2条の沈線間に彫去による雲形文。磨消(LR細文。磨消部ミガキ)。台部ミガキ。底部：高台。	ミガキ 底面に凹状の段。	赤彩(内・外面)		(17.0)	—	(4.6)	東-土器 2088
30	39	6	IV55 P2111・P2407	KIII下層・KIII層	壺	晩期3	外面：彫去による雲形文。文様帯下端に横位沈線3条。磨消(LR)。体部下半ミガキ。底部：凹底。	ミガキ	赤彩(外)。内面 体部上半に褐色 膜状付着物		—	7.2	(16.5)	東-土器 2045
30	39	7	IV54 P2220	KIII下層	壺	晩期3	外面：底部直上に横位沈線2条。底部：平底。外側からの穿孔。	ナデ	赤彩(内・外面)。 内部の漆塗膜は 褐色)		—	6.0	—	東-土器 2322
—	39	8	IV54	KIII下層	壺	晩期前葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部ナデ(体部の一部LR細文)。底部：低平な高台。	ナデ		胎土：砂礫	6.8	5.3	12.2	東-土器 2082
—	39	9	IV54 P2128	KIII下層	壺	晩期前葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁直下に粗雑な横位沈線1条。体部～底部にLR細文。口縁部ナデ。底部：低平な高台。	ナデ	炭化物(外面)		8.3	7.0	18.2	東-土器 2315
—	40	1	IV52 P-×	KIII層	鉢	晩期1a	平口縁。凹柱状の突起(残存1単位)。口唇：面取なし。外面：2条の沈線間に入組三又文。磨消(LR細文)。	ナデ	炭化物(内・外面)		(19.0)	—	—	東-土器 2199
—	40	2	IV55 P2107	KIII層	鉢	晩期3	平口縁。連続するB突起。口唇：突起間に刻目。外面：横位沈線5条(上位2条の沈線に上下交互に4～6個一組の刻目列)。突起(肩部)に1箇所。上部欠損)。文様帯地文なし。体部にLR細文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内面)		(20.0)	—	(17.5)	東-土器 2064
30	40	3	IV52 P2024	KIII層	台付浅鉢	晩期1a～1b	小波状口縁。口唇：面取(平坦)。外面：入組文。三又文。沈線で区画された縄文帯(縄文LR)。口縁部地文なし。体部下半・台部ミガキ。底部：台。	ナデ			(20.0)	9.4	7.7	東-土器 2198
—	40	4	IV54 P2012	KIII層	壺	晩期3	平口縁。突起1単位(数個一組か)。口唇：面取なし。外面：横位沈線4条。肩部に縦位のB突起1箇所。口縁部と体部～底部にLR細文。頭部ミガキ。底部：凹底。	ナデ 口縁に沈線1条			5.8	4.0	12.0	東-土器 2048



表 8 東拾場地区 土製品観察表(1)

図版番号	写真 図版	分類	出土 位置	層位	取上 番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理番号
31-1	41-1	土偶 (中空)	IV53	KIII 下層	特-251	(118)	(96)	5	126.6	遮光器土偶。中空で胸部中空。精製。尻部に孔。腹部張り出し。LR織文。	東-土2022
31-2	41-2	土偶 (中穴)	IV53	KIII 2層	特-256	(53)	(60)	5	57.2	中穴。後頭部から胸部にかけて孔有り。頭部に赤色顔料付着。頸部にアスファルト付着。	東-土2020
31-3	41-3	土偶 (中空)	IV53	KIII 層		(62)	(38)	5	16.2	図31-4と同一個体の可能性大。遮光器土偶。左顔面部。精製。LR織文。	東-土2018
31-4	—	土偶	IV53	KIII 層		(38)	(30)	5	7.7	図31-3と同一個体の可能性大。遮光器土偶。右顔面部。	東-土2086
31-5	41-5	土偶 (中美)	IV56	KIII 層	特-266 特-265	(67)	(62)	15	24.1	妊婦? 中美。下半部にハネツ状文様。	東-土2001 東-土2004
31-6	—	土偶	IV53	KIII 1層		(82)	(42)	9	51.9	中空。裏面は凹凸。輪積み痕跡。体部。	東-土2069
31-7	41-7	土偶	IV53	KIII 層		(19)	(25)	20	6.6	中美。肩部。	東-土2075
31-8	41-8	土偶 (中美)	IV52	KIII 1層		(28)	(22)	10	6.8	中美。体部に縦位の粘土紐。赤色顔料付着。	東-土2063
31-9	41-9	土偶	IV52	KIII 層		(45)	(30)	5	10.4	中空。胸部。弧状の沈線。	東-土2073
32-10	41-10	土偶	IV53	KIII 2上層		(22)	13	10	4.3	中美。左脚部。無文。	東-土2066
32-11	41-11	土偶	VA52	KIII 2層		(35)	(20)	(15)	11.5	中美。体部。LR織文。	東-土2080
32-12	41-12	土製品 (大型中空)	IV53	KIII 2上層	特-269	(105)	(12)	139.8	大型。幅推定40cm。中空。RI磨消織文。輪積み痕有り。	東-土2023	
32-13	41-13	土偶 (中美)	IV54	KIII 層	特-265	(62)	38	15	28.4	中美。精製。弧状・三角形文。	東-土2002
32-14	41-14	土偶 (中美)	IV52	KIII 1層		(50)	(38)	20	30.8	中美。左脚部。渦巻文。	東-土2014
32-15	41-15	土偶 (中美)	IV55	KIII 層	特-250	62	61	10	40.9	中美。目・鼻粘土粒。焼成良好。黒褐色。	東-土2006
32-16	41-16	土偶 (中美)	IV54	KIII 層	特-253	(42)	(45)	15	24.0	中美。体部下半部。体部に孔有り。	東-土2016
32-17	42-17	土偶	IV54	KIII 下層		(45)	(46)	18	34.0	中美。表裏面浮彫的技法。	東-土2062
32-18	42-18	土偶 (中美)	IV53	KIII 下層		52	40	(25)	39.2	中美。右脚部。無文。	東-土2033
33-19	42-19	土偶 (中空)	IV52	KIII 層		(66)	(56)	6	38.5	妊婦。中空。脚部中美。腹部に刺突を充填。	東-土2070 東-土2071 東-土2072
33-20	42-20	土偶	表採			(20)	26	3	9.4	中美。右脚部。無文。	東-土2081
33-21	42-21	土偶 (中美)	IV52	KIII 層	特-204	(77)	(62)	(18)	161.0	脚部土偶。体部下半。赤色顔料付着。	東-土2115
33-22	42-22	土偶 (中美)	IV53	KIII 下層	特-252	(50)	(62)	22	82.1	中美。体部上半。縦位の沈線。	東-土2021
33-23	42-23	土偶	IV54	KIII 層		(23)	(23)	12	6.2	左脚部。2条の粘土粒。焼成良好。黒褐色。	東-土2053
33-24	42-24	土偶 (中美)	IV52	KIII 1層		(55)	(43)	24	47.8	中美。右体部。弧状文。	東-土2030
33-25	42-25	耳飾り	IV52	KIII 2上層		38	10	4	3.4	内面に沈線。欠損。	東-土2077
33-26	42-26	耳飾り	IV56	KIII 層		(48)	(18)	15	8.9	内面に貫通孔。入組三叉文。表面に赤色顔料塗布。	東-土2054
33-27	42-27	耳飾り	IV50 セクション4	KIII 層		17	(40)	4	3.0	白形。無文。	東-土2048
33-28	42-28	耳飾り	IV53	KIII 2上層 B	特-276	22	23	23	7.8	片面に渦巻文。中央部に貫通孔。	東-土2028
33-29	42-29	耳飾り	VA54	I 層		50	53	8	22.7	刺突は貫孔。表裏面の側縁部に施文。	東-土2084
33-30	42-30	耳飾り	VA52	KIII 2上層	特-268	36	35	13	16.4	中央部に貫通孔。放射状に施文。赤色顔料塗布。	東-土2006
33-31	42-31	耳飾り	IV49 セクション4	KIII 層		23	22	12	9.2	周縁に一部刻み有り。	東-土2047
33-32	42-32	耳飾り	IV52	KIII 層		(14)	(17)	11	3.0	中美。斜位沈線。	東-土2076
33-33	42-33	角形土偶	IV52	KIII 1層	特-270	70	67	16	69.9	大型耳飾り。赤色顔料塗布。透かし彫り。	東-土2017
33-34	42-34	角形土偶	VA53	KIII 層		(37)	(47)	7	19.8	表面のみ残存。弧状文。	東-土2082
33-35	42-35	角形土偶	ベネット3	II a1-2層		(30)	(22)	5	6.6	側縁部の突起。	東-土2029
33-36	42-36	角形土偶	IV54	KIII 層		(28)	(40)	13	12.6	ナデ。無文。	東-土2061
33-37	42-37	土製品 (スプーン形)	IV52	KIII 2上層		(55)	(35)	4	9.8	ナデ。縦位沈線。	東-土2078
33-38	42-38	土製品 (スプーン形)	IV54	KIII 下層		(82)	56	5	45.8	把手部欠損。縦位沈線。無文。	東-土2046
33-39	42-39	粘土塊	IV52	KIII 2上層 B		26	23	17	7.2	不整形。無文。	東-土2065
33-40	42-40	粘土塊	IV52	KIII 1層		24	233	17	5.9	不整形。無文。	東-土2091
33-41	42-41	円盤状土製品	IV53	KIII 2上層		40	7	38	9.5	鉢形土器の胴部片。RI織文。スズ炭化物物付着。	東-土2067
33-42	42-42	円盤状土製品	IV55	KIII 層		47	45	8	23.5	深鉢形土器の胴部片。	東-土2035
33-43	42-43	円盤状土製品	IV53	KIII 1層		42	45	5	13.5	深鉢形土器の胴部片。	東-土2034
33-44	42-44	円盤状土製品	IV53	KIII 1層		42	45	5	13.5	深鉢形土器の胴部片。	東-土2034
33-45	42-45	円盤状土製品	IV53	KIII 1層		42	45	5	13.5	深鉢形土器の胴部片。	東-土2034
33-46	42-46	円盤状土製品	IV53	KIII 1層		42	45	5	13.5	深鉢形土器の胴部片。	東-土2034
33-47	42-47	円盤状土製品	IV53	KIII 1層		42	45	5	13.5	深鉢形土器の胴部片。	東-土2034
33-48	42-48	円盤状土製品	IV53	KIII 2上層	P-266	30	28	4	5.5	鉢形土器の胴部片。無文。	東-土2059

表 8 東捨場地区 土製品観察表(2)

図版番号	写真 図版	分類	出土 位置	層位	取上 番号	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
34-49	43-49	円盤状土製品	IⅣ48	KⅢ2層		42	45	5	13.6	鉢形土器片の胴部。LR織文。	東-土2051
34-50	43-50	円盤状土製品	IⅣ53	KⅢ2上層		40	38	4	12.2	深鉢形土器の胴部片。LR織文。スリあり。スス状炭化物付着。	東-土2068
34-51	43-51	円盤状土製品(有孔)	IⅣ54	KⅢ1層		34	36	6	7.8	鉢形土器の胴部片。中央に有孔(一次穿孔蓋から)。無文。	東-土2060
35-52	43-52	円盤状土製品	IⅣ55	KⅢ1層		82	(36)	5	20.9	深鉢形土器の底部片。欠損。	東-土2007
35-53	43-53	円盤状土製品	IⅣ52	KⅢ1層		72	71	5	40.1	深鉢形土器の胴部片。無文。スリあり。スス状炭化物付着。	東-土2008
35-54	43-54	円盤状土製品	ブロック18 IⅣ52	KⅢ2層		46	42	5	11.8	鉢形土器の胴部片。無文。スス状炭化物付着。	東-土2068
35-55	43-55	円盤状土製品	VA54	KⅢ1層		54	53	5	17.4	深鉢形土器片。LR織文。器表面にスス状炭化物付着。	東-土2013

表 9 東捨場地区 ミニチュア・小型土器観察表(1)

図番号	写真 図版	器種	出土位置	層位	取上 番号	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	時期	備考	整理 番号
35-57	43-57	鉢	IⅣ56	KⅢ1層		—	丸底	(3.0)	後期後葉 ～晚期	外面；体部～底部ナデ。無文。底面；丸底。内面；ナデ。	東-土2056
35-58	43-58	鉢	IⅣ53	KⅢ1下層		3.6	丸底	2.0	後期後葉 ～晚期	外面；体部～底部ナデ。無文。底面；丸底。内面；ナデ。	東-土2064
35-59	43-59	鉢	IⅣ54	KⅢ1層		3.3	1.2	1.7	後期後葉 ～晚期	外面；口縁部～底部ナデ。LR織文。底面；丸底。内面；ナデ。	東-土2065
35-60	43-60	壺か	IⅣ52 Sec4	KⅢ2層		—	(4.1)	(2.2)	晩期前葉 ～晩期中葉	外面；口縁部～底部ナデ。無文。底面；凹底。内面；ナデ。	東-土2050
35-61	43-61	壺	IⅣ53	KⅢ2上層B		—	1.4	(3.8)	晩期3か	外面；横位沈線2条。体部～底部ナデ。底面；凹底。内面；ナデ。	東-土2079
35-62	43-62	皿	VA53 ブロック23	KⅢ2上層	P-2639	(7.3)	4.9	2.3	晩期4か	外面；口縁部～底部ナデ。無文。底面；凹底。内面；ナデ。	東-土2057
35-63	43-63	浅鉢	IⅣ52	KⅢ1d層	P-X	(9.2)	7.0	4.2	晩期	外面；平口縁。口唇；面取なし。口縁部～底部ナデ。底面；丸底。内面；ナデ。胎土；砂礫。粗製。	東-土2113
35-64	43-64	壺	IⅣ54	KⅢ1層	P-2503	—	2.0	(4.5)	晩期2～3	外面；口唇部欠損。肩部に隆帯2条。隆帯間に連続する刻目。底面；平底。内面；ナデ。全面に赤色顔料塗布。最大径3.5cm。	東-土2011
35-65	43-65	鉢	VA54	I層		(8.2)	4.0	4.7	晩期4か	外面；平口縁。口唇に連続する刻目。横位沈線2条。体部にLR織文。底面；平底。内面；ナデ。炭化物(内外口縁部付着)。	東-土2083
35-66	43-66	鉢	IⅣ53	KⅢ1層欠了		6.2	3.6	4.4	晩期	外面；平口縁。体部にLR織文。底面；凹底。内面；ナデ。炭化物(内面)	東-土2087
35-67	—	鉢	IⅣ52	IIa1層		—	3.1	(4.2)	晩期3	外面；小波状口縁。沈線。体部にLR織文。底面；凹底。内面；ナデ。炭化物(内面)	東-土2031
35-68	—	深鉢	IⅣ55	KⅢ1層		4.9	2.0	5.6	不明	外面；平口縁。口唇；面取なし。ナデ。底面；平底。内面；ナデ。	東-土2088
35-69	43-69	台付浅鉢	IⅣ54	KⅢ1層		6.6	—	(2.8)	晩期3	外面；連続した三又状の枒りにより裝飾的な口縁。沈線。体部にLR織文。底面欠損底。内面；口縁に沈線1条。ミガキ。炭化物(内面)	東-土2090
35-70	44-70	鉢	IⅣ54	KⅢ1層	P-2616	(10.1)	—	(6.2)	晩期3	外面；平口縁。口唇；突起残存6単位。口唇；突起間に刻目列。外面；沈線と刺突による辛唐状文。横位沈線。体部にLR織文。台部ミガキ。底面；丸底。内面；ナデ。口縁に沈線1条。炭化物(内・外面)。	東-土2104
35-71	44-71	台付鉢	IⅣ54	KⅢ下層	P-2154	7.5	—	(7.8)	晩期3	外面；連続した三又状の枒りにより裝飾的な口縁。外面；横位沈線2条。体部にLR織文。台部ミガキ。底面；丸底。内面；ナデ。炭化物(内・外面)。粗製。	東-土2106
35-72	43-72	台付鉢	IⅣ54 ブロック1	KⅢ下層	P-2130	(9.2)	(5.0)	(7.2)	晩期3	外面；連続した三又状の枒りにより裝飾的な口縁。外面；横位沈線2条。体部にLR織文。台部ミガキ。底面；丸底。内面；ナデ。炭化物(内・外面)。粗製。	東-土2110

表9 東拾場地区 ミニチュア・小型土器観察表(2)

図番号	写真 図版	器種	出土位置	層位	取上 番号	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	時期	備考	整理番号
35-73	44-73	台付鉢	IVX55	KIII1層	P-2621	8.9	6.0	7.2	晩期3	外面：連続した三叉状の枒りにより裝飾的な口縁を作出。外面：横位沈線2条。体部にR縄文。台部ミガキ。底部：台（透かし孔。端部肥厚。肥厚部LR縄文。端部直上に横位沈線。沈線による三叉文。内面：ミガキ。炭化物（内・外面）。	東-土2114
36-74	44-74	台付鉢	IVX55	KIII1層	P-2621	(10.2)	6.2	7.7	晩期2～3	外面：平口縁。B突起残存1単位。口唇：連続する刻目。外面：横位沈線4条（上位2条の沈線に上下交互に6～7個一組の刻目列）。体部上半にLR縄文。端部直上に横位沈線。端部肥厚。端部にB突起状の突起1単位。内面：ナデ。口縁に沈線1条。炭化物（外面）。胎土：砂雜。	東-土2107
36-75	44-75	台付鉢	IWV55	KIII1層	P-X	(10.2)	5.4	8.4	晩期3	外面：連続した三叉状の枒りによる裝飾的な口縁。外面：横位沈線2条。体部にR縄文。台部ミガキ。底部：台（端部肥厚・肥厚部LR縄文）。内面：ミガキ。炭化物（内・外面）。精製。	東-土2109
36-76	44-76	台付鉢	IWV54	KIII1層	P-2494	(9.8)	(5.1)	9.2	晩期2～3	外面：連続した三叉状の枒りによる裝飾的な口縁。外面：沈線と刻目による羊歯状文。頸部と体部の境に横位沈線2条。底部：台（沈線）。端部肥厚。内面：ナデ。口縁に沈線1条。炭化物（内・外面）。	東-土2111
36-77	44-77	台付鉢	IWV54	KIII1層	P-2454	9.2	5.4	8.0	晩期3	外面：連続した三叉状の枒りによる裝飾的な口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線2条。突起1単位。体部にR縄文。台部ミガキ。底部：台（縄文）。端部肥厚。端部直上に沈線1条。ミガキ。炭化物（内・外面）。	東-土2097
36-78	44-78	壺	IWV55	KIII層	P-2657	3.5	3.0	8.3	晩期3	外面：平口縁。口唇：沈線。外面：沈線。沈線の上に横位のB突起（推定4単位中1単位残存・3単位剥落）。隆帯。口縁部～底部ミガキ。底部：凹底。内面：ナデ。赤彩（外・口縁内側のみ）。精製。最大径8.3cm。	東-土2100
36-79	44-79	浅鉢	IWV55	KIII1層	P-2511	(10.2)	4.5	6.5	晩期3	外面：平口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線3条。口縁部～底部ミガキ。底部：凹底。内面：ナデ。赤彩（内・外面）。	東-土2103
36-80	44-80	壺	IWV55	KIII1層	P-2547	6.9	4.4	9.6	晩期3か	外面：平口縁。B突起1単位。口唇：面取なし。外面：頸部と体部の境に横位沈線。口縁部～底部ミガキ。底部：凹底。内面：ナデ。口縁に沈線1条。最大径10.6cm。	東-土2095
36-81	44-81	壺	IWV56	KIII1層	P-2589	(2.9)	3.0	9.2	晩期3	外面：隆帯。突起4単位（欠損）。隆帯1条。体部～底部ミガキ。底部：凹底。内面：ナデ。器内外面に赤色顔料塗布。最大径9.4cm。	東-土2101
36-82	44-82	壺	IWV54 ブロック1	KIII1層	P-2414	—	(3.5)	(7.2)	晩期3	外面：頸部と体部の境に横位沈線2条。肩部にB突起（縦位）1単位。体部にLR縄文。底部：凹底。内面：ナデ。外面最大径9.3cm。	東-土2105
36-83	44-83	壺	IWV54	KIII1層	P-2606	—	—	(6.4)	晩期3	外面：隆帯（隆帯上突起4単位）。沈線。体部上半ミガキ。内面：ナデ。赤彩（内・外面）。	東-土2102
36-84	44-84	浅鉢	IWV56	KIII1層	P-2588	(8.4)	4.6	(5.1)	晩期3	外面：平口縁。口唇：面取（外削ぎ状）。外面：横位沈線3条。肩部に1箇所突起（刻目）。口縁部～底部ミガキ。底部：凹底。内面：ナデ。精製。最大径9.5cm。	東-土2112
37-85	44-85	壺	IWV56	KIII1層	P-2555	—	3.0	(6.8)	晩期3	外面：頸部に隆帯。B突起（4単位）。沈線。彫去による雲形文。沈線2条。体部～底部ミガキ。底部：凹底。内面：ミガキ。赤彩（外・口縁内側のみ）。精製。最大径7.6cm。	東-土2094
37-86	44-86	壺	IWV54	KIII1層	P-2480	—	3.6	(7.6)	晩期3	外面：沈線による雲形文。隆帯。沈線。体部～底部ミガキ。底部：凹底。内面：ナデ。赤彩（外面）。器表面の剥落が著しい。精製。最大径8.5cm。	東-土2093
37-87	44-87	壺	IWV53 ブロック17	KIII1d～f層	P-2522	5.7	5.3	9.0	晩期2	外面：平口縁。口唇：面取なし。外面：ミガキ。底部：丸底（凹脚付）。内面：ナデ。外面黒斑。最大径（9.9）cm。	東-土2099
37-88	44-88	壺	IWV55	KIII1層	P-2660	4.0	3.6	8.8	晩期3	外面：平口縁。口唇：面取なし。外面：彫去による雲形文。沈線。頸部と体部の境に横位沈線か（剥落）。口縁部～底部ミガキ。底部：凹底。内面：ナデ。赤彩（外・口縁内側のみ）。最大径8.8cm。	東-土2092
37-89	44-89	壺	IWV54	KIII1層	P-2475	(6.8)	5.5	9.0	晩期前葉 ～晩期中葉	外面：平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部ミガキ。底部：平底。内面：ナデ。外面に赤色顔料。最大径（8.2）cm。	東-土2108
37-90	44-90	壺	IWV54	KIII1層	P-2620	—	4.1	(5.2)		外面：人面モチーフ。彫去による雲形文。体部～底部ミガキ。底部：4つ（四脚）の突起状の脚か。内面：ナデ。赤彩（外面）。底面凹脚部分にスス。最大径8.8cm。	東-土2098
37-91	44-91	注口	V A53 ブロック22下部	KIII2層	P-2669	—	2.2	(8.3)	後期後葉	外面：横位沈線2条の間に横長記号（2個残存）。注口：基部に一袋状の膨らみ。底部：低平な高台。内面：ナデ。外面黒斑。精製。注口内径0.7cm。最大径（8.5）cm。	東-土2096
—	40-92	壺	IWV56	KIII1層	—	—	—	—	晩期中葉 ～後期後葉	外面：平口縁。口唇：面取なし。縄文LR。底部：円形の沈線。内面：ナデ。	東-土2089

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(1)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
19	3			2652	東捨場	SQ15	覆土	S-X	凹石	117.8	71.7	33.0	272.5	凝灰岩	
19	4			2657	東捨場	SQ15	覆土	S-X	凹石	91.2	71.0	47.4	405.3	凝灰岩	
19	5	6		2660	東捨場	SQ15	覆土	S-X	凹石	110.0	75.0	59.0	524.0	安山岩	
19	6			2651	東捨場	IVV50 SQ15	覆土	S-X	凹石	131.2	59.4	43.8	362.0	凝灰岩	
19	7			2654	東捨場	SQ15	覆土	S-X	敲石	66.6	60.1	34.1	152.8	凝灰岩	
19	8			2656	東捨場	SQ15	覆土	S-X	敲石	70.7	53.2	52.8	254.0	安山岩	
19	9			2658	東捨場	IVV50 SQ15	覆土	S-X	凹石	93.1	79.5	50.9	379.4	凝灰岩	
19	10	6		4321	東捨場	IVU49 SQ15	覆土	S-X	石皿	331.0	247.0	710.0	6600.0	凝灰質砂岩	磨面に溝状の窪まり
19	11			t284	東捨場	SQ15	覆土	S-X	石製円盤	89.0	72.4	33.6	309.4	デイサイト	
19	12	6		8719	東捨場	SQ15	覆土	S-X	磨製石斧	84.0	66.2	35.7	192.6	粗粒玄武岩	
19	13	6		4255	14 東捨場	IVW54 SQ34	KIII1層	S-5	石皿	262.0	161.0	46.0	2500.0	凝灰岩	素材礫の粗い表面に磨面
21	5			5455	東捨場	SR42内	KIII下層	S-X	石鏃	37.0	18.4	8.9	5.6	珪質頁岩	石鏃?石錐?
21	12	12		7729	東捨場	IVU53 SR48内	覆土	S-X	石製円盤	51.0	40.0	10.0	25.8	凝灰岩	敲石?
22	8	16		4247	14 東捨場	SN61	炉石	S-2	石皿	225.0	248.0	39.0	2500.0	緑色凝灰岩	
22	9			4252	14 東捨場	SN61	炉石	S-1	石皿	268.0	200.0	64.0	4500.0	緑色凝灰岩	扁平礫素材、被熱、両面使用
22	14			4350	15 東捨場	SN64	炉石	S-1	石皿	337.0	320.0	90.0	14920.0	花崗岩	
45	1			1344	14 東捨場	IVX55	I層	S-X	石鏃	27.8	15.1	6.4	2.5	珪質頁岩	
45	2			1346	14 東捨場	IVX55	I層	S-X	石鏃	(29.7)	15.3	5.9	(2.4)	珪質頁岩	
45	3			1046	14 東捨場	不明	I層	S-X	石鏃	36.9	12.3	4.6	1.5	珪質頁岩	裏面加工部分少
45	4			5579	14 東捨場	IVW56	I層	S-X	石鏃	43.9	18.4	4.5	2.6	珪質頁岩	アスファルト
45	5			1897	14 東捨場	IVY55	I層	S-X	石鏃	43.1	22.8	8.5	7.2	珪質頁岩	未製品?先端から欠損
45	6			1896	14 東捨場	IVN56	I層	S-X	石鏃	51.1	10.2	6.0	2.6	珪質頁岩	
45	7			4703	14 東捨場	IVX56	I層	S-X	石鏃	56.1	15.3	7.4	5.5	珪質頁岩	
45	8			4748	13 東捨場	IVU54	II層	S-X	石鏃	49.4	13.4	6.7	2.9	玉髄質珪質頁岩	
45	9			5471	13 東捨場	IVU50	KIII層	S-X	石鏃	19.9	8.9	5.3	0.7	珪質頁岩	
45	10			1338	14 東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	石鏃	23.3	9.8	4.7	0.7	珪質頁岩	アスファルト
45	11			1044	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石鏃	26.9	12.5	5.3	1.0	玉髄	
45	12			1336	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	石鏃	26.0	11.0	3.2	0.7	珪質頁岩	アスファルト
45	13			4723	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	石鏃	33.6	8.1	3.2	0.8	珪質頁岩	
45	14			1047	14 東捨場	VA53	KIII1層	S-X	石鏃	37.0	13.1	5.4	1.8	珪質頁岩	
45	15			1339	14 東捨場	IVV54	KIII1層	S-X	石鏃	34.7	14.9	4.2	1.9	珪質頁岩	アスファルト
45	16			1345	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石鏃	36.8	13.9	3.9	1.5	珪質頁岩	
45	17			4717	14 東捨場	IVW56	KIII1層	S-X	石鏃	42.1	12.9	4.4	1.9	珪質頁岩	アスファルト
45	18			5467	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石鏃	40.6	12.4	8.2	3.0	珪質頁岩	
45	19			1343	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石鏃	43.6	14.8	6.8	2.9	珪質頁岩	アスファルト
45	20			5466	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石鏃	44.2	12.8	5.1	3.0	珪質頁岩	先端磨耗、石鏃転用?
45	21			1341	14 東捨場	IVV54	KIII1層	S-X	石鏃	(42.5)	13.0	5.1	(2.7)	珪質頁岩	先端から左側縁欠損
45	22			1862	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石鏃	50.2	16.9	10.2	5.2	珪質頁岩	
45	23	38	2	1050	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	石鏃	55.5	14.7	6.7	3.2	珪質頁岩	
45	24			4746	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-X	石鏃	41.9	18.0	4.9	2.7	珪質頁岩	アスファルト
45	25			1043	14 東捨場	IVX52	KIII黄褐色	S-X	石鏃	26.9	10.7	2.8	0.6	珪質頁岩	
45	26			1180	15 東捨場	VA53	KIII1d層	S-X	石鏃	22.0	12.4	5.3	0.7	珪質頁岩	未製品?
45	27			1892	14 東捨場	VA54	KIII1d層	S-X	石鏃	30.5	12.6	3.9	1.1	珪質頁岩	アスファルト
45	28			1340	14 東捨場	IVX53	KIII1d層	S-X	石鏃	36.9	11.8	5.7	1.9	珪質頁岩	アスファルト
45	29			1335	14 東捨場	IVX52	KIII1d層	S-X	石鏃	40.4	14.7	5.6	3.0	珪質頁岩	アスファルト
45	30			5469	14 東捨場	IVX53 ブロック17	KIII1d~f層	P-2526	石鏃	33.6	18.1	5.8	1.9	珪質頁岩	アスファルト
45	31			1042	14 東捨場	IVX53	KIII2層	S-X	石鏃	20.4	9.6	3.0	0.6	珪質頁岩	
45	32			1342	14 東捨場	VA52	KIII2層	S-X	石鏃	27.4	9.1	3.5	0.6	玉髄	
45	33			1881	14 東捨場	VA52	KIII2層	S-X	石鏃	25.9	14.6	3.9	1.0	珪質頁岩	アスファルト
45	34			5468	14 東捨場	IVU56	KIII2層	S-X	石鏃	29.4	14.0	4.7	1.6	珪質頁岩	
45	35			1337	14 東捨場	VA52	KIII2層	S-X	石鏃	27.5	16.0	3.0	0.9	珪質頁岩	アスファルト
45	36			1894	14 東捨場	VA53	KIII2層	S-X	石鏃	35.8	15.5	4.3	1.7	珪質頁岩	アスファルト
45	37			1181	15 東捨場	VA54	KIII2層	S-X	石鏃	33.4	18.1	6.5	3.7	珪質頁岩	未製品
45	38	38	1	7035	東捨場付近	表探	不明	S-X	石鏃	25.0	15.0	4.0	0.9	珪質頁岩	アスファルト
45	39			2326	14 東捨場	不明	不明	S-X	石鏃	35.6	15.5	6.8	2.5	珪質頁岩	
45	40			2751	13 東捨場	IVU55 セクション4	I層	S-X	石鏃	53.6	28.1	12.6	15.8	珪質頁岩	未製品?
45	41			1891	14 東捨場	IVX55	I層	S-X	石鏃	25.3	9.0	3.5	0.6	珪質頁岩	未製品?
45	42			1866	14 東捨場	IVX54	I層	S-X	石鏃	27.9	6.2	5.3	1.0	珪質頁岩	両端磨耗
45	43			1869	14 東捨場	IVX55	I層	S-X	石鏃	38.1	10.6	6.5	2.7	珪質頁岩	
45	44			1874	14 東捨場	VA53	I層	S-X	石鏃	34.6	17.0	5.8	3.7	珪質頁岩	
45	45			999	14 東捨場	IVY55	I層	S-X	石鏃	41.9	36.8	12.2	9.7	珪質頁岩	
45	46			1882	14 東捨場	VA52	I層	S-X	石鏃	51.2	32.3	8.8	9.5	珪質頁岩	
45	47			1883	14 東捨場	IVX54	I層	S-X	石鏃	56.5	19.4	10.6	7.7	珪質頁岩	片面加工
45	48			995	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石鏃	27.2	8.5	6.3	1.3	珪質頁岩	両端磨耗
45	49			994	14 東捨場	IVX52	不明	S-X	石鏃	30.3	7.1	5.2	1.2	珪質頁岩	先端磨耗
45	50			993	14 東捨場	IVX52	不明	S-X	石鏃	38.3	8.9	6.3	2.3	珪質頁岩	
45	51			1045	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石鏃	27.6	8.6	5.7	1.2	珪質頁岩	石鏃?
45	52			2515	13 東捨場	IVV52	KIII層	S-X	石鏃	87.1	41.0	15.2	32.9	珪質頁岩	
45	53			1048	14 東捨場	IVU56	KIII1層	S-X	石鏃	36.8	13.0	6.4	1.9	珪質頁岩	
45	54			5457	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石鏃	37.3	6.2	5.1	1.4	珪質頁岩	両端磨耗
45	55	38	5	1865	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石鏃	48.0	9.6	7.8	3.0	珪質頁岩	
45	56			1872	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	石鏃	47.7	10.0	6.0	2.7	珪質頁岩	
45	57			1430	14 東捨場	IVV54	KIII1層	S-X	石鏃	58.7	11.1	8.9	4.0	珪質頁岩	

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(2)

写真図 版番号	番号	図版 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
45	58	38	3	1878	14 東捨場	VA53	KIII1層	S-X	石錐	61.0	12.1	10.2	7.2	珧質頁岩	
45	59	38	6	998	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石錐	59.8	10.5	8.6	4.4	珧質頁岩	
45	60			4716	14 東捨場	IVX55	KIII1層	S-X	石錐	58.1	15.7	10.4	8.7	珧質頁岩	
45	61	38	4	1051	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石錐	62.3	16.7	6.5	4.1	珧質頁岩	
45	62			5456	14 東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	石錐	42.2	18.2	4.9	2.1	未鑑定	
45	63			1873	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-X	石錐	33.4	19.0	8.9	5.1	珧質頁岩	
45	64			1871	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石錐	(25.7)	24.3	5.3	(2.5)	珧質頁岩	
45	65			1875	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石錐	41.7	22.8	6.7	5.3	珧質頁岩	
45	66			2325	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	石錐	41.2	27.8	14.7	8.4	珧質頁岩	尖端磨耗
45	67			1889	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	石錐	50.6	42.4	9.3	13.0	珧質頁岩	
45	68			1876	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-X	石錐	49.1	14.6	9.1	3.8	珧質頁岩	
45	69			1864	14 東捨場	IVW56	KIII1層	S-X	石錐	59.4	17.2	10.5	5.2	珧質頁岩	
45	70			1888	14 東捨場	IVU56	KIII1層	S-X	石錐	(51.7)	29.3	12.1	(9.9)	珧質頁岩	
45	71			1886	14 東捨場	IVY53	KIII1層	S-X	石錐	54.1	25.3	11.1	10.9	珧質頁岩	アスファルト
45	72			1887	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石錐	67.8	28.0	15.8	19.1	珧質頁岩	
45	73			4754	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	石錐	(34.2)	18.3	6.2	(2.8)	珧質頁岩	アスファルト、先端から割れ
45	74			4721	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-X	石錐	46.9	10.2	7.0	2.8	珧質頁岩	
45	75			996	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	石錐	51.5	21.9	9.1	6.6	珧質頁岩	石匙? 石錐未製品?
45	76			1890	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石錐	64.0	34.2	10.2	11.8	珧質頁岩	
45	77			997	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	石錐	42.9	19.6	10.6	6.3	珧質頁岩	
45	78			1877	14 東捨場	IVY52	KIII2上層	S-X	石錐	33.6	44.9	8.6	7.0	珧質頁岩	
45	79			1870	14 東捨場	IVY53	KIII2層	S-X	石錐	48.3	21.6	6.4	2.9	珧質頁岩	
45	80			1884	14 東捨場	IVV56	KIII2層	S-X	石錐	(49.9)	26.6	12.7	(11.0)	珧質頁岩	
45	81			2452	14 東捨場	IVX52	KIII黄褐色	S-X	石錐	63.7	23.7	13.7	17.7	珧質頁岩	未製品?
46	1			1319	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	石匙	39.4	33.5	10.1	13.6	珧質頁岩	折面再加工
46	2			1895	14 東捨場	不明	不明	S-X	石錐	(47.8)	12.5	7.1	(3.4)	珧質頁岩	
46	3			1885	14 東捨場	IVX53	KIII黄褐色	S-X	石錐	54.7	29.3	14.7	16.1	珧質頁岩	
46	4			2324	14 東捨場	VA54	I層	S-X	石匙	56.2	31.6	13.5	20.4	珧質頁岩	アスファルト
46	5			2516	13 東捨場	IVV51 東西セク ション	KIII下層	S-X	石匙	66.2	41.9	14.0	39.1	珧質頁岩	
46	6			4747	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石匙	59.5	36.5	14.0	24.9	珧質頁岩	
46	7			4740	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石匙	91.2	66.3	46.8	337.9	珧質頁岩	石核転用敲石?
46	8			4756	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石匙	90.0	49.2	12.9	54.4	珧質頁岩	下端刃部未形成?
46	9			4706	13 東捨場	IVU54	KIII層	S-210	石匙	97.0	49.2	14.6	63.0	珧質頁岩	
46	10	38	14	2594	13 東捨場	IVU52 ブロック2	覆土	S-X	石匙	43.0	61.0	11.0	18.6	珧質頁岩	
46	11			2464	14 東捨場	IVX55	I層	S-X	石匙	54.8	46.6	11.2	27.8	珧質頁岩	
46	12			4710	14 東捨場	不明	I層	S-X	石匙	75.1	38.7	13.8	34.2	珧質頁岩	
46	13			5587	14 東捨場	IVY55	I層	S-X	石匙	36.5	54.9	13.0	15.2	珧質頁岩	アスファルト
46	14			4714	14 東捨場	IVY54	I層	S-X	石匙	38.2	20.0	9.0	4.2	珧質頁岩	正裏下半部アスファルト
46	15			1325	14 東捨場	IVX55	I層	S-X	石匙	53.2	69.4	13.5	32.9	珧質頁岩	アスファルト、刃部光沢
46	16			4715	14 東捨場	IVW56	I層	S-X	石匙	47.9	70.0	14.7	31.6	珧質頁岩	
46	17	38	8	1324	14 東捨場	IVW55	I層	S-X	石匙	43.2	85.1	13.4	25.1	珧質頁岩	アスファルト
46	18			991	14 東捨場	IVW56	I層	S-X	石匙	39.4	65.2	12.5	20.9	珧質頁岩	アスファルト
46	19			2519	13 東捨場	IVV51 東西セク ション	KIII下層	S-X	石匙	27.5	32.6	7.2	4.6	珧質頁岩	
46	20			4719	13 東捨場	IVU55 (P2142内 出土)	KIII層	S-X	石匙	50.4	66.5	8.5	19.7	珧質頁岩	アスファルト、刃部光沢
46	21			5476	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石匙	39.5	56.8	5.5	9.2	珧質頁岩	
46	22			1433	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石匙	40.4	62.1	10.1	20.7	珧質頁岩	アスファルト
46	23			4712	14 東捨場	VA53	KIII1層	S-X	石匙	43.3	73.1	8.1	18.7	珧質頁岩	アスファルト
46	24	38	11	6531	東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石匙	49.3	77.7	11.2	32.2	珧質頁岩	
46	25			4757	14 東捨場	IVW56	KIII1層	S-X	石匙	47.7	62.4	12.6	26.7	珧質頁岩	アスファルト、刃部光沢
46	26	38	12	6514	東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石匙	53.5	60.0	14.0	32.5	珧質頁岩	
46	27			2310	13 東捨場	IVU51 セクション4	I層	S-X	石匙	46.8	15.5	6.7	5.2	珧質頁岩	
47	1			1322	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石匙	43.2	58.7	8.9	17.9	珧質頁岩	アスファルト、刃部光沢
47	2			1323	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石匙	52.5	77.2	17.1	29.6	珧質頁岩	アスファルト、刃部光沢→再加工
47	3			1315	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石匙	54.2	72.2	11.0	35.6	珧質頁岩	アスファルト
47	4			1321	14 東捨場	IVY52	KIII1d層	S-X	石匙	29.5	65.2	11.8	22.0	珧質頁岩	アスファルト
47	5			5582	14 東捨場	IVX-54	KIII1層	S-X	石匙	40.2	52.9	10.5	11.4	珧質頁岩	
47	6			1432	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	石匙	43.1	49.0	11.2	17.9	珧質頁岩	アスファルト
47	7			4718	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石匙	45.0	15.0	3.7	2.0	珧質頁岩	
47	8			4758	13 東捨場	IVU51 セクション4	KIII1層	S-X	石匙	55.3	17.6	9.8	3.8	珧質頁岩	
47	9			5585	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石匙	62.7	33.6	9.9	20.4	珧質頁岩	刃部光沢
47	10	38	10	5586	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石匙	86.1	33.5	16.3	32.7	珧質頁岩	
47	11			1326	14 東捨場	IVV54	KIII1層	S-X	石匙	99.5	33.2	15.3	39.6	珧質頁岩	
47	12			2683	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	石匙	78.0	26.6	4.2	8.5	珧質頁岩	
47	13			2520	13 東捨場	IVU49 セクション4	KIII1層	S-X	石匙	77.9	80.0	22.0	60.8	珧質頁岩	石匙未製品?
47	14			5477	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	石匙	68.1	35.1	9.0	18.4	珧質頁岩	アスファルト
47	15	38	13	7042	東捨場	IVV56	KIII1層		石匙	44.0	60.0	18.0	27.7	珧質頁岩	



表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(3)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
47	16			989	14 東捨場	IVV54	KIII1層	S-X	石匙	38.2	40.4	8.6	9.1	珧質頁岩	
47	17			1041	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石匙	56.6	21.6	4.4	4.6	珧質頁岩	
47	18			4444	14 東捨場	IVX52	KIII1d層	S-X	石匙	54.4	52.2	10.1	20.4	珧質頁岩	アスファルト
47	19			992	13 東捨場	IVY53	KIII1d層	S-X	石匙	54.2	59.8	14.1	29.5	珧質頁岩	
47	20			4705	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	石匙	47.7	61.2	16.4	28.7	珧質頁岩	刃部光沢
47	21			4704	14 東捨場	IVX52	KIII1層	S-X	石匙	46.0	53.9	9.4	16.0	珧質頁岩	刃部光沢
47	22			4724	13 東捨場	IVX52	KIII層	S-X	石匙	32.3	33.3	5.4	3.0	珧質頁岩	凸出部あり
47	23			4745	13 東捨場	IVU52	KIII層	S-X	石匙	47.4	60.4	13.5	21.8	珧質頁岩	
47	24			4744	13 東捨場	IVU55	KIII下層	S-X	石匙	49.7	72.4	11.7	24.7	珧質頁岩	刃部光沢
47	25			4702	13 東捨場	IVV50	KIII層	S-X	石匙	66.1	66.3	14.3	34.7	珧質頁岩	アスファルト?刃部光沢
47	26	38	9	6513	東捨場	IVW55	I層		石匙	57.5	61.0	14.9	36.9	珧質頁岩	
47	27			5590	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石匙	50.5	78.5	11.4	29.4	珧質頁岩	アスファルト、刃部光沢→再加工
47	28			4713	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-X	石匙	45.1	68.5	11.0	22.2	珧質頁岩	
47	29			4709	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-X	石匙	29.9	13.3	2.8	0.9	珧質頁岩	
47	30	38	15	1431	14 東捨場	IVW53	KIII1下層	S-X	石匙	45.0	18.0	4.0	3.0	珧質頁岩	
47	31			4749	13 東捨場	IVW51	KIII層	S-X	石匙	63.5	22.0	7.3	6.6	玉髄質珧質頁岩	
47	32			990	14 東捨場	不明	不明	S-X	石匙	67.6	27.3	9.4	13.2	珧質頁岩	
47	33			5580	東捨場	IVU54 セクション4	I層	S-X	石匙	57.7	26.2	11.3	12.0	珧質頁岩	
48	1			4720	13 東捨場	IVW52 ブロック6	覆土	S-X	石匙	59.5	53.5	10.5	25.1	珧質頁岩	
48	2			4726	13 東捨場	IVU56 セクション4	KIII2層	S-X	石匙	68.1	84.8	13.7	52.6	珧質頁岩	
48	3			4750	14 東捨場	VA53	KIII2層	S-X	石匙	53.3	83.1	14.1	46.2	珧質頁岩	
48	4			4701	14 東捨場	VA53	KIII2層	S-X	石匙	52.5	40.3	10.2	23.3	鉄石英	
48	5			4753	14 東捨場	IVX52	KIII2層	S-X	石匙	31.4	62.1	8.8	8.3	珧質頁岩	
48	6			5589	14 東捨場	IVY52	KIII2層	S-X	石匙	48.8	73.4	11.7	31.7	珧質頁岩	アスファルト
48	7			4743	14 東捨場	IVY53	KIII2層	S-X	石匙	67.4	18.4	5.5	5.4	珧質頁岩	
48	8			2336	14 東捨場	IVY54 トレンチ2	不明	S-X	石匙	58.1	25.7	8.5	9.5	珧質頁岩	
48	9			2689	14 東捨場	不明	I層	S-X	削器	85.0	75.4	26.7	134.2	珧質頁岩	
48	10			2455	14 東捨場	VA53	I層	S-X	削器	73.8	36.4	18.4	47.6	珧質頁岩	
48	11			2461	14 東捨場	不明	I層	S-X	削器	65.1	44.9	18.0	60.0	珧質頁岩	
48	12			2453	14 東捨場	不明	I層	S-X	削器	47.4	37.3	14.1	24.3	珧質頁岩	
48	13			2450	14 東捨場	不明	I層	S-X	削器	47.6	28.9	10.5	14.3	珧質頁岩	
48	14			1347	14 東捨場	IVX53	I層	S-X	削器	46.5	25.7	8.9	11.4	珧質頁岩	石鏃未製品?
48	15			1049	14 東捨場	IVY53	I層	S-X	削器	41.0	19.0	7.5	5.5	珧質頁岩	石鏃未製品?
48	16			4708	13 東捨場	IVW52	KIII層	S-X	削器	53.1	28.1	12.1	12.6	珧質頁岩	厚みのある側縁側にアスファルト
48	17			4764	14 東捨場	IVW53	KIII1下層	S-X	石鏃	(21.4)	12.2	5.2	(1.4)	黒曜石	
48	18			6040	13 東捨場	IVU51 セクション4	KIII1層	S-X	削器	19.8	20.8	6.1	2.3	黒曜石	台形様石器に形状類似、木造出来島群
48	19			5464	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	削器	(27.9)	(13.3)	6.3	(1.8)	玉髄質珧質頁岩	下部節理で欠損
48	20			6077	東捨場	VA53	KIII1層		削器	25.5	23.1	8.7	5.4	黒曜石	木造出来島群
48	21			2451	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	削器	47.6	30.5	10.0	13.3	珧質頁岩	
48	22			2449	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	削器	61.6	30.7	11.9	21.7	珧質頁岩	
48	23			2454	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	削器	60.3	40.9	12.3	32.4	珧質頁岩	
48	24			2460	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	削器	55.6	40.2	8.5	22.6	珧質頁岩	
48	25			2462	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	削器	63.0	41.5	14.4	34.9	珧質頁岩	
48	26	38	18	2601	13 東捨場	IVW52 ブロック6	覆土	S-X	異形石器	60.6	16.1	10.5	7.0	珧質頁岩	
48	27			2459	14 東捨場	IVY52	KIII1d層	S-X	削器	87.4	41.7	13.8	41.2	珧質頁岩	
48	28			2211	14 東捨場	VA54	KIII1d層	S-X	削器	43.0	26.2	8.6	8.8	珧質頁岩	
48	29			4711	14 東捨場	IVW53 セクション6	KIII1d層	S-X	削器	36.3	(27.5)	6.3	(3.8)	珧質頁岩	アスファルト
48	30			1893	14 東捨場	不明	不明	S-X	削器	33.6	17.0	6.6	3.6	珧質頁岩	未製品?
48	31			2517	13 東捨場	IVU55	KIII下層	S-X	削器	53.7	34.1	10.2	13.8	珧質頁岩	
48	32			2518	14 東捨場	IVV54	KIII下層	S-X	二次加工剥片	79.2	28.9	9.8	15.0	珧質頁岩	裏面中心にアスファルト
48	33			2456	14 東捨場	IVY53	KIII2上層B	S-X	削器	44.4	25.0	6.5	5.3	珧質頁岩	
48	34			2458	14 東捨場	VA53	KIII2層	S-X	削器	59.7	30.2	15.3	23.8	珧質頁岩	
48	35			5459	14 東捨場	VA52	KIII2層	S-X	削器	61.3	34.1	14.8	25.8	珧質頁岩	
48	36			2463	14 東捨場	VA53	KIII2層	S-X	削器	71.8	44.2	10.7	32.1	珧質頁岩	
48	37			4733	13 東捨場	IVV51 東西セクション	KIII層	S-X	二次加工剥片	64.0	53.9	28.7	103.3	珧質頁岩	石核?
48	38			5660	13 東捨場	IVV54	KIII層	S-X	石製円盤	(35.8)	(35.4)	9.1	(13.0)	珧質頁岩	
48	39			2322	13 東捨場	IVU51 セクション4	I層	S-X	異形石器	24.3	19.1	8.2	2.3	珧質頁岩	石匙破片再加工?
48	40			2320	13 東捨場	IVU51 セクション4	I層	S-X	削器	42.9	48.1	10.0	13.7	珧質頁岩	
49	1			4765	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	異形石器	17.0	8.0	3.0	0.3	黒曜石	
49	2	38	17	2210	14 東捨場	IVY56	III1層	S-X	異形石器	20.5	8.9	4.3	0.6	黒曜石	
49	3			4774	13 東捨場	IVW53	KIII1層		異形石器	4.0	8.1	4.5	0.5	黒曜石	
49	4	38	16	1000	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	異形石器	27.9	31.2	6.9	3.5	鉄石英	
49	5			4732	14 東捨場	VA53	I層	S-X	石核	44.8	56.9	36.1	62.8	珧質頁岩	
49	6			4741	14 東捨場	VA53	I層	S-X	石核用敷石	82.5	78.8	58.1	338.5	珧質頁岩	
49	7			4727	14 東捨場	IVX53	KIII下1層	S-X	石核	105.7	94.7	65.4	699.4	珧質頁岩	
49	8			2602	14 東捨場	IVW56	KIII1層	S-X	石核	100.6	48.6	23.8	113.6	珧質頁岩	異形石器
49	9	38	19	5559	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	接合資料	51.0	38.0	12.0	13.4	珧質頁岩	剥片2点接合

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(4)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
49	10			4734	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石核	62.6	39.6	38.9	94.6	珪質頁岩	
49	11			5719	14 東捨場	VA53	KIII1層	S-X	石核	148.4	57.5	30.7	277.8	珪質頁岩	
49	12			4736	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	石核	43.0	45.7	28.0	53.6	珪質頁岩	
49	13			4737	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石核	33.3	35.4	29.2	41.2	珪質頁岩	
49	14			4728	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石核	65.3	40.8	45.9	94.5	珪質頁岩	
49	15			4731	14 東捨場	VA52	KIII1層	S-X	石核	65.7	56.9	36.1	133.1	珪質頁岩	
49	16			2084	14 東捨場	IVV55	KIII1層	特-264	石核転用敲石	49.9	33.9	19.7	57.6	頁岩	
49	17			4742	14 東捨場	IVY52	KIII1d層	S-X	石核	97.8	119.1	66.0	777.9	珪質頁岩	
49	18			4729	14 東捨場	IVX52	KIII1d層	S-X	石核	64.5	70.4	47.6	210.4	珪質頁岩	
49	19			4735	15 東捨場	IVY53	KIII1d層	S-X	石核転用敲石	56.5	48.6	27.6	87.0	珪質頁岩	
49	20			5351	14 東捨場	VA52	KIII2層	S-X	石核転用敲石	39.7	38.3	37.6	85.3	珪質頁岩	
49	21			4739	14 東捨場	IVY54	KIII2層	S-X	石核	57.2	48.7	32.4	123.9	珪質頁岩	
49	22			4738	14 東捨場	IVX52	KIII1d層	S-X	石核	45.2	42.0	42.5	58.7	珪質頁岩	
49	23			4730	14 東捨場	VA53	KIII2層	S-X	石核	82.3	95.7	30.8	228.5	珪質頁岩	
50	1	39	6	2262	14 東捨場	IVX53	KIII1下層	S-X	磨製石斧	54.9	35.4	25.0	83.6	緑色凝灰岩	刃部欠損面を再加工、側面の稜明瞭、擦切痕、敲打整形、アスファルト
50	2			11045	14 東捨場	IVY54・55 トレンチ2	不明	S-X	磨製石斧	62.4	28.9	11.8	36.0	緑色凝灰岩	
50	3	39	4	2266	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	磨製石斧	90.2	42.4	20.6	121.7	凝灰岩	刃部欠損面を再加工、側面の稜明瞭
50	4	39	1	900	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	磨製石斧	104.6	45.8	25.0	205.5	角閃岩	刃部欠損、折れ面再加工、側面の稜明瞭、敲打整形
50	5	39	5	2267	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-259	磨製石斧	63.0	46.2	24.6	116.2	粗粒玄武岩	基部欠損、側面の稜明瞭
50	6	40	1	7062	東捨場	VA54	KIII2層	S-273	磨製石斧	110.0	48.0	16.0	130.9	緑色凝灰岩	扁平な形状の磨製石斧、側面稜不明瞭
50	7	39	3	7608	東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	磨製石斧	99.0	49.0	29.0	232.8	粗粒玄武岩	
50	8	39	2	2264	14 東捨場	IVV53	KIII1層	S-X	磨製石斧	88.9	45.6	25.0	168.1	緑色凝灰岩	基部再加工、側面の稜明瞭、敲打整形
50	9	40	2	2265	14 東捨場	IVV55	KIII2層	S-X	磨製石斧	82.2	45.6	23.9	138.7	粗粒玄武岩	基部欠損、側面の稜明瞭
50	10	39	7	2263	14 東捨場	IVW53	KIII1下層	S-X	磨製石斧	63.0	42.1	21.8	98.1	粗粒玄武岩	基部欠損、側面の稜明瞭、敲打整形
50	11			2610	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石製品	58.6	30.0	8.8	19.2	粘板岩	石棒断片一敲打
50	12	40	3	5593	13 東捨場	IVU49 セクション4	KIII層	S-X	磨製石斧	30.2	17.2	7.8	7.2	緑色岩	小形磨製石斧、側面の稜明瞭
50	13			5446	13 東捨場	IVU49	KIII層	S-X	磨石	80.2	64.4	37.8	233.0	凝灰岩	
50	14			2019	14 東捨場	IVY56	I層	S-X	磨石	72.7	68.2	30.8	205.9	未鑑定	敲打痕
50	15			8259	14 平場	VB38	I層	S-X	敲石	82.3	76.5	71.1	565.6	粗粒玄武岩	報告書Ⅶ第1編第2章第1節参照
50	16			8269	14 東捨場	IVY53	I層	S-X	磨石	99.5	83.0	75.4	898.9	花崗岩	
50	17			5451	13 東捨場	IVU52 ブロック2	覆土	S-X	磨石	132.4	92.5	65.9	1239.2	粗粒玄武岩	
50	18			5450	13 東捨場	IVW52	KIII層	S-X	磨石	100.7	87.0	76.3	941.2	安山岩	
50	19			5449	13 東捨場	IVU50 セクション4	KIIIa層	S-X	磨石	101.6	71.9	53.6	562.8	安山岩	
50	20			8271	14 東捨場	IVY53	KIII1層	S-X	磨石	994.9	93.4	80.6	975.1	凝灰岩	
50	21			5445	13 東捨場	IVV51 東西セクション	KIII下層	S-X	磨石	72.9	67.3	47.4	303.5	安山岩	
50	22			8279	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	磨石	79.0	73.7	62.4	515.5	花崗岩	
50	23			8278	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	磨石	92.9	78.6	58.1	564.3	安山岩	
50	24			8265	14 東捨場	VA52	KIII1層	S-X	磨石	77.8	61.8	52.8	346.0	粗粒玄武岩	
50	25			8270	14 東捨場	IVY53	KIII1層	S-X	磨石	95.3	83.8	54.7	659.2	花崗岩	
50	26			8273	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	磨石	100.5	87.9	55.8	758.4	安山岩	
50	27			8266	14 東捨場	VA53	KIII1層	S-X	磨石	84.6	69.5	50.8	403.7	安山岩	
51	1			8275	14 東捨場	IVW56	KIII1層	S-X	磨石	107.6	94.3	65.6	935.3	凝灰岩	
51	2			8260	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	磨石	102.0	62.8	45.0	346.9	緑色凝灰岩	
51	3			8264	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	磨石	114.2	62.5	53.1	522.8	安山岩	
51	4			8276	14 東捨場	VA53	KIII1層	S-X	磨石	128.4	95.0	86.6	1532.7	安山岩	
51	5			8262	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	磨石	134.8	85.3	61.7	1091.4	安山岩	
51	6			8263	14 東捨場	IVW52	KIII1d層	S-X	磨石	104.2	85.7	65.1	828.3	安山岩	
51	7			8267	14 東捨場	IVX53 ブロック17	KIII1d層	S-X	磨石	106.2	101.8	50.2	716.6	安山岩	
51	8			8272	14 東捨場	IVX52	KIII1d層	S-X	磨石	118.4	85.3	56.0	947.5	花崗岩	
51	9			8261	14 東捨場	VA52	KIII2層	S-X	磨石	130.6	99.3	60.4	1283.9	安山岩	
51	10			8277	14 東捨場	VB53	KIII2層	S-X	磨石	82.3	73.6	61.5	465.2	粗粒玄武岩	
51	11			5432	13 東捨場	IVU54	KIII層	S-X	敲石	103.6	73.4	34.9	339.5	凝灰岩	
51	12			5435	13 東捨場	IVU49 セクション4	KIII層	S-X	敲石	115.7	88.6	72.4	996.2	凝灰岩	磨面
51	13			5429	13 東捨場	IVV54	KIII層	S-X	敲石	80.1	35.2	16.3	55.6	泥岩	
51	14			5434	Ⅱの補遺	IVS36 セクション5	Ⅲ8~9層	S-X	敲石	150.5	97.3	37.3	662.8	緑色凝灰岩	報告書Ⅶ第1編第2章第1節参照
51	15			5436	Ⅱの補遺	IVS36 セクション5	Ⅲ8~9層	S-X	敲石	146.9	44.4	35.3	345.9	凝灰岩	報告書Ⅶ第1編第2章第1節参照
51	16			5433	13 東捨場	IVU52 セクション4	KIII-1層	S-X	敲石	106.0	72.2	26.6	337.2	凝灰岩	
51	17			5663	13 東捨場	IVU55	KIII1層	S-X	敲石	91.1	65.1	39.1	271.1	未鑑定	石製円盤?
51	18			5441	13 平場	Pit527	覆土	S-X	凹石	132.2	57.5	33.3	352.3	緑色凝灰岩	報告書Ⅶ第1編第2章第1節参照
51	19			5447	13 東捨場	IVU54 セクション4	KIII1層	S-X	磨石	87.0	81.3	39.4	398.6	凝灰岩	
51	20			5438	13 東捨場	IVU52 セクション4	KIII1層	S-X	凹石	111.3	86.0	28.0	318.3	凝灰岩	黒色の帯状の変色、端部剥落

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(5)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
51	21			5428	13 東捨場	IVV54	KIII2層	S-X	敲石	74.1	52.3	12.8	67.5	凝灰岩	石製円盤?
52	1			5666	14 東捨場	IVY54	I層	S-X	石製円盤	57.6	56.0	13.9	67.8	緑色凝灰岩	赤色顔料
52	2			5662	13 東捨場	IVU52 ブロック2	覆土	S-X	敲石	71.3	62.7	16.5	90.7	凝灰岩	
52	3			5661	13 東捨場	IVV51 ブロック3	覆土	S-X	敲石	82.8	77.8	16.8	117.6	凝灰岩	
52	4			5431	13 東捨場	IVW51 ブロック4	覆土	S-X	敲石	131.5	34.6	31.7	198.7	凝灰岩	
52	5			8309	14 東捨場	IVW55	KIII1ア層	S-X	凹石	118.8	65.4	32.7	305.6	凝灰岩	
52	6			8274	14 東捨場	IVX53	KIII1下層	S-X	磨石	104.9	91.9	62.8	809.2	粗粒玄武岩	
52	7			5729	14 東捨場	IVY53	KIII1層	S-X	敲石	63.3	77.6	53.1	346.3	安山岩	
52	8	41	1	5353	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	敲石	46.0	45.0	44.0	118.0	珪質頁岩	多面体敲石?
52	9			5454	13 東捨場	IVW51 ブロック4	覆土	S-X	砥石	203.5	81.0	52.1	111.4	緑色凝灰岩	
52	10			8296	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	凹石	103.9	94.9	29.7	291.2	緑色凝灰岩	
52	11	40	7	7505	東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	敲石	94.0	83.0	54.0	563.0	凝灰岩	赤色顔料、裏に擦痕あり
52	12			8337	14 東捨場	IVW50	KIII1層	S-X	凹石	110.2	69.7	26.7	270.4	緑色凝灰岩	
52	13			8307	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	凹石	137.1	96.2	44.0	717.7	凝灰岩	
52	14			8342	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	凹石	133.3	57.3	42.7	413.2	緑色凝灰岩	
52	15	48	7	5327	14 東捨場	IVX55	I層	S-X	石製品?	164.5	86.0	80.0	1431.0	凝灰岩	凹痕連続、底面研磨で面取り、石製品未成品か
52	16			8268	14 東捨場	IVX52	KIII2上層	S-X	磨石	124.5	86.3	55.3	932.9	安山岩	
52	17			8343	14 東捨場	IVV55	KIII2層	S-X	凹石	99.9	49.4	33.4	168.2	緑色凝灰岩	
52	18			3016	13 東捨場	IVU55 セクション4	KIII2層	S-X	石棒類?	78.0	41.3	41.0	218.8	デイスait	断片
52	19	40	6	5352	14 東捨場	IVY54	KIII2層	S-X	敲石	52.0	48.0	39.0	138.5	安山岩	
52	20			8280	14 東捨場	VB53	KIII2層	S-X	磨石	70.1	60.5	55.0	313.5	緑色凝灰岩	
52	21			5437	13 東捨場	IVU52 ブロック2	覆土	S-X	凹石	112.0	69.6	29.2	325.0	凝灰岩	
52	22			5444	13 東捨場	IVU52 セクション4	KIII1層	S-X	凹石	155.9	81.7	37.0	559.3	凝灰岩	
53	1			8298	14 東捨場	IVV54	KIII1層	S-X	凹石	94.8	66.1	40.2	287.0	緑色凝灰岩	
53	2			8285	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	凹石	73.9	69.8	59.8	317.1	緑色凝灰岩	
53	3			8299	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	凹石	103.6	89.0	27.1	273.3	緑色凝灰岩	
53	4			8324	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	凹石	97.4	77.4	43.2	302.1	緑色凝灰岩	
53	5	41	2	8290	14 東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	凹石	65.5	90.0	31.0	174.1	緑色凝灰岩	
53	6			8333	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	凹石	101.1	69.0	23.5	195.3	緑色凝灰岩	
53	7			8281	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	凹石	111.2	83.5	59.2	819.2	凝灰岩	
53	8			8286	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	凹石	91.3	73.0	23.7	187.7	緑色凝灰岩	
53	9			8317	14 東捨場	IVX55	KIII1層	S-X	凹石	103.3	90.5	35.0	410.3	緑色凝灰岩	
53	10			8288	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	凹石	97.3	75.6	42.2	360.9	緑色凝灰岩	
53	11			8323	14 東捨場	IVX55	KIII1層	S-X	凹石	109.2	71.6	43.8	381.6	緑色凝灰岩	
53	12			8297	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	凹石	123.0	89.0	40.2	556.9	緑色凝灰岩	
53	13			8284	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	凹石	100.4	57.7	47.3	338.5	緑色凝灰岩	
53	14			8326	14 東捨場	VA52	KIII1層	S-X	凹石	118.2	66.4	34.6	362.1	緑色凝灰岩	
53	15			8328	14 東捨場	VA52	KIII1層	S-X	凹石	125.9	59.4	37.5	316.9	緑色凝灰岩	
53	16			8330	14 東捨場	VA53	KIII1層	S-X	凹石	150.4	63.6	36.7	440.7	緑色凝灰岩	
53	17			8292	14 東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	凹石	135.7	62.1	37.4	450.0	緑色凝灰岩	
53	18			8321	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	凹石	141.2	66.6	22.7	290.4	緑色凝灰岩	
53	19			8320	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	凹石	127.7	75.4	37.8	339.8	緑色凝灰岩	
53	20			8283	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	凹石	119.3	78.5	41.1	430.4	緑色凝灰岩	
53	21			8332	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-263	凹石	149.3	129.4	64.3	1448.8	緑色凝灰岩	
53	22			8291	14 東捨場	IVX55	KIII1層	S-X	凹石	132.1	80.8	57.3	645.1	緑色凝灰岩	
53	23			5170	13 東捨場	IVU52 セクション4	KIII1層	S-X	凹石	161.2	79.4	38.6	583.0	凝灰岩	側縁に敲打痕
53	24			8295	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	凹石	176.8	71.0	34.1	636.6	凝灰岩	
54	1	50	6	7500	東捨場	IVW56	KIII1層	S-X	凹石	64.0	52.0	51.0	158.9	凝灰岩	
54	2			8340	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	凹石	81.8	57.9	31.1	182.3	凝灰岩	
54	3			8339	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	凹石	92.0	75.3	47.8	414.2	凝灰岩	
54	4			8313	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	凹石	89.8	68.2	44.3	291.1	緑色凝灰岩	
54	5			8349	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	凹石	115.5	54.8	44.5	362.8	緑色凝灰岩	
54	6			8318	14 東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	凹石	122.0	83.8	46.1	371.4	凝灰岩	
54	7			8294	14 東捨場	IVX55	KIII1層	S-X	凹石	131.6	80.0	31.2	470.2	緑色凝灰岩	
54	8			8314	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	凹石	117.9	48.5	31.0	253.5	緑色凝灰岩	
54	9			8303	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	凹石	115.9	56.8	29.2	239.1	緑色凝灰岩	
54	10			8344	14 東捨場	VA52	KIII1層	S-X	凹石	111.6	67.3	35.9	316.7	緑色凝灰岩	
54	11			8331	14 東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	凹石	93.9	67.5	64.1	428.0	緑色凝灰岩	
54	12			8325	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	凹石	127.2	78.2	25.1	297.5	緑色凝灰岩	
54	13			8329	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	凹石	133.0	65.6	32.1	325.2	緑色凝灰岩	
54	14			8348	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	凹石	143.3	69.8	37.3	522.7	緑色凝灰岩	
54	15			8345	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	凹石	150.4	64.9	28.5	325.9	凝灰岩	
54	16			8322	14 東捨場	IVV53	KIII1層	S-X	凹石	148.7	63.4	41.0	528.5	緑色凝灰岩	
54	17			8306	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	凹石	140.5	64.4	32.3	380.8	凝灰岩	
54	18			8346	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	凹石	191.7	78.5	29.1	442.9	緑色凝灰岩	
54	19			5355	14 東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	凹石	156.6	62.9	35.3	355.1	凝灰岩	
54	20			8335	14 東捨場	IVX52	KIII黄褐色	S-X	凹石	113.7	74.3	41.7	460.8	緑色凝灰岩	
54	21			5442	13 東捨場	IVU49	KIII下層	S-X	凹石	92.6	88.9	61.5	626.3	凝灰岩	
54	22			5166	13 東捨場	IVU55	KIII層下層	S-X	凹石	103.2	74.6	42.6	322.0	凝灰岩	
54	23			8319	14 東捨場	IVX52	KIII1d層	S-X	凹石	102.7	75.4	37.8	372.9	凝灰岩	
54	24			8308	14 東捨場	IVY52	KIII1d層	S-X	凹石	108.1	57.9	40.4	357.0	凝灰岩	
54	25			8334	14 東捨場	IVY52	KIII1d層	S-X	凹石	123.0	87.2	29.0	439.2	緑色凝灰岩	
54	26			8304	14 東捨場	IVX53	KIII1d層	S-X	凹石	137.9	83.5	39.9	587.3	緑色凝灰岩	

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(6)

写真図 版番号	番号	図版 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
55	1			8316	14 東捨場	IVX53	KIII1下層	S-X	凹石	92.8	65.8	30.6	225.9	緑色凝灰岩	
55	2			8338	14 東捨場	IVX53	KIII1下層	S-X	凹石	108.8	65.9	50.9	372.2	凝灰岩	
55	3			8315	14 東捨場	IVW53	KIII1下層	S-X	凹石	116.3	70.2	25.6	258.3	緑色凝灰岩	
55	4			8327	14 東捨場	IVX53	KIII1下層	S-X	凹石	125.2	71.6	31.6	328.5	緑色凝灰岩	
55	5			8300	14 東捨場	VA53	KIII2層	S-X	凹石	114.0	59.4	34.5	303.9	凝灰岩	
55	6			8282	14 東捨場	VB53	KIII2層	S-X	凹石	107.9	52.3	34.3	218.8	緑色凝灰岩	
55	7			8289	14 東捨場	VA52	KIII2層	S-X	凹石	137.0	83.4	30.1	381.6	凝灰岩	
55	8			8347	14 東捨場	IVW53	KIII2層	S-X	凹石	141.6	60.3	52.6	652.0	緑色凝灰岩	
55	9			8287	14 東捨場	IVX52	KIII2層	S-X	凹石	103.7	74.1	31.9	233.7	緑色凝灰岩	
55	10			8305	14 東捨場	VB53	KIII2層	S-X	凹石	93.4	88.8	34.3	311.4	緑色凝灰岩	
55	11			5440	13 東捨場	IVV54	KIII2層	S-X	凹石	107.0	75.8	57.4	623.5	凝灰岩	
55	12			8312	14 東捨場	IVY53	KIII2層	S-X	凹石	81.1	86.8	34.4	260.0	凝灰岩	
55	13			8293	14 東捨場	IVX52	KIII2上層	S-X	凹石	81.4	56.8	46.4	291.8	緑色凝灰岩	
55	14			8341	14 東捨場	IVY52	KIII2上層	S-X	凹石	75.4	72.5	37.8	252.0	未鑑定	
55	15			4121	14 東捨場	VA54	I層	S-X	石皿	175.0	115.0	64.0	1360.0	花崗岩	器体中央に滑らかな磨面
55	16	42	3	5305	13 東捨場	IVU49 セクション4	KIII C層	S-X	擦切具	147.0	70.0	46.0	448.3	凝灰岩	
55	17	41	4	4161	14 東捨場	VA54	I層	S-X	石皿	214.0	199.0	84.0	1860.0	砂質凝灰岩	片面中高、片面縁付
56	1			4324	14 東捨場	VA54	I層	S-X	石皿	416.0	353.0	114.0	18500.0	緑色凝灰岩	
56	2			4011	14 東捨場	IVY53	KIII2層	S-X	石皿	467.0	392.0	45.0	7720.0	相馬安山岩	両面磨面
56	3			4256	14 東捨場	IVX53	KIII2上層	S-X	石皿	276.0	201.0	48.0	3680.0	緑色凝灰岩	素材礫中央の浅い凹ま りと周囲に磨面形成
56	4			4073	14 東捨場	IVX54	KIII2層	S-X	石皿	400.0	397.0	129.0	20200.0	安山岩	
56	5	42	1	4169	14 東捨場	VA53	KIII2上層	S-265	石皿	388.0	360.0	130.0	11020.0	緑色凝灰岩	
56	6			4307	14 東捨場	IVV52	KIII黄褐	S-X	石皿	519.0	485.0	39.0	1312.0	相馬安山岩	被熱、7片に割れる
57	1			4303	13 東捨場	IVV49	KIII下層	S-206	石皿	400.0	338.0	90.0	14000.0	安山岩	両面磨面、正面赤色顔料
57	2			4024	13 東捨	IVV51 ブロック3	覆土	S-X	石皿	332.0	336.0	99.0	15680.0	緑色凝灰岩	両面弱い磨面
57	3			4316	13 東捨場	IVU49 セクション4	KIII層	S-223	石皿	378.0	270.0	94.0	11200.0	安山岩	正面にざらついた表面 の磨面、裏面に滑らか な磨面
57	4			4059	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	石皿	522.0	425.0	172.0	25820.0	安山岩	中央凹まり部分を中心 に磨面
57	5			4253	14 東捨場	IVX53	KIII1下層	S-X	石皿	233.0	195.0	61.0	3380.0	緑色凝灰岩	扁平礫素材
57	6			4250	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	石皿	252.0	231.0	77.0	6060.0	粗粒玄武岩	被熱により赤色化
58	1			5207	14 東捨場	VA52	KIII1層	S-X	自然礫	87.6	58.8	29.0	157.5	凝灰岩	有孔
58	2			2018	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	自然礫	58.1	43.9	33.2	110.1	メノウ	原石?
58	3			4762	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-X	自然礫	52.5	28.2	20.8	78.5	未鑑定	自然の溝
58	4			2606	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	自然礫	73.4	21.6	16.4	29.2	凝灰岩	棒状、線刻
58	5			4768	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	自然礫	98.3	97.4	39.7	481.3	凝灰岩	中央に凹
58	6			2020	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	自然礫	103.6	66.9	18.6	207.6	泥岩	持ち砥石?
58	7			4245	14 東捨場	IVV54	KIII1層	S-X	石皿	353.2	182.3	44.7	3300.0	相馬安山岩	両面磨面、正面赤色顔料
58	8			4248	14 東捨場	IVX55	KIII1層	S-X	石皿	278.0	296.0	69.0	6380.0	凝灰岩	中央部に若干凹み、滑 らかな磨面、赤色顔料
58	9	42	4	2627	15 東捨場	IVY53	KIII2上層B	S-X	自然礫	122.2	93.1	25.7	417.1	凝灰岩	被熱礫の黒色部に白い 焼け残り有り
58	10			4254	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	石皿	227.0	117.0	46.0	1900.0	安山岩	被熱により赤色化
58	11	42	2	4249	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	石皿	145.0	120.0	65.0	1300.0	緑色凝灰岩	
58	12			4251	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-X	石皿	163.0	158.0	29.0	680.0	緑色凝灰岩	円盤状の礫素材? 痕 あり、円盤状石製品?
59	1	43	1	3141	14 東捨場	IVY54	KIII1層	特-254	石棒	129.0	36.0	21.5	160.6	粘板岩	アスファルトで接合し ている、整理番号573 で実測済み、柄頭に工 字文風モチーフ
59	2	43	5	3138	14 東捨場	IVW55	KIII1層	S-X	石棒	94.4	26.2	19.4	76.7	凝灰質粘板岩	柄頭のみ、沈線がらせ ん状に2巻き
59	3	43	2	3025	14 東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	石刀	161.8	30.0	16.3	138.7	粘板岩	柄頭に沈線
59	4	44	4	3147	14 東捨場	IVW56	KIII1層	S-255	石棒	308.7	21.0	17.0	193.6	点紋粘板岩	先端部
59	5	43	3	3137	14 東捨場	IVX55	KIII1層	S-267	石棒	178.0	29.0	16.0	138.0	粘板岩	柄頭に三叉文崩れの沈 線文
59	6	43	4	3136	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-261	石棒	83.6	34.3	26.0	82.2	凝灰岩	体部中軸に沿って溝、 柄頭に沈線文
59	7	44	6	3145	14 東捨場	IVY52 セクション B-B'ライン	KIII2上層	特-257	石棒	106.0	23.0	19.0	61.6	粘板岩	柄頭に突起、沈線、隆 帯による文様
59	8	44	1	3142	14 東捨場	IVW54	KIII1層	特-272	石棒	163.2	26.8	27.6	167.9	点紋粘板岩	先端部のみ、敲打帯
59	9	44	3	3146	14 東捨場	VA54	KIII1層	S-X	石剣	127.0	32.0	18.0	99.4	点紋粘板岩	三角形の柄頭、先端部 欠損
59	10	43	6	3144	14 東捨場	IVV54	KIII1層	特-243	石棒類	74.6	29.0	17.9	58.6	粘板岩	柄頭部のみ、文様なし
59	11	44	7	3140	14 東捨場	IVV56	KIII2層	S-X	石棒類	56.4	34.5	10.4	26.5	粘板岩	柄頭部のみ、文様あり
59	12	44	5	3026	14 東捨場	IVY53・54	KIII1-2層	S-X	石剣	239.0	33.0	15.0	191.7	凝灰質粘板 岩	先端部
59	13	43	7	816	14 東捨場	IVX52	KIII1d層	S-X	石製品	69.6	8.8	8.6	7.2	粘板岩	
60	1			3021	14 東捨場	VA53	KIII2層	特-259・260	石棒類	190.0	25.0	10.1	90.7	凝灰質粘板岩	断片
60	2	46	1	G97	14 東捨	IVV56	KIII1層	S-258	岩版	150.0	100.0	12.0	202.9	凝灰岩	
60	3	45	1	G115	14 東捨	IVV56	KIII1層	S-257	岩版	41.3	67.6	23.5	48.8	凝灰岩	線刻内に赤彩残る
60	4	45	6	G105 G106 G108	14 東捨	IVW55	KIII1層	特-262	岩版	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	線刻内赤色 接合するG105、106、108 は同グリット、同層位
60	5	45	5	G98 G99	14 東捨	IVW54・55	KIII1層	S-X	岩版	57.0	48.0	5.0	17.7	凝灰岩	G98、99接合、折面にア スファルト
60	6	45	9	G104	13 東捨	IVU54	KIII1層	S-X	岩版	37.0	32.0	8.0	11.4	緑色凝灰岩	
60	7	45	7	G111	14 東捨	IVX53	KIII2上層	特-271	岩版	58.0	22.0	13.0	17.7	凝灰岩	



表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(7)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
60	8			4763	14 東捨場	不明	I層	S-X	岩版	69.0	26.7	5.9	7.2	凝灰岩	
60	9	45	4	G109	14 東捨	IVW55	KIII1層	特-242	岩版	40.0	58.0	10.0	28.0	凝灰岩	
60	10	45	2	G113	14 東捨	IVV55	KIII1層	S-260	岩版	42.0	45.0	11.0	20.0	凝灰岩	
60	11	45	10	G114	14 東捨	IVW53	KIII1層	特-248	岩版	64.0	52.0	17.0	78.0	砂質凝灰岩	
61	1	46	3	G103	14 東捨	IVX52	KIII1d層	S-X	岩版	78.0	150.0	12.0	236.5	凝灰岩	
61	2	46	4	G102	14 東捨	IVW55	KIII1層	S-X	岩版	116.0	112.0	32.0	349.9	緑色凝灰岩	
61	3	45	8	G110	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	岩版	37.0	28.0	5.0	4.1	凝灰岩	
61	4	46	2	G101	14 東捨	IVV55	KIII1層	S-X	石製品	62.0	35.0	7.0	27.7	砂質凝灰岩	
61	5	47	5	1553	14東捨	旧村道部分	I層	S-X	岩版	105.0	36.7	22.1	58.3	凝灰岩	
61	6	48	3	4777	13 東捨場	IVW54	KIII2層		石製品	91.0	57.0	23.0	144.4	凝灰岩	
61	7	50	5	5652	14 東捨場	IVY52	KIII1d層	S-X	石製品	67.0	66.0	22.0	224.9	粗粒玄武岩	
61	8	47	7	896	14 東捨場	IVY54・55 西側トレン チ2	不明	S-X	線刻礫	91.9	62.5	34.3	218.3	緑色凝灰岩	下半部を線刻
62	1	45	3	G107	13 東捨	IVU54	KIII下層	S-X	岩版	45.0	75.0	7.0	26.4	凝灰岩	
62	2			5651	14 東捨場	IVX55	KIII1層	S-X	岩版	—	—	—	—	凝灰岩	
62	3	49	6	802	14 東捨場	IVY53	I層	S-X	石製円盤	20.0	19.0	7.5	3.3	凝灰岩	
62	4			G24	東捨	IVV55	KIII下層	S-205	岩版	73.0	65.0	20.0	61.4	凝灰岩	線刻部分に赤彩残る
62	5	49	7	11074	東捨場	IVU52 ブロック2	覆土	S-X	石製円盤	34.0	34.0	9.0	14.7	凝灰岩	
62	6			h208	14 東捨	IVW54	I層	S-X	石製円盤	47.5	43.2	18.1	59.5	デイサイト	アスファルト
62	7			h491	14 東捨	IVX53	I層	S-X	石製円盤	52.0	41.0	10.1	26.6	凝灰岩	
62	8			5668	14 東捨場	IVY55	I層	S-X	石製円盤	48.0	40.8	14.6	30.2	凝灰岩	
62	9			h12	14 東捨	IVY53	I層	S-X	石製円盤	29.0	28.7	10.4	11.6	凝灰岩	
62	10			h10	14 東捨	VA53	I層	S-X	石製円盤	38.8	36.2	8.1	23.8	凝灰岩	
62	11			h368	14 東捨	VA53	I層	S-X	石製円盤	35.6	35.4	16.4	37.9	花崗岩	
62	12			h358	14 東捨	IVY53	I層	S-X	石製円盤	52.0	48.0	17.8	68.8	花崗岩	アスファルト
62	13			h496	14 東捨	不明	I層	S-X	石製円盤	50.4	41.9	22.7	71.6	デイサイト	
62	14			5670	14 東捨場	VA54	I層	S-X	石製円盤	49.1	49.2	9.2	23.9	凝灰岩	
62	15			h241	14 東捨	不明	I層	S-X	石製円盤	62.0	57.0	10.8	47.4	デイサイト	
62	16			5667	14 東捨場	IVY54	I層	S-X	石製円盤	71.6	66.2	29.8	213.8	相馬安山岩	
62	17			h214	14 東捨	IVX55	I層	S-X	石製円盤	72.7	67.8	26.1	164.2	粗粒玄武岩	アスファルト
62	18			h410	14 東捨	IVY53	I層	S-X	石製円盤	75.9	70.6	30.3	207.1	緑色凝灰岩	
62	19			5664	14 東捨場	VA53	I層	S-X	石製円盤	50.9	46.5	17.6	65.3	頁岩	
62	20			h301	14 東捨	VF53	I層	S-X	石製円盤	58.2	50.1	21.1	84.1	デイサイト	
62	21			2085	14 東捨場	不明	I層	S-X	石製円盤	119.1	91.8	24.3	292.8	安山岩	
62	22	48	10	7627	東捨場	IVV51	不明	S-X	石製円盤	76.0	47.0	14.0	69.4	緑色凝灰岩	石錘?
63	1			5658	13 東捨場	IVU50	KIII層	S-X	石製円盤	46.8	44.1	7.4	17.1	頁岩	
63	2			h509	東捨場	IVU53	KIII層	S-X	石製円盤	54.7	53.2	15.7	59.9	凝灰岩	
63	3			h507	東捨場	IVU55	KIII1層	S-225	石製円盤	79.3	91.8	31.8	294.5	安山岩	
63	4			h508	東捨場	IVU54	KIII層	S-X	石製円盤	97.4	75.7	37.5	469.5	デイサイト	
63	5			h257	14 東捨	IVU52 セクション4	KIII1層	S-X	石製円盤	95.5	94.2	30.9	527.0	未鑑定	
63	6			5659	13 東捨場	IVV54	KIII1層	S-X	石製円盤	67.6	61.1	15.8	88.0	頁岩	
63	7	49	4	1305	13 東捨場	IVU53	KIII1層	S-X	石製円盤	65.7	62.7	31.6	149.0	珪質頁岩	珪質頁岩を剥離後、緑 辺を敲打
63	8	49	5	7749	東捨場	IVU55	KIII層	S-X	石製円盤	43.5	45.0	11.0	24.2	凝灰岩	
63	9			h228	14 東捨	VA54	KIII1層	S-X	石製円盤	48.6	45.1	15.0	50.7	凝灰岩	
63	10			h227	14 東捨	IVV55	KIII1層	S-X	石製円盤	51.2	49.6	11.5	39.3	デイサイト	
63	11			h466	14 東捨	IVW53	KIII1層	S-X	石製円盤	58.7	44.3	12.7	57.9	相馬安山岩	
63	12			h408	14 東捨	IVV55	KIII1層	S-X	石製円盤	59.7	51.8	23.1	107.7	相馬安山岩	
63	13			h506	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	79.1	70.5	19.8	132.0	凝灰岩	
63	14			h205	14 東捨	IVV56	KIII1層	S-X	石製円盤	66.3	60.4	19.5	105.7	凝灰岩	アスファルト
63	15			h282	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	64.7	56.7	21.5	122.3	デイサイト	アスファルト
63	16			h323	14 東捨	IVW54	KIII1層	S-X	石製円盤	53.1	48.4	7.4	23.3	凝灰岩	
63	17			h494	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	44.4	40.2	19.9	53.3	緑色凝灰岩	
63	18			h4	14 東捨	IVX53	KIII1層	S-X	石製円盤	36.7	36.6	7.7	15.8	凝灰岩	
63	19			h14	14 東捨	IVW55	KIII1層	S-X	石製円盤	34.9	30.5	3.4	5.1	凝灰岩	
63	20			h264	14 東捨	IVY53	KIII1層	S-X	石製円盤	89.0	78.3	12.4	103.2	凝灰岩	
63	21			h258	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	92.6	90.5	34.6	332.4	凝灰岩	
63	22			h380	14 東捨	IVV54	KIII1層	S-X	石製円盤	88.8	71.3	15.4	165.7	未鑑定	
64	1			h488	14 東捨	IVW55	KIII1層	S-X	石製円盤	48.0	43.2	13.4	29.6	流紋岩	
64	2			h232	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	46.2	41.4	15.1	40.2	緑色凝灰岩	アスファルト
64	3			n423	15 西捨	VD-28	III層上	S-X	石製円盤	45.3	46.9	16.6	55.9	花崗岩	アスファルト、報告書 VIII第1編第2章第1節 参照
64	4			h351	14 東捨	VA54	KIII1層	S-X	石製円盤	52.5	48.6	15.2	64.7	花崗岩	アスファルト
64	5			h338	14 東捨	VA54	KIII1層	S-X	石製円盤	53.5	45.9	18.0	72.1	未鑑定	両面アスファルト
64	6			h465	14 東捨	IVV56	KIII1層	S-X	石製円盤	51.5	49.7	10.3	30.3	流紋岩	
64	7			h436	14 東捨	IVW53	KIII1層	S-X	石製円盤	51.6	48.7	15.4	65.5	未鑑定	
64	8			h272	14 東捨	IVW54	KIII1層	S-X	石製円盤	59.7	53.2	11.7	59.4	頁岩	アスファルト?
64	9			h280	14 東捨	IVX53	KIII1層	S-X	石製円盤	56.4	50.9	20.0	95.3	安山岩	アスファルト
64	10			h500	14 東捨	IVY53	KIII1層	S-X	石製円盤	59.0	55.6	20.3	113.2	デイサイト	
64	11			h221	14 東捨	IVV55	KIII1層	S-X	石製円盤	57.8	55.0	16.5	77.7	流紋岩	
64	12			h209	14 東捨	IVX55	KIII1層	S-X	石製円盤	61.1	56.6	21.2	119.6	相馬安山岩	アスファルト
64	13			h193	14 東捨	IVW54	KIII1層	S-X	石製円盤	68.6	65.1	21.8	148.3	凝灰岩	アスファルト
64	14			h384	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	63.9	54.8	19.5	78.2	未鑑定	
64	15			h402	14 東捨	IVW53	KIII1層	S-X	石製円盤	66.5	61.6	12.2	75.1	デイサイト	アスファルト
64	16			h291	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	60.7	60.4	14.6	89.7	相馬安山岩	
64	17			h503	14 東捨	IVW55	KIII1層	S-X	石製円盤	62.1	62.1	17.7	90.8	凝灰岩	
64	18			h243	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	68.4	60.0	41.5	233.1	未鑑定	
64	19			h206	14 東捨	IVW54	KIII1層	S-X	石製円盤	66.6	66.0	33.5	123.7	未鑑定	
64	20			h450	14 東捨	IVY54	KIII1層	S-X	石製円盤	—	—	—	117.2	緑色凝灰岩	



表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(8)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
64	21			h246	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	71.8	68.3	31.0	192.9	緑色凝灰岩	アスファルト
64	22			h199	14 東捨	IVW53	KIII1層	S-X	石製円盤	74.9	67.0	15.8	106.7	安山岩	アスファルト
64	23			h217	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	81.1	76.0	24.6	240.7	安山岩	
64	24			h252	14 東捨	IVY54	KIII1層	S-X	石製円盤	89.1	85.4	12.9	136.1	相馬安山岩	
64	25			h207	14 東捨	IVW54	KIII1下層?	S-X	石製円盤	87.8	83.5	29.5	288.0	緑色凝灰岩	
64	26			h441	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	94.0	88.4	31.3	302.3	粗粒玄武岩	
65	1			5675	14 東捨場	IVX53	KIII1層	S-X	石製円盤	35.1	36.2	8.6	16.5	相馬安山岩	
65	2			5678	14 東捨場	IVW56	KIII1層	S-X	石製円盤	40.7	22.3	7.7	7.4	凝灰岩	
65	3			5669	14 東捨場	IVV55	KIII1層	S-X	石製円盤	43.5	41.0	9.1	18.4	凝灰岩	
65	4			h238	14 東捨	IVV55	KIII1層	S-X	石製円盤	50.8	47.5	11.4	31.7	凝灰岩	
65	5			5672	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	51.7	44.0	7.3	27.5	相馬安山岩	
65	6			5665	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	石製円盤	61.9	41.7	8.4	25.7	凝灰岩	
65	7			5671	14 東捨場	IVY54	KIII1層	S-X	石製円盤	58.3	53.0	6.4	18.1	凝灰岩	
65	8			h427	14 東捨	IVW53	KIII1下層	S-X	石製円盤	63.9	57.7	22.2	106.7	相馬安山岩	
65	9			h234	14 東捨	IVV54	KIII1層	S-X	石製円盤	74.3	57.1	12.7	79.4	相馬安山岩	
65	10			h290	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	62.4	59.6	18.2	85.2	頁岩	
65	11	49	1	7524	東捨場	IVW53 ブロック17	KIII1層	S-X	石製円盤	149.0	148.0	13.0	248.4	緑色凝灰岩	
65	12			h390	14 東捨	IVX54	KIII1層	S-X	石製円盤	88.2	49.1	6.9	34.8	流紋岩	
65	13			5679	14 東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	石製円盤	86.8	65.7	10.2	58.2	凝灰岩	
65	14			h233	14 東捨	IVX55	KIII1層	S-X	石製円盤	81.1	71.8	28.4	213.4	頁岩	
65	15			h369	14 東捨	IVY53	KIII1炭A層	S-X	石製円盤	71.8	52.6	19.3	41.8	凝灰岩	
65	16			5332	13 東捨場	IVU54 セクション4	KIII2層	S-X	石製円盤	42.3	34.6	8.7	19.9	凝灰岩	
65	17			5335	東捨場	VA53	KIII1d層	S-X	石製円盤	86.4	79.2	14.9	161.5	相馬安山岩	
65	18			h279	14 東捨	IVX53	KIII1d層	S-X	石製円盤	58.8	55.9	25.1	84.7	緑色凝灰岩	
65	19			h278	14 東捨	IVX53	KIII1炭層	S-X	石製円盤	53.1	50.0	18.1	63.0	デイスイト	
65	20			5330	15 東捨場	IVY53	KIII2上層B	S-X	石製円盤	53.9	52.9	19.3	77.3	凝灰岩	
65	21	49	3	822	14 東捨場	VA53	KIII2層	S-X	石製円盤	41.0	39.0	14.0	31.3	凝灰岩	研磨
65	22			h331	14 東捨	IVY54	KIII2層	S-X	石製円盤	40.7	33.0	9.7	14.7	緑色凝灰岩	
65	23			h475	14 東捨	IVY54	KIII2層	S-X	石製円盤	52.2	46.0	11.2	44.4	相馬安山岩	
65	24			h415	14 東捨	IVY53	KIII2層	S-X	石製円盤	58.2	49.4	21.0	102.7	相馬安山岩	
65	25			h414	14 東捨	IVW54	KIII2層	S-X	石製円盤	62.6	60.5	26.1	155.1	緑色凝灰岩	
66	1			h343	14 東捨	不明	J層	S-X	石製円盤	37.1	36.1	14.4	29.9	未鑑定	
66	2			5259	14 東捨場	IVY54+65 トレンチ2	不明	S-X	石製円盤	40.0	35.0	12.3	21.8	凝灰岩	線刻
66	3			h35	14 東捨	IVY57	谷再堆積土	S-X	石製円盤	61.2	58.7	11.9	50.1	流紋岩	
66	4			5684	14 西捨場	VE-26	III層中	S-X	石製円盤	60.8	31.0	12.8	28.6	相馬安山岩	赤色顔料付着、報告書 VII第1編第2章第1節 参照
66	5	49	14	4770	13 東捨場	IVU54	KIII下層	S-X	石製品	24.0	6.5	6.5	1.4	凝灰岩	
66	6	49	13	4776	13 東捨場	IVW54	KIII下層	S-X	石製品	45.0	8.0	8.0	4.4	粘板岩	
66	7			8002	14 東捨場	VA53	KIII1層	S-X	石製品	141.4	71.2	65.5	1051.3	粗粒玄武岩	
66	8	49	11	7589	東捨場	IVW55	KIII1層	特-241	玉	56.0	32.0	18.0	14.6	緑色凝灰岩	勾玉
66	9			2576	14 東捨場	IVW54	KIII1層	特-246	玉素材	13.8	10.7	9.9	0.8	緑色凝灰岩	
66	10			2457	14 東捨場	IVY53	KIII2層	S-X	削器	41.3	37.0	10.0	17.4	珪質頁岩	
66	11	49	9	1952	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	玉素材	20.0	13.0	9.5	3.3	緑色凝灰岩	
66	12	50	7	7570	東捨場	IVU55	KIII2層	特-247	線刻礫	78.0	45.0	28.0	92.8	凝灰岩	
66	13	51	1	5564	14 東捨場	IVX52	KIII1d層	S-X	石製品	91.7	88.2	57.8	453.2	珪質頁岩 (ノジュール)	
67	1	48	9	2579	14 東捨場	IVY52	KIII1層	S-X	線刻礫	22.4	36.1	13.2	11.9	凝灰岩	小破片、線刻
67	2	48	8	2577	14 東捨場	IVW56	KIII1層	S-X	線刻礫	39.5	41.9	6.9	11.7	緑色凝灰岩	
67	3	47	3	5417	14 東捨場	VA53 ブロック22	KIII2上層	特-258	線刻礫	75.9	48.6	8.2	27.4	凝灰岩	
67	4	47	2	5418	14 東捨場	IVY54	KIII2層	S-X	線刻礫	84.5	77.4	12.9	106.9	凝灰岩	
67	5	47	1	5204	14 東捨場	VA52 ブロック22 下部	KIII2上層	特-273	線刻礫	76.9	57.3	24.3	123.2	凝灰岩	
67	6	47	6	5419	14 東捨場	IVY52	KIII2層	S-X	線刻礫	87.3	76.6	13.8	120.1	凝灰岩	
67	7	48	6	5296	13 東捨場	IVU54	KIII層	S-X	線刻礫	77.0	42.0	42.0	29.0	凝灰岩	
67	8	48	4	7590	東捨場	IVY53	KIII1炭層	S-266	線刻礫	55.0	38.0	10.0	29.2	緑色凝灰岩	
67	9	48	5	7588	東捨場	IVV56	KIII1層	S-X	石製品	41.0	33.0	9.0	17.7	凝灰岩	
67	10	41	3	5647	14 東捨場	IVW54	KIII1層	S-X	石製品	84.0	69.0	50.0	320.9	凝灰岩	
67	11	48	1	898	14 東捨場	IVW53	KIII1層	特-244	線刻礫	56.8	75.8	17.1	69.1	凝灰岩	
67	12	47	8	899	14 東捨場	IVX54	KIII1層	S-X	線刻礫	74.2	58.3	16.0	103.5	凝灰岩	腰みの状の線刻
67	13	47	4	2108	東捨場	IVY56 側面トレンチ	不明	S-X	線刻礫	116.2	88.2	28.7	342.0	緑色凝灰岩	孔、線刻、敲打痕、ガ ジリあり
70	1	38	7	5617	15 村道	IVR58	III層	S-X	石錐	89.7	28.3	13.6	37.3	珪質頁岩	
70	2			1057	15 村道	IVV57	III層	S-X	石錐	53.9	31.9	10.9	7.6	珪質頁岩	
70	3			5505	15 村道	IVT59	III層	S-X	石錐	50.0	34.3	11.8	16.2	玉髓	器体表面磨耗
70	4			11046	15 村道	IVU56	III層	S-X	石匙	45.5	67.2	12.6	21.7	珪質頁岩	
70	5			11048	15 村道	IVV57	III層	S-X	石匙	60.3	65.8	10.1	31.6	珪質頁岩	
70	6			1179	15 村道	IVU59	III層	S-X	削器	60.2	42.6	8.2	16.9	珪質頁岩	
70	7			2062	15 村道	IVR58	III層	S-X	削器	65.0	85.7	13.1	44.8	珪質頁岩	石匙未製品?
70	8			1177	15 村道	IVU59	III層	S-X	削器	24.1	53.9	8.5	9.4	珪質頁岩	
70	9			1178	15 村道	IVV57	III層	S-X	削器	84.4	29.3	9.5	19.8	珪質頁岩	
70	10			1973	15 村道	IVU56	不明	S-X	削器	55.2	28.2	11.0	14.2	珪質頁岩	
70	11			2060	15 村道	IVT59	III層	S-X	原石	34.7	20.4	18.3	16.5	黒曜石	
70	12	40	5	1307	15 村道	IVU58	III層	S-X	磨製石斧	52.1	24.6	10.0	21.4	緑色凝灰岩	小形磨製石斧、側面稜 不明瞭
70	13	40	4	7752	15 村道	IVT59	III層	S-X	磨製石斧	85.0	45.5	23.0	202.8	粗粒玄武岩	
70	14	44	2	3157	15 村道	IVT58	III層	特-279	石刀	95.4	54.7	22.5	107.7	凝灰岩	刃部切っ先に刻み
70	15	50	1	7754	15 村道	IVU57	III層	S-X	石製円盤	73.0	67.0	17.0	120.6	安山岩	
70	16			t305	15 村道	IVU56	III層	S-X	石製円盤	72.8	67.7	16.5	104.7	粗粒玄武岩	

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(9)

写真版 版番号	番号	図版 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
70	17			5260	15 村道	IVV57	Ⅲ層	S-X	石製円盤	75.1	73.0	22.5	134.7	流紋岩	
70	18	49	2	2690	15 村道	IVR58	Ⅲ層	特-277	石製円盤	39.0	36.0	9.0	17.1	凝灰岩	
70	19	50	2	7760	15 村道	IVR59	I層	S-X	石製円盤	49.0	50.0	20.0	73.3	凝灰岩	アスファルト
70	20	50	3	7746	15 村道	IVS58	Ⅲ層	S-X	石製円盤	55.0	57.0	14.0	64.4	凝灰岩	
70	21	50	4	7647	15 村道	IVV58	Ⅲ層	特-278	石製品	52.0	54.0	35.0	107.3	凝灰岩	
70	22	49	12	2061	15 村道	IVU57	Ⅲ層	S-X	石製品	34.0	34.0	10.0	9.7	泥岩	ボタン状
70	23			4166	15 村道	IVU56	Ⅲ層	S-X	石皿	378.0	188.0	103.0	4620.0	凝灰岩	
		48	2	7587	東捨場	IVV55	KⅢ1層	特-263	石製品	63.0	37.0	8.0		凝灰岩	
		49	8	4773	14 東捨場	不明	Ⅲ相当	S-X	石製品	30.0	22.0	9.0	5.4	凝灰岩	
		49	10	4769	13 東捨場	IVU56 セクション4	KⅢ1層	S-X	石製品	15.0	15.0	5.0	0.7	未鑑定	
VI-133	1			8350	東捨場	V.A54	I層	S-X	凹石	112.9	62.9	35.6	247.4	凝灰岩	

表11 東捨場地区 石製円盤集合写真観察表(1)

写真 番号	整理 番号	出土地点	層・備考	重量 (g)
門1				
88-1	1	355	IVV55 KⅢ1層	274.0
88-1	2	347	IVX55 KⅢ1層	334.0
88-1	3	417	IVV54 KⅢ1層	165.0
88-1	4	350	IVV54 KⅢ1層	198.3
88-1	5	348	IVV54 KⅢ1層	136.6
88-1	6	356	IVW55 KⅢ1層	109.6
88-1	7	36	IVW57 東延長・Ⅱa1下層	144.4
88-1	8	345	IVV54 KⅢ1層	221.3
88-1	9	359	IVV54 KⅢ1層	157.6
88-1	10	349	IVV54 KⅢ1層	143.7
88-1	11	352	V.A52 KⅢ1層	213.8
88-1	12	363	IVX54 KⅢ1層	108.6
88-1	13	362	IVV54 KⅢ1層	151.4
88-1	14	58	IVY64 東延長・Ⅱ層	197.3
88-1	15	367	IVV54 KⅢ1層	153.2
88-1	16	353	IVX54 KⅢ1層	155.6
88-1	17	354	IVW55 KⅢ1層	103.4
88-1	18	366	IVY53 KⅢ1層	109.7
88-1	19	82	IVW60 東延長・Ⅱa2層	57.7
88-1	20	357	IVV54 KⅢ1層	247.3
88-1	21	64	IVV62 東延長・Ⅱa1下層	113.3
88-1	22	45	IVW59 東延長・Ⅱ層	117.5
88-1	23	361	IVW56 KⅢ1層	109.6
88-1	24	27	IVV59 東延長・Ⅱa2層	100.8
88-1	25	78	IVX58 東延長・Ⅱ層	93.9
88-1	26	70	IVX58 東延長・Ⅱa1下層	130.7
88-1	27	50	IVV59 東延長・攪乱	107.9
88-1	28	83	IVW58 東延長・Ⅱa1層	66.1
88-1	29	365	IVY53 I層	88.6
88-1	30	346	IVX55 I層	56.2
88-1	31	344	IVX55 I層	77.3
88-1	32	364	V.A53 KⅢ1層	91.3
88-1	33	109	IVW61 東延長・Ⅱa2層	73.9
88-1	34	37	IVW60 東延長・不明	99.3
88-1	35	360	IVY53 I層	106.2
門2				
68-2	1	31	IVV63 東延長・Ⅲ層	76.2
68-2	2	274	IVV55 KⅢ1層	75.5
68-2	3	423	IVY53 KⅢ1層	82.8
68-2	4	244	IVV55 KⅢ1層	96.9
68-2	5	452	IVX54 KⅢ1層	52.8
68-2	6	445	IVV54 KⅢ1層	37.5
68-2	7	413	IVV54 KⅢ1層	61.9
68-2	8	440	IVX55 東延長・Ⅱ層	144.2
68-2	9	313	IVV55 KⅢ1層	97.7
68-2	10	65	IVV59 東延長・Ⅱ層	83.4
68-2	11	73	IVX61 東延長・Ⅱa1層	87.7
68-2	12	24	IVX58 東延長・Ⅱa1下層	88.4
68-2	13	461	IVW54 KⅢ1層	47.7
68-2	14	315	IVY53 KⅢ1層	52.3
68-2	15	285	IVY53 KⅢ1層	56.7
68-2	16	327	IVX53 KⅢ1層	49.0
68-2	17	98	IVV59 東延長・Ⅱa2層	31.9
68-2	18	467	IVW53 KⅢ1層	47.5
68-2	19	112	IVW61 東延長・Ⅱa1層	48.7
68-2	20	97	不明 東延長・Ⅱa2層	29.3
68-2	21	203	IVX53 KⅢ1層	97.1
68-2	22	34	IVY57 東延長・Ⅱa1層	83.2
68-2	23	111	IVX57 東延長・Ⅱa1層	39.8
68-2	24	96	不明 東延長・Ⅱa1層	45.4
68-2	25	487	IVX53 KⅢ1層	53.3
68-2	26	253	IVX53 KⅢ1層	71.5
68-2	27	119	IVX58 東延長・Ⅱa2上層	32.2
68-2	28	333	IVW54 KⅢ1層	22.5
68-2	29	90	IVY57 東延長・Ⅱ層	52.2
68-2	30	306	不明 I層	52.3
68-2	31	444	IVV54 KⅢ1層	88.1
68-2	32	125	IVV59 東延長・Ⅱa2上層	32.0
68-2	33	108	IVY62 東延長・Ⅱ層	34.7
68-2	34	473	V.A53 KⅢ1層	66.8
68-2	35	85	IVV65 東延長・Ⅱ層	27.3
68-2	36	9	IVW54 KⅢ1層	17.4
68-2	37	11	IVX53 KⅢ1層	17.0

写真 番号	整理 番号	出土地点	層・備考	重量 (g)
門3				
68-3	1	269	IVX54 KⅢ1層	104.8
68-3	2	377	V.A53 KⅢ1層	139.6
68-3	3	23	IVY61 東延長・Ⅱ層	85.0
68-3	4	60	V.F55 東延長・Ⅱa1層	89.0
68-3	5	254	IVV54 KⅢ1層	45.8
68-3	6	388	IVW53 KⅢ1層	82.4
68-3	7	392	V.A53 I層	28.2
68-3	8	113	IVX58 東延長・Ⅱa2上層	17.5
68-3	9	94	IVV59 東延長・Ⅱa1層	14.5
68-3	10	504	IVX55 Ⅲ1層	35.4
68-3	11	337	IVV54 I層	14.5
68-3	12	126	IVY61 東延長・Ⅱ層	24.6
68-3	13	2	IVY53 KⅢ1層	18.7
68-3	14	130	IVY61 東延長・Ⅱa2層	28.8
68-3	15	41	IVW58 東延長・Ⅱa1層	69.9
68-3	16	63	IVX58 東延長・Ⅱa1層	62.0
68-3	17	485	IVW53 KⅢ1層	78.2
68-3	18	88	IVX61 東延長・Ⅱ層	32.5
68-3	19	502	IVV61 KⅢ1層	39.4
68-3	20	239	V.A53 I層	18.6
68-3	21	424	V.A53 KⅢ2層	116.9
68-3	22	398	IVX53 KⅢ1層	129.7
68-3	23	482	IVY55 KⅢ1層	74.8
68-3	24	234	IVW56 I層	44.2
68-3	25	95	IVY57 東延長・Ⅱa1層	29.7
68-3	26	394	IVW54 KⅢ1層	35.4
68-3	27	106	V.F57 東延長・Ⅱa2層	28.4
68-3	28	121	IVX61 東延長・Ⅱ層	47.2
68-3	29	311	V.A53 I層	54.0
68-3	30	302	IVV54 KⅢ1層	74.6
68-3	31	247	IVW54 KⅢ1層	254.5
68-3	32	317	V.A54 I層	114.4
68-3	33	309	IVY53 KⅢ1層	39.4
68-3	34	334	IVV54 仮Ⅲ1層	31.6
門4				
68-4	1	416	IVX55 KⅢ2層	209.5
68-4	2	262	IVX52 KⅢ1層	89.1
68-4	3	446	IVY53 I層	49.4
68-4	4	455	IVX54 KⅢ1層	64.9
68-4	5	325	不明 I層	76.4
68-4	6	391	IVX52 KⅢ1層	46.7
68-4	7	110	IVY57 東延長・谷丹堆積土	64.6
68-4	8	102	IVY57 東延長・Ⅱa1層	51.9
68-4	9	135	IVW64 東延長・Ⅱ層	47.2
68-4	10	411	IVV54 KⅢ1層	116.2
68-4	11	256	IVW56 KⅢ1層	98.6
68-4	12	439	IVW54 KⅢ1層	106.9
68-4	13	260	IVW54 KⅢ1層	141.8
68-4	14	449	IVX54 KⅢ1層	100.1
68-4	15	492	IVW53 KⅢ1層	75.2
68-4	16	235	IVV54 KⅢ1層	51.2
68-4	17	493	V.A52 KⅢ1層	25.7
68-4	18	120	IVX58 東延長・Ⅱa1層	34.5
68-4	19	7	不明 I層	44.4
68-4	20	91	IVX61 東延長・Ⅱa2層	45.8
68-4	21	163	IVY57 東延長・Ⅱa1層	23.2
68-4	22	158	IVY57 東延長・Ⅱa1層	22.0
68-4	23	76	IVW57 東延長・Ⅱ層	152.0
68-4	24	43	V.F56 東延長・Ⅱa1層	101.8
68-4	25	230	IVX54 KⅢ1層	58.8
68-4	26	212	IVY54 KⅢ1層	77.2
68-4	27	86	IVY57 東延長・Ⅱa1層	49.4
68-4	28	477	不明 I層	63.2
68-4	29	268	IVV55 KⅢ1層	75.7
68-4	30	220	IVW53 KⅢ1層	224.0
68-4	31	373	IVV54 KⅢ1層	52.5
68-4	32	310	IVW55 KⅢ1層	86.3
68-4	33	147	IVW63 東延長・Ⅱa2上層	21.5

写真 番号	整理 番号	出土地点	層・備考	重量 (g)
門5				
68-5	1	430	IVX54 KⅢ1層	143.1
68-5	2	25	IVW63 東延長・Ⅱa2上層	30.8
68-5	3	66	IVW58 東延長・Ⅱa2層	151.8
68-5	4	433	IVY53 KⅢ1層	79.4
68-5	5	198	IVX54 KⅢ1層	70.8
68-5	6	213	IVY53 KⅢ1層	78.7
68-5	7	231	IVW54 KⅢ1層	81.7
68-5	8	219	IVV54 KⅢ1層	84.3
68-5	9	216	IVX53 KⅢ1層	239.6
68-5	10	250	IVX55 KⅢ1層	123.7
68-5	11	61	IVX58 東延長・Ⅱa1下層	50.4
68-5	12	381	IVY55 I層	118.3
68-5	13	300	IVW54 KⅢ2層	52.8
68-5	14	100	IVY57 東延長・Ⅱa1層	72.3
68-5	15	29	IVW58 東延長・Ⅱa1下層	132.4
68-5	16	204	IVX54 KⅢ1層	279.9
68-5	17	383	IVY53 I層	179.4
68-5	18	80	IVV61 東延長・Ⅱ層	245.7
68-5	19	56	IVW58 東延長・Ⅱ層	106.5
68-5	20	427	V.A53 I層	62.1
68-5	21	236	IVX53 KⅢ1層	72.8
68-5	22	267	IVW54 KⅢ1層	90.5
68-5	23	251	IVW56 KⅢ1層	332.9
68-5	24	418	IVV54 KⅢ1層	142.1
68-5	25	379	IVW54 KⅢ1層	279.6
68-5	26	53	IVW59 東延長・Ⅱa1下層	157.1
68-5	27	426	IVX54 KⅢ2層	95.4
68-5	28	255	IVV55 K	

表11 東捨場地区 石製円盤集合写真観察表(2)

写真番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円7				
68-7 1	428	IVY55	KIII1層	134.8
68-7 2	376	IVW54	KIII1層	275.1
68-7 3	332	IVW53	KIII1層	55.6
68-7 4	435	IVX53	I層	33.6
68-7 5	57	IVY57	東延長・IIa1層	63.2
68-7 6	472	IVW53	KIII1層	22.7
68-7 7	420	IVX53	I層	78.0
68-7 8	133	IVX58	東延長・IIa1層	35.5
68-7 9	42	IVY61	東延長・IIa1層	85.1
68-7 10	422	IVW54	KIII1層	108.9
68-7 11	273	V A53	KIII1層	82.3
68-7 12	318	IVY54	KIII1層	78.4
68-7 13	464	IVX54	KIII1層	112.4
68-7 14	374	IVW53	KIII1層	165.0
68-7 15	322	IVW54	I層	83.7
68-7 16	370	IVX55	KIII1層	121.3
68-7 17	339	不明	I層	260.2
68-7 18	397	IVX54	KIII2層	89.7
68-7 19	455	IVW54	KIII2層	72.2
68-7 20	44	IVX57	東延長・IIa1層	69.9
68-7 21	101	IVX61	東延長・IIa2上層	60.3
68-7 22	115	IVY60	東延長・IIa2層	63.3
68-7 23	159	IVX57	東延長・IIa1層	29.5
68-7 24	499	不明	I層	85.5
68-7 25	288	IVY55	KIII1層	82.8
68-7 26	296	不明	I層	98.2
68-7 27	32	IVV60	東延長・IIa2上層	69.0
68-7 28	478	IVY55	I層	75.0
68-7 29	460	不明	I層	101.2
68-7 30	396	IVW53	I層	40.1
68-7 31	165	IVY57	東延長・IIa1層	28.8
68-7 32	330	IVX53	KIII1段層	48.2
68-7 33	372	IVX53	I層	158.3
68-7 34	456	IVX54	KIII2層	173.6
68-7 35	457	V A53	I層	127.9
68-7 36	468	IVW54	KIII2層	53.7
68-7 37	425	IVY53	KIII1段下層	97.9
68-7 38	263	IVY54	KIII1層	86.6
68-7 39	448	IVY55	I層	54.8
68-7 40	236	IVX53	KIII1層	35.5

写真番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円8				
68-8 1	447	IVW56	KIII1層	71.4
68-8 2	68	IVW60	東延長・IIa2上層	91.8
68-8 3	437	IVY53	KIII1層	102.2
68-8 4	385	IVY54	KIII1層	132.2
68-8 5	270	IVY53	KIII1段下層	105.1
68-8 6	303	IVY56	KIII1層	95.5
68-8 7	99	IVX57	東延長・IIa1下層	33.6
68-8 8	399	IVY52	KIII1層	32.8
68-8 9	442	IVY55	I層	87.0
68-8 10	438	IVW53	KIII1層	133.7
68-8 11	259	IVX53	KIII1層	204.2
68-8 12	406	IVW54	KIII1層	157.4
68-8 13	40	IVW62	東延長・IIa1下層	41.2
68-8 14	483	IVX54	KIII1層	52.2
68-8 15	329	V A54	I層	27.9
68-8 16	371	IVW54	KIII1層	127.6
68-8 17	196	IVW54	KIII1段下層	96.8
68-8 18	319	IVX54	KIII1層	101.8
68-8 19	277	IVW55	KIII1層	107.3
68-8 20	316	IVY54	KIII1層	57.1
68-8 21	312	IVW55	KIII1層	97.7
68-8 22	51	IVX57	東延長・谷間堆積土	83.0
68-8 23	248	IVY53	I層	111.9
68-8 24	200	IVX55	KIII1層	111.1
68-8 25	375	IVX53	KIII1層	240.9
68-8 26	54	IVX61	東延長・IIa2層	112.2
68-8 27	127	IVY57	東延長・IIa1層	70.2
68-8 28	481	不明	I層	67.8
68-8 29	30	IVV58	東延長・IIa1下層	127.3
68-8 30	77	IVV61	東延長・IIa2上層	221.1
68-8 31	195	IVV56	KIII1層	112.5
68-8 32	463	IVV55	KIII2層	56.8
68-8 33	28	IVX61	東延長・I層	86.1
68-8 34	328	IVV56	KIII1層	47.4
68-8 35	471	IVY53	KIII1段層	52.2
68-8 36	454	IVX53	KIII1層	36.9

写真番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円9				
69-1 1	297	IVY54	飯皿下層	60.9
69-1 2	341	不明	I層	125.0
69-1 3	431	IVW55	KIII1層	110.2
69-1 4	265	IVW55	KIII1層	119.0
69-1 5	245	IVW54	KIII1層	57.3
69-1 6	226	IVW54	KIII1層	45.1
69-1 7	326	IVX55	KIII1層	50.9
69-1 8	92	IVY57	東延長・IIa1層	24.8
69-1 9	421	IVW53	KIII1層	72.9
69-1 10	223	IVX54	KIII1層	108.6
69-1 11	340	不明	I層	110.9
69-1 12	118	IVW62	東延長・II層	71.7
69-1 13	222	IVW53	KIII1層	69.9
69-1 14	129	IVX59	東延長・II層	61.7
69-1 15	261	IVX54	KIII1層	99.1
69-1 16	283	IVX54	KIII1層	53.0
69-1 17	197	IVX55	I層	51.2
69-1 18	286	IVX54	KIII1層	71.4
69-1 19	211	IVW53	KIII1下層	71.5
69-1 20	124	IVV62	東延長・IIa1層	51.3
69-1 21	131	IVW61	東延長・I層	30.6
69-1 22	215	V A53	I層	26.8
69-1 23	1	V B53	KIII2層	28.6
69-1 24	495	V K39	捨X・捨X段 セクション10	88.6
69-1 25	451	不明	I層	145.6
69-1 26	71	V F57	東延長・II層	200.3
69-1 27	458	V A53	KIII2層	205.3
69-1 28	412	IVW55	KIII1層	47.8
69-1 29	146	IVY57	東延長・IIa1層	28.5
69-1 30	405	IVW53	KIII1層	160.2
69-1 31	419	IVX54	KIII1層	177.7
69-1 32	249	不明	I層	125.2
69-1 33	480	IVX53	I層	56.7
69-1 34	123	IVX61	東延長・IIa2上層	57.8
69-1 35	93	IVX61	東延長・IIa2上層	38.4
69-1 36	6	IVY55	I層	23.2

写真番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円10				
69-2 1	89	IVX58	東延長・IIa1層	46.0
69-2 2	164	IVW59	東延長・IIa1層相当・風倒木	25.4
69-2 3	145	IVY57	東延長・IIa1層	31.2
69-2 4	155	IVY57	東延長・IIa1層	21.8
69-2 5	462	IVX53	I層	31.0
69-2 6	501	V A53	I層	56.9
69-2 7	165	IVW61	東延長・IIa2層	34.8
69-2 8	152	IVY57	東延長・IIa1層	24.9
69-2 9	18	IVY54	I層	16.6
69-2 10	107	IVW63	東延長・IIa2上層	67.2
69-2 11	26	IVW59	東延長・IIa2層	83.1
69-2 12	434	IVX53	KIII1下層	76.9
69-2 13	151	IVY57	東延長・IIa1層	20.9
69-2 14	407	IVW53	KIII1下層	183.7
69-2 15	287	IVX54	KIII1層	148.1
69-2 16	505	IVY54	KIII1層	133.2
69-2 17	69	IVW58	東延長・IIa1層	175.4
69-2 18	314	IVY53	I層	103.4
69-2 19	498	IVX53	KIII1下層	197.6
69-2 20	404	V A53	KIII2層	235.1
69-2 21	443	IVY54	KIII1層	120.8
69-2 22	409	不明	I層	87.8
69-2 23	400	不明	I層	83.1

写真番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円11				
69-3 1	182	IVY59	東延長・IIa2層	10.6
69-3 2	149	IVX59	東延長・覆土	16.2
69-3 3	168	IVX57	東延長・IIa1層	24.1
69-3 4	188	IVW63	東延長・IIa2上層	8.2
69-3 5	177	IVW62	東延長・IIa1層	14.6
69-3 6	139	IVW62	東延長・IIa1層	9.2
69-3 7	16	IVY54	I層	16.4
69-3 8	175	IVW62	東延長・IIa1層	13.4
69-3 9	13	IVX55	I層	19.2
69-3 10	170	IVW61	東延長・IIa2層	12.0
69-3 11	172	IVW61	東延長・I層	18.3
69-3 12	20	IVY53	KIII1層	22.3
69-3 13	186	IVX61	東延長・I層	5.1
69-3 14	187	IVW63	東延長・IIa2上層	12.0
69-3 15	176	IVX58	東延長・IIa2上層	7.7
69-3 16	194	IVX58	東延長・IIa1層	7.4
69-3 17	3	IVX53	KIII1層	10.7
69-3 18	184	IVW62	東延長・IIa2上層	13.3
69-3 19	181	IVW61	東延長・IIa2上層	13.8
69-3 20	336	IVY52	KIII2層	9.8
69-3 21	19	V A53	KIII2層	22.2
69-3 22	5	IVX54	KIII1層	15.0
69-3 23	142	IVX61	東延長・I層	21.9
69-3 24	179	IVW63	東延長・II層	15.2
69-3 25	17	IVX53	KIII1段層	10.4
69-3 26	154	IVW62	東延長・IIa2上層	12.1
69-3 27	173	IVW62	東延長・IIa2上層	18.0
69-3 28	144	IVW60	東延長・風倒木	11.1
69-3 29	166	IVY57	東延長・IIa1層	21.5
69-3 30	161	IVW59	東延長・IIa1層	21.3
69-3 31	132	IVW62	東延長・IIa1下層	24.0
69-3 32	140	IVW61	東延長・IIa1下層	16.2
69-3 33	167	IVV61	東延長・IIa1層	21.7
69-3 34	178	IVX60	東延長・IIa2層	15.8
69-3 35	134	IVW60	東延長・II層	46.2
69-3 36	84	IVW63	東延長・IIa2上層	42.5
69-3 37	160	IVW62	東延長・IIa1層	19.8
69-3 38	169	IVY58	東延長・IIa2上層	15.4
69-3 39	185	IVW60	東延長・IIa2上層	8.6
69-3 40	192	IVW62	東延長・IIa1下層	13.7
69-3 41	174	IVY61	東延長・II層	10.7
69-3 42	189	IVW62	東延長・IIa1下層	9.9
69-3 43	162	IVW62	東延長・IIa1下層	31.6
69-3 44	157	IVY56	東延長・IIa1層	25.4
69-3 45	180	IVX61	東延長・I層	15.4

写真番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円12(形状類似の自然礫)				
69-4 1	136	IVX61	東延長・IIa2上層	49.5
69-4 2	299	V A53	KIII2層	65.7
69-4 3	484	IVW53	KIII2層	52.3
69-4 4	490	IVV56	KIII1層	37.2
69-4 5	225	IVW55	KIII1層	58.5
69-4 6	395	IVW53	KIII1層	14.3
69-4 7	295	IVX52	KIII1下層	96.5
69-4 8	459	IVX54	KIII1層	89.3
69-4 9	240	IVY53	I層	23.6
69-4 10	153	IVY59	東延長・II層	19.4
69-4 11	8	不明	I層	21.1
69-4 12	15	IVY54	I層	15.4
69-4 13	335	IVW55	KIII1層	17.4
69-4 14	403	IVX54	KIII1層	93.2
69-4 15	39	IVY58	東延長・IIa1下層	60.1
69-4 16	52	IVY59	東延長・IIa2層	87.7
69-4 17	382	IVX52	KIII黄層	162.6
69-4 18	266	IVW55	KIII1層	77.3
69-4 19	210	IVX53	KIII1層	208.8
69-4 20	59	IVW62	東延長・IIa1層	87.3
69-4 21	150	IVY57	東延長・IIa1層	29.5
69-4 22	393	IVX53	KIII1層	37.9
69-4 23	489	IVY52	KIII1下層	34.6
69-4 24	429	IVY55	KIII1層	50.1
69-4 25	281	IVW56	KIII1層	68.6
69-4 26	321	IVX53	KIII2層	57.0
69-4 27	401	IVX53	I層	41.9
69-4 28	387	IVW55	I層	16.2
69-4 29	479	IVY54	KIII2層	26.6
69-4 30	486	IVV56	KIII1層	79.8
69-4 31	470	IVW62	KIII1層	30.4

写真番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円24				
69-5 1	306	IVY57	皿層・村道	298.0
69-5 2	301	IVY57	皿層・村道	88.3
69-5 3	295	IVY56	皿層・村道	48.0
69-5 4	320	IVU58	皿層・村道	225.6
69-5 5	310	IVY59	皿層・村道	59.4
69-5 6	293	IVR59	I層・村道	84.5
69-5 7	298	IVY59	皿層・村道	21.5
69-5 8	300	IVU57	皿層・村道	62.3
69-5 9	314	不明	皿層・村道	36.6
69-5 10	313	IVT58	皿層・村道	

表12 東拾場地区 その他遺物観察表

写真 図版	写真 番号	出土地点	層位	器種	時期	使用痕・加工痕・裝飾等	備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	整理 番号
—	—	IV56 セクション4 特-231	KIII1層	漆製品	後期後葉～晩期	漆塗膜		—	—	—	—
—	—	IV52 特-274	KIII2上層	漆製品 櫛	後期後葉～晩期	漆塗膜	放射性炭素年代値3,060± 20yrBP ( KAWA(1)-158)	(1.76)	(1.97)	—	試料0181
17	—	IV53	KIII2層	漆製品 櫛	後期後葉～晩期	漆塗膜	放射性炭素年代値3,050± 20yrBP ( KAWA(1)-159)	—	—	—	試料0182
70	24	IV53	KIII2上層	アスファルト	後期後葉～晩期			3.57	3.55	1.85	試料0148
70	25	IV56	I層	アスファルト	後期後葉～晩期			4.05	2.79	1.76	石2611
70	26	IV55	KIII1層	アスファルト	後期後葉～晩期			3.97	3.42	1.75	土2010

表13 北東捨場地区 土器観察表(1)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
55	104	1	SQ33 P-X		鉢	晩期1aか	外面：沈線、磨消(LR縄文)。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	北東-土器 5312
55	104	2	SQ33 P-X		鉢	晩期	平口縁、口唇：面取(平坦)。外面：ナデ。	ナデ		胎土：小礫	(15.0)	—	—	北東-土器 5314
55	104	3	SQ33 P-X		鉢	後期7-4	平口縁、二山突起残存1単位、口唇：面取(平坦) 外面：口縁形状に沿って刺突列2条。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	北東-土器 5311
55	104	4	SQ33 P-X		鉢	晩期	平口縁、口唇：面取なし。内面やや肥厚。外面：ナデ。	ナデ	外面スス	胎土：小礫	(11.6)	—	—	北東-土器 5313
—	104	6	VL46 P4027 フロック15	TR1-4層	深鉢	後期後葉 ～晩期	平口縁、口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～体部上半にRL縄文。	ナデ	外面スス		(26.0)	—	—	北東-土器 4046
—	104	7	VL45 P4024・P4026 ・P4029 フロック15	TR1-4層	深鉢	晩期中葉か	小波状口縁。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(23.0)	—	(9.7)	北東-土器 4041
84	104	8	VL45 P4021・P4022 フロック15	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁、突起1単位(B突起3個一組)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	23.6	北東-土器 4038
—	104	9	VL45 P4013・P4015 ・P4017 フロック15	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁、突起1単位残存。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(26.0)	—	(18.3)	北東-土器 4054
—	104	10	VL45 P4012 フロック15	TR1-4層	台	晩期2～3	台部：沈線。端部に横位沈線2条。地文なし。	ミガキ	台部内に黒色塗 膜状付着物		—	4.6	—	北東-土器 4044
84	104	11	VL45 P4015 フロック15	TR1-4層	皿	晩期3	裝飾的な口縁。外面：横位沈線2条。彫去による雲形文(体部と底面)。体部と底面の境は階梯状(隆帯に沈線による簡易な裝飾)。磨消(LR縄文)。	ナデ。口縁部に 沈線1条			(15.0)	9.2	4.0	北東-土器 4039
—	104	12	VL45 P4030 フロック15	TR1-4層	壺	晩期3	外面：横位沈線1条。沈線による雲形文、突起1単位横位沈線2条、磨消(RL縄文)。体部にLR縄文。	ナデ			—	—	—	北東-土器 4045
—	104	13	VM46 P4041 フロック16	TR1-c層	深鉢	晩期	平口縁、口唇：部分的に面取。外面：口縁部～体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		12.4	—	(12.5)	北東-土器 4051
84	104	14	VM46 P4043 フロック16	TR1-c層	鉢	晩期5	平口縁、二山突起と一山突起を交互に配置。口唇：沈線1条。外面：横位沈線4条、3条目の横位沈線の上に1個一組と2個一組の突起を交互に配置。文様帯地文なし。体部にLR縄文。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(内・外面)		(18.0)	—	—	北東-土器 4052
84	104	15	VJ46 P4046 フロック4001	TR2-2層	鉢	後期7-4	波状口縁2単位残存。波頂部に突起。口唇：面取。外面：口縁形状に沿った刻目列と沈線各2条。沈線間に刻目列2条。波頂部下に円形貼瘤。波底部下に縦長貼瘤(頂部刻目4本)。入組文、沈線間に刻目列2条(無文体をはさみ2段配置)。円形貼瘤、磨消縄文丸。体部下半ナデ。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	北東-土器 5156
—	105	1	VM46 P4073 フロック4002	TR1-c層	台付鉢	晩期5	外面：体部下半にLR縄文。台部ナデ。底部：台。工字文。刻目列1条。端部に2個1対の突起2単位残存。	ナデ	炭化物(外面)		—	10.0	—	北東-土器 4063
84	105	2	VL47 P4079・P4080 フロック4003	TR2-c層	壺	晩期後葉	外面：LR縄文。口縁部ミガキ。	ナデ	外面スス		—	—	(27.5)	北東-土器 4064
—	105	3	VL47 P4087 フロック4004	TR2-c層	鉢	晩期前葉 ～中葉	平口縁、口唇：面取なし。外面：RL縄文。底面：平底。	ナデ	炭化物(内面) 外面スス		15.5	5.8	11.2	北東-土器 5290



表13 北東捨場地区 土器観察表(2)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	105	4	V/L47 P4081 ブロック4004	TR2-a層	深鉢	晩期前葉 ~中葉	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部~体部上半にLR縄文。 外面：面取なし。外面：口縁部~体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(26.0)	—	(11.0)	北東-土器 4066
84	105	5	V/L47 P4081・P4082 P4085 P4085 ブロック4004	TR2-c層	台付鉢	晩期中葉	平口縁。口唇：連続する刻目。外面：横位沈線2条。縦長のB突起肩部に1単位。文様帯地文なし。体部にLR縄文。底部：台。台部ナデ。 外面：横位沈線2条。縦長のB突起肩部に1単位。文様帯地文なし。体部にLR縄文。底部：台。台部ナデ。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土分析028	(20.0)	6.4	15.6	北東-土器 4070
84	105	6	V/L47 P4084 ブロック4004	TR2-c層	壺	晩期4	外面：3条の横位沈線間に退化した雲形文。磨消縄文LR。頸部と体部~底部ナデ。底部：平底。 外面：3条の横位沈線間に退化した雲形文。磨消縄文LR。頸部と体部~底部ナデ。底部：平底。	ナデ	赤彩(外面、内面、口頸部)	胎土分析029	—	5.6	(14.5)	北東-土器 4079
—	105	7	V/L47 P4081・P4085 ブロック4004	TR2-c層	皿	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：連続する刺突列。横位沈線3条。彫去による雲形文。磨消(LR縄文)。底部：凹底。 平口縁。口唇：面取なし。外面：連続する刺突列。横位沈線3条。彫去による雲形文。磨消(LR縄文)。底部：凹底。	ミガキ	赤彩(外面)		(17.0)	(5.5)	4.6	北東-土器 4068
85	105	8	V/L46・47 P4088・P4089 ブロック4005	TR2-b層	鉢	晩期3	平口縁。口唇に連続するB突起(17単位残存)。外面：横位沈線4条。上位2条の横位沈線間に沈線と刺突による羊歯状文。文様帯地文なし。肩部に縦長の突起1個。体部上半にLR縄文。器面磨滅顕著。 平口縁。口唇に連続するB突起(17単位残存)。外面：横位沈線4条。上位2条の横位沈線間に沈線と刺突による羊歯状文。文様帯地文なし。肩部に縦長の突起1個。体部上半にLR縄文。器面磨滅顕著。	ナデ。口縁部に沈線1条	内・外面スス	胎土分析023	20.3	—	(14.7)	北東-土器 4078
85	105	9	V/L47 P4090 ブロック4005	TR2-b層	深鉢	晩期	平口縁。二山突起1単位。口唇：部分的に面取。外面：LR縄文。底部：平底。 平口縁。二山突起1単位。口唇：部分的に面取。外面：LR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土分析024	(23.0)	8.0	12.6	北東-土器 4080
—	106	1	V/M5 P4100 ブロック4007	TR1-a~b層	壺	晩期3	外面：頸部に彫去による文様。突起4単位(3単位剥離)。沈線間に刻目列1条。横位沈線2条。彫去による雲形文磨消(LR縄文)。横位沈線2条。頸部と体部下半ミガキ。 外面：頸部に彫去による文様。突起4単位(3単位剥離)。沈線間に刻目列1条。横位沈線2条。彫去による雲形文磨消(LR縄文)。横位沈線2条。頸部と体部下半ミガキ。	ナデ		頸部径7.4cm	—	—	—	北東-土器 4082
—	106	2	V/L46・47 P4122・P4123 ブロック4010	TR2-b層	深鉢	後期後葉 ~晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部~体部上半にLR縄文。 平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部~体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内外面)		(29.0)	—	(17.0)	北東-土器 4097
85	106	3	V/L47 P4120 ブロック4010	TR2-b層	壺	晩期中葉 ~後葉	平口縁。口唇：面取なし。一部口唇外側に斜行刻目。外面：口縁部ナデ。口縁部と体部の縁に横位沈線1条。体部~底部LR縄文。底部：平底。 平口縁。口唇：面取なし。一部口唇外側に斜行刻目。外面：口縁部ナデ。口縁部と体部の縁に横位沈線1条。体部~底部LR縄文。底部：平底。	ナデ			7.0	5.0	14.0	北東-土器 4096
—	106	4	V/L47 P4121 ブロック4010	TR2-b層	壺	晩期	外面：体部下半~底部にLR縄文。底部：平底。 外面：体部下半~底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ			—	6.0	(11.2)	北東-土器 4094
85	106	5	V/L47 P4124 ブロック4011	TR3-b層~ TR3-c層	鉢	晩期4	平口縁。口唇：刻目。外面：口縁下に横位沈線3条。2個一組の突起1箇所残存。文様帯地文なし。体部~底部LR縄文。底部：平底。 平口縁。口唇：刻目。外面：口縁下に横位沈線3条。2個一組の突起1箇所残存。文様帯地文なし。体部~底部LR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土分析027	(20.0)	5.7	13.7	北東-土器 4101
85	106	6	V/L47 P4125 ブロック4011	TR3-b層~ TR3-c層	台付鉢	晩期4	平口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線2条。2個一組の突起4単位(下位の横位沈線が突起頂部に垂下する箇所あり)。体部にLR縄文。台部ナデ。 平口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線2条。2個一組の突起4単位(下位の横位沈線が突起頂部に垂下する箇所あり)。体部にLR縄文。台部ナデ。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土分析026	12.0	10.0	9.5	北東-土器 4100
85	106	7	V/L47 P4126・P4151 ブロック4011	TR3-b~c層	壺	晩期4~5	平口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線1条。2個一対の突起3単位(2個の貼附のうち片方の頂部に刻1本)。沈線間に刻目列2条。工字文。縄文地施文。頸部ミガキ。体部下半~底部にLR縄文。 平口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線1条。2個一対の突起3単位(2個の貼附のうち片方の頂部に刻1本)。沈線間に刻目列2条。工字文。縄文地施文。頸部ミガキ。体部下半~底部にLR縄文。	ナデ		胎土分析025	9.2	—	(14.5)	北東-土器 4099
—	106	8	V/L45 P4135 ブロック4013	TR1-5層	台付鉢	晩期b	小波状口縁。外面：上向き2重の弧線文。横位沈線4条。1~3条目は弧線文部分で途切れる。4条目は弧線文に対応して「ノ」の字状に垂下。文様帯地文なし(縄文をナデ消した痕跡あり)。体部にLR縄文。台部ナデ。台。 小波状口縁。外面：上向き2重の弧線文。横位沈線4条。1~3条目は弧線文部分で途切れる。4条目は弧線文に対応して「ノ」の字状に垂下。文様帯地文なし(縄文をナデ消した痕跡あり)。体部にLR縄文。台部ナデ。台。	ナデ	炭化物(内・外面)		(13.0)	6.4	11.0	北東-土器 4139
85	106	9	V/L45 P4137 ブロック4013	TR1-5層	壺か	晩期2か	外面：彫去による沈線文。横位沈線2条。磨消。体部下半~底部ナデ(体部下半にLR縄文をナデ消した痕跡あり)。底部：凹底。 外面：彫去による沈線文。横位沈線2条。磨消。体部下半~底部ナデ(体部下半にLR縄文をナデ消した痕跡あり)。底部：凹底。	ナデ	外面に褐色塗膜状付着物		—	7.8	(7.7)	北東-土器 4126
85	107	1	V/L47 P4179 ブロック4018	TR2-y層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取。外面：口縁部~体部にLR縄文。底部ナデ。底部：平底。 平口縁。口唇：面取。外面：口縁部~体部にLR縄文。底部ナデ。底部：平底。	ナデ	内面下部・外面スス		28.2	10.0	35.3	北東-土器 4161
86	107	2	V/M6 P4193 ブロック4019	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。突起1単位。口唇：面取なし。口縁部~底部にLR縄文。底部：平底。 平口縁。突起1単位。口唇：面取なし。口縁部~底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	内・外面スス	貫通孔2個1組(外面からの穿孔)胎土分析021	18.2	6.4	10.8	北東-土器 4162

表13 北東拾場地区 土器観察表(3)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	107	3	VM46 P4189 プロック4019	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。二山突起1単位。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		10.5	—	(10.8)	北東-土器 4167
—	107	4	VL46 P4191 プロック4019	TR1-4層	鉢	晩期4	口唇：連続した刻目。外面：横位沈線2条。2個一組突起1単位。文様帯地文なし。口縁部～体部上半ナデ。	ナデ	炭化物(内・外面)		(11.0)	—	(8.7)	北東-土器 4171
—	107	5	VM46 P4189・P4190 プロック4019	TR1-4層	鉢	晩期3	平口縁。B突起残存1単位。口唇：刻目。外面：横位沈線4条(2～3条目の沈線に数個一組の刻目列)。文様帯地文なし。体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	北東-土器 5309
—	107	6	VM46 P4190 プロック4019	TR1-4層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：内割ぎ。外面：口縁直下の沈線間に刻目列1条。横位沈線2条。彫去による盞形文。磨消縄文LR。磨消部ミガキ。	ミガキ			(24.0)	—	—	北東-土器 4166
—	107	7	VL46 P4187 プロック4019	TR1-4層	浅鉢	晩期3	平口縁。3個一組のB突起1単位。口唇：面取なし。外面：口縁直下に横位沈線1条。体部～底部ナデ。底部：張り出し状の脚(残存2単位)。円形の沈線。	ナデ	赤形(内・外面)		(15.6)	—	4.6	北東-土器 4170
86	107	8	VL46 P4192 プロック4019	TR1-4層	浅鉢	晩期中葉	平口縁。口唇：沈線。内側に肥厚。外面：底部直上に横位沈線2条。口縁部～底部ミガキ。底部：平底。	ミガキ	赤形(内・外面)	胎土分析022	18.4	9.2	4.3	北東-土器 4172
—	107	9	VL45 P4203 プロック4020	TR1-4層	台付浅鉢	後期後葉 ～晩期前葉	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部ミガキ。底部：台(欠損)。	ミガキ		胎土：砂粒含む	21.2	—	(8.1)	北東-土器 4173
86	108	1	VK45 P421 プロック4022	TR1-6層	鉢	後期7-4	平口縁。一山突起(高低の突起を交互に配置。各々単位)。口唇：面取。外面：沈線間に刻目列1条。沈線による入組三又文。沈線間に刻目列1条。磨消(LR縄文)。体部上半ナデ。	ナデ	炭化物(内面)		22.0	—	—	北東-土器 4193
—	108	2	VM45 P4221 プロック4023	TR1-4層	台付鉢	晩期2～3	平口縁。B突起残存1単位。口唇：刻目。外面：横位沈線1条。沈線と刺突による半盞状文。横位沈線2条。文様帯地文なし。体部にLR縄文。底部：台。台部ナデ。	ミガキ。	炭化物(内・外面)		(11.0)	6.8	10.6	北東-土器 4225
—	108	3	VL46 P4252・P4253 ・P4260 プロック4024-1	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(外面)		(23.8)	8.6	(28.0)	北東-土器 4234
—	108	4	VL46 P4254 プロック 4024-1	TR1-4層	深鉢	晩期	外面：体部下半～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	外面スス		—	7.6	(7.0)	北東-土器 4280
86	108	5	VL46 P4251 プロック 4024-1	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：部分的に面取(平坦)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	外面スス		(23.0)	—	—	北東-土器 4281
86	108	6	VL46 P4255 プロック 4024-1	TR1-4層	鉢	晩期	平口縁。突起2単位(B突起2個一組か)。口唇：部分的に面取(外割ぎ状)。外面：口縁部～体部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	外面スス		26.5	8.8	25.5	北東-土器 4264
86	108	7	VL46 P4252・P4253 ・P4257 プロック4024-1・2	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：部分的に面取(平坦)。外面：口縁部～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内面体部下) 外面スス	胎土分析020	28.0	8.5	31.4	北東-土器 4270
—	109	1	VL46 P4256 プロック4024-2	TR1-4層	深鉢	晩期中葉か	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(29.0)	—	(12.7)	北東-土器 4233
—	109	2	VL46 P4276 プロック4024-2	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：部分的に面取(平坦)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(32.0)	—	(18.0)	北東-土器 4236

表13 北東拾場地区 土器観察表(4)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	109	3	V L46 P4249・P4276 フロック4024-2	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。突起推定1単位(2個一組の二山突起)。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(21.0)	—	(16.5)	北東-土器 4237
86	109	4	V L46 P4272 フロック4024-2	TR1-4層	台付鉢	晩期3	平口縁。B突起。口唇：刻目。外面：横位沈線4条。上位2条の沈線間に沈線と刺突による羊歯状文。肩部に突起1個。文様帯地文なし。体部にLR縄文。底部：台。台部：ミガキ。端部肥厚。肥厚部縄文。横位沈線1条。	ナデ。口縁部に沈線1条	内・外面スス	胎土分析019	—	7.6	16.8	北東-土器 4229
—	109	5	V L46 P4294 フロック4024-2	TR1-4層	鉢	晩期2～3	口縁：連続するB突起。口唇：刻目。外面：横位沈線5条。2～3条目間に沈線と刺突による羊歯状文。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		(17.0)	—	(8.0)	北東-土器 4231
—	109	6	V L46 P4266 フロック4024-2	TR1-4層	台付鉢	晩期2～3	外面：体部下半にLR縄文。底部：台(沈線文。透かし孔。端部肥厚。肥厚部LR縄文)。	ナデ	外面スス	胎土に海綿骨針	—	(5.0)	(6.7)	北東-土器 4241
—	109	7	V L46 P4245 フロック4024-2	TR1-4層	台付鉢	晩期2～4	平口縁。B突起。口唇：刻目。外面：横位沈線4条。上位2条の沈線間に数個一組の刻目列。文様帯地文なし。体部にLR縄文。台部ナデ。底部：台(端部肥厚。肥厚部LR縄文)。	ナデ	炭化物(内面) 外面スス		—	7.8	(10.2)	北東-土器 4252
—	109	8	V L46 P4258・P4260 フロック4024-2	TR1-4層	台付鉢	晩期2～4	平口縁。口唇：刻目。外面：口縁部にLR縄文。体部ナデ。底部：台(端部肥厚。肥厚部LR縄文)。	ナデ 口縁に沈線1条	外面スス		—	8.4	14.5	北東-土器 4259
87	109	9	V K47 P4247・P4248 フロック4025	TR2-ウ層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	内・外面スス		(19.0)	6.8	21.4	北東-土器 4227
87	109	10	V L47 P4248 フロック4025	TR2-ウ層	台付鉢	晩期3	平口縁。突起。口唇：刻目。外面：横位沈線4条(上位2条の沈線に上下交互に5個一組の刻目)。大突起(側面に沈線)。体部にLR縄文。底部：台(端部肥厚。肥厚部LR縄文。端部B突起状1単位)。台部ナデ。	ナデ	炭化物(外面)		(15.6)	8.0	16.6	北東-土器 4226
87	110	1	V K47 P4291 フロック4026	TR2-Y層	壺	晩期中葉	平口縁。突起1単位。口唇：面取なし。外面：口縁部ナデ。口縁部と体部の境に横位沈線1条。体部～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ 口縁に沈線1条			8.4	6.8	16.8	北東-土器 4281
—	110	2	V K45 P4302・P4306 フロック4029	TR1-7層	台	晩期1b	外面：台部ミガキ。底部：台(沈線文。透かし孔。磨消縄文LR。端部肥厚)。	ミガキ		台径(16.0)cm	—	—	(11.7)	北東-土器 4290
87	110	3	V M46 P4314 フロック4030	TR1-4層	深鉢	晩期	外面：体部～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	内・外面スス		—	9.5	29.0	北東-土器 4315
—	110	4	V M46 P4308 フロック4030	TR1-4層	深鉢	晩期前葉	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(23.0)	—	(20.1)	北東-土器 4311
87	110	5	V M46 P4311 フロック4030	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁端部に突起1単位。LR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土分析014	11.2	4.8	12.0	北東-土器 4293
87	110	6	V M46 P4311 フロック4030	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。二山突起1単位(残存1単位)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土分析015	11.5	5.0	11.7	北東-土器 4294
87	110	7	V L46 P4315 フロック4030	TR1-4層	台付鉢	晩期2～3	平口縁に連続する突起。外面：横位沈線3条。1～2条目間に沈線と刺突による羊歯状文。肩部に突起1箇所。文様帯地文なし。体部にLR縄文。底部：台(沈線文。端部肥厚。肥厚部LR縄文)。台部ミガキ。	ナデ ミガキ	外面スス		9.4	5.6	10.5	北東-土器 4310
—	110	8	V M45 P4316 フロック4030	TR1-4層	鉢	晩期2～3	平口縁。B突起残存2単位。口唇：刻目。外面：口縁部形状に対応した刺突列。口縁突起から垂下する横位沈線。沈線と刺突による羊歯状文。横位沈線2条。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ。口縁部に沈線1条	炭化物(内・外面)		(18.0)	—	(7.0)	北東-土器 4299
—	110	9	V M45 P4316 フロック4030	TR1-4層	鉢	晩期2～3	平口縁。B突起残存2単位(突起頂部刻目1本)。口唇：刻目。外面：沈線と刺突による羊歯状文。横位沈線2条。文様帯地文なし。体部にLR縄文。	ミガキ	炭化物(内・外面)		(13.8)	—	—	北東-土器 4301

表13 北東捨場地区 土器観察表(5)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
87	110	10	V446 P4313 フロック4030	TR1-4層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線2条。体部ミガキ。底部：凹底。	ミガキ	赤形(内・外面)	胎土分析017	12.2	4.0	4.2	北東-土器 4313
88	111	1	V445 P4329・P4330 ・P4331 フロック4031-1	TR1-5層	深鉢	後期後葉 ～晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部上半にLR縷文。底部：高台	ナデ	外面スス	胎土：砂礫	30.4	—	—	北東-土器 4317
88	111	2	V445 P4332 フロック4031-1	TR1-5層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：部分的に面取。外面：口縁部～体部上半にLR縷文。	ナデ	内・外面スス	胎土：砂礫	(30.0)	—	—	北東-土器 4316
88	111	3	V445 P4334 フロック4031-2	TR1-5層	深鉢	晩期1a～1b	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：沈線文(相対する2重の弧縷文)5単位。横位沈線2条(部分的に弧縷文で途切れる)。横位沈線2条。磨消。LR縷文。底部：底平高台。	ナデ	外面スス		17.5	6.6	19.3	北東-土器 4325
88	111	4	V446 P4351 フロック4032-1	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。B突起残存1単位。口唇：面取なし。外面：体部にLR縷文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)		(19.0)	6.8	19.3	北東-土器 4364
88	111	5	V446 P4341・P4342 フロック4032-1	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部にLR縷文。	ナデ	外面スス	胎土：砂礫	(20.0)	—	(27.0)	北東-土器 4395
—	111	6	V446 P4339・P4342 ・P4351 フロック4032-1	TR1-4層	鉢	晩期3	平口縁。B突起残存6単位。口唇：刻目。外面：横位沈線4条(上位2条の沈線に上下交互に5個一組の刺突列)。文様帯地文なし。LR縷文。	ナデ。口縁部に沈線1条	炭化物(内・外面)		(13.6)	—	(10.3)	北東-土器 4399
88	112	1	V446 P4346 フロック4032-2	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部にLR縷文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内面) 外面スス		(20.0)	7.0	22.2	北東-土器 4375
89	112	2	V446 P4356・P4357 ・P4360・P4361 フロック4032-3	TR1-4層	浅鉢	晩期3	平口縁。B突起残存1単位。口唇：面取なし。外面：口縁直下に連続する刺突列。横位沈線1条。彫去による雲形文。磨消縷文LR。体部下半ミガキ。底部：円形凹底。	ミガキ	赤形(内・外面)	口縁直下に貫通孔2個一組	(21.0)	—	—	北東-土器 4384
—	112	3	V446 P4360 フロック4032-3	TR1-4層	蓋	晩期中葉 ～後葉	平口縁。突起1単位(数個一組。突起間に挟り)。口縁肥厚(外。LR縷文)。外面：口縁直下に2個一組突起2単位(頂部刻目)。体部上半にLR縷文。口縁部ナデ。	ナデ 口縁に沈線1条			9.2 ゆがみあり	—	(10.3)	北東-土器 4385
89	112	4	V446 P4367・P4368 ・P4370 フロック4032-5	TR1-4層	深鉢	晩期中葉	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁形状に対応した刺突列。口縁直下に横位沈線3条。文様帯地文なし。体部～底部にLR縷文。底部：平底。	ミガキ。	炭化物(内・外面)		17.2	6.0	20.8	北東-土器 4337
—	112	5	V446 P4370 フロック4032-5	TR1-4層	台付鉢	晩期3	平口縁。口唇：連続する刻目(口唇外側)。外面：沈線間に刻目列1条。彫去による雲形文。突起1面所(頂部刻目)。磨消。体部にLR縷文。底部：台。台部ナデ。端部肥厚。	ナデ。口縁部に沈線1条	炭化物(内面)		10.5	6.2	9.3	北東-土器 4336
89	112	6	V446 P4384 フロック4032-6	TR1-4層	鉢	晩期4～5	平口縁。口唇：刻目。外面：口縁直下に横位沈線3条。文様帯地文なし。体部～底部にLR縷文。底部：平底。	ナデ	内・外面スス 内底面に赤色顔料		(18.0)	5.6	15.0	北東-土器 4385
—	112	7	V446 P4373 フロック4032-6	TR1-4層	鉢	晩期	平口縁。口唇：面取(内削ぎ状)。外面：口縁部～体部にLR縷文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(23.0)	—	(21.2)	北東-土器 4346
—	113	1	V444 P4401 フロック4033	TR6-2～3層	鉢	後期8か	平口縁。二山突起1単位残存。口唇：面取(平直)。沈線で区画された無文帯2条(口縁直下と頸部と体部の境)。口縁部～体部上半にLR縷文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(25.0)	—	—	北東-土器 4405
—	113	2	V444 P4388 フロック4033	TR6-2～3層	鉢	晩期1a	平口縁。二山状台形突起(1箇所のみ頂部刻目4本)と一山突起交互。外面：二山状台形突起下に三文文。二山状台形突起を繋ぐ上向き弧縷文。横位沈線1条。入組文。横位沈線1条。磨消縷文LR。磨消部ミガキ。体部ミガキ。	ナデ	炭化物(内・外面)		(26.0)	—	—	北東-土器 4407

表13 北東拾場地区 土器観察表(6)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	113	3	VL44 P4386 フロック4033	TR6-2~3層	鉢	晩期1a	平口縁。台形突起(頂部押圧)1単位残存。外面：沈線文。三叉文。文様2段構成。磨消細文L。底部ナデ。	ナデ	炭化物(内・外面)		(24.0)	—	—	北東-土器 44717
—	113	4	VL44 P4386・P4387 フロック4033	TR6-2~3層	台付鉢	晩期1aか	外面：体部下半にL縷文。底部：右。右部ナデ。	ナデ	炭化物(外面) 内面スス		—	6.2	(9.5)	北東-土器 44112
—	113	5	VL44 P4388 フロック4033	TR6-2~3層	壺	後期後葉 ~晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：体部L縷文。口縁部ナデ。	ナデ			9.5	—	13.0	北東-土器 4724
—	113	6	VL46 P4393 フロック4034	TR1-4,5層	注口	晩期2	平口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線2条。沈線による弧線文と刻目列で半歯状文のような文様を描出。沈線文。注口に沈線。底部：丸底。	ナデ		注口内径1.2cm 北東-土器4653と同一個体。	(7.0)	丸底	(10.4)	北東-土器 4422
—	113	7	VL46 P4407 フロック4036	TR1-4~4.5層	台付皿	晩期3	口唇に連続的に三叉状の持ち手を入れて裝飾的な口縁を作成。外面：横位沈線3条。上位2条の沈線間に刻目列。文様帯地なし。体部にL縷文。右部ミガキ。底部：右(三叉文と透かし孔が交互に各3単位。横位沈線1条。底部肥厚。肥厚部L縷文)。	ミガキ		胎土に海綿骨針	(15.0)	8.4	6.8	北東-土器 4431
—	113	8	VL46 P4409 フロック4036	TR1-4~4.5層	台付浅鉢	晩期3	口縁にB突起残存6単位。口唇：刻目列。外面：口縁突起から斜めに垂下する横位沈線。左端は隣接する口縁突起に鋭角に連続する。刻目列1条。横位沈線2条。文様帯地なし。体部にL縷文。右部ミガキ。底部：右(三叉文と透かし孔が交互に各3単位。横位沈線1条。底部肥厚。肥厚部L縷文)。	ミガキ	外面スス		12.0	6.5	5.8	北東-土器 4432
89	113	9	V M46 P4415 フロック4037	TR1-d層	台付鉢	晩期2~4	外面：体部下半にL縷文。右部ナデ。底部：右(端部肥厚・肥厚部L縷文。底部に3個一組の突起)。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	7.5	(10.6)	北東-土器 4475
89	113	10	V M46 P4414・P4419 フロック4037	TR1-d層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：沈線間に刻目列1条(刻目は十数個一組。刻目の単位に対応して下の沈線が透切れる)。横位沈線1条。底面による雲形文。磨消細文L。磨消細ミガキ。底部直上に横位沈線1条。底部：凹底。	ミガキ			(17.0)	4.7	5.5	北東-土器 4461
—	113	11	V M46 P4418 フロック4037	TR1-d層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取。沈線1条。外側にやや肥厚。外面：口縁部に横位沈線1条。ミガキ。底部：張り出し状の脚4単位。	ミガキ			19.4	8.0	6.0	北東-土器 4466
—	113	12	V M46 P4414・P4419 フロック4037	TR1-d層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：沈線間に刻目列1条。横位沈線1条。影去による雲形文。磨消細文L。磨消細ミガキ。横位沈線1条。底部：凹底。	ミガキ			(18.0)	(4.5)	5.6	北東-土器 4460
89	114	1	V M46 P4424 フロック4038	TR1-c層	鉢	晩期中葉	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：L/R非非結束羽状縷文。	ミガキ	炭化物(内・外面)		—	—	—	北東-土器 4483
—	114	2	V M46 P4420 フロック4038	TR1-c層	鉢	晩期3	平口縁。B突起残存5単位。口唇：刻目。外面：退化した半歯状文。横位沈線2条。肩部に大突起1箇所(側面に沈線)。L縷文。	ナデ。口縁部に 沈線1条	炭化物(内・外面)		(20.0)	—	(12.0)	北東-土器 4500
—	114	3	V M46 P4427 フロック4039	TR1-4層	鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁ナデ。体部上~底部ケズリ。底部：平底(ケズリ)。	ミガキ	炭化物(内面) 外面スス		19.8	6.0	17.7	北東-土器 4487
—	114	4	V L47 P4450・P4451・ P4453・P4454 フロック4040	TR3-c層	深鉢	晩期	平口縁。突起推定1単位(2個一組)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部~体部にL縷文。底部：平底。	ナデ	内・外面スス		(29.0)	9.5	30.8	北東-土器 4511
89	114	5	V L・M45 P4455・P4456・ P4498・P4499 フロック401・407	TR5-2~3層	深鉢	晩期	平口縁。突起1単位(2個一組)。口唇：面取(平坦)。外面：短軸筋条体5類とL縷文交互。底部：平底。	ナデ	外面スス	胎土分析030年 代測定2980±20 yBP (KAWA (1) -143)	30.0	(8.2)	35.5	北東-土器 4556
—	114	6	V L44 P4457 フロック4042	TR6-3層~ TR1-6層	注口	後期後葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部・体部・底部ミガキ。注口：基部に二袋状の膨らみ。底部：低平な高台。	口縁部ミガキ 体部~底部ナデ			(8.0)	2.5	12.5	北東-土器 4035



表13 北東拾場地区 土器観察表(7)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	115	1	Vk47 P4470 プロック4043上層A	TR2-b層	深鉢	晩期	平口縁。二山突起1単位。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)	粘土紐の接合痕残る 胎土：小礫	(19.0)	—	—	北東-土器 4747
—	115	2	Vk47 P4490 プロック4043下層A	TR2-b層	深鉢	後期後葉～晩期	平口縁。口唇：部分的に面取(平坦)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	外面スス	貫通孔1個	(24.0)	—	—	北東-土器 4578
—	115	3	Vk47 P4490 プロック4043下層A	TR2-b層	鉢	晩期	平口縁。突起1単位(B突起2個一組)。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面) 内面スス		(21.0)	—	—	北東-土器 4579
89	115	4	Vk47・46 P4148・P4491 プロック4043下層A	TR2-b層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)		(24.0)	7.8	(26.7)	北東-土器 4749
—	115	5	Vk47 P4492 プロック4043下層A	TR2-b層	片口鉢	晩期3～4	片口。口唇：刻目。外面：口縁直下に横位沈線2条。地文なし。体部～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	内・外面スス		(14.0)	5.4	12.5	北東-土器 4574
90	115	6	Vk47 P4484 プロック4043下層A	TR2-b層	皿	晩期4	平口縁。口唇：沈線。外面：横位沈線2条。彫去による雲形文。底部直上に横位沈線2条。磨消縄文LR。底部：平底。	ナデ 底面に凹線状の段。		側面に補修孔1つ 対、貫通孔1つ 底面に補修孔2つ 対、貫通孔2つ	25.6	15.2	5.5	北東-土器 4567
—	115	7	Vk47 P4485・P4486 ・P4493 プロック4043下層A	TR2-b層	皿	晩期3	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：ミガキ。底部：凹底。	ミガキ	赤彩(内・外面)		(20.0)	(5.2)	5.0	北東-土器 4034
90	116	1	Vk47 P4473 プロック4044	TR3-b層	深鉢	晩期中葉～後葉	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ		胎土：小礫(φ～3mm)含む	(28.0)	—	—	北東-土器 4517
90	116	2	Vk47 P4471 プロック4044	TR3-b層	鉢	晩期4	平口縁。口唇：口唇外側に刻目。外面：横位沈線3条。文線帯地文なし。口縁部ナデ。体部上半にLR縄文。	ナデ。口縁部に沈線1条	炭化物(内・外面)		(24.0)	—	—	北東-土器 4516
90	116	3	Vk47 P4471 プロック4044	TR3-b層	鉢	晩期4～5	平口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線3条。2個一組突起2単位残存。沈線文。底部直上に横位沈線2条。口縁部地文なし。体部下半細文LR。底部：平底。	ミガキ 口縁部に沈線1条。	炭化物(内・外面)		17.6	4.5	10.8	北東-土器 5192
—	116	4	Vk46 P4481 プロック4045	TR1-4.5層	鉢	晩期3	平口縁。2個一組のB突起3単位残存(5単位か)口唇：刻目。外面：横位沈線2条。磨消縄文。体部下半に細文LR。口縁部ミガキ。	ミガキ	炭化物(外面)		16.0	—	—	北東-土器 4757
—	116	5	Vk46 P4482 プロック4045	TR1-4.5層	壺	晩期3	平口縁に三叉状の抉りを極し連続した突起様の裝飾を作出。正面にB突起1単位(残存1単位)。外面：横位沈線3条。沈線による雲形文(2条の横位沈線を挟み2段構成)。磨消。底部にLR縄文。底部：凹底。	ミガキ 口縁部に沈線1条			9.6	2.6	—	北東-土器 4756
—	116	6	Vk48 P4500・P4502 ・P4504 プロック4049	TR3-d層	鉢	後期後葉～晩期前葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部ナデ。底部：高台。	ナデ	外面スス	胎土：礫(φ～4mm) 混入	16.8	8.4	9.8	北東-土器 4773
90	116	7	Vk48 P4511 プロック4051	TR3-e層	壺	晩期1a～1b	平口縁。口唇：面取。外面：口縁部部に横位沈線1条。口縁部と体部の境に突起4単位(横位に貫通孔)。口縁部と体部にLR縄文。頭部ナデ。底部：高台。	ナデ	赤彩(外・底面)		6.5	4.8	11.2	北東-土器 4028
—	116	8	Vk48 P4516 プロック4051	TR3-e層	注口	後期後葉	外面：体部～底部ナデ。注口：欠損。底部：高台。	ナデ		胎土：砂礫 注口内径0.7cm	—	2.2	(10.5)	北東-土器 4003
90	117	1	Vk47 P4537 プロック4052-1	TR1-4層	深鉢	晩期3	連続した三叉状の抉りにより裝飾的な口縁を作出。外面：横位沈線4条(沈線間に上下平行して8～9個一組の刻目列。部分的に沈線5条)。文線帯地文なし。体部にLR縄文。口縁部ナデ。	ナデ。口縁部に沈線1条	炭化物(内・外面)	北東-土器4929と同一個体。	(27.0)	—	—	北東-土器 4728



表13 北東捨場地区 土器観察表(9)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	119	2	VM46 P4558 フロック4052-4	TRI-4層	台付鉢	晩期1b	小波状口縁。外面：入組文、沈線文(三角形文)。横位沈線1条。磨削縄文LR。体部、台部ミガキ。底筋：台(横位沈線1条。透かし孔。端部に横位沈線2条)。 外面：LR縄文。底筋：平底。	ミガキ		貫通孔2個一組	22.6	—	(10.5)	北東-土器 4745
—	119	3	VM46 P4558 フロック4052-4	TRI-4層	鉢	晩期	外面：LR縄文。底筋：平底。	ナデ	炭化物(内外面)		—	5.0	—	北東-土器 4744
—	119	4	VM46 P4560 フロック4052-4	TRI-4層	壺	晩期3	外面：隆帯2条(2条の隆帯の連繫部に横位のB字状突起。4単位中3単位残存。隆帯1条(隆帯上にLR縄文)。体部～底部ミガキ。底筋：凹底。器面剥離顕著。 平口縁。B突起残存4単位。口唇：刻目。外面：羊歯状文。横位沈線4条(上位2条の沈線は上下交互に4個一組の刺突列を交互に配置)。肩部に突起1箇所(側面に沈線)。文様帯地文なし。LR縄文。	ナデ	赤彩(外面、内面頸部)	外面剥落	—	2.0	12.4	北東-土器 4036
—	119	5	VM46 P4551 フロック4052-4	TRI-4層	鉢	晩期3	外面：隆帯2条(2条の隆帯の連繫部に横位のB字状突起。4単位中3単位残存。隆帯1条(隆帯上にLR縄文)。体部～底部ミガキ。底筋：凹底。器面剥離顕著。 平口縁。B突起残存4単位。口唇：刻目。外面：羊歯状文。横位沈線4条(上位2条の沈線は上下交互に4個一組の刺突列を交互に配置)。肩部に突起1箇所(側面に沈線)。文様帯地文なし。LR縄文。	ナデ	炭化物(内外面)		(16.0)	—	(13.5)	北東-土器 4641
—	119	6	VM46 P4552 フロック4052-4	TRI-4層	壺	晩期中葉～後葉	外面：口縁部ミガキ。体部～底部にLR縄文。底筋：平底。	ナデ	外面スス		—	7.0	(18.3)	北東-土器 4740
91	119	7	VL45 P4572 フロック4052-1	TRI-5層	台付鉢	晩期1b	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：上向き2重の弧線文推定4単位(2単位残存)。横位沈線4条。上位2条の沈線は弧線文で途切れる。縄文地施文。口縁部～体部にLR縄文。底筋：台。台部ナデ。	ナデ	外面スス		(17.0)	6.6	17.7	北東-土器 4650
—	119	8	VL45 P4570・P4572 フロック4052-1	TRI-5層	壺	後期後葉～晩期前葉	平口縁。口唇：部分的に面取(平坦)。外面：口縁部ナデ。体部上半にLR縄文。底筋：底平凸高台。	ナデ	炭化物(外面)		8.4	7.8	—	北東-土器 4655
—	120	1	VL46 P4577 フロック4052-2	TRI-5層	鉢	後期後葉～晩期前葉	外面：LR縄文。底筋：高台。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	5.5	—	北東-土器 4647
—	120	2	VL45 P4581 フロック4052-2	TRI-5層	台	後期後葉～晩期前葉	外面：底部にLR縄文。底筋：台。台部ナデ。	ナデ	台内部にスス		—	—	(5.9)	北東-土器 4692
91	120	3	VL45 P4584 フロック4052-2	TRI-5層	台付鉢	晩期1b	小波状口縁。一山突起1単位(突起頂部刻目4本)。外面：横位沈線1～2条。入組三叉文。横位沈線2条。文様帯地文なし。体部にLR縄文。底筋：台。台部ナデ。器面隆減。	ナデ	炭化物(内・外面)	胎土分析008	18.2	8.2	18.6	北東-土器 4656
91	120	4	VL46 P4582 フロック4052-2	TRI-5層	深鉢	晩期	平口縁。三山突起1単位(二山のみ残存)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～底部にLR縄文。底筋：平底。	ナデ ケズリ	炭化物(内・外面)	胎土分析010	(16.4)	7.2	17.0	北東-土器 4706
—	120	5	VL46 P4577 フロック4052-2	TRI-5層	台付鉢	晩期前葉～中葉	外面：体部下にLR縄文。底筋：台。台部ナデ。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	8.8	(7.3)	北東-土器 4649
91	120	6	VL45 P4581・P4584 フロック4052-2	TRI-5層	鉢	晩期1b	外面：沈線間に入組三叉文(口縁部)。無文帯ミガキ。体部に沈線文(横位沈線、三叉文、入組文)。磨削、LR縄文。	ミガキ		補修孔2個一組 2箇所。	(17.0)	—	—	北東-土器 4672
—	120	7	VL46 P4578 フロック4052-2	TRI-5層	鉢	晩期1b	平口縁。連続するB突起残存10単位。口唇：面取なし。外面：横位沈線2条。入組三叉文(2条の横位沈線を挟んで2段構成)。縄文地施文LR。	ナデ	炭化物(内・外面)		(17.0)	—	—	北東-土器 4702
91	120	8	VL46 P4576・P4577 ・P4578 ・P4579 フロック4052-2	TRI-5層	壺	晩期1b	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部と体部の境に2条の隆帯。隆帯上に円形の隆帯推定6単位(5単位残存)。口縁部ナデ。体部分的にLR縄文。	ナデ		胎土：砂粒・小礫含む 胎土分析009	(13.0)	—	30.6	北東-土器 4671
91	120	9	VL46 P4582 フロック4052-2	TRI-5層	注口	晩期1b	平口縁。一山突起1単位。口唇：面取なし。外面：口縁部と体部の境に2条の隆帯。隆帯上に上位の沈線は口縁突起部で入組三叉文となる。下位の沈線は口縁突起部で「ノ」字状に垂下。地文なし。ミガキ。注口：先端肥厚。基部周囲に沈線文。底筋：丸底。	口縁～頭部ミガキ、体部ナデ			—	丸底	(13.6)	北東-土器 4011

表13 北東捨場地区 土器観察表(10)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
91	120	10	V L45・46 P4582・P4583 プロック4052-2	TR1-5層	注口	晩期1b	小波状口縁。B突起推定4単位(残存2単位)。口唇：面取。外面：口縁形状に対応した連続する上向きの弧線文。入組三又文。横位沈線1条。地文なし。ミガキ。注口：先端肥厚。基部に入組三又文。底部：丸底。	口縁部ミガキ。体部ナデ		注口内径1.0cm 胎土分析006	12.2	丸底	10.8	北東-土器 4644
91	121	1	V L45 P4581 プロック4052-2	TR1-5層	注口	晩期1b	外面：注口周囲に沈線文。充真縄文LR。体部・底部ミガキ。注口：先端肥厚。基部に沈線文と柱状三又文。底部：丸底。	ナデ		胎土分析007	—	丸底	8.5	北東-土器 4645
—	121	2	V K46 P4561・P4562 プロック4051-1	TR1-5層	壺	晩期前葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部ナデ。体部～底部にLR縄文。底部：低平な高台。	ナデ		胎土：砂粒	9.5	9.4	30.0	北東-土器 4686
—	121	3	V L46 P4567 プロック4051-2	TR1-5層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部にLR縄文。器面磨滅。	ナデ	炭化物(外面)		(32.0)	—	(29.3)	北東-土器 4685
—	122	1	V J48 P4587・P4589 ・P4590 プロック4055	TR3-d～e層	鉢	後期7-4	波状口縁(波頂部面側に突起。残存3)。口唇：面取。外面：口縁形状に沿って刻目列。口縁突起下に縦長貼瘤(頂部刻目数本)。入組文。沈線間に刻目列2条。2個一組の貼瘤。入組文。縦間に刻目列2条。貼瘤(頂部刻目1本)。LR縄文(磨消)。体部ナデ。	ナデ	外面スス	貫通孔2個一組	(31.0)	—	—	北東-土器 4792
—	122	2	V J48 P4588 プロック4055	TR3-d～e層	壺	後期後葉～晩期前葉	外面：体部にLR縄文。底部ナデ。底部：低平な高台。	ナデ	内底面・外面スス	胎土：砂粒	—	9.4	(15.2)	北東-土器 4794
92	122	3	V J48 P4587・P4590 プロック4055	TR3-d～e層	鉢	晩期前葉	平口縁。二山突起残存1単位。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～底部にLR縄文。底部：高台。	ナデ	内・外面スス	胎土分析003	(16.0)	5.8	14.6	北東-土器 4793
92	122	4	V J48 P4585 プロック4055	TR3-d～e層	注口	後期7-4	平口縁。突起4単位(残存3単位。大突起の間に小突起2個)。口唇：面取。外面：口縁形状に対応した上向きの弧線文。頸部と体部の境に横位沈線3条(LR縄文充填)。沈線上に縦長貼瘤4単位(頂部刻目1本)。ミガキ。注口：沈線。貼瘤3個(基部の貼瘤は縦長で頂部刻目1)。底部：高台。	口縁部ミガキ。体部ナデ	外面・底面スス	注口内径0.9cm 胎土分析004	9.2	3.2	16.6	北東-土器 4799
—	122	5	V J・K47・48 P4595 プロック4056	TR3-e層	注口	後期7-4	外面：頸部・体部に文様帯。沈線。貼瘤。LR縄文充填。ミガキ。注口：欠損。基部に貼瘤3個。底部：高台。	ナデ	注口欠損部にア スファルト	胎土：砂粒 注口内径1.0cm	—	2.5	15.8	北東-土器 4002
—	122	6	V L47 P4596・P4598 プロック4057	TR2-e層	深鉢	後期後葉～晩期前葉	外面：体部下～底部にLR縄文。体部下半一部ケズリ。底部：高台。	ナデ	炭化物・スス(外面)		—	7.0	(13.6)	北東-土器 4791
—	122	7	V L47 P4596・P4597 プロック4057	TR2-e層	鉢	晩期1a	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁形状に沿った沈線文。入組文(入組文内に縦位沈線)。磨消。体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(内面) 外面スス		—	—	—	北東-土器 4790
—	122	8	V L47 P4596・P4597 プロック4057	TR2-e層	壺	晩期1b	外面：口縁部と体部の境に隙帯。隆帯上に沈線と短沈線交互。口縁部ミガキ。体部にLR縄文。	ナデ	外面赤彩。内面 体部～底面に黒 褐色斑状付着物		—	—	(22.3)	北東-土器 4787
—	122	9	V L47 P4596・P4598 プロック4057	TR2-e層	注口	晩期1b	外面：ミガキ。	口縁部ミガキ。 頸部～体部ナデ		体部最大径 13.4cm	—	—	—	北東-土器 4786
92	123	1	V J47 P4625 プロック4058	TR2-2層	台付鉢	晩期1a	平口縁。大小の一山突起を交互に配列(大・小各8単位)。口唇：面取。外面：2条の横位沈線間に入組文。磨消縄文LR。体部下半～台部ナデ。底部：台。	ナデ	内・外面スス		20.0	9.2	20.2	北東-土器 4801
—	123	2	V J47 P4600 プロック4058	TR2-2層	台付深鉢	晩期1a～1b	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部ミガキ。底部：台(欠損)	ミガキ	炭化物(内・外面)		16.8	5.2	6.8	北東-土器 4007
92	123	3	V M45 P4602 プロック4060	TR5-2層	壺	晩期3	平口縁。突起1単位(B突起2個一組)。口唇：面取なし。外面：沈線間に沈線と刺突による半磨片文。縦長突起(頂部刻目1本)。沈線による雲形文。磨消。頸部ミガキ。口縁部と体部下～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ			7.4	5.8	12.8	北東-土器 4809

表13 北東捨場地区 土器観察表(11)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	123	4	VL・M17 P4604・P4605 ブロック4061	TR2-エ層	鉢	晩期1b	平口縁。突起推定4単位(2単位残存。二山状台形突起か)。口唇：刻目。外面：口縁突起下に横位沈線化した入組三又文。入組文。三又文。横位沈線1条を挟み2段構成。横位沈線2条。縄文地施文。LR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(30.0)	—	—	北東-土器 4810
92	123	5	VL47 P4605 ブロック4061	TR2-エ層	台付鉢	後期8	平口縁。台形突起推定7・残存6単位(頂部刻目1本)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁形状に沿った上向き凸線文。横位沈線1条。沈線文。磨消縄文。丸。底部下半・台部ナデ。底部：台。	ナデ	口縁付近にス		14.0	6.2	12.8	北東-土器 4822
—	123	6	VL47 P4605 ブロック4061	TR2-エ層	注口	晩期1a	平口縁。外面：口縁部～底部ナデ。注口：三又文。基部に二袋状の膨らみ。底部：丸底。	ナデ			(11.0)	丸底	(19.5)	北東-土器 4825
—	123	7	VL・M17 P4604・P4605 ブロック4061	TR2-エ層	鉢	晩期1b	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：横位沈線1条。入組文。横位沈線2条。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(32.0)	—	—	北東-土器 4823
—	124	1	VM46 P4608 ブロック4062-1	TR1-4層	鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部ナデ。体部上半ケズリ(縦位)。粘土紐接合残存。	ケズリ		胎土：砂礫	(17.0)	—	(13.0)	北東-土器 4835
—	124	2	VM46 P4618 ブロック4062-2	TR1-4層	深鉢	後期後葉 ～晩期前葉	外面：体部にLR縄文。底部：高台か(欠損)。	ナデ	内面ス	胎土：砂粒	—	7.8	(18.3)	北東-土器 4916
—	124	3	VM46 P4611 ブロック4062-2	TR1-4層	深鉢	後期後葉 ～晩期	平口縁。口唇：部分的に面取。外面：口縁部～体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(31.0)	—	—	北東-土器 4914
—	124	4	VM46 P4612 ブロック4062-2	TR1-4層	鉢	晩期3	平口縁。B突起16単位(残存6単位)。口唇：刻目か。外面：横位沈線3条(上位3条の沈線間に上下交互に数個一組の刻目列)。文様帯地文なし。LR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(26.0)	—	—	北東-土器 4946
—	124	5	VM46 P4619 ブロック4062-2	TR1-4層	鉢	晩期3	平口縁。口唇：押圧状の刻目。外面：横位沈線4条(沈線間に上下交互に5個一組の刺突列)。口縁部ナデ。縄文地施文。体部にLR縄文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		(24.0)	—	—	北東-土器 4938
—	124	6	VM46 P4611 ブロック4062-2	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。B突起残存1単位。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	内・外面ス		26.4	8.2	28.0	北東-土器 4915
—	124	7	VM46 P4614・P4616 ブロック4062-2	TR1-4層	深鉢	晩期	平口縁。突起1単位(B突起3個一組)。口唇：面取なし。外面：粘土紐接合痕残存。口縁部～体部ケズリ。底部：低平な高台。	ナデ	内・外面ス		24.2	8.0	(28.0)	北東-土器 4941
—	125	1	VM46 P4615 ブロック4062-2	TR1-4層	鉢	晩期2～3	平口縁。B突起12単位(残存9単位)。口唇：刻目。外面：横位沈線4条(上位2条の沈線間に退化した半歯状文。肩部に突起1箇所(側面に沈線)。文様帯地文なし。LR縄文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		13.0	—	—	北東-土器 4923
—	125	2	VM46 P4616 ブロック4062-2	TR1-4層	台付鉢	晩期2～3	外面：底部にLR縄文。底部：台(端部肥厚・肥厚部LR縄文。端部突起・B突起状2個一組1単位)。台部ナデ。	ナデ	炭化物(外面・台内部)		—	11.2	—	北東-土器 4928
—	125	3	VM46 P4617 ブロック4062-2	TR1-4層	台付鉢	晩期2～3	平口縁。B突起残存1単位。口唇：刻目。外面：退化した半歯状文。頸部と体部の間に横位沈線3条。肩部に突起1箇所。文様帯地文なし。体部にLR縄文。底部：台(端部肥厚・肥厚部LR縄文)。台部ナデ。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		14.6	7.4	14.0	北東-土器 4944
92	125	4	VM46 P4611・P4617 ブロック4062-2	TR1-4層	台付鉢	晩期2～4	外面：体部にLR縄文。台部ミガキ。底部：台(端部肥厚・肥厚部LR縄文)。	ナデ	内・外面ス		—	11.2	15.8	北東-土器 4945
—	125	5	VM46 P4612 ブロック4062-2	TR1-4層	台付鉢	晩期2～4	外面：体部下半にLR縄文。台部ナデ。底部：台(沈線1条。端部肥厚)。	ナデ	炭化物(外面)		—	9.5	(6.8)	北東-土器 4948
92	125	6	VM46 P4611 ブロック4062-2	TR1-4層	鉢	晩期3	平口縁。口唇：連続する刻目。口縁が『く』の字状に内傾。外面：横位沈線3条(上位2条の沈線に上下交互に5～6個一組の刻目列)。文様帯地文なし。体部上半にLR縄文。口縁部ミガキ。	ナデ	炭化物(内・外面)	北東-土器4615 と同一個体。	—	—	—	北東-土器 4913



表13 北東捨場地区 土器観察表(12)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	125	7	V46 P4615 プロック4062	TR1-4層	鉢	晩期3	平口縁。B突起残存2単位。口唇：刻目。外面：横位沈線3条(上位2条の沈線に上下交互に6〜7個一組の刺突列)。文様帯地文なし。体部にL形文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		(13.0)	—	—	北東-土器 4921
—	125	8	V46 P4616 プロック4062	TR1-4層	鉢	晩期3	平口縁。B突起残存4単位。口唇：刻目。外面：横位沈線5条(沈線間に上下交互に9〜13個一組の刻目列)。肩部に突起1箇所。文様帯地文なし。体部にL形文。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		(25.0)	—	—	北東-土器 4926
—	125	9	V46 P4613 プロック4062	TR1-4層	鉢	晩期3	連続した三又状の抉りにより装飾的な口縁を作出。外面：横位沈線4条(沈線間に上下交互に8〜9個一組の刻目列)。文様帯地文なし。体部にL形文。口縁部ナデ。	ナデ。口縁部に沈線1条	炭化物(内・外面)	北東-土器4728と同一個体。	(26.0)	—	—	北東-土器 4929
—	125	10	V46 P4622 プロック4062	TR1-4層	台付鉢	晩期3	平口縁。B突起残存5単位。口唇：刻目。外面：口縁部に横位沈線3〜4条(上位3条の沈線間に上下交互に数個一組の刺突列)。肩部に2個一組突起1箇所(1個欠損)。文様帯地文なし。体部にL形文。底部：台(ナデ。端部肥厚・肥厚部L形文)。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(外面)		(10.0)	(5.2)	8.3	北東-土器 4932
—	125	11	V46 P4624 プロック4063	TR2-2層	深鉢	後期後葉 〜晩期	平口縁。口唇：面取。外面：口縁部〜体部にL形文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(29.0)	—	—	北東-土器 4840
—	126	1	V46 P4635・P4636 プロック4066	TR1-4層	鉢	晩期3	口縁に連続するB突起残存9単位。口唇：面取なし。外面：横位沈線3条(沈線間に上下交互に数個一組の刻目列)。文様帯地文なし。体部上半にL形文。	ナデ。口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		12.8	—	—	北東-土器 4886
—	126	2	V46 P4639 プロック4066	TR1-4層	鉢	晩期3	連続する三又状の抉りにより装飾的な口縁を作出。外面：横位沈線2条。文様帯地文なし。体部上半にL形文。	ミガキ	炭化物(内・外面)		(15.0)	—	—	北東-土器 4898
—	126	3	V46 P4635 プロック4066	TR1-4層	鉢	晩期3	平口縁。B突起残存4単位。口唇：刻目。外面：横位沈線4条(上位2条の沈線内に上下交互に5個一組の刻目列)。肩部に突起1箇所。文様帯地文なし。体部にL形文。	ナデ。口縁部に沈線1条	炭化物(内・外面)		(13.0)	—	—	北東-土器 4903
—	126	4	V46 P4635 プロック4066	TR1-4層	台付鉢	晩期3	平口縁。B突起1単位残存。口唇：刻目。外面：横位沈線3条(上位1条の沈線内に3個一組の刺突列)。文様帯地文なし。体部L形文。底部：台(端部肥厚・肥厚部L形文)。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内・外面)		(12.0)	6.0	12.3	北東-土器 4906
—	126	5	V46 P4636 プロック4066	TR1-4層	台付鉢	晩期中葉か	外面：体部にL形文。	ミガキ			—	—	—	北東-土器 4880
—	126	6	V46 P4641 プロック4066	TR1-4層	浅鉢	晩期3	平口縁。外面：沈線間に刻目列1条。横位沈線2条。彫去による雲形文。磨消(L形文)。	ミガキ	赤形(内・外面)		(19.0)	—	—	北東-土器 5306
92	126	7	V46 P4637 プロック4066	TR1-4層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：刻目列1条。横位沈線3条。彫去による雲形文。横位沈線2条。磨消。L形文。磨消部ミガキ。底部：凹底。	ミガキ。底面に凹形の凹み	内面に赤形・黒斑		19.7	4.0	6.1	北東-土器 4887
—	126	8	V46 P4636・P4638 プロック4066	TR1-4層	壺	晩期中葉	平口縁。突起1単位か(B突起2個一組。口唇：刻目。沈線1条。外面：ミガキ)。	ミガキ	赤形(内・外面)		(23.0)	—	—	北東-土器 4884
—	126	9	V46 P4636・P4638 プロック4066	TR1-4層	鉢	晩期3	外面：横位沈線2条。2個一組突起1単位残存。彫去による雲形文。横位沈線3条。文様帯地文なし。体部下半〜底部ミガキ。底部：凹底。	ミガキ	内外面に赤形・黒斑		—	5.6	(9.3)	北東-土器 4883
—	126	10	V47 P4642 プロック4067	TR2-2層	深鉢	後期後葉 〜晩期前葉	平口縁。口唇：面取。外面：口縁部〜体部上半にL形文。底部：高台	ナデ	炭化物(内・外面)		(26.0)	—	—	北東-土器 4856
—	127	1	V45 P4647 プロック4069	TR1-7上面	深鉢	後期後葉 〜晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：L形文。	ナデ	炭化物(外面)		(29.0)	—	—	北東-土器 4950
—	127	2	V45 P4645 プロック4069	TR1-7上面	深鉢	後期後葉 〜晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部〜体部にL形文。	ナデ	外面ス		(41.5)	—	(43.2)	北東-土器 4954

表13 北東捨場地区 土器観察表(13)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
93	127	3	VL45 P4650 プロック4070	TR1-5層	台付鉢	晩期1a	小波状口縁。口唇:面取なし。外面:口縁形状に対応した上向きの2重の弧線文。沈線間に短沈線1条。入組文。沈線間に短沈線1条。磨消縄文。体部にLR縄文。底部:台。台部ナデ。	ナデ	炭化物(内外面)		17.2	8.2	19.4	北東-土器 4983
—	127	4	VM47 P4653 プロック4071	TR1-4.5層	注口	晩期1b	外面:注口周囲に沈線文。体部~底部ミガキ。注口:基部に玉胞三叉文。底部:丸底。	ミガキ		注口内径0.9cm	—	丸底	(7.6)	北東-土器 4006
—	128	1	VL45 P4654 プロック4072	TR1-5層	深鉢	後期後葉~晩期	平口縁。口唇:面取。外面:口縁部~体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		(26.0)	—	—	北東-土器 4963
—	128	2	VL45 P4656 プロック4072	TR1-5層	鉢	晩期1b	小波状口縁。口唇:面取なし。外面:横位沈線1条。沈線による入組文と三角形文。沈線間に短沈線列1条。縄文地施文(一部磨消)。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(26.0)	—	—	北東-土器 4960
—	128	3	VL45 P4656 プロック4072	TR1-5層	鉢	晩期1b	小波状口縁。外面:横位沈線1条。沈線文(弧線文)。横位沈線1条。磨消。体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(20.0)	—	—	北東-土器 4962
—	128	4	VL46 P4663 プロック4074	TR2-2層	深鉢	後期後葉~晩期	平口縁。口唇:部分的に面取。外面:体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)	貫通孔2個一組	(29.0)	—	—	北東-土器 4980
—	128	5	VL46 P4661・P4663 ・P4664 プロック4074	TR2-2層	鉢	晩期1a	小波状口縁。外面:横位沈線1条。入組文。沈線間に短沈線1条。磨消。体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	北東-土器 4964
93	128	6	VL46 P4669 プロック4075	TR1-6~7層	深鉢	晩期	平口縁。口唇:面取なし。外面:口縁部~体部にLR縄文。	ナデ	外面スス		(32.0)	(24.5)	—	北東-土器 5032
93	128	7	VL46 P4665 プロック4075	TR1-6~7層	台付鉢	晩期1a	小波状口縁。台形突起推定1単位(残存1単位。頂部押圧)。口唇:面取なし。外面:2条の沈線間に沈線文(部分的に三叉文)。部分的に磨消縄文。体部にLR縄文。底部:台。台部ナデ。	ナデ	外面スス		15.4	7.5	15.0	北東-土器 5035
—	128	8	VK47 P4673 プロック4076	TR2-2層~ TR3-d2層	鉢	晩期1a	平口縁。二山状台形突起残存1単位。口唇:面取(平坦)。外面:横位沈線2条。入組文(入組文内に縦位の短沈線)。三叉文(入組文に接続)。磨消縄文LR。体部下半ナデ。	ナデ	炭化物(内外面)		—	—	—	北東-土器 5001
93	129	1	VK47 P4675 プロック4078	TR2-e層と TR3-e層の境	壺	晩期1b~2	平口縁。口唇:外側に肥厚(肥厚部LR縄文)。外面:沈線文。磨消(LR縄文)。頸部ミガキ。底部:丸底。	ナデ	赤彩(外面) 口縁~頸部内側に赤色顔料付着	長軸方向の口縁口縁下に貫通孔2個一組	—	丸底	(11.6)	北東-土器 4020
93	129	2	VM46 P4683 プロック4080	TR1-4.5~1-5層	壺	晩期前葉	平口縁。口唇:面取なし。外面:頸部ナデ。体部LR縄文。底部:低平な高台(底面ケズリ)。	ナデ		胎土分析012	(9.0)	6.8	20.2	北東-土器 4008
93	129	3	VM46 P4682 プロック4080	TR1-4.5~ TR1-5層	注口	晩期1b	外面:頸部と体部の境に横位沈線。ミガキ。注口:欠損。基部に三叉文と沈線文。底部:丸底。	ナデ		胎土分析011	—	丸底	(10.2)	北東-土器 4005
—	129	4	VK47 P4685・P4691 プロック4081	TR3-e層と TR3-f層の境	鉢	後期8	平口縁。二山突起と2個一組の小突起を交互に配列。二山突起は頂部が尖るものと丸いものが交互。口唇:面取(平坦)。外面:二山突起に沈線文と貼部。横位沈線2条。入組文。横位沈線2条。2個一組の突起(口縁二山突起に対応して配置)。磨消。体部にLR縄文。	ナデ	外面スス		(35.0)	—	(34.0)	北東-土器 5053
—	129	5	VK48 P4686 プロック4081	TR3-e層と TR3-f層の境	深鉢	後期後葉~晩期	平口縁。口唇:部分的に面取(平坦)。外面:口縁部~体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	北東-土器 5042
94	129	6	VK47 P4688 プロック4081	TR3-e層と TR3-f層の境	壺	晩期1a~1b	外面:頸部と体部の境に横位沈線2条。突起残存1単位。体部上半にLR縄文。	ナデ	赤彩(外面) 内面に赤色顔料付着	北東-土器5087と同一形体。赤色顔料容器か。	—	—	—	北東-土器 5040

表13 北東拾場地区 土器観察表(14)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	129	7	Vk48 P4687 フロック4081	TR3-e層と TR3-f層の境	注口	晩期1aか	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部ナデ。注口欠損。底部：丸底。	ナデ		注口内径0.8cm	(5.2)	丸底	11.2	北東-土器 4018
—	129	8	Vk47 P46840-一部 フロック4081	TR3-e～f層の境	香戸	後期7-4	外面：頂部に動物頭部を模した突起がつく。貫通孔1箇所。透かし孔。	ナデ			—	—	—	北東-土器 5334
94	130	1	Vk47 P4698 フロック4082	TR3-e層	深鉢	後期7-4	平口縁。一山突起推定12(残存5単位。高低の突起交互)。口唇：面取(平坦)。外面：低い口縁突起に下向き弧線文、高い口縁突起に突起形状に沿った沈線文。横位沈線3～4条。口縁突起に対応した位置に円形粘着(3段。高い口縁突起下は2個一組)。入組文。横位沈線3～4条。磨消縄文LR。底部下半～底部ナデ。底部：高台。	ナデ	炭化物(内外)		31.2	7.4	31.5	北東-土器 5057
—	130	2	Vk47 P4695・P4696 フロック4082	TR3-e層	深鉢	後期後葉 ～晩期前葉	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～底部にLR縄文。底部ナデ。底部：高台。	ナデ	内・外面スス		(26.6)	9.4	28.7	北東-土器 5074
—	130	3	Vk47 P4699 フロック4082	TR3-e層	鉢	後期8	平口縁。台形突起(6単位中残存4単位。頂部に刻目)と一山突起(6単位残存。頂部に円形利突)が交互に配列。外面：口縁台形突起を繋ぐ上向きの弧線文。入組文。横位沈線1条。磨消縄文LR。底部ナデ	ナデ	炭化物(内外)		17.8	—	—	北東-土器 5073
—	130	4	Vk47 P4702 フロック4082	TR3-e層	深鉢	後期後葉 ～晩期	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～体部上半にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	北東-土器 5058
—	130	5	Vk47 P4700 フロック4082	TR3-e層	深鉢	後期後葉 ～晩期前葉	外面：ナデ。底部：低平な高台。器面磨滅。	ナデ	炭化物(内面)	小継少量混入	—	8.5	—	北東-土器 5075
94	130	6	Vk47 P4696 フロック4082	TR3-e層	壺	後期7-4	平口縁。2個一組の突起4単位。口唇：沈線1条。外面：口縁端部に沈線で区画された縄文帯1条。口縁部と体部の境に沈線と区画された縄文帯1条。貼層2単位残存。ナデ。	ナデ			9.2	—	—	北東-土器 5091
—	130	7	Vk47 P4699 フロック4082	TR3-e層	壺	後期後葉 ～晩期	外面：体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	北東-土器 5065
—	130	8	Vk47 P4703 フロック4082	TR3-e層	注口	後期7-4	外面：頸部に沈線文。円形粘着(頂部刻目1本)。LR縄文充填。口縁部、体部ミガキ。注口：基部に一袋状の膨らみと沈線。底部：高台。	ナデ	炭化物(外面)		—	(2.2)	11.4	北東-土器 5056
94	131	1	Vk48 P4704・P4705 フロック4083	TR3-e層と TR3-f層の境	台付鉢	後期7-4	平口縁。円柱状突起推定8単位(残存4単位)。突起基部に隆帯(隆帯に縄文、内外面に粘着各1個)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁直下に刻目列1条。沈線部に刻目列1条。貼層(頂部に縦位の刻目1本)。入組文(部分的に三叉文)。LR縄文(磨消)。体部下半～台部ミガキ。底部：台	ナデ	内・外面スス	胎土分析001	26.0	8.6	18.4	北東-土器 5084
94	131	2	Vk48 P4705 フロック4083	TR3-e層と TR3-f層の境	壺	晩期1a～1b	外面：突起4単位(横位に貫通孔。1つの突起に2つ孔をあげたものがあるが1つは貫通していない)。LR縄文。底部：低平な高台。	ナデ	体部内外面に粘着 色色塗膜状付着物	胎土分析002	—	6.8	(20.6)	北東-土器 5089
—	131	3	Vk47 P4708 フロック4084	TR3-e層と TR3-f層の境	注口	後期7-4	外面：頸部に沈線文。沈線の上に交互に貼層(縦長)。部分的にLR縄文充填。ミガキ。底部：高台。	ナデ		注口内径0.9cm	—	3.2	(15.5)	北東-土器 4022
94	131	4	Vk47 P4710 フロック4084	TR3-e層と TR3-f層の境	注口	後期7-4	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：沈線。貼層。充填縄文。口縁部～底部ミガキ。注口：欠損。基部に二袋状の膨らみ(二袋が一体化)。底部：高台か。	ナデ	外面スス		(6.4)	丸底	15.5	北東-土器 5016
—	132	1	Vk45 P4323	TR1-a～b層	深鉢	晩期中葉 ～後葉	外面：体部にLR縄文。	ミガキ	炭化物(外面)		—	—	(19.8)	北東-土器 5191
—	132	2	Vk46 特4001	TR1-a層	浅鉢か	晩期3	外面：彫法による雲形文か。底部直上に横位沈線文。底部：平底。底面に彫法による雲形文。磨消縄文LR	ナデ	赤形(内外面)		—	11.0	—	北東-土器 5332
—	132	3	Vk45 P4046	TR1-1層	壺	晩期1a～1b	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：口縁端部に沈線で区画された縄文帯。口縁部と体部の境に隆帯。隆帯上に横位短沈線と刺突交互。口縁部ミガキ。体部上半に縄文LR。	ナデ			(13.0)	—	(19.0)	北東-土器 5151

表13 北東捨場地区 土器観察表(15)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	132	4	V・M46 P4117	TR1-c層	壺	晩期中葉 ～後葉	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部ナデ。体部にL縷文。底部：平底。外側に張り出す。	ナデ			6.7	(7.4)	14.5	北東-土器 5130
—	132	5	V・L46 P4143	TR1-2～2-a層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：部分的にL縷文。器面磨滅。	ナデ	炭化物(外面)		28.0	—	—	北東-土器 5150
—	132	6	V・L46 P4147	TR1-2～2-b層	壺	晩期中葉 ～後葉	平口縁。外面：体部上半に縷文(RL)。口縁部ナデ。	ナデ 口縁に沈線1条		上半のみ残存	9.2	—	(10.2)	北東-土器 5210
95	132	7	V・M47	TR1-4～4.5層	鉢	晩期1b	平口縁。口唇：刻目。外面：入組三又文か。文様帯地文なし。	ナデ	色調：白色		—	—	—	北東-土器 5315
95	132	8	V・M46	TR1-4～4.5層	台付皿	晩期3	裝飾的な口縁(平口縁)に三又の挟りを通したB突起様の裝飾を作出。外面：口縁直下に横位沈線2条。彫刻による雲形文。横位沈線1条。底部：台(沈線文。透かし孔。横位と縦位のB突起状の突起を交互に配置)。	ミガキ 体部上半に沈線2条	赤彩(内・外面)		(23.0)	—	—	北東-土器 5307
—	132	9	V・M46	TR1-4～4.5層	皿	晩期3	裝飾的な口縁。突起1箇所残存。外面：雲形文。横位沈線1条。文様帯地文なし。体部下半～底部ミガキ。底唇：張り出し状の脚1単位残存	ナデ。体部と底部の境に沈線1条。	赤彩(内・外面)		(22.0)	—	—	北東-土器 5308
95	132	10	V・L・M45・46 P4681	TR1-4.5層	鉢	晩期2	平口縁。B突起残存する単位。口唇：面取なし。L縷文。外面：沈線と刻目にによる半唐文。文様帯地文なし。体部上半にL縷文。	ナデ		色調：白色	(18.0)	—	—	北東-土器 5316
—	133	1	V・L46 P4694	TR1-4.5～1-5層	注口	晩期1b	外面：体部～底部ミガキ。注口：基部に彫らみ。玉拍三又文。底唇：丸底。	ナデ		注口内径0.7cm	—	丸底	(8.8)	北東-土器 4015
95	133	2	V・L・M45・46 P4681	TR1-4.5～1-7層	注口	後期7-4	外面：隆帯。隆帯上にL縷文。隆帯の連繫部に扁平な粘附。粘附上に押圧。注口：基部に一袋状の彫らみ。沈線。底唇：高台。	ナデ	赤色顔料付着		—	1.6	(10.1)	北東-土器 4019
—	133	3	V・M46 P4680	TR1-4.5～7層	注口	晩期1a～1b	外面：ミガキ。注口：基部に一袋状の彫らみ。沈線。三又文。底唇：丸底。	口縁部～頸部ミガキ。体部ナデ	赤彩(外面、内面 口縁部～頸部)		—	丸底	(11.0)	北東-土器 5187
—	133	4	V・L45 P-x	TR1-5層	注口	晩期1b	平口縁。口唇：面取。外面：口縁部横位沈線2条。口縁部～頸部ミガキ。注口周囲にL縷文。体部下半～底部磨滅。注口欠損。底唇：丸底。	ミガキ			(15.0)	丸底	10.2	北東-土器 5293
—	133	5	V・M47 P-x	TR1-5～3-a層	注口	晩期1a～1b	外面：体部～底部ミガキ。注口：基部側面に三又状の沈線。底唇：丸底。	ナデ		注口内径0.7cm	—	丸底	(6.2)	北東-土器 4016
—	133	6	V・M47 P-x	TR1-5～3-b層	注口	晩期1b	外面：頸部～底部ミガキ。注口欠損。底唇：丸底。地文なし。	ナデ		注口内径0.7cm	—	丸底	8.6	北東-土器 4026
—	133	7	V・L・M45 P-x	TR1-5～1-8層	注口	晩期1a～1b	外面：体部下半～底部ミガキ。注口欠損。底唇：丸底。	ナデ	炭化物(外面) 口縁部および注口欠損部にアスファルト		—	丸底	(7.5)	北東-土器 4010
—	133	8	V・L45 P-x	TR1-5～1-8層	注口	晩期1a～1b	外面：口縁部～底部ミガキ。注口：基部に彫らみ。沈線。底唇：丸底。	ミガキ		注口内径0.7cm	(7.0)	丸底	7.6	北東-土器 4017
—	133	9	V・L46 P-x P4015付近	TR1-6～7層	深鉢	後期後葉 ～晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～体部上半にL縷文。	ナデ	外面スス	胎土：砂粒含む	(32.0)	—	(19.0)	北東-土器 5102
95	134	1	V・L45 P4707	TR1-7層	注口	後期後葉	外面：体部上半～底部ミガキ。注口：基部に二袋状の彫らみ(頂部に刻目各1本)。底唇：高台。	ナデ		注口内径0.9cm	—	2.2	(10.6)	北東-土器 4001
95	134	2	V・L47 P4011	TR2-1層	台付鉢	晩期4	平口縁。口唇：刻目。外面：口縁部横位沈線3条。2個一組突起4単位。文様帯地文なし。体部にL縷文。底唇：台(ナデ。端部に横位沈線2条)。	ナデ	炭化物(内・外面) ただし台部・内面 底部には炭化物 付かない		15.2	9.2 (台部)	11.7	北東-土器 5203
—	134	3	V・L46 P4478	TR2-1層	壺	晩期前葉	外面：磨滅。底唇：低平な高台。	ナデ			—	4.8	(13.3)	北東-土器 5139
—	134	4	V・L47 P4495	TR2-b層	浅鉢	晩期3か	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部ナデ。底唇：丸底(径3.4cmの円形沈線あり)。	ナデ	赤色顔料(内・ 外面)		19.5	丸底	6.4	北東-土器 5219
—	134	5	V・L46 P-x	TR2-z層	不明	晩期2か	口縁に突起1単位。十字型・ハート型の透かしを持つ。沈線。地文なし。	ナデ			—	—	—	北東-土器 5333
—	134	6	V・K47 P4292	TR2-y層	深鉢	晩期前葉 ～中葉	小波状口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部にL縷文。底唇：平口縁。	ナデ	外面スス		—	8.6	30.6	北東-土器 5174

表13 北東拾場地区 土器観察表(16)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
95	134	7	Vk46 P4149	TR2-y層	深鉢	晩期	平口縁、突起1単位(B突起数個一組、2個残存)。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	内・外面ス		17.2	6.4	21.0	北東-土器 5109
—	134	8	Vk46 P4149	TR2-y層	台付鉢	晩期中葉	平口縁、口唇：刻目。外面：口縁部に横位沈線2条。文様帯地文なし。体部にLR縄文、台部ミガキ。底部：台(端部肥厚)。	ナデ	炭化物(外面)		(10.0)	5.8	10.3	北東-土器 5108
—	134	9	Vk47 P4166	TR2-y層	浅鉢	晩期3	平口縁、B突起1単位。口唇：面取なし。外面：口縁部～底部ミガキ。底部：丸底。	ミガキ	赤彩(内・外面)	塗膜分析 No.12 (赤色漆?層(ベングラ) 2層)	(16.0)	丸底	(5.5)	北東-土器 4033
—	134	10	Vk48 P4153	TR3-a層	深鉢	晩期4～5	平口縁、口唇：面取なし。外面：口縁部に横位沈線3条。2個一組突起4単位中2単位残存。文様帯地文なし。体部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内外面)		(19.0)	6.4	—	北東-土器 5254
—	134	11	Vk47 P4093	TR3-a層	台付鉢	晩期3～4	平口縁、口唇：刻目。外面：口縁部に横位沈線2条。文様帯地文なし。体部にLR縄文、台部ナデ。底部：台(端部突起1単位)。	ナデ	炭化物(内・外面)		13.0	(5.6)	13.1	北東-土器 5159
96	134	12	Vk47 P4196	TR3-c層	壺	晩期4	外面：口縁部と体部の境に横位沈線3条。2条一組の縦位沈線6単位。三叉文。体部半ばに横位沈線3条。縄文地文(LR/R非結束羽状縄文)。体部下半にLR縄文。底部欠損。	ナデ			—	—	—	北東-土器 4029
—	134	13	Vk47 P4446	TR3-c上層	壺	晩期3	平口縁、突起(鶏存3単位)。口唇：沈線。外面：横位沈線1条。頸部と体部の境に横位沈線3条。口縁部～底部ミガキ。底部：凹底。	ナデ	赤彩(外面、内面) 口縁～頸部		(5.6)	3.5	16.8	北東-土器 4009
—	135	1	Vk47・48	TR3-d層	香戸	後期後葉	頂部突起。外面：断面表現か。縄文LR。沈線。ナデ。	ナデ	赤彩(外面)	貫通孔1個	—	—	—	北東-土器 5322
—	135	2	Vk46	TR3-d2層	香戸	後期後葉か	頂部突起。外面：頂部に刺突。横位の貫通孔。沈線。ナデ。	ナデ	赤彩(外面)	穿孔1ヶ所	—	—	—	北東-土器 5323
96	135	3	Vk47 P4628	TR3-e層	注口	後期7-4	平口縁。一山突起6単位(鶏存3単位。頂部横位沈線1条)。口唇：面取なし。外面：口縁突起下に縦長貼輪。口縁形状に沿った沈線間に刻目列1条。頸部と体部の境に沈線2条(区画された縄文帯1条(LR縄文)、縦長貼輪(頂部刻目1本)。ミガキ。注口：基部に二袋状の膨らみ。底部：高台。	ナデ			(7.2)	1.5	14.2	北東-土器 5232
96	135	4	Vk46 P4670	TR3-e層	注口	後期7-4～8	平口縁。一山突起5単位。口唇：面取なし。外面：口縁に沈線。口縁突起下に貼輪。頸部と体部の境に沈線と貼輪(貼輪は口縁突起に対応して配置。2単位残存)。口縁部、体部、底部ミガキ。注口基部欠損。底部：高台。	口縁部ミガキ、体部ナデ			7.6	3.0	15.6	北東-土器 4032
—	135	5	Vk47 P4715	TR3-e層とTR3-f層の境	鉢	後期後葉～晩期	平口縁、口唇：面取(平坦)。外面：口縁部～体部ミガキ・ケズリ。	ミガキ			16.8	—	(13.0)	北東-土器 5214
96	135	6	Vk47 P4713	TR3-e層とTR3-f層の境	深鉢	後期後葉～晩期	平口縁、口唇：面取(平坦)。外面：LR縄文。	ナデ	炭化物(内外面)	土器内部から耳飾り(図98-15)出土。	20.6	—	—	北東-土器 5227
—	135	7	Vk47 P4714	TR3-e層とTR3-f層の境	台付鉢	後期7-4	波状口縁。波底部に縦長貼輪。外面：口縁形状に沿った刻目列と沈線各1条。波頂部下に沈線の刻目列で唯縄文を抽出。貼輪。沈線間に刻目列1条。入組文。LR縄文(磨消)。沈線間に刻目列2条。刻目のある突起7単位。体部下半～台部ミガキ。底部：台。	ナデ	内面ス		—	—	(19.1)	北東-土器 5282
96	135	8	Vk47 P4716	TR3-e層とTR3-f層の境	台付深鉢	後期7-4	平口縁。大小の突起9単位残存(大突起、刻目のある台形突起、突起下に貼輪。小突起、貼輪状)。口唇：面取(平坦)。外面：口縁部下に2条の刻目帯がめぐる。入組文。LR縄文(磨消)。沈線間に刻目列2条。刻目のある突起7単位。体部下半～台部ミガキ。底部：台。	ミガキ	内・外面ス		32.5	12.4	39.8	北東-土器 5107
—	136	1	Vk48 P4004	TR3-b層	鉢	晩期4	平口縁、口唇：刻目。外面：口縁に横位沈線3条。肩部に2個一組突起1単位残存(1つ欠損。頂部刻目)。文様帯地文なし。体部にLR縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(23.8)	—	—	北東-土器 5216
—	136	2	Vk48 P4004	TR3-b層	壺	晩期中葉～後葉	外面：体部～底部にLR縄文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内面)		—	6.2	(14.5)	北東-土器 5215
—	136	3	Vk48 P4295	TR5-1～2層	鉢	晩期2～3	平口縁、B突起(鶏存2単位)。口唇：刻目。外面：横位沈線4条。上位2条の沈線間に凹凸した半歯状文。文様帯地文なし。体部上にLR縄文。	ミガキ 口縁に沈線1条	炭化物(内外面)		16.0	—	—	北東-土器 4013
—	136	4	Vk45	TR5-3層	台付鉢	晩期1aか	平口縁。台形突起と一山突起を交互に配列か。口唇：面取。外面：口縁部にLR縄文。体部～台部ナデ。底部：台。	ナデ	外面ス		(20.8)	7.4	25.3	北東-土器 5291
96	136	5	Vk46・47 P4009	不明	鉢	晩期	平口縁、口唇：面取なし。外面：口縁部～底部に縄文LR。底部：平底。	ナデ	炭化物(内・外面)		16.3	5.0	13.9	北東-土器 5209



表13 北東拾場地区 土器観察表(17)

図版 番号	写真 図版 番号	写真 番号	出土地点 (取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備 考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号
96	136	6	VL45	TR1-4~4.5層	深鉢	晩期	平口縁。外面：LR縹文。	ナデ		粘土：砂粒 貫通1個 発泡土器	—	—	—	北東一土器 5317
—	136	7	VM・M46	TR1-a~b層	不明	晩期	外面：不明。	ナデ		発泡土器	—	—	—	北東一土器 5318
96	136	8	VL・M45・46	層位不明	不明	晩期	外面：LR縹文。	ナデ		発泡土器	—	—	—	北東一土器 5319
—	136	9	VL・M45・46	TR1-b~c層	不明	晩期	外面：LR縹文。	ナデ		発泡土器	—	—	—	北東一土器 5320
—	136	10	Vk47	III層	不明	晩期	外面：不明。	ナデ		発泡土器	—	—	—	北東一土器 5328
—	136	12	VM47	TR1-4.5~3-c 層	深鉢	上層d	平口縁。口唇：隆帯貼付により口縁端部肥厚。肥厚部に縹文LR、縹帯状の粘土紐貼付。外面：粘土紐貼付。縹文地施文(LR)	ナデ			—	—	—	北東一土器 5330
—	136	13	VM47	TR1-4.5~3-c 層	深鉢	上層d	波状口縁。口唇：隆帯貼付により口縁端部肥厚。外面：波頂部に突起。粘土紐貼付。地文なし。	ナデ	炭化物(内)		—	—	—	北東一土器 5331

表14 北東捨場地区 土製品観察表

図版番号	写真 図版	分類	出土位置	層位	取上番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理番号
97-1	137-1	土偶	トレンチ2-9	不明		(66)	(24)	3	17.8	中空。肩部。LR縄文。	北東土-4007
97-2	137-2	土偶か	VL47	TR3-c層	特-4007	(50)	(39)	2	22.1	中実。手づくね土偶。体部。粗雑。	北東土-4024
97-3	137-3	土偶	トレンチ5-1	TR5-1~2層	特-4012	(62)	(43)	10	21.2	中実。手足部B状突起。漆附着。	北東土-4023
97-4	137-4	土偶	トレンチ1-b	I層		(26)	(30)	30	26.1	中実。脚部か。無文。両端面にアスファルト附着。	北東土-4021
97-5	137-5	土偶	5ベルト-J	TR5-1層	土偶-X	(26)	67	16	35.8	中実。カッパ土偶。顔面なし。体部上半。	北東土-4022
97-6	137-6	土偶	VW46 1.5ベルト	TR1-3層	特-4032	(83)	(87)	4	111.8	中空。遮光器土偶。右腕部。横位沈線連続刺突。	北東土-4018
97-7	137-7	土製勾玉	VL46	TR1-5層	特-4028	(28)	15	14	6.0	無文。上部欠損。穿孔。焼成良好。	北東土-4036
97-8	137-8	土製品	ブロック4084内	TR3-e層	特-4033	16	16	12	3.8	貫通孔。周縁に刻み。赤色顔料塗布。	北東土-4039
97-9	137-9	土製品	Vk46	TR2-1~2-2層	特-4023	20	16	15	4.7	貫通孔。横位・斜位の沈線。全面赤色顔料塗布。	北東土-4038
97-10	137-10	土偶	VJ48	TR3-e層	特-4024	(60)	(36)	(17)	30.8	中実。肩部。LR縄文。	北東土-4026
97-11	137-11	土偶	ベルト3-7	TR3-e層	特-4031	(72)	(50)	36	122.5	中実。左脚部。LR縄文。赤色顔料塗布。アスファルト附着。	北東土-4019
97-12	137-12	土製品	Vk47	TR3-e層	P-4693	35	34	20	29.0	貫通孔。連続刺突。LR縄文。赤色顔料塗布。	北東土-4040
97-13	137-13	土偶	TR3トレンチ内	TR3-a2層	特-4002	56	34	10	17.4	粘土粒と沈線。赤色顔料塗布。	北東土-4008
98-14	137-14	耳飾り	VL47	TR3-c層		24	20	17	8.2	無文。	北東土-4033
98-15	137-15	耳飾り	写135-6土器内土壌		特-4034	15	14	11	1.2	端部刻目。赤色顔料塗布。写135-6土器内から出土。	北東土-4035
98-16	137-16	土製品	ブロック4032-1	TR1-4層	特-4016	(38)	6	6	1.5	棒状。片方だけ欠損。無文。	北東土-4037
98-17	137-17	焼成粘土塊	VJ47 ベルト3-3	TR3-a層とa2層の間	特-4015	41	30	17	12.7	無文。	北東土-4017
98-18	137-18	土偶	VL47	TR3-e層	特-4036	(92)	(45)	35	150.2	中実。体部の側縁部。赤色顔料の上面に赤色顔料塗布。	北東土-4020
98-19	137-19	焼成粘土塊	VL47 ベルト2.5	TR3-Z層		67	52	46	118.4	無文。酸化質。	北東土-4013
98-20	137-20	焼成粘土塊	トレンチ2-7	TR2-W~X層	特-X	44	43	26	19.1	無文。酸化質。	北東土-4016
98-21	137-21	焼成粘土塊	ベルト2.5-9	TR2-I層	S-X	21	12	11	2.3	無文。酸化質。	北東土-4014
98-22	137-22	円盤状土製品	VL46	TR2-Z層	P-X	52	50	5	19.0	鉢形土器の胴部片。R縄文。スス状炭化物附着。	北東土-4027
98-23	137-23	円盤状土製品	VL47	TR3-C層		45	47	7	15.5	鉢形土器の胴部片。R縄文。スス状炭化物附着。	北東土-4046
98-24	137-24	円盤状土製品	Vk47	TR3-a2~2-e層	P-X	40	42	5	15.6	深鉢形土器の胴部片。R縄文。スス状炭化物附着。	北東土-4031
98-25	138-25	円盤状土製品	ベルト3-7	TR3-A層	P-X	35	35	4	8.5	深鉢形土器の胴部片。LR縄文。スス状炭化物附着。	北東土-4030
98-26	137-26	円盤状土製品	ブロック4032-6	TR1-4層	特-4017	38	50	4	12.8	深鉢形土器の胴部片。LR縄文。スス状炭化物附着。	北東土-4032
98-27	137-27	円盤状土製品	Vk45	TR2-1~2-2層		34	33	6	8.1	鉢形土器の胴部片。LR縄文。スス状炭化物附着。	北東土-4047
-	136-11	粘土塊	Vk46	不明	-	6.1	6.0	1.6	36.0		北東土器S329
-	138-44	土偶	表探			48	30	25	18.4	中空。脚部。	北東土-4050

表15 北東捨場地区 ミニチュア・小型土器観察表

図版番号	写真図版	器種	出土位置	層位	取上番号	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	時期	備考	整理番号
98-28	138-28	注口	VM47 L.5<ベルト	TR1-5~3-e層	P-X	—	4.0	(4.5)	晩期前葉	外面：ナデ。底部：平底。内面：ナデ。注口部欠損。	北東土-4002
98-29	138-29	注口	L<ベルト ベルト1-3	TR1-4層	特4035	3.3	3.0	4.5	晩期前葉	外面：平口縁。ナデ。底部：丸底きみ。内面：ナデ。注口部欠損。	北東土-4003
98-30	138-30	鉢	VL46 プロック4030	TR1-4層	P4309	(10.0)	4.9	6.3	晩期中葉	外面：平口縁。外面：頸部と体部の境に横位沈線2条。体部に丸縄文。底部：平底。内面：ナデ。口縁に沈線1条。粗製。胎土分析018。	北東土-4059
98-31	138-31	深鉢	VL46	TR1-2~2-a層	P4146	9.7	4.1	9.4	晩期	外面：平口縁。外面：口縁部~底部にLR縄文。底部：平底。内面：ナデ。粗製。	北東土-4063
98-32	138-32	台付鉢	VK47 プロック4077	TR3-2層	P4674	(8.2)	3.8	7.7	晩期前葉	外面：小波状口縁。外面：口縁部~体部にLR縄文。底部：高台。内面：ナデ。粗製。	北東土-4062
99-33	138-33	深鉢	VL47 プロック4015	TR2-ウ層	P4161	(9.0)	—	(9.2)	晩期中葉	外面：平口縁に三叉状の枒りを施し連続したB突起様の装飾を作出。外面：横位沈線1条。横長突起(頂部刻目)。体部にLR縄文。内面：ナデ。口縁に沈線1条。炭化物(内・外面)。粗製。	北東土-4058
99-34	138-34	台付鉢	VL45	TR1-5~8層	P-X	8.8	5.0	7.6	晩期1b	外面：波状口縁12単位。正面に山突起を配置。外面：入組三又文。横位短沈線。体部にLR縄文。底部：台。台部ミガキ。内面：ナデ。炭化物(内・外面)。器内外面に黒漆を塗布。精製。	北東土-4064
99-35	138-35	台付鉢	VM46 プロック4052-4	TR1-4層	P4557	(3.7)	5.5	8.0	晩期3	外面：平口縁。一山突起残存1単位。口唇：連結する刻目。口縁肥厚(内)。外面：体部に丸縄文。底部：台。台部ナデ。内面：ナデ。炭化物(外面)。粗製。	北東土-4060
99-36	—	台付鉢	トレ1-2	TR1-7層	P-X	4.0	4.0	5.8	晩期	外面：平口縁。無文。	北東土-4051
99-37	138-37	浅鉢	VM46 プロック4066	TR1-4層	P4641	7.4	3.9	5.5	後期後葉~ 晩期	外面：平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁部~底部ナデ。底部：平底。内面：ナデ。粗製。	北東土-4054
99-38	138-38	壺	VL45 プロック15	TR1-4層	P4037	6.7	4.5	7.2	晩期3	外面：縦長貼帶1単位(頂部刻目1本)。体部~底部ミガキ。底部：丸底。内面：ミガキ。炭化物(内面)。胎土：粘土粒・横位沈線。粗製。最大径9.0cm。	北東土-4053
99-39	138-39	壺	VM・N46	TR1-c~1-7層	P-X	3.8	丸底	7.4	晩期前葉	外面：平口縁。口唇：面取なし。外面：頸部と体部の境に横位沈線1条。体部~底部にLR縄文。底部：丸底。内面：ナデ。貫通孔2個(対になるように1ヶ所ずつあり)。最大径5.8cm。	北東土-4056
99-40	138-40	壺	VM46 プロック4030	TR1-4層	P4312	6.7	4.0	8.6	晩期3	外面：平口縁。外面：頸部と体部の境に横位沈線2条。縦長貼帶(頂部凹み)。RL縄文。底部：凹底。内面：ナデ。底面が欠けている。精製。最大径10.5cm。胎土分析013。	北東土-4055
99-41	138-41	壺	ベルト2-4 VK-46	TR3-2層	P4718	—	5.3	(6.6)	晩期1a~1b	外面：頸部に短沈線(横位)。体部~底部にLR縄文。底部：平底。内面：ナデ。胎土：細砂多い。粗製。最大径7.1cm。	北東土-4052
99-42	138-42	壺	VM46 プロック4052-1	TR1-4層	P4526-2	—	2.5	(7.0)	晩期3	外面：頸部と体部の境に横位沈線2条。体部下半~底部ミガキ。底部：凹底。内面：ナデ。外面に赤色顔料付着。最大径6.6cm。	北東土-4057
99-43	138-43	注口	VK47 プロック4064	TR3-d~e層	P4650	8.0	3.5	9.6	晩期	外面：平口縁。外面：ナデ。注口欠損。底部：丸底。内面：ナデ。口部を欠損。粗製。	北東土-4061

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(1)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
104	5			4494	14 平場	旧SQ35	Ⅲ層	S-X	石皿	(159.0)	135.0	10.0	(2424.0)	安山岩	報告書Ⅵ第1編第2章第1節参照
139	1			1081	14 北東捨	VM45	Ⅲ層	S-X	石鏃	26.3	9.7	4.3	(0.8)	珧質頁岩	被熱表面剥落
139	2			1083	14 北東捨	VM46	TR1-b層	S-X	石鏃	24.6	14.7	4.9	1.2	珧質頁岩	
139	3			1531	14 北東捨	VM45	TR1-1~2層	S-X	石鏃	31.0	10.8	4.8	1.2	珧質頁岩	アスファルト
139	4			1548	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-4層	S-X	石鏃	(25.4)	9.9	3.8	(0.9)	珧質頁岩	アスファルト、基部欠損
139	5			1087	14 北東捨	VL46	TR1-4層	S-X	石鏃	37.4	15.5	4.0	1.5	珧質頁岩	
139	6			1088	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-4層	S-X	石鏃	40.7	12.1	6.2	2.3	珧質頁岩	
139	7			1530	14 北東捨	トレンチ1-2	TR1-4~5層	S-X	石鏃	43.3	14.0	4.7	2.0	珧質頁岩	アスファルト
139	8	100	6	1091	14 北東捨	VN46	TR1-4,5層	S-X	石鏃	45.6	16.5	4.2	2.0	珧質頁岩	アスファルト
139	9			1539	14 北東捨	トレンチ1-3~5 ブロック 4053-2	TR1-5層	S-X	石鏃	25.2	13.0	4.9	1.2	玉髄	アスファルト
139	10			1348	14 北東捨	トレンチ1-5~7	TR1-5層	S-X	石鏃	(29.9)	11.9	4.0	(1.5)	玉髄	アスファルト
139	11			1522	14 北東捨	トレンチ1-5~7	TR1-5層	S-X	石鏃	35.0	13.0	4.4	1.4	珧質頁岩	アスファルト
139	12			1526	14 北東捨	トレンチ1-3~5 ブロック 4053-1	TR1-5層	S-4274	石鏃	37.4	16.9	6.7	3.3	珧質頁岩	
139	13			1550	14 北東捨	トレンチ1-3~5 ブロック 4053-2	TR1-5層	S-4276	石鏃	(37.5)	14.7	5.0	(1.9)	珧質頁岩	アスファルト
139	14	100	1	1090	14 北東捨	トレンチ1-2~3 ブロック 4031-1	TR1-5層	S-X	石鏃	37.9	16.6	5.3	2.5	珧質頁岩	
139	15			1525	14 北東捨	トレンチ1-3 ブロック 4073	TR1-6~7層	S-4320	石鏃	39.4	17.9	5.3	2.6	珧質頁岩	裏面加工少ない
139	16			1080	14 北東捨	トレンチ1-2	TR1-7層	S-X	石鏃	22.0	11.3	3.2	0.6	珧質頁岩	
139	17			1537	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-c層	S-X	石鏃	30.8	4.1	4.1	0.9	珧質頁岩	アスファルト
139	18			1084	14 北東捨	トレンチ1-8	TR1-C層	S-X	石鏃	33.1	14.6	5.0	2.3	珧質頁岩	
139	19			1439	14 北東捨	トレンチ1-10	TR1-c~ 1-7層	S-X	石鏃	48.8	12.6	5.3	2.2	珧質頁岩	アスファルト
139	20			1544	14 北東捨	トレンチ1-9	TR1-d~ 1-7層	S-X	石鏃	29.5	9.4	4.7	1.0	珧質頁岩	アスファルト
139	21			1079	14 北東捨	VK46	TR1-Y~Z層	S-X	石鏃	24.1	46.8	9.4	6.8	珧質頁岩	アスファルト
139	22			4489	14 北東捨	ベルト2-5	TR2-1層	S-X	石鏃	47.7	14.4	4.5	1.6	珧質頁岩	
139	23			1528	14 北東捨	VK47	TR2-1~2層	S-X	石鏃	34.1	15.0	4.5	1.4	珧質頁岩	アスファルト
139	24			1533	14 北東捨	VL46	TR2-1~ 2-2層	S-X	石鏃	39.3	16.0	5.5	1.9	珧質頁岩	アスファルト
139	25			1527	14 北東捨	トレンチ2-4	TR2-2層	S-X	石鏃	33.1	10.8	4.3	1.2	珧質頁岩	アスファルト
139	26	100	3	1541	14 北東捨	VK47 ベルト2,5	TR2-a層	S-X	石鏃	19.5	10.0	4.0	0.6	珧質頁岩	アスファルト
139	27			1535	14 北東捨	VL46	TR2-a層	S-X	石鏃	31.1	14.2	4.8	1.3	珧質頁岩	アスファルト
139	28			1549	14 北東捨	トレンチ2-6	TR2-b層	S-4012	石鏃	(32.1)	15.0	5.2	(1.5)	珧質頁岩	アスファルト、先端ガジリ
139	29			1350	14 北東捨	トレンチ2-6	TR2-Y層	S-X	石鏃	35.1	18.9	4.1	2.2	珧質頁岩	
139	30			1086	14 北東捨	VK47	TR2-Z~ 3-a層	S-X	石鏃	37.2	13.0	4.7	1.4	珧質頁岩	
139	31			1534	14 北東捨	ベルト2-9	TR2-ウ層	S-X	石鏃	27.1	8.2	3.6	0.7	珧質頁岩	アスファルト
139	32			1524	14 北東捨	VM46 大淵A範囲	TR3-b層	S-4221	石鏃	23.4	10.4	4.1	0.7	珧質頁岩	
139	33			1082	14 北東捨	VK47	TR3-b層	S-X	石鏃	29.7	9.6	4.9	1.0	珧質頁岩	
139	34			1523	14 北東捨	VM46	TR3-b層	S-X	石鏃	29.3	9.7	5.1	1.2	珧質頁岩	アスファルト
139	35			248	14 北東捨	ベルト3-6	TR3-b層	S-X	石鏃	32.3	10.6	4.6	0.7	珧質頁岩	
139	36			1545	14 北東捨	ベルト5	TR3-c層	S-X	石鏃	22.8	8.9	4.9	0.8	珧質頁岩	アスファルト
139	37			1529	14 北東捨	VL47	TR3-C層	S-X	石鏃	33.9	15.4	4.1	1.7	珧質頁岩	アスファルト、先端割離
139	38			4490	14 北東捨	VJ48	TR3-c層	S-X	石鏃	50.0	14.1	4.5	1.9	珧質頁岩	
139	39	100	4	1543	14 北東捨	VL47 ベルト2,5	TR3-c上層	S-X	石鏃	19.0	10.0	4.0	0.4	珧質頁岩	アスファルト
139	40			1547	14 北東捨	VL47 ベルト2,5	TR3-c下層	S-X	石鏃	24.8	10.2	5.3	1.0	珧質頁岩	アスファルト
139	41	100	2	1540	14 北東捨	VK47 ブロック4077	TR3-d層	S-X	石鏃	43.2	22.6	5.2	3.8	珧質頁岩	アスファルト
139	42			1096	14 北東捨	ベルト3-d	TR3-d層	S-X	石鏃	53.8	15.1	10.2	7.6	珧質頁岩	
139	43			1532	14 北東捨	VK48	TR3-A層	S-X	石鏃	36.0	14.1	4.1	1.4	珧質頁岩	アスファルト
139	44			1542	14 北東捨	トレンチ5-1	TR5-1~2層	S-X	石鏃	33.3	11.7	5.0	1.3	珧質頁岩	アスファルト
139	45			1095	14 北東捨	VL46	TR5-2層	S-X	石鏃	50.8	20.9	9.0	5.1	珧質頁岩	
139	46			1860	14 北東捨	VM45	TR5-2層	S-X	石鏃	35.0	27.0	7.2	4.9	珧質頁岩	未製品
139	47			1349	14 北東捨	トレンチ7-3	TR6-1~ 6-2層	S-X	石鏃	21.8	14.8	4.8	0.9	珧質頁岩	先端から割離
139	48			1536	14 北東捨	トレンチ7-3	TR6-1~ 6-2層	S-X	石鏃	30.0	13.0	3.9	1.1	珧質頁岩	アスファルト
139	49			1538	14 北東捨	トレンチ1-7	不明	S-X	石鏃	30.3	10.7	4.8	1.1	珧質頁岩	アスファルト
139	50			1546	14 北東捨	トレンチ2-8	不明	S-X	石鏃	36.3	11.6	5.8	1.6	珧質頁岩	アスファルト
139	51			1073	14 北東捨	トレンチ1-10	TR1-1層	S-X	石鏃	47.1	(7.3)	5.5	(1.7)	珧質頁岩	節理により一側縁欠損
139	52			1076	14 北東捨	トレンチ1-5	TR1-5~ 1-7層	S-X	石鏃	54.9	10.0	8.4	4.0	珧質頁岩	
139	53			1954	14 北東捨	ベルト1	TR1-5~ 1-8層	S-X	石鏃	36.0	11.5	6.6	2.0	珧質頁岩	
139	54			1077	14 北東捨	ベルト1-2	TR1-5~ 1-8層	S-X	石鏃	46.2	16.7	7.8	3.7	珧質頁岩	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(2)

写真図 版番号	番号	図版 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
139	55			1075	14 北東捨	トレンチ1-8	TR1-c層	S-X	石錘	48.6	10.1	6.6	3.0	珪質頁岩	
139	56			4435	14 北東捨	トレンチ1-8	TR1-c層	S-X	石錘	59.9	20.9	10.5	6.3	珪質頁岩	
139	57			4405	14 北東捨	VM46	TR1-a~c層	S-X	石錘	46.0	11.4	7.5	3.8	珪質頁岩	
139	58			4406	14 北東捨	トレンチ 1-9~10	TR1-a~b層	S-X	石錘	61.1	8.2	6.9	3.1	珪質頁岩	
139	59			1551	14 北東捨	トレンチ 2-8~9 ブロック 4004	TR2-ウ層	S-4025	石錘	41.1	18.4	5.7	2.1	珪質頁岩	
139	60			1074	14 北東捨	VL46	TR2-1層	S-X	石錘	47.9	12.4	8.0	3.5	珪質頁岩	
139	61			1072	14 北東捨	ベルト3-3~4	TR3-d層	S-X	石錘	41.8	13.2	8.1	3.3	珪質頁岩	
139	62			1552	14 北東捨	トレンチ2-4	TR3-f層	S-4303	石錘	48.6	30.3	12.7	7.1	珪質頁岩	
139	63			4416	14 北東捨	ベルト2-5	TR3-d2層	S-X	石錘	55.3	21.3	10.3	5.3	珪質頁岩	
139	64	100	8	1078	14 北東捨	ベルト3-3~4	TR3-d層	S-X	石錘	61.8	14.9	6.5	3.3	珪質頁岩	
139	65			1085	14 北東捨	VN45	TR5-2層	S-X	石錘	36.7	8.6	5.6	1.2	珪質頁岩	
139	66			1071	14 北東捨	VN45	TR5-2層	S-X	石錘	36.9	10.1	7.6	2.2	珪質頁岩	
139	67			1089	14 北東捨	VN45	TR5-1層	S-X	石錘	42.7	9.2	4.1	1.4	珪質頁岩	
139	68	100	7	1094	14 北東捨	VM45	TR5-2層	S-X	石錘	41.8	15.0	5.2	2.6	珪質頁岩	アスファルト、先端磨耗
139	69			1861	14 北東捨	IVX59 トレンチ5-6	TR5-2層	S-X	石錘	47.2	23.5	9.4	8.4	珪質頁岩	削器?
139	70			4402	14 北東捨	VL46	TR1-4.5 ~5層	S-X	石錘	65.6	50.1	16.8	20.8	珪質頁岩	
139	71			1098	14 北東捨	ベルト1 トレンチ8	TR1-1~ 1-3層	S-X	石筥	75.0	32.9	11.2	28.5	珪質頁岩	
139	72			4439	14 北東捨	ブロック 4053-1 ベルト1-3~5	TR1-5層	S-4270	石筥	103.4	44.1	18.9	68.1	珪質頁岩	
139	73	100	5	1099	14 北東捨	トレンチ1-2	TR1-6~ 1-7層	S-X	石筥	96.1	29.8	18.1	47.8	珪質頁岩	
139	74			1554	14 北東捨	不明	TR5-2層	S-X	石筥	105.0	36.7	22.1	73.5	珪質頁岩	正裏面中央部磨耗、被 熱剝落
139	75			2727	14 北東捨	VL45	TR5-3層	S-X	石筥	46.8	57.8	15.1	42.9	珪質頁岩	
140	1			4420	14 北東捨	VL45	1層	S-X	石匙	81.6	27.5	12.3	16.6	珪質頁岩	
140	2			1063	14 北東捨	トレンチ5-H	1層	S-X	石匙	45.7	58.5	10.4	25.1	珪質頁岩	アスファルト、刃部光沢
140	3			4431	14 北東捨	不明	TR1-1~ 1-3層	S-X	石匙	53.9	73.5	17.2	39.3	珪質頁岩	
140	4			1061	14 北東捨	ベルト1-5	TR1-1~ 1-3層	S-X	石匙	48.1	46.4	12.4	16.5	珪質頁岩	アスファルト
140	5			4437	14 北東捨	ベルト1-4	TR1-1~ 1-3層	S-X	石匙	50.5	43.1	10.5	14.1	珪質頁岩	
140	6			1059	14 北東捨	ベルト9	TR1-1~ 1-3層	S-X	石匙	36.2	64.5	8.2	11.6	珪質頁岩	アスファルト、刃部光沢
140	7			4433	14 北東捨	VL46 ブロック 4032-1	TR1-4層	S-4139	石匙	53.6	57.6	13.5	24.2	珪質頁岩	アスファルト
140	8			4412	14 北東捨	VM45	TR1-a層	S-X	石匙	56.8	26.4	9.5	7.1	珪質頁岩	
140	9			4430	14 北東捨	ベルト1-2	TR1-4~ 1-4.5層	S-X	石匙	64.7	30.2	15.1	21.0	珪質頁岩	
140	10			4426	14 北東捨	ベルト1-4	TR1-4~ 1-4.5層	S-X	石匙	31.4	57.9	10.4	9.6	珪質頁岩	
140	11			4427	14 北東捨	ベルト1-4	TR1-4~ 1-4.5層	S-X	石匙	44.0	51.8	9.8	23.5	珪質頁岩	
140	12			4423	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-4.5 ~1-7層	S-X	石匙	43.6	48.9	10.0	15.7	珪質頁岩	
140	13			4411	14 北東捨	ブロック 4072 トレンチ1-4	TR1-5層	S-4314	石匙	40.2	56.8	8.4	14.8	珪質頁岩	
140	14			4407	14 北東捨	VL46	TR1-5層	S-X	石匙	55.2	73.6	14.0	36.3	珪質頁岩	
140	15			4424	14 北東捨	ブロック 4072 トレンチ1-4	TR1-5層	S-4315	石匙	60.5	35.6	6.7	14.1	珪質頁岩	
140	16			1327	14 北東捨	トレンチ 1-3~5 ブロック 4053-1	TR1-5層	S-X	石匙	59.0	23.6	5.6	5.1	珪質頁岩	
140	17			4415	14 北東捨	トレンチ1-5	TR1-5~ 1-7層	S-X	石匙	52.2	24.6	9.1	6.7	珪質頁岩	
140	18			4404	14 北東捨	トレンチ1-5	TR1-5~ 1-7層	S-X	石匙	40.0	66.5	11.2	14.9	珪質頁岩	
140	19			4417	14 北東捨	VM67	TR1-5~ 3-e層	S-X	石匙	39.2	66.9	6.6	10.2	珪質頁岩	
140	20			4440	14 北東捨	VM67	TR1-5~ 3-e層	S-X	石匙	62.3	41.6	12.2	22.2	珪質頁岩	
140	21			4441	14 北東捨	VM67	TR1-5~ 3-e層	S-X	石匙	24.6	52.0	6.8	5.9	珪質頁岩	
140	22			4425	14 北東捨	トレンチ1-3 ブロック 4073	TR1-6~7層	S-4321	石匙	74.4	28.7	9.2	12.3	珪質頁岩	
140	23			4438	14 北東捨	VL46	TR1-6~7層	S-X	石匙	20.6	24.1	4.9	1.6	珪質頁岩	
140	24			4401	14 北東捨	VL46	TR1-7~ 3-f層	S-X	石匙	41.8	30.3	11.0	9.7	珪質頁岩	
140	25			1058	14 北東捨	トレンチ2-1 ブロック 4061	TR2-1層	S-X	石匙	36.2	47.3	9.7	13.3	珪質頁岩	アスファルト
140	26			4400	14 北東捨	トレンチ2-3	TR2-1層	S-X	石匙	46.9	67.4	11.8	20.2	珪質頁岩	
140	27			1064	14 北東捨	トレンチ2-4	TR2-1層	S-X	石匙	(60.4)	54.2	15.2	31.6	珪質頁岩	アスファルト、左側面 両極加工



表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(3)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
140	28			4409	14 北東捨	トレンチ2-3~4	TR2-1層	S-X	石匙	44.0	19.4	6.9	3.1	珧質頁岩	
140	29			4446	14 北東捨	ベルト2-6	TR2-1層	S-X	石匙	85.3	28.8	10.6	18.8	珧質頁岩	素材頭部調整? 石刃状剥片
140	30			4413	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-z層	S-X	石匙	73.8	33.4	16.7	25.4	珧質頁岩	
140	31			1067	14 北東捨	トレンチ2-6	TR2-a~b層	S-X	石匙	57.8	56.4	12.1	29.8	珧質頁岩	アスファルト
140	32	100	9	1068	14 北東捨	VN45	TR2-5層	S-X	石匙	54.0	64.5	11.0	20.7	珧質頁岩	
140	33			1069	14 北東捨	VL46	TR2-5層	S-X	石匙	47.7	30.7	11.5	14.7	珧質頁岩	アスファルト
140	34			4436	14 北東捨	VK46	TR2-2層	S-X	石匙	55.5	50.5	12.0	20.0	珧質頁岩	
140	35			4442	14 北東捨	VK46	TR2-2層	S-X	石匙	32.4	40.2	9.1	7.8	珧質頁岩	
141	1			1060	14 北東捨	VK47	TR3-C層	S-X	石匙	45.3	52.4	8.8	13.7	珧質頁岩	
141	2			4429	14 北東捨	VJ48	TR3-c層	S-X	石匙	43.2	50.7	9.0	14.2	珧質頁岩	刃部光沢
141	3			4410	14 北東捨	トレンチ3-4 ブロック 4049	TR3-d層	S-X	石匙	40.5	31.2	8.1	8.2	珧質頁岩	石鏃?
141	4			4434	14 北東捨	ベルト 3-2	TR3-d層	S-X	石匙	29.3	62.5	8.3	7.7	珧質頁岩	
141	5			1062	14 北東捨	ベルト 3-d	TR3-d層	S-X	石匙	32.1	61.6	12.9	12.9	珧質頁岩	アスファルト
141	6			4403	14 北東捨	VJ48 ブロック 4005	TR3-d~e層	S-X	石匙	45.6	28.7	6.0	5.1	珧質頁岩	
141	7			4432	14 北東捨	トレンチ 2-3~4	TR3-d2~ e層	S-X	石匙	50.0	79.1	12.5	29.3	珧質頁岩	
141	8			4414	14 北東捨	ベルト2-5	TR3-e層	S-X	石匙	27.2	32.4	6.4	3.6	珧質頁岩	
141	9			4428	14 北東捨	VK46	TR3-e層	S-X	石匙	30.4	55.5	10.5	11.2	珧質頁岩	
141	10			1065	14 北東捨	VL45	5-1層	S-X	石匙	42.6	57.7	13.0	30.7	珧質頁岩	アスファルト、刃部光沢、凸出部有
141	11			4421	14 北東捨	ベルト5-J	TR5-1層	S-X	石匙	47.6	61.8	12.1	29.6	珧質頁岩	
141	12			4408	14 北東捨	VM45	TR5-3層	S-X	石匙	41.4	15.7	5.1	2.3	珧質頁岩	
141	13	100	10	1066	14 北東捨	トレンチ6-4	TR6-1~2層	S-X	石匙	49.1	69.7	13.3	31.9	珧質頁岩	アスファルト
141	14			4422	14 北東捨	VL44	TR6-3層	S-X	石匙	42.2	56.1	7.6	13.6	珧質頁岩	
141	15			1070	14 北東捨	トレンチ2-6	不明	S-X	石匙	66.8	42.2	14.4	28.9	珧質頁岩	アスファルト
141	16			4418	14 北東捨	トレンチ 7-2~3	TR1-5~ 3-e層	S-X	石匙	88.5	24.3	11.4	10.4	珧質頁岩	
141	17			4486	14 北東捨	VM44 ブロック 4035	確認面	S-4172	石匙	106.8	53.2	53.6	316.5	珧質頁岩	二次加工剥片?
141	18			1352	14 北東捨	トレンチ5-1	TR1-a~b層	S-X	削器	42.7	20.7	7.8	7.5	珧質頁岩	石鏃未製品?
141	19			1097	14 北東捨	ベルト1-4	TR1-4~ 1-4.5層	S-X	削器	58.2	26.8	9.0	12.8	珧質頁岩	
141	20			1419	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-a層	S-X	削器	41.2	24.7	9.1	7.6	珧質頁岩	石鏃?
141	21			1351	14 北東捨	VL47 ベルト2.5	TR3-C層	S-X	削器	37.2	20.3	10.1	5.5	珧質頁岩	
141	22			1093	14 北東捨	VL47 ベルト2.5	TR3-C上層	S-X	削器	44.5	21.4	4.0	3.4	珧質頁岩	
141	23	100	11	6047	14 北東捨	VK46	I層		異形石器	28.4	37.4	10.5	8.4	黒曜石	木造出来島群
141	24			4463	14 北東捨	VM46	III層	S-X	石核転用敲石	44.2	76.5	27.1	59.8	珧質頁岩	
141	25			2471	14 北東捨	VM45	III層	S-X	削器	60.2	20.0	10.3	13.3	珧質頁岩	
141	26			4449	14 北東捨	VM44	I-III層	S-X	石核	93.6	77.7	56.8	311.5	珧質頁岩	
141	27	100	13	5501	14 北東捨	トレンチ1-7	TR1-d~ 1-7層	S-X	異形石器	30.3	49.0	11.1	7.1	珧質頁岩	
141	28			4459	14 北東捨	VL46	TR1-4層	S-X	石核	66.0	37.7	42.3	103.9	珧質頁岩	
141	29			2698	14 北東捨	VN46	TR1-c層	S-X	異形石器	(55.5)	(14.3)	(6.8)	(7.0)	珧質頁岩	
141	30			5728	14 北東捨	トレンチ1-7 ブロック16	TR1-c層	S-X	石核	169.2	126.8	42.1	760.5	珧質頁岩	
141	31	100	15	1956	14 北東捨	トレンチ1-2	TR1-1層	S-X	異形石器	28.0	22.0	6.5	2.4	鉄石英	
141	32			4452	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-c層	S-X	石核転用敲石	55.5	42.2	41.4	112.5	珧質頁岩	
141	33			4447	14 北東捨	ベルト 1-9	TR1-1~ 1-3層	S-X	石核転用敲石	48.2	53.9	42.1	113.9	珧質頁岩	
141	34			4457	14 北東捨	VM47	TR1-4.5 ~3-e層	S-X	石核転用敲石	90.4	65.8	46.3	379.7	珧質頁岩	
142	1			4485	14 北東捨	VL46	TR1-4.5 層	S-X	石核	78.0	86.4	37.4	224.7	珧質頁岩	
142	2			4454	14 北東捨	VL46	TR1-4.5 層	S-X	石核	102.3	66.4	47.9	274.4	珧質頁岩	
142	3			4460	14 北東捨	VL46	TR1-4.5 層	S-X	石核	61.1	51.4	27.8	76.7	珧質頁岩	
142	4			2465	14 北東捨	VL46	TR1-5層	S-X	削器	82.9	50.6	21.1	65.2	珧質頁岩	
142	5			5713	14 北東捨	トレンチ1-2	TR1-5~ 1-6層	S-X	石核	162.0	58.5	52.4	457.3	珧質頁岩	
142	6			5720	14 北東捨	トレンチ3-4	TR1-5~6層	S-X	石核	122.5	64.9	54.2	379.9	珧質頁岩	
142	7			2467	14 北東捨	ベルト1-4	TR1-5~ 1-8層	S-X	削器	71.5	46.3	1.9	57.0	珧質頁岩	
142	8			4455	14 北東捨	VM67	TR1-5~ 3-e層	S-X	石核転用敲石	51.5	48.1	40.0	101.3	珧質頁岩	
142	9			4453	14 北東捨	トレンチ1-a	TR1-5~6層	S-X	石核	54.0	54.4	38.9	90.9	珧質頁岩	
142	10			2468	14 北東捨	VL46	TR1-6~ 1-7層	S-X	削器	67.0	32.3	15.3	32.1	珧質頁岩	
142	11			5481	14 北東捨	トレンチ1-2	TR1-5~6層	S-X	異形石器	30.8	8.7	3.8	1.3	鉄石英	
142	12			2466	14 北東捨	ベルト2-8	TR2-1~ 2-i層	S-X	削器	48.7	37.7	11.8	21.6	珧質頁岩	
142	13			4448	14 北東捨	トレンチ 2-3~4	TR2-1層	S-X	石核	56.8	53.1	36.2	114.4	珧質頁岩	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(4)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
142	14			2472	14 北東捨	ベルト2-4	TR2-2層	S-X	削器	83.1	61.8	19.6	68.9	珪質頁岩	
142	15			4451	14 北東捨	VL46	TR2-2層	S-X	石核	51.3	57.2	40.3	94.9	珪質頁岩	
142	16			4419	14 北東捨	VJ47	TR2-2層	S-X	削器	36.6	34.2	14.0	15.5	珪質頁岩	石筥?
142	17			2470	14 北東捨	VK47	TR2-2層	S-X	削器	33.3	26.1	6.1	6.2	珪質頁岩	
142	18			4482	14 北東捨	トレンチ2-6	TR2-b層	S-X	石核	15.0	19.2	8.6	2.3	黒曜石	深浦八森山群、両極石核
142	19	100	14	1957	14 北東捨	トレンチ2-7	TR2-W層	S-X	異形石器	23.5	16.0	4.0	1.3	珪質頁岩	
142	20	100	12	1100	14 北東捨	トレンチ2-7	TR2-W-X層	S-X	異形石器	39.5	94.0	16.0	41.6	玉髓	
142	21			2474	14 北東捨	VK48	TR3-イ層	S-X	削器	76.7	62.4	17.6	49.8	珪質頁岩	
142	22			2469	14 北東捨	ベルト2-8	TR2-ウ(下) (1-4.5層)	S-X	削器	66.5	30.9	10.6	18.8	珪質頁岩	
142	23			2051	14 北東捨	VK47	TR2-Y層	S-X	転用敲石	83.2	73.2	54.0	478.6	玉髓	
143	1			2476	14 北東捨場	VK47	TR3-d層	S-X	削器	66.8	30.6	17.4	33.7	珪質頁岩	
143	2			4461	14 北東捨	VL47 ベルト2.5	TR3-b層	S-X	石核	64.5	56.8	55.3	207.3	珪質頁岩	
143	3			4466	14 北東捨	VL47 ベルト2.5	TR3-b層	S-X	石核	125.1	102.4	68.5	717.5	珪質頁岩	
143	4			2473	14 北東捨	VK47	TR3-e層	S-X	削器	80.3	34.0	14.9	34.2	珪質頁岩	
143	5			2220	14 北東捨	トレンチ2-8	TR3-e層	S-X	削器	108.7	70.9	15.3	132.8	珪質頁岩	
143	6			2475	14 北東捨	VK46	TR3-e層	S-X	削器	94.1	67.4	16.7	79.7	珪質頁岩	
143	7			4487	14 北東捨	トレンチ2-2	TR3-e層	S-X	石核	33.0	25.5	22.5	23.2	黒曜石	
143	8	ht152			14 北東捨	VM45	TR5-2層	S-X	石核転用敲石	71.8	66.3	42.5	293.5	珪質頁岩	石製円盤?
143	9			5755	14 北東捨	VM46	TR5-2層	S-X	石核転用敲石	74.9	72.3	54.3	321.5	珪質頁岩	
143	10			4450	14 北東捨	VM45	TR5-2層	S-X	石核転用敲石	79.2	50.7	45.7	248.0	珪質頁岩	
143	11			4481	14 北東捨	VN45 ブロック4047	TR5-2層	S-X	剥片	22.0	17.6	6.1	2.4	黒曜石	木造出来島群
143	12			1092	14 北東捨	VL45	TR5-2層	S-X	削器	31.9	23.0	5.0	3.2	珪質頁岩	石鏃未製品?
143	13			4458	14 北東捨	VM45	TR5-3層	S-X	石核転用敲石	58.0	38.4	53.0	104.2	珪質頁岩	
143	14			4464	14 北東捨	VL45	TR5-3層	S-X	石核	86.5	48.9	61.5	243.2	珪質頁岩	
143	15			4479	14 川原平(4)⑥ 北	VQ48 ベルト1	2b層	S-X	石核	35.7	31.5	22.0	23.7	黒曜石	木造出来島群 報告書VIII第1編第2章 第1節参照
143	16			4456	14 北東捨	VL44	確認面 TR6-1~2層	S-X	転用敲石	57.1	47.4	33.1	118.3	玉髓	
143	17			4484	14 北東捨	トレンチ7-3	TR6-1~2層	S-X	石核	83.5	41.5	38.4	131.9	珪質頁岩	
143	18			4465	14 北東捨	トレンチ6-2	TR6-2層	S-X	石核	71.0	55.3	39.2	161.2	珪質頁岩	
143	19			5709	14 北東捨	トレンチ5-6	TR6-2層	S-X	石核	158.9	45.0	40.2	266.1	珪質頁岩	異形石器?
143	20	104	2	2269	14 北東捨	トレンチ1-9	TR1-d層	S-X	磨製石斧	142.2	54.1	20.0	260.5	緑色片岩	局部的に研磨整形、側 面稜不明瞭
143	21	104	1	1555	14 北東捨	VM45	TR5-2層	S-X	磨製石斧	91.6	39.0	22.4	118.4	安山岩	側面の稜明瞭、敲打整形
143	22	104	3	2268	14 北東捨	VL47 ベルト2.5 の東端	TR2-1層	S-4196	磨製石斧	67.8	46.8	22.7	119.5	緑色岩	北東-102、基部欠損、側 面の稜明瞭、敲打整形
143	23			4480	14 北東捨	ベルト2-7	TR2-1層	S-X	石核	25.5	47.3	20.2	24.0	黒曜石	木造出来島群
144	1	101	1	A	14 北東捨場	剥片集中1	不明	特4005	接合資料	141.1	131.5	101.9	846.2	珪質頁岩	剥片・石核9点接合 A~D同一個体
145	1	103	3	B	14 北東捨場	剥片集中1	不明	特4005	接合資料	110.7	115.9	46.3	243.7	珪質頁岩	剥片7点接合 A~D同一個体
145	2	103	4	C	14 北東捨場	剥片集中1	不明	特4005	接合資料	91.7	88.3	30.3	118.3	珪質頁岩	剥片3点接合、正面・ 側面・実測 A~D同一個体
146	1	103	5	D	14 北東捨場	剥片集中1	不明	特4005	接合資料	94.9	65.2	26.1	107.4	珪質頁岩	剥片3点接合、正面・ 側面・実測 A~D同一個体
147	1			E-1	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	接合資料	57.3	57.8	32.4	64.0	珪質頁岩	剥片2点接合 A~Dと同一個体
147	2			F-7	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	接合資料	52.5	81.9	23.1	71.1	珪質頁岩	剥片3点接合 A~Dと同一個体
147	3			E-2	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	接合資料	47.5	34.1	18.0	17.6	珪質頁岩	剥片4点接合 A~Dと同一個体
147	4			E-3	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	接合資料	56.1	49.5	19.0	36.0	珪質頁岩	剥片5点接合 A~Dと同一個体
147	5			E-4	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	接合資料	42.4	53.8	18.7	33.1	珪質頁岩	剥片6点接合 A~Dと同一個体
147	6			F-2	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	剥片	76.2	46.6	22.5	71.2	珪質頁岩	A~Dと同一個体
147	7			F-9	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	剥片	75.7	41.9	12.6	42.5	珪質頁岩	A~Dと同一個体
147	8			F-4	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	剥片	41.3	45.8	12.9	19.9	珪質頁岩	A~Dと同一個体
147	9			F-8	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	剥片	45.3	70.5	18.5	35.2	珪質頁岩	A~Dと同一個体
147	10			F-3	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	剥片	58.6	63.9	12.9	38.0	珪質頁岩	A~Dと同一個体
147	11			F-10	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	剥片	64.4	33.8	16.2	34.6	珪質頁岩	A~Dと同一個体
147	12			F-5	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	剥片	36.0	49.3	9.8	11.9	珪質頁岩	A~Dと同一個体
147	13			F-6	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	剥片	66.4	26.5	11.2	15.7	珪質頁岩	A~Dと同一個体
147	14			F-1	北東捨場	剥片集中1	不明	S-X	剥片	48.9	68.3	12.5	33.0	珪質頁岩	A~Dと同一個体
148	1			8039	14 北東捨	トレンチ5-1	TR1-1~2層	S-X	磨石	84.6	68.1	48.6	395.9	未鑑定	
148	2			8052	14 北東捨	VK45	1層	S-X	磨石	93.4	78.4	51.9	642.9	花崗岩	
148	3			8050	14 北東捨	VL45	2層	S-X	磨石	90.2	80.3	58.6	561.5	未鑑定	
148	4			5738	14 北東捨	VL45	5-1層	S-X	敲石	111.2	97.9	62.5	998.9	凝灰岩	
148	5			8031	14 北東捨場	VL47 ベルト2.5 ブロック 4050	TR2-ウ層	S-4240	磨石	127.2	99.3	60.2	1206.5	凝灰岩	赤色顔料
148	6			8016	14 北東捨	VM46 ブロック 4062-2	TR1-4層	S-4294	磨石	122.0	92.3	61.6	1018.3	安山岩	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(5)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
148	7			8060	14 北東捨	トレンチ1-3~5ブロック4009	TR1-4~5層	S-4040	磨石	194.0	101.9	68.3	134.5	花崗岩	
148	8			8046	14 北東捨	VL46	TR1-4.5層	S-X	磨石	103.9	85.7	66.3	845.9	緑色凝灰岩	
148	9			8014	14 北東捨	VM46	TR1-5層	S-X	磨石	107.0	79.4	57.3	711.5	粗粒玄武岩	
148	10			8020	14 北東捨	トレンチ1-5	TR1-5~1-7層	S-X	磨石	116.3	84.6	69.8	1007.4	安山岩	
148	11			8019	14 北東捨	ベルト1-1	TR1-5~1-8層	S-X	磨石	108.1	97.4	71.5	1074.5	粗粒玄武岩	
148	12			8044	14 北東捨	ベルト1-3	TR1-5~1-8層	S-X	磨石	99.2	78.5	54.9	632.2	花崗岩	
148	13			8018	14 北東捨	トレンチ1-10ブロック4038	TR1-C層	S-4190	磨石	75.7	58.4	58.5	342.9	花崗岩	赤色顔料
148	14			8012	14 北東捨	トレンチ1-10	TR1-C~1-7層	S-X	敲石	128.9	63.3	43.3	605.7	凝灰岩	
148	15			8045	14 北東捨	トレンチ2-6~7	TR2-1層	S-X	磨石	79.1	64.8	51.3	323.7	粗粒玄武岩	
148	16			8026	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-1層	S-X	磨石	103.7	95.7	66.7	924.5	凝灰岩	
148	17			8034	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-2層	S-X	磨石	73.5	69.5	63.7	371.8	凝灰岩	
148	18			8048	14 北東捨	VK47	TR2-2層	S-X	磨石	89.8	75.8	63.3	654.2	花崗岩	
148	19			8038	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-2層	S-X	磨石	86.7	80.9	67.1	703.1	粗粒玄武岩	
148	20			8028	14 北東捨	VK47	TR2-2層	S-X	磨石	143.0	83.0	54.1	1059.3	凝灰岩	
148	21			8042	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-2層	S-X	磨石	123.8	84.1	67.6	908.3	凝灰岩	
148	22			8043	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-2層	S-X	磨石	95.7	84.9	59.2	707.3	花崗岩	
148	23			8037	14 北東捨	ベルト2-6	TR2-2層	S-X	磨石	93.6	64.7	54.8	511.2	花崗岩	
148	24			8022	14 北東捨	ベルト2.5ブロック4046	TR2-7層	S-X	磨石	96.2	77.2	55.2	597.6	花崗岩	
149	1			8035	14 北東捨	ブロック4026	TR2-Y層	S-4096	磨石	74.6	62.3	62.5	418.6	未鑑定	
149	2			8029	14 北東捨	VK46	TR2-Y~2-2層	S-X	磨石	120.2	86.9	68.2	1009.3	凝灰岩	
149	3			8011	14 北東捨	ベルト2.5-9	TR2-イ層	S-X	磨石	99.7	84.7	54.3	570.2	凝灰岩	
149	4			8047	14 北東捨	ベルト2.5ブロック4050	TR2-ウ層	S-4241	磨石	121.6	119.2	88.4	908.3	花崗岩	
149	5			5747	14 北東捨	VL47ベルト2.5ブロック4050	TR2-ウ層	S-4242	敲石	91.7	86.7	55.1	488.1	凝灰岩	
149	6			8056	14 北東捨	VL47	TR3-c層	S-X	磨石	142.6	78.0	62.8	1036.4	粗粒玄武岩	
149	7			8054	14 北東捨	トレンチ2-10	TR3-c層	S-X	磨石	104.9	83.1	56.9	626.6	凝灰岩	
149	8			8055	14 北東捨	VL47	TR3-c層	S-X	磨石	108.0	95.8	60.0	830.3	花崗岩	
149	9			8051	14 北東捨	VJ48	TR3-b~C層	S-X	磨石	70.2	60.3	38.3	245.9	花崗岩	
149	10			8015	14 北東捨	VJ48	TR3-d層	S-X	磨石	111.9	80.9	60.6	812.2	安山岩	
149	11			5749	14 北東捨	VK47	TR3-d層	S-X	敲石	136.4	70.5	52.5	765.7	粗粒玄武岩	
149	12			8041	14 北東捨	VK47	TR3-d層	S-X	磨石	126.7	90.8	67.9	1010.9	粗粒玄武岩	
149	13			8027	14 北東捨	VK47	TR3-d層	S-X	磨石	116.3	73.7	58.5	740.6	安山岩	
149	14			8061	14 北東捨	ベルト3-6	TR3-d層	S-X	磨石	105.0	79.5	62.1	730.2	凝灰岩	
149	15			8040	14 北東捨	VK47	TR3-d層	S-X	磨石	100.5	75.8	50.5	569.6	花崗岩	
149	16			8021	14 北東捨	VK47	TR3-e層	S-X	磨石	93.7	86.8	43.8	472.4	凝灰岩	
149	17			5744	14 北東捨	VK46	TR3-e層	S-X	敲石	105.2	86.3	56.9	719.7	未鑑定	
149	18			8023	14 北東捨	VL47ベルト2.5	TR3-e層	S-X	磨石	106.8	71.6	51.8	568.6	粗粒玄武岩	
149	19			8025	14 北東捨	トレンチ2.5	TR3-d2層	S-X	磨石	95.1	90.7	68.9	847.8	安山岩	
149	20			8010	14 北東捨	トレンチ2-6	TR3-d2~3-f層	S-X	磨石	92.2	71.6	65.7	5978.0	花崗岩	
149	21			8032	14 北東捨	VK47	TR3-e層	S-X	磨石	110.9	86.1	61.1	782.6	未鑑定	
149	22			8030	14 北東捨	VK47	TR3-e~3-f層	S-X	磨石	94.4	84.6	68.2	658.6	凝灰岩	
149	23			8095	14 北東捨	ベルト3-5-6ブロック4081	TR3-e層と3-f層境	S-4346	敲石	85.4	62.3	60.9	300.8	凝灰岩	
149	24			8058	14 北東捨	VK48	TR3-ア層	S-X	磨石	74.7	68.6	45.3	305.3	粗粒玄武岩	
149	25			8017	14 北東捨	不明	TR3-ア層	S-4157	磨石	122.8	90.7	66.8	1121.9	花崗岩	赤色顔料
150	1			5764	14 北東捨	VL47	TR3-z層	S-X	敲石	126.7	60.0	34.7	436.6	花崗岩	赤色顔料
150	2			8036	14 北東捨	VK48	TR3-イ層	S-X	磨石	91.2	83.5	68.8	725.5	凝灰岩	
150	3			8013	14 北東捨	不明	TR5-2層	S-X	磨石	102.6	79.8	64.9	753.3	花崗岩	
150	4			8033	14 北東捨	VL45	TR5-3層	S-X	磨石	109.3	102.0	64.9	1080.2	花崗岩	
150	5			8059	14 北東捨	トレンチ5-6	TR6-1~3層	S-X	磨石	151.2	85.0	56.9	56.5	未鑑定	
150	6			8024	14 北東捨	ブロック4042	TR6-3~1-6層	S-4214	磨石	109.9	85.3	51.6	696.7	未鑑定	
150	7			8049	14 北東捨	斜面トレンチ3-1	不明	S-X	磨石	91.8	81.4	68.1	700.9	未鑑定	
150	8			8101	14 北東捨	トレンチ1-7	不明	S-X	凹石	112.4	69.7	31.4	285.5	凝灰岩	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(6)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
150	9			2033	14 北東捨	ベルト2-6	TR3-b層	S-X	敲石	76.0	69.1	29.5	286.3	安山岩	石製円盤?
150	10			8004	14 北東捨	VM67	TR1-3e層	S-X	敲石	89.9	59.4	24.2	195.5	凝灰岩	
150	11			5765	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-4層	S-X	敲石	100.3	81.6	60.7	572.3	緑色凝灰岩	
150	12			5739	14 北東捨	トレンチ1-5	TR1-4層	S-X	敲石	115.0	98.2	49.1	957.0	花崗岩	
150	13			5742	14 北東捨	VL46	TR1-5層	S-X	敲石	110.3	100.5	58.7	928.1	安山岩	
150	14			5757・5759	14 北東捨	VL-M46	TR2-1-4.5層	S-X	敲石	202.0	62.8	54.4	953.1	凝灰岩	上部が5759、下部が5757
150	15			8090	14 北東捨	ベルト1-4	TR1-5~1-8層	S-X	凹石	109.9	67.5	36.4	376.3	凝灰岩	
150	16			8005	14 北東捨	VM67	TR1~5~3e層	S-X	敲石	84.1	64.8	56.0	421.7	凝灰岩	
150	17			5758	14 北東捨	トレンチ1-1	TR1-5~7層	S-X	敲石	87.8	40.4	20.6	107.0	凝灰岩	
150	18			8112	14 北東捨	VM46 トレンチ1-8	TR1-c層	S-X	凹石	102.4	72.1	36.5	347.0	凝灰岩	
150	19			5733	14 北東捨	トレンチ1-7	TR1-d層	S-X	敲石	97.2	57.7	33.7	267.3	安山岩	
150	20			5752	14 北東捨	トレンチ1-7~8	TR1-e層	S-X	凹石	100.6	74.6	46.2	430.6	凝灰岩	
150	21	113	7	7743	14 北東捨	トレンチ1-10	TR1-c~1-7層	S-X	敲石	70.0	57.0	13.0	61.9	凝灰岩	石製円盤?
150	22			5339	15 北東捨	VL47 ベルト2.5	TR2-1層	S-X	敲石	100.4	74.2	20.3	216.3	緑色凝灰岩	石製円盤?
150	23			8085	14 北東捨	VL47 ブロック4059	TR2-1層	S-X	凹石	69.4	77.0	31.0	183.8	凝灰岩	
150	24			8007	14 北東捨	トレンチ2-6~7	TR2-1層	S-X	敲石	104.3	69.8	49.7	503.7	凝灰岩	
150	25			5751	14 北東捨	トレンチ2-6	TR2-エ層	S-X	敲石	(116.0)	51.9	37.1	(320.6)	安山岩	
151	1			5732	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-2層	S-X	敲石	150.5	70.6	23.4	365.0	凝灰岩	
151	2	104	5	7688	14 北東捨	VK47	TR2-2層	S-X	敲石	109.0	104.0	29.0	431.0	凝灰岩	石製円盤?
151	3			5746	14 北東捨	VK47	TR2-2層	S-X	敲石	98.5	86.3	69.5	843.5	粗粒玄武岩	
151	4			8000	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-2層	S-X	敲石	104.1	84.8	62.1	786.9	粗粒玄武岩	
151	5			8009	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-2層	S-X	敲石	103.7	89.8	55.4	743.2	未鑑定	
151	6			5762	14 北東捨	トレンチ2-7	TR2-w~x層	S-X	敲石	99.4	80.6	27.6	221.7	凝灰岩	
151	7			5743	14 北東捨	VK47	TR2-y~z層	S-X	敲石	112.6	69.4	34.9	299.2	凝灰岩	
151	8			2015	14 北東捨	VK47	TR2-Y~3-a層	S-X	凹石	128.2	52.7	24.2	285.6	凝灰岩	
151	9			8008	14 北東捨	トレンチ2-4	TR2-Y~Z層	S-X	凹石	159.8	52.3	41.7	629.1	凝灰岩	
151	10			5766	14 北東捨	VK47	TR2-z層	S-X	敲石	159.0	88.6	73.4	1566.4	緑色凝灰岩	
151	11			5760	14 北東捨	VJ48	TR3-a層	S-X	敲石	105.3	55.0	46.7	480.5	花崗岩	
151	12	104	6	ht132	14 北東捨	VK47 ベルト3-7	TR2-i層	S-X	敲石	75.0	61.0	33.0	215.4	凝灰岩	赤色顔料
151	13			5737	14 北東捨	VJ47	TR3-b~c層	S-X	敲石	101.4	71.2	66.1	558.3	凝灰岩	
151	14			5750	14 北東捨	ベルト3-5	TR3-c層	S-X	敲石	103.4	69.1	46.7	369.7	凝灰岩	
151	15			5761	14 北東捨	VK47	TR3-c層	S-X	敲石	100.0	82.4	24.3	437.8	凝灰岩	
151	16			5734	14 北東捨	VK48	TR3-c~ア層	S-X	敲石	100.3	86.6	49.7	591.2	凝灰岩	
151	17			5763	14 北東捨	VK47	TR3-d層	S-X	敲石	95.4	73.7	60.6	583.0	凝灰岩	
151	18			8081	14 北東捨	不明	TR3-d層	S-X	敲石	112.7	106.3	62.0	1034.3	凝灰岩	
151	19			5748	14 北東捨	ベルト3-5	TR3-i層	S-4176	敲石	147.4	100.6	51.7	889.4	凝灰岩	赤色顔料
151	20			5754	14 北東捨	ベルト2-3	TR3-d2層	S-X	敲石	168.8	69.4	63.1	1260.3	安山岩	
151	21			5767	14 北東捨	VK47	TR3-d層	S-X	敲石	176.0	68.1	55.7	894.6	凝灰岩	
151	22			2659	14 北東捨	ベルト5-J	TR5-1層	S-X	敲石	130.4	64.9	19.9	248.2	凝灰岩	
151	23			5740	14 北東捨	トレンチ5-H	TR5-1~2層	S-X	敲石	104.8	77.6	49.7	468.0	凝灰岩	
151	24			5741	14 北東捨	VK48	TR3-i層	S-X	敲石	98.0	92.1	59.6	628.6	凝灰岩	
152	1			8006	14 北東捨	VM46	TR5-2層	S-X	敲石	83.6	73.9	73.2	573.0	凝灰岩	
152	2			5736	14 北東捨	トレンチ5-D	TR6-1~2層	S-X	敲石	118.3	86.0	27.5	407.6	凝灰岩	
152	3			2052	14 北東捨	VL44	TR6-3~1-6層	S-4213	敲石	76.9	72.0	19.2	156.0	粗粒玄武岩	
152	4			8107	14 北東捨	トレンチ1-7	不明	S-X	凹石	91.9	72.7	43.0	369.3	凝灰岩	
152	5			5439	14 北東捨場	VK46	1層	S-X	凹石	112.9	74.7	57.5	519.3	凝灰岩	
152	6	106	1	8080	14 北東捨	不明	1層	S-X	凹石	117.0	57.0	44.0	378.8	凝灰岩	
152	7			4504	14 北東捨場	VM67 ベルト1.5	TR1-5~3-e層	S-X	凹石	105.4	82.2	46.3	511.5	安山岩	
152	8			8091	14 北東捨	VL45	1・2層	S-X	凹石	87.1	61.5	38.1	228.1	凝灰岩	
152	9			8066	14 北東捨	VL46	TR1-4.5層	S-X	凹石	103.0	97.2	41.6	575.6	凝灰岩	
152	10			8126	14 北東捨	VL45	TR1-1層	S-X	凹石	99.9	69.4	39.0	250.2	凝灰岩	
152	11			8127	14 北東捨	VM47	TR1-4層	S-X	凹石	101.2	97.9	31.0	363.3	凝灰岩	
152	12			8128	14 北東捨	VL46 ブロック4032-2	TR1-4層	S-4150	凹石	135.0	69.6	34.7	416.0	凝灰岩	
152	13	106	4	8065	14 北東捨	トレンチ1-7	TR1-5層	S-X	凹石	102.0	73.0	42.0	376.3	凝灰岩	
152	14			8099	14 北東捨	VL46	TR1-5層	S-X	凹石	139.6	84.5	57.3	971.7	凝灰岩	
152	15			8102	14 北東捨	トレンチ1-8	TR1-c層	S-X	凹石	110.0	63.0	35.4	407.1	凝灰岩	
152	16			8092	14 北東捨	ベルト1-4	TR1-5~1-8層	S-X	凹石	98.2	69.4	33.0	285.2	凝灰岩	
152	17	105	5	8078	14 北東捨	ベルト1-8	TR1-5~1-8層	S-X	凹石	157.0	52.0	34.0	300.2	凝灰岩	
152	18			ht341	14 北東捨	トレンチ1-10	TR1-c~1-7層	S-X	凹石	121.4	107.7	22.8	355.0	凝灰岩	石製円盤?
152	19			5731	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-b~c層	S-X	凹石	94.1	71.0	35.5	267.7	凝灰岩	
152	20			8122	14 北東捨	トレンチ1-9	TR1-c層	S-X	凹石	118.3	73.2	34.9	389.2	凝灰岩	
152	21	105	3	7704	14 北東捨	トレンチ1-7 ブロック16	TR1-c層	S-4009	凹石	105.0	92.0	25.0	285.6	凝灰岩	円盤状に整形
152	22			8053	14 北東捨	トレンチ1-7	TR1-d層	S-X	凹石	97.1	87.1	52.0	616.0	凝灰岩	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(7)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
152	23	106	3	8064	14 北東捨	ベルト2-5~9	TR2-イ層	S-X	凹石	91.0	77.0	42.0	444.7	粗粒玄武岩	
153	1			8105	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-1層	S-X	凹石	67.0	63.6	41.5	206.5	緑色凝灰岩	
153	2			5753	14 北東捨	トレンチ2-1	TR2-1層	S-X	凹石	93.8	62.2	32.7	241.1	凝灰岩	
153	3			8124	14 北東捨	トレンチ2-3 ブロック4041	TR2-1層	S-4087	凹石	86.8	62.0	56.0	344.9	凝灰岩	
153	4	106	2	8075	14 北東捨	VL46	TR2-1層	S-X	凹石	122.2	110.0	40.0	459.9	凝灰岩	
153	5			8117	14 北東捨	トレンチ2-3	TR2-1層	S-X	凹石	113.1	80.4	46.0	528.1	凝灰岩	
153	6			8104	14 北東捨	ベルト2-7	TR2-1層	S-X	凹石	111.8	60.9	48.8	511.3	凝灰岩	
153	7	105	6	8062	14 北東捨	VK47	TR2-2層	S-X	凹石	133.0	40.0	33.0	203.2	凝灰岩	
153	8			8088	14 北東捨	VK47	TR2-2層	S-X	凹石	118.4	67.1	30.4	318.1	凝灰岩	
153	9			8098	14 北東捨	VJ46	TR2-2層	S-X	凹石	110.0	83.0	27.9	305.5	凝灰岩	
153	10			8096	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-2層	S-X	凹石	112.6	95.6	54.7	554.2	凝灰岩	
153	11			8084	14 北東捨	VK46	TR2-2層	S-X	凹石	79.0	72.9	60.0	459.6	凝灰岩	
153	12			8087	14 北東捨	VJ47	TR2-2~3-e層	S-X	凹石	157.2	63.0	27.9	376.6	凝灰岩	
153	13			8108	14 北東捨	VK47	TR2-2層 (炭の上)	S-X	凹石	132.1	84.8	37.4	455.5	凝灰岩	
153	14			8089	14 北東捨	VK47	TR2-2中ローム土層	S-X	凹石	107.7	72.6	45.6	409.0	凝灰岩	
153	15			8123	14 北東捨	トレンチ2-5	TR2-6層	S-X	凹石	93.2	76.6	38.5	324.6	凝灰岩	
153	16			5730	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-b層	S-X	凹石	93.0	81.1	32.5	338.5	凝灰岩	
153	17			8116	14 北東捨	VK47	TR2-Y層	S-X	凹石	98.1	72.9	46.3	402.2	凝灰岩	
153	18			8114	14 北東捨	VK47	TR2-Y~Z層	S-X	凹石	113.1	85.0	32.1	422.8	凝灰岩	
153	19			8119	14 北東捨	トレンチ2-6	TR2-Y層	S-X	凹石	126.3	66.2	42.4	446.8	凝灰岩	
153	20			8110	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-U層	S-X	凹石	98.3	68.7	55.4	492.3	凝灰岩	
153	21			8071	14 北東捨	ベルト2.5-9	TR2-U層	S-X	凹石	155.2	95.7	48.3	660.8	凝灰岩	
153	22			8077	14 北東捨	VK46	TR3-e層	S-X	凹石	138.6	43.5	32.4	245.9	凝灰岩	
153	23	105	4	8072	14 北東捨	VK48	TR3-e層	S-X	凹石	141.0	75.0	30.0	415.3	凝灰岩	
153	24			8063	14 北東捨	VK47	TR3-e層	S-X	凹石	109.8	84.7	30.1	399.6	凝灰岩	
153	25	106	8	8069	14 北東捨	VK47	TR3-e層	S-X	凹石	102.0	88.0	40.0	442.7	未鑑定	
153	26			8093	14 北東捨	VL47 ベルト2.5	TR3-e層	S-X	凹石	109.4	72.2	37.8	359.7	凝灰岩	
153	27			8082	14 北東捨	VJ46	TR3-e層と3-f層境	S-X	凹石	120.6	78.9	37.7	471.1	凝灰岩	
154	1			5756	14 北東捨	トレンチ3-3 ブロック4049	TR3-d層	S-X	凹石	123.2	58.1	54.0	439.7	凝灰岩	
154	2	106	7	8070	14 北東捨	トレンチ3-5	TR3-d層	S-X	凹石	130.0	42.0	41.0	453.2	未鑑定	
154	3			8113	14 北東捨	VJ48	TR3-d層	S-X	凹石	92.0	66.7	34.2	259.0	凝灰岩	
154	4	104	4	8074	14 北東捨	トレンチ3-5~6	TR3-d層	S-X	凹石	92.0	85.0	43.0	354.2	凝灰岩	
154	5			8068	14 北東捨	ベルト3-5~6	TR3-d層	S-X	凹石	94.9	992.5	52.5	528.0	凝灰岩	
154	6			8118	14 北東捨	ベルト3-1	TR3-d層	S-X	凹石	84.5	77.3	42.1	301.7	凝灰岩	
154	7	107	1	8079	14 北東捨	VJ48	TR3-d~e層	S-X	凹石	112.0	107.0	44.0	594.6	凝灰岩	
154	8			5735	14 北東捨	トレンチ3-7	TR3-d~e層	S-X	凹石	127.1	66.7	25.6	335.2	凝灰岩	
154	9			5745	14 北東捨	ベルト3-7	TR3-p層	S-X	凹石	105.3	87.1	44.1	442.6	凝灰岩	
154	10	106	5	8073	14 北東捨	VK47	TR3-d2~3-e層	S-X	凹石	105.0	62.0	40.0	372.5	凝灰岩	
154	11			8120	14 北東捨	ベルト3-7	TR3-A層	S-X	凹石	129.2	86.8	45.2	612.2	凝灰岩	
154	12			8115	14 北東捨	VK48	TR3-I層	S-X	凹石	128.8	66.3	44.4	579.3	凝灰岩	
154	13			8001	14 北東捨	ベルト3-6	TR3-I層	S-X	凹石	121.5	74.4	55.5	630.6	凝灰岩	
154	14			8097	14 北東捨	VL45	TR5-2層	S-X	凹石	94.2	62.5	30.4	193.2	凝灰岩	
154	15			8076	14 北東捨	VL46	不明	S-X	凹石	77.0	97.5	20.1	153.6	凝灰岩	
154	16			8111	14 北東捨	VM45	TR5-2層	S-X	凹石	104.5	73.5	35.6	286.8	凝灰岩	
154	17			8083	14 北東捨	VM45	TR5-3層	S-X	凹石	123.5	108.9	53.6	735.6	凝灰岩	
154	18	107	2	8067	14 北東捨	VL45	TR5-3層	S-X	凹石	117.0	62.0	31.0	266.2	凝灰岩	
154	19			8125	14 北東捨	トレンチ5-E	TR6-1層	S-X	凹石	113.4	74.9	61.4	809.7	安山岩	
154	20			8109	14 北東捨	トレンチ6-3	TR6-1~2層	S-X	凹石	104.1	69.4	35.1	322.0	凝灰岩	
154	21			8103	14 北東捨	トレンチ6-3	TR6-1~2層	S-X	凹石	131.9	63.7	43.1	519.7	凝灰岩	
154	22	105	2	8086	14 北東捨	VL44	TR6-3層	S-X	凹石	109.0	69.0	36.0	289.6	凝灰岩	
154	23			8100	14 北東捨	VL44	TR6-3~1-6層	S-4212	凹石	118.1	83.7	58.0	677.3	凝灰岩	
154	24			8094	14 北東捨	VL44 ブロック4042	TR6-3~1-6層	S-X	凹石	122.5	74.6	46.6	509.9	凝灰岩	
154	25			2014	14 北東捨	トレンチ1-4	不明	S-X	凹石	143.4	89.2	51.6	839.4	凝灰岩	
155	1	105	1	5307	14 北東捨	トレンチ4-2	TR3-a~a2層	S-X	凹石	129.0	109.0	27.0	492.4	凝灰岩	表裏ともに中央に敵痕



表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(8)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
155	2			4222	14 北東捨	トレンチ1-1	TR1-5~1-7層	S-X	石皿	190.0	154.0	80.0	2280.0	緑色凝灰岩	素材礫中央部に凹部が磨面、黒色物付着
155	3			7780	14 北捨	VM36セク交点	表土	S-X	石錘	86.0	123.0	64.0		凝灰岩	石製品? 報告書Ⅷ第1編第2章第1節参照
155	4			2050	14 北東捨	トレンチ1-1	TR1-5~1-7層	S-X	石錘	73.8	69.7	20.3	141.1	流紋岩	
155	5			4249	14 東捨場	IVW53	KIII1層	S-X	石皿	145.0	120.0	65.0	1300.0	緑色凝灰岩	報告書Ⅷ第1編第2章第1節参照
155	6			4295	14 北東捨	VL46ベルト1-5	TR1-4~1-4.5層	S-X	石皿	325.0	185.0	61.0	2920.0	凝灰岩	両面磨面、一部に線状痕
155	7			4493	14 北東捨場	トレンチ1-10	TR1-a~b層	S-X	礫器	171.0	128.9	27.2	863.4	緑色凝灰岩	
156	1			4194	14 北東捨	トレンチ5-F	I層	S-X	石皿	127.0	146.0	27.0	360.0	凝灰岩	素材礫の緩やかな曲面に磨面
156	2			4224	14 北東捨場	VK47	北東捨場確認面	S-X	石皿	230.0	177.0	47.0	2000.0	泥岩	両面磨面
156	3			4197	14 北東捨	VL47	I層	S-X	石皿	302.0	204.0	32.0	2540.0	凝灰岩	
156	4			4227	14 北東捨	VL45	I層	S-X	石皿	273.2	188.3	51.1	5400.0	緑色凝灰岩	弱い磨面、弱いすれと敲打痕、搬入自然石?
156	5			4213	14 北東捨	VL45	1~2層	S-X	石皿	242.0	218.0	33.0	1980.0	緑色凝灰岩	帯状の灰白色部、両面磨面
156	6			4147	14 北東捨	VL46ブロック4032-2	TR1-4層	S-4152	石皿	480.6	410.0	120.0	(16680.0)	デイサイト	縁付、被熱黒色化
156	7	108	1	4365	14 北東捨	VM46	TR1-4.5層	S-4341	石皿	223.0	152.0	86.0	3239.7	緑色凝灰岩	中高
156	8	108	2	4366	15 北東捨	東側トレンチ3	不明	S-4002	石皿	233.0	163.0	82.0	3246.5	凝灰岩	中高
157	1			4284	14 北東捨	VM45	TR1-a層	S-X	石皿	240.0	278.0	38.0	2140.0	相馬安山岩	両面に磨面と赤色顔料、裏面は節理面で大きく剥落
157	2			4160	14 北東捨	VM47ブロック4052-3	TR1-4層	S-4283	石皿	340.0	200.0	78.0	3600.0	凝灰岩	被熱により赤色・黒色化
157	3			4149	14 北東捨	VM46ベルト1.5	TR1-4~TR1-4.5層	S-X	石皿	204.7	94.9	35.6	860.0	緑色凝灰岩	
157	4			4183	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-C下層	S-X	石皿	140.0	96.0	23.0	3600.0	凝灰岩	赤色顔料付着、機能面線状痕
157	5			4185	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-2層	S-X	石皿	179.4	153.3	17.2	780.0	相馬安山岩	
157	6			4209	14 北東捨	VM46	TR1-4~1-4.5層	S-X	石皿	334.0	293.0	38.0	12080.0	緑色凝灰岩	素材礫の中央部に凹みを作り出し磨面
158	1			4326	14 北東捨	VL45	2層	S-X	石皿	492.0	257.0	111.0	14600.0	安山岩	
158	2			4094	14 北東捨	VN46ベルト1.5	TR1-5~3-e層	S-X	石皿	575.0	425.0	60.0	17840.0	相馬安山岩	両面に滑らかな磨面
158	3			4308	14 北東捨	VK47ブロック4018	TR2-Y層	S-4075	石皿	298.0	172.0	68.0	2860.0	緑色凝灰岩	正面縁付き
158	4			4175	14 北東捨	ベルト2-8	TR2-ウ(下)1-4.5層	S-X	石皿	225.0	208.0	20.0	640.0	凝灰岩	
158	5			4157	14 北東捨	VL46	TR1-4層	S-4311	石皿	-	-	-	6500.0	緑色凝灰岩	両面磨面、正面に5筋の砥面と擦痕
158	6			4329	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-1層	S-4254	石皿	379.0	224.0	28.0	1740.0	凝灰岩	両面磨面
158	7			4328	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-e層上面	S-4245	石皿	340.0	172.0	29.0	2020.0	緑色凝灰岩	両面磨面
158	8			4297	14 北東捨	VL47ブロック4059	TR2-1層	S-4288	石皿	299.0	376.0	113.0	94200.0	凝灰岩	赤色顔料多量付着のため未洗いで写真
158	9			4219	14 北東捨	トレンチ2-6~7	TR2-1層	S-X	石皿	257.0	200.0	700.0	4060.0	緑色凝灰岩	被熱による赤色・黒色化、縁辺剥離
158	10			4196	14 北東捨	VK46	TR2-1~2-2層	S-X	石皿	244.0	240.0	14.0	620.0	相馬安山岩	4片接合
158	11			4310	14 北東捨	トレンチ2-6ブロック4005	TR2-b層	S-4045	石皿	412.0	273.0	68.0	8020.0	緑色凝灰岩	縁付き、中央の機能面は滑らか、縁辺に成形時の敲打痕が凹凸として残る
159	1			4191	14 北東捨	トレンチ1-5	TR1-4層	S-X	石皿	200.0	154.0	34.0	1260.0	相馬安山岩	両面使用
159	2			4189	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-1層	S-X	石皿	184.0	98.0	21.0	300.0	相馬安山岩	3片接合、両面に磨面
159	3			4195	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-1層	S-X	石皿	200.0	137.4	30.4	940.0	緑色凝灰岩	線状、筋状の凹まり砥石として使用か
159	4			4184	14 北東捨	VK47ベルト2.5	TR2-2層	S-X	石皿	150.0	161.0	15.0	300.0	凝灰岩	両面に赤色顔料
159	5			4192	14 北東捨	ベルト2-8	TR2-ウ層	S-X	石皿	180.0	130.0	33.0	800.0	相馬安山岩	赤色顔料
159	6			4210	14 北東捨	トレンチ3-4	TR3-a~a2層	S-X	石皿	178.0	147.0	39.0	1120.0	緑色凝灰岩	両面磨面
159	7			4200	14 北東捨	VL47ベルト2.5	TR3Z層	S-X	石皿	106.0	90.0	12.0	120.0	相馬安山岩	石製円盤?
159	8			4218	14 北東捨	VJ48	TR3-a2~3-d層	S-X	石皿	225.0	134.0	45.0	1900.0	緑色凝灰岩	器体中央部を中心に磨面
159	9			4212	14 北東捨	VK47	TR3-C層	S-X	石皿	233.0	145.0	31.0	880.0	凝灰岩	正面磨面、裏面線刻

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(9)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
159	10			4217	14 北東捨	ベルト2.5東端付近	TR3-C層	S-4204	石皿	302.0	97.0	38.0	1240.0	凝灰岩	両面磨面
160	1			4305	14 北東捨	ベルト3-1	TR3-e層	S-X	石皿	254.0	179.0	70.0	3760.0	砂質凝灰岩	両面磨面
160	2			4188	14 北東捨	トレンチ3-7	TR3-d-e層	S-X	石皿	212.0	130.0	25.0	8200.0	相馬安山岩	両面使用
160	3			4186	14 北東捨	VJ48	TR3-d層	S-X	石皿	270.0	158.0	13.0	780.0	相馬安山岩	両面弱い磨面、一部被熱し黒色化
160	4			4211	14 北東捨	VM45	TR5-2層	S-X	石皿	158.0	182.0	81.0	960.0	緑色凝灰岩	縁付
160	5			4214	14 北東捨	VK47	TR3-e-f層	S-X	石皿	290.0	232.0	45.0	2760.0	凝灰岩	線状痕と擦痕
160	6			4159	14 北東捨	VL45	TR5-2層	S-X	石皿	181.0	189.0	78.0	1800.0	緑色凝灰岩	縁付、機能面に整形の荒い敲打痕、未製品?
160	7			4199	14 北東捨	斜面トレンチ5	不明	S-X	石皿	83.0	62.0	16.0	100.0	凝灰岩	小破片
160	8			4187	14 北東捨	ベルト1-2~9	不明	S-X	石皿	158.0	119.0	20.0	3600.0	相馬安山岩	弱い磨面
161	1			4215	14 北東捨	VK47	TR2-Z層	S-4246	石皿	330.0	344.0	58.0	6380.0	凝灰岩	両面磨面
161	2			4172	14 北東捨	ベルト2-3	TR2-Z層	S-4353-1	石皿	485.0	450.0	136.0	19960.0	安山岩	両面使用、正面縁付
161	3			4171	14 北東捨	ベルト2-3	TR2-Z層	S-4353-3	石皿	425.0	242.0	133.0	9960.0	安山岩	
161	4			4288	14 北東捨	ベルト3-2	TR3-a2層	S-4305	石皿	450.0	340.0	104.0	13760.0	凝灰岩	中央部付近に滑らかな磨面
161	5			4331	14 北東捨	VL47ブロック4011	TR3-b~3-c層	S-4056	石皿	369.0	294.0	98.0	13600.0	凝灰岩	
161	6			4153	14 北東捨	VK48ブロック4018	TR3-C層	S-4074	石皿	(220.0)	(460.0)	55.0	2800.0	緑色凝灰岩	縁付、線状痕
161	7			4150	14 北東捨	ブロック4017	TR3-A層	S-4072	石皿	298.0	380.0	105.0	4980.0	緑色凝灰岩	縁付
161	8			4060	14 北東捨	不明	TR3-e層	S-4326	石皿	553.0	463.0	69.0	10520.0	相馬安山岩	
162	1			4158	14 北東捨	トレンチ1-3ブロック4073	TR1-6~7層	S-4323	砥石	290.5	159.4	60.3	3460.0	緑色凝灰岩	筋砥石、両面使用
162	2			4226	14 北東捨	トレンチ5-F	TR6-1層	S-X	石皿	248.0	204.0	59.0	3140.0	砂岩	被熱で黒色・赤色化、滑らかな磨面
162	3			4225	14 北東捨	トレンチ5-H~F	TR5-2層	S-4178	石皿	363.0	390.0	82.0	13440.0	凝灰岩	縁付、滑らかな磨面で一部火ばね有
162	4			4309	14 北東捨	トレンチ2-3	不明	S-X	石皿	456.0	298.0	109.0	10660.0	安山岩	正面にざらついた磨面、裏面に滑らかな磨面
162	5			4190	14 北東捨場	トレンチ4-5下	TR6-3層	S-X	石皿	170.0	130.0	25.0	660.0	相馬安山岩	板状節理、両面使用
162	6			4230	14 北東捨	VL44	確認面TR6-1~2層	S-4175	石皿	464.0	338.0	43.0	7100.0	相馬安山岩	両面磨面
162	7			4232	14 北東の東 沢	VI50底面トレンチ15	不明	S-X	石皿	194.0	178.0	25.0	880.0	凝灰岩	両面に磨面及び線状痕・擦痕
162	8			4223	14 北東捨	トレンチ5-F	TR6~1-2層	S-X	石皿	262.0	250.0	58.0	4760.0	緑色凝灰岩	石錘?アスファルト
162	9	107	4	7738	14 北東捨場	VK47ベルト2.5	TR3-c下層	S-X	石皿	152.0	169.0	34.0	1042.4	凝灰岩	石錘?
162	10	107	3	7741	14 北東捨場	VK47ベルト2.5	TR2-I層	S-X	石皿	182.0	196.0	45.0	1867.5	凝灰岩	石錘?
162	11	114	5	7737	14 北東捨場	トレンチ2-6~7	TR2-I層	S-X	石皿	169.0	72.5	24.0	262.9	相馬安山岩	破片、石製円盤?
163	1	110	4	3042	14 北東捨 14 川原平(4)⑥北	VJ・P48	I・2a層	S-328 S-X	石刀	351.9	32.8	14.6	198.2	凝灰質粘板岩	柄と切先欠損、沈線、刃のミネに沿って沈線、内反り
163	2	109	5	3135	14 北東捨	VK47	TR2-Y~3-a層	S-4048	石剣	292.0	31.0	19.0	305.0	点紋粘板岩	柄部欠損
163	3	109	1	3043	14 北東捨	VK47ブロック4077	TR3-d2層	S-4333 S-4336	石棒	314.0	34.0	27.0	478.8	凝灰質粘板岩	柄欠損
163	4	109	3	3128	14 北東捨	ベルト2-5	TR3-e層	S-X	石棒	314.7	33.0	24.2	412.9	粘板岩	断片
163	5	109	4	3009	14 北東捨 15 西捨場	VE25トレンチ2-11ブロック4061	TR2-I層 III層中	S-4291 S-X	石棒類	185.9	33.2	10.5	108.1	凝灰質粘板岩	柄・切先欠損、半割
163	6	109	7	3133	14 北東捨	トレンチ2-11ブロック4027	TR3-c層	S-4100	石剣	95.0	30.2	15.3	49.9	凝灰岩	柄頭と体部の境に2条沈線
163	7	110	2	3131	14 北東捨	トレンチ5-1	TR5-1~2層	S-4098	石剣	112.6	32.0	18.3	117.3	凝灰質粘板岩	柄頭と体部の境に2条沈線
163	8	109	6	3106	14 北東捨	VN45	東III-1層	特-5078	石剣	147.1	32.0	18.6	107.5	粘板岩	柄頭沈線文、赤彩
163	9	110	3	3130	14 北東捨	トレンチ1-9	TR1-d~1-7層	S-X	石剣	161.5	30.0	16.0	103.5	点紋粘板岩	柄頭と体部の境に1条沈線
163	10	109	2	3132	14 北東捨	ベルト1-4	TR1-4~1-4.5層	S-X	石剣	178.9	30.1	18.0	160.1	凝灰質粘板岩	柄頭と体部の境に2条沈線
164	1			3014	14 北東捨	VL45	TR6-1層	S-4163	石棒類	185.0	28.4	14.3	91.0	凝灰質粘板岩	断片、沈線1条
164	2			3129	14 北東捨	ベルト3-1	TR3-a2層	S-4302	石棒	162.0	27.6	16.5	104.7	凝灰質粘板岩	先端断片
164	3			3134	14 北東捨	VK46	TR2-2層	S-X	石棒	132.0	27.0	21.0	97.4	凝灰質粘板岩	先端断片
164	4	110	1	3005	14 北東捨 14 東捨場 14 北捨場	VL47・IV32 VM41 ベルト2-5	TR2-I層 KIII黄層 東III-2層	S-X 特-5108	石棒	136.7	32.5	27.4	197.0	粘板岩	断片
164	5	110	5	2102	14 北東捨場	VL47・48 調査区東端トレンチ1	不明	S-X	石棒	107.0	77.0	70.0	832.1	安山岩	敲打で沈線状の帯
164	6			823	14 北東捨	VL47	TR3-C層	S-X	石製品	69.4	60.7	12.2	70.1	凝灰岩	正裏擦れ、赤色顔料痕?

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(10)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
164	7			902	14 北東捨	VL47	TR3-z層	S-X	石製品	112.3	83.4	26.3	247.6	凝灰岩	
165	1	111	3	G119	14 北東捨	トレンチ2-7	TR2-1層	S-X	岩版	87.0	58.0	17.0	82.6	凝灰岩	
165	2	111	7	G125	14 北東捨	VM45	TR5-2層	S-4337	岩版	78.0	67.0	25.0	150.5	凝灰岩	
165	3	111	5	G123	14 北東捨	VL45	確認面	S-4001	岩版	80.0	56.0	22.0	138.3	凝灰岩	
165	4	111	6	G120	14 北東捨	VL46 ブロック 4024-4	TR1-4層	S-4134	岩版	89.0	57.0	14.0	88.6	凝灰岩	
165	5	111	1	G121	14 北東捨	ベルト3-7	TR3-3層	S-4158	岩版	61.0	65.0	12.0	64.3	凝灰岩	
165	6	112	2	G126	14 北東捨	トレンチ1 ブロック 4019	TR1-4層	S-4086	岩版	46.0	58.0	10.0	40.0	凝灰岩	
165	7	111	9	G124	14 北東捨	V048	I層	S-X	岩版	87.0	72.0	12.0	121.1	緑色凝灰岩	
165	8	111	2	G117	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-c層	S-X	岩版	79.0	53.0	13.0	61.7	凝灰岩	
165	9	111	8	G122	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-c層	S-X	岩版	51.0	51.0	10.0	29.6	凝灰岩	
165	10	112	5	G127	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-c層	S-X	岩版	89.0	53.0	18.0	113.0	凝灰岩	
165	11			G118	14 北東捨	ベルト3-5	TR3-イ層	S-X	線刻礫	60.1	38.6	6.5	18.9	凝灰岩	
165	12	111	4	G116	14 北東捨	VL46	TR1-4.5層	S-X	岩版	49.0	44.0	7.0	26.0	凝灰岩	
166	1			ht79	14 北東捨	VM44	I層	S-X	石製円盤	54.6	48.0	21.0	77.2	未鑑定	節理面赤色
166	2			ht25	14 北東捨	トレンチ5-II	I層	S-X	石製円盤	67.7	59.6	22.6	121.7	相馬安山岩	アスファルト
166	3			2049	14 北東捨	VM46	I層	P-X	石製円盤	45.1	44.0	12.2	29.6	デイサイト	
166	4			5250	14 北東捨	V049	I層	S-X	石製円盤	69.4	61.0	24.3	154.9	凝灰岩	
166	5			ht48	14 北東捨	VJ47	I層	S-X	石製円盤	91.0	76.6	12.6	101.7	安山岩	
166	6			ht177	14 北東捨	トレンチ5-II	I層	S-X	石製円盤	142.0	124.6	33.1	701.3	デイサイト	
166	7	112	8	ht33	14 北東捨	VK47	III層	S-X	石製円盤	65.0	55.0	23.0	112.8	未鑑定	アスファルト
166	8			ht174	14 北東捨	トレンチ2-2	不明	S-X	石製円盤	44.4	41.5	10.6	24.2	未鑑定	
166	9			ht183	14 北東捨	VL45	1~2層	S-X	石製円盤	50.9	46.7	15.1	54.5	緑色凝灰岩	
166	10			ht275	14 北東捨	トレンチ1-6	TR1-2層	S-X	石製円盤	67.8	65.8	17.4	105.3	緑色凝灰岩	
166	11			2055	14 北東捨	ベルト2-6	TR3-b層	S-X	石製円盤	80.7	67.1	19.5	163.6	相馬安山岩	
166	12	113	3	7718	14 北東捨	ベルト1-7	TR1-1~1-3層	S-X	石製円盤	77.0	74.0	28.0	211.7	デイサイト	石皿転用
166	13			ht233	14 北東捨	トレンチ1-3~5	TR1-4層	S-4054	石製円盤	85.0	75.1	32.6	293.8	安山岩	
166	14			ht102	14 北東捨	ベルト1-5	TR1-1~1-3層	S-X	石製円盤	54.3	42.8	16.0	59.7	未鑑定	
166	15			5242	14 北東捨	トレンチ1-3~5	TR1-4層	S-X	石製円盤	71.6	63.6	9.4	66.8	相馬安山岩	
166	16			ht44	14 北東捨	トレンチ10 ブロック 4066	TR1-4層	S-X	石製円盤	73.0	66.7	15.0	105.9	未鑑定	
166	17	113	1	7732	14 北東捨	VL46	TR1-4層	S-X	石製円盤	64.0	55.0	15.0	75.4	凝灰岩	
166	18			ht111	14 北東捨	VM47 ブロック 4052-3	TR1-4層	S-4260	石製円盤	51.7	47.4	6.6	21.6	デイサイト	
166	19	113	5	798	14 北東捨	VL46	TR1-4層	S-X	石製円盤	34.7	35.2	12.8	18.3	凝灰岩	線刻
166	20			ht43	14 北東捨	ベルト1-3	TR1-1~1-3層	S-X	石製円盤	64.3	60.8	16.1	88.6	未鑑定	
166	21			ht204	14 北東捨	VM46 ブロック 4052-1	TR1-4層	S-4256	石製円盤	54.8	52.4	20.5	85.9	未鑑定	
166	22			ht40	14 北東捨	VM46	TR1-4.5層	S-X	石製円盤	50.9	48.1	15.4	46.1	デイサイト	
166	23			ht26	14 北東捨	VL46	TR1-4.5層	S-X	石製円盤	65.0	61.3	18.8	90.8	緑色凝灰岩	
166	24			ht278	14 北東捨	VL46	TR1-4.5層	S-X	石製円盤	83.6	75.0	29.3	256.5	デイサイト	
167	1			789	14 北東捨	VL46	TR1-4.5層	S-X	石製円盤	58.2	62.1	22.7	120.6	未鑑定	黒色沈着物
167	2			ht168	14 北東捨	VM46	TR1-b層	S-X	石製円盤	65.5	49.6	15.4	61.3	緑色凝灰岩	
167	3			ht308	14 北東捨	トレンチ1-7~8	TR1-e層	S-X	石製円盤	59.6	59.4	13.6	73.4	相馬安山岩	
167	4	113	4	7660	14 北東捨	トレンチ1-2	TR1-5~6層	S-X	石製円盤	34.0	32.0	15.0	16.5	凝灰岩	
167	5			ht131	14 北東捨	トレンチ5-2	TR1-a~b層	S-X	石製円盤	64.5	55.5	12.4	68.0	粗粒玄武岩	
167	6			ht209	14 北東捨	ブロック16 トレンチ1-7~8	TR1-c層	S-X	石製円盤	54.6	51.3	15.5	60.6	緑色凝灰岩	
167	7			4488	14 北東捨場	トレンチ1-8	TR1-c層	S-X	石製円盤	43.1	43.4	17.2	11.1	凝灰岩	
167	8			ht289	14 北東捨	トレンチ1-10?	TR1-c~1-7層	S-X	石製円盤	68.3	63.7	21.0	133.1	未鑑定	
167	9			ht148	14 北東捨	VL46	TR1-7~8層	S-X	石製円盤	85.9	62.9	19.7	131.1	緑色凝灰岩	
167	10			ht31	14 北東捨	トレンチ1-6~8	TR1-d層	S-X	石製円盤	77.9	67.8	20.9	167.8	凝灰岩	
167	11			ht180	14 北東捨	トレンチ1-7	TR1-d層	S-X	石製円盤	72.5	63.1	17.4	99.7	安山岩	
167	12			ht252	14 北東捨	トレンチ2-3	TR2-1層	S-X	石製円盤	66.5	62.8	21.2	110.9	緑色凝灰岩	
167	13			5338	15 北東捨	トレンチ2-6~7	TR2-1層	S-X	石製円盤	114.2	94.7	13.4	184.0	相馬安山岩	
167	14			ht7	14 北東捨	トレンチ2-4	TR2-1層	S-X	石製円盤	32.8	28.4	10.9	12.4	流紋岩	
167	15			ht77	14 北東捨	VL46	TR2-1層	S-X	石製円盤	45.2	43.5	8.7	24.9	相馬安山岩	
167	16			ht27	14 北東捨	VK47	TR2-1~2層	S-X	石製円盤	53.4	51.0	18.3	62.5	緑色凝灰岩	
167	17			5388	14 北東捨	トレンチ2-5~6	TR2-2層	S-X	石製円盤	96.9	73.8	10.9	89.2	デイサイト	不整六角形、1辺礫面、縦横剥離、節理面赤褐色
167	18			5385	14 北東捨	トレンチ2-2	TR2-2層	S-X	石製円盤	58.2	54.2	13.8	54.1	相馬安山岩	不整六角形、縦剥離
167	19			5337	14 北東捨	ベルト2-7	TR2-6層	S-X	石製円盤	107.9	84.9	23.8	194.2	相馬安山岩	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(11)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
167	20			ht35	14 北東捨	VJ47	TR2-a~a2層	S-X	石製円盤	72.6	65.2	23.8	136.6	デイサイト	
167	21			ht92	14 北東捨	トレンチ2-4	TR2-9層	S-X	石製円盤	50.1	44.9	15.9	52.9	安山岩	黒色沈着物
167	22			ht65	14 北東捨	VJ47	TR2-a~a2層	S-X	石製円盤	63.8	60.5	15.0	78.6	相馬安山岩	アスファルト
167	23			ht331	14 北東捨	トレンチ2-6	TR2-Y層	S-X	石製円盤	59.4	55.2	12.1	47.7	凝灰岩	
167	24			ht60	14 北東捨	ベルト2-3	TR2-b~2-z層	S-X	石製円盤	77.2	65.2	23.8	147.1	流紋岩	
167	25			ht188	14 北東捨	ベルト2-3	TR2-b~2-z層	S-X	石製円盤	72.4	62.2	27.9	140.7	デイサイト	
167	26			ht193	14 北東捨	ベルト2-7	TR2-b層	S-X	石製円盤	76.4	71.4	24.3	201.3	緑色凝灰岩	
168	1			ht299	14 北東捨	VK47	TR2-Y層	S-X	石製円盤	53.1	52.4	16.6	63.0	粗粒玄武岩	
168	2			ht292	14 北東捨	トレンチ2-5	TR2-Y層	S-X	石製円盤	62.5	57.8	16.5	73.4	凝灰岩	
168	3			ht155	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-Y層	S-X	石製円盤	60.7	46.1	15.2	70.1	デイサイト	
168	4			2046	14 北東捨	VL46	TR2-Y~Z層	S-X	石製円盤	32.6	28.5	7.1	8.8	凝灰岩	
168	5			ht120	14 北東捨	トレンチ2-4	TR2-z層	S-X	石製円盤	73.4	66.3	25.6	183.3	花崗岩	
168	6	113	10	7526	14 北東捨	VK47 トレンチ2.3間	TR2-Z~3-a2層	S-X	石製円盤	23.0	22.0	9.5	5.9	凝灰岩	
168	7			ht162	14 北東捨	VK47	TR2-Y~E層	S-X	石製円盤	47.6	47.3	13.9	39.8	未鑑定	
168	8			ht335	14 北東捨	トレンチ4-2	TR2-Y~z層	S-X	石製円盤	43.0	40.8	17.2	37.1	流紋岩	
168	9			5394	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-Y層	S-X	石製円盤	103.4	95.3	36.4	439.3	凝灰岩	不整形、3カ所で剝離加工、被熱
168	10			5681	14 北東捨	ベルト2-10	TR2-ウ(1-4)層	S-X	石製円盤	48.8	43.9	9.5	24.7	凝灰岩	
168	11			ht61	14 北東捨	ベルト3-6	TR2-イ層	S-X	石製円盤	68.2	55.2	25.3	156.5	安山岩	アスファルト
168	12			ht232	14 北東捨	VK47 ベルト2.5	TR2-z層	S-X	石製円盤	99.6	92.7	26.2	217.6	凝灰岩	
168	13			2208	14 北東捨	VL46	TR2-Z層	S-X	石製円盤	134.8	89.5	20.3	294.8	凝灰岩	素材? 蔽石? 加工部分少ない
168	14			ht257	14 北東捨	トレンチ2-10	TR2-ウ層	S-X	石製円盤	98.2	88.7	31.2	353.7	安山岩	
168	15			ht15	14 北東捨	VJ47 ベルト3	TR3-a層	S-X	石製円盤	75.6	68.2	24.3	192.4	安山岩	
168	16			ht249	14 北東捨	VK47	TR3-a~a2層	S-X	石製円盤	67.8	62.3	22.6	137.1	安山岩	
168	17			ht34	14 北東捨	VL47	TR3-3層	S-X	石製円盤	53.7	52.9	24.0	90.4	緑色凝灰岩	
168	18			ht91	14 北東捨	VK47	不明	S-X	石製円盤	53.4	51.1	17.5	63.3	デイサイト	アスファルト段差部分にも
168	19			ht97	14 北東捨	VK47	TR3-a2層	S-X	石製円盤	48.5	45.3	12.2	30.9	未鑑定	アスファルト
168	20			ht298	14 北東捨	VL47 ベルト2.5	TR3-b層	S-X	石製円盤	58.1	54.9	30.3	144.2	未鑑定	
168	21			ht110	14 北東捨	VL47 ベルト2.5	TR3-c層	S-X	石製円盤	40.5	38.5	14.9	37.0	デイサイト	
168	22			ht227	14 北東捨	ブロック4027	TR3-c層	特-4013	石製円盤	43.8	41.5	17.4	27.7	凝灰岩	
168	23			ht189	14 北東捨	VK47	TR3-c層	S-X	石製円盤	51.8	42.9	24.4	76.7	安山岩	
168	24			ht190	14 北東捨	トレンチ3-6	TR3-c~イ層	S-X	石製円盤	75.9	60.8	37.5	349.1	未鑑定	
168	25			ht54	14 北東捨	ベルト3-6	TR3-ア層	S-X	石製円盤	74.8	71.4	17.1	159.1	緑色凝灰岩	
168	26			ht117	14 北東捨	ベルト3-7	TR3-ア層	S-X	石製円盤	68.5	63.7	21.3	163.3	花崗岩	
168	27			ht170	14 北東捨	ベルト3-6	TR3-ア層	S-X	石製円盤	60.6	56.4	5.6	25.8	凝灰岩	
168	28			ht340	14 北東捨	VK48	TR3-ア層	S-X	石製円盤	44.6	41.9	11.9	32.4	デイサイト	
169	1			ht37	14 北東捨	VM46	TR5-1層	S-X	石製円盤	67.4	63.4	18.6	101.9	安山岩	アスファルト
169	2	113	8	ht158	14 北東捨	トレンチ5-1	TR5-1~2層	S-X	石製円盤	47.0	45.0	17.0	34.1	凝灰岩	線刻
169	3			ht86	14 北東捨	VM45	TR5-2層	S-X	石製円盤	54.0	48.7	7.9	25.1	デイサイト	
169	4	113	9	ht107	14 北東捨	VN45	TR5-2層	S-X	石製円盤	42.0	43.0	13.0	38.0	緑色凝灰岩	
169	5			ht268	14 北東捨	ベルト2.5-8	TR3-z層	S-X	石製円盤	84.6	82.5	25.0	251.2	デイサイト	
169	6			ht217	14 北東捨	VL45	TR5-3層	S-X	石製円盤	83.2	77.2	18.5	151.6	頁岩	
169	7			ht251	14 北東捨	VL45	TR5-2層	S-X	石製円盤	64.5	58.5	23.1	115.6	緑色凝灰岩	
169	8			ht315	14 北東捨	VN45	TR5-2層	S-X	石製円盤	64.5	60.2	16.4	104.7	相馬安山岩	
169	9			ht46	14 北東捨	トレンチ5-6	TR6-1層	S-X	石製円盤	64.7	51.8	12.2	56.8	相馬安山岩	赤色顔料付着、石皿破片転用
169	10			ht339	14 北東捨	VL44	TR6-1層	S-X	石製円盤	44.0	39.7	9.6	25.1	流紋岩	
169	11			2057	14 北東捨	ベルト2-6	TR3-b層	S-X	石製円盤	82.8	67.8	16.5	159.4	流紋岩	
169	12			ht149	14 北東捨	トレンチ5-F	TR6-1~2層	S-X	石製円盤	70.8	55.1	31.1	123.6	珪質頁岩	
169	13	112	9	7744	14 北東捨	トレンチ5-F	TR6-1~2層	S-X	石製円盤	45.5	52.0	55.0	17.9	相馬安山岩	
169	14			2048	14 北東捨	トレンチ6-4	TR6-2層	S-X	石製円盤	59.0	51.9	20.3	72.9	泥岩	
169	15			ht76	14 北東捨	トレンチ5-F	TR6-2層	S-X	石製円盤	62.1	56.4	13.1	60.0	相馬安山岩	赤色顔料付着、石皿破片転用

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(12)

写真図 版番号	番号	図版 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
169	16			ht134	14 北東捨	トレンチ5-f	TR6-2層	S-X	石製円盤	101.1	94.3	20.7	280.0	凝灰岩	
169	17			2016	14 北東捨	トレンチ2-3	不明	S-X	石製円盤	93.6	92.3	25.3	310.1	凝灰岩	
169	18			2206	14 北東捨	トレンチ4-1	不明	S-X	石製円盤	81.4	77.3	23.1	160.4	凝灰岩	不整6角形、風化
169	19			ht264	14 北東捨	斜面トレン チ5	不明	S-X	石製円盤	100.8	92.6	23.2	338.5	デイサイト	
169	20			ht156	14 北東捨	トレンチ2-3	不明	S-X	石製円盤	67.3	50.5	9.0	46.1	デイサイト	
169	21			ht71	14 北東捨	斜面トレン チ	不明	S-X	石製円盤	67.4	66.7	10.0	83.3	相馬安山岩	
169	22			788	14 北東捨	トレンチ1-4	不明	S-X	石製円盤	59.0	59.7	28.7	93.0	未鑑定	
170	1			ht165	14 北東捨	トレンチ1-1	不明	S-X	石製円盤	64.0	52.2	13.4	51.6	珪質頁岩	
170	2			ht38	14 北東捨	斜面トレン チ2-1	不明	S-X	石製円盤	67.1	61.8	18.6	104.9	デイサイト	アスファルト
170	3			ht346	14 北東捨	V048	不明	S-X	石製円盤	68.2	57.5	23.0	136.7	流紋岩	報告書Ⅷ第1編第2章 第1節参照
170	4			10239	14 北東捨	V146	TR2b~ 1-4層	S-4080	自然礫	126.3	120.4	65.4	1142.3	凝灰岩	
170	5	114	3	7719	14 北東捨	トレンチ3-2 P4032付近	TR3-d層	S-X	石製品	142.0	49.0	17.0	125.4	砂質凝灰岩	棒状で剥離あり
170	6	112	3	2045	14 北東捨	トレンチ2-3	不明	S-X	石製品	37.8	35.5	7.5	7.6	凝灰岩	破片、線刻、赤彩
170	7			2609	14 北東捨	V145	TR5-3層	S-X	石製品	45.6	10.2	10.6	7.0	シルト岩	
170	8			819	14 北東捨	VK45	I層	S-X	石製品	45.6	14.0	8.1	10.2	凝灰岩	
170	9			4707	14 東捨場	IVV56	KIII1層	特-267	自然礫	40.7	22.0	13.4	10.0	未鑑定	報告書Ⅷ第1編第2章 第1節参照
170	10			2623	14 北東捨	V146 ブロック 4032-1	TR1-4層	S-X	玉素材	22.3	19.5	16.4	6.4	緑色凝灰岩	
170	11			805	14 北東捨	VJ47	確認面	S-X	玉素材	13.3	12.0	7.0	1.0	緑色凝灰岩	
170	12			6455	14 北捨場	VJ39	10	特-5064	玉素材	14.5	10.0	8.0	1.6	緑色凝灰岩	報告書Ⅷ第1編第2章 第1節参照
170	13	114	4	7776	14 北東捨	V145	TR5-3層	S-X	石製品	133.0	109.0	53.0	776.7	安山岩	有孔
170	14	114	1	7520	14 北東捨	トレンチ 3-3~4	TR3-d層	S-4238	石製品	51.0	50.0	14.0	26.2	凝灰岩	
170	15	106	6	2053	14 北東捨	VK47	TR2-ウ層		石製品	68.0	58.0	28.0	130.8	凝灰岩	
170	16	112	6	2047	14 北東捨	VM45	I層	P-X	線刻礫	52.0	24.0	20.3	12.8	凝灰岩	
170	17	113	6	7734	14 北東捨	トレンチ5-1	不明	S-X	線刻礫	54.0	48.0	10.0	31.9	凝灰岩	
170	18	113	2	2054	14 北東捨	VK47	TR3-C層	S-4068	石製円盤	57.8	59.7	11.9	54.8	緑色凝灰岩	線刻、アスファルト
170	19	114	2	2661	14 北東捨	トレンチ1-7 ブロック16	TR1-c層	S-X	石製品	60.0	40.0	35.0	108.9	緑色凝灰岩	線刻
171	1	114	6	2209	14 北東捨	VK46	皿層	S-X	線刻礫	92.8	84.5	35.4	128.2	凝灰岩	
171	2			5342	14 北東捨	トレンチ2-8	TR3-e層	S-X	線刻礫	58.5	51.6	18.2	74.6	凝灰岩	
171	3			5206	14 北東捨	V146	TR1-4層	S-X	線刻礫	63.7	49.0	11.0	35.1	凝灰岩	
171	4	112	4	2056	14 北東捨	トレンチ6-3	TR6-1~2層	S-X	線刻礫	118.1	74.3	26.6	300.5	緑色凝灰岩	線刻
171	5			8057	14 北東捨	トレンチ1-3	TR1-4層	S-X	石皿	81.4	91.4	23.0	385.3	安山岩	赤色顔料
171	6	114	7	824	14 北東捨	トレンチ5-1	TR5-2層	S-4181	石製品	88.2	61.7	34.4	157.1	緑色凝灰岩	足状の形
171	7	112	1	5345	14 北東捨	トレンチ5-1	TR5-1層	S-X	線刻礫	91.4	63.9	29.2	198.2	凝灰岩	線刻
171	8			4492	14 北東捨	トレンチ1-5	TR1-4層	S-X	線刻礫	76.6	55.5	11.8	47.2	凝灰岩	
171	9			2731	14 北東捨	トレンチ2-9	TR2-ウ層	S-X	線刻礫	78.2	53.5	6.9	32.9	凝灰岩	
171	10	112	7	7756	14 北東捨	トレンチ1-7	不明	S-X	線刻礫	157.0	107.0	21.0	445.3	凝灰岩	線状痕



表17 北東捨場地区 石製円盤集合写真観察表(1)

写真	番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円13					
172-1	1	236	トレンチ5-h	I層	170.1
172-1	2	119	ブロック15 トレンチ1	TR1-4層	178.0
172-1	3	121	VL45	TR5-1層	255.0
172-1	4	118	ベルト3-6	TR3-7層	93.2
172-1	5	115	VK47	TR2-1~3-a層	122.0
172-1	6	322	トレンチ5-G ベルト2.5	TR6-1層	81.8
172-1	7	185	VL47	TR3-c層	280.1
172-1	8	113	VK48	TR3-e層	249.2
172-1	9	376	VQ48	北東延長・2a層	148.2
172-1	10	297	VK47	TR3-a~a2層	104.2
172-1	11	128	トレンチ5-f	I層	77.8
172-1	12	124	ベルト1-3~6	TR3-7層	104.3
172-1	13	369	VQ49	北東延長・I層	99.5
172-1	14	114	TR3-イ層	TR3-イ層	145.8
172-1	15	395	VP49	北東延長・2層	164.0
172-1	16	199	VL46	TR1-4.5層	249.4
172-1	17	351	VP48	北東延長・2層	187.4
172-1	18	322	VK46	TR2-1~3-a層	63.2
172-1	19	378	VQ48	北東延長・I層	177.4
172-1	20	452	VP48	北東延長・2層	77.6
172-1	21	442	VQ49	北東延長・I層	61.4
172-1	22	454	VQ48	北東延長・I層	71.6
172-1	23	125	トレンチ1-5	不明	69.8
172-1	24	479	VP48	北東延長・2層	90.4
172-1	25	409	VP48	北東延長・2a層	123.8
172-1	26	470	VP49	北東延長・1層	105.6
172-1	27	123	トレンチ3-6	TR3-c~e層	93.3
172-1	28	127	VL48	TR3-a2層	59.9
172-1	29	116	ブロック16 トレンチ1-7 ~8	TR1-c層	34.1

写真	番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円14					
172-2	1	245	ベルト7	TR3-d層	95.3
172-2	2	235	ベルト1-6	TR1-4~1-4.5層	233.3
172-2	3	22	トレンチ5-F	TR6-1~3層	156.7
172-2	4	135	VK47 ベルト2.5	TR2-1層	92.4
172-2	5	286	トレンチ2-6	TR2-b~2-y層	125.4
172-2	6	130	ブロック4060 ベルト5-2~3	TR5-2層	83.5
172-2	7	269	VL44	TR6-2層	163.5
172-2	8	16	VL46	TR2-a層	200.0
172-2	9	416	VQ48	北東延長・2b層	139.5
172-2	10	280	トレンチ2-10	TR2-z層	128.8
172-2	11	191	VM67	TR1-5~3-c層	49.5
172-2	12	159	トレンチ5-G	TR6-1~2層	36.9
172-2	13	411	VP48・49	北東延長・2b層	66.9
172-2	14	205	ベルト2-3	TR2-1層	91.5
172-2	15	212	ブロック4023 トレンチ1	TR1-c層	34.5
172-2	16	72	VK47 ベルト2.5	TR2-z層	50.8
172-2	17	459	VP47	北東延長・2a層	62.3
172-2	18	448	VQ48	北東延長・2層	50.1
172-2	19	333	VM47	TR1-5~3-b層	60.0
172-2	20	436	不明	北東延長・TR1-4~1-5層	44.0
172-2	21	453	VP48	北東延長・不明	46.1
172-2	22	259	VM44	I層	46.7
172-2	23	166	VM47	TR1-4.5層	39.6
172-2	24	154	ベルト5-J	TR5-2層	66.4
172-2	25	478	VQ49	北東延長・1層	50.7
172-2	26	294	トレンチ5-2	TR1-1~6層	38.6
172-2	27	439	VP48・49	北東延長・3層	18.6
172-2	28	5	V148	TR3-d~e層	25.0
172-2	29	365	VQ48	北東延長・2a層	118.5
172-2	30	338	VK47	TR3-a~a2層	37.4
172-2	31	160	VM45	TR1-1~2層	19.2
172-2	32	176	VM47 ブロック 4052-3	TR1-4層	9.8

写真	番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円15					
172-3	1	380	VQ49	北東延長・I層	183.8
172-3	2	36	VK48	TR3-i層	186.3
172-3	3	274	トレンチ2-4	TR2-1層	173.8
172-3	4	360	VQ48	北東延長・2a層	169.5
172-3	5	267	ベルト3-3	TR3-a層	143.1
172-3	6	293	ベルト1-4	TR1-4~1-4.5層	58.5
172-3	7	216	ベルト1-10	TR1-4~1-4.5層	85.9
172-3	8	181	VK47	TR2-1層	148.1
172-3	9	330	ベルト1-9	TR1-1~1-3層	121.4
172-3	10	323	トレンチ5-G	TR6-1層	82.9
172-3	11	321	ベルト1-8	TR1-1~1-2層	92.5
172-3	12	98	トレンチ5-F	TR6-1~2層	66.8
172-3	13	372	VQ46	北東延長・I層	78.1
172-3	14	246	不明	TR1-4~1-4.5層	140.1
172-3	15	239	トレンチ1-10	TR1-c~1-1層	158.7
172-3	16	482	VP49	北東延長・2層	71.4
172-3	17	305	VK47	TR2-Y層	75.1
172-3	18	282	トレンチ5-I	I層	94.4
172-3	19	215	VK47 ベルト2.5	TR2-z層	106.4
172-3	20	207	トレンチ2-9	TR2-z層	54.3
172-3	21	329	VK46	III層	66.3
172-3	22	434	VP48	北東延長・2層	45.3
172-3	23	441	VQ48	北東延長・2層	37.6
172-3	24	437	VQ48	北東延長・2層	57.4
172-3	25	62	トレンチ2-4	TR2-2層	93.6
172-3	26	74	トレンチ3-6	TR3-c~e層	86.8
172-3	27	295	トレンチ5-H	TR5-1層	56.0
172-3	28	427	VP49	北東延長・I層	65.6
172-3	29	389	VQ48	北東延長・I層	93.0
172-3	30	141	トレンチ1-8	TR1-c層	85.2
172-3	31	75	ベルト5-J	TR5-1層	81.8
172-3	32	196	VL47	TR3-c層	91.1
172-3	33	304	ベルト1-4	TR1-4~1-4.5層	52.7
172-3	34	474	VQ49	北東延長・I層	47.3
172-3	35	2	トレンチ1-6	TR1-4層	24.2

写真	番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円16					
172-4	1	200	VM46 トレンチ1-9	TR1-c層	94.3
172-4	2	63	ベルト2.5-9	TR2-5層	116.1
172-4	3	294	VK47	TR3-c層	67.4
172-4	4	387	VP48	北東延長・2a層	43.0
172-4	5	169	VK48	不明	30.3
172-4	6	153	ブロック4030 トレンチ1-6 ~7	TR1-4層	54.2
172-4	7	171	ベルト1-8	TR1-1~1-3層	22.2
172-4	8	468	VQ48	北東延長・2a層	21.7
172-4	9	435	VQ48	北東延長・1~2層	22.8
172-4	10	415	VP47	北東延長・II層	95.7
172-4	11	28	不明	不明	56.7
172-4	12	84	VM47	TR1-5~3-c層	41.3
172-4	13	223	ベルト2.5-9	TR2-z層	39.1
172-4	14	375	VP48	北東延長・2層	43.9
172-4	15	477	VP48	北東延長・2層	28.1
172-4	16	443	VP48	北東延長・2層	48.7
172-4	17	83	トレンチ1-7	不明	50.4
172-4	18	399	VQ48	北東延長・不明	58.8
172-4	19	242	VL46	TR2-1層	146.7
172-4	20	266	トレンチ3-3	確認層	155.9
172-4	21	23	ベルト1-4	TR1-4~1-4.5層	105.0
172-4	22	419	VP50	北東延長・I層	68.6
172-4	23	19	トレンチ5-G	TR6-1層	78.6
172-4	24	429	VQ49	北東延長・I層	60.3
172-4	25	461	VP48	北東延長・2a層	66.8
172-4	26	463	VP48	北東延長・2層	57.6
172-4	27	444	VQ48	北東延長・2a層	53.2
172-4	28	234	VE24	I層	16.7
172-4	29	4045	不明	III層	12.5
172-4	30	80	トレンチ5-I	TR1-1層	78.2
172-4	31	3646	VC26	III層中	74.7
172-4	32	230	VL45	I層	86.1
172-4	33	481	VP48	北東延長・2a層	58.3
172-4	34	1506	VC25	III層上	38.0
172-4	35	6	VK47	TR2-a~3-a2層	17.8
172-4	36	318	VJ46	TR2-2~2-3層	41.1

写真	番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円17					
172-5	1	45	トレンチ1-3 ~5	TR1-1層	80.8
172-5	2	244	VL45	TR1-1層	92.4
172-5	3	417	VP47	北東延長・2a層	194.3
172-5	4	250	ベルト3-4	TR3-a2層	65.0
172-5	5	49	VM47	TR1-4~1-4.5層	80.0
172-5	6	237	VK47	TR2-y層	149.1
172-5	7	316	ベルト3-7	TR3-z層	76.1
172-5	8	179	トレンチ3-4	TR3-a2層	435.7
172-5	9	287	VK47	TR2-y層	190.8
172-5	10	138	VM45	TR5-1層	144.5
172-5	11	382	VQ48	北東延長・I層	152.6
172-5	12	413	VQ49	北東延長・I層	136.1
172-5	13	357	VP50	北東延長・I層	110.7
172-5	14	258	ベルト5-J	TR5-1層	142.5
172-5	15	263	トレンチ1-6	TR1-b~e層	106.7
172-5	16	320	VL47	TR3-1層	126.5
172-5	17	67	ブロック15	TR1-4層	88.6
172-5	18	475	VP49	北東延長・I層	63.5
172-5	19	226	VJ48	TR3-c層	54.7
172-5	20	211	VK47	TR2-z層	41.0
172-5	21	52	ベルト3-7	TR3-z層	91.4
172-5	22	210	VM44 ブロック4035	確認層	83.8
172-5	23	101	トレンチ1-10	TR1-c~1-7層	30.6
172-5	24	85	VL47	TR3-c層	62.9
172-5	25	248	トレンチ7-4	TR1-1層	134.3
172-5	26	228	VL45	TR1-1層	83.7
172-5	27	314	トレンチ2-6	TR2-y層	73.4
172-5	28	428	VQ48	北東延長・不明	109.5
172-5	29	319	トレンチ2-7	TR2-b~2-y層	118.7
172-5	30	29	VL46	TR2-1層	211.9
172-5	31	243	トレンチ1-5	TR1-5~1-7層	95.2
172-5	32	41	VK47	TR2-z層	199.2
172-5	33	90	VL45	1~2層	35.0
172-5	34	414	VP48	北東延長・3層	86.0
172-5	35	261	VK47 ベルト2.5	TR2-2層	124.9

写真	番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
円18					
172-6	1	405	VP48	北東延長・2a層	121.5
172-6	2	326	ブロック4017	TR3-イ層	87.3
172-6	3	260	ベルト1-4	TR1-4~1-4.5層	137.0
172-6	4	192	VL45	TR5-1層	159.8
172-6	5	206	ベルト1-5	TR1-5~1-8層	144.1
172-6</					

表17 北東捨場地区 石製円盤集合写真観察表(2)

写真番号	整理番号	出土地点	層・備考	重量(g)
173-1	27	12 トレンチ2-4	TR2-2層	7.6
173-1	28	11 VK47 ベルト2.5	TR2-1層	8.5
173-1	29	3159 VE26	Ⅲ層中	8.8
173-1	30	8 VK48 トレンチ4	不明	9.2
173-1	31	489 VQ48	北東延長・2層	12.5
173-1	32	490 VP49	北東延長・表土	30.3
173-1	33	491 VR47	北東延長・1層	34.1
173-1	34	337 トレンチ5-1	不明	13.7
173-1	35	496 VQ48	北東延長・不明	11.5
173-1	36	100 VL47	TR3-a層	17.9
173-1	37	488 VP49	北東延長・2a-1層	22.9

円22

173-2	1	18 VM44 ブロック4035 の上面	不明	182.7
173-2	2	231 ベルト1-5	TR1-4~1-4.5層	347.0
173-2	3	366 VP48 ベルト2	北東延長・2層	240.5
173-2	4	377 VO49	北東延長・1層	157.5
173-2	5	281 VL47	TR3-a層	94.8
173-2	6	214 トレンチ1-1	TR1-a~1-7層	43.9
173-2	7	106 ベルト3-5	TR3-a2層	46.6
173-2	8	69 VK47 ベルト2.5	TR2-z層	77.4
173-2	9	301 トレンチ1-5	TR1-4層	47.5
173-2	10	476 VO48	北東延長・2a層	74.8
173-2	11	284 不明	TR1-4~1-4.5層	85.3
173-2	12	390 VP48	北東延長・2a層	60.5
173-2	13	391 VP48	北東延長・1層	93.3
173-2	14	203 ベルト1-10	TR1-1~1-3層	82.4
173-2	15	64 VM47	TR1-4層	71.4
173-2	16	467 VP49	北東延長・1層	56.5
173-2	17	4 V146	TR2-2~2-3層	34.2
173-2	18	32 ベルト3-6	TR3-a層	204.6
173-2	19	254 VM45	TR1-1~1-2層	95.5
173-2	20	139 トレンチ5-G	TR6-1層	77.0
173-2	21	219 VK47	不明	93.6
173-2	22	356 VP48・49 ベルト1	北東延長・1層	65.0
173-2	23	423 VQ48	北東延長・1~2層	62.0
173-2	24	103 VK47 ベルト2.5	TR2-z層	33.8
173-2	25	39 VL47	TR3-a層	51.0
173-2	26	311 VM47	TR1-4.5~TR2-1層	57.5
173-2	27	433 VO48	北東延長・Ⅱ層	35.7
173-2	28	316 ベルト3-7	TR3-a層	76.1
173-2	29	432 VP49	北東延長・不明	73.5
173-2	30	187 不明	TR2-ウ(下)層	71.4
173-2	31	397 VP48	北東延長・2~3層	193.0
173-2	32	20 VM45	TR5-2層	242.6
173-2	33	457 VP48	北東延長・2a層	40.1
173-2	34	447 VQ48	北東延長・2a層	49.1
173-2	35	261 VK47 ベルト2.5	TR2-z層	124.9
173-2	36	144 V147	I層	64.2
173-2	37	386 VO49	北東延長・I層	157.1
173-2	38	256 VM45	TR5-2層	100.9
173-2	39	307 VK47	TR3-a~a2層	133.4
173-2	40	182 ベルト3-4	TR3-イ層	139.4
173-2	41	42 VN45 ベルト5-2~3	TR5-3層	214.2
173-2	42	201 V147	Ⅲ層	63.1
173-2	43	431 VP49	北東延長・1層	61.8

円23 (形状類似の自然産)

173-3	1	133 VK47	TR2-2層	143.0
173-3	2	136 トレンチ3-6	TR3-a~イ層	270.1
173-3	3	142 VL46	TR3-b~1-4層	85.9
173-3	4	143 不明	不明	175.9
173-3	5	129 VK47	TR3-e~f層	182.0
173-3	6	137 トレンチ5-6	TR6-2層	569.9
173-3	7	225 トレンチ6-4	TR6-1~2層	20.9
173-3	8	195 トレンチ5-f	I層	44.5
173-3	9	161 VK48	TR3-d~e層	36.5
173-3	10	66 トレンチ5-3	不明	109.8
173-3	11	146 ブロック 4024-1	TR1-4層	114.4
173-3	12	93 ベルト2-5	TR2-1層	56.5
173-3	13	446 VP48	北東延長・2b層	59.0
173-3	14	164 トレンチ1-5	TR1-5~1-7層	62.0
173-3	15	163 ベルト3-3	TR3-a層	39.7
173-3	16	312 トレンチ5-2 ~4	TR5-1層	59.3
173-3	17	13 V148 ブロック4055	TR3-d~e層	10.5
173-3	18	403 VP49	北東延長・1層	94.9
173-3	19	460 VP48	北東延長・2a層	85.5
173-3	20	96 ベルト2-9	TR2-ウ(1-4)層	53.3
173-3	21	487 VO49	北東延長・1層	49.8

※集合写真には北東捨場地区・北東捨場延長地区出土の石製円盤を  
まとめて掲載した。北東捨場延長地区出土の石製円盤については、  
層・備考欄に「北東延長」と記した。

表18 北東捨場地区 その他遺物観察表

写真 図版	写真 番号	出土地点	層位	器種	時期	使用痕・加工痕・裝飾等	備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	整理 番号
174	1	VK47 特4006	不明	漆製品	後期後葉～晩期	漆塗膜。		—	—	—	A-14
174	2	VK46 トレンチ2-2 特4027	TR2-2層	漆製品(柳)	後期後葉～晩期	赤漆塗り。突起1箇所残存。頭部に瘤状隆起。柳歯痕9箇所残存(柳歯径0.5cm)。	樹種未同定	4.41	6.40	0.79	A-12
—	—	VK48 特-4009	不明	漆製品	後期後葉～晩期	漆塗膜。		—	—	—	A-13
174	3	不明	不明	アスファルト	晩期			9.04	6.70	2.83	試料32
174	4	VM45	TR5-3層	アスファルト	晩期			4.85	3.83	1.73	試料149
174	5	VN45 アロック4041 特4018	TR5-2層	アスファルト	晩期2～3	細片		—	—	—	試料150

表19 東捨場延長地区 土器観察表(1)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
119	179	1	IVX59 P-X	I層	鉢	晩期3	平口縁。口唇：斜行刻目列。外面：沈線間に刻目列。横位沈線1条。文様帯地文なし。体部上半部L形文。	ナデ			(14.0)	—	—	東延長-土器0042
119	179	3	IVW57 P-X	IIa-1下層	鉢	晩期3	平口縁。正面上にB突起2つ(突起推定8単位・残存4単位、突起頂部に斜行刻目あり)。口唇：面取なし。外面：横位沈線3条(上位2条の沈線間に2本一組の刻目。口縁突起間に配置)。文様帯地文なし。LR縷文。	ナデ	炭化物(内・外面)		(22.0)	—	—	東延長-土器0052
—	179	4	IVX57 P151	IIa-1下層	鉢	晩期4~5	平口縁。外面：横位沈線2条。文様帯地文なし。RL縷文。底部：平底。	ナデ	炭化物(内面)		13.3	5.6	11.6	東延長-土器0014
—	179	5	IVX58 P156	IIa-1下層	鉢	晩期4~5	平口縁。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線3条(口縁)。文様帯地文なし。RL縷文。平底。	ナデ	炭化物(内・外面)		(13.0)	5.5	11.8	東延長-土器0025
119	179	6	IVW58 P194	IIa-1下層	深鉢	晩期4~5	平口縁。口唇：部分的に面取。外面：横位沈線3条。2個一組の突起(2個のうち片方に刻目)。縷文地施文。体部上半部にRL縷文。	ナデ	炭化物(外面)		(32.0)	—	—	東延長-土器0049
—	179	7	IVW58 P145	IIa-1下層	鉢	晩期4~5	外面：横位沈線4条(2条目に突起)。底部直上に横位沈線2条。縷文地施文。口縁部ナデ。体部にRL縷文。平底。	ナデ			—	3.8	(7.2)	東延長-土器0016
119	179	8	IVY57 P-X	IIa-1下層	深鉢	晩期	平口縁。口唇：面取なし。外面：口縁端部に粘土紐接合痕残存。口縁部・体部にRL縷文。	ナデ	炭化物(外面)		(29.0)	—	—	東延長-土器0045
—	179	9	IVW62 P199	IIa-1下層	鉢	晩期4~5	平口縁。一山突起(1単位)。口唇：面取(平坦)。沈線。LR/RL非結束羽状文(体部~底部)。ミガキ(口縁部)。底部：平底。	ナデ			10.5	4.2	6.4	東延長-土器0002
—	179	10	IVW58 P144	IIa-1下層	鉢	晩期4~5	平口縁。外面：横位沈線3条(うち1条は突起間を接続)。2個一組の突起(4単位)。文様帯地文なし。体部にRL縷文。	ナデ	炭化物(内面・外面)		13.2	—	(7.9)	東延長-土器0051
119	179	11	IVX57 P-X	IIa-1下層	鉢	晩期4	平口縁。口唇：刻目。外面：沈線による雲形文。横位沈線3条。突起。文様帯地文磨消か。LR縷文。	ナデ	炭化物(内面)		(18.0)	—	—	東延長-土器0063
—	179	12	IVW62 P210	IIa-1下層	台付鉢	晩期4	平口縁。口唇：刻目。外面：頸部と体部の境に横位沈線3条。立ち上がる大突起(上部次根)。文様帯地文なし。RL縷文。底部：台。台部：ミガキ。底部：肥厚(沈線1条)。	ミガキ	炭化物(内・外面)		—	8.6	(11.8)	東延長-土器0011
—	179	13	IVX58 P159	IIa-1下層	台付浅鉢	晩期4~5	平口縁。一山突起と二山突起を交互に配置(各4単位)。口唇：刻目・沈線。RL縷文。口縁部・台部ナデ。底部：台。	ナデ	炭化物(内面)		14.3	—	(10.0)	東延長-土器0020
119	179	14	IVX58 P160	IIa-1下層	台付片口鉢	晩期4~5	平口縁。片口。一山突起(残存1単位)。口唇：面取(平坦)。外面：横位沈線3条。横位貼附(頂部刻目1本)。文様帯地文なし。RL縷文。底部：台。台部：端部突起(4単位)。	ナデ	炭化物(外面) 体部下半(台にはつかない)・内面 体部上半・台内底面。右内底面には光沢のある褐色~黒色膜状の付着物。		—	7.4	9.5	東延長-土器0003
119	180	1	IVW57 P-X	IIa-1下層	皿	晩期3	裝飾的な口縁。口唇：口縁肥厚(内側、肥厚部沈線)。外面：彫去による雲形文。横位沈線3条。底部直上に横位沈線2条。文様帯地文磨消。LR縷文。凹底。	ミガキ	赤形(外面・口縁内側のみ)		(22.2)	(5.0)	5.0	東延長-土器0059
119	180	2	IVW62 P202	IIa-1下層	皿	晩期4	平口縁。一山突起(推定4単位・残存2単位)。突起頂部に横位刻目1本。口唇：面取(平坦。面取後に短沈線列)。口縁内側に肥厚。外面：沈線による雲形文。横位沈線4条(口縁2条・底部直上2条)。文様帯地文なし。LR縷文。	ナデ	赤形(外面) 体部下半。内底面に褐色~黒色膜状の付着物。外底面に黒色膜状の付着物。		(33.0)	(6.5)	(7.1)	東延長-土器0019
119	180	3	IVX58 P-X	IIa-1下層	皿	晩期4~5	平口縁。B突起(推定4単位・残存3単位)。口唇：沈線。外面：横位沈線3条。文様帯地文なし。ナデ(体部上下・底部)。底部欠損。	ナデ			18.8	—	(4.8)	東延長-土器0005
—	180	4	IVX58 P195	IIa-1下層	壺	晩期4~5	平口縁。正面上に一山突起。二山突起(2単位残存)。外面：口縁部~ナデ。	ナデ			10.2	—	(14.5)	東延長-土器0058
119	180	6	IVX59 P166	I層・IIa-1下層	壺	晩期4	平口縁。突起1単位。口唇：隆帯添付により外面に肥厚(粘土紐貼付)。外面：底部直上に横位沈線1条。文様帯地文磨消(LR縷文)。口縁部ミガキ。体部~底部にLR縷文。平底。	ナデ	黒泥・炭(外面)		10.2	—	—	東延長-土器0066

表19 東拾場延長地区 土器観察表(2)

図版番号	写真図版番号	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
—	181	1	IV57 P128	IIa-1層	鉢	晩期4	平口縁。突起(残存1単位。突起頂部に刻目1本)。口唇;刻目。外面:横位沈線3条。突起(2個一組か。頂部刻目。口縁突起とは対応しない)。文様帯地文なし。体部~底部にR縄文。平底。	ナデ 口縁部沈線1条	炭化物(内・外面)		(23.0)	7.0	19.8	東延長-土器0023
120	181	2	IV57 P-×	IIa-1層	深鉢	晩期4~5	平口縁。口唇;面取なし。外面:横位沈線3条。文様帯地文なし。体部上半にR縄文。	ナデ	炭化物(外面)		—	—	—	東延長-土器0040
120	181	3	IV57 P-×	IIa-1層	鉢	晩期4~5	平口縁。口唇;面取なし。外面:横位沈線3条。文様帯地文なし。体部~底部にR縄文。口縁部ナデ。平底。	ナデ	炭化物(外面)		(9.2)	2.8	6.3	東延長-土器0050
—	181	4	IV57 P132	IIa-1層	鉢	晩期	平口縁。口唇;部分的に面取(平取)。外面:横位沈線1条(全周しない)。縄文地文。R縄文。底部ケズリ。平底。		炭化物(内・外面)		22.0	7.4	21.6	東延長-土器0026
120	181	5	IV58 P137	IIa-1層	深鉢	晩期	平口縁。口唇;面取なし。外面:R縄文。平底。	ナデ	炭化物(内・外面)		19.8	7.4	19.8	東延長-土器0044
120	181	6	IV57 P-×	IIa-1層	深鉢	晩期	平口縁。口唇;面取なし。外面:口縁部~体部下半に条痕。	ナデ	炭化物(内面)		(28.0)	—	—	東延長-土器0046
120	181	7	IV57 P129	IIa-1層	深鉢	晩期	平口縁。口唇;面取なし。外面:縄文(LR)。	ナデ	炭化物(内・外面)		(28.0)	—	—	東延長-土器0053
120	181	8	IV57 P-×	IIa-1層	鉢	晩期4	平口縁。B突起(残存1単位)。口唇;刻目。外面:横位沈線3条。2個一組の突起(2個のうち片方に刻目)。R縄文(O段多条)。体部ナデ。	ナデ 口縁に沈線1条	炭化物(内面・口縁部外面)		(21.0)	—	—	東延長-土器0039
—	181	9	IV57 P-×	IIa-1層	鉢	晩期4	平口縁。B突起(残存1単位)。口唇;刻目。外面:横位沈線3条。2個一組の突起。文様帯地文なし。体部上半にR縄文。	ナデ 口縁部沈線1条	炭化物(内・外面)		(15.0)	—	(5.6)	東延長-土器0056
120	181	10	IV57 P-×	IIa-1層	鉢	晩期4	平口縁。口唇;口縁肥厚(外側。斜行刻目列)。外面:沈線による雲形文。頭部と体部の境に横位沈線2条。頭部に隆帯。文様帯地文なし。体部上半にR縄文。口縁部ミガキ。	ナデ 沈線1条			(18.0)	—	—	東延長-土器0064
120	181	11	IV58 P126	IIa-1層	鉢	晩期4か	平口縁。口唇;刻目。外面:口縁部に横位沈線3条。文様帯地文なし。R縄文。平底。	ナデ	炭化物(内・外面) 内面体部下半~ 底部はスズなし	安定同位体比分析⑧	9.5	3.4	7.5	東延長-土器0004
120	181	12	IV59 P-×	IIa-1層	鉢	晩期5	平口縁。一山突起(残存1単位)。口唇;沈線。外面:沈線文。2条の沈線間に短沈線列。体部に横位沈線2条。文様帯地文なし。体部下半ナデ。	ナデ 口縁に沈線1条	口縁付近に赤色 顔料付着		(18.0)	—	—	東延長-土器0036
120	181	13	IV57 P-×	IIa-1層	浅鉢	晩期5	平口縁。一山突起(残存1単位)。口唇;内面に沈線1条。外側に肥厚(肥厚部R縄文)。外面:横位沈線5条(3条目に突起)。縄文地文なし。体部上半にR縄文。	ナデ ミガキ			—	—	—	東延長-土器0051
—	181	14	IV57 P123	IIa-1層	台付鉢	晩期4	平口縁。口唇;刻目。外面:横位沈線3条。2個一組の突起あり。文様帯地文なし。体部から底部にR縄文。台部ナデ。	ナデ 沈線1条(口縁部)	炭化物(内・外面)		—	—	(10.3)	東延長-土器0009
—	181	15	IV58 P233	IIa-1層	台付鉢	晩期4	平口縁。B突起推定4単位(残存3単位)。口唇;刻目。外面:突起4単位(口縁突起間に配置、刻目あり)。横位沈線3条。文様帯地文なし。R縄文。底部;台。台部ナデ。	ナデ	炭化物(内・外面)		10.7	7.6	10.2	東延長-土器0012
—	181	16	IV57 P131	IIa-1層	台付浅鉢	晩期4	平口縁。突起4単位(残存2単位。突起頂部に刻目1本)。口唇;刻目。外面:横位沈線3条。2個一組の突起(残存2)。立ち上がる大突起(つけ根に小突起。側面に沈線。頂部に隆帯。口縁部と一体化)。文様帯地文なし。体部から底部にR縄文。底部;台(欠損)。	ナデ	炭化物(内・外面)		(17.5)	—	(8.1)	東延長-土器0015
—	181	17	IV57 P121	IIa-1層	台付鉢	晩期4	平口縁。口唇;刻目。外面:横位沈線3条。2個一組の突起4単位(残存2単位。2個のうち一方にのみ刻目)。文様帯地文なし。体部~底部にR縄文。口縁部。台部ナデ。底部;台	ナデ	炭化物(内・外・口縁)		15.0	—	(10.2)	東延長-土器0018
120	182	1	IV57 P140	IIa-1層	台付浅鉢	晩期4	平口縁。B突起3単位。口唇;刻目。外面:横位沈線3条。2個一組の突起(2個のうち片方の頂部に刻目)。立ち上がる大突起(つけ根に沈線。上部欠損)。文様帯地文なし。体部にR縄文。口縁部ミガキ。台部ナデ。	ナデ 口縁部沈線1条	炭化物(内・外面) ただし内面下半 は炭化物なし		13.6	7.8	10.3	東延長-土器0024
—	182	2	IV57 P-×	IIa-1層	台付浅鉢	晩期4	平口縁。突起(残存2単位)。口唇;刻目。外面:横位沈線3条。2個一組の突起(4単位。残存3単位)。文様帯地文なし。体部~底部にR縄文。口縁部ナデ。底部;台。台部;沈線文・透かし。	ナデ	炭化物(内・外面)		11.6	—	(7.4)	東延長-土器0060



表19 東拾場延長地区 土器観察表(3)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
120	182	3	IVW59 P-X	IIa-1層相当 風倒木	台付浅鉢	晩期4～5	平口縁。正面2個一組の山突起(残存1単位)。外面：沈線文。頸部と体部の境に横位沈線2条。縄文地施文。L縄文。底部：台(欠損)。	ナデ 口縁部沈線1条	炭化物(外面)		(16.0)	—	—	東延長- 土器0055
120	182	4	IVV59 P-X	IIa-1層	浅鉢	晩期5	平口縁。二山突起(残存1単位)。口唇：沈線1条。外面：横位沈線4条。2条の沈線の間に工字文。文様帯地文なし。体部上半にL縄文。	ナデ 口縁に沈線1条	赤彩(内面全面、外面文様部分のみ残存)内面黒色化(ベシガテ塗付)		(17.0)	—	—	東延長- 土器0035
120	182	5	IVV57 P127	IIa-1層	皿	晩期3	平口縁。外面：横位沈線2条。体部～底部ナデ。凹底。	ナデ			(15.6)	4.0	4.3	東延長- 土器0057
120	182	6	IVW62 P146	IIa-1層	皿	晩期4	平口縁。口唇：三叉状の刻目を連続的に入れる。外面：沈線による雲形文。横位沈線2条。底部面上に横位沈線3条。縄文地施文。L縄文。平底。	ナデ 下半に隆沈線	口唇に赤彩残存		(20.6)	(5.0)	4.0	東延長- 土器0054
120	182	7	IVV58 P-X	IIa-1層	壺	晩期4～5	外面：沈線文。頸部と体部の境に横位沈線2条。縄文地施文。L縄文。	ナデ			—	—	—	東延長- 土器0037
—	182	8	IVV57 P123	IIa-1層	壺	晩期4～5	平口縁。正面に二山突起が3個残存。B突起1箇所残存(突起頂部に横位沈線)。口唇：沈線あり。外面：体部上半にL縄文。頸部ミガキ。	ナデ			11.4	—	9.6	東延長- 土器0047
120	182	9	IVV57 P-X	IIa-1層	壺	晩期中葉～後葉	平口縁。B突起1単位(残存1単位)。口唇：面取なし。体部上半にL縄文。頸部ミガキ。	ナデ			(5.8)	—	(4.3)	東延長- 土器0038
—	182	10	IVV57 P130	IIa-1層	壺	晩期4～5	平口縁。B突起4単位。口唇：三角形隆帯。外面：横位沈線4条。沈線文。縄文地施文。頸部無文。体部上半にL縄文。頸部ミガキ。体部下半ナデ。	ナデ 口縁に横位沈線1条	黒色処理(内・外面)		8.0	—	—	東延長- 土器0067
121	182	11	IVV58 P-X	IIa-1層	蓋	晩期5	隆帯上に刻目列。ナデ。	ナデ	煤(外面)		11.0	—	6.3	東延長- 土器0001
—	182	13	IVV58 P157	IIa-2上層	鉢	晩期4	平口縁。口唇：刻目。外面：横位沈線3条。2個一組の突起を4単位(肚端のうらち片方に縦位の刻目。刻目は各組左右交互に入れる)。文様帯地文なし。体部から底部に縄文(R)。底部：平底。	ナデ 口縁部沈線1条	内・外面に炭化物(内面体部下～底部にスズは付かない)		14.2	4.4	9.5	東延長- 土器0008
—	182	14	VW58 P183	IIa-2上層	台付鉢	晩期3	裝飾的な口縁。外面：横位沈線1条。横位沈線間に刻目・突起1個。文様帯地文なし。L縄文(一部L縄文)。底部：台。台部：ミガキ。端部肥厚(肥厚部L縄文)。	ミガキ	炭化物(内・外面)		13.4	7.8	10.1	東延長- 土器0013
121	182	15	IVW58 P188	IIa-2上層	台付鉢	晩期3	裝飾的な口縁。口唇：斜行の刻目(ハの字状の刻目)。外面：横位沈線2条(上位2条の沈線に上下交互に刻目列)。頸部と体部の境に横位沈線1条。突起1単位(頂部刻目あり)。文様帯地文なし。体部にL縄文。底部：台。台部：ナデ。端部肥厚(肥厚部縄文)。2条の横位沈線の上下交互に刻目列。	ミガキ	炭化物(外面)台内部炭化		12.2	8.0	9.7	東延長- 土器0021
121	182	16	IVW62 P-X	IIa-2上層	鉢	晩期4	平口縁。口唇：沈線。外面：横位沈線2条。沈線文。文様地文磨消。体部上半にL縄文。	ナデ	赤彩(内・外面)		—	—	—	東延長- 土器0029
121	182	17	IVW58 P180	IIa-2上層	浅鉢	晩期3	平口縁。口唇：面取なし。外面：彫去による雲形文。横位沈線2条。底部直上に横位沈線2条。文様地文磨消(L縄文)。底部：凹底。	ミガキ	内・外面に褐色膜状付着物(赤彩)		(11.0)	(3.2)	3.4	東延長- 土器0030
121	183	1	IVV58 P-X	IIa-2層	鉢	晩期2～3	平口縁。B突起(残存1単位)。口唇：刻目。外面：口縁部に刺突。横位沈線2条。短沈線列(横位)。入組文。横位沈線1条。体部上半にL縄文。	ナデ	炭化物(内・外面)		—	—	—	東延長- 土器0032
—	183	2	IVV59 P-X	IIa-2層	台付鉢	晩期5	平口縁。B突起(5単位)と二山突起(5単位)を交互に配膳。外面：工字文。横位沈線2条(上位2条の沈線に上下交互に2個一組の突起)。体部と台部の境に横位沈線1条。縄文地施文。体部にL縄文。底部：台。台部ナデ。	ナデ 沈線2条	炭化物(内面体部上半・外面)		13.6	(7.0)	9.4	東延長- 土器0022
121	183	3	IVW58 P141	IIa-2層	浅鉢	晩期3	平口縁。波状口縁(波頂部1)。B突起1単位(2個一組)。外面：沈線による雲形文。沈線(口縁2条・体部2条)。磨消。体部下から底部にL縄文。底部：凹底。	ミガキ	黒色膜状付着物(内外面わずかに残存)		15.6	4.6	6.3	東延長- 土器0006

表19 東拾場延長地区 土器観察表(4)

図版番号	写真図版	写真番号	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
121	183	4	IVY58 P133	IIa-2層	壺	晩期3	平口縁。正面に二山状台形突起(1単位(2個一組)。頂部刻目1本)。口唇：面取なし。外面：頸部と体部の境に横位沈線1条。ミガキ。底部：凹底。	ナデ 沈線1条	赤彩(外面肩～口縁、体部下半に少量付着)内面に赤色顔料付着	赤色顔料容器か	8.0	3.0	7.1	東延長-土器007
121	183	5	IVY58 P226	IIa-2層	壺	晩期4～5	平口縁。正面に5個の一山突起あり(残存4個)。R/L縄文。頸部ナデ。底部：平底。	ミガキ(口縁部) 沈線(口唇) ナデ(体部～底部)	炭化物(外面)内面黒色処理		8.0	6.5	14.6	東延長-土器010
121	183	6	IVY58 P-×	IIa-2層	注口か	晩期2～3	平口縁。外面：入組文(刺突充填)。文様帯地文なし。	ナデ			—	—	—	東延長-土器034
—	183	9	不明 P-×	斜面際 トレンチ	壺	晩期5	外面：横位沈線3条。縦位沈線。	ナデ		粘土・軟質	—	—	—	東延長-土器028
—	183	12	IVY57 P-×	IIa-1層	蓋の摘 みか	晩期5か	外面：沈線文。文様帯地文なし。	ナデ			—	—	—	東延長-土器017

表20 東捨場延長地区 土製品 観察表

図番号	写真 図版	分類	出土位置	層位	取上番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理番号
33-32	42-32	亀形土偶	IVX57	I層		(39)	(17)	5	8.3	手部、側縁部。	東-土2044
34-37	43-37	土版	IVY57	I層		17	(29)	3	4.2	中実、方形、無文。	東-土2085
34-38	43-38	亀形土偶	IVY57	I層		(22)	(32)	3	4.9	側縁部の突起。	東-土2045
121	183-10	土偶	IVX57	II a-1層		(62)	(42)	5	56.6	中空、脚部(左足)。LR縄文。	東延長-土0005
121	183-11	土偶	IVX61	II a-1層		156	82	16	118.6	中実、左足部欠損。正中線に粘土粒と連続刺突。口の両脇に弧状文。	東延長-土0006
—	183-12	土偶	IVX57	II a-1層		27	25	13	5.8	中空、眼部。	東延長-土0015
121	183-13	円盤状土製品	IVY59	II a-1下層		25	24	5	3.9	鉢形土器胴部片。LR縄文。	東延長-土0008
121	183-14	円盤状土製品	IVX62	II a-2層	土製品106	24	23	3	2.4	鉢形土器胴部片。RL縄文。	東延長-土0011
121	183-15	円盤状土製品	VP49	II a-1層		27	32	5	5.5	鉢形土器胴部片。LR縄文。スス状炭化物付着。	東延長-土0010
121	183-17	円盤状土製品	IVW60	II a-2上層		34	42	4	7.2	鉢形土器胴部片。縄文(摩耗)。スス状炭化物付着。	東延長-土0013
121	183-18	円盤状土製品	IVX57	II a-2上層		27	26	5	5.0	鉢形土器胴部片。RL縄文(摩耗)。	東延長-土0014
121-1	—	円盤状土製品	IVY58	II a-1層		(50)	(39)	10	23.1	深鉢形土器底部片。側縁は打割調整。	東延長-土0012

表21 東捨場延長地区 ミニチュア・小型土器観察表

図版番号	写真 図版	器種	出土位置	層位	取上番号	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	時期	備考	整理番号
119	179-2	台付浅鉢	IVX59	I層		(8.0)	—	(4.4)	晩期4	外面；小遊状口縁。外面；横位沈線1条。底部ナデ。底部；台(欠損)。内面；ナデ。炭化物(内・外面)	東延長-土0003
119	180-5	鉢	IVX57	II a-1層	P-153	(6.2)	3.0	4.6	後期後葉 ～晩期	外面；平口縁。口縁部～底部にRL縄文。底部；凹底。内面；ナデ。	東延長-土0001
120	182-12	鉢	IVW59	II a-1層	土製品105	2.8	2.1	3.5	晩期後葉 ～晩期	外面；平口縁。ナデ。底部；丸底。内面；ナデ。	東延長-土0007
121	183-7	突起?	IVW57	II a-2層	P-X	—	—	—	晩期	内外面；ナデ。	東延長-土0004
121	183-8	皿	IVS64	II層	P-X	(6.0)	(1.8)	2.0	晩期	外面；平口縁。口唇；刻目。口縁部・底部～底部分ナデ。平底。内面；ナデ。	東延長-土0002

表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(1)

写真図 版番号	番号	図版 番号	番号	整理番号	グリッド	層位	取上 番号	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
184	1	122	1	1807	IVX61	I層	S-X	石鏃	8.5	4.0	0.4	0.4	珧質頁岩	
184	2			5530	IVX61	I層	S-X	石鏃	19.5	9.0	3.1	0.5	玉髄	アスファルト
184	3			1821	IVX61	I層	S-X	石鏃	22.4	9.5	3.9	0.7	珧質頁岩	アスファルト
184	4			1813	IVW61	I層	S-X	石鏃	(27.3)	14.0	5.0	(1.3)	珧質頁岩	被熱、火ばね
184	5			1834	IVX61	I層	S-X	石鏃	32.3	16.4	6.7	3.0	珧質頁岩	未製品?
184	6			1823	IVX61	I層	S-X	石鏃	42.8	12.9	4.0	1.5	珧質頁岩	アスファルト
184	7			1849	IVX61	I層	S-X	石鏃	(47.6)	17.1	6.8	(4.4)	珧質頁岩	
184	8			1830	IVX60	I層	S-X	石鏃	52.6	11.3	5.7	2.7	珧質頁岩	
184	9			6053	不明	排土		石鏃	18.9	7.3	5.2	0.6	黒曜石	出来島
184	10			4760	不明	II a-1・2層	S-X	石鏃	16.4	8.2	3.1	0.3	珧質頁岩	
184	11			1820	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	19.0	5.9	2.7	0.3	珧質頁岩	
184	12			1818	IVX61	II a-1層	S-X	石鏃	(19.2)	6.4	(2.6)	(0.3)	珧質頁岩	
184	13	122	3	1816	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	19.5	9.0	3.5	0.6	珧質頁岩	
184	14			5529	IVX61	II a-1層	S-X	石鏃	17.7	11.5	4.0	0.6	珧質頁岩	アスファルト
184	15	122	2	1814	IVW59	II a-1層	S-X	石鏃	9.0	3.5	0.3	0.3	珧質頁岩	
184	16			5525	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	20.2	9.0	3.6	0.5	珧質頁岩	アスファルト
184	17			5526	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	20.9	10.3	4.4	0.7	珧質頁岩	両端磨耗、石鏃転用か
184	18			1810	IVW61	II a-1層	S-X	石鏃	(21.5)	9.0	2.9	(0.4)	珧質頁岩	
184	19			4761	IVX57	II a-1層	S-X	石鏃	22.6	7.8	5.1	0.9	珧質頁岩	先端激磨耗(断面円形)
184	20			1822	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	25.4	15.8	3.4	1.0	玉髄質珧質頁岩	アスファルト
184	21			5527	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	26.9	12.3	3.8	1.1	珧質頁岩	
184	22			1811	IVX57	II a-1層	S-X	石鏃	(27.4)	10.6	3.3	(0.9)	珧質頁岩	アスファルト
184	23			1827	IVX59	II a-1層	S-X	石鏃	30.9	10.9	4.3	1.0	珧質頁岩	
184	24			1817	IVW59	II a-1層	S-X	石鏃	29.8	9.5	3.1	0.7	珧質頁岩	片面加工
184	25			5523	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	28.0	10.1	4.2	1.1	珧質頁岩	
184	26			5524	IVX57	II a-1層	S-X	石鏃	27.8	11.6	6.0	1.8	珧質頁岩	裏面無加工、未製品?
184	27			5528	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	32.4	11.3	4.4	1.4	珧質頁岩	削器?
184	28			5532	IVW59	II a-1層	S-X	石鏃	33.2	10.8	4.6	1.1	珧質頁岩	
184	29			1824	IVW62	II a-1層	S-X	石鏃	37.3	11.4	4.0	1.0	珧質頁岩	
184	30			1829	IVX57	II a-1層	S-X	石鏃	(39.1)	14.9	5.0	(1.6)	珧質頁岩	アスファルト
184	31			1833	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	39.0	12.4	5.8	2.0	珧質頁岩	アスファルト
184	32			1825	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	44.3	11.3	5.2	1.8	珧質頁岩	アスファルト
184	33			1836	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	46.0	15.9	7.9	3.6	珧質頁岩	
184	34	122	4	1839	IVW57	II a-1層	S-X	石鏃	57.2	9.7	6.5	3.0	珧質頁岩	
184	35			4725	IVX58	II a-1下層	S-X	石鏃	35.6	21.7	8.2	3.4	珧質頁岩	
184	36			1832	IVW59	II a-1下層	S-X	石鏃	36.0	11.5	5.7	1.7	珧質頁岩	
184	37			1809	IVV59	II a-2層	S-X	石鏃	23.2	7.8	3.9	0.6	珧質頁岩	
184	38			1806	IVV60	II a-2層	S-X	石鏃	18.4	10.8	3.1	0.5	珧質頁岩	アスファルト
184	39			1819	IVX59	II a-2上層	S-X	石鏃	22.0	13.2	(4.4)	(0.7)	珧質頁岩	焼け、火ばね
184	40			1812	IVX60	II a-2上層	S-X	石鏃	(21.8)	10.1	4.1	(0.7)	珧質頁岩	
184	41			1808	IVW61	II a-2上層	S-X	石鏃	31.1	11.9	4.8	1.5	珧質頁岩	アスファルト
184	42			1826	IVW62	II a-2層	S-X	石鏃	29.9	11.4	4.2	1.0	珧質頁岩	アスファルト
184	43			5531	IVW61	II a-2上層	S-X	石鏃	31.5	8.7	4.3	0.9	珧質頁岩	
184	44			1831	IVW63	II a-2上層	S-X	石鏃	32.6	10.5	3.9	0.8	珧質頁岩	
184	45			1835	IVW59	II a-2上層	S-X	石鏃	35.9	14.4	4.9	2.3	珧質頁岩	
184	46			1828	IVX60	II a-2層	S-X	石鏃	37.6	17.5	5.5	2.2	珧質頁岩	
184	47			5494	IVW59	II a-2層	S-X	石鏃	17.6	9.4	3.7	0.6	珧質頁岩	
184	48			1838	IVW61	II a-2層	S-X	石鏃	40.9	20.1	8.2	5.2	珧質頁岩	
184	49			1843	IVW59	I層	S-X	石鏃	35.5	8.4	5.8	1.4	珧質頁岩	
184	50			5520	IVW58	I層	S-X	石鏃	37.2	21.1	6.9	3.7	珧質頁岩	
184	51			5519	IVW59	II a-1層	S-X	石鏃	27.4	6.0	4.7	0.5	珧質頁岩	
184	52	122	6	1815	IVX57	II a-1層	S-X	石鏃	43.2	9.4	7.8	2.2	玉髄	
184	53			5518	IVW59	II a-1層	S-X	石鏃	51.8	11.7	9.2	3.8	珧質頁岩	
184	54			1841	IVX61	II a-1層	S-X	石鏃	58.7	10.9	7.2	4.4	珧質頁岩	石鏃?
184	55	122	5	1842	IVW58	II a-1層	S-X	石鏃	62.6	9.5	6.5	3.4	珧質頁岩	
184	56			1797	IVW61	II a-2上層	S-X	石鏃	52.1	7.9	4.7	1.9	珧質頁岩	
184	57			5533	IVW59	II a-1下層	S-X	石鏃	24.6	11.0	5.1	1.2	珧質頁岩	アスファルト、石鏃?
184	58			5521	IVX60	II a-2上層	S-X	石鏃	18.6	13.6	3.6	0.5	珧質頁岩	
184	59			5516	IVW60	II a-2層	S-X	石鏃	29.0	7.9	3.0	0.7	珧質頁岩	
184	60			5522	IVV58	II a-2上層	S-X	石鏃	31.1	8.1	3.8	1.0	珧質頁岩	先端から剝離痕
184	61			5515	IVW59	II a-1・2層	S-X	石鏃	44.2	32.6	10.2	14.6	珧質頁岩	
184	62			5517	IVW60	II層	S-X	石鏃	31.3	31.8	6.7	5.2	珧質頁岩	
184	63			5512	IVW60	I層	S-X	石鏃	43.9	21.6	10.3	8.1	珧質頁岩	
184	64			5514	IVW59	I層	S-X	石鏃	48.3	27.4	14.8	17.3	珧質頁岩	
184	65			10035	IVW60	I層	S-X	石鏃	71.5	25.1	11.4	18.5	珧質頁岩	
184	66			5511	IVW60	II層	S-X	石鏃	47.0	31.9	12.6	15.9	珧質頁岩	
184	67			5513	IVW59	II層	S-X	石鏃	51.3	42.2	11.9	24.3	珧質頁岩	アスファルト
184	68			10015	IVX61	I層	S-X	石鏃	40.3	28.2	9.5	9.9	珧質頁岩	
184	69			1848	IVX62	II a-1層	S-X	石鏃	44.3	25.7	10.4	9.4	珧質頁岩	刃部光沢
184	70			5538	IVX59	I層	S-X	石鏃	42.2	44.4	9.3	11.1	珧質頁岩	アスファルト
184	71			5537	IVY59	I層	S-X	石鏃	37.7	41.8	6.9	8.7	珧質頁岩	
184	72			5539	IVX60	I層	S-X	石鏃	43.0	67.6	17.7	31.2	珧質頁岩	アスファルト
184	73			5549	IVY60	I層	S-X	石鏃	41.0	18.1	7.1	3.0	珧質頁岩	
184	74			5548	IVY59	I層	S-X	石鏃	44.1	17.8	10.4	5.2	珧質頁岩	
184	75			4443	IVY60	I層	S-X	石鏃	51.3	56.6	10.8	22.1	珧質頁岩	アスファルト、刃部光沢
184	76			5540	IVW59	I層	S-X	石鏃	62.1	66.1	15.2	42.4	珧質頁岩	
184	77			5544	IVW61	I層	S-X	石鏃	63.0	39.6	10.8	13.5	珧質頁岩	つまみ部上下
184	78			10040	IVV63	II層	S-X	石鏃	53.5	57.5	10.9	25.9	珧質頁岩	
184	79			1851	IVW62	II a-1層	S-X	石鏃	39.0	30.2	6.1	4.5	珧質頁岩	
184	80			1854	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	50.1	57.8	6.5	19.2	珧質頁岩	アスファルト、刃部光沢
184	81			1858	IVX59	II a-1層	S-X	石鏃	61.5	18.2	10.0	9.8	珧質頁岩	
184	82			5541	IVX61	II a-1層	S-X	石鏃	66.5	24.2	9.2	10.0	珧質頁岩	
184	83			5543	IVW59	II a-1層	S-X	石鏃	76.2	47.7	8.8	25.2	珧質頁岩	アスファルト
184	84			1852	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	37.8	62.5	11.5	17.0	珧質頁岩	アスファルト、刃部強い光沢
184	85			4751	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	44.9	44.0	10.6	14.2	珧質頁岩	アスファルト
184	86			5542	IVW59	II a-1下層	S-X	石鏃	44.9	14.7	7.8	3.3	珧質頁岩	素材剥片ヒンジフラクチャー
184	87			4752	IVV58	II a-1層	S-X	石鏃	79.5	34.9	9.9	27.3	珧質頁岩	正面下部にもアスファルト
184	88	122	7	1856	IVW61	II a-1下層	S-X	石鏃	51.7	77.3	14.2	28.3	珧質頁岩	
184	89			1857	IVY57	II a-1層	S-X	石鏃	61.4	64.3	15.6	39.0	珧質頁岩	
184	90			4759	IVX61	II a-2層	S-X	石鏃	39.6	44.7	7.2	8.2	珧質頁岩	アスファルトが一側線に沿って延びる、刃部光沢

表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(2)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	グリッド	層位	取上番号	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	備考
184	91			1850	IVW59	II a-2層	S-X	石匙	49.5	60.7	8.7	17.9	珪質頁岩	アスファルト、刃部光沢
184	92	122	8	1855	IVW61	II a-2層	S-X	石匙	59.4	58.7	13.2	28.3	珪質頁岩	
184	93			1840	IVW57	II a-2層	S-X	石匙	46.8	15.9	6.0	3.9	珪質頁岩	
184	94			1853	IVX61	II層	S-X	石匙	31.8	(41.0)	7.2	(5.6)	玉髄質珪質頁岩	
184	95			5545	IVY61	II層	S-X	石匙	38.2	58.5	8.6	15.0	珪質頁岩	つまみ部欠損後、正面左端に作出、刃部光沢
184	96			5547	不明	不明	S-X	石匙	57.7	55.0	13.4	31.0	珪質頁岩	
184	97			5546	不明	不明	S-X	石匙	59.2	59.1	10.6	28.7	珪質頁岩	アスファルト
184	98			10034	IVX58	II a-1下層	S-X	削器	26.5	20.6	6.0	3.9	珪質頁岩	
185	1			10024	IVW59	I層	S-X	削器	27.0	19.3	7.6	4.1	珪質頁岩	
185	2			10030	IVX63	I層	S-X	削器	37.6	26.2	10.2	9.1	珪質頁岩	
185	3			10028	IVX58	I層	S-X	削器	39.7	28.7	12.1	13.2	珪質頁岩	
185	4			10029	IVX60	I層	S-X	削器	45.8	20.6	6.7	5.5	珪質頁岩	
185	5			10021	IVX58	I層	S-X	削器	76.3	44.3	18.9	48.7	珪質頁岩	
185	6			10027	IVX58	I層	S-X	削器	54.4	54.9	10.0	29.0	珪質頁岩	
185	7			10038	IVY60	I層	S-X	削器	61.5	32.5	3.9	17.3	珪質頁岩	
185	8			6051	IVW60	II層		石鏃	(21.1)	13.0	3.5	0.9	黒曜石	出来島
185	9			10032	IVW60	II層	S-X	削器	28.2	18.1	7.6	4.2	玉髄	
185	10			1846	IVX62	II層	S-X	削器	48.8	23.8	8.0	8.6	珪質頁岩	
185	11			1837	IVW62	II a-1層	S-X	削器	39.3	18.2	8.0	4.3	珪質頁岩	一側縁アスファルト
185	12			5536	IVW59	II a-1層	S-X	削器	46.9	15.5	6.3	3.1	珪質頁岩	一側縁アスファルト
185	13			5534	IVW61	II a-1層	S-X	削器	35.1	13.3	5.5	2.1	珪質頁岩	
185	14			10039	IVY58	II a-1層	S-X	削器	34.4	17.3	5.0	2.6	珪質頁岩	
185	15			1847	IVX58	II a-1層	S-X	削器	36.6	23.5	11.4	8.2	珪質頁岩	
185	16			10020	IVX57	II a-1層	S-X	削器	38.2	18.1	6.2	3.4	珪質頁岩	
185	17			10036	IVX62	II a-1下層	S-X	削器	39.1	18.7	7.9	5.7	珪質頁岩	
185	18			1844	IVX58	II a-1層	S-X	削器	42.6	25.6	9.7	9.7	珪質頁岩	
185	19			10033	IVW58	II a-1層	S-X	削器	45.3	22.3	8.6	8.7	珪質頁岩	
185	20			10037	IVY67	II a-1層	S-X	削器	41.7	24.6	7.9	8.0	珪質頁岩	
185	21			10041	IVX61	II a-1層	S-X	削器	74.0	42.0	19.0	41.7	珪質頁岩	
185	22			10016	IVW58	II a-1層	S-X	削器	74.2	26.2	12.9	19.3	珪質頁岩	
185	23			1845	IVX58	II a-1下層	S-X	削器	41.2	24.6	8.8	7.9	珪質頁岩	石鏃未製品?
185	24			10018	IVY62	II a-1下層	S-X	削器	55.2	33.9	11.2	26.0	珪質頁岩	
185	25			10025	IVX58	II a-1下層	S-X	削器	75.4	57.7	10.6	37.7	珪質頁岩	
185	26			5535	IVW60	II a-2層	S-X	削器	33.4	19.8	8.2	4.1	珪質頁岩	石鏃未製品?
185	27			10022	IVW62	II a-2上層	S-X	削器	60.6	42.8	12.7	36.8	珪質頁岩	
185	28			10019	IVW58	II a-2層	S-X	削器	58.3	35.5	15.4	23.6	珪質頁岩	
185	29			10014	IVW59	II a-1層	S-X	削器	87.6	38.1	17.8	58.1	珪質頁岩	
185	30	122	9	2212	IVX61	II a-1層	S-X	異形石器	23.4	10.9	5.2	0.8	黒曜石	
185	31	122	10	6052	IVW59	II a-1層		異形石器	22.9	14.9	4.6	1.2	黒曜石	石偶?
185	32			4767	IVX58	II a-1層	S-X	剝片	21.4	16.9	8.5	2.5	黒曜石	出来島
185	33			6045	IVX57	II a-1層		二次加工剝片	40.5	44.2	10.3	13.6	黒曜石	出来島
185	34			4766	IVX58	II a-1下層	S-241	石核	41.4	42.0	20.2	37.4	黒曜石	八森山
185	35			10023	IVW62	II a-1層	S-X	削器	47.9	38.2	15.8	25.1	珪質頁岩	
185	36			10017	IVW59	II a-1層	S-X	削器	43.6	44.3	11.9	20.4	珪質頁岩	
185	37			10031	IVY67	II a-1層	S-X	削器	63.1	62.0	14.7	47.8	珪質頁岩	
185	38			10013	IVW58	II a-1層	S-X	石核	136.1	57.8	49.9	346.9	珪質頁岩	
185	39			5220	IVX58	II a-1下層	S-X	石核	180.7	57.6	47.4	448.5	珪質頁岩	
185	40			10089	IVW58	II a-1層	S-X	磨石	83.6	77.3	50.1	409.6	凝灰岩	石製品?
185	41			10091	IVW58	II a-1層	S-X	磨石	77.6	76.0	71.7	476.6	凝灰岩	
185	42			10056	IVW58	II a-1下層	S-X	凹石	79.8	66.7	51.1	353.2	緑色凝灰岩	
185	43			10094	IVV58	II a-1下層	S-X	磨石	58.0	46.4	51.0	170.8	安山岩	
185	44			894	IVS64	II層	S-X	磨石	36.2	33.3	27.7	38.0	凝灰岩	
185	45	122	12	892	IVW60	II層	S-X	磨石	49.0	49.0	46.0	130.8	凝灰岩	
185	46	122	11	891	IVY59	II a-2層	S-X	磨石	45.0	42.0	39.0	117.0	未鑑定	
185	47			10093	IVW58	II a-2層	S-X	磨石	73.6	66.6	61.0	322.6	凝灰岩	
185	48			10086	IVV59	II a-2層	S-X	蔽石	96.9	64.8	37.6	294.9	凝灰岩	
185	49			10095	IVT64	II層	S-X	磨石	92.8	69.1	40.6	406.4	花崗岩	
185	50			10092	IVS65	II層	S-X	磨石	140.4	68.2	54.6	734.3	粗粒玄武岩	
185	51			10088	IVS64	II層	S-X	蔽石	181.4	96.7	58.2	1480.1	花崗岩	
186	1			5648	IVW59	II a-1層	S-X	線刻鏢	50.4	40.4	14.1	31.0	凝灰岩	
186	2			10097	IVW59	II a-1層	S-X	磨石	50.7	42.2	36.3	92.6	流紋岩	
186	3			10113	IVX57	II a-2層	S-X	磨石	106.1	89.8	74.1	1041.7	花崗岩	赤色顔料
186	4			10098	IVV61	II a-1層	S-X	磨石	127.2	93.1	45.5	690.3	凝灰岩	
186	5			10090	IVW58	I層	S-X	磨石	59.3	53.6	44.5	200.9	未鑑定	
186	6			10012	北東捨場・V048	I層	S-X	蔽石	76.3	76.8	69.0	474.1	粗粒玄武岩	報告書Ⅷ第1編第2章第1節参照
186	7			10085	IVV58	II a-1下層	S-X	蔽石	54.6	43.2	36.4	116.9	未鑑定	
186	8			10083	IVW62	II a-1層	S-X	蔽石	73.0	60.2	36.1	165.5	凝灰岩	
186	9			5986	IVW62	II a-1下層	S-X	凹石	140.4	61.5	44.7	446.2	凝灰岩	
186	10			10087	IVU63	II層	S-X	蔽石	164.1	98.4	55.7	1263.9	凝灰岩	
186	11			10084	IVW60	II a-2層	S-X	蔽石	65.1	59.1	52.3	257.9	緑色凝灰岩	
186	12			10096	不明	表採	S-X	磨石	84.3	75.3	49.8	41.6	安山岩	
186	13			5973	IVW58	I層	S-X	凹石	111.8	49.7	29.6	186.8	凝灰岩	
186	14			5976	IVW58	I層	S-X	凹石	113.2	77.1	34.0	273.5	凝灰岩	
186	15			5977	IVU60	II層	S-X	凹石	83.2	62.9	31.8	206.2	凝灰岩	
186	16			10065	IVT64	II層	S-X	凹石	97.6	63.5	28.2	225.0	緑色凝灰岩	
186	17			5982	61ライン	II層	S-X	凹石	134.0	65.3	23.6	309.5	凝灰岩	
186	18			5994	IVX60	II層	S-X	凹石	150.1	68.5	32.2	443.1	凝灰岩	
186	19			5963	IVW58	II a-1層	S-X	凹石	117.2	58.6	46.4	382.5	安山岩	
186	20			5965	IVW58	II a-1層	S-X	凹石	87.1	58.5	24.9	163.1	凝灰岩	
186	21			10061	IVW58	II a-1層	S-X	凹石	80.6	52.2	35.0	161.8	緑色凝灰岩	
186	22			5979	IVV61	II a-2層	S-X	凹石	166.3	60.8	44.1	543.7	凝灰岩	
186	23			5990	IVX59	攪乱	S-X	凹石	54.1	56.7	26.4	105.4	凝灰岩	
186	24			5989	IVX57	II a-2層	S-X	凹石	96.6	52.1	44.2	295.7	凝灰岩	
186	25			5985	IVX58	II a-2層	S-X	凹石	125.7	86.7	62.3	522.9	凝灰岩	
186	26			5981	IVX60	II a-2層	S-X	凹石	166.3	106.7	67.1	1245.9	凝灰岩	
186	27			5983	IVX58	II a-2層	S-X	凹石	165.7	52.4	39.1	415.3	凝灰岩	
187	1			5997	IVX67	I層	S-X	凹石	91.0	53.5	37.0	166.0	凝灰岩	
187	2			5995	IVY61	I層	S-X	凹石	94.2	82.8	55.0	469.4	凝灰岩	
187	3			5969	IVX61	黒色土	S-X	凹石	123.4	50.7	31.3	255.8	凝灰岩	
187	4			8336	東捨場・IVY54	I層	S-X	凹石	119.1	60.0	36.7	361.4	緑色凝灰岩	報告書Ⅷ第1編第2章第1節参照
187	5			10054	IVW58	I層	S-X	凹石	127.8	58.8	29.2	284.9	凝灰岩	



表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(3)

写真図版番号	番号	図版番号	番号	整理番号	グリッド	層位	取上番号	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	備考
187	6			5993	IVX58	II a-1下層	S-X	凹石	96.0	52.7	33.5	188.9	凝灰岩	
187	7			5988	IVW62	II a-1下層	S-X	凹石	101.8	63.4	30.0	309.6	凝灰岩	
187	8			10063	IVS63	II層	S-X	凹石	92.8	86.4	51.9	547.7	緑色凝灰岩	
187	9			5968	IVS64	II層	S-X	凹石	122.7	77.2	27.9	314.3	凝灰岩	
187	10			5980	IVV59	II層	S-X	凹石	136.4	70.0	37.5	444.0	凝灰岩	
187	11			10082	IVS64	II層	S-X	磨石	127.9	71.0	50.4	720.6	花崗岩	
187	12			5987	IVX57	II a-1層	S-X	凹石	138.1	64.7	38.4	376.2	凝灰岩	
187	13			5966	IVW58	II a-1層	S-X	凹石	132.8	82.1	27.7	356.8	凝灰岩	
187	14			5974	IVW58	II a-1層	S-X	凹石	61.7	46.8	29.7	98.2	凝灰岩	
187	15			5970	IVY57	II a-1層	S-X	凹石	77.8	42.4	33.3	155.5	凝灰岩	
187	16			10058	IVY57	II a-1層	S-X	凹石	70.4	63.2	22.3	105.6	緑色凝灰岩	
187	17			10059	IVW59	II a-1層	S-X	凹石	76.8	55.2	42.4	185.5	凝灰岩	
187	18			5978	IVV58	II a-1層	S-X	凹石	93.8	48.7	43.7	209.6	凝灰岩	
187	19			6000	IVX62	II a-1層	S-X	凹石	105.3	51.0	29.3	211.2	凝灰岩	
187	20			5971	IVY57	II a-1層	S-X	凹石	111.6	73.1	29.3	264.8	凝灰岩	
187	21			5998	IVX61	II a-1層	S-X	凹石	103.4	78.3	36.4	345.9	凝灰岩	
187	22			5996	IVW58	II a-1層	S-X	凹石	133.1	55.3	23.1	269.1	凝灰岩	
187	23			5972	IVW61	II a-1下層	S-X	凹石	120.0	79.7	22.2	297.9	凝灰岩	
187	24			10062	IVW62	II a-1下層	S-X	凹石	135.5	102.5	28.8	421.5	凝灰岩	
187	25			10057	IVX57	II a-2層	S-X	凹石	74.0	41.0	27.7	110.6	緑色凝灰岩	
187	26			10064	IVY56	II a-2層	S-X	凹石	71.3	51.0	39.9	134.8	凝灰岩	
187	27			10066	IVW58	II a-2層	S-X	凹石	84.1	60.8	33.8	226.2	粗粒玄武岩	
187	28			10055	IVW61	II a-2層	S-X	凹石	90.6	60.5	23.1	149.2	緑色凝灰岩	
187	29			10060	IVV59	II a-2層	S-X	凹石	89.8	77.9	42.0	329.0	凝灰岩	
187	30			5975	不明	II a-2層	S-X	凹石	110.2	89.8	53.6	562.9	凝灰岩	
187	31			8301	東捨場・IVX54	KIII1層	S-X	凹石	147.7	58.6	23.8	250.4	凝灰岩	報告書Ⅷ第1編第2章第1節参照
187	32			8310	東捨場・IVW55	KIII1層	S-X	凹石	142.5	54.5	39.2	376.2	凝灰岩	報告書Ⅷ第1編第2章第1節参照
188	1	124	1	7735	IVY57	II a-1層	S-X	石皿	95.0	99.0	18.0	138.8	凝灰岩	石鏝?
188	2			5991	IVX58	II a-2層	S-X	凹石	115.4	55.5	47.2	357.1	凝灰岩	
188	3			5967	IVX58	II a-2層	S-X	凹石	122.5	92.6	50.8	665.0	凝灰岩	
188	4			5964	IVW60	II a-2層	S-X	凹石	121.8	77.8	47.9	437.4	凝灰岩	
188	5			5992	IVX58	II a-2層	S-X	凹石	126.3	42.8	33.7	486.0	凝灰岩	
188	6			4167	VE54付近の川原平(4)側の斜面	I層	S-X	石皿	380.0	334.0	147.0	9380.0	緑色凝灰岩	縁の高さ60~90mm 報告書Ⅷ第1編第2章第1節参照
188	7	124	7	7748	IVW60	II a-2上層	石製品-283	石製品	34.0	51.5	25.0	33.6	凝灰岩	自然礫に若干の研磨
188	8	122	13	895	IVW60	II a-2上層	石製品-278	石製品	87.0	6.0	25.0	147.7	緑色凝灰岩	表裏中央に窪み形成
188	9			5999	不明	II a-2層	S-X	凹石	136.5	72.8	39.8	520.7	凝灰岩	
188	10			2583	IVY58	II a-1層	S-169	自然礫	45.6	36.6	26.4	54.6	凝灰岩	有孔
188	11			834	IVX58	II a-1層	S-X	自然礫	58.2	30.6	20.8	38.7	凝灰岩	加工?
188	12	123	2	836	IVW59	II層	S-X	自然礫	83.7	26.0	19.1	47.0	凝灰岩	
188	13	123	3	G100	IVY58	III a-1層	S-X	岩版	69.0	43.0	14.0	29.6	凝灰岩	線刻内赤色
188	14	122	14	10026	IVY57	II a-1層	石製品205	石刀	78.0	31.9	9.8	40.4	粘板岩	先端断片、擦切痕
188	15	123	12	832	IVW61	II a-2層	S-X	線刻礫	35.0	28.0	7.0	10.0	凝灰岩	
188	16	123	5	G112	IVW60	II層	S-X	岩版	41.0	50.0	6.0	11.9	凝灰岩	
188	17	123	8	837	IVW58	II a-1下層	S-X	線刻礫	76.3	59.7	20.1	100.4	凝灰岩	線刻、一部線刻を擦消した可能性あり
188	18			h183	IVX61	I層	S-X	石製円盤	23.6	21.9	11.9	7.3	未鑑定	
188	19			h143	IVX61	I層	S-X	石製円盤	25.8	23.7	8.7	8.9	花崗岩	アスファルト
188	20			h190	IVX61	I層	S-X	石製円盤	24.2	23.0	9.2	7.6	緑色凝灰岩	
188	21			h148	IVS62	II層	S-X	石製円盤	37.4	33.0	12.1	25.0	未鑑定	アスファルト
188	22			h104	IVT64	II層	S-X	石製円盤	51.3	49.1	13.1	42.1	緑色凝灰岩	
188	23			5257	IVX61	I層	S-X	石製円盤	47.8	44.5	152.2	47.8	相馬安山岩	アスファルト
188	24			5254	IVR63	II層	S-X	石製円盤	56.9	54.9	25.0	113.0	花崗岩	アスファルト
188	25			h342	不明	I層	S-X	石製円盤	58.7	47.0	23.6	92.8	未鑑定	
188	26			3154	IVW58	II a-1層	S(石製品)-329	石棒	-	-	-	107.3	点紋粘板岩	先端断片
189	1	123	15	830	IVW62	II a-1層	S-X	石製円盤	25.0	25.5	11.0	8.0	凝灰岩	線刻
189	2			5248	IVW61	II a-1層	石製品-185	石製円盤	32.3	21.2	24.1	21.0	凝灰岩	
189	3			5240	IVY58	II a-1層	石製品-203	石製円盤	34.7	34.3	11.3	20.5	凝灰岩	
189	4			5674	IVY58	II a-1層	S-X	石製円盤	41.5	36.0	12.4	25.7	凝灰岩	
189	5			h137	IVX57	II a-1層	S-332	石製円盤	46.3	42.3	26.4	82.0	緑色凝灰岩	
189	6	124	3	h87	IVY57	II a-1層	S-213	石製円盤	51.2	44.4	11.3	32.6	凝灰岩	
189	7			h48	IVW60	II a-1層	S-335	石製円盤	63.2	52.9	15.0	79.1	未鑑定	
189	8			h67	IVX62	II a-1層	S-174	石製円盤	60.2	55.9	21.6	111.1	緑色凝灰岩	
189	9			5252	IVX58	II a-1層	石製品-331	石製円盤	60.8	56.8	20.4	100.6	未鑑定	
189	10			h46	VF56	II a-1層	S-X	石製円盤	83.7	66.9	21.2	110.7	流紋岩	
189	11			h175	IVW62	II a-1層	S-181	石製円盤	-	-	-	13.4	安山岩	
189	12			h114	IVW62	II a-1下層	S-256	石製円盤	41.9	40.4	17.5	40.6	緑色凝灰岩	線刻
189	13			814	IVW58	II a-1下層	S-X	石製品	42.1	41.0	6.8	19.0	未鑑定	
189	14			h128	IVX58	II a-1下層	S-239	石製円盤	52.6	48.6	12.7	30.7	デイサイト	
189	15			h138	IVW58	II a-1下層	S-253	石製円盤	54.1	51.8	20.2	68.5	相馬安山岩	
189	16			5243	IVY60	II層	石製品-266	石製円盤	63.2	58.4	20.3	70.0	凝灰岩	
189	17	123	14	831	IVX60	II a-2層	S-X	岩版	25.0	21.5	3.0	2.6	凝灰岩	
189	18			h74	IVV58	II a-2層	S-335	石製円盤	95.1	89.6	38.0	407.9	緑色凝灰岩	
189	19			5380	IVY60	II a-2層	S-X	石製円盤	25.4	23.3	8.1	8.8	花崗岩	不整形円形、正裏面研磨? 縦刻離一側面軽く敲打
189	20			h141	IVW61	II a-2層	S-298	石製円盤	30.7	29.3	13.3	17.8	未鑑定	アスファルト
189	21			h171	IVW60	II a-2層	S-X	石製円盤	46.6	31.8	9.3	19.9	相馬安山岩	赤色顔料付着石皿破片転用
189	22			h117	IVY59	II a-2層	S-170	石製円盤	47.1	44.1	15.2	43.8	未鑑定	
189	23			2213	IVV59	II a-2層	石製品-313	石製円盤	78.9	77.8	22.3	202.2	凝灰岩	赤色顔料
189	24			h55	IVX59	II a-2上層	S-X	石製円盤	56.8	54.9	24.6	92.9	未鑑定	
189	25			h21	IVW62	II a-2層	S-X	石製円盤	95.6	71.5	21.0	125.4	凝灰岩	
189	26	124	2	7773	IVX61	II a-2下層	S-X	石製円盤	67.0	59.5	16.0	70.8	粗粒玄武岩	敲打?
189	27	124	10	893	IVX58	II a-2上層	S-X	石製円盤	68.7	65.1	19.0	82.5	珪質頁岩	珪質頁岩製、剥片素材、正面側のみ剥離で円形化
189	28	123	11	2578	IVW62	II a-2上層	S-282	石製円盤	27.0	27.0	10.0	11.9	凝灰岩	アスファルト
189	29			5251	IVX58	II a-2上層	石製品-260	石製円盤	44.7	39.7	13.3	33.0	デイサイト	アスファルト
189	30	123	6	5673	IVV61	II a-2上層	S-X	石製円盤	(53.7)	(38.5)	10.2	(26.0)	凝灰岩	線刻
189	31			h156	IVW58	II a-2上層	S-263	石製円盤	42.4	38.6	13.9	39.9	未鑑定	
189	32			h103	IVV58	II a-2上層	S-X	石製円盤	47.6	41.5	10.9	26.0	未鑑定	
189	33			h77	IVV61	II a-2上層	S-292	石製円盤	-	-	-	221.1	未鑑定	

表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(4)

写真図 版番号	番号	図版 番号	番号	整理番号	グリッド	層位	取上 番号	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
189	34			h38	IVX61	II a-2 上層	S-288	石製円盤	67.3	63.9	24.9	136.9	緑色凝灰岩	
189	35			h79	IVW58	II a-2 上層	S-257	石製円盤	65.3	53.1	25.2	126.7	デイサイト	
189	36			5676	IVW60	II a-2 上層	S-X	敲石	79.9	53.8	20.1	115.8	凝灰岩	石製円盤?
190	1	123	4	833	IVW58	I 層	S-X	線刻礫	48.0	34.0	12.9	28.0	凝灰岩	線刻
190	2	124	11	7696	IVY57	II 層		石製品-153	39.0	13.0	10.0	10.2	粘板岩	管玉
190	3			5649	IVA59	II 層	S-X	石製品	56.1	15.2	17.1	15.5	凝灰岩	盲孔
190	4	124	12	7698	IVW60	II a-1 層	S-X	石製品	39.5	12.0	10.0	7.2	粘板岩	
190	5	123	13	5400	IVY57	II a-1 層	S-X	石製品	48.0	60.5	25.0	60.0	凝灰岩	
190	6	123	7	838	IVX57	II a-1 層	S-X	線刻礫	95.1	71.6	19.4	85.5	凝灰岩	線刻
190	7	124	5	4771	IVX58	II a-1 層	S-X	自然礫	19.0	15.0	10.0	3.6	緑色凝灰岩	玉素材か
190	8	124	4	2736	IVY58	II a-2 上層		石製品-294	9.0	9.0	6.0	0.5	緑色凝灰岩	未穿孔
190	9	123	10	813	IVW58	II a-1 層	S-X	線刻礫	73.8	56.5	19.2	99.6	凝灰岩	線刻
190	10	124	9	5656	IVY58	II a-1 層	S-X	石製品	91.0	83.0	76.0	770.3	凝灰岩	底面に線刻
190	11	124	8	835	IVX62	II a-2 層	S-X	石製品	35.0	29.0	8.0	7.1	凝灰岩	
190	12	124	6	7699	IVW60	II a-2 層		石製品-277	28.0	20.0	20.0	11.2	泥岩	
190	13	123	9	779	IVV60	II a-2 層		石製品-307	66.0	45.1	13.2	50.6	緑色凝灰岩	線刻、剥離痕
190	14			4772	IVX57	II a-1 層	S-X	砥石	113.3	79.2	14.8	153.5	凝灰岩	
190	15			903	IVW59	II a-1 下層		石製品-317	105.9	92.4	40.0	322.4	凝灰岩	
—	—	122	15	1960	VD・E53	不明	S-X	磨製石斧	120.7	47.0	22.0	185.7	緑色凝灰岩	側面の稜明瞭、敲打整形
—	—	123	1	3156	IVY61	II a-1 層	S (石製品) -184	石棒	423.0	28.0	22.0	429.5	粘板岩	3155と3156は接合できたため接合石棒として3155に番号振り替えた

表23 北東捨場延長地区 土器観察表

図版番号	写真図版	写真図版	出土地点(取上番号)	層名	器種	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号
126	192	1	V049 P-X	I層	皿	晩期3	裝飾的な口縁。口唇：斜行刻目・口縁肥厚(内側)。外面：彫去による雲形文。口縁直下2条の沈線間に刻目列。底部直上に3条の横位沈線。文様帯地文なし。底部ミガキ。凹底	ミガキ	赤色顔料付着	貫通孔1個	21.2	4.8	5.0	北東延長-土器0006
126	192	2	VP48 P-X	1~2a層	浅鉢	晩期4	平口縁。B突起1単位(残存1単位)。外面：沈線文。横位沈線(頸部と体部の境に2条、底部直上に2条)。文様帯地文なし。口縁~底部にミガキ。凹底。	ミガキ	赤彩(外・内面)の部分に残る。内面：黒色処理。		(11.0)	-	(4.7)	北東延長-土器0009
126	192	3	VP48 P230	2a層	浅鉢	晩期3	口縁欠損。外面：彫去による雲形文。横位沈線(頸部と体部の境に2条、底部直上に1条)。凹底	ミガキ	赤彩(内外面)。内面に黒色付着物。	-	(4.4)	(3.3)	北東延長-土器0008	
126	192	4	VP47 P-X	2a層	台付皿	晩期3	平口縁。面取なし。外面：体部に突起(推定4単位。残存2単位)。口縁~台部にミガキ。底部：各、沈線による雲形文。横位沈線。刻目列。端部に横位沈線。残存。文様帯地文なし。頸部~肩部ミガキ。	ミガキ	赤彩(内外面)	17.6	9.6	10.2	北東延長-土器0018	
-	192	6	VP48 P231	2a層	壺	晩期中葉~後葉	横位沈線(頸部と体部の境に1条)。隆帯による雲形文。横位沈線2条。残存。文様帯地文なし。体部ミガキ。	ナデ	頸部に黒色顔料付着物	-	-	(5.4)	北東延長-土器0003	
-	192	7	VP48 P231	2a層	壺	晩期3	外面：隆帯2条。突起。沈線間に刻目列1条。沈線による雲形文。横位沈線2条。文様帯地文なし。体部ミガキ。	ナデ 頸部ミガキ	赤彩(外面・頸部内側)	-	-	(13.0)	北東延長-土器0004	
-	192	8	VP48 P-X	2a層	注口	晩期3	外面：彫去による雲形文。頸部と体部の境に横位沈線2条。注口付近に隆帯。横長の突起(頂部に三角状の抉り)。文様地文：磨消。LR縷文。底部ミガキ。注口欠損。底部：丸底。円形の沈線。	ナデ	赤彩(外面)	胎土：軟質	-	4.6	(8.4)	北東延長-土器0005
-	192	10	VP48 P-X	2・3層	壺	晩期1a~1b	外面：隆帯上に短沈線・突起(円形)。文様帯地文なし。LR縷文。口縁部・体部ナデ。	ナデ	赤彩(外面)	胎土：砂礫多い	-	-	(14.6)	北東延長-土器0017
-	192	11	VP48・49	3層	壺	晩期1b~2	外面：沈線文。頸部と体部の境に横位沈線1条。文様地文：磨消。LR縷文。	ナデ	赤彩(外面・頸部)	-	-	-	(7.5)	北東延長-土器0007

表24 北東捨場延長地区 土製品 観察表

図版番号	写真図版	分類	出土位置	層位	取上番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	整理番号
121	183-16	円盤状土製品	IVV59	II a-I下層	3	30	3	3.5	3.5	鉢形土器胎前片。表面摩耗。	東延長-土0009
126	192-12	土偶	V0-48	I層	土偶-X	(64)	54	7	61.9	中空。仮面土偶。顔面部。赤色顔料塗布。	北東延長-土4044
126	192-13	土偶	V0-48	2層	P-X	(52)	(46)	7	31.4	中空。遮光器土偶。顔面部。羊歯縷文。	北東延長-土4045

表25 北東捨場延長地区 ミニチュア・小型土器観察表

図版番号	写真図版	器種	出土位置	層位	取上番号	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	時期	備考	整理番号
126	192-5	壺	VP48	2a層	P229	(3.4)	2.4	(6.8)	晩期3	平口縁。外面：沈線による雲形文。横位沈線5条(頸部と体部の境に3条、体部に2条)。凹底。内面：ナデ。赤彩(外面)。胎土：細砂多い。	北東延長-土器0001
126	192-9	壺	VP48	2b~2c層	P232	-	4.2	(6.4)	後期後葉~晩期前葉	外面：頸部と体部の境に横位沈線に各1条。体部LR縷文。体部にへら状工具(?)による沈線状の傷が3箇所。底部直上に横位沈線1条。高台。内面：ナデ。胎土：軟質	北東延長-土器0002

表26 北東捨場延長地区 石器・石製品観察表(1)

写真図 版番号	番号	図版 番号	番号	整理番号	出土位置	層位	取上 番号	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
193	1			5634	VP49	I層	S-X	石鏃	22.9	12.0	5.3	1.1	珪質頁岩	
193	2			5635	VP48	I層	S-X	石鏃	37.9	13.2	3.7	1.4	珪質頁岩	
193	3			5631	VK54	I層	S-X	石鏃	22.8	6.0	3.0	0.5	珪質頁岩	両端磨耗
193	4			5632	VK53	I層	S-X	石鏃	36.0	20.8	10.1	5.3	珪質頁岩	尖端欠損
193	5			5633	VP48	2a層	S-X	石鏃	44.8	19.1	9.3	7.2	珪質頁岩	
193	6	127	1	1799	VQ48	2a層	S-X	石鏃	44.6	22.0	8.1	3.9	珪質頁岩	
193	7			5638	VQ46	I層	S-X	両面調整石器	55.4	32.5	8.3	14.9	珪質頁岩	
193	8			5640	VP51	I層	S-X	両面調整石器	67.0	34.3	10.5	23.7	珪質頁岩	
193	9			5552	VL55	I層	S-X	石匙	45.6	47.4	7.8	12.2	珪質頁岩	
193	10			5556	V049	I層	S-X	石匙	50.9	52.8	12.1	23.7	珪質頁岩	アスファルト
193	11			5558	V048	I層	S-X	石匙	62.1	46.4	6.6	12.9	珪質頁岩	刃部光沢
193	12			5555	V049	I層	S-X	石匙	47.1	59.0	10.9	16.5	珪質頁岩	アスファルト? 器体表面 磨耗
193	13			5554	V049	I層	S-X	石匙	52.9	57.1	13.9	21.4	珪質頁岩	
193	14			5557	V048	II層	S-X	石匙	45.6	60.4	9.5	21.9	珪質頁岩	
193	15			1803	VP49	I層	S-X	石匙	52.4	59.5	12.3	26.1	珪質頁岩	アスファルト
193	16			5553	VP47	I層	S-X	石匙	52.8	69.7	22.0	37.0	珪質頁岩	
193	17			5639	V050	I層	S-X	石匙	106.0	44.0	21.2	56.0	珪質頁岩	削器→抉り→石匙
193	18			5551	VP48	2a層	S-X	石匙	60.3	21.1	8.0	7.9	珪質頁岩	
193	19			5550	VP48	2a層	S-X	石匙	40.7	40.3	8.7	10.7	珪質頁岩	
193	20			1804	VP48	2層	S-X	石匙	55.3	57.1	12.1	30.1	珪質頁岩	アスファルト、刃部光沢
193	21	127	2	1802	V048	2層	S-X	石匙	73.0	20.0	6.0	6.7	珪質頁岩	
193	22			1798	V049	I層	S-X	削器	54.9	21.0	9.0	5.2	珪質頁岩	
193	23			5636	VP49	I層	S-X	削器	44.3	24.0	9.3	9.1	珪質頁岩	
193	24			5637	V049	I層	S-X	削器	(32.5)	65.7	12.1	23.5	珪質頁岩	つまみ部節理で欠損
193	25			5682	V049	I層	S-X	両極石器	46.0	38.3	10.5	26.4	玉髓	
193	26	127	3	1801	V049	I層	S-X	異形石器	17.3	82.6	14.2	20.4	珪質頁岩	
193	27			5624	V048	不明	S-X	石核	70.9	61.5	42.4	123.0	珪質頁岩	
193	28			5623	V048	I層	S-X	石核	52.1	47.3	33.0	71.6	珪質頁岩	石製円盤?
193	29			5625	V048	I層	S-X	石核	53.9	45.0	52.0	112.6	珪質頁岩	
193	30			5627	VP46	I層	S-X	石核	120.6	60.7	43.7	284.6	珪質頁岩	
193	31			5626	V049	I層	S-X	石核(用敷石)	80.8	69.7	56.6	286.9	珪質頁岩	
193	32			5630	VP49	I層	S-X	石核	162.1	121.4	65.5	1294.6	珪質頁岩	
194	1			5622	V049	2c層	S-X	石核	52.5	50.6	51.3	112.0	珪質頁岩	
194	2			1805	V048	不明	S-X	石核(用敷石)	64.4	46.7	37.1	93.9	珪質頁岩	
194	3			1800	V048	不明	S-X	石槍	99.7	29.3	22.1	50.7	珪質頁岩	
194	4	127	4	2238	VP48	2a層	S-X	磨製石斧	73.7	33.9	14.0	46.7	凝灰岩	刃部欠損、側面稜不明瞭
194	5	127	6	2239	VP48・49	2b層	S-X	磨製石斧	93.9	60.5	31.0	288.3	緑色岩	基部欠損、側面稜不明瞭
194	6	127	5	7778	VQ49	2層	S-X	磨製石斧	124.0	68.0	38.0	446.2	緑色岩	基部欠損、側面稜不明瞭
194	7			10109	VP46	I層	S-X	磨石	72.7	55.3	46.3	234.6	安山岩	
194	8			10002	V049	I層	S-X	磨石	92.6	89.9	69.2	830.1	花崗岩	
194	9			10010	VQ48	I層	S-X	磨石	94.2	83.9	73.6	794.4	安山岩	
194	10			10108	VP49	I層	S-X	磨石	125.6	91.0	80.3	1321.6	凝灰岩	
194	11			10008	V048	I層	S-X	磨石	152.1	65.5	40.7	462.8	凝灰岩	
194	12			10103	VP49	I層	S-X	磨石	83.3	79.4	52.5	487.9	安山岩	
194	13			10100	VP49	I層	S-X	磨石	83.2	74.3	58.3	506.4	粗粒玄武岩	
194	14			10007	VP49	2層	S-X	磨石	102.0	79.2	66.5	770.8	花崗岩	
194	15			10101	VP48	2層	S-X	磨石	110.2	85.6	60.5	859.5	未鑑定	
194	16			10006	VP48	2a層	S-X	磨石	119.5	105.6	92.0	1875.9	安山岩	
194	17			10003	VP48	2a層	S-X	磨石	99.6	94.7	64.1	814.6	緑色凝灰岩	
194	18			10104	VP48	2a層	S-X	磨石	106.6	80.9	60.0	735.6	凝灰岩	
194	19			10110	VP48	2a層	S-X	磨石	116.0	92.0	57.2	829.4	安山岩	
194	20			10070	VP48	2a層	S-X	凹石	117.7	111.6	25.0	493.9	緑色凝灰岩	
194	21			10099	VP48	2層	S-X	磨石	141.7	91.6	69.4	1342.5	花崗岩	
194	22			10004	VP48	2a層	S-X	敲石	119.5	78.8	24.4	317.4	粗粒玄武岩	
194	23			10105	VP49	2層	S-X	磨石	126.3	85.2	63.1	1010.7	安山岩	
195	1			10107	VP48	2b層	S-X	磨石	70.6	53.6	49.5	261.0	凝灰岩	
195	2			10112	VP48・49	3層	S-X	磨石	92.9	83.0	59.8	595.4	凝灰岩	
195	3			10102	VP49	不明	S-X	磨石	118.5	83.6	56.9	812.4	安山岩	
195	4			10000	V049	不明	S-X	磨石	137.5	76.6	52.2	660.5	凝灰岩	
195	5			10106	VP49	不明	S-X	磨石	124.4	87.0	56.6	811.0	凝灰岩	
195	6			10001	V048	不明	S-X	磨石	171.8	76.8	55.1	1118.4	緑色凝灰岩	
195	7			10009	V048	不明	S-X	敲石	138.1	89.7	68.2	1352.1	花崗岩	
195	8			10011	V048	不明	S-X	敲石	149.8	101.0	82.6	2207.8	花崗岩	
195	9			10051	VP48・49	2層	S-X	凹石	111.2	67.4	31.4	315.3	緑色凝灰岩	
195	10			10049	VP49	2層	S-X	凹石	101.6	88.4	39.2	422.1	緑色凝灰岩	
195	11			5950	V049	I層	S-X	凹石	148.4	104.5	40.1	701.4	凝灰岩	
195	12			10111	VP48	2・3層	S-X	敲石	113.8	71.6	60.0	584.9	凝灰岩	
195	13			10079	VP48	2・3層	S-X	敲石	133.1	93.3	26.6	415.9	凝灰岩	
195	14			5949	VP48	2・3層	S-X	凹石	70.0	76.1	38.1	196.9	凝灰岩	
195	15			5960	VP48	2・3層	S-X	凹石	109.9	78.4	51.6	464.8	凝灰岩	
195	16			10044	VP48	2・3層	S-X	凹石	123.7	78.3	25.3	356.9	凝灰岩	
195	17			10080	VP48	2・3層	S-X	凹石	141.5	67.7	51.2	460.5	凝灰岩	
195	18			10068	V048	2b層	S-X	凹石	161.9	75.1	23.2	476.4	凝灰岩	
196	1			10081	VP47	2b~2c層	S-X	凹石	108.3	90.6	39.1	457.5	凝灰岩	
196	2			5959	VP49	不明	S-X	凹石	64.0	47.0	27.1	108.8	凝灰岩	
196	3			5952	V049	不明	S-X	凹石	64.9	74.6	25.4	178.8	安山岩	
196	4			10076	VP49	不明	S-X	凹石	94.0	70.3	39.7	234.1	凝灰岩	
196	5			10071	V048	不明	S-X	凹石	94.8	85.1	21.4	207.6	緑色凝灰岩	
196	6			10077	VP49	不明	S-X	凹石	160.7	64.2	39.8	601.8	緑色凝灰岩	
196	7			5951	VP49	不明	S-X	凹石	106.9	60.0	49.1	366.3	凝灰岩	
196	8			10114	不明	表土	S-X	凹石	142.2	58.7	45.3	483.7	凝灰岩	
196	9			10069	VP51	I層	S-X	凹石	148.3	75.4	35.6	474.7	アイサイト	
196	10			10072	VP50	I層	S-X	凹石	135.4	72.0	40.4	508.7	緑色凝灰岩	
196	11			5954	VR46	I層	S-X	凹石	120.7	73.1	49.1	613.6	凝灰岩	
196	12			10046	VP50	I層	S-X	凹石	58.3	50.4	29.5	92.2	凝灰岩	
196	13			10042	V049	I層	S-X	凹石	85.6	73.6	48.8	347.8	緑色凝灰岩	
196	14			10074	V048	I層	S-X	凹石	162.4	94.7	29.0	451.4	緑色凝灰岩	
196	15			10067	東延長・IVT63	II層	S-X	凹石	153.6	104.3	95.4	2108.4	凝灰岩	報告書Ⅷ第1編第2章第 1節参照
196	16			10048	V049	I層	S-X	凹石	66.6	66.8	23.2	133.1	緑色凝灰岩	
196	17			10045	V049	I層	S-X	凹石	71.0	53.0	25.1	130.0	緑色凝灰岩	
196	18			5953	V047	I層	S-X	凹石	118.4	60.9	36.9	337.1	凝灰岩	
196	19			5961	V049	I層	S-X	凹石	126.1	64.3	29.5	276.6	凝灰岩	

表26 北東捨場延長地区 石器・石製品観察表(2)

写真図 版番号	番号	図版 番号	番号	整理番号	出土位置	層位	取上 番号	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
196	20			10050	VP49	1層	S-X	凹石	152.9	86.2	43.7	673.1	緑色凝灰岩	
196	21			5962	V049	1層	S-X	凹石	151.7	70.0	54.4	593.9	凝灰岩	
197	1			10043	VP48	2a層	S-X	凹石	104.7	60.0	30.0	248.5	凝灰岩	
197	2			5955	V048	2a層	S-X	凹石	127.1	58.7	28.2	277.4	凝灰岩	
197	3			10053	VP47	2a層	S-X	凹石	116.2	101.9	28.8	361.4	凝灰岩	
197	4			10047	VP48	2a層	S-X	凹石	131.0	44.1	27.8	221.8	緑色凝灰岩	
197	5			10078	VP48	2a層	S-X	凹石	146.9	46.6	30.7	365.4	緑色凝灰岩	
197	6			10073	VP48	2a層	S-X	凹石	153.2	80.1	49.1	751.1	緑色凝灰岩	
197	7			5956	VP48	2層	S-X	凹石	77.6	47.0	37.2	1696.0	凝灰岩	
197	8			5957	VP48	2層	S-X	凹石	128.3	66.6	37.8	393.0	凝灰岩	
197	9			5958	V048	2b層	S-X	凹石	71.4	90.3	37.0	259.7	凝灰岩	
197	10			10075	V049	2b層	S-X	凹石	161.3	87.9	62.2	691.2	粗粒玄武岩	
197	11			10052	VP47	3層	S-X	凹石	124.7	55.6	19.1	208.0	凝灰岩	
197	12	127	7	7761	VP48	2a層	S-X	石錘	87.0	78.0	19.0	126.3	凝灰岩	石錘?
197	13			4170	VP48	2・3層	S-X	石皿	232.0	210.0	68.0	4720.0	緑色凝灰岩	両面磨面、被熱赤色化
197	14	128	1	7697	V049	1層	S-X	石製品	75.5	81.5	52.0	400.9	凝灰岩	
198	1	128	4	827	VP48・49	1層	S-X	石製品	27.0	27.0	6.5	4.4	凝灰岩	
198	2	128	2	7701	V048	1層	S-X	石製品	60.0	34.0	28.0	47.0	凝灰岩	
198	3			ht449	V048	1層	S-X	石製円盤	47.7	44.0	16.4	33.0	凝灰岩	
198	4			5253	VN55	1層	S-X	石製円盤	(59.5)	(29.6)	11.2	(24.6)	凝灰岩	
198	5			5241	V048	1層	S-X	石製円盤	59.6	49.7	19.5	108.0	未鑑定	アスファルト
198	6			ht400	VP49	1層	S-X	石製円盤	80.0	68.4	13.6	93.7	花崗岩	
198	7			ht344	V048	1層	S-X	石製円盤	83.0	75.6	31.6	307.0	デイサイト	
198	8			ht363	V048	1層	S-X	石製円盤	81.4	74.2	17.8	121.7	デイサイト	
198	9			ht140	VJ47	1層	S-X	石製円盤	85.1	82.3	18.4	151.1	緑色凝灰岩	
198	10			ht348	V047	1層	S-X	石製円盤	83.3	74.0	33.0	170.1	デイサイト	
198	11			ht406	V048	1層	S-X	石製円盤	80.9	48.1	15.0	88.2	凝灰岩	
198	12			ht471	VP49	1層	S-X	石製円盤	48.9	38.5	14.5	38.6	デイサイト	
198	13			ht440	VP48・49	1層	S-X	石製円盤	59.2	56.5	22.9	87.3	デイサイト	
198	14			ht367	VP48・49	1層	S-X	石製円盤	80.1	77.0	34.2	294.9	凝灰岩	
198	15			ht445	V049	2層	S-X	石製円盤	54.9	51.1	11.5	40.1	デイサイト	
198	16			ht384	VP48	2層	S-X	石製円盤	79.7	71.3	20.6	157.0	デイサイト	
198	17			ht350	VP48	2a層	S-X	石製円盤	63.6	63.1	35.2	176.2	凝灰岩	
198	18			ht352	VP48	2a層	S-X	石製円盤	63.4	55.5	14.2	68.7	デイサイト	
198	19			ht483	VP48	2b層	S-X	石製円盤	53.4	51.1	12.4	36.6	粗粒玄武岩	
198	20			ht354	VR49	3層	S-354	石製円盤	86.8	76.4	15.1	137.3	デイサイト	
198	21	128	3	10005	VP49	不明	S-X	石製品	52.0	47.0	29.0	100.0	安山岩	磨面?
198	22			ht425	VQ48	2・3層	S-X	石製円盤	118.8	112.0	40.6	842.4	相馬安山岩	
198	23			ht383	V049	2c~3層	S-X	石製円盤	107.7	104.9	23.8	368.3	流紋岩	
198	24			ht484	VP48	不明	S-X	石製円盤	55.1	50.3	23.1	78.6	凝灰岩	
198	25			ht398	VP49	不明	S-X	石製円盤	57.5	53.4	30.2	133.8	花崗岩	アスファルト
198	26			ht432	VP49	不明	S-X	石製円盤				73.5	デイサイト	
198	27			ht394	VP48	不明	S-X	石製円盤	68.3	58.1	16.3	95.0	デイサイト	
198	28			ht393	VP49	不明	S-X	石製円盤	65.9	56.7	21.0	99.9	粗粒玄武岩	
198	29			ht355	V048	不明	S-X	石製円盤	77.9	56.6	32.8	163.7	安山岩	
198	30			ht358	V048	不明	S-X	石製円盤	72.6	71.5	19.8	147.5	デイサイト	